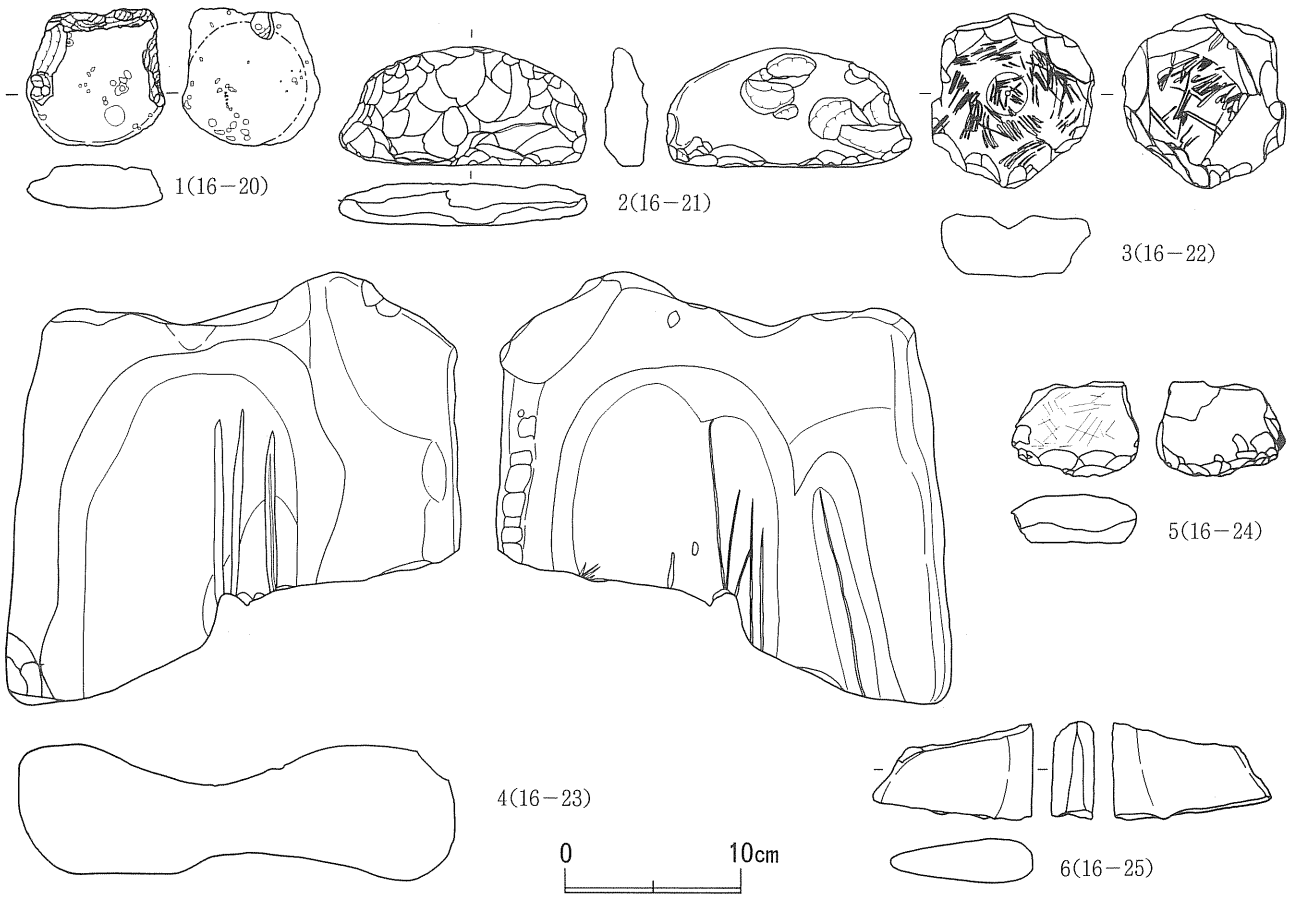
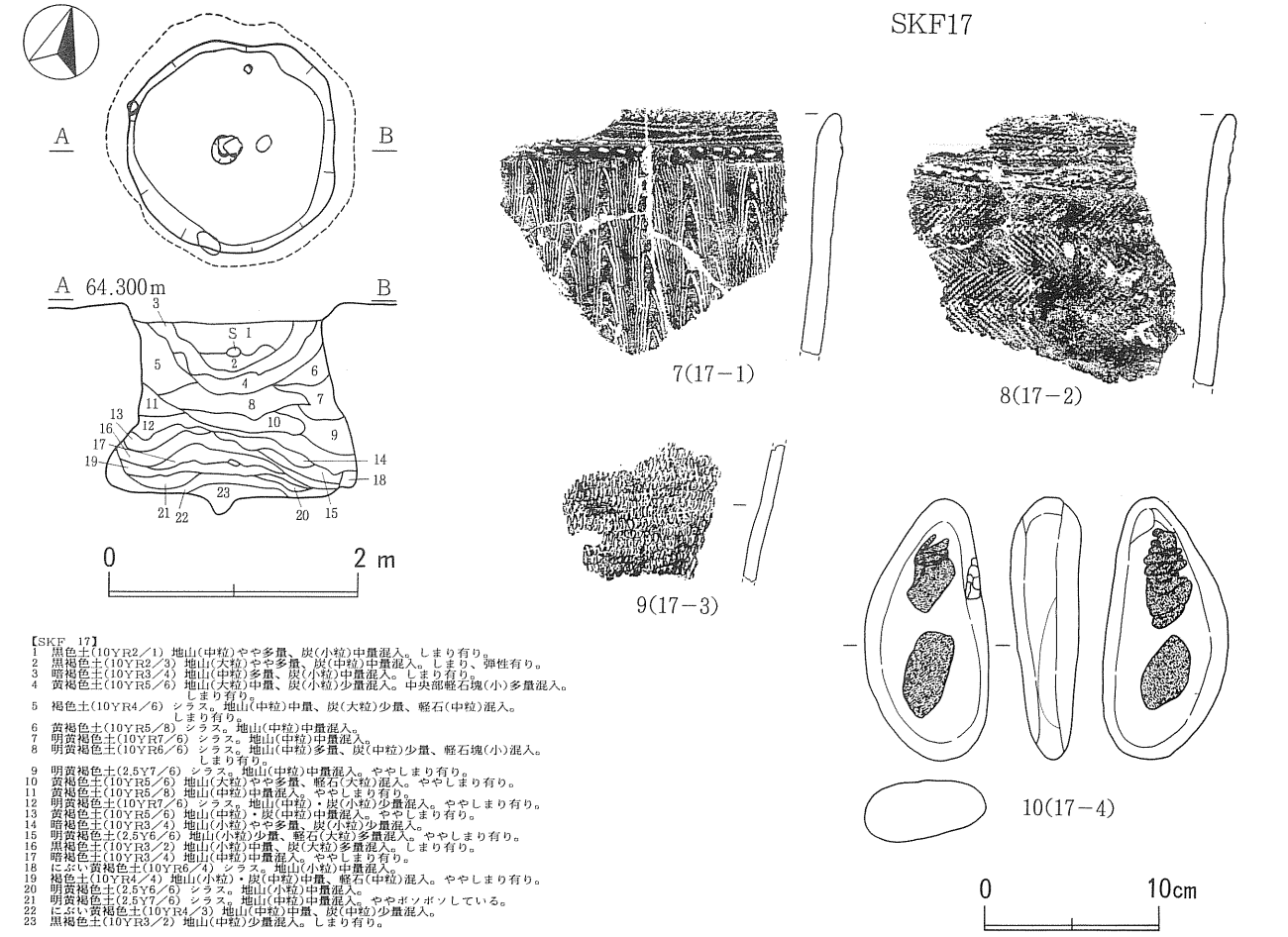


SKF16出土遺物

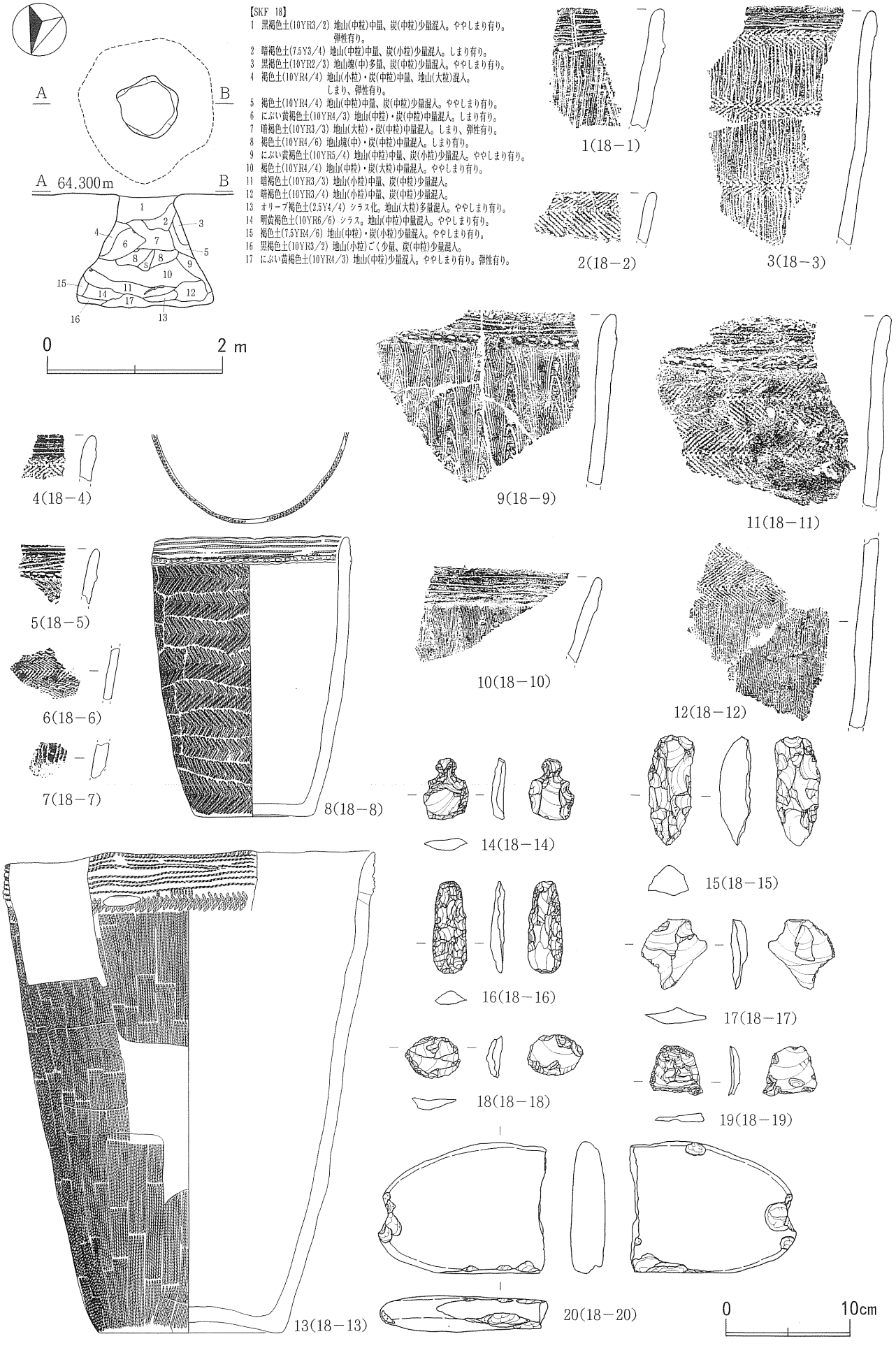
SKF17



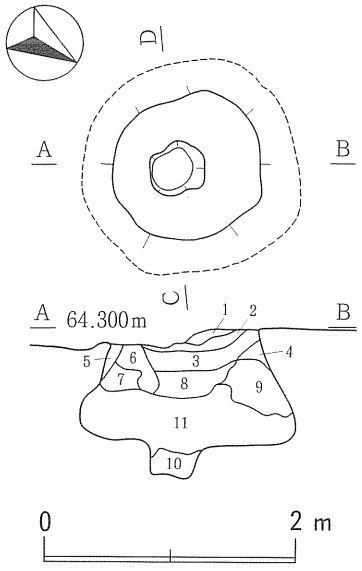
【SKF 17】
1　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)やや多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(10YR2／3) 地山(大粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
3　暗褐色土(10YR3／4) 地山(中粒)多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
4　黄褐色土(10YR5／6) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。中央部軽石塊(小)多量混入。しまり有り。
5　褐色土(10YR4／6) シラス。地山(中粒)中量、炭(大粒)少量、軽石(中粒)混入。しまり有り。
6　黄褐色土(10YR5／8) シラス。地山(中粒)中量混入。
7　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山(中粒)中量混入。
8　明黄褐色土(10YR6／6) シラス。地山(中粒)多量、炭(中粒)少量、軽石塊(小)混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
10　黄褐色土(10YR5／6) 地山(大粒)やや多量、軽石(大粒)混入。ややしまり有り。
11　黄褐色土(10YR5／8) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
12　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
13　黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
14　暗褐色土(10YR3／4) 地山(小粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。
15　明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山(小粒)少量、軽石(大粒)多量混入。ややしまり有り。
16　黒褐色土(10YR3／2) 地山(小粒)中量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
17　暗褐色土(10YR3／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
18　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シラス。地山(小粒)中量混入。
19　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)・炭(中粒)中量、軽石(中粒)混入。ややしまり有り。
20　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。地山(小粒)中量混入。
21　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。地山(中粒)中量混入。ややボソボソしている。
22　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
23　黒褐色土(10YR3／2) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。

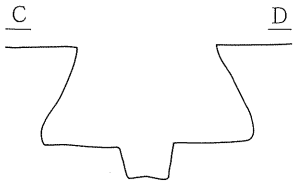
第137図　SKF 16・SKF 17 フラスコ状土坑とその出土遺物

【SKF 18】
1　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。
2　暗褐色土(7.5Y3/4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(10YR2/3) 地山塊(中)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
4　褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)・炭(中粒)中量、地山(大粒)混入。しまり、弾性有り。
5　褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
6　にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　暗褐色土(10YR3/3) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
8　褐色土(10YR4/6) 地山塊(中)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
10　褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
11　暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。
12　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。
13　オリーブ褐色土(2.5Y4/4) シラス化。地山(大粒)多量混入。ややしまり有り。
14　明黄褐色土(10YR6/6) シラス。地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
15　褐色土(7.5YR4/6) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
16　黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。
17　にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。

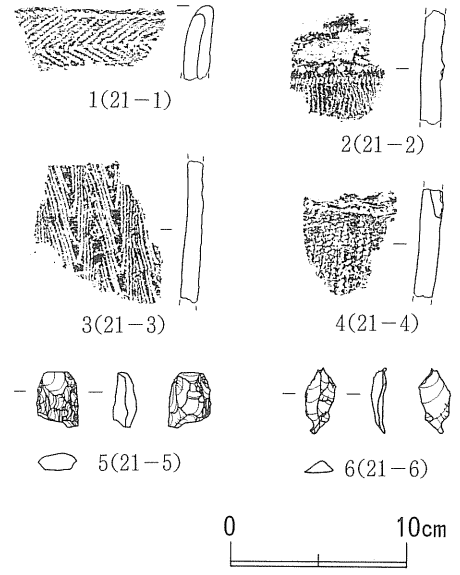


第138図　SKF 18 フラスコ状土坑とその出土遺物



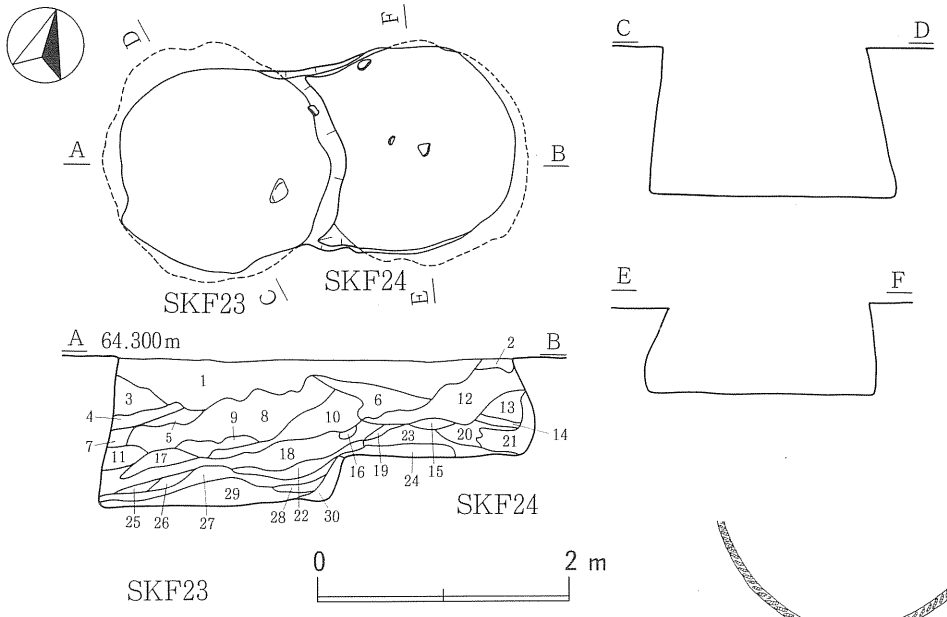


【SKF 21】
1 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
2 黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり強い。
3 黒褐色土(7.5YR2/2) 地山(大粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり強く、弾性有り。ややしまり有り。
4 暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 地山(中粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。
5 褐色土(10YR4/6) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。
6 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量、地山(大粒)混入。しまり有り。
7 黄褐色土(10YR5/6) シラス。地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
8 黒褐色土(10YR2/3) 地山(大粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9 黄褐色土(10YR5/8) シラス。地山(大粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
10 明黄褐色土(10YR6/6) シラス。ややしまり有り。
11 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。

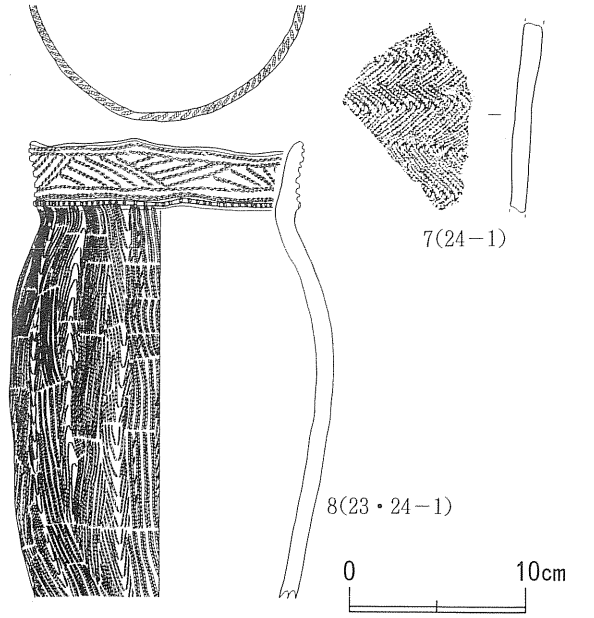


SKF21

SKF23・SKF24



【SKF 23・SKF 24】
1 黒褐色土(10YR2／2) 地山(大粒)中量、炭(中粒)多量、地山塊(小)混入。しまり有り。
2 黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり強い。
3 明黄褐色土(10YR6／8) 地山(中粒)多量混入。ややしまり有り。
4 明黄褐色土(10YR6／8) 地山塊。しまり強い。
5 極暗褐色土(7.5YR2／3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
6 褐色土(10YR4／4) 地山(大粒)中量、軽石塊(中)混入。ややしまり有り。弾性有り。
7 明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。地山(中粒)中量混入。
8 明黄褐色土(10YR6／8) 地山(大粒)・軽石塊(中)多量混入。
9 褐色土(10YR4／4) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
10 黄褐色土(10YR5／8) シラス。炭(中粒)少量、軽石塊(中)多量混入。ややしまり有り。
11 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。ややしまり有り。
12 明黄褐色土(10YR6／6) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
13 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。しまり有り。
14 明黄褐色土(10YR7／6) 地山塊。しまり強い。
15 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
16 黒褐色土(7.5YR3／2) 地山(小粒)やや多量、炭(中粒)少量混入。
17 明黄褐色土(10YR6／8) 地山(中粒)中量、酸化鉄混入。ややしまり有り。
18 明黄褐色土(10YR7／6) 軽石(大粒)シラス。軽石(大粒)混入。しまり有り。
19 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
20 明黄褐色土(10YR6／6) 地山(中粒)やや多量混入。酸化鉄混入。
21 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山塊(大)多量混入。しまり有り。
22 明黄褐色土(10YR6／6) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。ラミナ。
23 暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
24 黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)中量混入。しまり強い。
25 浅黄橙色土(10YR8／4) シラス。
26 明黄褐色土(10YR6／8) 地山(中粒)中量、軽石(大粒)混入。
27 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
28 暗褐色土(10YR3／4) 地山(小粒)少量混入。
29 暗褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
30 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。ややしまり有り。



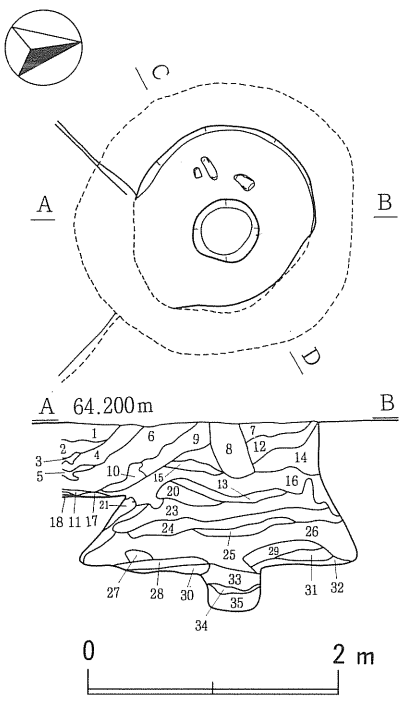
第139図　SKF 21・SKF 23・SKF 24 フラスコ状土坑とその出土遺物

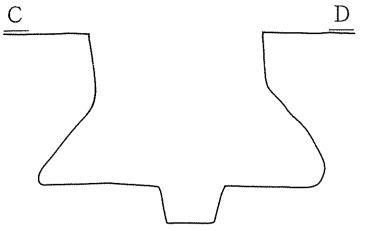
《重　　複》　ＳＫＦ24フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が新しい。
《規　　模》　開口部長径1.68ｍ×短径1.62ｍ、坑底部長径1.83ｍ×短径1.94ｍ、深さ1.06ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　18層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器の破片が出土し、ＳＫＦ24出土の破片と接合した（23•24－１）。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

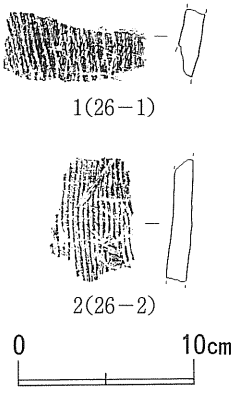
ＳＫＦ　24 フラスコ状土坑（第139図、図版112）
《位　　置》　ＮＧ63•64グリッドに位置する。
《確　　認》　ＳＫＦ23とともに双円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫＦ23フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が古い。
《規　　模》　開口部長径1.70ｍ×短径1.65ｍ、坑底部長径1.81ｍ×短径1.81ｍ、深さ0.78ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中からＳＫＦ23出土の破片と接合（23•24－１）した深鉢土器の破片と、別個体の破片（24－１）が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　26 フラスコ状土坑（第140図、図版113）
《位　　置》　ＮＨ64グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＩ25竪穴住居跡と重複しているが、本土坑が古い。
《規　　模》　開口部長径1.58ｍ×短径1.36ｍ、坑底部長径2.26ｍ×短径2.26ｍ、深さ1.10ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　35層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ33㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から土器片が２点出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　27 フラスコ状土坑（第140図）
《位　　置》　ＮＩ64グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫＦ81フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が新しい。



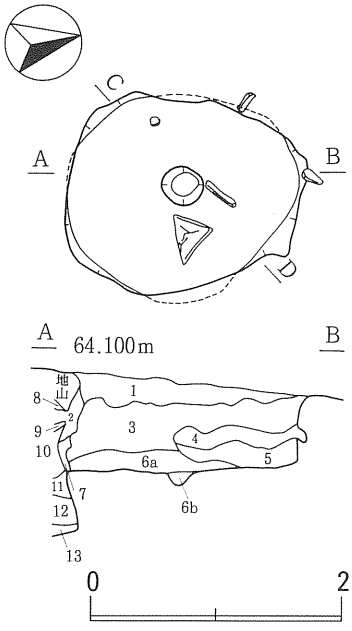


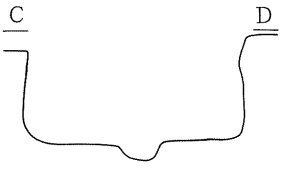


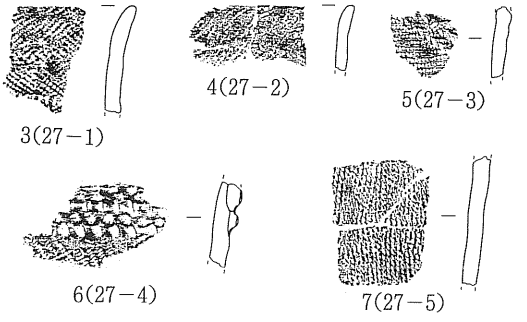
【SKF 26】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒) 中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
3　明黄褐色土(10YR6／6) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
4　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。酸化鉄混入。しまり強い。
8　黒色土(7.5YR2／1) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
9　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。酸化鉄混入。しまり有り。
10　明黄褐色土(10YR6／8) 地山塊(中)多量混入。しまり有り。
11　黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
12　黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。酸化鉄混入。しまり有り。
13　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。酸化鉄混入。しまり有り。
14　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
15　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
16　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
17　明黄褐色土(2.5Y6／8) シラス。地山(中粒)中量混入。しまり強い。
18　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)ごく少量混入。しまり有り。
19　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)多量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
20　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
21　にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。地山(中粒)中量混入。ややボソボソしている。
22　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。
23　褐色土(10YR4／6) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。弾性有り。
24　暗褐色土(7.5YR3／4) 地山(中粒)多量、炭(中粒)中量、地山塊(中)混入。
　　ややしまり有り。
25　にぶい黄橙色土(10YR7／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
26　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シラス。地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
27　褐色土(10YR4／6) 地山(中粒)少量混入。
28　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
29　28に同じ。
30　黒色土(7.5YR2／1) 地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
31　黒褐色土(7.5YR3／2) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
32　30に同じ。
33　にぶい黄褐色土(10YR6／4) 地山(中粒)少量、地山塊(中)混入。
　　ややボソボソしている。
34　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややボソボソしている。
35　にぶい黄褐色土(10YR5／4) シラス。地山(中粒)中量混入。ややボソボソしている。

SKF26

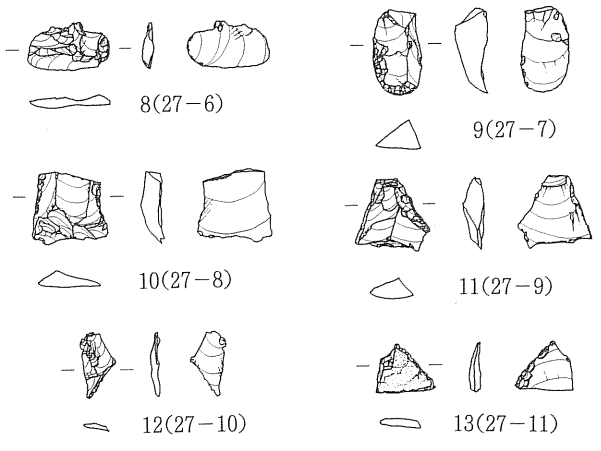
SKF27

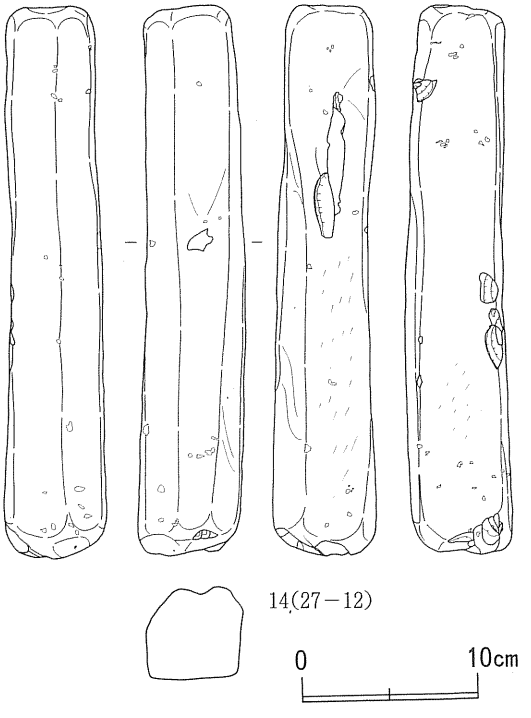






【SKF 27】
1　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3　黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
4　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5　黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6a 黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
6b 暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
7　黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
8　褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。
9　にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
10　にぶい黄褐色土(10YR6/4) 地山(中粒)多量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
11　にぶい黄褐色土(10YR6/4) 地山(中粒)多量、炭(大粒)少量混入。
12　にぶい黄褐色土(10YR6/3) シラス。地山(小粒)多量、炭(大粒)中量混入。
13　にぶい黄橙色土(10YR7/3) シラス。地山(小粒)多量、炭(中粒)中量混入。





第140図　SKF 26・SKF27 フラスコ状土坑とその出土遺物

《規　　模》　開口部長径1.86ｍ×短径1.54ｍ、坑底部長径1.82ｍ×短径1.68ｍ、深さ0.70ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ13㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片が５点と、石匙１点（６）、掻器１点（７）、微小剥離痕のある石器剥片４点（８～13）、擦り石１点（14）、偏平礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　28 フラスコ状土坑（第141図、図版113）

《位　　置》　ＮＨ64、ＮＩ64グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ29フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.38ｍ×短径1.35ｍ、坑底部長径1.77ｍ×短径1.69ｍ、深さ0.95ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　中央部に深さ18㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片７点と、石匙１点（８）、微小剥離痕のある石器剥片１点（９）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　29 フラスコ状土坑（第141図、図版113～図版114）

《位　　置》　ＮＩ64グリッドに位置する。

《確　　認》　ＳＫＦ28とともに不整な暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ28フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.09ｍ×短径1.01ｍ、坑底部長径1.85ｍ×短径1.50ｍ、深さ1.22ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるもののほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器２個体（１・２）と土器片が５点出土した。

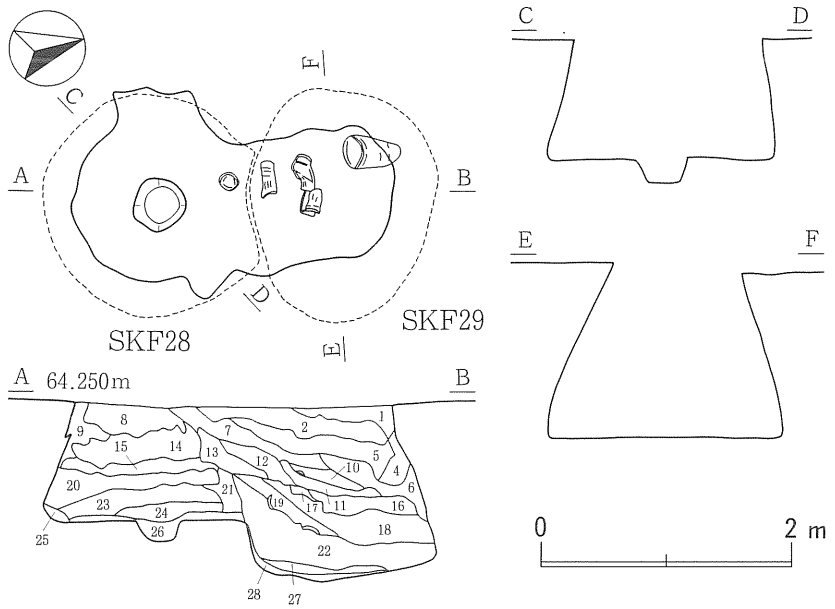
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　31 フラスコ状土坑（第142図・第143図、図版114～図版116）

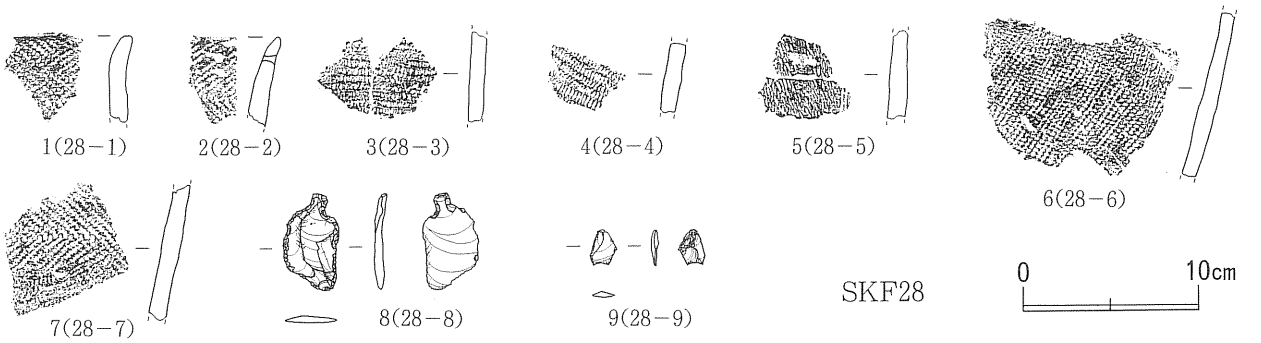
《位　　置》　ＮＨ63・64グリッドに位置する。

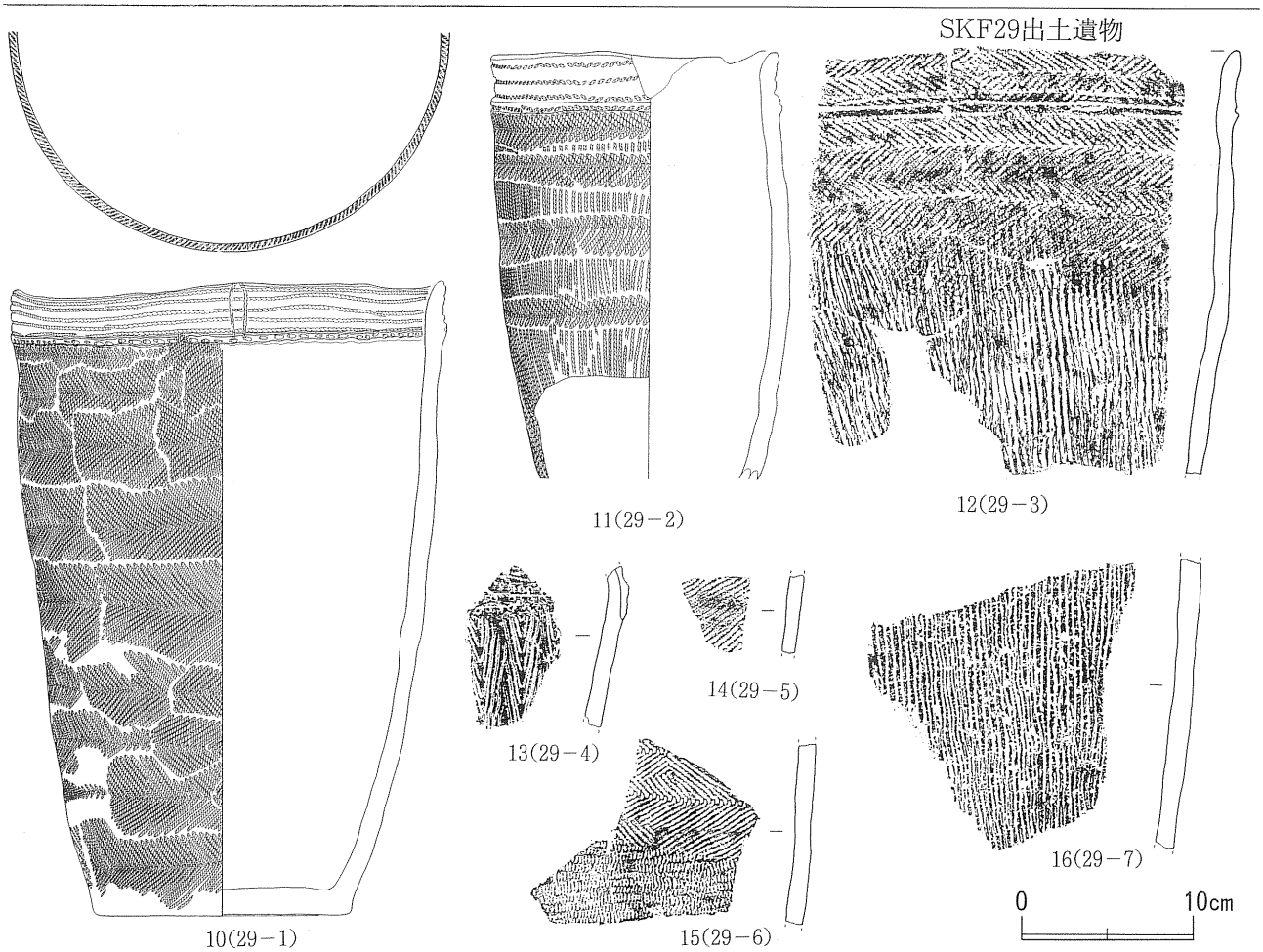
《確　　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。



【SKF 28・SKF 29】 ※3欠番
1 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。
2 黄褐色土(10YR5/8) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
4 暗褐色土(10YR3/4) 地山(大粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
5 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
6 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
7 黄褐色土(2.5Y5/6) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8 黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
9 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
10 黒褐色土(10YR2/3) 地山(大粒)・炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
11 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
12 暗褐色土(10YR3/4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
13 黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)多量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
14 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り、弾性有り。
15 明黄褐色土(10YR6/6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
16 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
17 黄褐色土(10YR5/8) シラス。地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややボッボッしている。
18 明黄褐色土(10YR6/8) シラス。地山(中粒)多量混入。
19 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。
20 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
21 明黄褐色土(10YR6/6) 地山(中粒)中量混入。
22 黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。
23 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
24 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
25 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(大粒)少量混入。
26 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
27 暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。
28 地山





第141図　SKF 28・SKF 29 フラスコ状土坑とその出土遺物

《規　　模》　開口部長径1.36ｍ×短径1.20ｍ、坑底部長径2.12ｍ×短径2.02ｍ、深さ1.40ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器が５個体分（９•10•13•14•20）と、土器片15点、石槍２点（21•22)、篦状石器１点（23)、石匙破片２点（24•25)、削器２点（26•27)、微小剥離痕のある石器剥片２点（28•29）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　32 フラスコ状土坑（第143図、図版116～図版117）

《位　　置》　ＮＨ63•64グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.24ｍ×短径1.24ｍ、坑底部長径1.64ｍ×短径1.65ｍ、深さ1.06ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器が２個体分（４・５）と土器片３点、石槍破片１点（６)、削器３点（７～９)、石錘１点（10)、礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　33 フラスコ状土坑（第144図）

《位　　置》　ＮＨ63グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ42竪穴住居跡と重複しているが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.20ｍ×短径1.02ｍ、坑底部長径1.52ｍ×短径1.44ｍ、深さ1.18ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　24層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるもののほぼ平坦である。

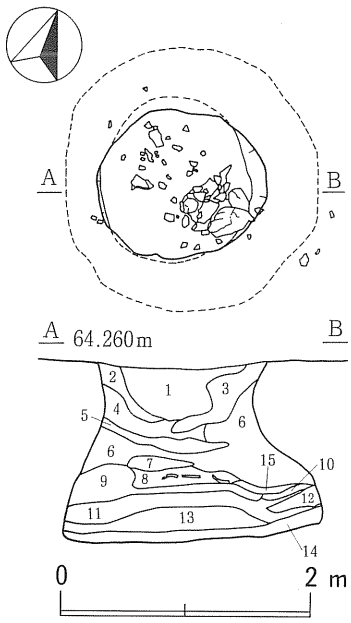
《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

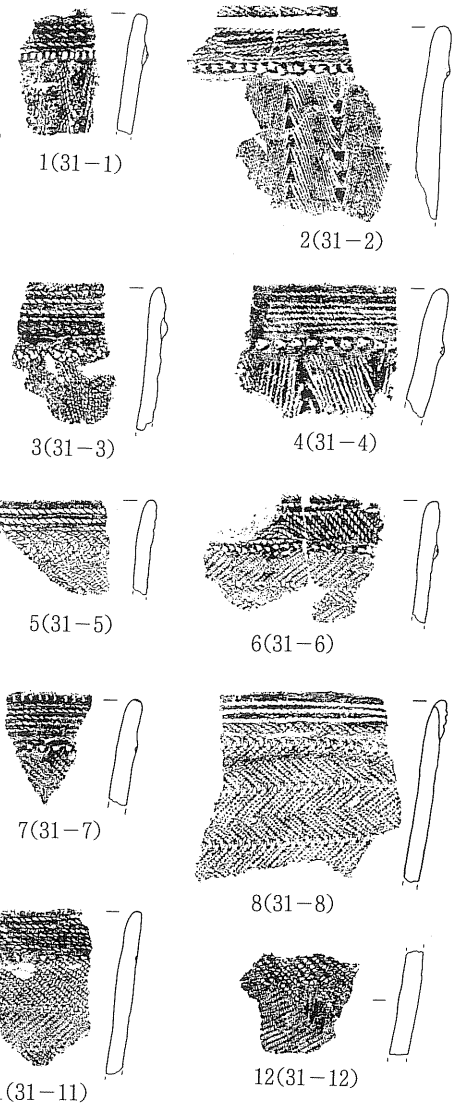
ＳＫＦ　34 フラスコ状土坑（第144図、図版118）

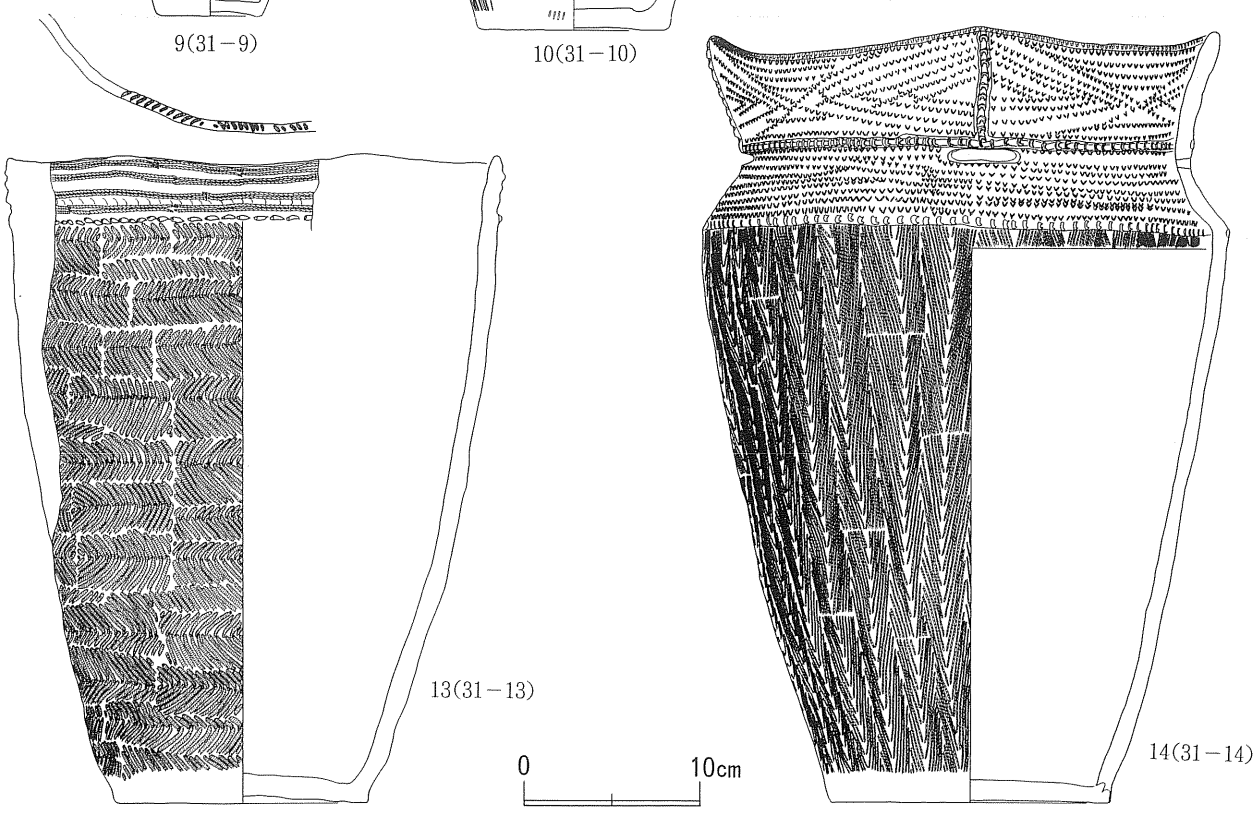
《位　　置》　ＮＧ63グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

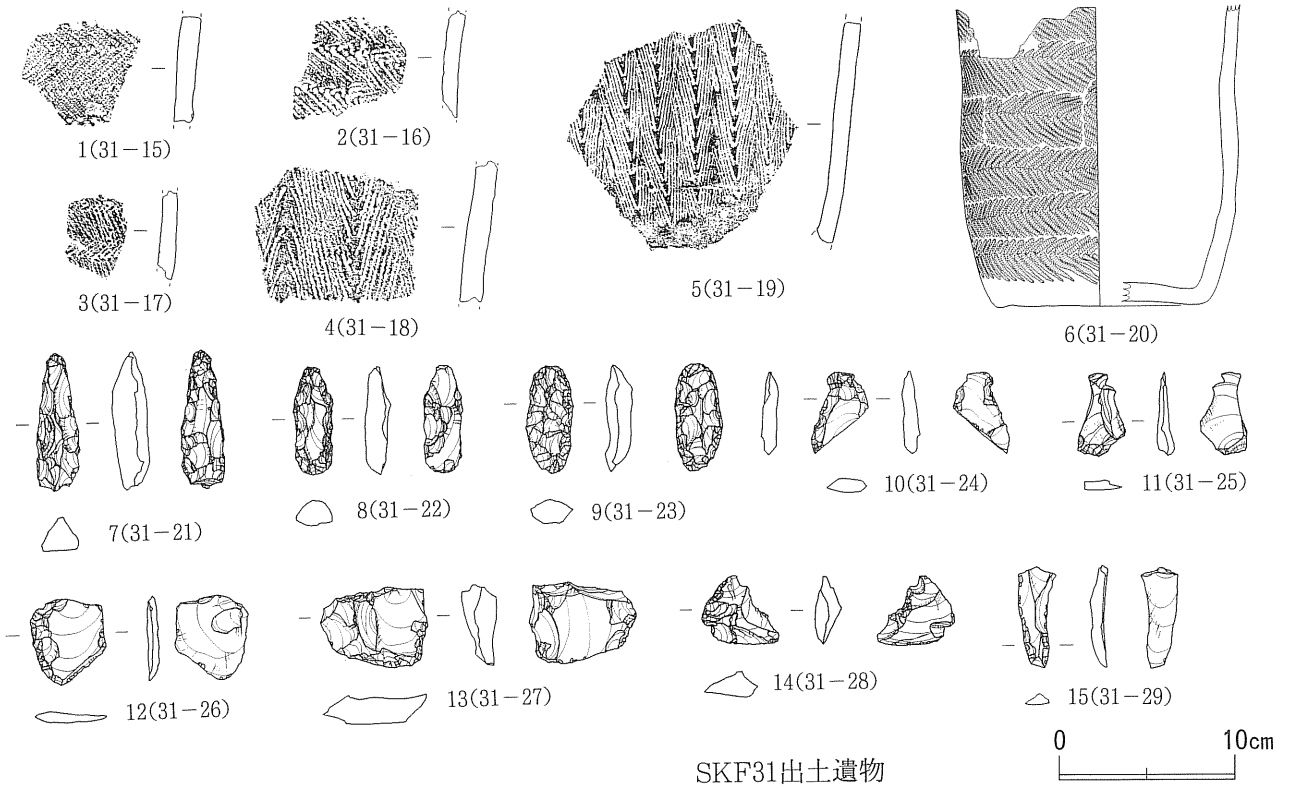


【SKF 31】
1　黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、酸化鉄混入。ややしまり有り。
4　褐色土(10YR[illegible]) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量、酸化鉄混入。しまり有り。
5　黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量、酸化鉄混入。しまり有り。
6　明黄褐色土(10YR6/8) シラス。地山(中粒)中量、酸化鉄混入。
7　褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量、酸化鉄混入。ややしまり有り。
8　黒褐色土(7.5YR3/2) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
9　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
10　にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。ややしまり有り。
11　黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)中量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
12　にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。ややしまり有り。
13　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
14　にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。ややしまり有り。
15　黄褐色土(10YR5/6) 地山(中粒)少量混入。

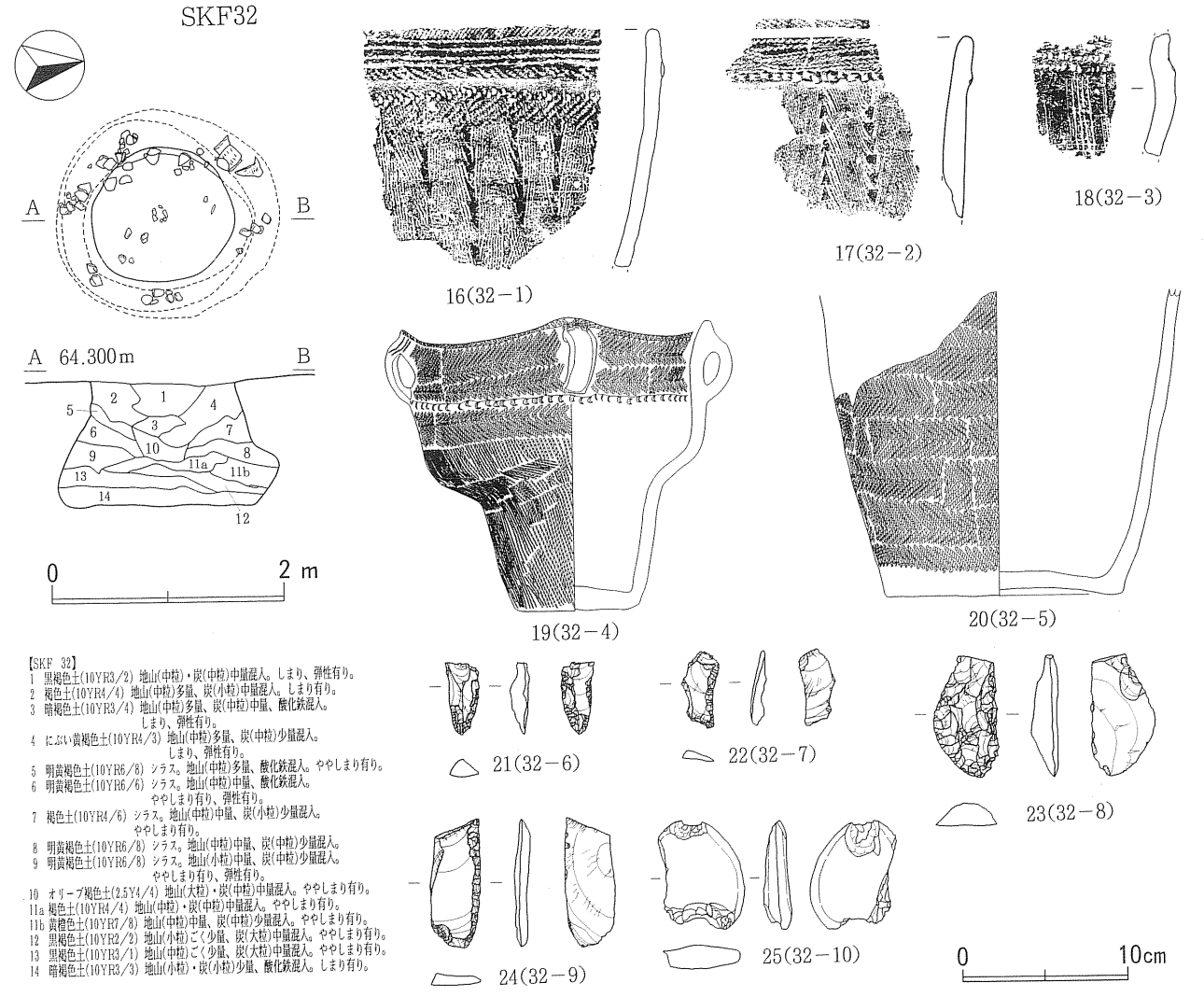




第142図　SKF 31 フラスコ状土坑とその出土遺物

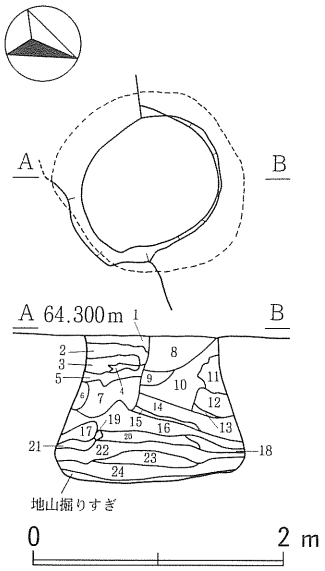


SKF31出土遺物



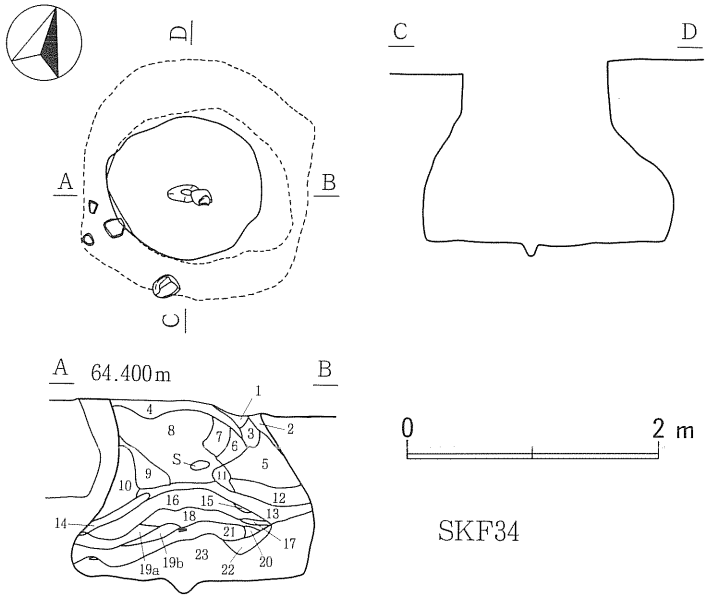
【SKF 32】
1　黒褐色土(10YR3/2)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
2　褐色土(10YR4/4)　地山(中粒)多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　暗褐色土(10YR3/4)　地山(中粒)多量、炭(中粒)中量、酸化鉄混入。しまり、弾性有り。
4　にぶい黄褐色土(10YR4/3)　地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
5　明黄褐色土(10YR6/8)　シラス。地山(中粒)多量、酸化鉄混入。ややしまり有り。
6　明黄褐色土(10YR6/6)　シラス。地山(中粒)中量、酸化鉄混入。ややしまり有り、弾性有り。
7　褐色土(10YR4/6)　シラス。地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
8　明黄褐色土(10YR6/8)　シラス。地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
9　明黄褐色土(10YR6/8)　シラス。地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り、弾性有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4/4)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
11a　褐色土(10YR4/4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
11b　黄橙色土(10YR7/8)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
12　黒褐色土(10YR2/2)　地山(小粒)ごく少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
13　黒褐色土(10YR3/1)　地山(中粒)ごく少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
14　暗褐色土(10YR3/3)　地山(小粒)・炭(小粒)少量、酸化鉄混入。しまり有り。

第143図　SKF 31・SKF 32 フラスコ状土坑とその出土遺物



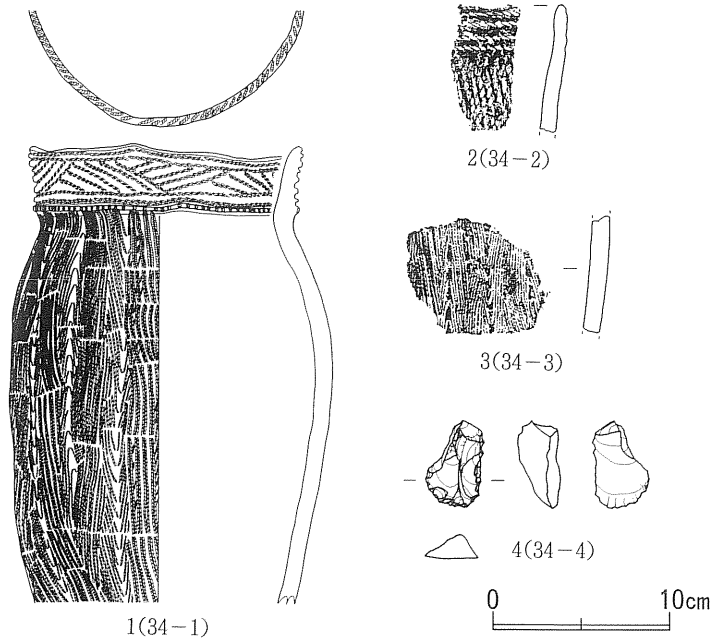
【SKF　33】
1　黒色土(10YR2／1) 地山(大粒)中量混入。しまり強い。
2　明黄褐色土(2.5Y5／6) 地山(中粒)ごく多量、炭(小粒)多量混入。しまり強い。
3　明黄褐色土(2.5Y6／8) 地山(大粒)ごく少量、炭(小粒)少量、地山塊(小)混入。しまり有り。
4　黒色土(10YR1.7／1) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
5　明黄褐色土(10YR6／8) 地山(大粒)ごく多量、炭(小粒)少量、地山塊(小)混入。ややしまり有り。
6　にぶい黄色土(2.5Y6／4) シラス。地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
7　褐色土(10YR4／4) 地山(大粒)多量、炭(中粒)中量、地山塊(小)混入。ややしまり有り。
8　黒褐色土(10YR2／3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
10　黒褐色土(7.5YR3／2) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
11　明黄褐色土(10YR6／6) シラス。地山(中粒)多量、炭(大粒)少量混入。
12　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シラス。地山(小粒)多量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
13　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)多量混入。ややしまり有り。
14　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シラス。地山(小粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
15　黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。
16　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。ラミナ発達。
17　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山(小粒)多量混入。
18　にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。地山(小粒)多量混入。しまり有り。
19　明黄褐色土(10YR6／8) 地山(小粒)ごく少量混入。ボソボソしている。
20　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
21　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。ややボソボソしている。
22　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。ラミナ。
23　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。ラミナ。
24　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。

SKF33



【SKF　34】
1　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)中量混入。しまり強い。
2　暗褐色土(10YR3/4) 地山(大粒)・炭(中粒)少量、地山塊(大)混入。しまり有り。
3　褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、地山塊(中)混入。しまり有り。
4　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり強い。
5　黄褐色土(10YR5/6) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量、酸化鉄混入。
6　褐色土(10YR4/6) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
7　暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。
8　暗褐色土(10YR3/3) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　黄褐色土(2.5Y5/6) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
10　黄褐色土(10YR5/6) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
11　褐色土(10YR4/4) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
12　明黄褐色土(10YR7/6) シラス。地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
13　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
14　明黄褐色土(10YR7/6) シラス。地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
15　浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。地山(中粒)中量、しまり有り。
16　黄褐色土(10YR5/8) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
17　浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
18　暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)多量混入。
19a　褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)多量、炭(大粒)中量混入。
19b　にぶい黄褐色土(10YR6/4) シラス。地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
20　浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。地山(大粒)・炭(大粒)少量、酸化鉄混入。
21　黒褐色土(10YR2/3) 地山(小粒)中量、炭(大粒)・酸化鉄多量混入。ややしまり有り。
22　にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
23　にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。地山(中粒)・炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。

SKF34



第144図　SKF 33・SKF 34 フラスコ状土坑とその出土遺物

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.18ｍ×短径1.16ｍ、坑底部長径1.90ｍ×短径1.76ｍ、深さ1.42ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　23層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ10㎝の小さな柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器が１個体と土器片２点、削器が１点出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　35 フラスコ状土坑（第145図）

《位　　置》　ＮＦ61･62グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.08ｍ×短径1.02ｍ、坑底部長径2.34ｍ×短径2.18ｍ、深さ0.96ｍ。

《平 面 形》　不整な楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　11層に分層した。下位の層は自然堆積と思われるが、上位の層は人為的に埋められた可能性がある。

《底　　面》　やや凹凸がある。

《遺　　物》　埋土の上位層から土器片８点、石鏃２点（９･10）、削器２点（12･13）、微小剥離痕のある石器剥片１点（11）、抉り入り半円状偏平打製石器１点（14）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　36 フラスコ状土坑（第145図、図版118）

《位　　置》　ＮＥ62グリッドに位置する。

《確　　認》　双円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ67フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.62ｍ×短径1.48ｍ、坑底部長径1.76ｍ×短径1.69ｍ、深さ0.88ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

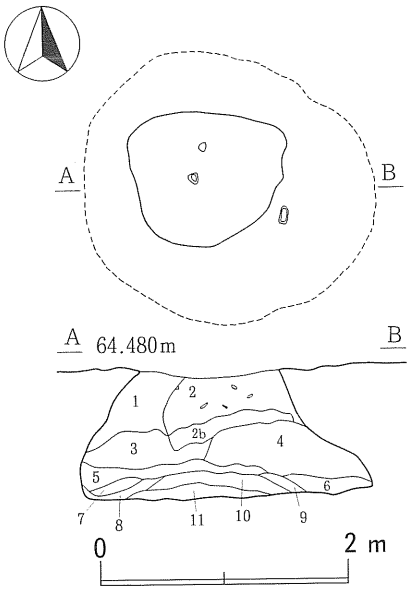
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ７㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片５点と石匙破片１点（６）、擦り石１点（７）、くぼみ石１点（８）、礫などが出土した。

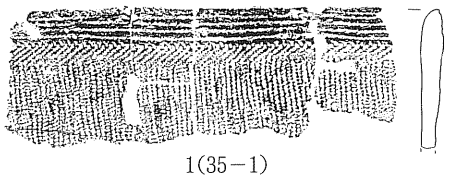
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　37 フラスコ状土坑（第146図、図版118）

《位　　置》　ＮＦ60･61、ＮＧ60･61グリッドに位置する。

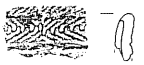


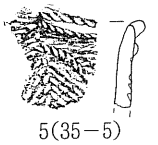
【SKF 35】
1 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。左下ほどボソボソ。
2 黒色土(10YR2/1) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
2b 黒色土(7.5YR2/1) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3 黒色土(5YR1.7/1) 地山(小粒)少量混入。
4 黒色土(7.5YR1.7/1) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
5 黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
6 黒色土(2.5Y2/1) 地山(大粒)ごく少量混入。
7 黒色土(7.5YR2/1) 地山(中粒)中量混入。
8 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)中量混入。
9 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)多量混入。しまり有り。
10 黄褐色土(10YR5/6) 地山(中粒)多量混入。しまり有り。
11 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。


1(35－1)

2(35－2)

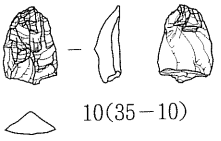
3(35－3)

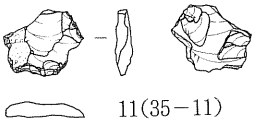

4(35－4)


5(35－5)

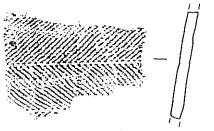
6(35－6)

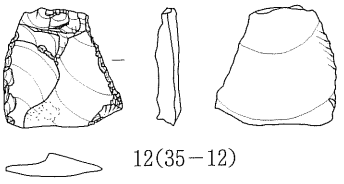
9(35－9)

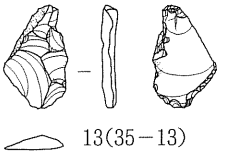

10(35－10)

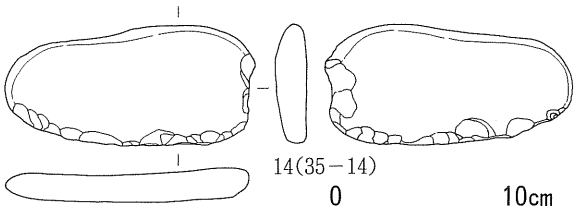

11(35－11)

7(35－7)


8(35－8)


12(35－12)

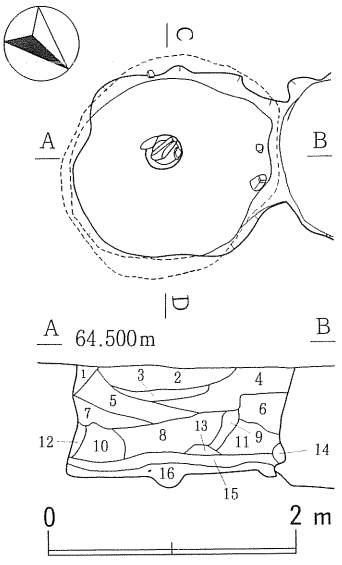

13(35－13)


14(35－14)

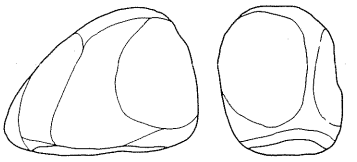
0　10cm

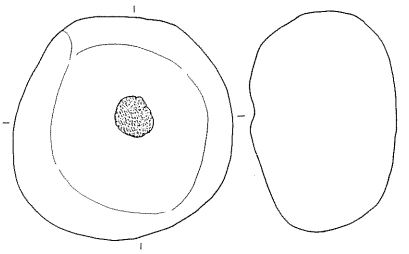
SKF35

SKF36



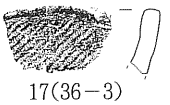
【SKF 36】
1 黒褐色土(10YR3/2) 地山塊(中)多量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
2 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
3 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
4 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量、地山塊(中)混入。しまり、弾性有り。
5 暗褐色土(10YR3/4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
6 明黄褐色土(10YR6/8) シラス。地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
7 黒褐色土(10YR3/2) 地山塊(中)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
8 黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
9 暗褐色土(10YR3/4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
10 明黄褐色土(10YR6/8) 炭(小粒)少量混入。しまり強い。
11 橙色土(7.5YR6/8) シラス。地山(中粒)多量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
12 黄褐色土(2.5Y5/6) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
13 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
14 にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。ややしまり有り。
15 黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
16 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。

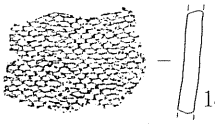

21(36－7)

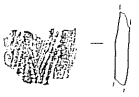

22(36－8)

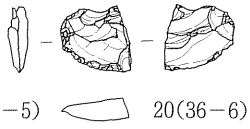
15(36－1)

16(36－2)


17(36－3)


18(36－4)


19(36－5)


20(36－6)

0　10cm

第145図　SKF 35・SKF 36 フラスコ状土坑とその出土遺物

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.08ｍ×短径0.87ｍ、坑底部長径1.49ｍ×短径1.32ｍ、深さ0.97ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　12層に分層した。下位の層は自然堆積と思われるが、上位の層は人為的に埋めた可能性がある。また、炭化物の混入する層が上・下位を問わず多い。

《底　　面》　ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器片１点と石匙１点（２）、削器１点（４）、掻器１点（５）、微小剥離痕のある石器剥片１点（３）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　38 フラスコ状土坑（第146図、図版119）

《位　　置》　ＮＧ61グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.92ｍ×短径0.84ｍ、坑底部長径1.54ｍ×短径1.52ｍ、深さ1.20ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積か人為的堆積かは不明である。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から大木式土器様式の土器片（１）を含む土器片２点（１・２）と、くぼみ石１点（３）、半円状偏平打製石器１点（４）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　39 フラスコ状土坑（第146図）

《位　　置》　ＮＧ61・62グリッドに位置する。

《確　　認》　明黄褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.62ｍ×短径1.56ｍ、坑底部長径1.94ｍ×短径1.78ｍ、深さ1.25ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

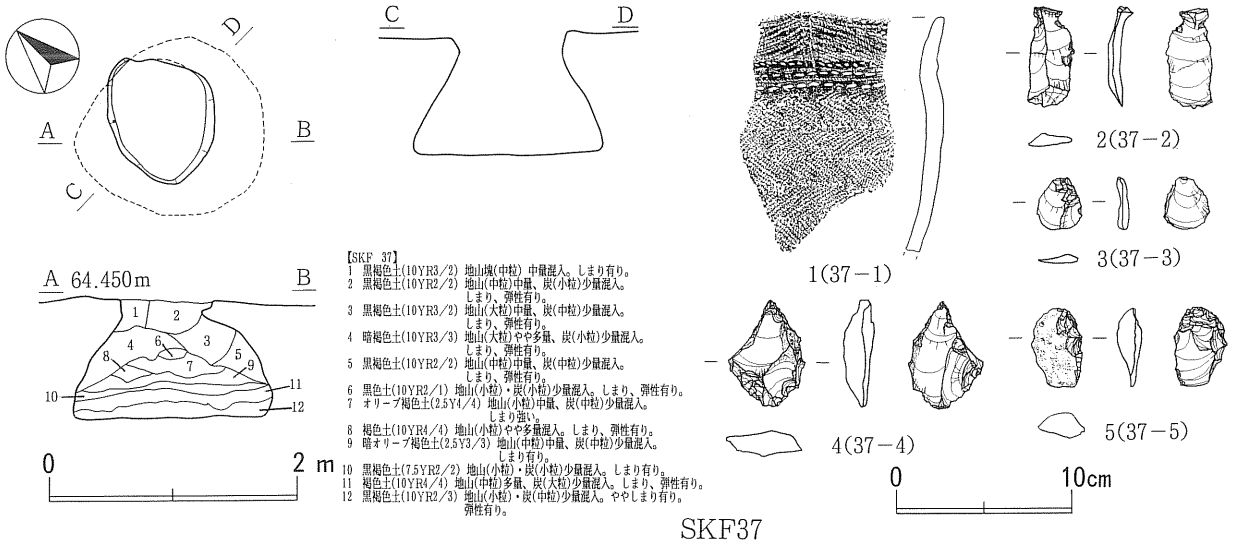
《埋　　土》　30層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

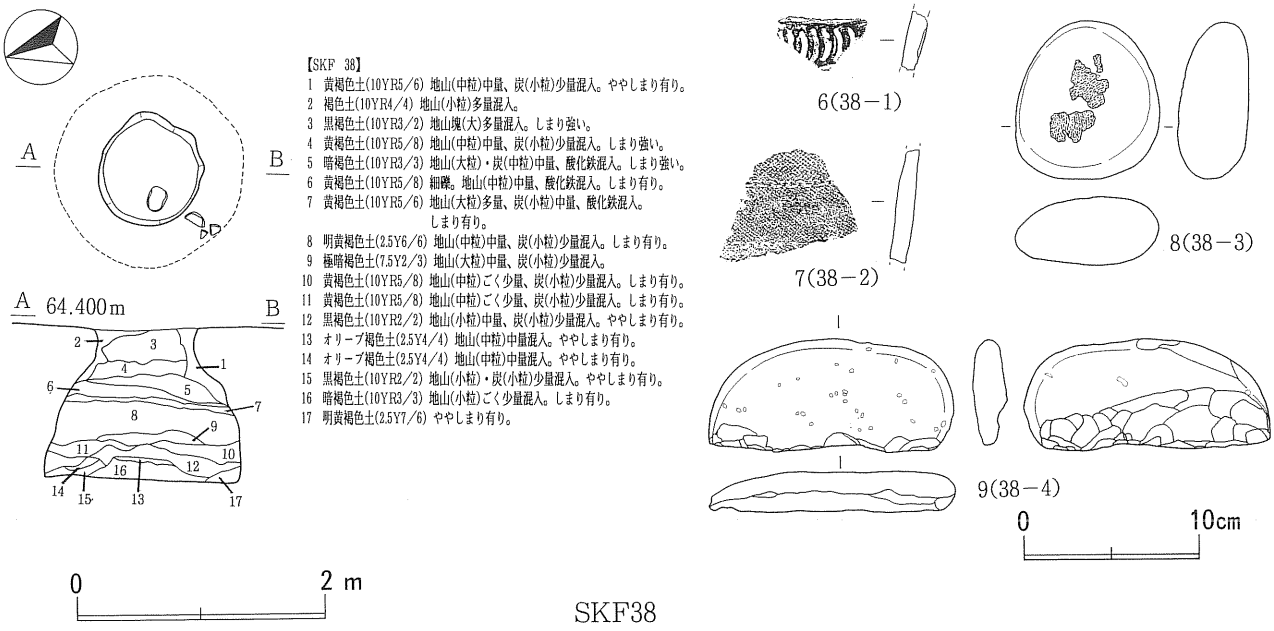
《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　43 フラスコ状土坑（第147図、図版119）



【SKF 37】
1 黒褐色土(10YR3/2) 地山塊(中粒) 中量混入。しまり有り。
2 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
3 黒褐色土(10YR3/2) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
4 暗褐色土(10YR3/3) 地山(大粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
5 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
6 黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
7 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
8 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)やや多量混入。しまり、弾性有り。
9 暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
10 黒褐色土(7.5YR2/2) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
11 褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)多量、炭(大粒)少量混入。しまり、弾性有り。
12 黒褐色土(10YR2/3) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。

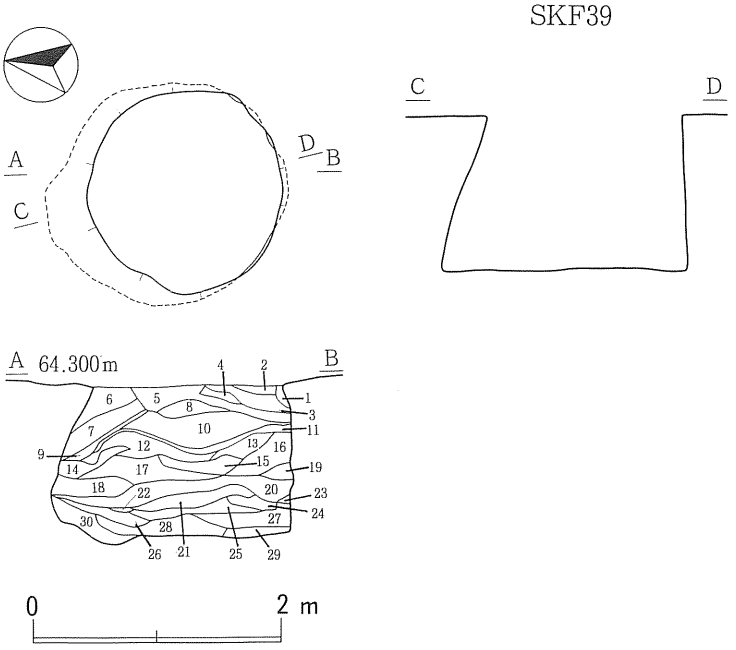
SKF37



【SKF 38】
1 黄褐色土(10YR5/6) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
2 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)多量混入。
3 黒褐色土(10YR3/2) 地山塊(大)多量混入。しまり強い。
4 黄褐色土(10YR5/8) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
5 暗褐色土(10YR3/3) 地山(大粒)・炭(中粒)中量、酸化鉄混入。しまり強い。
6 黄褐色土(10YR5/8) 細礫。地山(中粒)中量、酸化鉄混入。しまり有り。
7 黄褐色土(10YR5/6) 地山(大粒)多量、炭(小粒)中量、酸化鉄混入。しまり有り。
8 明黄褐色土(2.5Y6/6) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
9 極暗褐色土(7.5Y2/3) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。
10 黄褐色土(10YR5/8) 地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
11 黄褐色土(10YR5/8) 地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
12 黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
13 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
14 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
15 黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
16 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)ごく少量混入。しまり有り。
17 明黄褐色土(2.5Y7/6) ややしまり有り。

SKF38

SKF39



【SKF 39】
1 黄褐色土(10YR5/8) 地山(中粒)中量混入。弾性有り。
2 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3 明黄褐色土(2.5Y7/6) 地山(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
4 明黄褐色土(2.5Y6/6) 地山(中粒)中量混入。しまり強い。
5 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山(大粒)・炭(中粒)中量、地山塊(小)少量混入。しまり有り。
6 明黄褐色土(10YR6/8) 地山(大粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
7 明黄褐色土(10YR7/6) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
8 明黄褐色土(2.5Y7/6) 地山(中粒)やや多量、地山(大粒)ごく少量混入。しまり強い。
9 明黄褐色土(2.5Y6/6) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
10 にぶい黄橙色土(10YR7/4) 細礫。地山(大粒)中量混入。しまり有り。
11 褐色土(10YR4/4) 地山(大粒)ごく少量混入。
12 明黄褐色土(2.5Y6/8) 細礫。地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、地山(大粒)ごく少量混入。酸化鉄混入。しまり有り。
13 明黄褐色土(10YR6/8) 細礫。地山(大粒)少量混入。ややしまり有り。
14 明黄褐色土(10YR7/6) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
15 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 細礫。地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
16 明黄褐色土(10YR6/6) 地山(小粒)やや多量混入。ややしまり有り。
17 明黄褐色土(10YR6/6) 細礫。地山(中粒)中量、酸化鉄混入。ややボソボソしている。
18 明黄褐色土(10YR6/6) 炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
19 明黄褐色土(10YR6/8) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
20 明黄褐色土(10YR6/6) 細礫。地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
21 褐色土(7.5Y4/4) 地山(小粒)多量混入。ややしまり有り。
22 明黄褐色土(10YR6/8) 地山。
23 明黄褐色土(10YR7/6) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
24 明黄褐色土(10YR6/8) 地山(小粒)中量混入。
25 黒褐色土(7.5YR3/2) 地山(大粒)中量混入。
26 褐色土(10YR4/6) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
27 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)多量、炭(小粒)少量混入。
28 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
29 黒褐色土(10YR3/2) 地山(大粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
30 明黄褐色土(10YR7/6) ややしまり有り。

第146図　SKF 37・SKF 38・SKF 39 フラスコ状土坑とその出土遺物

《位　　置》　ＮＨ63、ＮＩ63グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.08ｍ×短径0.99ｍ、坑底部長径1.94ｍ×短径1.86ｍ、深さ1.42ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　22層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ11㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と石匙１点（３）、篦状石器１点（５）、片面調整剥離した石器剥片１点（４）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　44 フラスコ状土坑（第147図）

《位　　置》　ＮＩ63グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.18ｍ×短径1.10ｍ、坑底部長径2.04ｍ×短径1.86ｍ、深さ1.39ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　18層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　中華鍋底状に中央部がやや深くなっている。

《遺　　物》　埋土中から土器片５点と、石錘１点（６）、擦り石１点（７）、くぼみ石１点（８）、石皿破片１点（９）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　45 フラスコ状土坑（第148図）

《位　　置》　ＮＪ62グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.57ｍ×短径1.48ｍ、坑底部長径1.95ｍ×短径1.75ｍ、深さ1.34ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

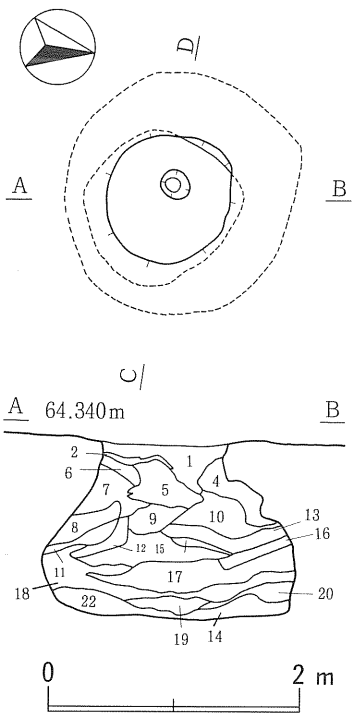
《埋　　土》　22層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

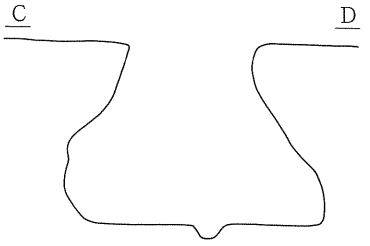
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ10㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片が１点出土した。

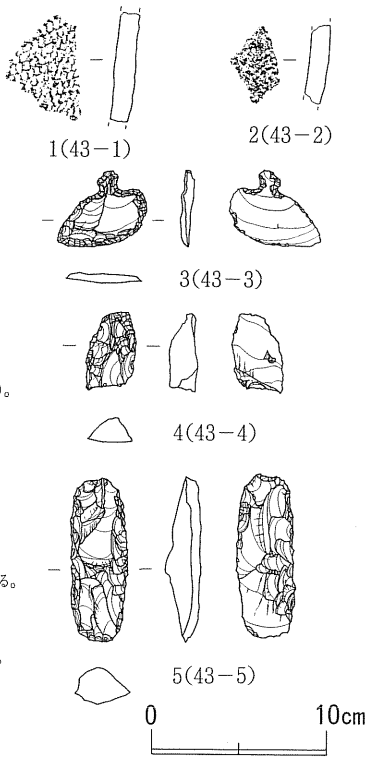
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　47 フラスコ状土坑（第148図・第149図、図版120）

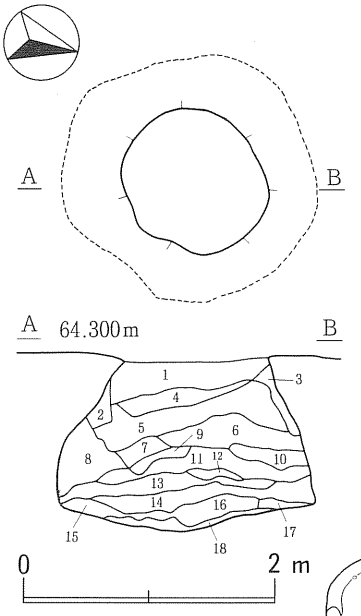




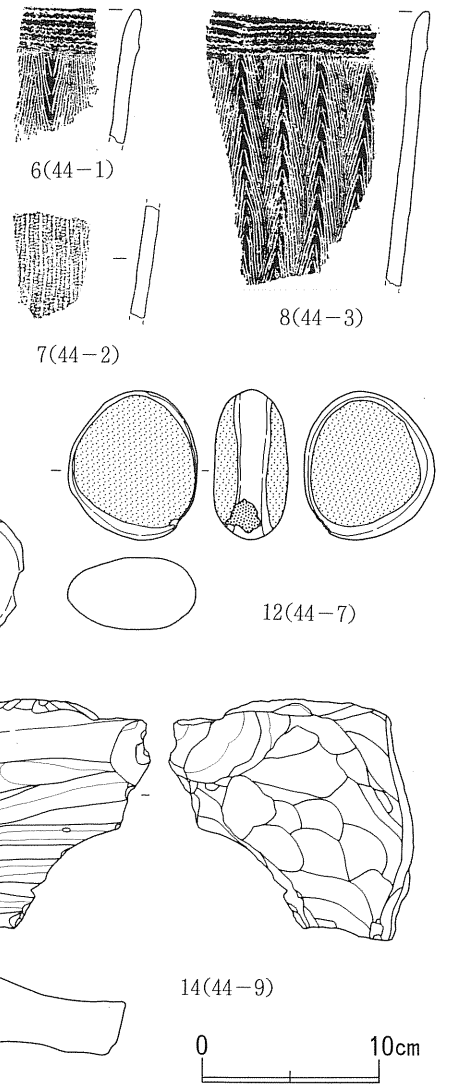
【SKF 43】 ※3.21欠番
1 黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
2 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)中量、地山(大粒)混入。しまり、弾性有り。
4 黒褐色土(10YR2／3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。
5 黒褐色土(10YR2／2) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
6 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
7 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)多量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
8 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山(大粒)中量混入。ややしまり有り。
9 暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
10 黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
11 黄褐色土(10YR5／8) 地山(中粒)多量混入。
12 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。ラミナ発達。
13 オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(小粒)中量混入。
14 暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)中量混入。
15 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
16 にぶい黄橙色土(10YR6／4) 地山(大粒)多量、炭(大粒)少量混入。ボソボソしている。
17 暗褐色土(10YR3／4) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
18 にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
19 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
20 黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(大)多量、炭(中粒)少量混入。ややボソボソしている。
22 にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。地山(小粒)中量混入。しまり有り。



SKF43

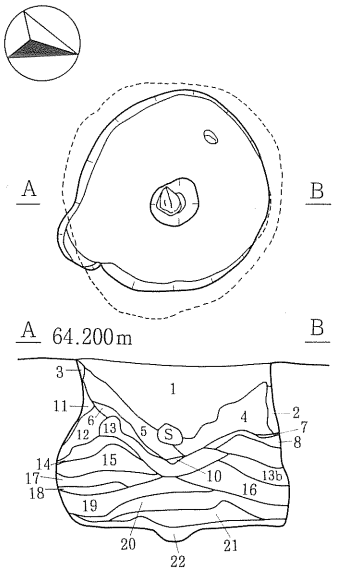


【SKF 44】
1 黒褐色土(10YR3／2) 地山(大粒)多量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
2 黒褐色土(10YR2／3) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。
3 暗褐色土(10YR3／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
4 黒褐色土(10YR3／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
5 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
6 黒褐色土(10YR2／3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。ラミナ発達。
7 暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
8 黒褐色土(10YR2／3) 地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。
9 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
10 黒褐色土(10YR2／3) 地山(小粒)・炭(大粒)少量混入。
11 暗褐色土(10YR3／3) 地山塊(中)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
12 黒褐色土(10YR3／2) 地山(大粒)少量混入。
13 暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ラミナ発達。
14 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量、地山塊(中)混入。
15 にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。ややしまり有り。
16 15に同じ。
17 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
18 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)中量混入。



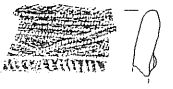
SKF44

第147図　SKF 43・SKF 44 フラスコ状土坑とその出土遺物



【SKF 45】
1 黒褐色土(7.5YR3/2) 地山(大粒)やや多量、炭(大粒)少量、軽石塊(小)混入。ややしまり有り。
2 黄褐色土(10YR5/6) シラス。ややボソボソしている。
3 黄褐色土(10YR5/8) 地山塊。しまり強い。
4 黒褐色土(10YR2/3) 地山塊(大)多量、軽石塊(中)混入。ややしまり有り。
5 黒褐色土(10YR3/2) 地山(大粒)多量、炭(小粒)少量混入。
6 褐色土(10YR4/4) 地山塊(大)多量混入。しまり強い。
7 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)多量混入。ややボソボソしている。
8 黄褐色土(10YR5/8) シラス。地山(中粒)中量、軽石塊(小)混入。ややボソボソしている。
9 明黄褐色土(10YR6/6) シラス。地山(中粒)多量、地山塊(大)混入。
10 黄褐色土(10YR5/6) 地山塊。しまり有り。
11 オリーブ褐色土(2.5Y4/6) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ボソボソしている。
12 にぶい黄褐色土(10YR5/4) シラス。地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。
13a 褐色土(7.5YR4/3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。
13b 明黄褐色土(10YR6/6) シラス。地山(中粒)少量、地山塊(大)混入。
14 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、地山塊(大)混入。ややしまり有り。
15 黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)やや多量、地山塊(大)混入。ややしまり有り。
16 暗褐色土(10YR3/3) 地山(大粒)中量、地山塊(大)混入。ややしまり有り。
17 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、地山塊(大)混入。ややしまり有り。
18 明黄褐色土(10YR6/6) 地山(小粒)多量混入。
19 黒褐色土(7.5YR3/2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量、地山塊(大)混入。
20 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量、地山塊(大)、軽石塊(中)混入。
21 黒褐色土(10YR2/3) 地山(大粒)少量、炭(大粒)中量、地山塊(大)混入。ややしまり有り。
22 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。

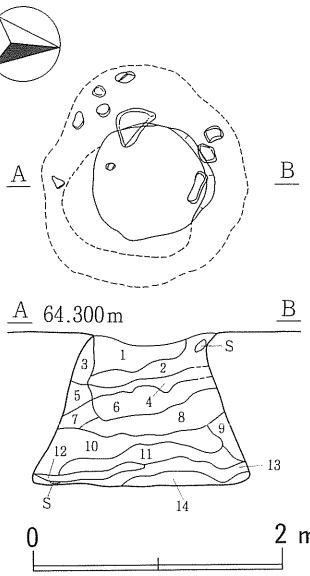
0　2 m


1(45－1)

SKF45

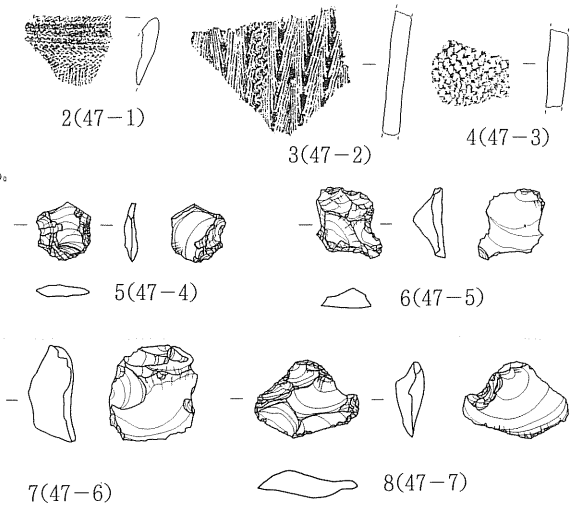
0　10cm

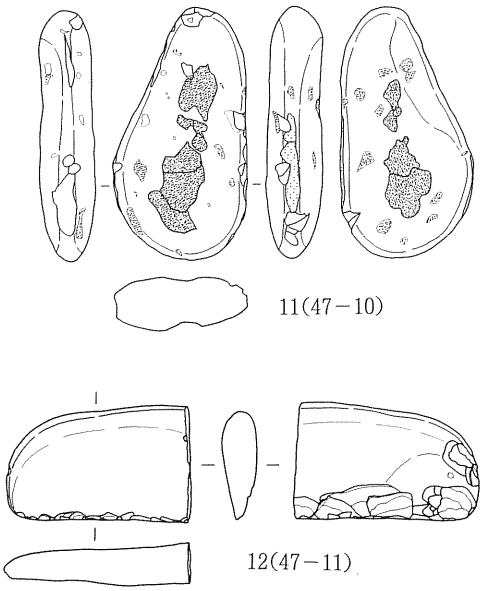
SKF47



【SKF 47】
1 黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2 明黄褐色土(10YR7/6) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
4 黒褐色土(10YR2/3) 地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
5 黒褐色土(10YR3/2) 地山(大粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。ややボソボソしている。
6 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
7 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。ややボソボソしている。
8 黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。
9 灰黄褐色土(10YR4/2) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量、地山塊(大)混入。
10 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量、炭(大粒)多量混入。ラミナ発達。
11 黒褐色土(7.5YR3/2) 地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。
12 にぶい黄褐色土(10YR6/4) シラス。ややしまり有り。
13 黒褐色土(7.5YR2/2) 地山(中粒)少量、炭(大粒)多量混入。
14 明黄褐色土(10YR6/6) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。

0　2 m


2(47－1)
3(47－2)
4(47－3)
5(47－4)
6(47－5)
7(47－6)
8(47－7)
9(47－8)
10(47－9)


11(47－10)
12(47－11)
13(47－12)
14(47－13)

0　10cm

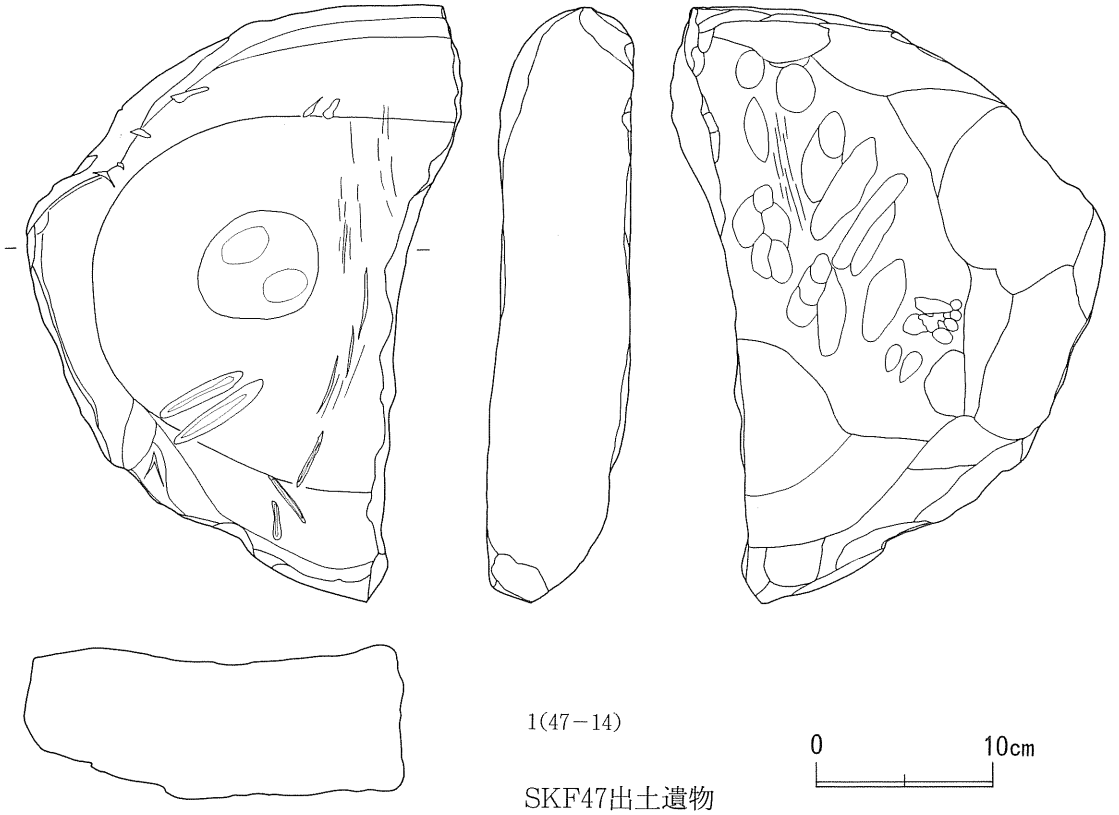
第148図　SKF 45・SKF 47 フラスコ状土坑とその出土遺物

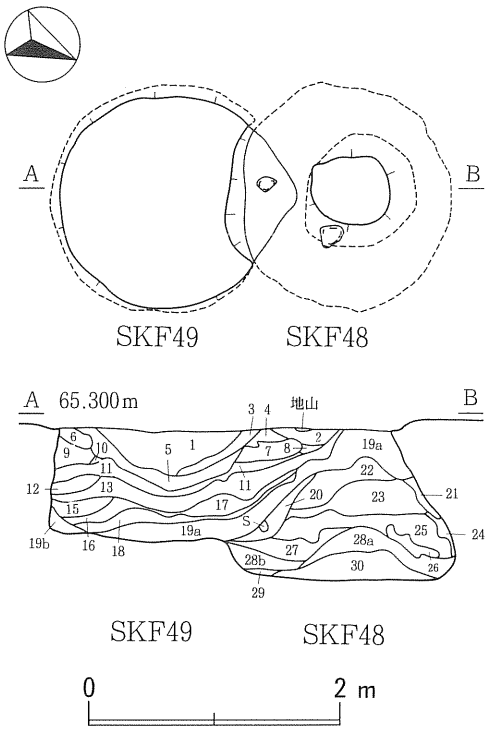
《位　　置》　ＮＩ62グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.00ｍ×短径0.96ｍ、坑底部長径1.79ｍ×短径1.65ｍ、深さ1.25ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中と底面から土器片３点と、石錐１点（６）、掻器３点（４～７）、削器２点（８・９）、くぼみ石１点（10）、半円状偏平打製石器破片１点（11）、擦り石１点（12）、線刻礫１点（13）石皿破片１点（14）などが出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　48 フラスコ状土坑（第149図、図版121）
《位　　置》　ＮＩ61･62グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫＦ49フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が古い。
《規　　模》　開口部長径0.63ｍ×短径0.55ｍ、坑底部長径1.80ｍ×短径1.65ｍ、深さ1.21ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片３点と削器１点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

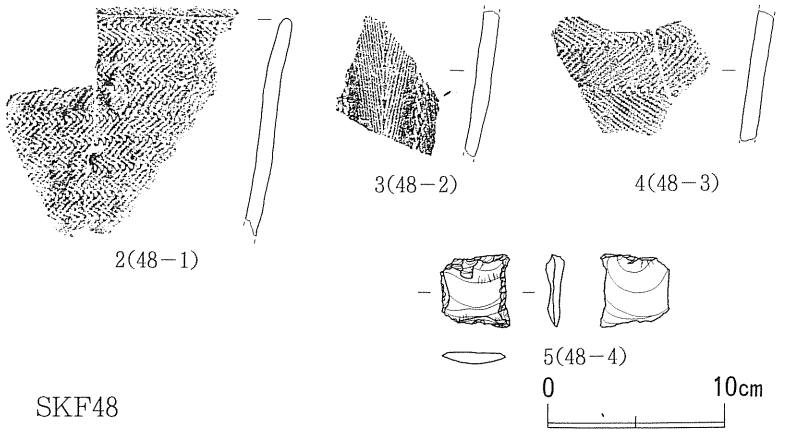
ＳＫＦ　49 フラスコ状土坑（第149図、図版121）
《位　　置》　ＮＩ61･62グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫＦ48フラスコ状土坑と重複しているが、本土坑が新しい。
《規　　模》　開口部長径1.88ｍ×短径1.73ｍ、坑底部長径1.89ｍ×短径1.82ｍ、深さ0.90ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　なし。
《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　51 フラスコ状土坑（第150図、図版122）





【SKF 48】　※14欠番
1　黒褐色土(10YR3／2) 地山(中粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3　暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒) 多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
4　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)・炭(小粒)中量、地山塊(大)混入。しまり強い。
5　黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。ラミナ発達。
6　明黄褐色土(10YR6／8) 地山(大粒)少量、酸化鉄混入。しまり有り。
7　黒褐色土(10YR3／2) 地山(大粒)・炭(小粒)中量、地山塊(大)混入。しまり強い。
8　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山 (小粒) 中量、炭 (小粒) 少量混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山(中粒)中量混入。しまり有り。
10　明黄褐色土(10YR6／8) 地山(大粒)中量混入。酸化鉄混入。
11　黒色土(10YR1.7／1) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、地山塊(大)混入。ラミナ発達。
12　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。地山(中粒)中量混入。しまり強い。
13　黒色土(10YR2／1) 地山(大粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。ラミナ発達。
15　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。地山(中粒)中量混入。しまり強い。
16　明黄褐色土(10YR6／8) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。ラミナ発達。
17　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ラミナ発達。
18　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。ラミナ発達。
19a 黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)多量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
19b 浅黄橙色土(10YR8／4) シラス。地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
20　黒褐色土(10YR2／3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
21　暗褐色土(10YR3／4) 地山(中粒)中量混入。ややボソボソしている。
22　暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
23　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
24　にぶい黄橙色土(10YR7／4) 地山(小粒)中量混入。ややボソボソしている。
25　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
26　明黄褐色土(10YR6／8) 地山(中粒)中量、地山塊(大)混入。しまり有り。
27　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
28a にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。ややしまり有り。
28b 明黄褐色土(10YR6／8) シラス。地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
29　にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。ややしまり有り。
30　黒色土(7.5YR2／1) 地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。



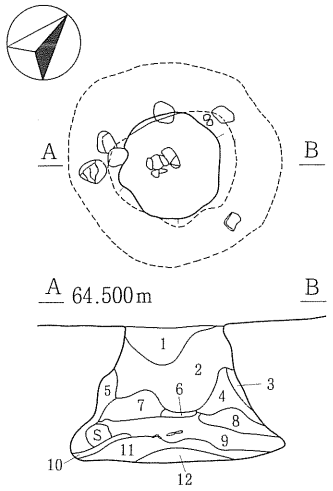
第149図　SKF 47・SKF 48・SKF 49 フラスコ状土坑とその出土遺物

《位　　置》　ＮＩ58、ＮＪ58グリッドに位置する。
《確　　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.85ｍ×短径0.85ｍ、坑底部長径1.76ｍ×短径1.61ｍ、深さ1.11ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状を呈する。
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器胴上部破片が１個体分（１）と土器片２点、石匙１点（４）、くぼみ•半円状偏平打製石器破片１点（５）が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

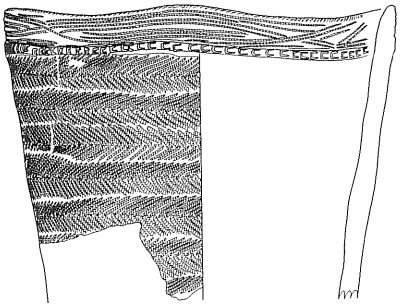
ＳＫＦ　52 フラスコ状土坑（第150図、図版123）
《位　　置》　ＮＪ59グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.95ｍ×短径0.90ｍ、坑底部長径1.18ｍ×短径1.11ｍ、深さ0.79ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積か人為的堆積かは不明である。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片２点と、擦り石１点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

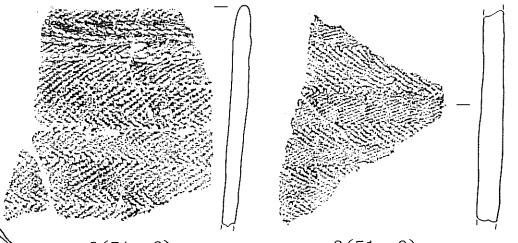
ＳＫＦ　53 フラスコ状土坑（第150図～第151図、図版123）
《位　　置》　ＮＪ60•61、ＮＫ60•61グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.81ｍ×短径0.73ｍ、坑底部長径2.00ｍ×短径1.78ｍ、深さ1.48ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器３個体分（４～６）と土器片７点、磨製石斧１点（11）、敲石（12）が西側に集中して出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

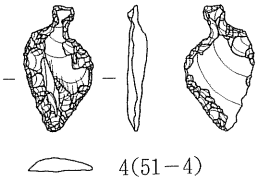
ＳＫＦ　55 フラスコ状土坑（第151図～第153図、図版124～図版126）

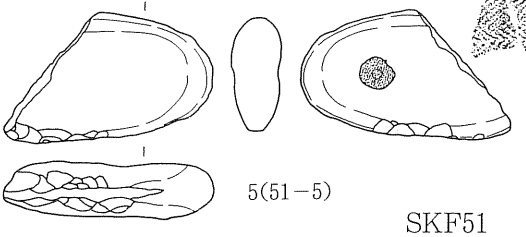


【SKF 51】
1　黒色土(10YR1.7/1) 地山(中粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
2　黒褐色土(10YR2/2) 地山(大粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
3　暗褐色土(7.5YR3/3) 地山(小粒)ごく少量混入。
4　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
5　黒褐色土(10YR2/3) 地山(小粒)ごく少量混入。
6　明黄褐色土(10YR6/8) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
7　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)多量、炭(大粒)中量混入。
　　ややしまり有り。弾性有り。
8　黄褐色土(10YR5/8) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
10　明黄褐色土(10YR6/6) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
11　にぶい黄褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)少量、炭(大粒)多量混入、しまり強い。
12　黄褐色土(10YR5/6) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり強い。



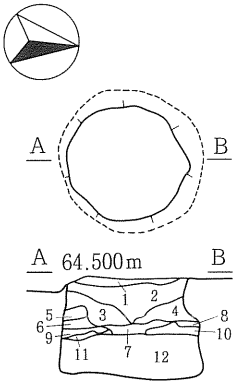




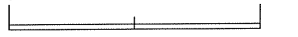


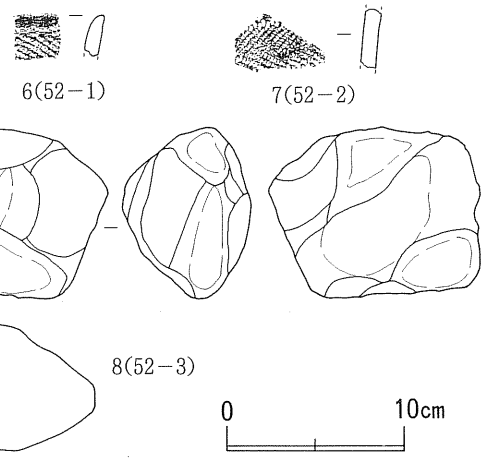
SKF51

SKF52

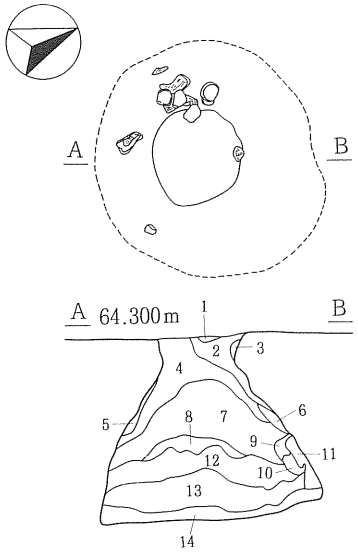


【SKF 52】
1　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量混入。しまり強い。
2　黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
4　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)やや多量、地山塊(中)混入。
5　橙色土(7.5YR6/8) シラス。地山(中粒)多量、地山塊(中)混入。しまり有り。
6　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量、地山塊(中)混入。ややしまり有り。
7　黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
8　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
9　黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
10　黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
11　黒色土(2.5Y2/1) 地山(小粒)中量、地山塊(中)混入。ややしまり有り。
12　黒色土(10YR1.7/1) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。

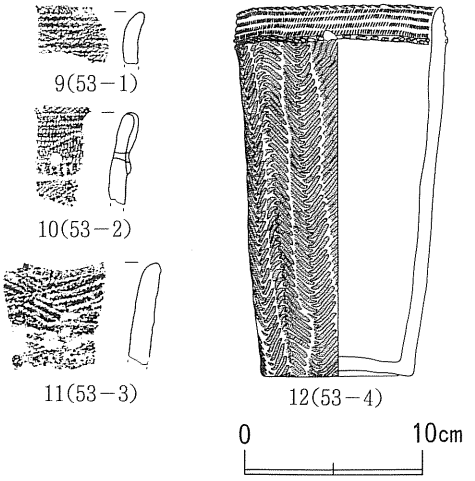


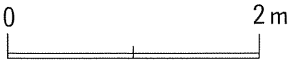


SKF53

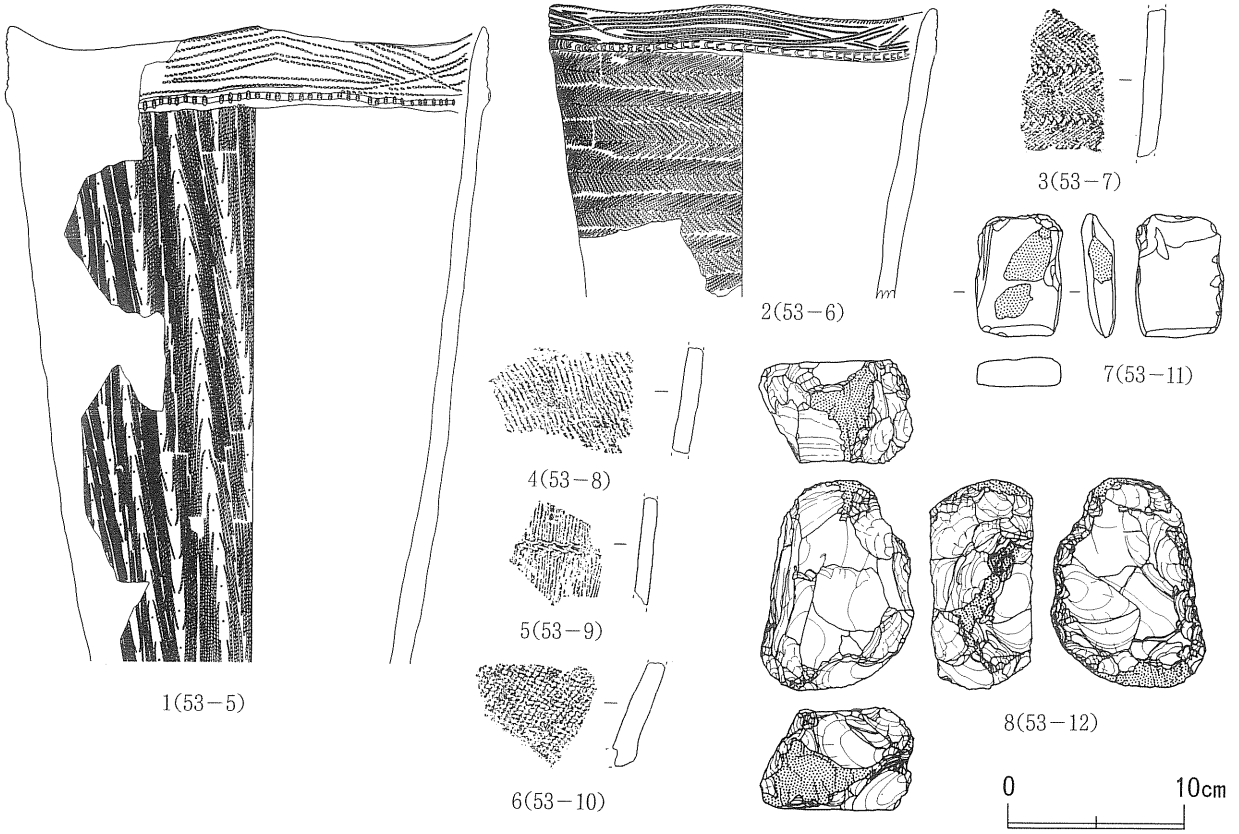


【SKF 53】
1　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)多量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3　地山
4　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量、地山(大粒)混入。
　　ややしまり有り。
5　黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややボソボソしている。
6　にぶい黄橙色土(10YR7/4) 地山(小粒)多量、炭(大粒)少量混入。
7　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)やや多量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
8　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
9　黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。
10　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)少量、炭(中粒)中量混入。
11　にぶい黄橙色土(10YR7/4) 地山塊(大)混入。
12　明黄褐色土(10YR6/6) シラス。地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
13　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
14　明黄褐色土(10YR7/6) シラス。地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。



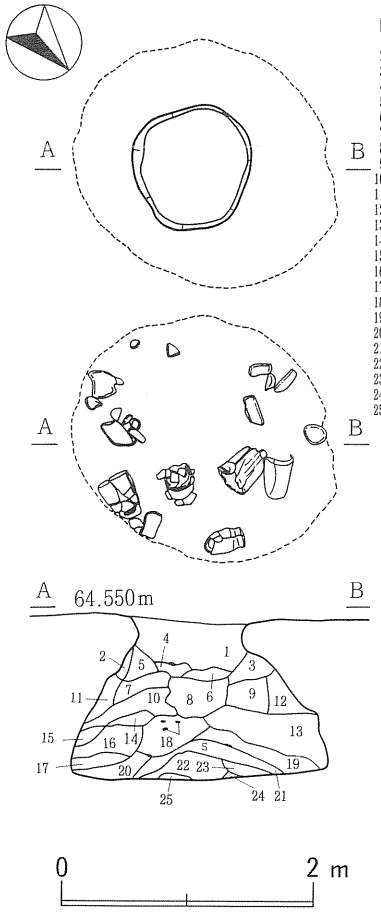


第150図　SKF 51・SKF 52・SKF 53 フラスコ状土坑とその出土遺物

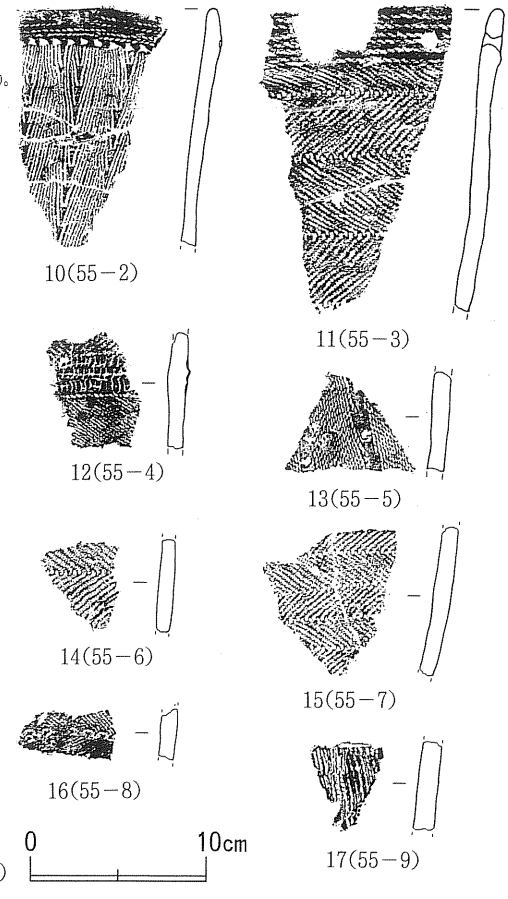


SKF53出土遺物

SKF55



【SKF 55】
1 黒色土(10YR1.7/1) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
2 黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)ごく少量混入。
3 黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)中量混入。
4 黒色土(2.5Y2/1) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
5 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量。炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
6 黒色土(10YR2/1) 地山(大粒)ごく少量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
7 黒褐色土(10YR2/2) 地山(大粒)少量、炭(中粒)中量混入。
8 黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。
9 黒色土(7.5YR2/1) 地山(中粒)少量混入。
10 黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(大粒)・炭(大粒)中量混入。しまり、弾性有り。
11 黒褐色土(10YR2/2) 地山塊(中)少量混入。ややボソボソしている。
12 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)ごく少量混入。
13 黒色土(10YR2/1) 地山(大粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
14 黄褐色土(10YR5/8) 炭(中粒)少量混入。
15 黒褐色土(10YR2/2) 地山塊(中)中量混入。ややしまり有り。
16 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
17 黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
18 黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)少量、炭(大粒)多量混入。
19 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)少量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
20 黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)少量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
21 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
22 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
23 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)少量混入。しまり有り。
24 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(大粒)少量混入。ややしまり有り。
25 オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。



第151図　SKF 53・SKF 55 フラスコ状土坑とその出土遺物

《位　　置》　ＮＬ59•60、ＮＭ59•60グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.00ｍ×短径0.95ｍ、坑底部長径2.16ｍ×短径1.86ｍ、深さ1.29ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　25層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢形土器が８個体分（１•10～15•23•24)、土器底部破片が１点（16)、土器片８点、石匙１点（17)、掻器１点（18)、削器２点（19•20)、微小剥離痕のある石器剥片１点（21)、くぼみ石１点（22）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　67 フラスコ状土坑（第153•第154図、図版127）

《位　　置》　ＮＥ62•63グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ36フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.57ｍ×短径1.53ｍ、坑底部長径1.48ｍ×短径1.00ｍ、深さ1.00ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積か人為的堆積かは不明である。

《底　　面》　北東側に傾斜する底面の中央に深さ10㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土の第16層に遺物が集中して出土した。深鉢土器３個体（１～３）と土器片11点（４～14）のほか、石匙２点（15•16)、掻器１点（17)、削器３点（18～20)、くぼみ石２点（21•22)、石錘１点（23)、半円状偏平打製石器２点（24•25)、石皿破片２点（26•27)、軽石浮子２点（28•29）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　69 フラスコ状土坑（第155図•第156図、図版127～図版130）

《位　　置》　ＮＧ64•65グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形のにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫ22土坑と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.30ｍ×短径1.15ｍ、坑底部長径1.98ｍ×短径1.73ｍ、深さ1.05ｍ。

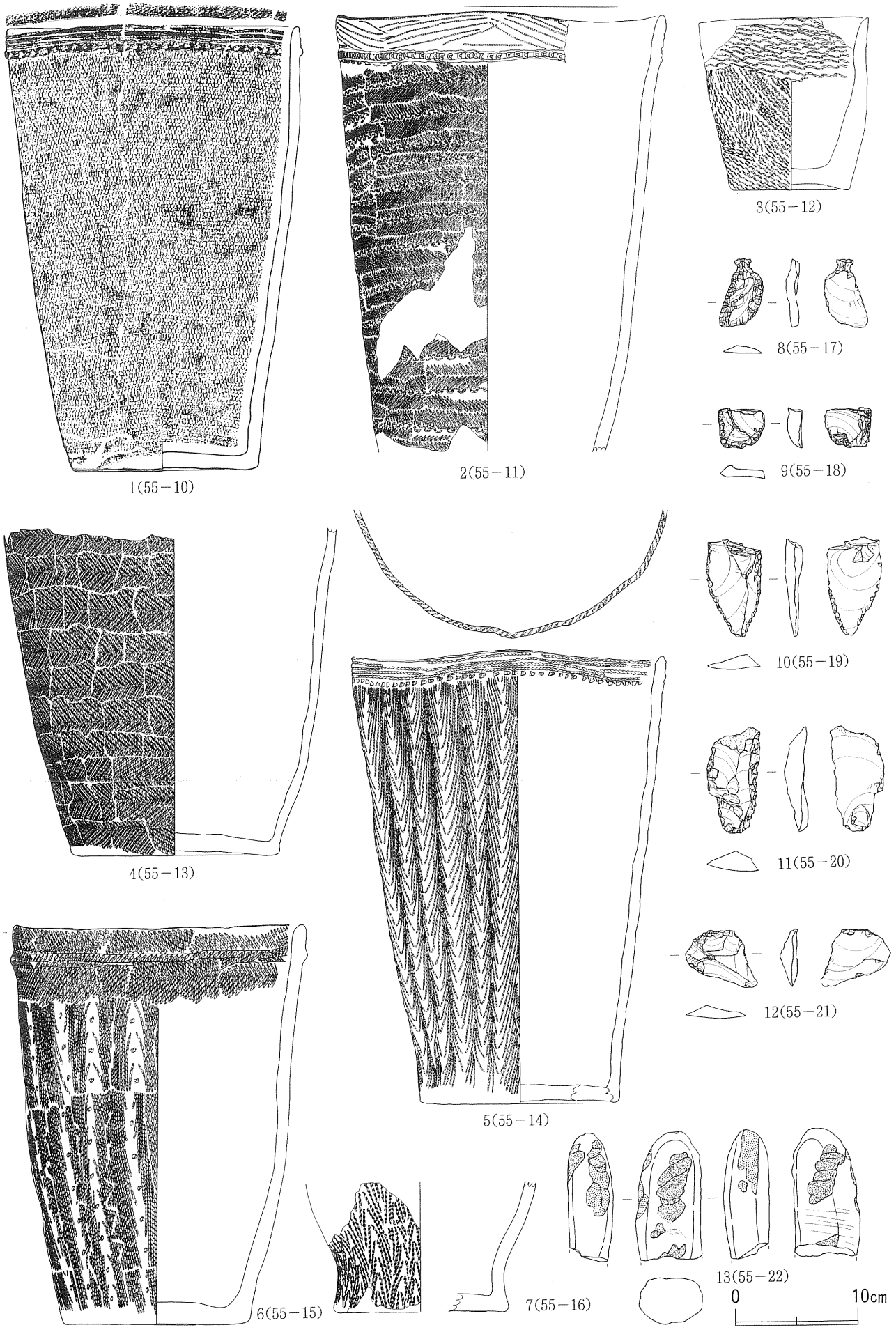
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

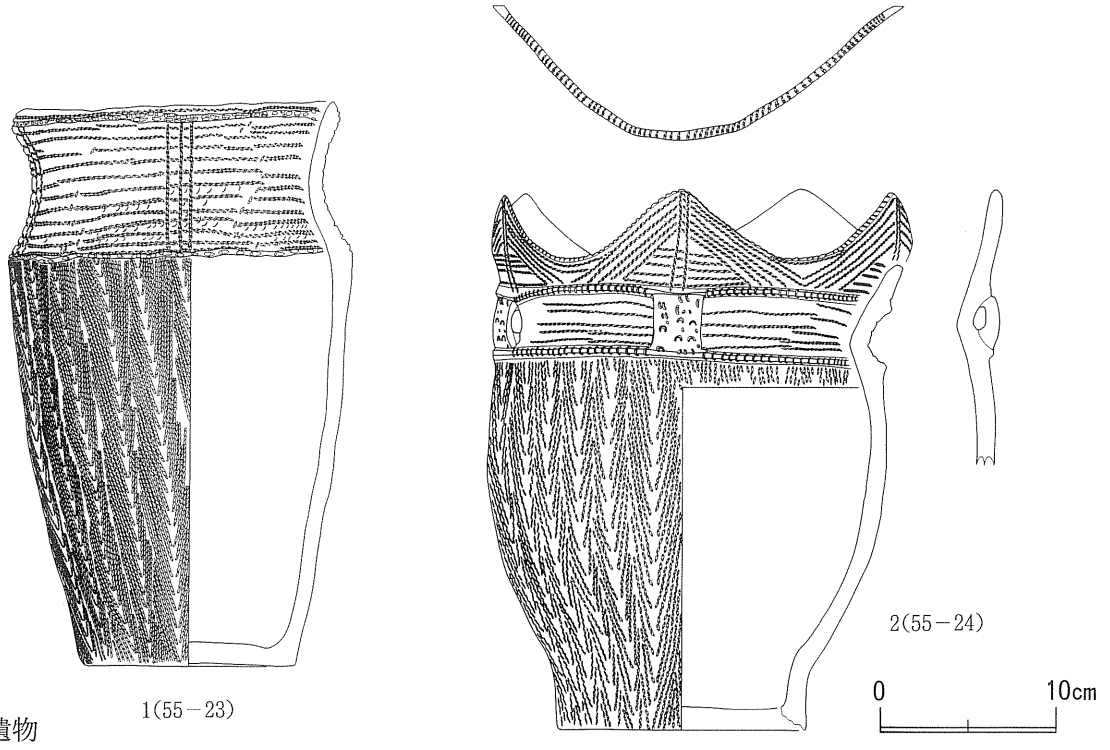
《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸がある。

《遺　　物》　埋土の第13・14層から、深鉢土器が６個体分（４・８～12)、土器片７点（１～７•13)、微小

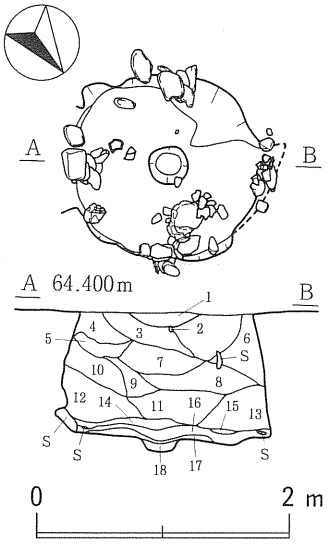


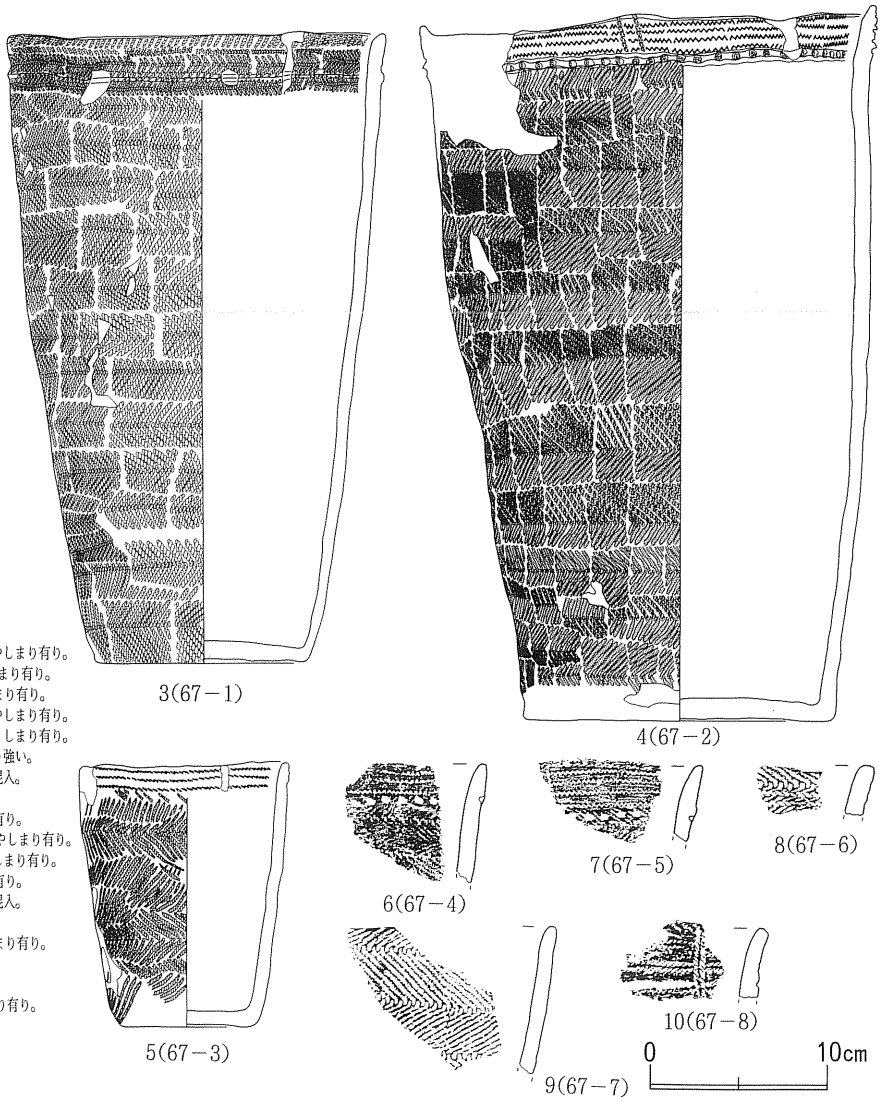
第152図　SKF 55 フラスコ状土坑出土遺物



SKF55出土遺物

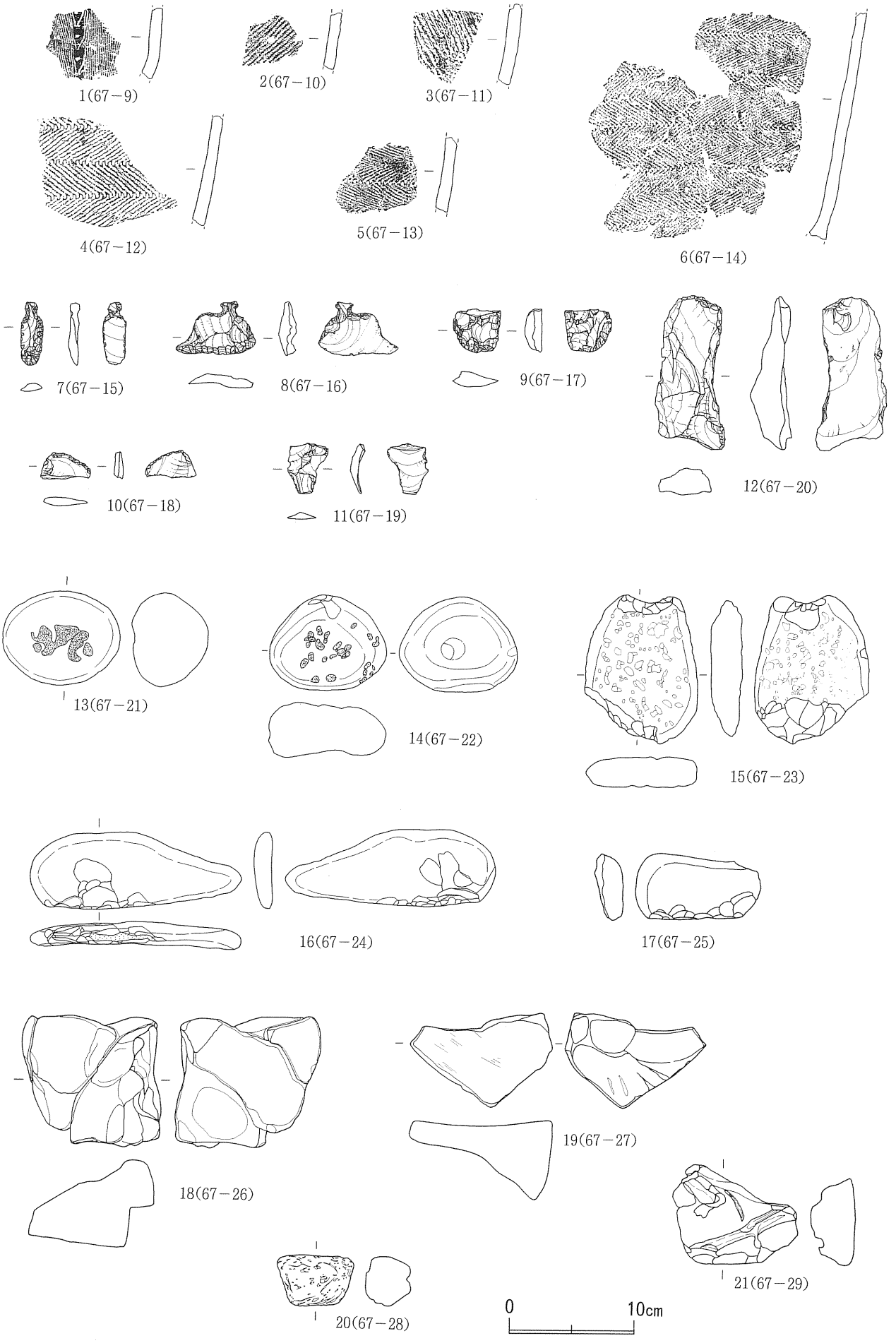
SKF67



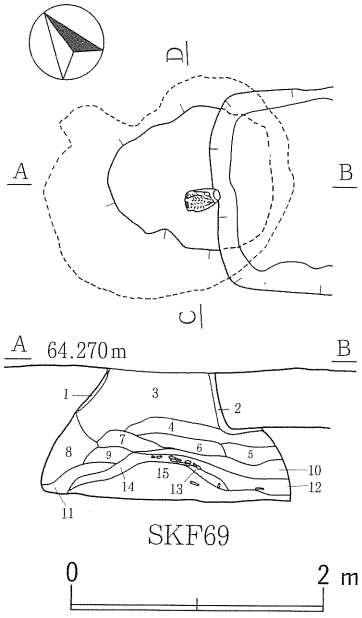


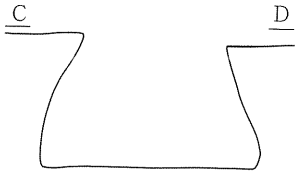
【SKF 67】
1　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
4　黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
5　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)やや多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6　褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
7　暗褐色土(10YR3/4) 地山(大粒)中量、炭(中粒)多量、酸化鉄混入。しまり、弾性有り。
8　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　暗褐色土(7.5YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
10　褐色土(10YR4/6) 地山(大粒)多量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
11　黒褐色土(10YR2/3) 地山(大粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
12　黄褐色土(10YR5/8) シラス。地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
13　明黄褐色土(10YR6/8) シラス。地山(大粒)中量混入。ややしまり有り。
14　暗褐色土(7.5YR3/4) 地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。
15　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
16　褐色土(7.5YR4/4) 地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
17　黒褐色土(7.5YR3/2) 地山(小粒)少量混入。しまり有り。
18　17に同じ。

第153図　SKF 55・SKF 67 フラスコ状土坑とその出土遺物

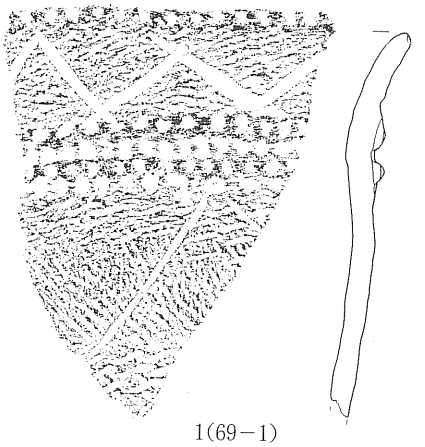


第154図　SKF 67 フラスコ状土坑出土遺物

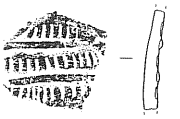


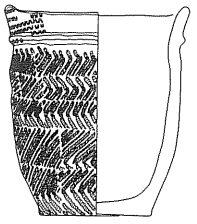


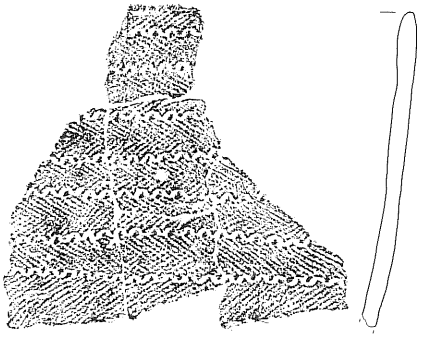
【SKF 69】
1 黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)5%・炭(小粒)少量混入。ややボソボソしている。
2 明赤灰色土(2.5YR7／2) しまり強い。
3 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)20%・炭(小粒)少量混入。しまり有り。弾性有り。
4 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)20%・炭(中粒)多量混入。しまり有り。弾性有り。
5 黄褐色土(2.5Y5／6) 地山(中粒)10%・炭(中粒)少量混入。ややボソボソしていて弾性有り。
6 暗褐色土(10YR3／4) 地山(大粒)10%・炭(中粒)中量混入。しまり有り。弾性有り。
7 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)15%・炭(中粒)少量混入。
8 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(小粒)15%・炭(中粒)少量混入。
9 暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)15%・炭(中粒)中量混入。
10 暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)20%・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
11 褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)15%・炭(中粒)少量混入。
12 褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)5%・炭(中粒)少量混入。
13 黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)15%・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
14 13に同じ。
15 明黄褐色土(10YR7／6) 炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。

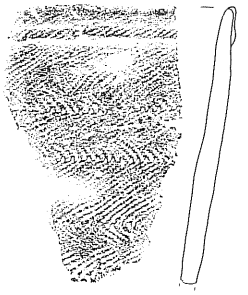

1(69－1)

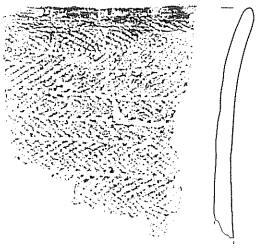
2(69－2)

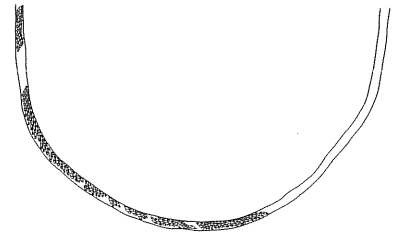

3(69－3)

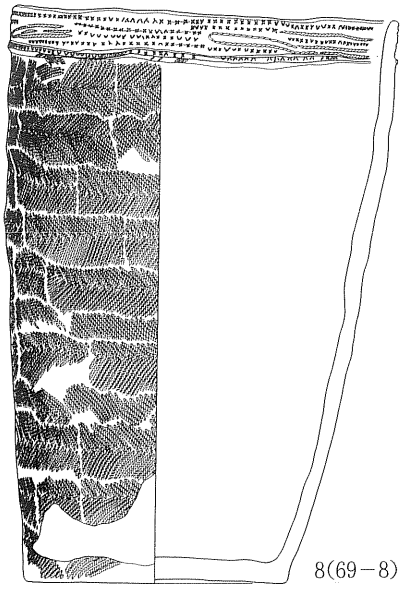

4(69－4)

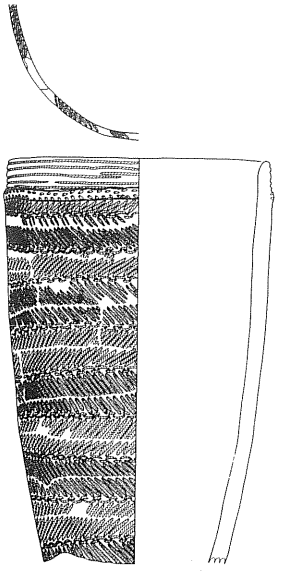

5(69－5)

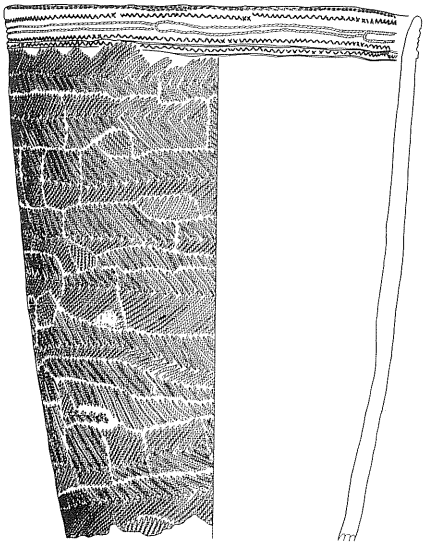

6(69－6)


7(69－7)




8(69－8)


9(69－9)


10(69－10)

0　10cm

第155図　SKF 69 フラスコ状土坑とその出土遺物

剥離痕のある石器剥片２点（14•15）、抉りのある石器剥片１点（16）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　70 フラスコ状土坑（第156図）

《位　　置》　ＮＤ62グリッドに位置する。

《確　　認》　黒褐色の双円形の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＳ71土壙墓と重複していたが、新旧関係は不明である。

《規　　模》　開口部長径0.63ｍ×短径0.56ｍ、坑底部長径0.63ｍ×短径0.55ｍ、深さ0.25ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ15㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　73 フラスコ状土坑（第156図•第157図、図版130）

《位　　置》　ＮＤ61•62グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.79ｍ×短径1.63ｍ、坑底部長径1.55ｍ×短径1.53ｍ、深さ1.29ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　34層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ20㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中と底面から土器片７点と土器底部破片１点（８）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　80 フラスコ状土坑（第157図、図版131）

《位　　置》　ＮＦ66グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に不整な黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.82ｍ×短径1.55ｍ、坑底部長径2.20ｍ×短径1.81ｍ、深さ0.80ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

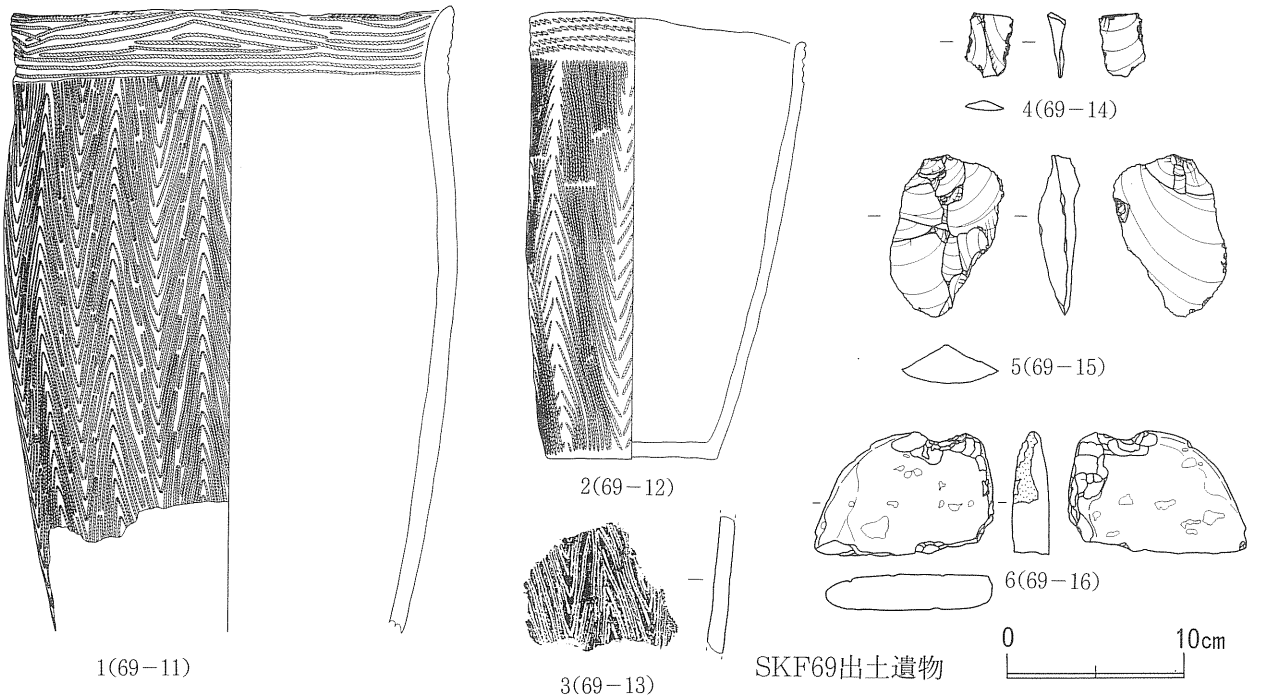
《断 面 形》　袋状である。

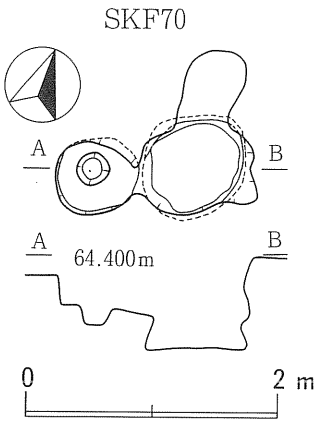
《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

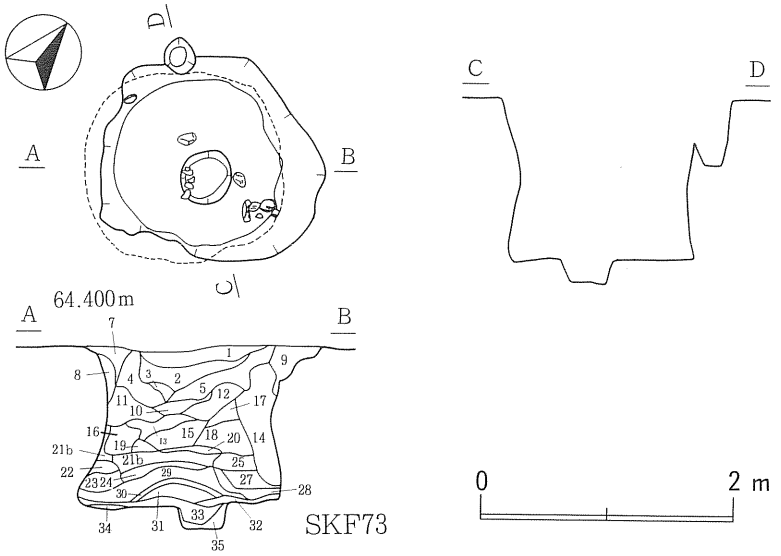
《底　　面》　ほぼ平坦な底面に小さな柱穴様ピット•くぼみが６カ所ある。

《遺　　物》　底面から深鉢形土器が１個体（10）、土器片10点、土器底部破片２点（11•12）、石匙１点（14）が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

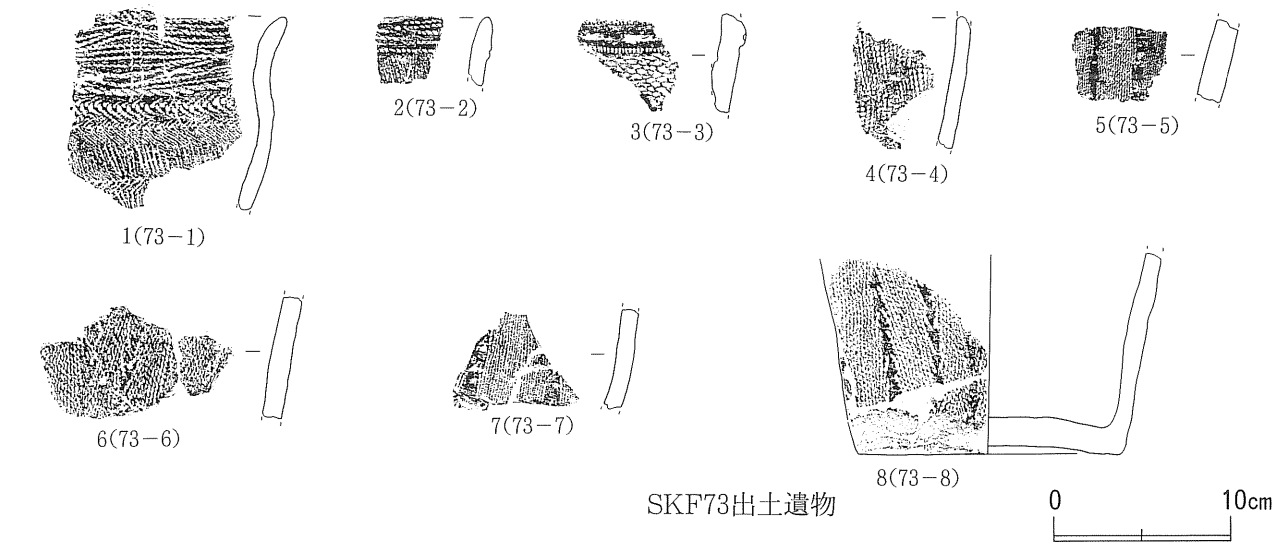


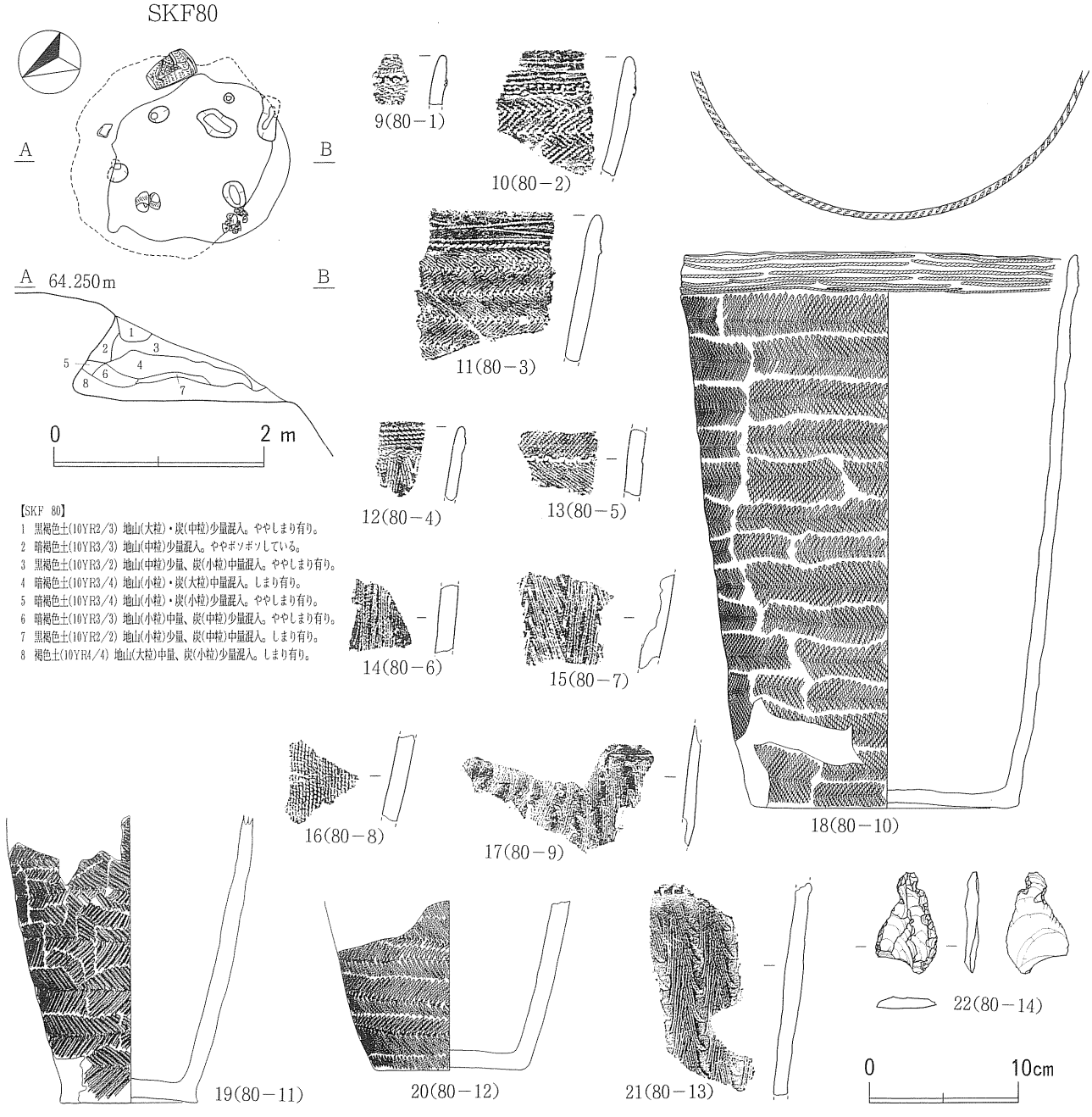




【SKF　73】　※26欠番
1　黒色土(7.5YR1.7／1)　地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
2　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
3　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)少量混入。しまり有り。
4　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
6　地山
7　黒色土(10YR1.7／1)　地山(大粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
8　明黄褐色土(10YR7／6)　地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
9　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山塊(大)多量、炭(小粒)中量混入。
　　ややしまり有り。弾性有り。
10　明黄褐色土(10YR6／6)　地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
11　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
12　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
13　黒褐色土(10YR2／3)　地山(大粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
14　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山塊(大)多量、炭(大粒)少量混入。
15　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量混入。しまり有り。
16　明黄褐色土(10YR7／6)　地山(大粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
17　明黄褐色土(10YR6／6)　地山(中粒)多量混入。ややしまり有り。
18　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(大粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
19　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
20　17に同じ。
21a　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)ごく少量混入。
21b　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
22　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)中量混入。
23　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)中量混入。
24　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
25　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)・炭(小粒)少量、地山塊(中)混入。
　　ややしまり有り。
27　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。
　　ややしまり有り。
28　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。
29　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。
　　ややしまり有り。
30　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)中量混入。
　　ややしまり有り。
31　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
32　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややボッボッしている。
33　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。
34　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。
35　浅黄橙色土(10YR8／4)　シラス。

第156図　SKF 69・SKF 70・SKF 73 フラスコ状土坑とその出土遺物





【SKF 80】
1　黒褐色土(10YR2/3) 地山(大粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
2　暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)少量混入。ややボッボッしている。
3　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
4　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
5　暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
6　暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
7　黒褐色土(10YR2/2) 地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8　褐色土(10YR4/4) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。

第157図　SKF 73・SKF 80 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　81 フラスコ状土坑（第158図）

《位　　置》　ＮＨ64•65、ＮＩ64•65グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ27フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部は径1.20ｍの円形と推定した。坑底部長径2.43ｍ×短径2.36ｍ、深さ1.76ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　13層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦である。

《遺　　物》　底面に長さ1.20ｍ、幅14㎝の炭化材が出土したが、地山層に埋没した森林の一部である。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　82 フラスコ状土坑（第158図、図版132）

《位　　置》　ＮＨ65グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.48ｍ×短径1.17ｍ、坑底部長径1.91ｍ×短径1.64ｍ、深さ1.32ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われるが、上位に堆積する層（第１～10層）に炭化物の混入が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ８㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片４点と石匙１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　88 フラスコ状土坑（第158図）

《位　　置》　ＮＩ63、ＮＪ63グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ30竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.38ｍ×短径1.32ｍ、坑底部長径1.37ｍ×短径1.33ｍ、深さ0.44ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

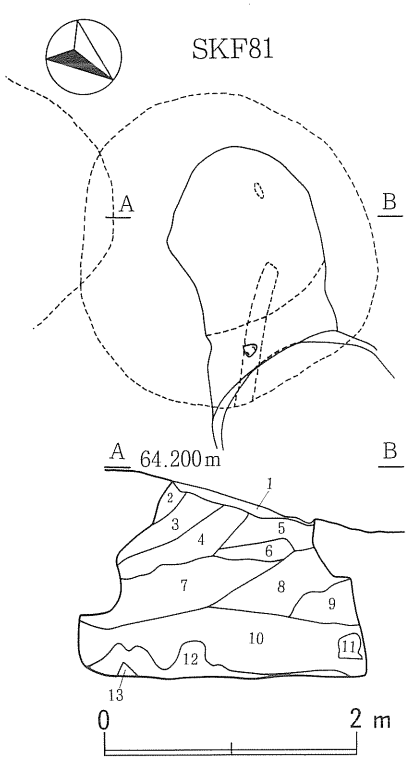
《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるものの、ほぼ平坦である。

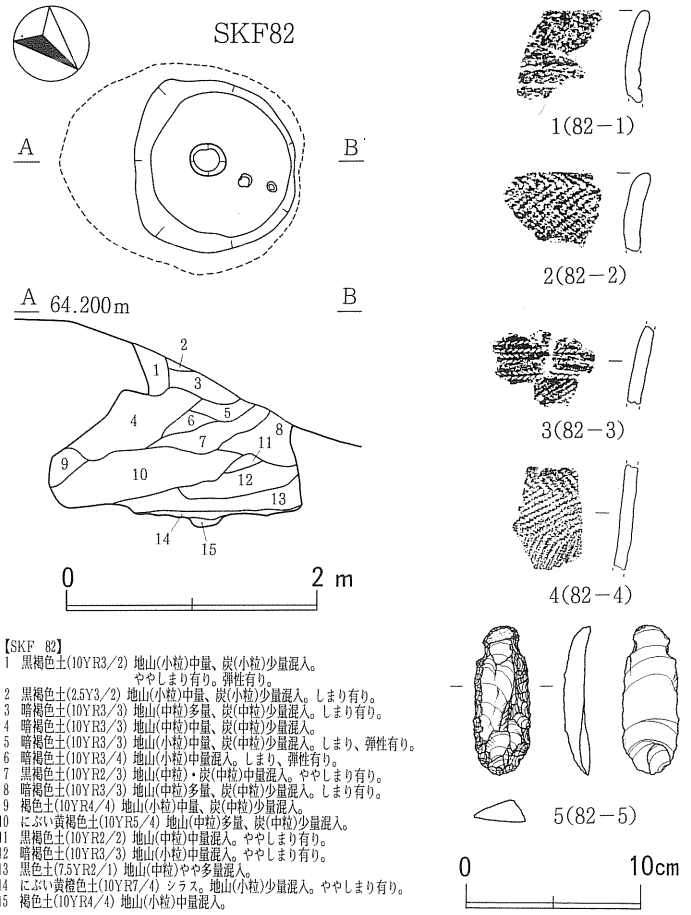
《遺　　物》　埋土中から土器片が３点出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

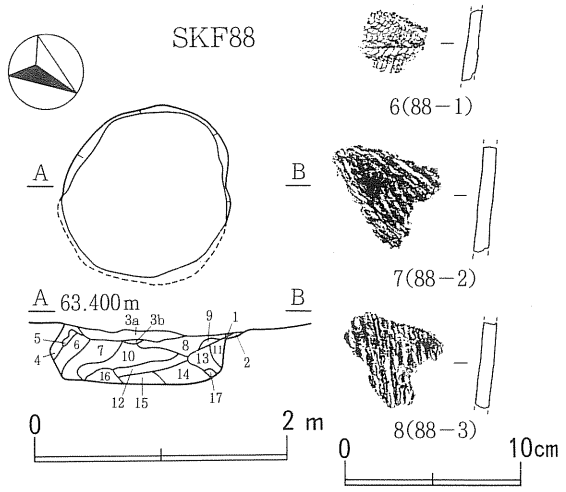
ＳＫＦ　89 フラスコ状土坑（第158図、図版132）



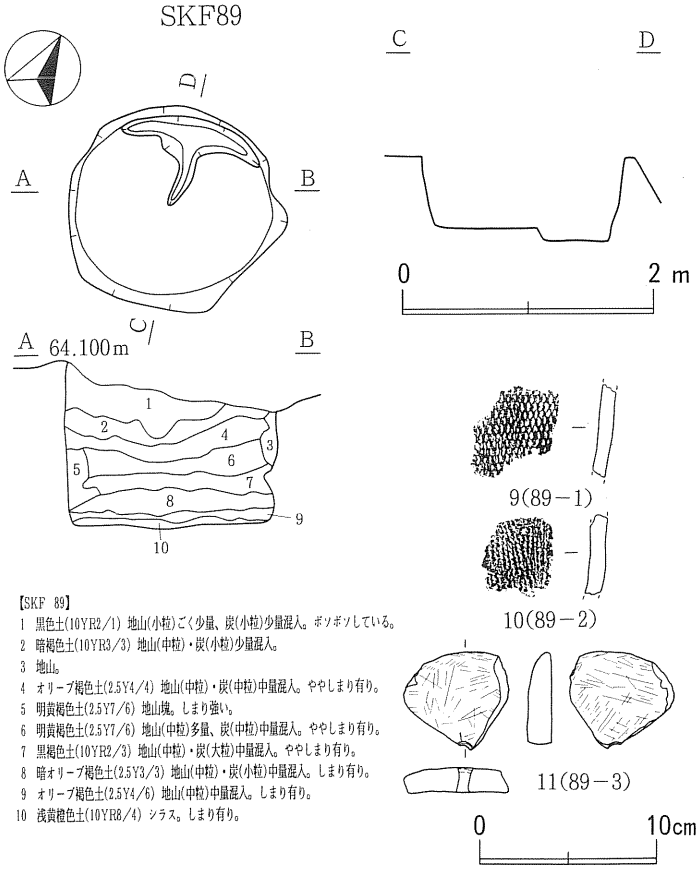
【SKF 81】
1 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山(小粒)・炭(中粒)少量、地山(大粒)混入。しまり有り。
2 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)・炭(小粒)中量、地山(大粒)混入。ややしまり有り。
4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(大粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
5 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山塊(小)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
6 オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 地山(中粒)多量、炭(小粒)少量、地山(大粒)混入。しまり有り。
7 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)多量、炭(大粒)中量、地山(大粒)混入。ややしまり有り。
8 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(大粒)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
9 にぶい黄褐色土(10YR6/4) シラス。地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
10 にぶい黄橙色土(10YR7/3) シラス。地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
11 にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス(塊状)。ややしまり有り。
12 11に同じ。
13 10に同じ。



【SKF 82】
1 黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。
2 黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
4 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。
5 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
6 暗褐色土(10YR3/4) 地山(小粒)中量混入。しまり、弾性有り。
7 黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
8 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。
10 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。
11 黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
12 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
13 黒色土(7.5YR2/1) 地山(中粒)やや多量混入。
14 にぶい黄橙色土(10YR7/4) シラス。地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
15 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)中量混入。



【SKF 88】
1 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
2 黒色土(10YR1.7/1) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
3a 暗褐色土(10YR3/4) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
3b 浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。しまり有り。
4 浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。ややしまり有り。
5 黒褐色土(10YR3/2) 地山(小粒)中量混入。ややボソボソしている。
6 3bに同じ。
7 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)多量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
8 暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
9 黒色土(7.5YR2/1) 地山(小粒)ごく少量混入。
10 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
11 3bに同じ。
12 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(小粒)・炭(小粒)少量、地山塊(中)混入。ややしまり有り。
13 黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
14 褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
15 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
16 黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
17 3bに同じ。



【SKF 89】
1 黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。ボソボソしている。
2 暗褐色土(10YR3/3) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。
3 地山。
4 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
5 明黄褐色土(2.5Y7/6) 地山塊。しまり強い。
6 明黄褐色土(2.5Y7/6) 地山(中粒)多量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
7 黒褐色土(10YR2/3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
8 暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
9 オリーブ褐色土(2.5Y4/6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
10 浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。しまり有り。

第158図　SKF 81・SKF 82・SKF 88・SKF 89 フラスコ状土坑とその出土遺物

《位　　置》　ＮＪ63•64グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ30竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.76ｍ×短径1.62ｍ、坑底部長径1.56ｍ×短径1.44ｍ、深さ1.16ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の北側にＴ字形の溝状の窪みがある。

《遺　　物》　埋土中から土器片が２点と、中央に貫通孔をもつ円盤状石製品の破片が１点出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　90 フラスコ状土坑（第159図、図版133～図版134）

《位　　置》　ＮＩ64、ＮＪ64グリッドに位置する。

《確　　認》　双円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ91フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.77ｍ×短径1.54ｍ、坑底部長径1.68ｍ×短径1.65ｍ、深さ1.52ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　16層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦である。

《遺　　物》　底面から深鉢土器１個体と、土器片２点、掻石１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫＦ　91 フラスコ状土坑（第159図、図版134）

《位　　置》　ＮＩ64、ＮＪ64グリッドに位置する。

《確　　認》　双円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ90フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.76ｍ×短径1.60ｍ、坑底部長径1.76ｍ×短径1.30ｍ、深さ0.90ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

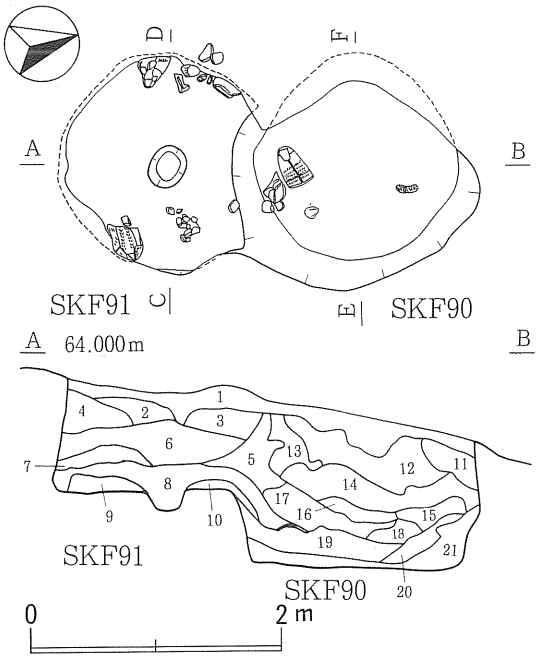
《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

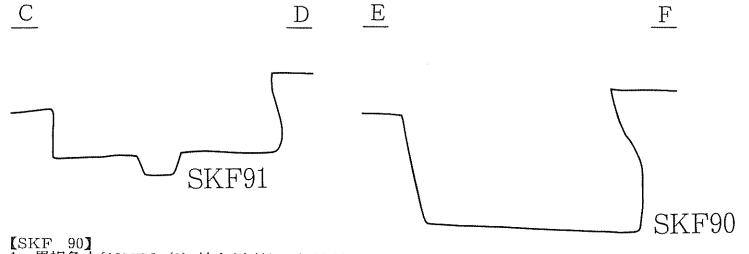
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ16㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器が２個体分（１・８）、土器底部破片１点（９）、土器片６点（２～７）、石匙１点（10）、石槍破片１点（11）、削器２点（12•14）、石錘１点（13）、くぼみ石１点（15）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

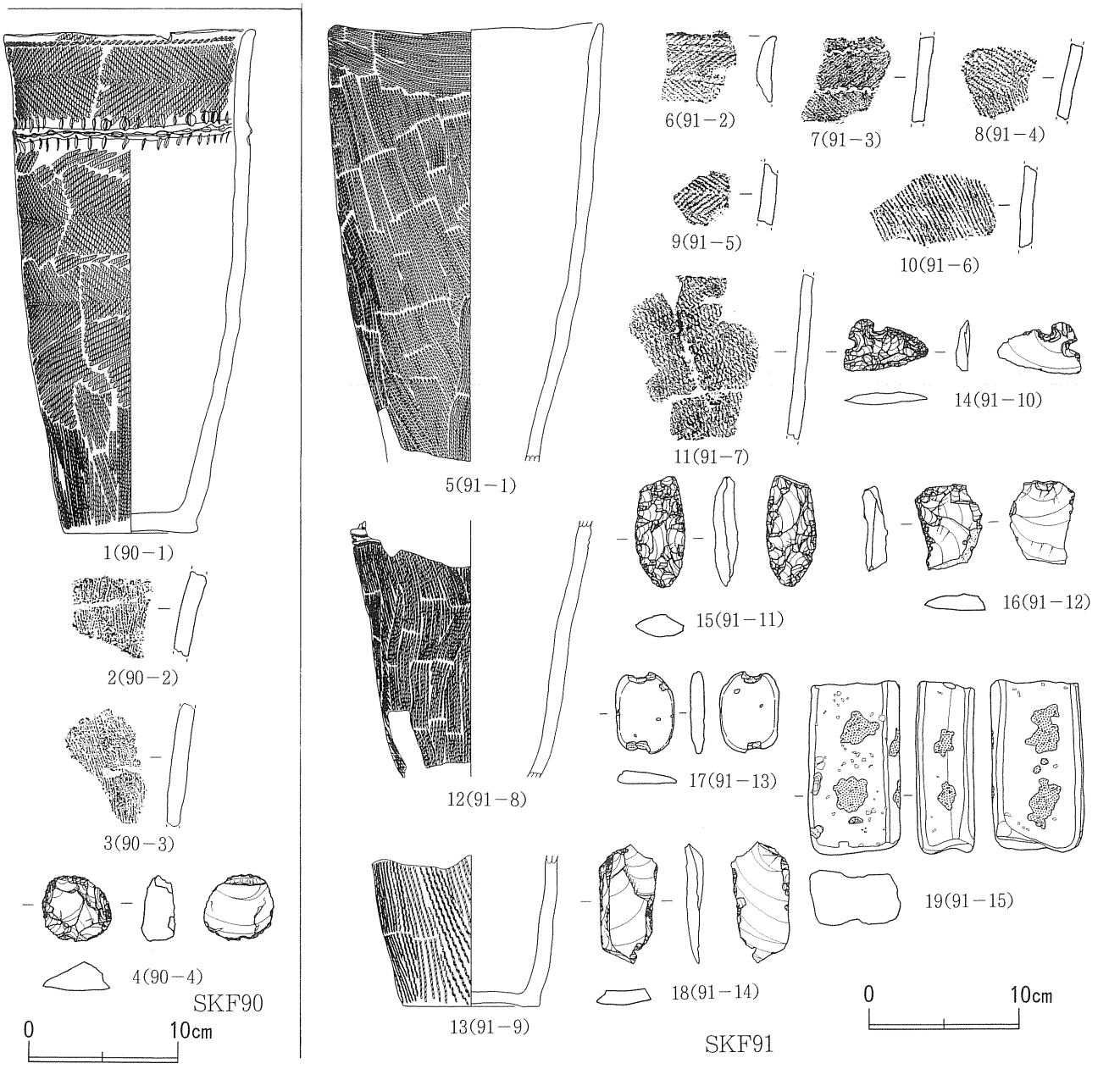
ＳＫＦ　130 フラスコ状土坑（第160図）





【SKF　90】
1　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。
2　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
3　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
4　黒褐色土(10YR3／2)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
5　黒褐色土(10YR2／2)　地山(中粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
6　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
7　黒褐色土(10YR2／3)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
8　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。部分的に(8)含む。
10　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり有り。
11　黄橙色土(10YR7／8)　地山塊。しまり強い。
12　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
13　明黄褐色土(10YR7／6)　地山(中粒)中量、地山塊(大)混入。しまり強い。
　　部分的に(12)含む。
14　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
15　明黄褐色土(10YR7／6)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
16　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
　　部分的に(14)含む。
17　明黄褐色土(10YR7／6)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、地山塊(大)混入。しまり有り。
18　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
19　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
20　黄褐色土(10YR5／6)　シラス。地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
21　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。

【SKF　91】　……SKF　90



第159図　SKF 90・SKF 91 フラスコ状土坑とその出土遺物

《位　　置》　ＭＬ74、ＭＭ74グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径2.36ｍ×短径2.10ｍ、坑底部長径2.40ｍ×短径2.20ｍ、深さ1.20ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　小さな凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　底面から土器片４点、石匙２点（５・６）、擦り石１点（７）、半円状偏平打製石器１点（８）、篦状石器破片１点（９）、礫４点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　148 フラスコ状土坑（第160図）

《位　　置》　ＭＴ69、ＮＡ69グリッドに位置する。

《確　　認》　明黄褐色土の円形の落ち込みとして確認された。

《重　　複》　ＳＩ147竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.92ｍ×短径1.90ｍ、坑底部長径1.99ｍ×短径1.99ｍ、深さ0.61ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ12㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片１点と、剥離調整した石器破片１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　149 フラスコ状土坑（第161図）

《位　　置》　ＭＴ69グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ257フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径2.58ｍ×短径2.26ｍ、坑底部長径2.20ｍ×短径2.06ｍ、深さ1.25ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

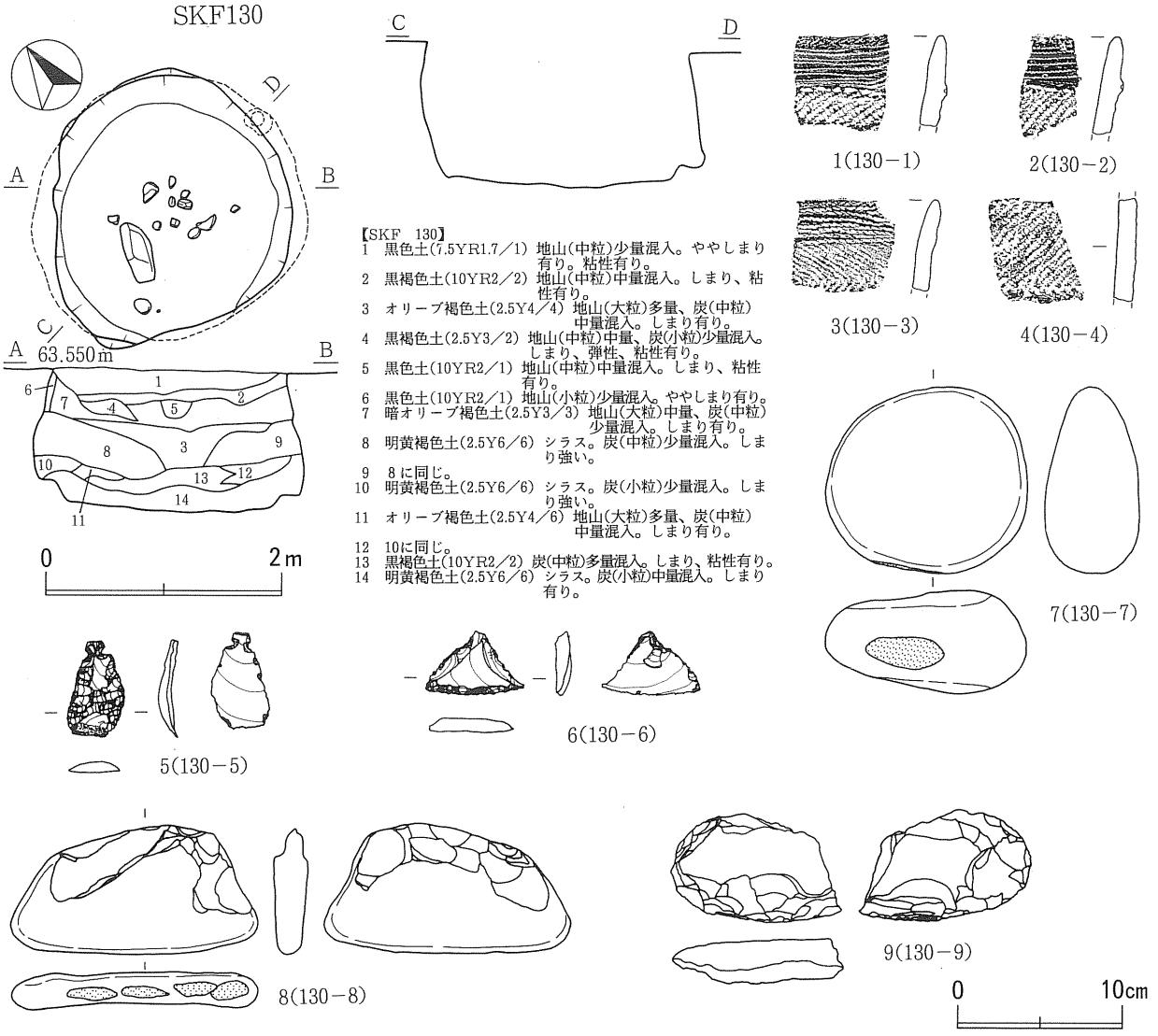
《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ17㎝の柱穴状のピットが１カ所ある。

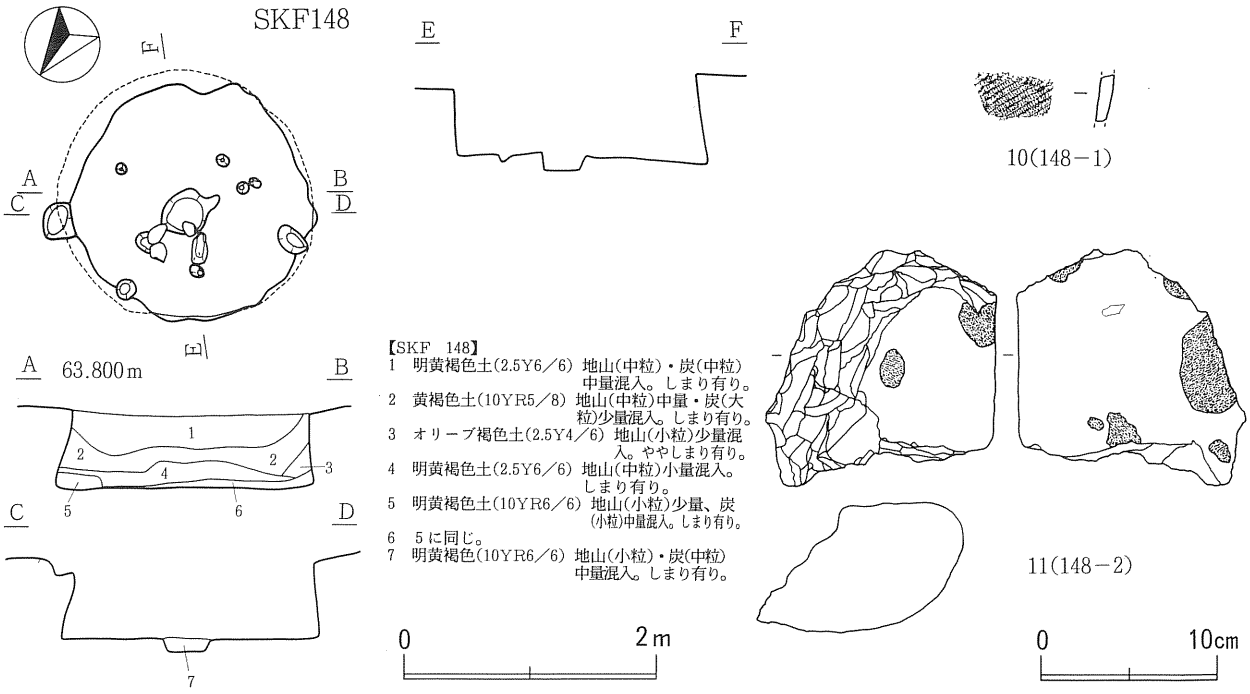
《遺　　物》　埋土中から土器片が多く出土したが、10・11のように横断面形が方形になる土器の破片もある。また、半円状偏平打製石器破片も１点出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　152 フラスコ状土坑（第163図）

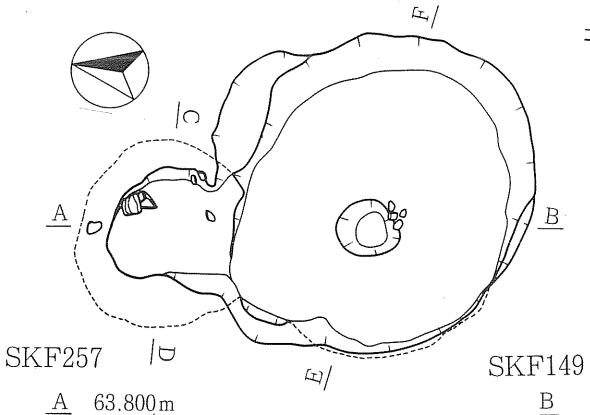


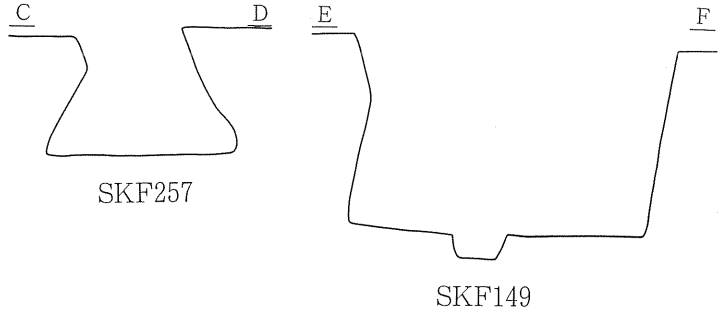
【SKF 130】
1 黒色土(7.5YR1.7／1) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。粘性有り。
2 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)中量混入。しまり、粘性有り。
3 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(大粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
4 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり、弾性、粘性有り。
5 黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)中量混入。しまり、粘性有り。
6 黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
7 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8 明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。炭(中粒)少量混入。しまり強い。
9 8に同じ。
10 明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。炭(小粒)少量混入。しまり強い。
11 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(大粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
12 10に同じ。
13 黒褐色土(10YR2／2) 炭(中粒)多量混入。しまり、粘性有り。
14 明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。炭(小粒)中量混入。しまり有り。

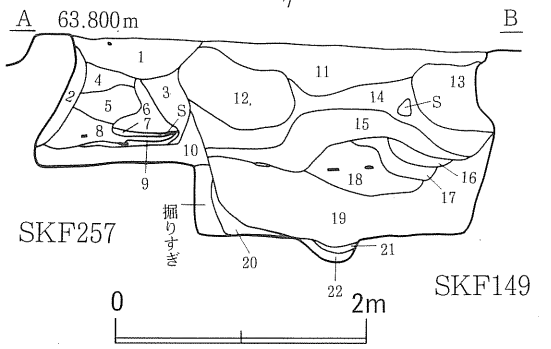


【SKF 148】
1 明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2 黄褐色土(10YR5／8) 地山(中粒)中量・炭(大粒)少量混入。しまり有り。
3 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
4 明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山(中粒)小量混入。しまり有り。
5 明黄褐色土(10YR6／6) 地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6 5に同じ。
7 明黄褐色(10YR6／6) 地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。

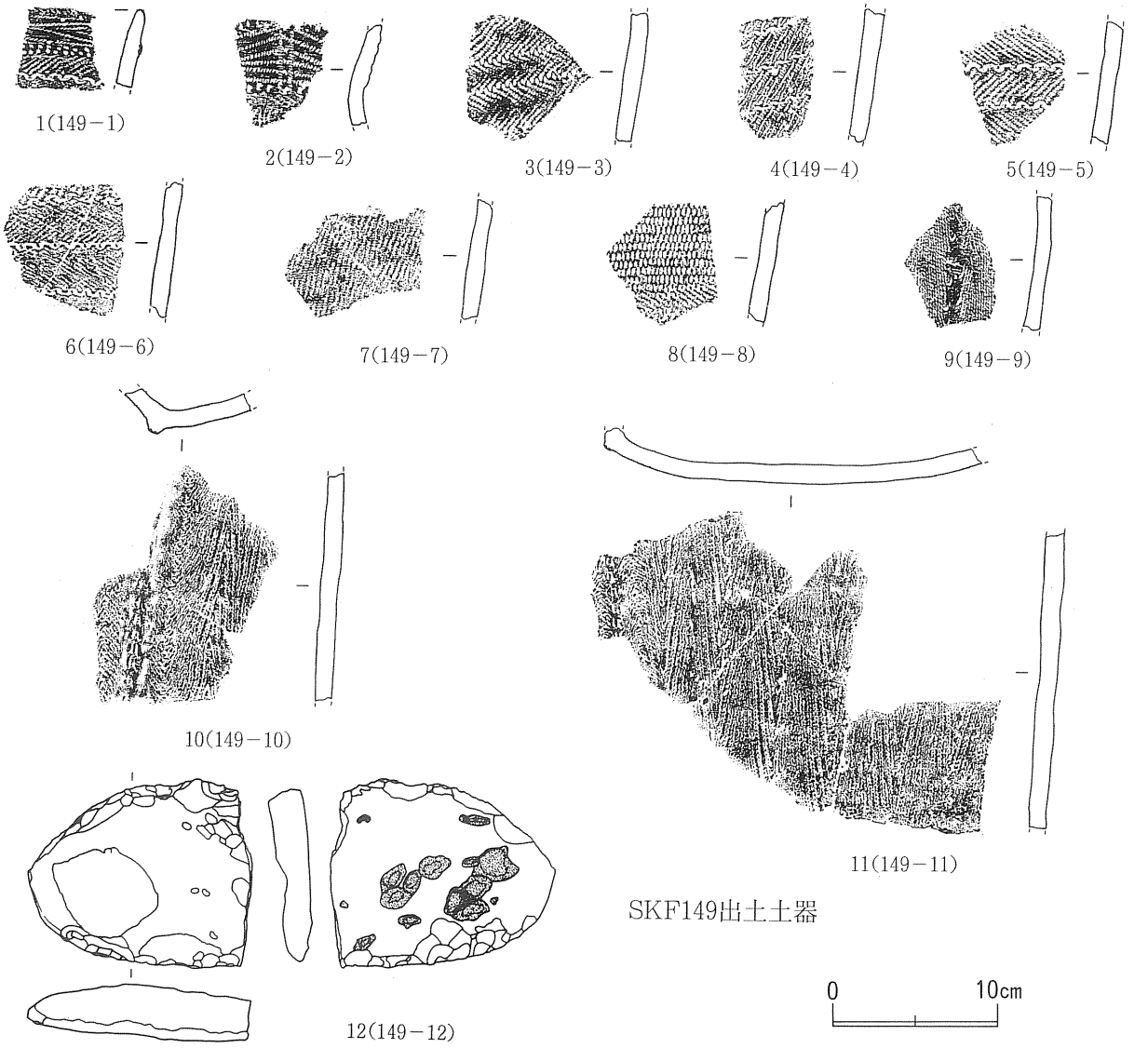
第160図　SKF 130・SKF 148 フラスコ状土坑とその出土遺物



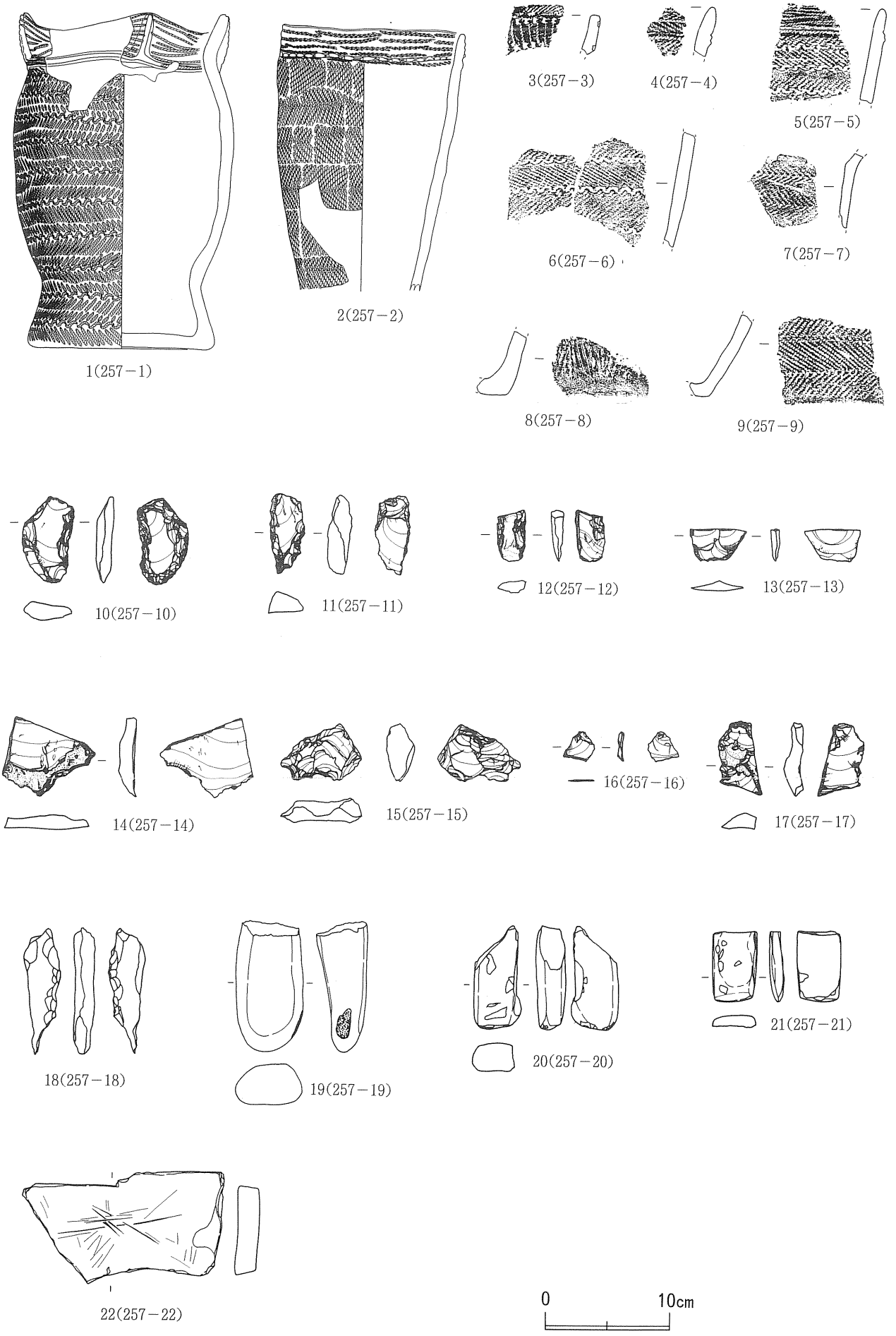




【SKF　149】
1　黒色土(5YR1.7／1) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。
2　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。地山塊(大)多量混入。しまり強い。
3　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、粘性有り。
4　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
6　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
7　黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)多量混入。しまり、粘性有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
11　黒褐色土(7.5YR2／2) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。弾性有り。
12　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。地山塊(大)多量混入。しまり強い。
13　12に同じ。
14　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
15　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり、粘性有り。
16　黄褐色土(2.5Y5／4) 地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
17　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。しまり強い。
18　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) シラス。炭(大粒)中量混入。しまり強い。
19　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。炭(大粒)少量混入。しまり強い。
20　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シラス。炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
21　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
22　明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。



第161図　SKF 149・SKF 257 フラスコ状土坑とその出土遺物



第162図　SKF 257 フラスコ状土坑出土遺物

《位　　置》　ＮＡ67、ＮＢ67グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径2.86ｍ×短径2.18ｍ、坑底部長径2.26ｍ×短径2.18ｍ、深さ0.72ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ19㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片９点、石鏃１点（10）、石匙１点（11）、半円状偏平打製石器１点（12）、石錘１点（13）と、多数の礫が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　155 フラスコ状土坑（第163図）

《位　　置》　ＮＢ62･63、ＮＣ62･63グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形のにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ156フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径2.00ｍ×短径1.66ｍ、坑底部長径2.34ｍ×短径1.80ｍ、深さ0.82ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　16層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ18㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と、削器１点（４）、片面剥離調整した石器破片１点（３）、礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　156 フラスコ状土坑（第164図、図版135）

《位　　置》　ＮＣ62グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ155フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.38ｍ×短径1.22ｍ、坑底部長径2.20ｍ×短径1.92ｍ、深さ1.42ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　22層に分層した。自然堆積と思われるが、下位の層に炭化物の混入が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央からやや西寄りに深さ16㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器が２個体（６･10）、土器片13点、石鏃１点（13）、石器破片３点（17～19）、半円状偏平打製石器１点（20）、篦状石器１点（21）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

SKF152

A　63.650m　B

【SKF 152】
1　黒色土(7.5YR1.7／1) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　褐色土(10YR4／4) 地山塊(小)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
6　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　黄褐色土(2.5Y5／6) シラス。炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
8　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
9　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(小粒)多量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
11　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。

1(152－1)　2(152－2)　3(152－3)　4(152－4)　5(152－5)　6(152－6)　7(152－7)　8(152－8)　9(152－9)　10(152－10)　11(152－11)　12(152－12)　13(152－13)

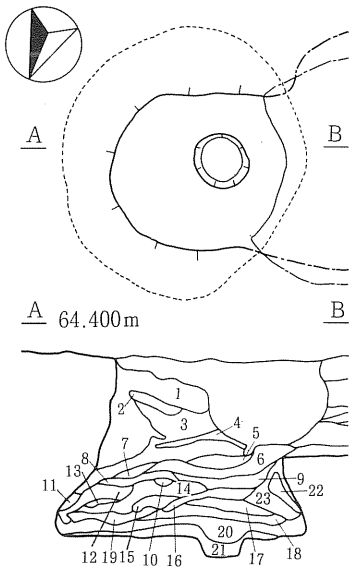
SKF155

A　64.400m　B

【SKF155・SKF156】
1　黒色土(10YR1.7／1) 攪乱穴。
2　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山粒多量混入。
3　明黄褐色シラス(10YR7／6)
4　明黄褐色シラス(10YR6／6) 炭化物微量混入。
5　にぶい黄橙色シラス(10YR6／4) 炭化粒微量混入。
6　にぶい黄褐色シラス(10YR5／3)
7　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4) 炭化物混入。
8　黒褐色土(10YR3／1)
9　明黄褐色シラス(10YR7／6) 炭化物混入。
10　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4)
11　にぶい黄橙色シラス(10YR6／4) 地山塊(小)、炭化物多量混入。
12　明黄褐色シラス(10YR7／6)
13　11に同じ。
14　4に同じ。
15　12に同じ。
16　黒褐色土(10YR2／2) フカフカ。

14(155－1)　15(155－2)　16(155－3)　17(155－4)

第163図　SKF 152・SKF 155 フラスコ状土坑とその出土遺物



【SKF　156】
1　黄橙色シラス(10YR7／8)
2　黄橙色シラス(10YR8／8)
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山塊(中、小)、炭化粒少量混入。
4　明黄褐色シラス(10YR6／6)
5　明黄褐色シラス(10YR6／8)　地山塊。
6　にぶい黄褐色シラス(10YR5／4)　炭化粒、地山塊混入。
7　黄橙色シラス(10YR7／8)　地山塊。
8　にぶい黄褐色シラス(10YR5／4)　炭化物混入。
9　にぶい黄褐色シラス(10YR4／3)　炭化物、地山塊混入。
10　7に同じ。
11　浅黄橙色シラス(10YR8／3)　地山塊。
12　にぶい黄褐色シラス(10YR5／4)　バサバサ。
13　7に同じ。
14　にぶい黄褐色シラス(10YR5／4)　炭化粒少量、地山粒・塊多量混入。
15　7に同じ。
16　灰黄褐色シラス(10YR4／2)　炭化粒少量混入。
17　黄橙色土(7.5YR8／8)
18　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　炭化物混入(多)。
19　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　炭化物混入(中)。
20　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　炭化物混入(少)。
21　11に同じ。
22・23　不明。

0　2m

1(156－1)　2(156－2)　3(156－3)　4(156－4)　5(156－5)　6(156－6)　7(156－7)　8(156－8)　9(156－9)　10(156－10)　11(156－11)　12(156－12)　13(156－13)　14(156－14)　15(156－15)　16(156－16)　17(156－17)　18(156－18)　19(156－19)　20(156－20)　21(156－21)

0　10cm

第164図　SKF 156 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　157 フラスコ状土坑（第165図）

《位　　置》　ＮＢ63･64グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.06ｍ×短径0.95ｍ、坑底部長径1.64ｍ×短径1.60ｍ、深さ0.94ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　３層に分層した。人為的堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土の第３層中に石鏃１点（１）、磨製石斧１点（２）、片面剥離調整した石器破片１点（３）、半円状偏平打製石器１点（４）、くぼみ石３点（５～７）、敲石１点（８）、擦り石１点（９）のほか、礫が出土した。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　158 フラスコ状土坑（第166図、図版135）

《位　　置》　ＮＡ64グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.62ｍ×短径1.58ｍ、坑底部長径1.66ｍ×短径1.64ｍ、深さ1.52ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土の第10層から深鉢土器が１個体（７）と土器片９点、石匙１点（11）、削器１点（12）、くぼみ石２点（13･14）、半円状偏平打製石器１点（15）、くぼみ・敲石１点（16）のほか多数の礫が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　159 フラスコ状土坑（第167図、図版136）

《位　　置》　ＮＤ65グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に楕円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.92ｍ×短径1.72ｍ、坑底部長径2.10ｍ×短径1.96ｍ、深さ0.56ｍ。

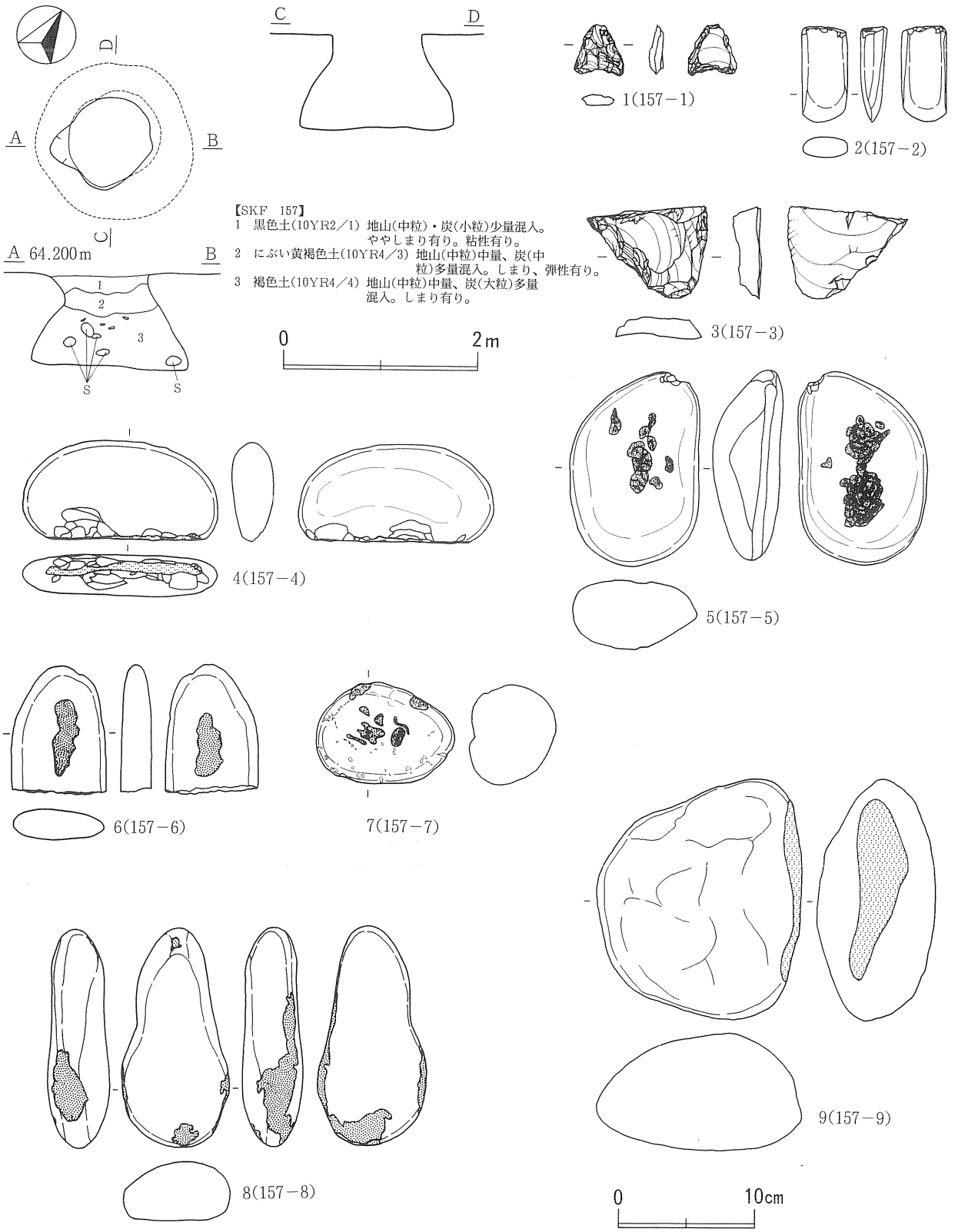
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ18㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

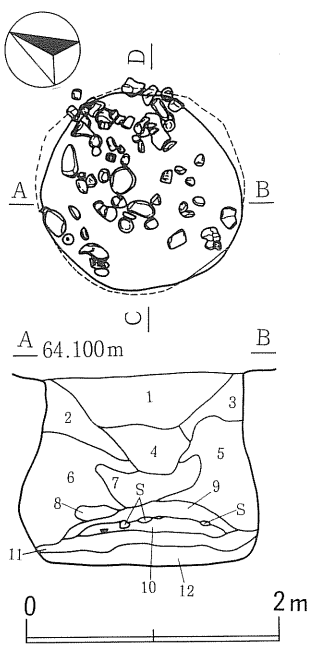
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器が２個体分（10･11）と土器片９点、石槍１点（13）、篦状石器２点（13･

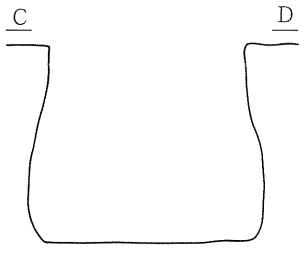


第165図　SKF 157 フラスコ状土坑とその出土遺物

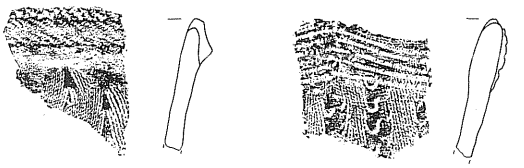
16)、片面剥離調整した石器破片２点（14･15)、掻器２点（18･19)、両面剥離調整した石器破片１点（20)、石器剥片１点（17）のほか多数の礫が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

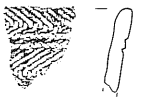


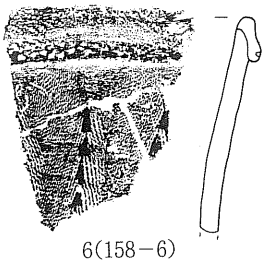


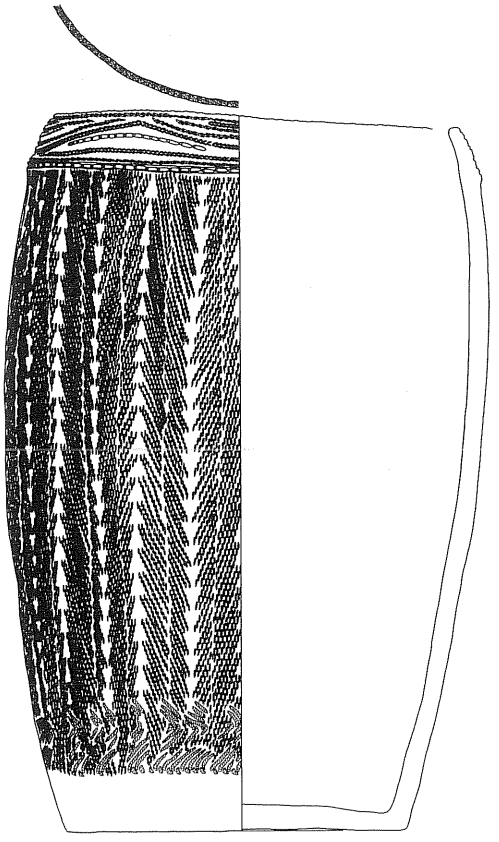
【SKF　158】
1　黒褐色土(10YR3／2)　地山(大粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
3　褐色土(10YR4／4)　地山(大粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
4　黒褐色土(10YR2／2)　地山(大粒)中量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
5　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6　明黄褐色土(2.5Y7／6)　シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
7　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)やや多量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
8　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややボソボソしている。
9　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)中量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
10　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。地山(大粒)中量混入。しまり有り。
11　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
12　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　しまり有り。


1(158－1)　2(158－2)

3(158－3)　4(158－4)

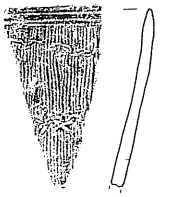

5(158－5)

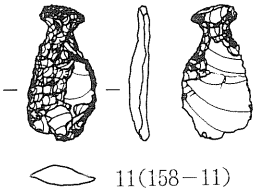

6(158－6)

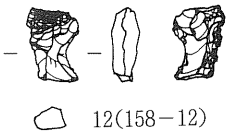

7(158－7)

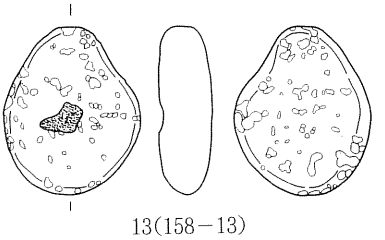
8(158－8)

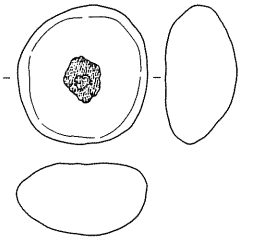
9(158－9)

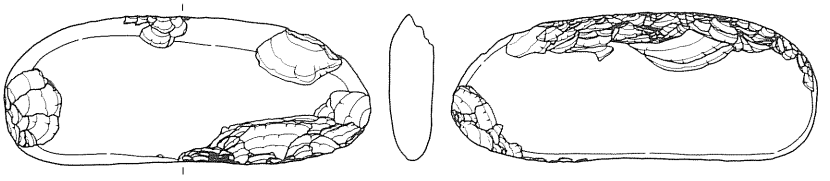

10(158－10)

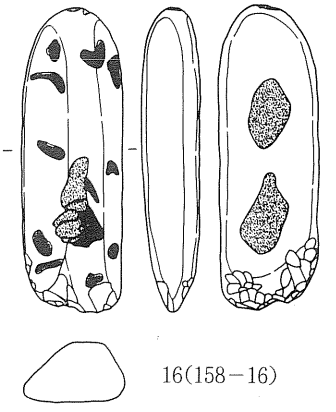

11(158－11)


12(158－12)


13(158－13)

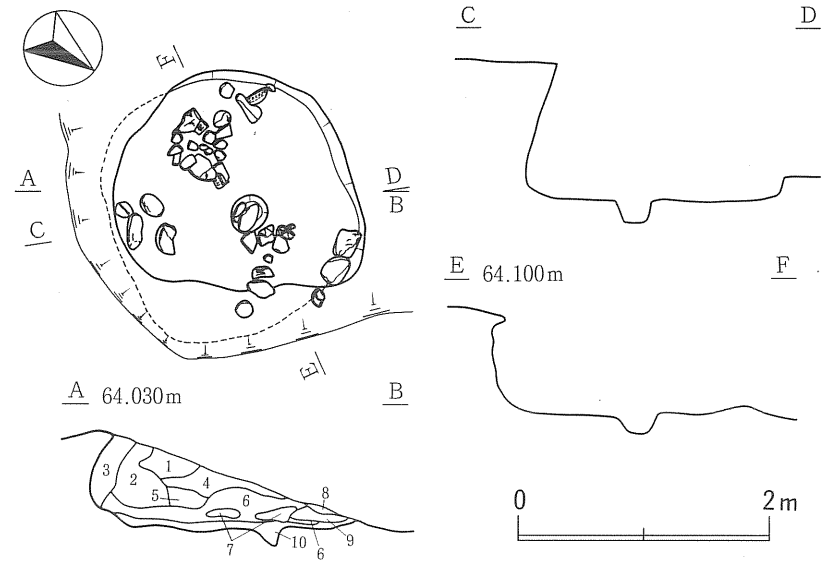

14(158－14)


15(158－15)

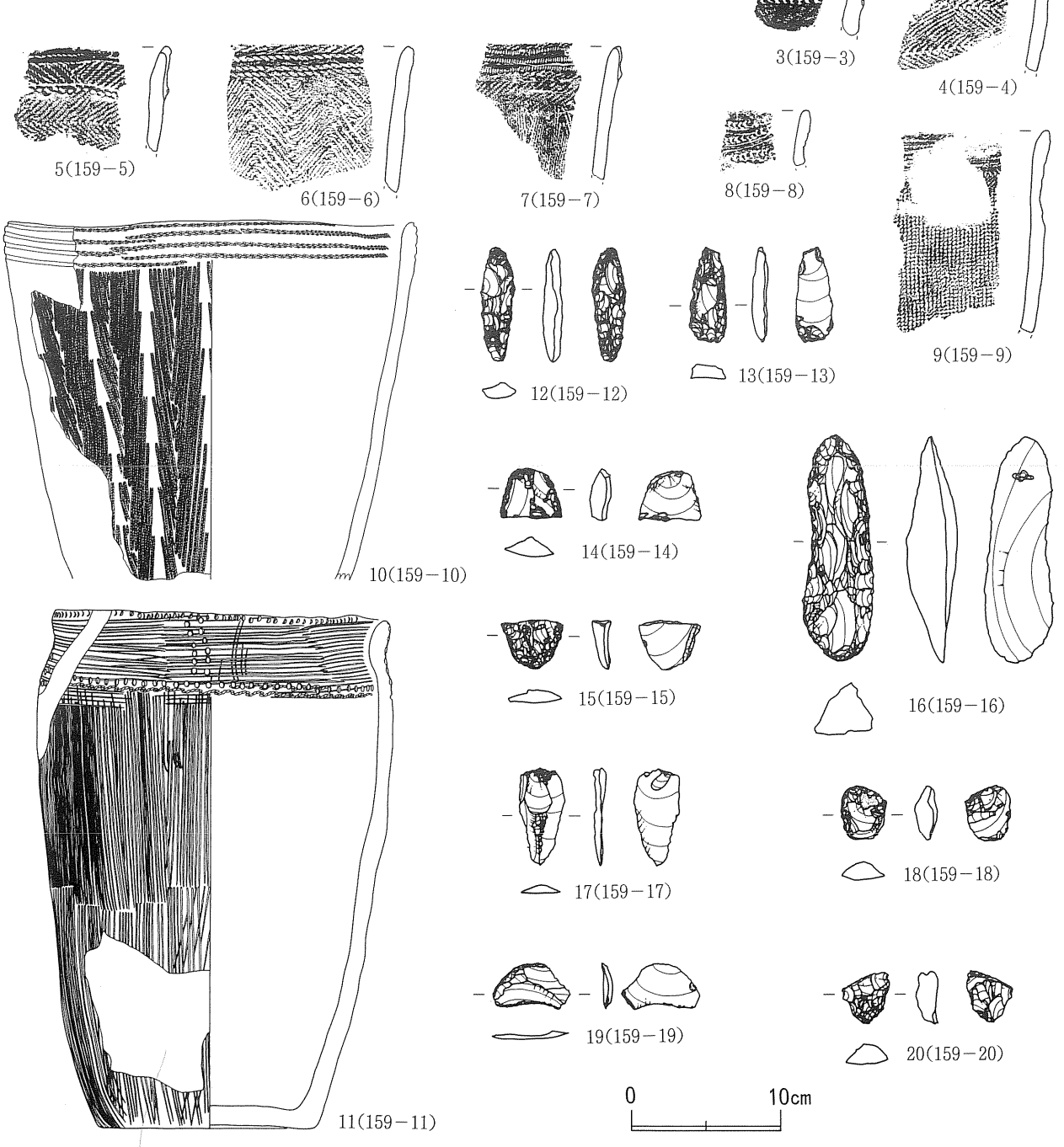

16(158－16)

0　10cm

第166図　SKF 158 フラスコ状土坑とその出土遺物



【SKF 159】
1　黄色土(2.5Y7／8) 地山塊(大)多量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
2　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
3　地山
4　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり、弾性有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山塊(小)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6　黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)中量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
8　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。しまり強い。
9　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。しまり有り。
10　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。



第167図　SKF 159 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　160 フラスコ状土坑（第168図）

《位　　置》　ＮＤ65•66グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に楕円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.92ｍ×短径1.28ｍ、坑底部長径1.76ｍ×短径1.22ｍ、深さ0.16ｍ。

《平 面 形》　円形と推定される。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　平坦な底面に柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　161 フラスコ状土坑（第168図）

《位　　置》　ＮＢ64•65、ＮＣ64•65グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.82ｍ×短径0.76ｍ、坑底部長径1.82ｍ×短径1.68ｍ、深さ1.02ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片が５点、抉り入り削器２点（６・８）、削器破片１点（10）、篦状石器１点（９）、石錘２点（11•12）、石器剥片１点（７）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　162 フラスコ状土坑（第168図）

《位　　置》　ＮＢ65、ＮＣ65グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ164フラスコ状土坑と重複していたが、新旧関係は不明である。

《規　　模》　開口部長径1.30ｍ×短径0.92ｍ、坑底部長径1.54ｍ×短径1.44ｍ、深さ1.02ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

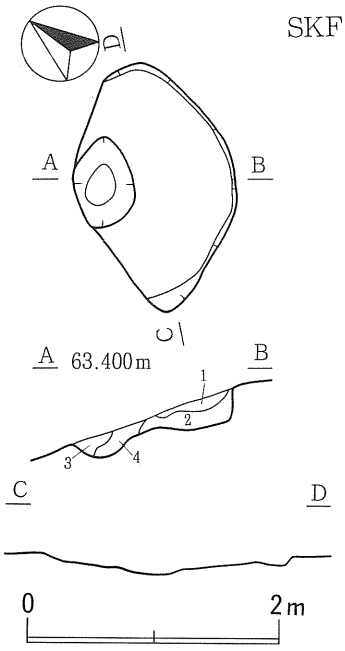
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片が４点出土した。

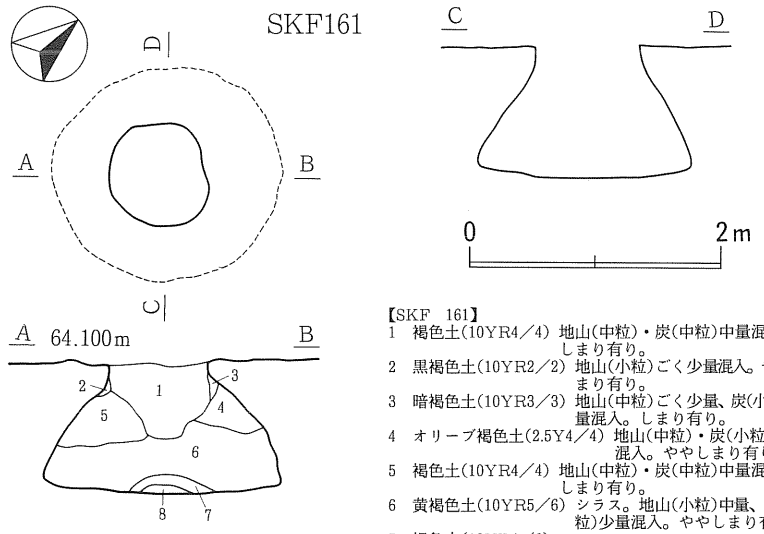
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　164　フラスコ状土坑（第169図）

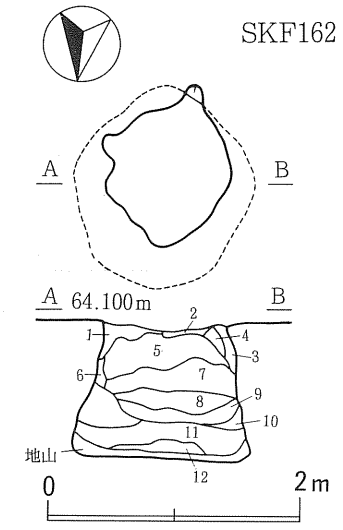
《位　　置》　ＮＢ65グリッドに位置する。



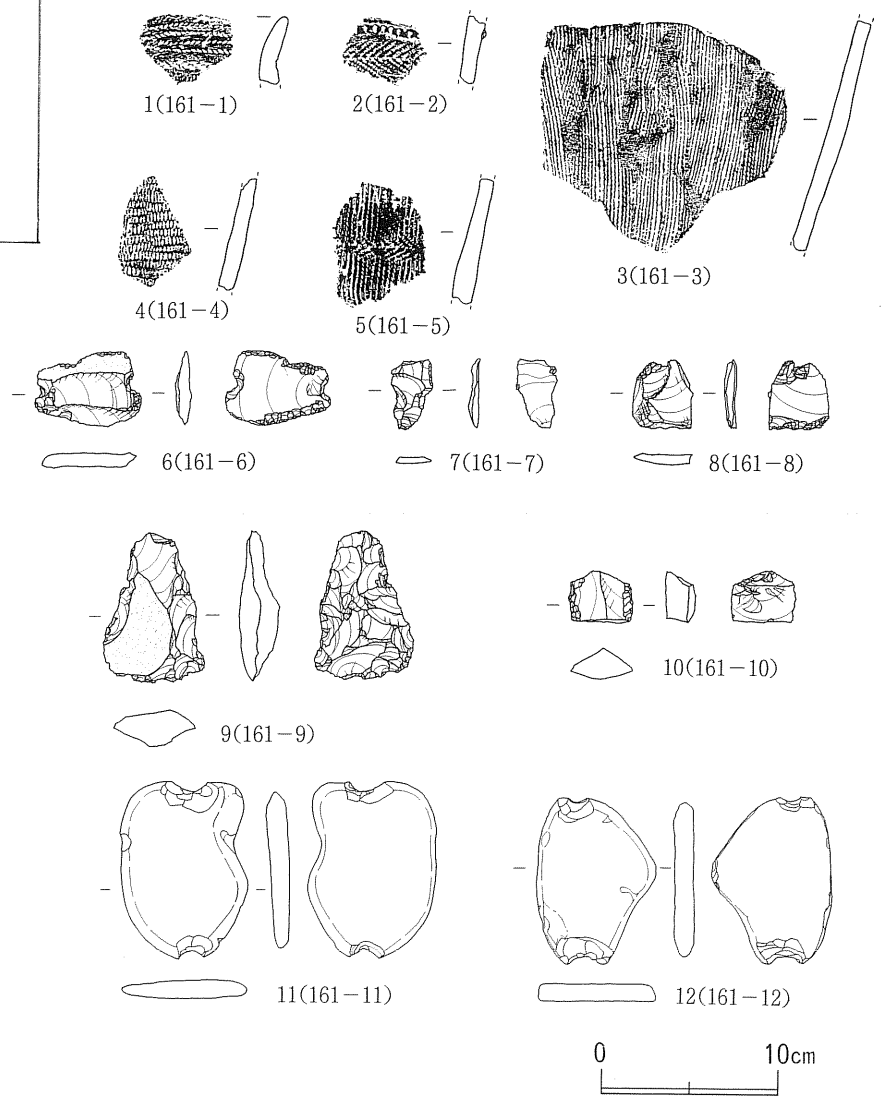
【SKF 160】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)やや多量混入。しまり強い。
2　明黄褐色土(10YR6／6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
3　黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)少量混入。しまり強い。
4　明黄褐色土(10YR6／6) 地山(大粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。

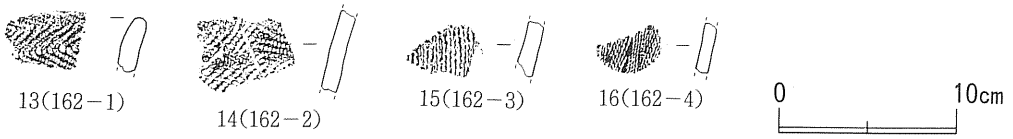


【SKF 161】
1　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
3　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
5　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　黄褐色土(10YR5／6) シラス。地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
7　褐色土(10YR4／6) シラス。
8　黒褐色土(10YR3／2) シラス。



【SKF 162】
1　黒褐色土(10YR2／3) 地山(大粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。ややボソボソしている。
4　明黄褐色土(2.5Y7／6) 地山塊(大)混入。しまり強い。
5　黄褐色土(10YR5／6) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　暗褐色土(10YR3／4) 地山(小粒)ごく少量混入。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
8　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
9　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(小粒)ごく少量混入。
11　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
12　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。





第168図　SKF 160・SKF 161・SKF 162 フラスコ状土坑とその出土遺物

《確　　認》　円形の暗灰黄色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ162フラスコ状土坑と重複していたが、新旧関係は不明である。

《規　　模》　開口部長径1.72ｍ×短径1.62ｍ、坑底部長径2.38ｍ×短径2.38ｍ、深さ1.08ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ15㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片４点と、石槍１点（８）、掻器１点（６）、くぼみ石１点（５）、擦り石１点（７）、礫10点などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　165・ＳＫＦ　244 フラスコ状土坑（第169図）

《位　　置》　ＮＡ65グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の褐色土の落ち込みとして確認した。２基のフラスコ状土坑であるとの確認は底面の段差による。

《重　　複》　互いに重複しており、新旧関係はＳＫＦ244フラスコ状土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径2.26ｍ×短径1.06ｍ、坑底部長径2.58ｍ×短径1.36ｍ、深さ1.02ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　ＳＫＦ165の埋土中からは、石匙１点（１）、削器１点（２）、掻器１点（３）、石錘１点（４）が、ＳＫＦ244の埋土中からは、土器片５点と、くぼみ石１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　166 フラスコ状土坑（第170図）

《位　　置》　ＮＢ63グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.78ｍ×短径0.74ｍ、坑底部長径1.76ｍ×短径1.48ｍ、深さ1.58ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

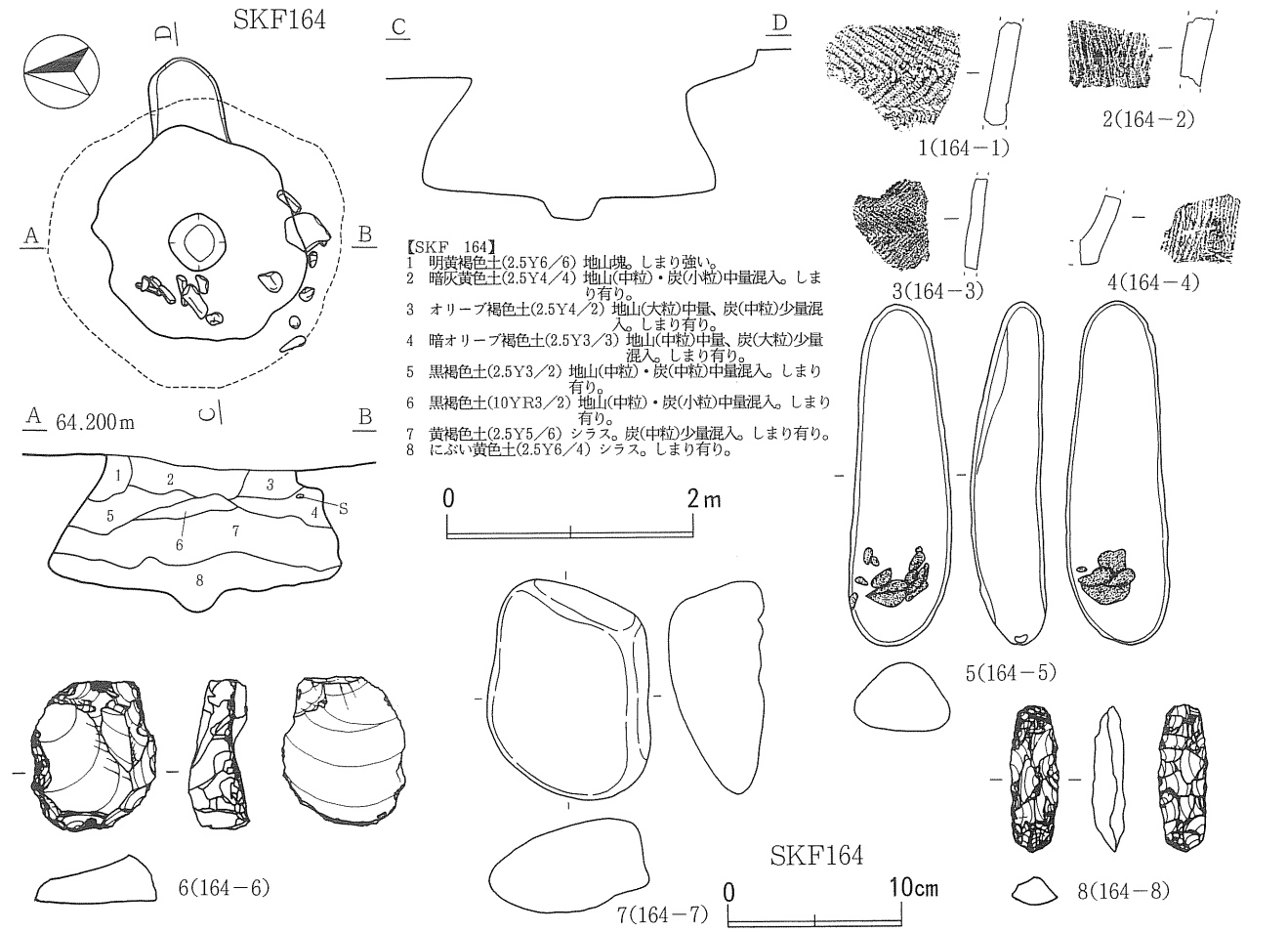
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ17㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　底面から土器片が６点出土した。

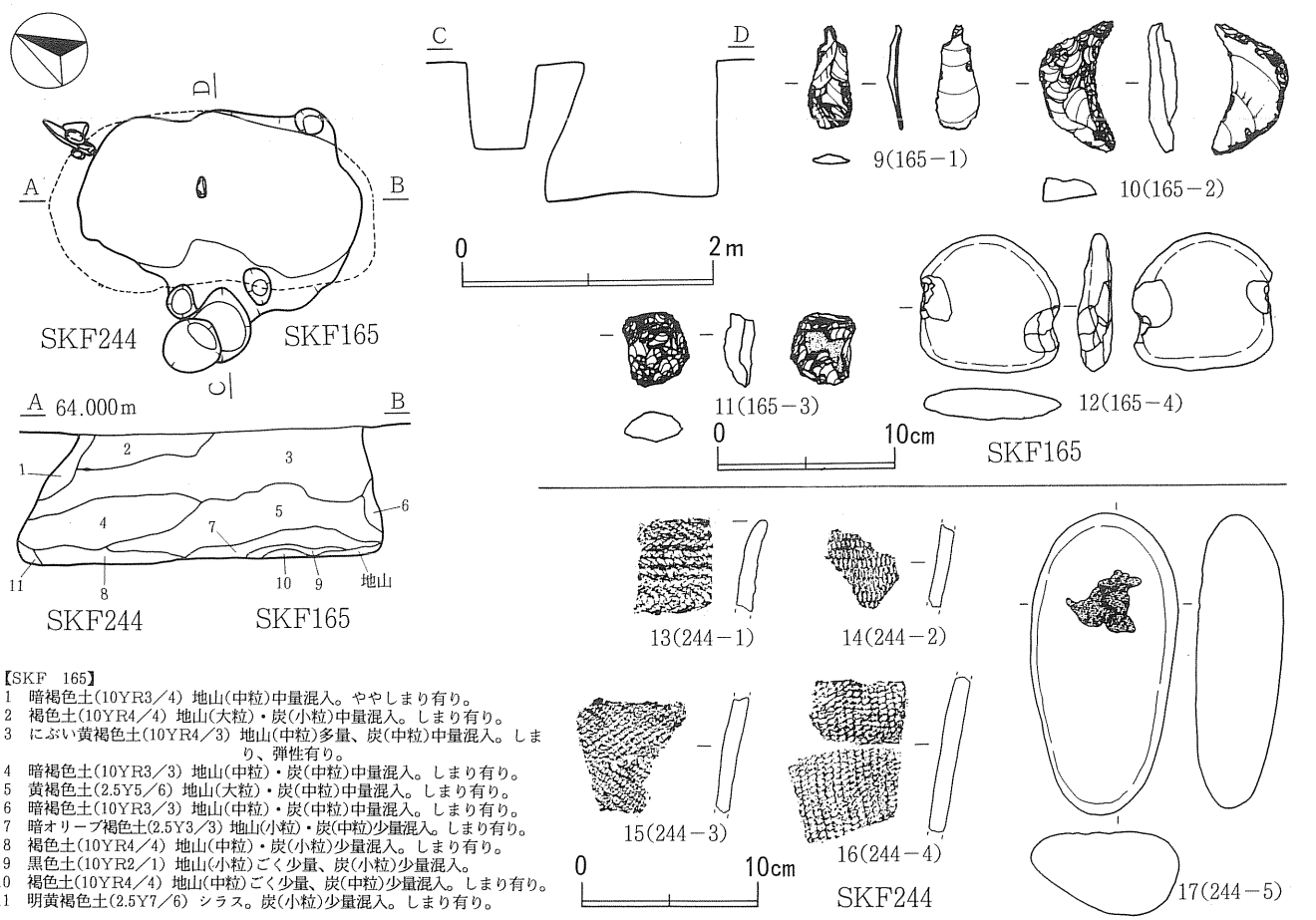
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　167 フラスコ状土坑（第170図、図版136）

《位　　置》　ＮＣ66グリッドに位置する。



【SKF　164】
1　明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山塊。しまり強い。
2　暗灰黄色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／2) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
4　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
5　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　黒褐色土(10YR3／2) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
7　黄褐色土(2.5Y5／6) シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　にぶい黄色土(2.5Y6／4) シラス。しまり有り。



【SKF　165】
1　暗褐色土(10YR3／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
2　褐色土(10YR4／4) 地山(大粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(中粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
4　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
5　黄褐色土(2.5Y5／6) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
9　黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。
10　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
11　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。

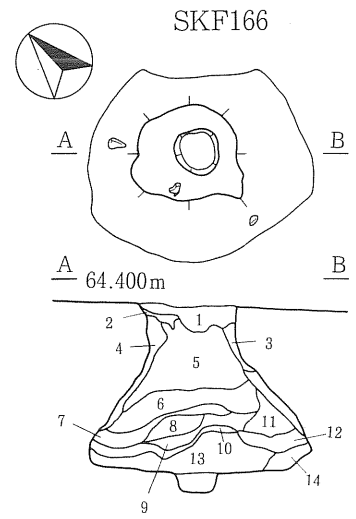
第169図　SKF 164・SKF 165・SKF 244 フラスコ状土坑とその出土遺物

《確　　認》　台地縁辺に不整な方形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径2.14ｍ×短径2.08ｍ、坑底部長径2.28ｍ×短径2.20ｍ、深さ0.88ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ16㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器胴部上半２個体分（２・３）と土器片２点（１・４）、石槍１点（８）、半円状偏平打製石器破片３点（５・６・９）、擦り石１点（７）のほか多数の礫が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

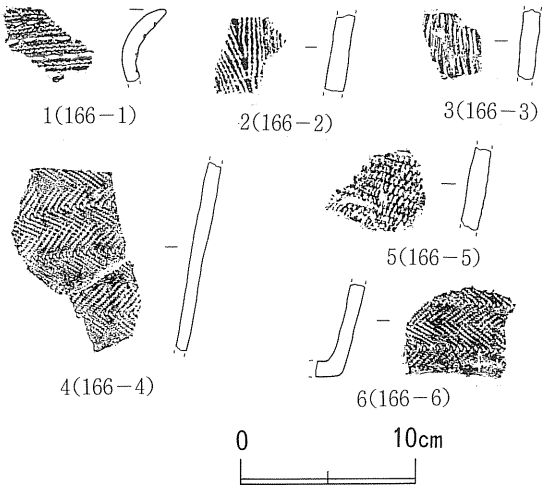
ＳＫＦ　168 フラスコ状土坑（第171図）
《位　　置》　ＮＢ66･67、ＮＣ66･67グリッドに位置する。
《確　　認》　台地縁辺に円形のにぶい黄橙色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫ178土坑と重複していた。本土坑が古い。
《規　　模》　開口部長径2.30ｍ×短径1.98ｍ、坑底部長径2.20ｍ×短径1.98ｍ、深さ0.56ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　13層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片３点と、微小剥離痕のある石器剥片１点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

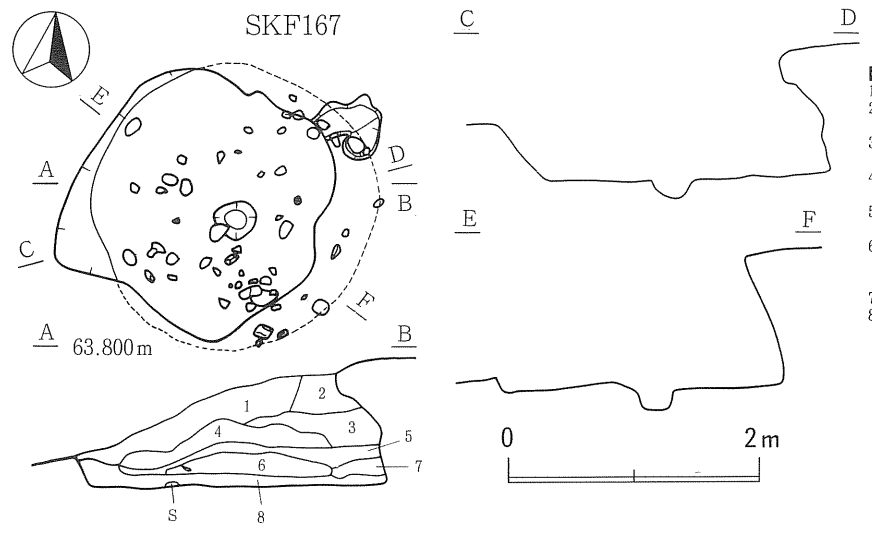
ＳＫＦ　170 フラスコ状土坑（第171図、図版137）
《位　　置》　ＮＢ66グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.51ｍ×短径1.30ｍ、坑底部長径1.62ｍ×短径1.60ｍ、深さ0.84ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土の第８層から、深鉢土器１個体（５）と土器片４点、微小剥離痕のある石器剥片１点（６）、くぼみ石１点（７）が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　171 フラスコ状土坑（第172図）
《位　　置》　ＮＢ65･66グリッドに位置する。

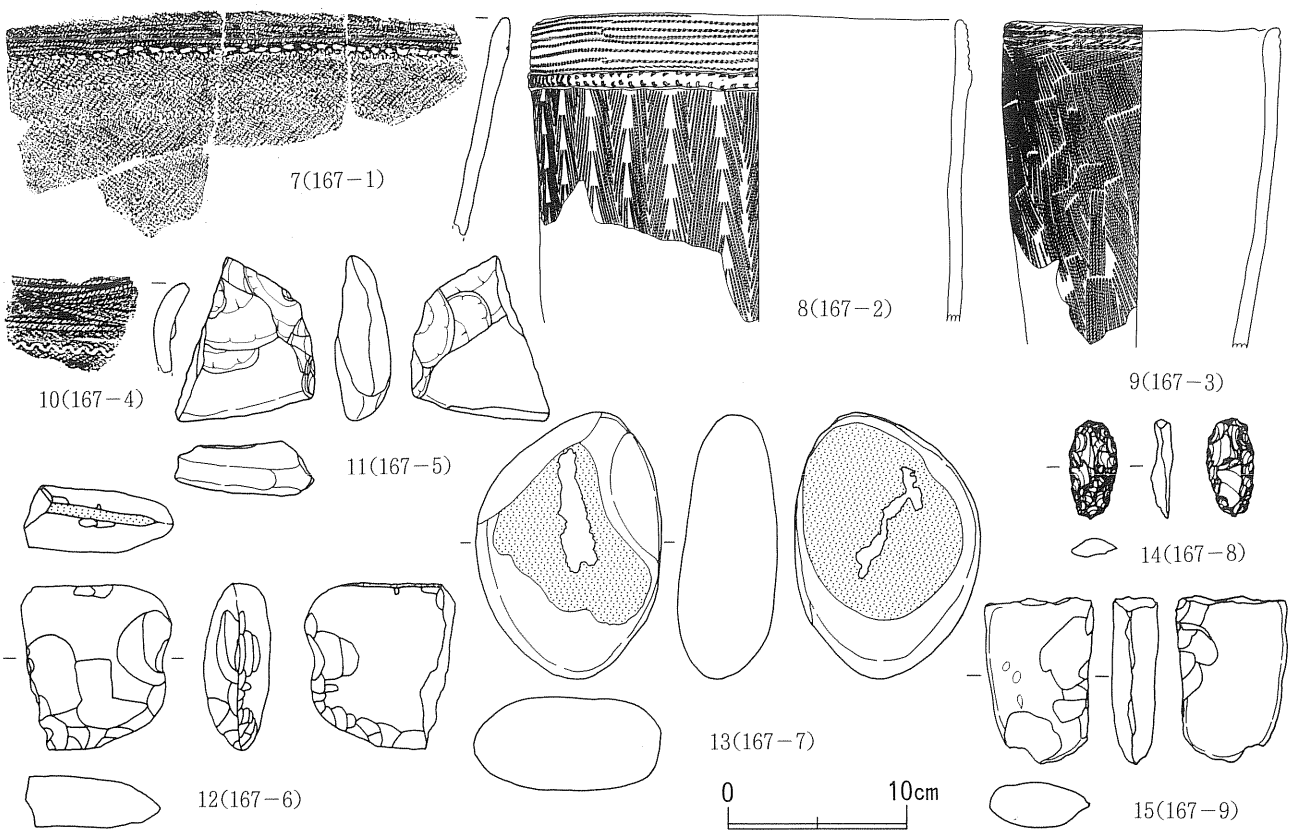


【SKF　166】
1　黒褐色土(10YR3／1)　地山粒・塊(中)を粗に混入。
2　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒を混入。
3　黒色土(10YR2／1)　パサパサ・フカフカ。
4　明黄褐色土(10YR6／6)　フカフカ。
5　黄橙色土(10YR8／8)　地山再堆積(一度に埋めた可能性)。
6　黄褐色土(10YR5／6)　炭化粒・地山塊(小)少量混入。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　炭化粒を微量混入。
8　明黄褐色土(10YR6／6)　炭化粒を少量混入。
9　明黄褐色土(10YR6／6)　軟質。
10　黒褐色土(10YR3／1)＋明黄褐色土(10YR6／8)
11　8に同じ。
12　黒褐色土(10YR3／1)　フカフカ。
13　黄橙色土(10YR8／6)　地山塊(小・大)多量混入。
14　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　軟質。

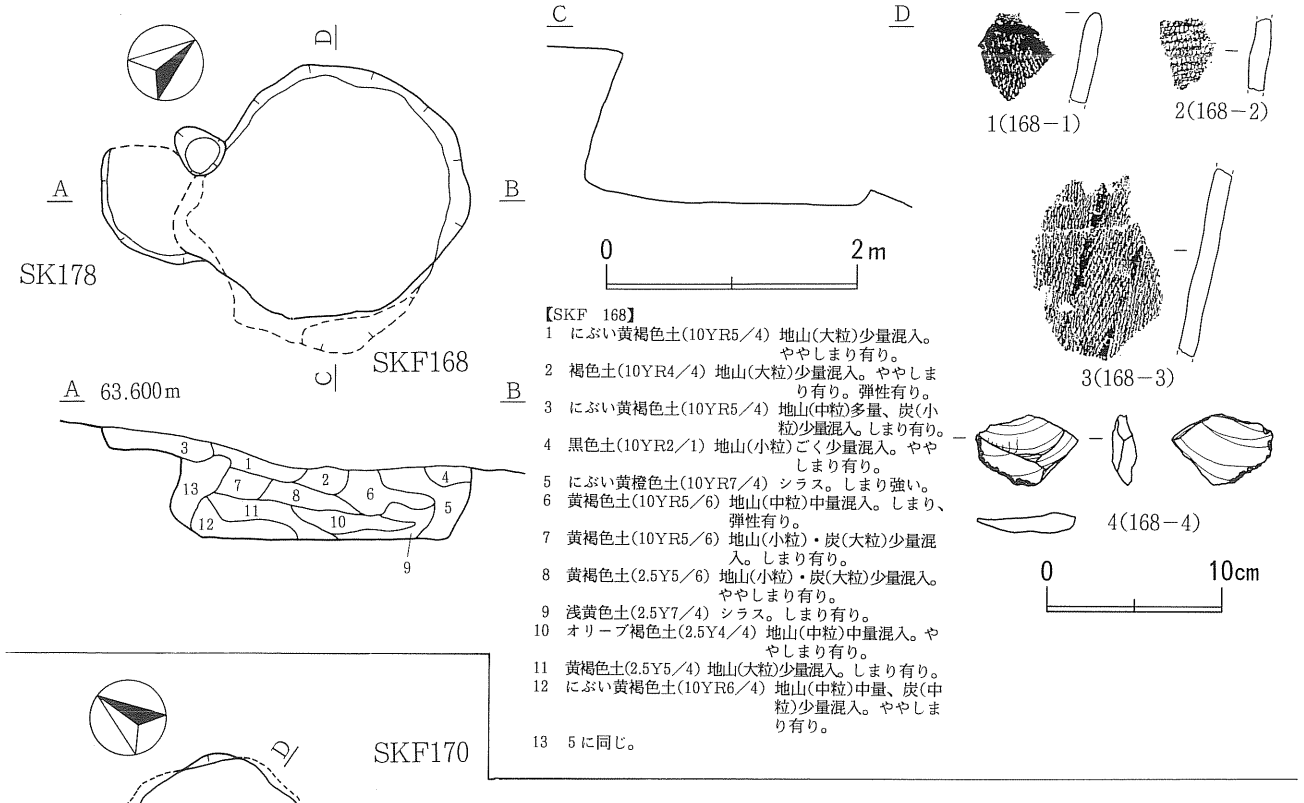




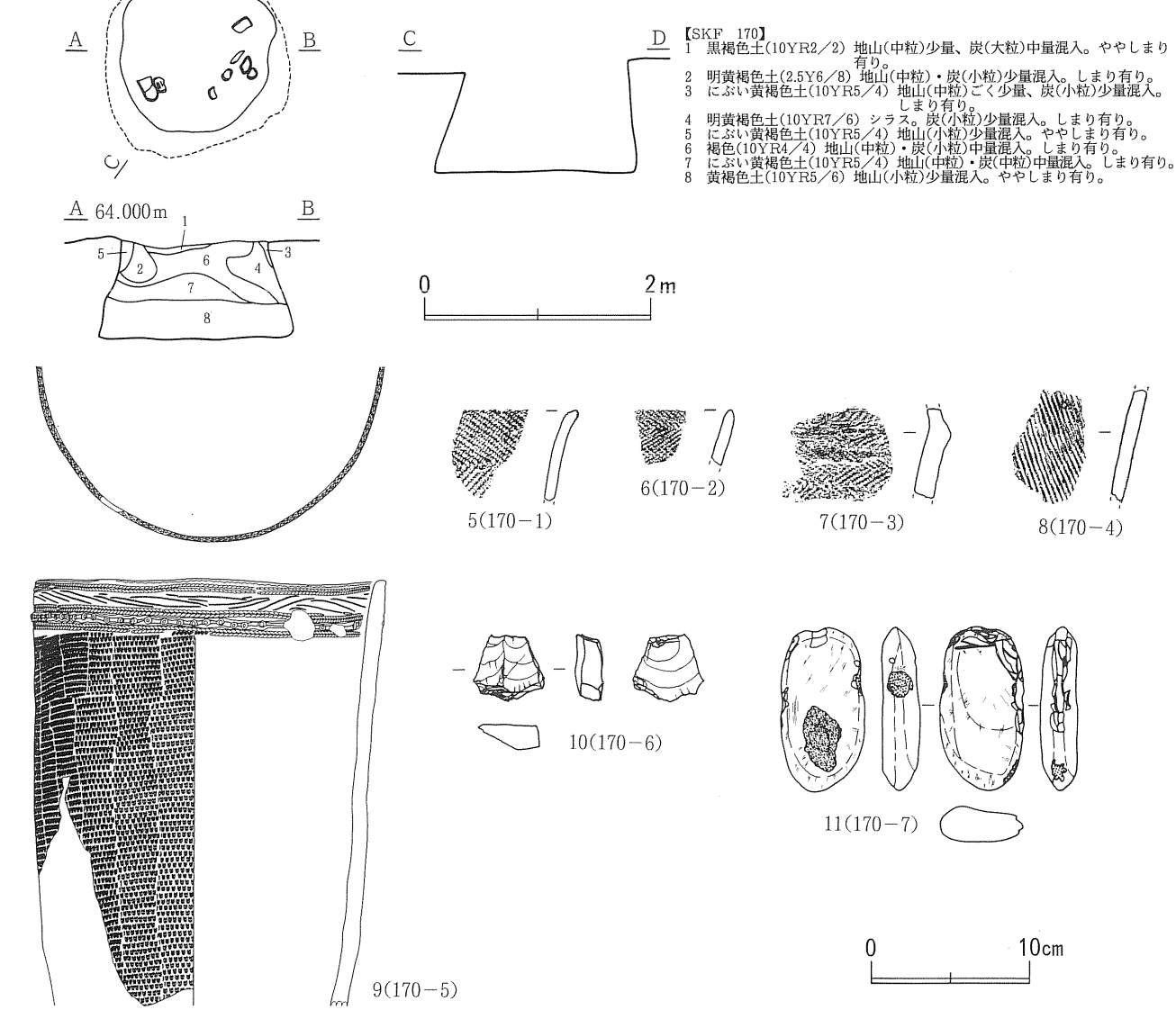
【SKF　167】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)中量混入。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。
3　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
6　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(小粒)やや多量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
7　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。
8　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。



第170図　SKF 166・SKF 167 フラスコ状土坑とその出土遺物



【SKF 168】
1 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(大粒)少量混入。ややしまり有り。
2 褐色土(10YR4／4) 地山(大粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。
3 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
4 黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
5 にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス。しまり強い。
6 黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
7 黄褐色土(10YR5／6) 地山(小粒)・炭(大粒)少量混入。しまり有り。
8 黄褐色土(2.5Y5／6) 地山(小粒)・炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
9 浅黄色土(2.5Y7／4) シラス。しまり有り。
10 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
11 黄褐色土(2.5Y5／4) 地山(大粒)少量混入。しまり有り。
12 にぶい黄褐色土(10YR6／4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
13 5に同じ。



【SKF 170】
1 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
2 明黄褐色土(2.5Y6／8) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
4 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
6 褐色(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
7 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8 黄褐色土(10YR5／6) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。

第171図　SKF 168 フラスコ状土坑・SK 178 土坑・SKF 170 フラスコ状土坑とその出土遺物

《確　　認》　円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.20ｍ×短径1.06ｍ、坑底部長径1.24ｍ×短径1.18ｍ、深さ0.24ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面に溝状の掘り込みが東西南北に走り、中央には柱穴様ピットが２カ所ある。

《遺　　物》　底面から土器片４点、磨製石斧１点（５）、半円状偏平打製石器１点（６）、擦り石２点（７・８）、くぼみ石１点（８）、石皿破片２点（10・12）、敲石１点（11）のほか長大な礫１点も出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　172 フラスコ状土坑（第173図）

《位　　置》　ＮＡ67・68、ＮＢ67・68グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.52ｍ×短径1.08ｍ、坑底部長径2.10ｍ×短径1.88ｍ、深さ1.02ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から土器片７点、石匙１点（８）、削器２点（９・10）、石錘１点（11）、くぼみ石１点（12）、擦り石２点（13・14）のほか礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　173 フラスコ状土坑（第173図・第174図）

《位　　置》　ＮＡ66、ＮＢ66グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.32ｍ×短径0.94ｍ、坑底部長径2.02ｍ×短径2.00ｍ、深さ1.40ｍ。

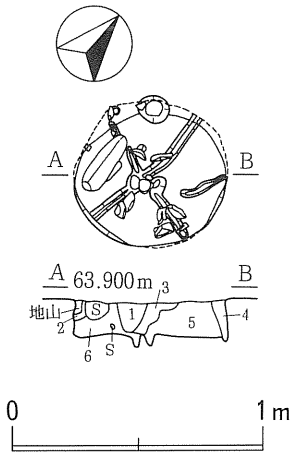
《平 面 形》　楕円形である。

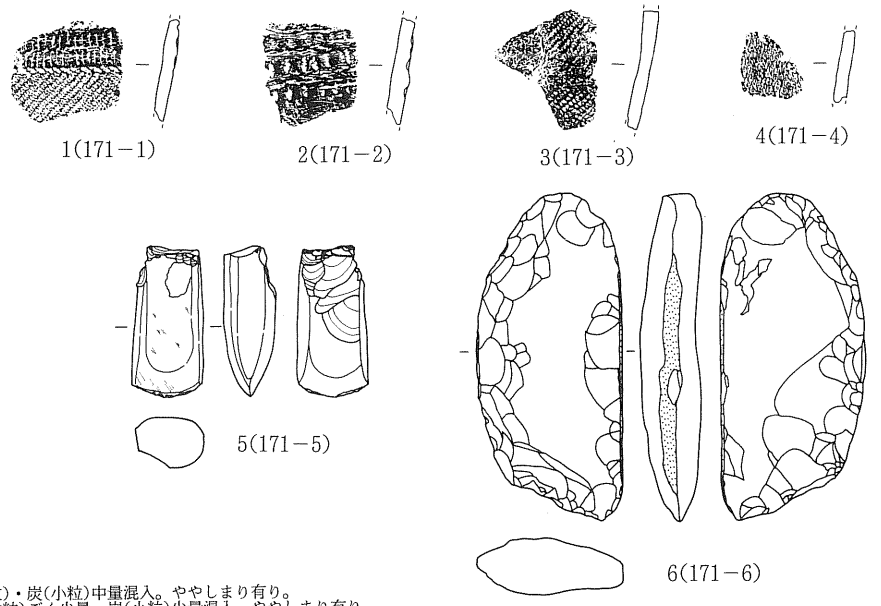
《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

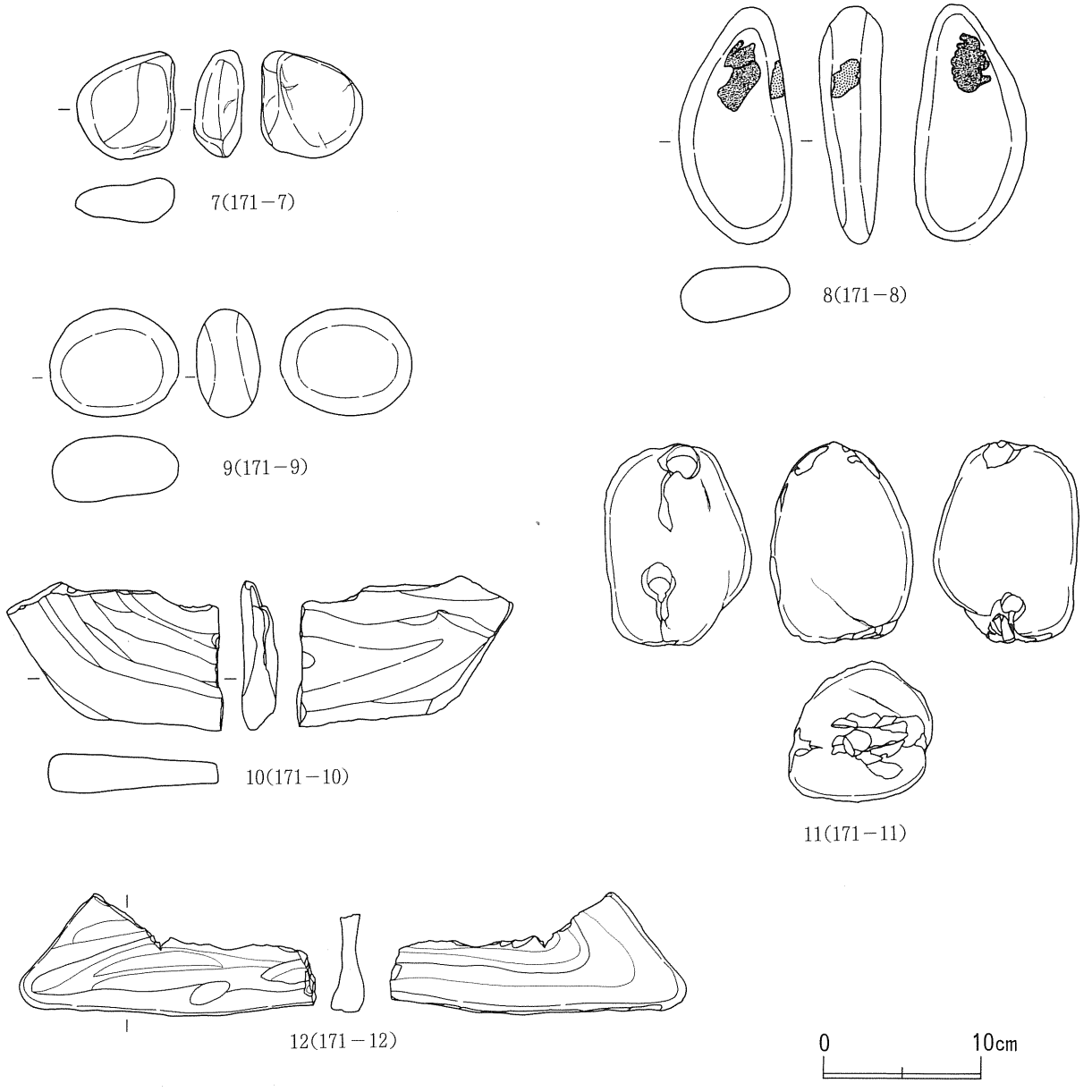
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ９㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器胴部上半１個体分（１）と土器片２点（２・３）、石匙１点（４）、石槍１点（５）、石錘１点（７）、半円状偏平打製石器３点（６・８・10）、石皿破片２点（９・11）などが出土した。

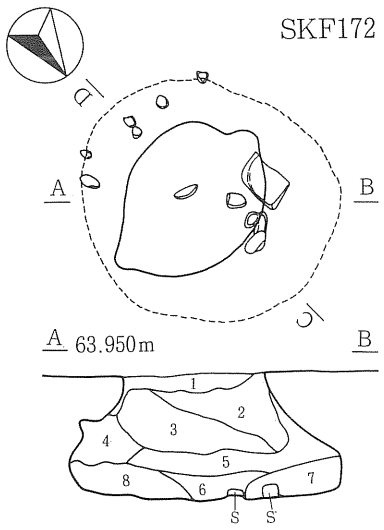


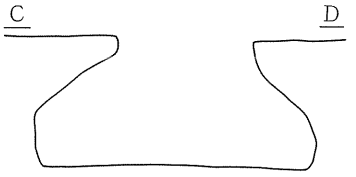


【SKF　171】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3　暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
4　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
6　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。



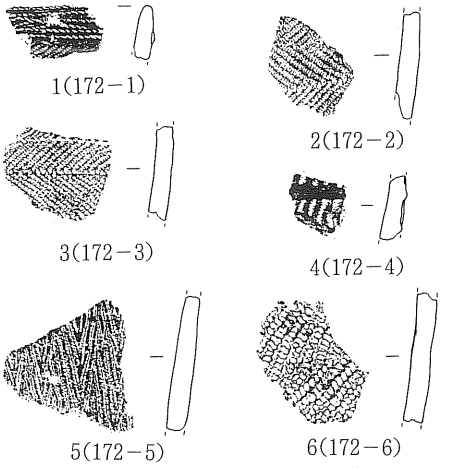
第172図　SKF 171 フラスコ状土坑とその出土遺物

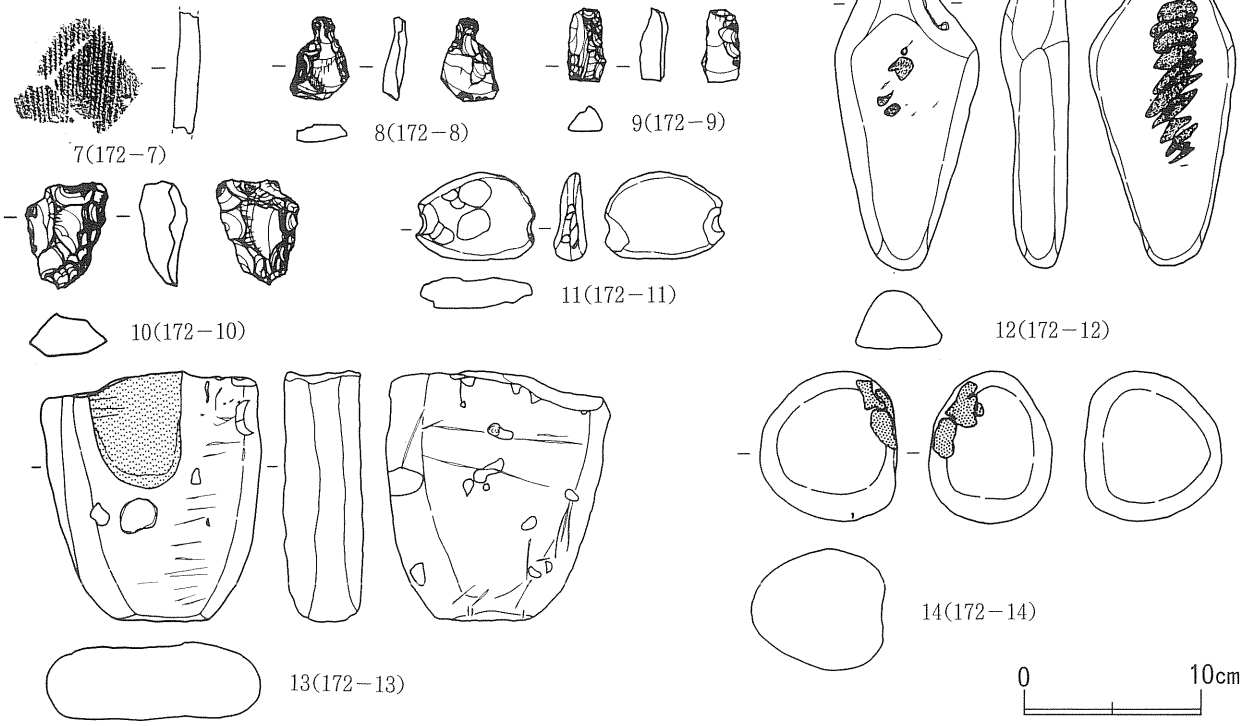


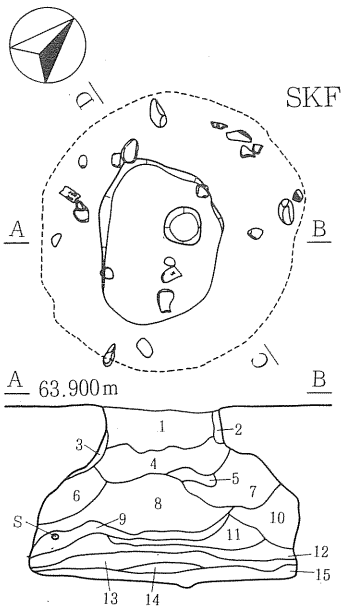


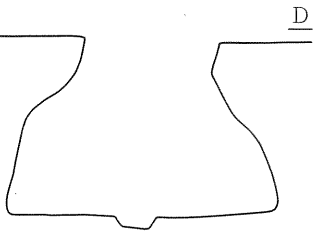
【SKF 172】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、粘性有り。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
3　黄褐色土(10YR5／6)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
4　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
5　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)・炭(大粒)少量混入。しまり有り。
7　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。
8　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。

0　2m



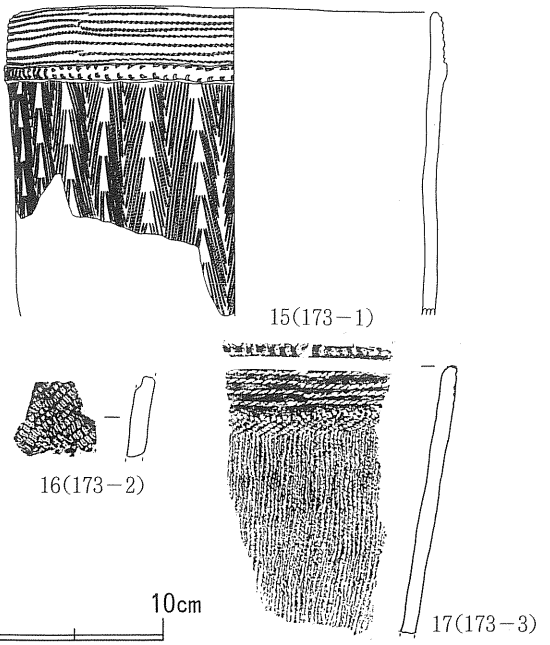






【SKF 173】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(大粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(10YR2／3)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)少量混入。
4　明黄褐色土(10YR6／6)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり、弾性有り。
5　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
6　黄褐色土(2.5Y5／4)　地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。
8　明黄褐色土(10YR6／6)　地山(大粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)ごく少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
10　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス。しまり有り。
11　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。ややしまり有り。
12　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
13　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス。ややしまり有り。
14　褐色(10YR4／4)　シラス。炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
15　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。ややしまり有り。

0　2m



第173図　SKF 172・SKF 173 フラスコ状土坑とその出土遺物

1(173－4)

2(173－5)

3(173－6)

4(173－7)

5(173－8)

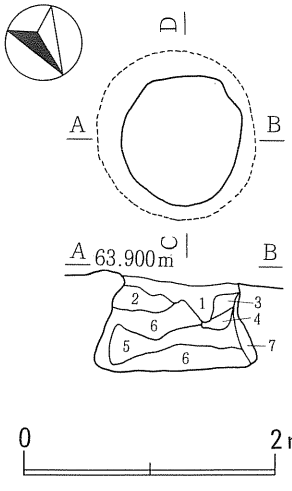
6(173－9)

7(173－10)

8(173－11)

0　10cm

SKF173 出土遺物



【SKF 175】
1　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、粘性有り。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3　暗褐色土(10YR3／4)　地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。

9(175－1)

10(175－2)

11(175－3)

0　10cm

第174図　SKF 173・SKF 175 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　175 フラスコ状土坑（第174図）

《位　　置》　ＮＡ66グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.04ｍ×短径0.95ｍ、坑底部長径1.35ｍ×短径1.26ｍ、深さ0.72ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と、片面調整剥離の石器剥片１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　176 フラスコ状土坑（第175図）

《位　　置》　ＮＡ65･66グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.60ｍ×短径1.36ｍ、坑底部長径1.48ｍ×短径1.42ｍ、深さ0.48ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と半円状偏平打製石器１点（１）、くぼみ石１点（３）、石器剥片１点（２）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　177 フラスコ状土坑（第175図）

《位　　置》　ＭＳ66･67グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.18ｍ×短径0.87ｍ、坑底部長径1.62ｍ×短径1.58ｍ、深さ1.28ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

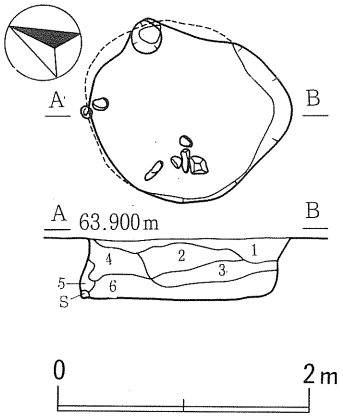
《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

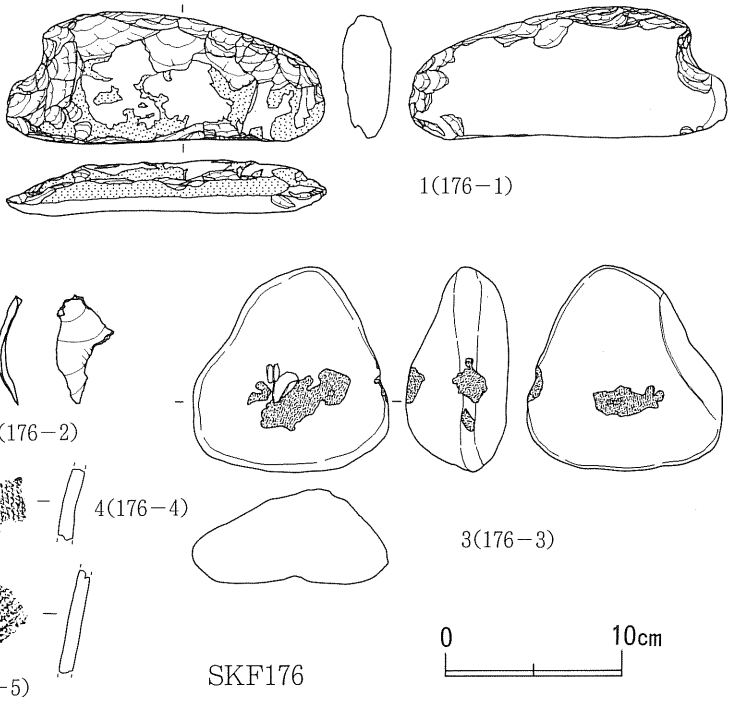
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

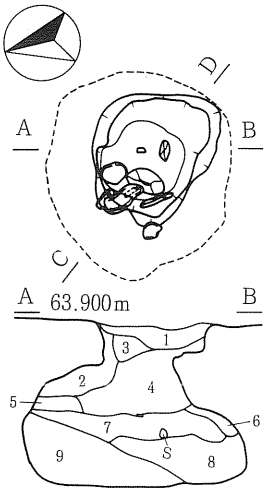
《遺　　物》　埋土中から土器片１点と礫８点が出土した。

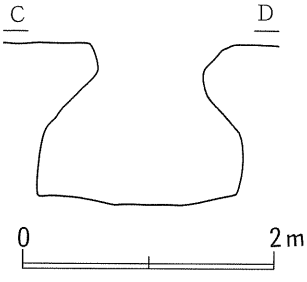
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。



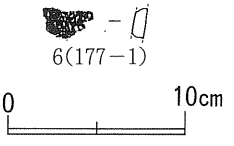
【SKF 176】
1　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(中粒)中量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(10YR2／2)　地山(中粒)中量混入。しまり・粘性有り。
3　黒色土(10YR2／1)　地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。粘性有り。
4　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　黒褐色土(10YR2／3)　地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。





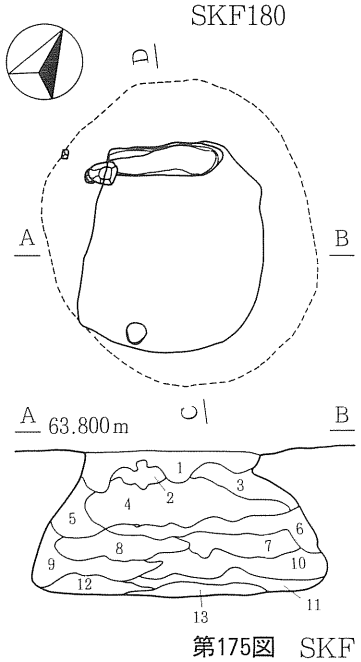


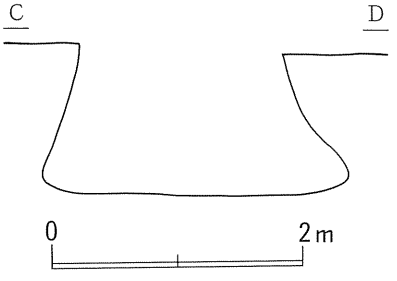
SKF177



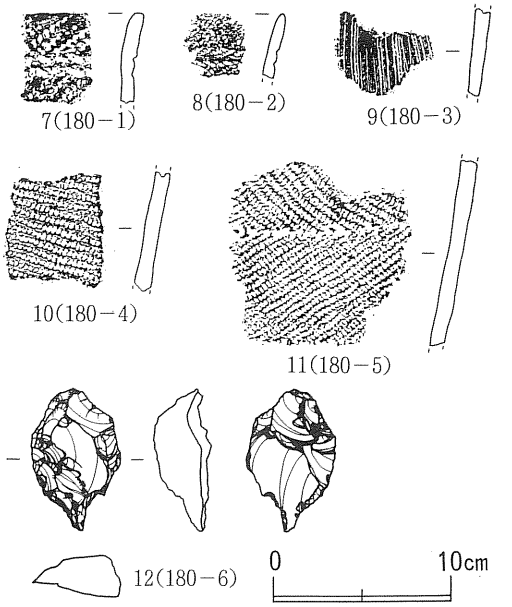
【SKF 177】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)中量混入。しまり、粘性あり。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山塊(中)多量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
3　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山(大粒)少量混入。しまり、粘性有り。
4　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(大粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
7　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8　黄褐色土(2.5Y5／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり有り。

SKF180





【SKF 180】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。弾性有り。
2　黄橙色土(7.5YR7／8)　地山塊(中)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
4　褐色土(10YR4／4)　地山(大粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
5　褐色土(7.5YR4／4)　地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
6　暗褐色土(10YR3／4)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8　暗褐色土(10YR3／4)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
10　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
11　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山塊(小)少量、炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
12　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
13　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。



第175図　SKF 176・SKF 177・SKF 180 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　180 フラスコ状土坑（第175図•第176図、図版137）

《位　　置》　ＭＴ67、ＮＡ67グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な長方形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.66ｍ×短径1.44ｍ、坑底部長径2.44ｍ×短径1.98ｍ、深さ1.18ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　13層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片５点と石錐１点（６）、削器２点（７•８）、石器剥片２点（９•10）、石錘３点（11～13）と長大な礫１点、円礫２点なとが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　182 フラスコ状土坑（第176図、図版138）

《位　　置》　ＭＴ67グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.38ｍ×短径1.22ｍ、坑底部長径1.46ｍ×短径1.22ｍ、深さ0.48ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　底面から深鉢土器１個体分（８）と土器片６点、土器底部破片１点（７）、片面調整剥離の石器剥片１点（９）、両面調整剥離の石器１点（10）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫＦ　185 フラスコ状土坑（第177図）

《位　　置》　ＭＳ67グリッドに位置する。

《確　　認》　双円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ186フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径0.98ｍ×短径0.95ｍ、坑底部長径1.90ｍ×短径1.40ｍ、深さ1.13ｍ。

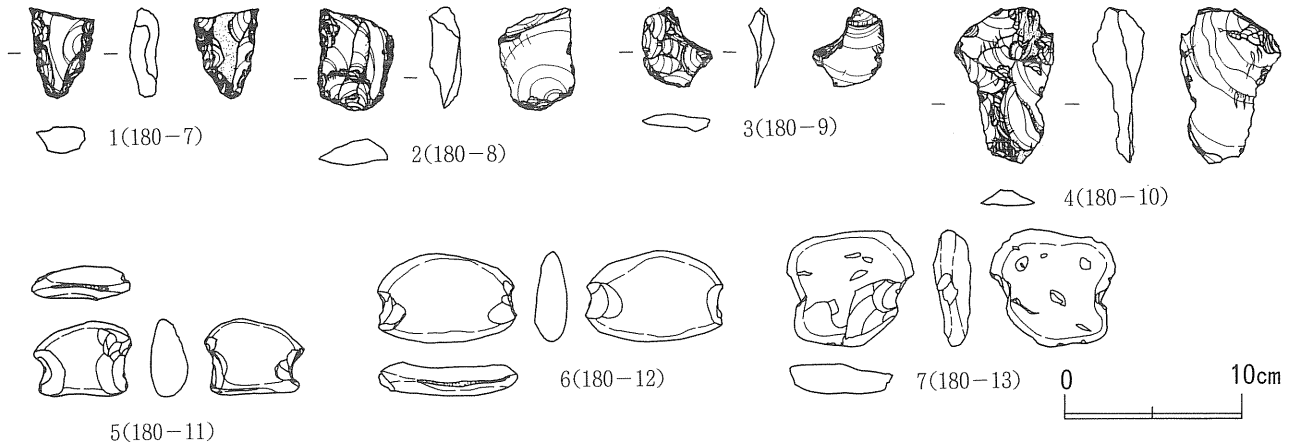
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

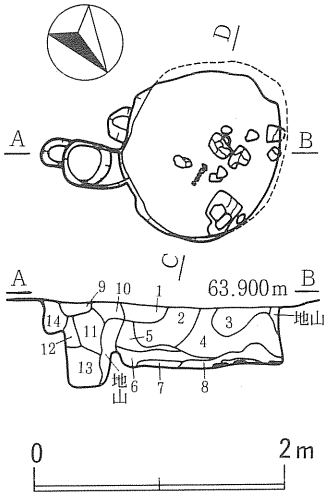
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ８㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片６点、篦状石器１点（８）、片面調整剥離の石器剥片１点（７）、長大な礫２点、円礫５点などが出土した。

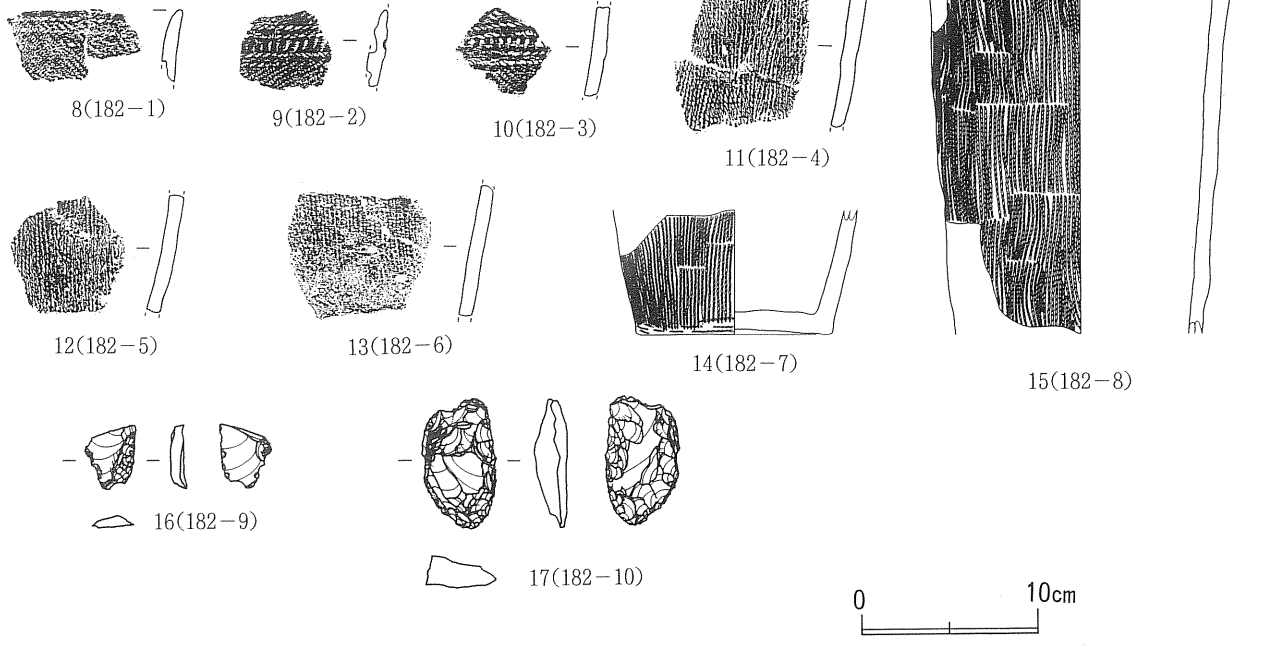


SKF180 出土遺物

SKF182



【SKF　182】
1　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)中量混入。しまり有り。
2　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)少量混入。しまり有り。
4　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)中量混入。しまり有り。
6　暗褐色土(10YR3／4)　地山(大粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(中粒)中量混入。しまり有り。
8　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
9　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
10　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
11　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
12　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
13　褐色土(10YR4／6)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
14　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。



第176図　SKF 180・SKF 182 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　186 フラスコ状土坑（第177図）

《位　　置》　ＭＳ67グリッドに位置する。

《確　　認》　双円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ185フラスコ状土坑と重複していた。本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.22ｍ×短径1.20ｍ、坑底部長径1.64ｍ×短径1.60ｍ、深さ1.20ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　17層に分層した。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ12㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片６点と石器剥片２点（４・５）、くぼみ・石錘１点（９）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　187 フラスコ状土坑（第178図、図版139）

《位　　置》　ＮＡ68グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.56ｍ×短径1.46ｍ、坑底部長径1.78ｍ×短径1.70ｍ、深さ0.82ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ13㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と礫３点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　188 フラスコ状土坑（第178図）

《位　　置》　ＮＡ68グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.56ｍ×短径1.38ｍ、坑底部長径2.06ｍ×短径1.74ｍ、深さ0.97ｍ。

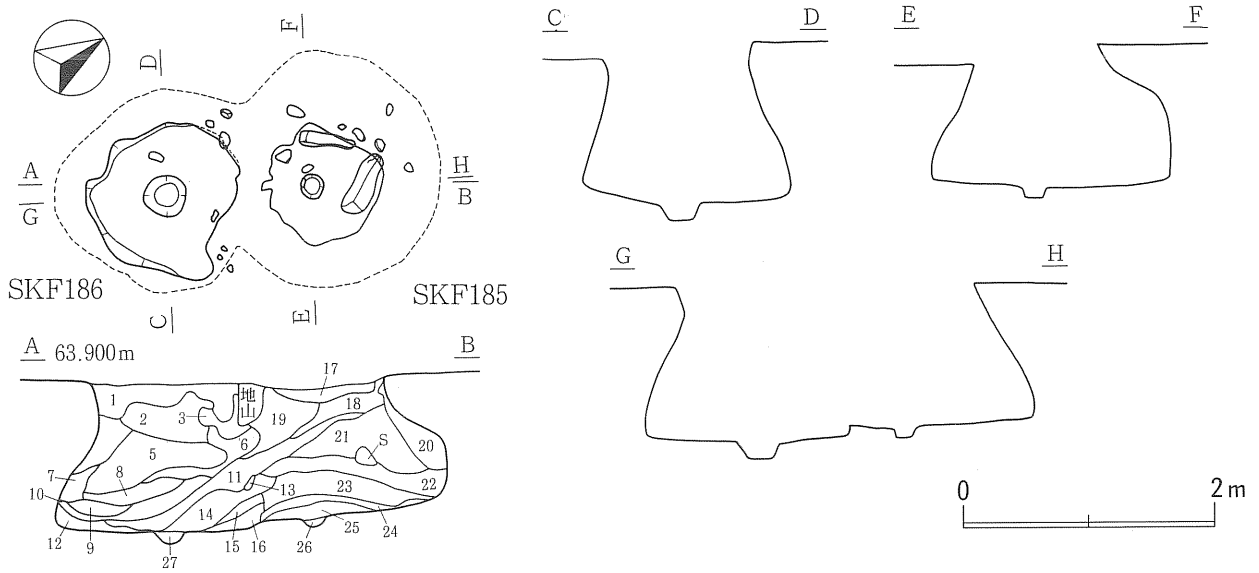
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

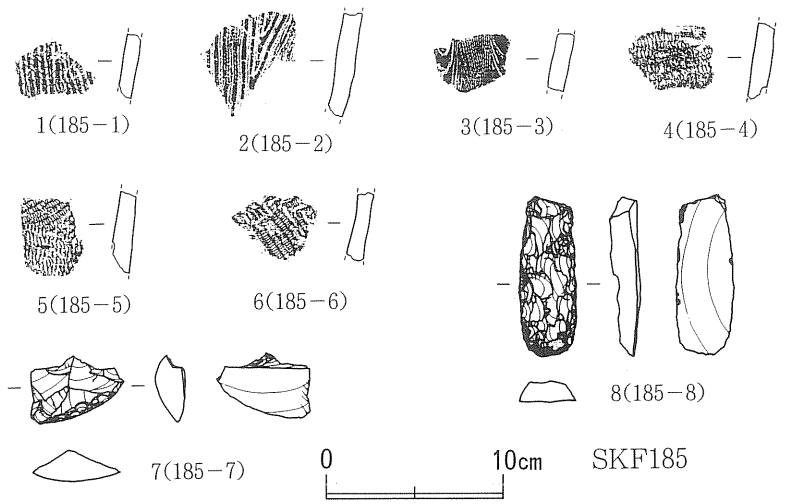
《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

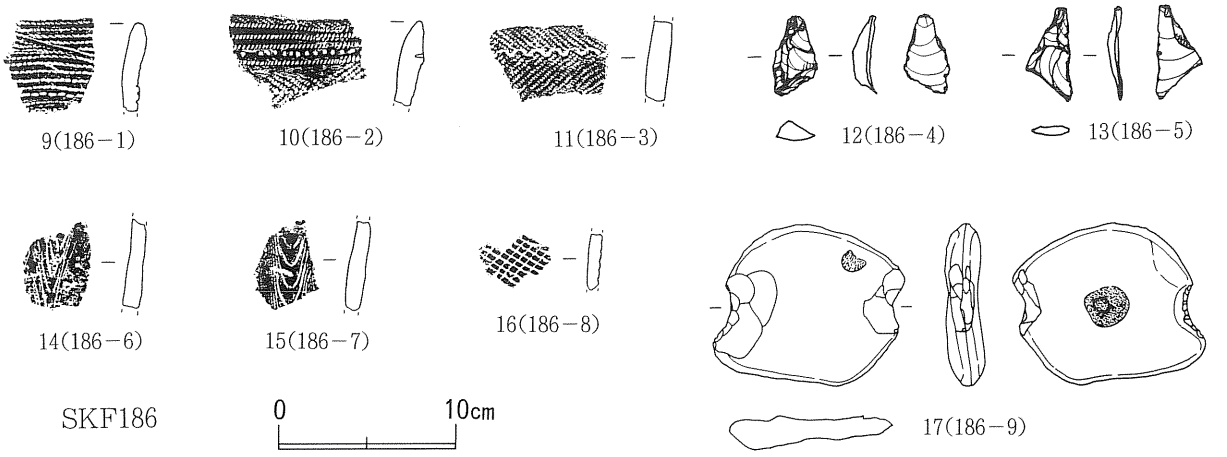
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ９㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器１個体（１）と土器片５点、微小剥離痕のある石器剥片２点（７・８）、石錘１点（９）、角礫２点などが出土した。



【SKF 185】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3　黄褐色土(2.5Y5／6)　シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(小粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(大粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(10YR6／8)　シラス。しまり有り。
10　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。炭(中粒)中量混入。しまり有り。
11　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
12　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。しまり有り。
13　暗灰黄色土(2.5Y5／2)　しまり強い。
14　黄褐色土(10YR5／6)　シラス。炭(中粒)中量混入。しまり有り。
15　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり強い。
16　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(大粒)少量混入。しまり有り。
17　黒色土(10YR2／1)　地山(大粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
18　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
19　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(小粒)やや多量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
20　褐色土(10YR4／4)　地山塊(中)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
21　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
22　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
23　褐色土(10YR4／4)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり有り。
24　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)ごく少量、酸化鉄混入。ややしまり有り。
25　黄褐色土(2.5Y5／4)　シラス。しまり有り。
26　暗オリーブ褐色(2.5Y3／3)　シラス。地山(小粒)少量混入。しまり有り。
27　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。ややしまり有り。





第177図　SKF 185・SKF 186 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　189 フラスコ状土坑（第179図、図版139）

《位　　置》　ＭＴ68グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ147竪穴住居跡と重複していた。新旧関係は不明である。

《規　　模》　開口部長径1.05ｍ×短径0.92ｍ、坑底部長径2.49ｍ×短径2.38ｍ、深さ1.12ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　20層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ16㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片14点、石槍１点（15）、篦状石器２点（18•19）、片面調整剥離のある石器破片５点（16•17•20～22）、半円状偏平打製石器１点（23）のほか礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　200 フラスコ状土坑（第180図）

《位　　置》　ＭＳ70グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ120竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.49ｍ×短径1.26ｍ、坑底部長径1.62ｍ×短径1.51ｍ、深さ1.10ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から土器片７点、石匙１点（９）、両面調整剥離のある石器１点（11）、削器１点（15）、片面調整剥離のある石器剥片５点（８•10•12～14）、半円状偏平打製石器破片１点（16）、両端剥離石器１点（17）、くぼみ石１点（18）のほか、礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　201 フラスコ状土坑（第181図）

《位　　置》　ＭＲ70、ＭＳ70グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.24ｍ×短径1.11ｍ、坑底部長径2.07ｍ×短径1.86ｍ、深さ1.34ｍ。

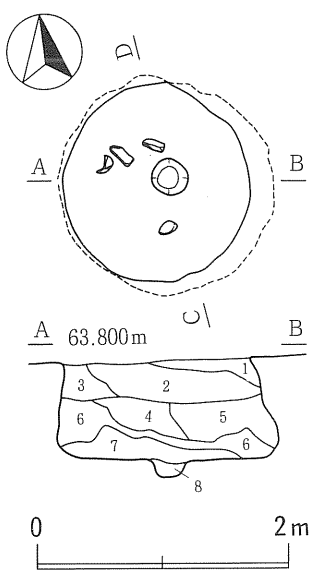
《平 面 形》　楕円形である。

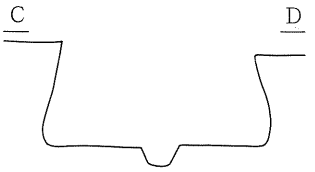
《断 面 形》　三角フラスコ形である。北側の壁面に袋状のくぼみ（横穴）がある。

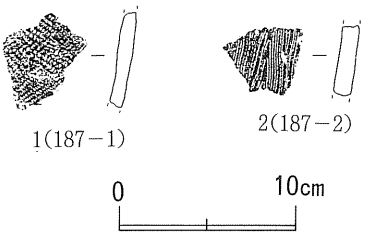
《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から土器片11点、くぼみ•半円状偏平打製石器破片１点（12）、擦り石１点（13）、敲石１点（14）、多数の礫などが出土した。



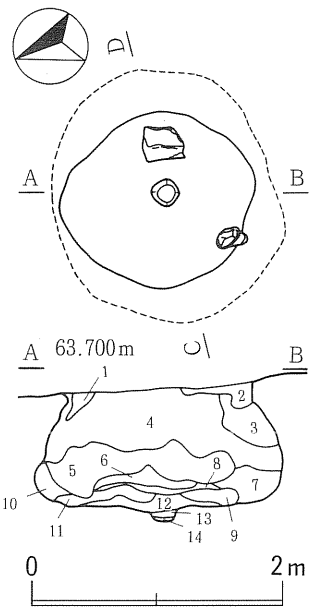


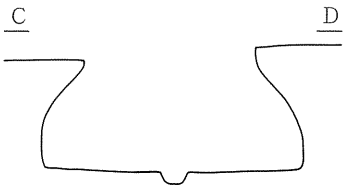


【SKF　187】
1　黒褐色土(10YR3／1) 炭化物少量混入。ローム粒・塊少量混入。
2　明黄褐色土(10YR6／6) 軽石粒・塊多量混入。
3　褐色土(10YR4／4) 軽石塊少量混入。
4　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 軽石粒・塊混入。
5　褐色土(10YR4／6) 炭化物微量、軽石粒・塊多量混入。
6　浅黄橙色土(10YR8／3) ～にぶい黄橙色(10YR7／4) 地山再堆積(シラス)。
7　にぶい黄橙色土(10YR6／4) 地山再堆積。細粒シラス。
8　浅黄橙色土(10YR8／3) ～にぶい黄橙色(10YR7／4) 地山再堆積(シラス)。

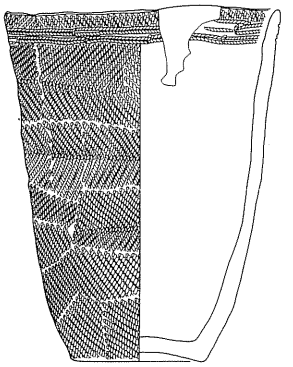
SKF187

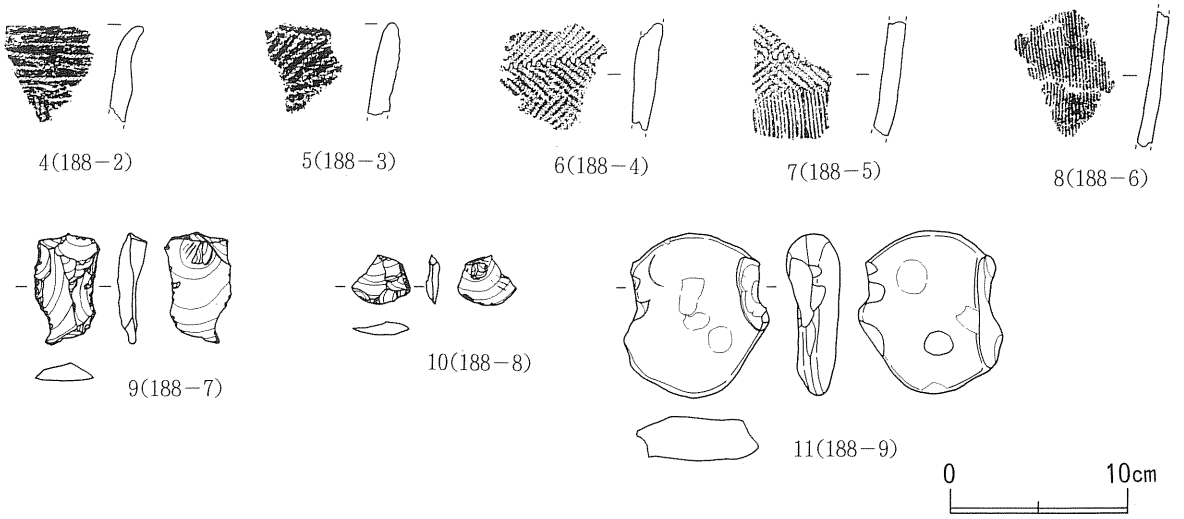
SKF188



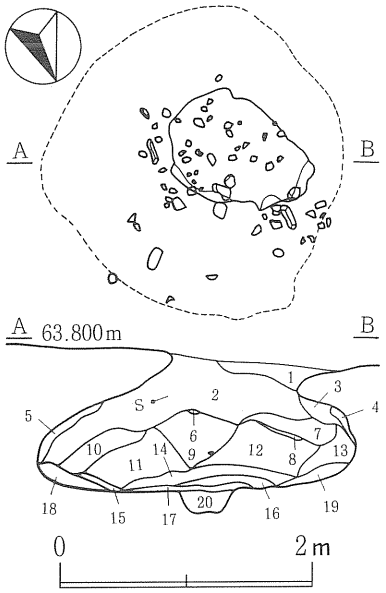


【SKF　188】
1　浅黄橙色土(10YR8／8) シラス地山塊。
2　黒褐色土(10YR3／1) ローム塊混入。
3　褐色土(10YR4／4) 軽石粒・塊混入。
4　褐色土(10YR4／4) 炭化物微量、軽石粒・塊混入。
5　黄褐色土(10YR5／6) 軽石粒・塊多量混入。
6　褐色土(10YR4／6) 軽石粒多量混入。
7　４に同じ(４より軽石塊少ない)。
8　灰褐色土(10YR4／1)
9　明黄褐色土(10YR7／6) シラス再堆積。
10　黄褐色土(10YR5／8) 軽石粒多量混入。
11　にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス再堆積。
12　褐色土(10YR4／6) 軽石塊多量混入。
13　にぶい黄橙色土(10YR7／4) シラス再堆積。
14　にぶい黄橙色土(10YR7／3) シラス再堆積。





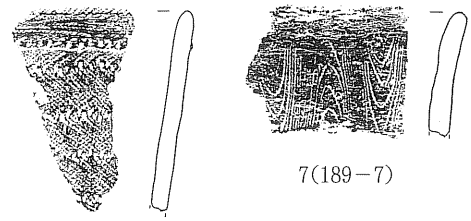
第178図　SKF 187・SKF 188 フラスコ状土坑とその出土遺物

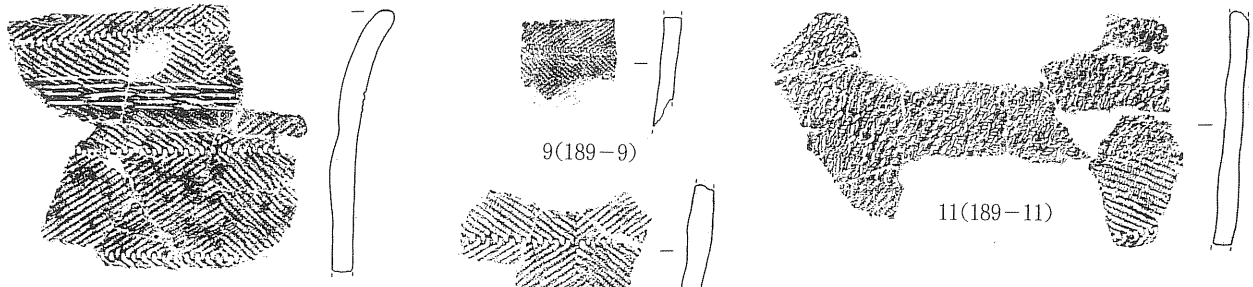


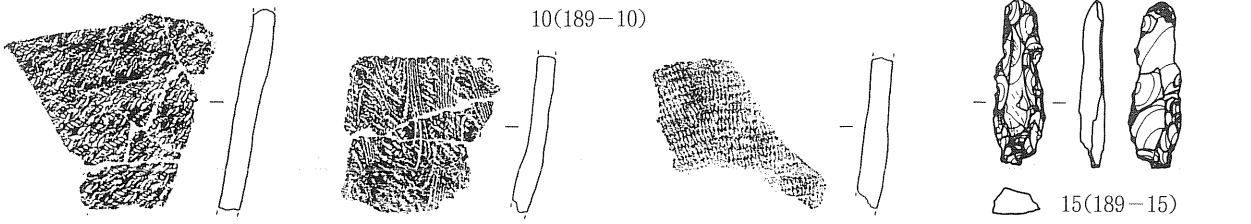
【SKF　189】
1　黒褐色土(10YR2/2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、粘性有り。
2　黒褐色土(10YR3/2) 地山(大粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
3　明黄褐色土(10YR7/6) 地山塊(大)多量混入。しまり強い。
4　褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)ごく少量、炭(大粒)中量混入。
5　にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
6　黒色土(10YR1.7/1) 地山(中粒)少量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
7　黒褐色土(2.5Y3/1) 地山(中粒)中量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
8　6に同じ。
9　暗褐色土(10YR3/4) 地山(大粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり、弾性有り。
10　褐色土(10YR4/4) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
11　黄褐色土(10YR5/6) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
12　褐色土(10YR4/6) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
13　褐色土(10YR4/4) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。
14　明黄褐色土(10YR6/6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
15　明黄褐色土(10YR6/6) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
16　にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
17　暗褐色土(10YR3/3) 地山(小粒)・炭(大粒)少量混入。
18　浅黄橙色土(10YR8/4) シラス。ややしまり有り。
19　18に同じ。
20　にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。

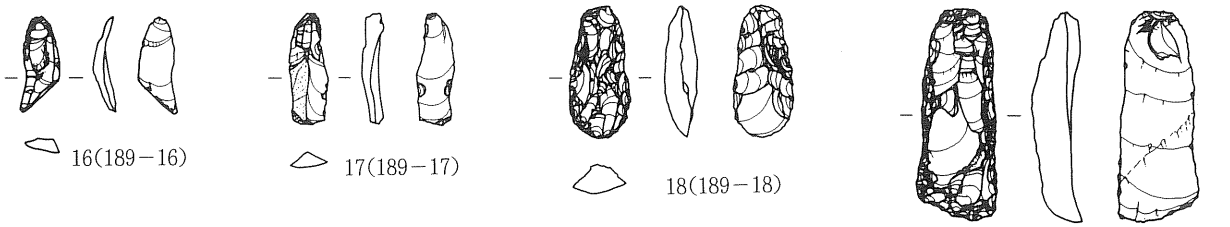
1(189－1)　2(189－2)　3(189－3)

4(189－4)　5(189－5)

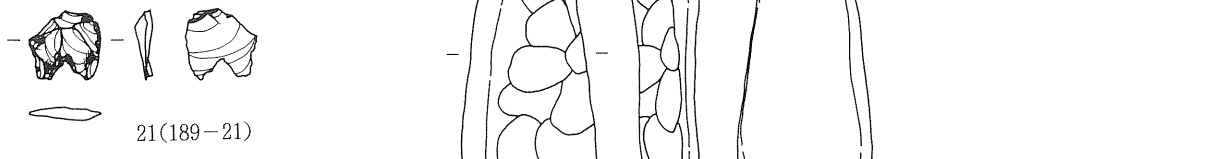

6(189－6)　7(189－7)


8(189－8)　9(189－9)　10(189－10)　11(189－11)


12(189－12)　13(189－13)　14(189－14)　15(189－15)


16(189－16)　17(189－17)　18(189－18)　19(189－19)

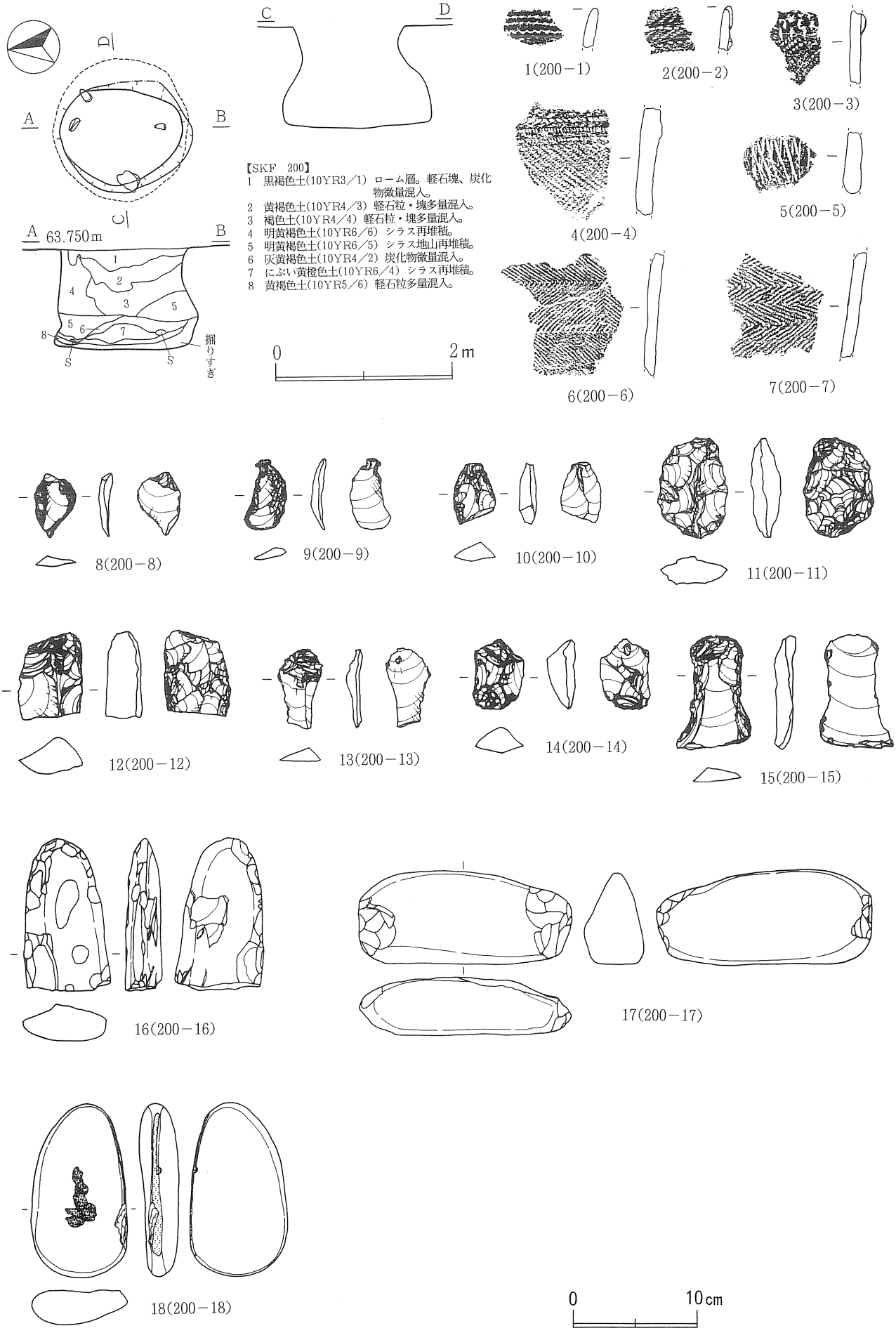
20(189－20)


21(189－21)

22(189－22)　23(189－23)

0　10cm

第179図　SKF 189 フラスコ状土坑とその出土遺物



第180図　SKF 200 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　202 フラスコ状土坑（第182図）

《位　　置》　ＭＲ70グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.48ｍ×短径1.45ｍ、坑底部長径2.10ｍ×短径1.90ｍ、深さ1.38ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ18㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片14点、石槍１点（15）、石槍破片１点（16）、片面調整剥離のある石器剥片６点（17～22）、擦り石１点（23）、くぼみ石２点（24～25）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　211 フラスコ状土坑（第183図）

《位　　置》　ＭＲ72･73グリッドに位置する。

《確　　認》　円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ144竪穴住居跡と重複していた。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.49ｍ×短径1.36ｍ、坑底部長径2.10ｍ×短径2.07ｍ、深さ0.95ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　断面図上では平坦な底面の中央に深さ10㎝の柱穴様ピット１カ所を確認したが、不用意に掘り過ぎたため平面では確認できなかった。

《遺　　物》　埋土中から土器片５点、石匙１点（６）、微小剥離痕のある石器剥片２点（７・８）、両面調整剥離のある石器剥片１点（９）、擦り石２点（10･11）のほか、礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　212 フラスコ状土坑（第183図･第184図）

《位　　置》　ＭＱ73･74グリッドに位置する。

《確　　認》　円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ213フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。

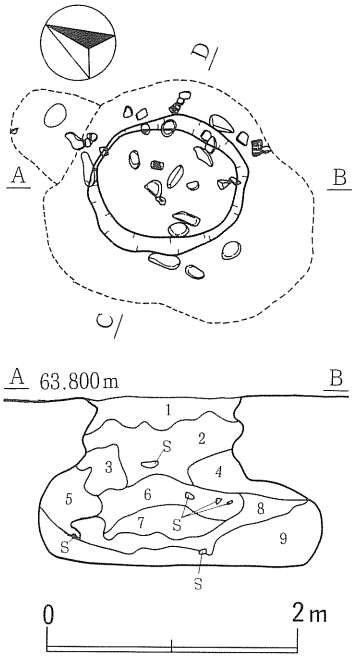
《規　　模》　開口部長径1.49ｍ×短径1.36ｍ、坑底部長径2.10ｍ×短径2.07ｍ、深さ0.95ｍ。

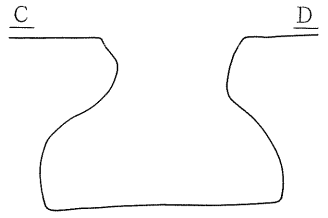
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

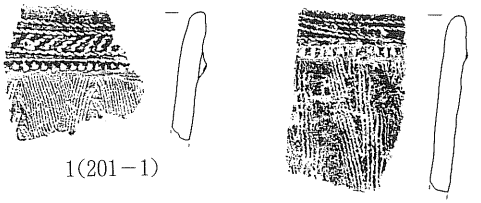
《埋　　土》　14層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

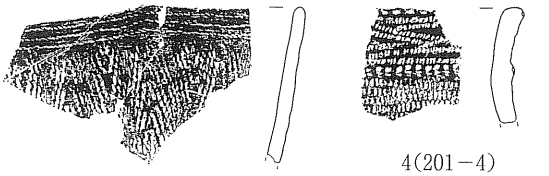
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

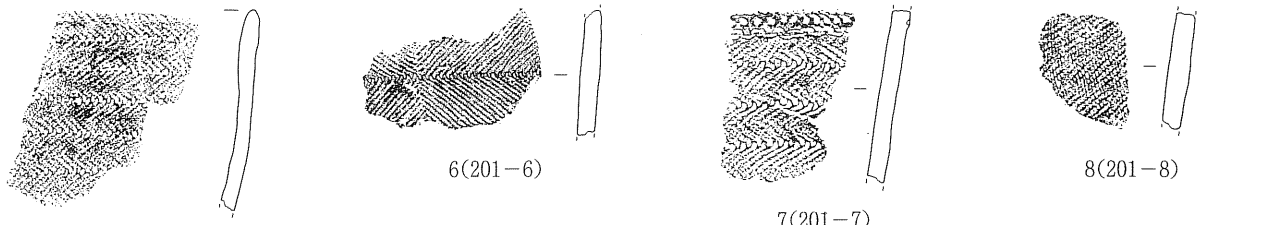


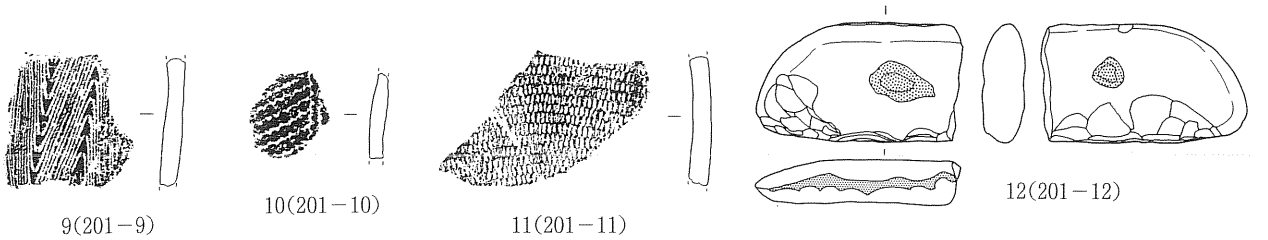


【SKF 201】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　暗褐色土(10YR3／4)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
4　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
5　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
6　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。炭(大粒)中量混入。しまり有り。
8　黒褐色土(10YR3／1)　地山(小粒)中量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。粘性あり。
9　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。しまり有り。


1(201－1)　2(201－2)

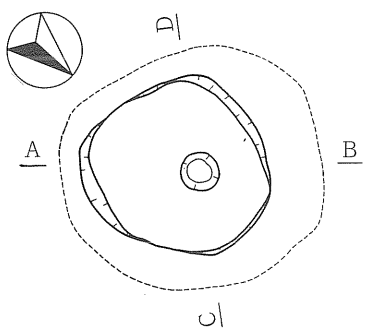

3(201－3)　4(201－4)

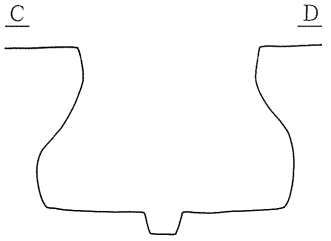

5(201－5)　6(201－6)　7(201－7)　8(201－8)

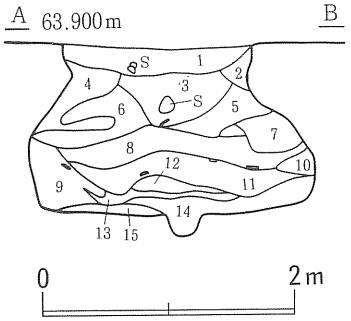

9(201－9)　10(201－10)　11(201－11)　12(201－12)

13(201－13)　14(201－14)

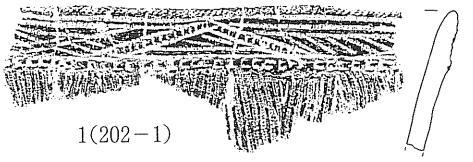
第181図　SKF 201 フラスコ状土坑とその出土遺物

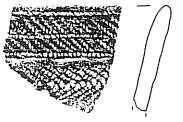


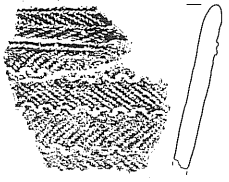


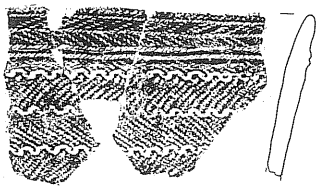


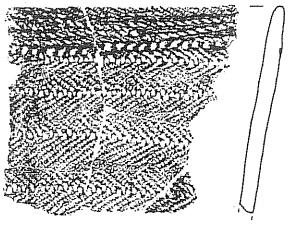
【SKF　202】
1　黒色土(7.5YR2／1)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　黒色土(10YR2／1)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)・炭(中粒)中量、地山(大粒)混入。しまり有り。
4　明黄褐色土(10YR7／6)　地山塊。しまり強い。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
6　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
8　黄褐色土(2.5Y5／6)　地山(小粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
9　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス。しまり有り。
10　黄褐色土(10YR5／6)　シラス。しまり有り。
11　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山(中粒)・炭(中粒)多量混入。しまり有り。
12　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
13　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山(小粒)ごく少量、炭(大粒)多量混入。ややしまり有り。
14　褐色土(10YR4／4)　シラス。しまり有り。
15　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。ややしまり有り。

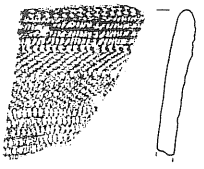

1(202－1)

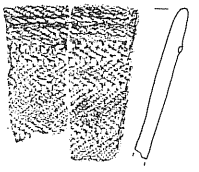

2(202－2)

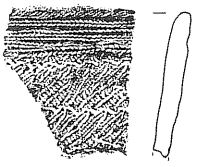

3(202－3)

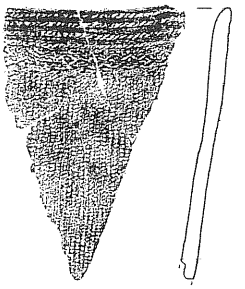

4(202－4)


5(202－5)


6(202－6)

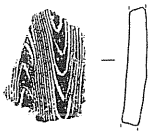

7(202－7)

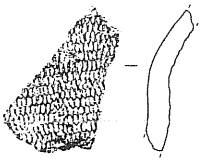

8(202－8)

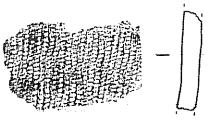

9(202－9)

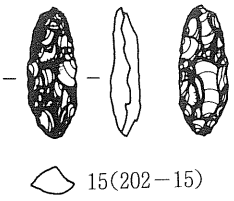
10(202－10)

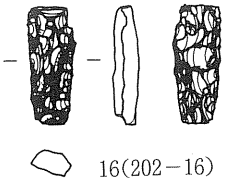
11(202－11)

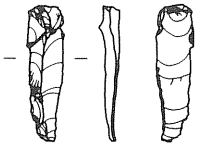

12(202－12)

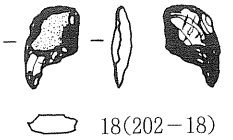

13(202－13)

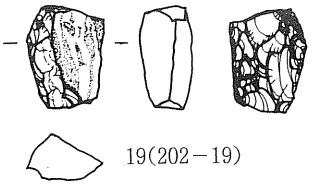

14(202－14)

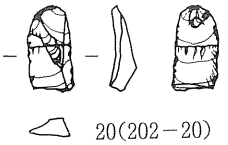

15(202－15)

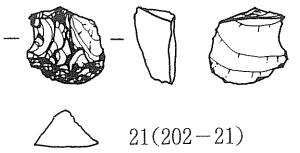

16(202－16)


17(202－17)

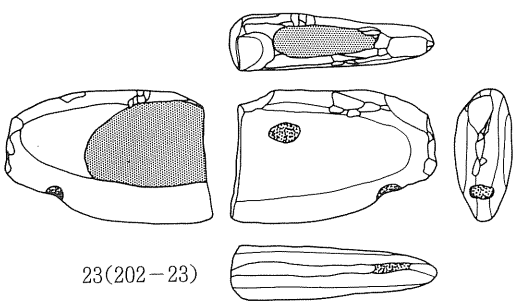

18(202－18)

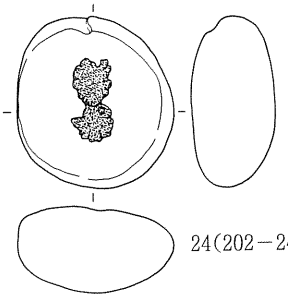

19(202－19)

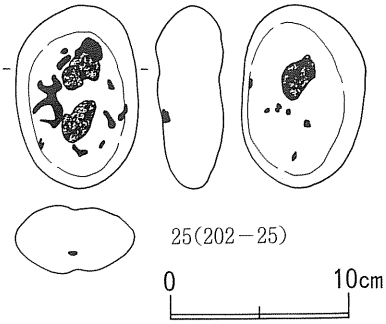

20(202－20)


21(202－21)

22(202－22)

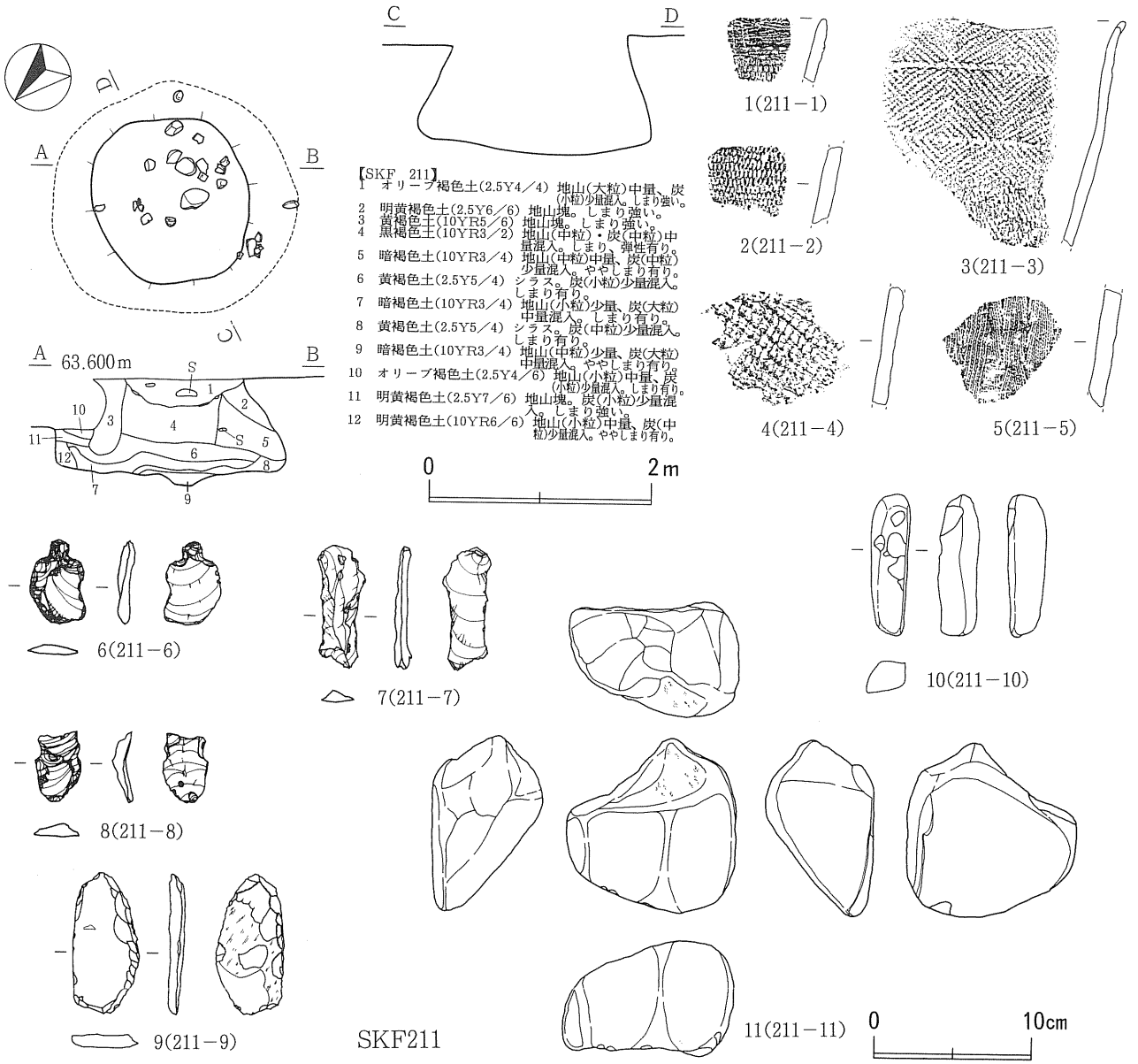

23(202－23)


24(202－24)


25(202－25)

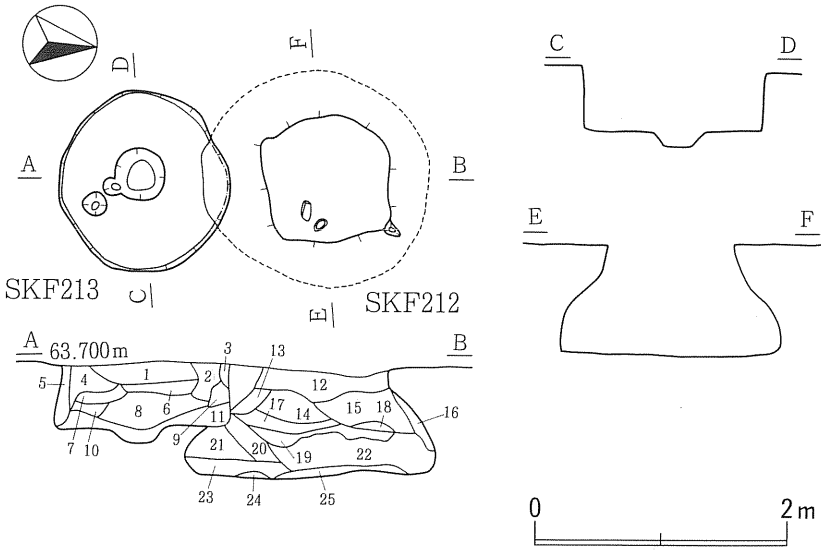
0　10cm

第182図　SKF 202 フラスコ状土坑とその出土遺物



【SKF 211】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
2　明黄褐色土(2.5Y6／6)　地山塊。しまり強い。
3　黄褐色土(10YR5／6)　地山塊。しまり強い。
4　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
5　暗褐色土(10YR3／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
6　黄褐色土(2.5Y5／4)　シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
7　暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
8　黄褐色土(2.5Y5／4)　シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　暗褐色土(10YR3／4)　地山(中粒)少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
11　明黄褐色土(2.5Y7／6)　地山塊。炭(小粒)少量混入。しまり強い。
12　明黄褐色土(10YR6／6)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。

SKF212・SKF213



【SKF 212】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり、弾性有り。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)少量混入。しまり有り。
4　黄褐色土(2.5Y5／6)　地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
5　黄褐色土(10YR5／6)　地山(小粒)ごく少量混入。
6　オリーブ褐色(2.5Y4／6)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
7　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)やや多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
9　黄褐色土(2.5Y5／6)　地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
11　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)やや多量混入。しまり有り。
12　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
13　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
14　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
15　暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
16　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)少量混入。
17　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
18　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
19　黒褐色土(10YR2／3)　地山(小粒)ごく少量、炭(大粒)少量混入。
20　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
21　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)少量混入。しまり有り。
22　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり有り。
23　黒褐色土(10YR3／2)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
24　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり有り。
25　24に同じ。

第183図　SKF 211・SKF 212・SKF 213 フラスコ状土坑とその出土遺物

《遺　　物》　埋土中から土器片４点と、両面調整剥離のある石器１点（６）、石錘１点（７）、抉り入り半円状偏平打製石器破片１点（８）、石器剥片１点（５）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　213 フラスコ状土坑（第183図・第184図）

《位　　置》　ＭＱ73･74グリッドに位置する。

《確　　認》　円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ212フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.35ｍ×短径1.41ｍ、坑底部長径1.41ｍ×短径1.31ｍ、深さ0.52ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　中央部に深さ11㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片が３点出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　214 フラスコ状土坑（第184図）

《位　　置》　ＭＭ73、ＭＮ73グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ125竪穴住居跡と重複していた。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.94ｍ×短径1.74ｍ、坑底部長径2.48ｍ×短径2.45ｍ、深さ1.57ｍ。

《 平面形 》　円形である。

《 断面形 》　袋状である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ20㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片４点、石槍１点（５）、半円状偏平打製石器破片２点（７・８）、半円状偏平打製石器１点（10）、石器剥片１点（６）、擦り石１点（９）のほか、礫が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　216 フラスコ状土坑（第185図、図版140）

《位　　置》　ＭＱ74グリッドに位置する。

《確　　認》　暗褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

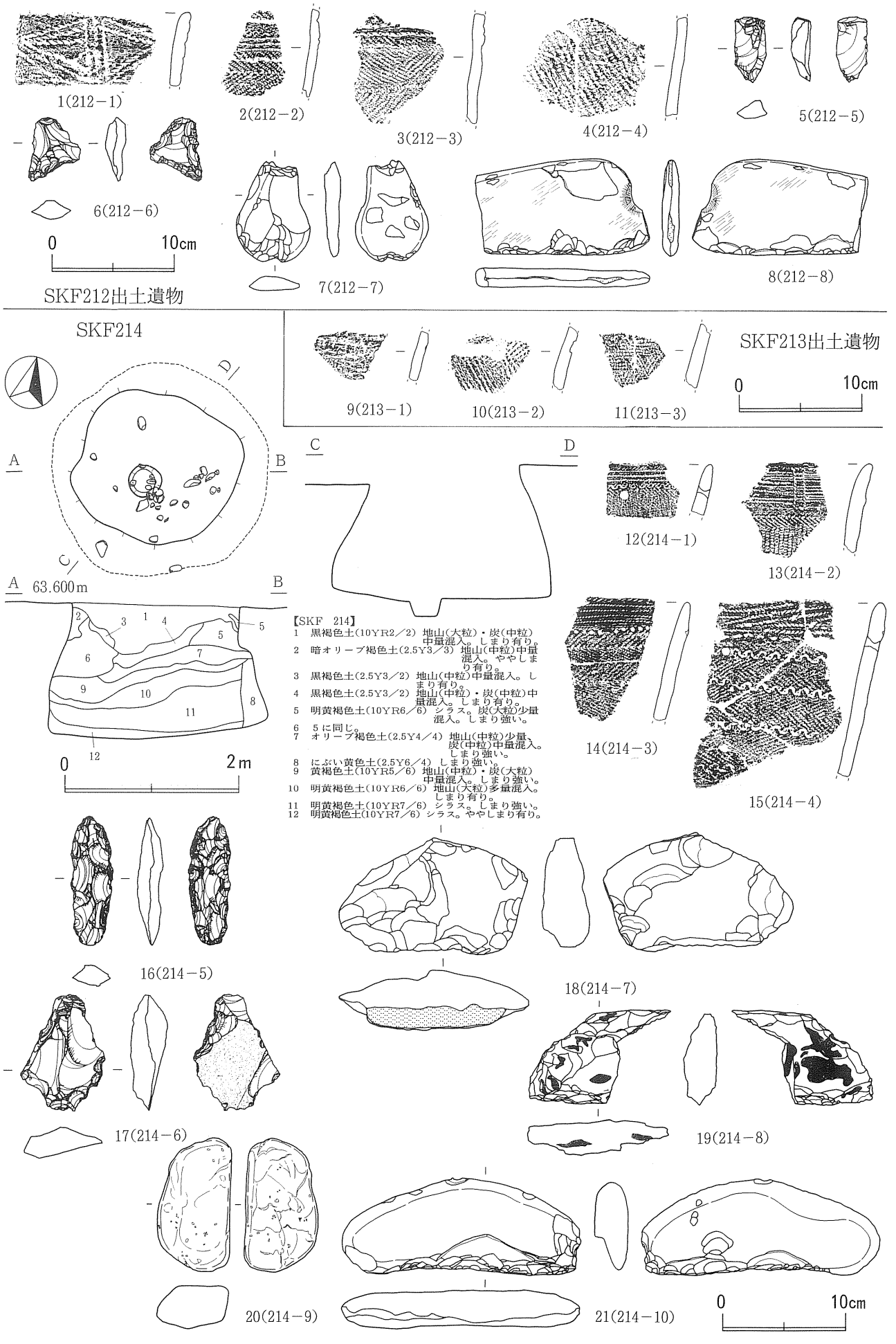
《規　　模》　開口部長径0.92ｍ×短径0.80ｍ、坑底部長径1.86ｍ×短径1.64ｍ、深さ0.91ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸がある。



第184図　SKF 212・SKF 213・SKF 214 フラスコ状土坑とその出土遺物

《遺　　物》　埋土の第４層上面から深鉢土器２個体分（１・２）、底面から土器片５点（３～６・10）、掻器１点（７）、微小剥離のある石器剥片２点（８・９）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　217 フラスコ状土坑（第185図）

《位　　置》　ＭＰ73・74グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.44ｍ×短径1.41ｍ、坑底部長径1.82ｍ×短径1.75ｍ、深さ0.98ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　18層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央やや北西寄りに深さ８㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　218 フラスコ状土坑（第185図）

《位　　置》　ＭＰ74グリッドに位置する。

《確　　認》　縄文時代前期のＳＩ141竪穴住居跡の壁面に褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＩ141竪穴住居跡・ＳＸ131性格不明遺構と重複していたが、いずれよりも古い。

《規　　模》　開口部長径1.19ｍ×短径(現存部の幅)0.50ｍ、坑底部長径1.35ｍ×短径0.63ｍ、深さ0.64ｍ。

《平 面 形》　ＳＩ141竪穴住居跡に掘削され、半円状を呈する。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　３層に分層した。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片が１点出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　220 フラスコ状土坑（第185図）

《位　　置》　ＭＬ75グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　平安時代のＳＩ128竪穴住居跡と重複していた。

《規　　模》　開口部長径1.10ｍ×短径1.06ｍ、坑底部長径1.50ｍ×短径1.45ｍ、深さ0.80ｍ。

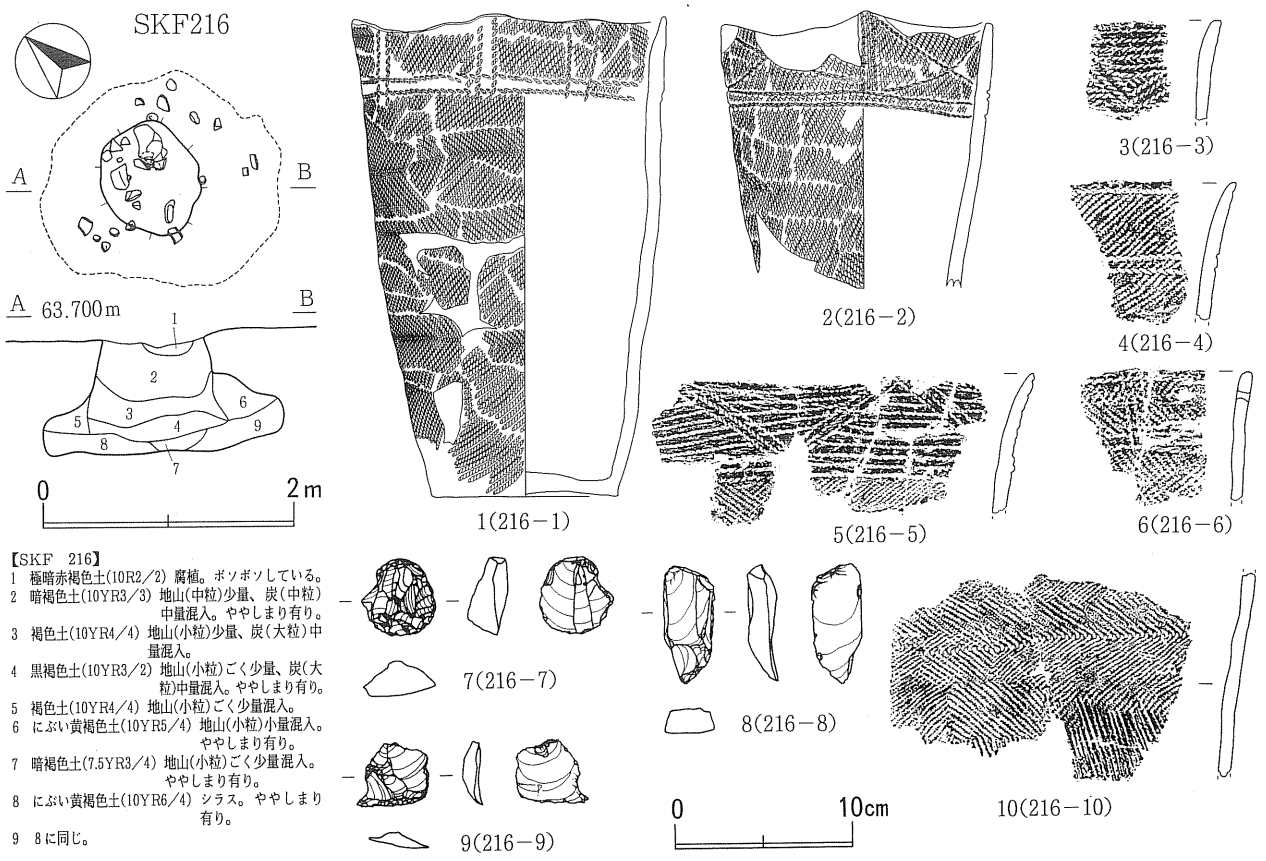
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

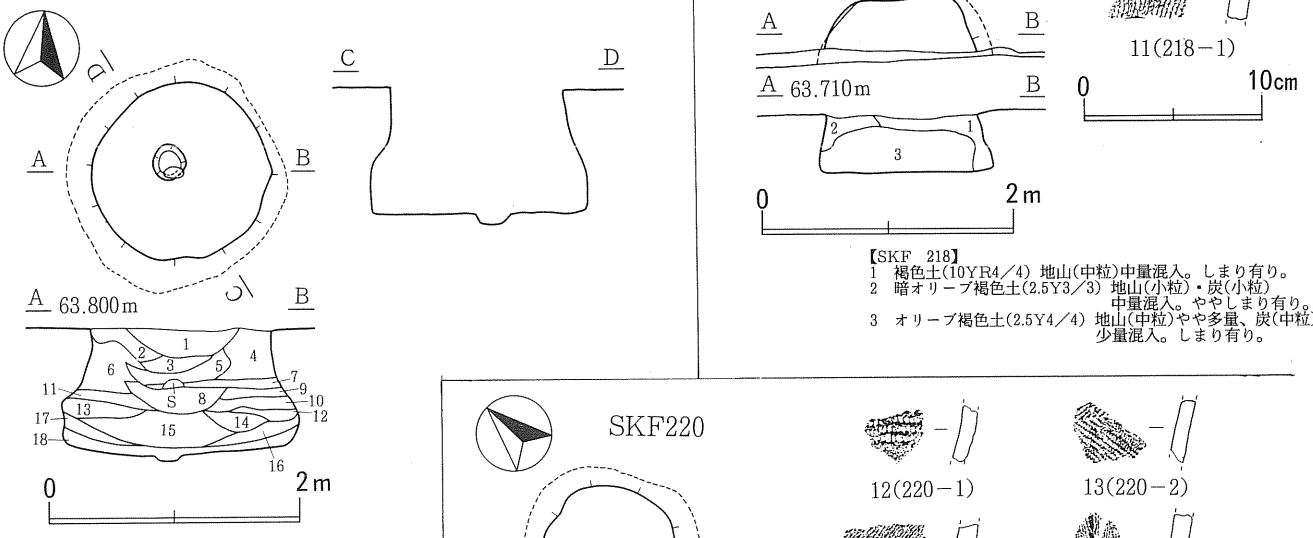
《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片４点と、掻器１点が出土した。

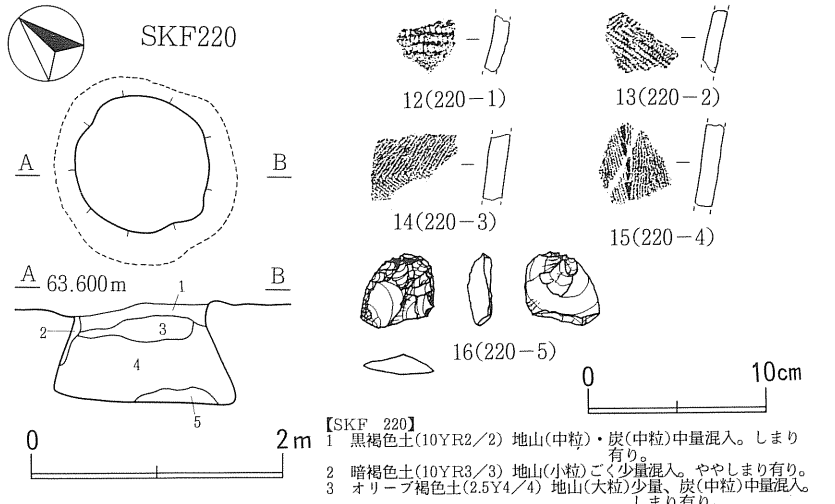


【SKF　216】
1　極暗赤褐色土(10R2／2) 腐植。ボソボソしている。
2　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
3　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)少量、炭(大粒)中量混入。
4　黒褐色土(10YR3／2) 地山(小粒)ごく少量、炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
5　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)ごく少量混入。
6　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(小粒)小量混入。ややしまり有り。
7　暗褐色土(7.5YR3／4) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
8　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シラス。ややしまり有り。
9　8に同じ。



【SKF　218】
1　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。

【SKF　217】
1　黒褐色土(10YR3／2) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(大粒)やや多量混入。しまり、弾性有り。
4　明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山(中粒)多量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)やや多量、地山(大粒)混入。しまり有り。
6　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)多量混入。しまり有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。弾性有り。
8　黒褐色土(10YR3／1) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(10YR7／6) 地山(中粒)多量混入。しまり有り。ラミナ。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(小粒)やや多量混入。しまり有り。
11　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
12　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
13　黄褐色土(10YR5／8) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
14　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)ごく少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
15　明黄褐色土(10YR6／6) 地山(小粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
16　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。しまり有り。
17　16に同じ。
18　黄褐色土(10YR5／6) シラス。ややしまり有り。



【SKF　220】
1　黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(大粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
4　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
5　黄褐色土(2.5Y5／6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。

第185図　SKF 216・SKF 217・SKF 218・SKF 220 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　221 フラスコ状土坑（第186図）

《位　　置》　ＭＫ75、ＭＬ75グリッドに位置する。

《確　　認》　方形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.99ｍ×短径0.92ｍ、坑底部長径1.77ｍ×短径1.62ｍ、深さ1.23ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から土器片８点と擦り石１点（９）、削器１点（10）、半円状偏平打製石器破片１点（11）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　223 フラスコ状土坑（第186図）

《位　　置》　ＭＮ77、ＭＯ77グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.69ｍ×短径1.20ｍ、坑底部長径1.77ｍ×短径1.42ｍ、深さ0.73ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央やや北側に、東西方向に深さ５㎝の溝状のくぼみがあり、西側壁際の浅い円形ピットに接していた。

《遺　　物》　埋土中から土器片が３点出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　224 フラスコ状土坑（第186図・第187図、図版140）

《位　　置》　ＭＫ78・79、ＭＬ78・79グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.20ｍ×短径1.13ｍ、坑底部長径1.65ｍ×短径1.59ｍ、深さ1.04ｍ。

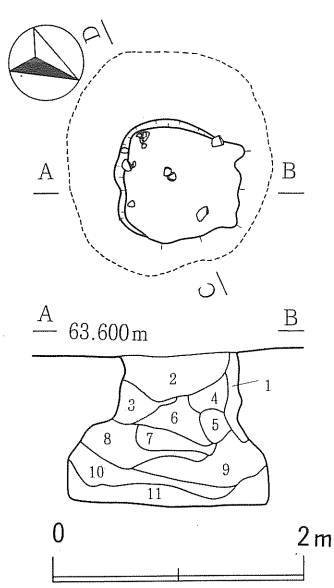
《平 面 形》　楕円形である。

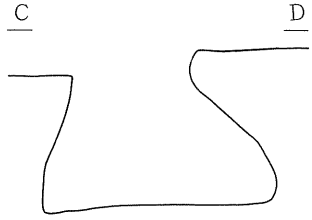
《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われる。

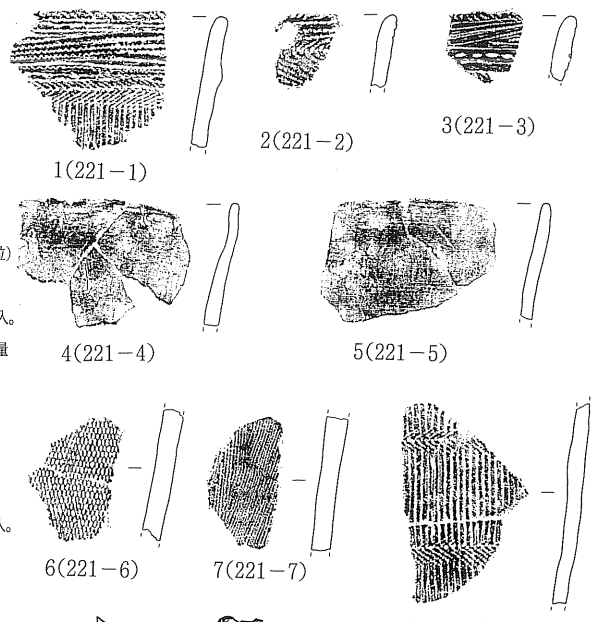
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ７㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

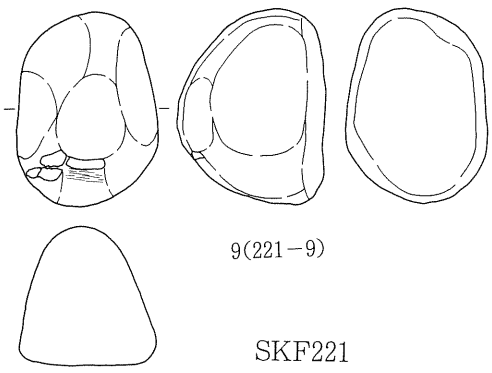
《遺　　物》　埋土の第15層上面から土器片５点と石錐１点（６）、半円状偏平打製石器破片１点（７）が

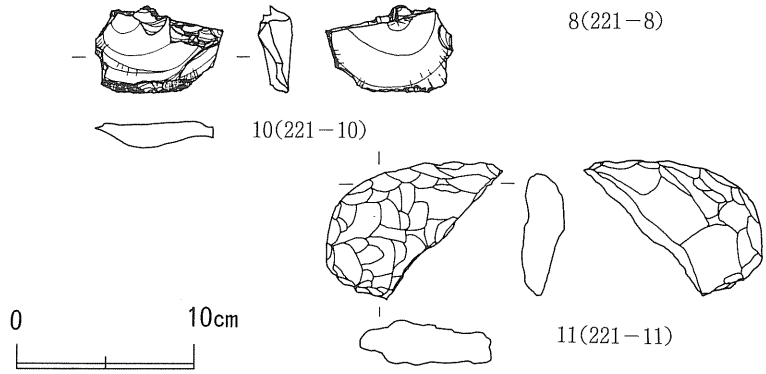




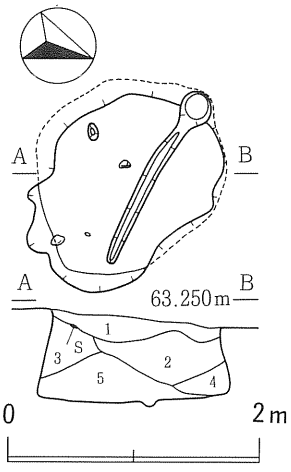
【SKF 221】
1 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)中量、炭(大粒)多量混入。しまり有り。
4 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性、粘性有り。
5 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
6 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7 明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
8 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9 明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。しまり有り。
10 黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
11 明黄褐色土(10YR6／6) シラス。しまり有り。



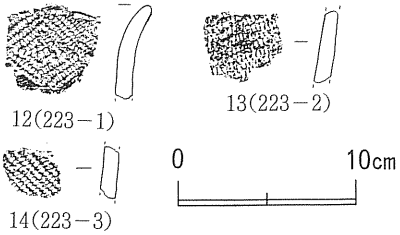




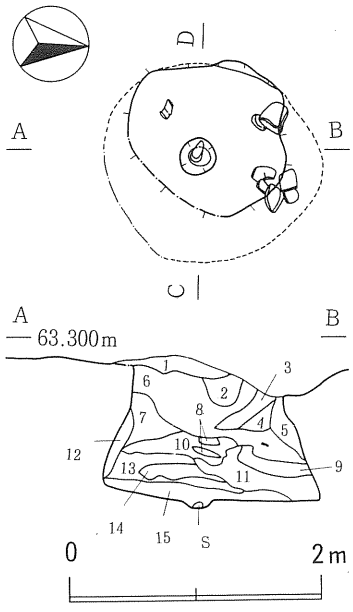
SKF223

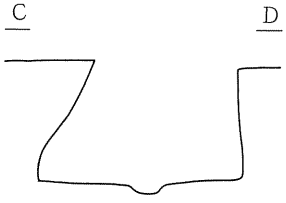


【SKF 223】
1 黒色土(5YR1.7／1) 地山(大粒)ごく少量混入。
2 オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性有り。
3 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(大粒)少量混入。しまり有り。
4 黄褐色土(2.5Y5／4) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5 オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)やや多量、炭(大粒)少量混入。しまり、弾性有り。



SKF224





【SKF 224】
1 黒色土(7.5YR2／1) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。(表土)
2 黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(中)多量混入。ややしまり有り。
3 褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)・炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
4 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
5 褐色土(10YR4／6) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6 黒褐色土(10YR2／3) 地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
7 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。
8 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
9 にぶい黄色土(2.5Y6／4) シラス。ややしまり有り。
10 9に同じ。
11 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
12 明黄褐色土(10YR7／6) シラス。しまり有り。
13 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。
14 にぶい黄褐色土(10YR6／3) シラス。しまり有り。
15 にぶい黄褐色土(10YR6／3) シラス。しまり有り。

第186図　SKF 221・SKF 223・SKF 224 フラスコ状土坑とその出土遺物

出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫＦ　226 フラスコ状土坑（第187図）

《位　　置》　ＭＫ78、ＭＬ78グリッドに位置する。

《確　　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.80ｍ×短径0.65ｍ、坑底部長径2.04ｍ×短径1.87ｍ、深さ1.00ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中と底面から土器片３点と土器底部破片１点（４）、石匙２点（５・６）、半円状偏平打製石器破片１点（８）、石錘１点（９）、石皿破片１点（10）、石器剥片１点（７）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　227 フラスコ状土坑（第188図）

《位　　置》　ＭＫ78グリッドに位置する。

《確　　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ261フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径2.15ｍ×短径1.96ｍ、坑底部長径1.82ｍ×短径1.64ｍ、深さ1.00ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ87㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　不用意にもＳＫＦ261フラスコ状土坑の出土遺物と一括してしまったため、分別できない。

ＳＫＦ227・261フラスコ状土坑の埋土中からは、土器片12点、掻器１点（14）、両端に抉りのある両面調整石器１点（15）、くぼみ石１点（16）、微小剥離痕のある石器剥片１点（13）などが出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　228 フラスコ状土坑（第188図）

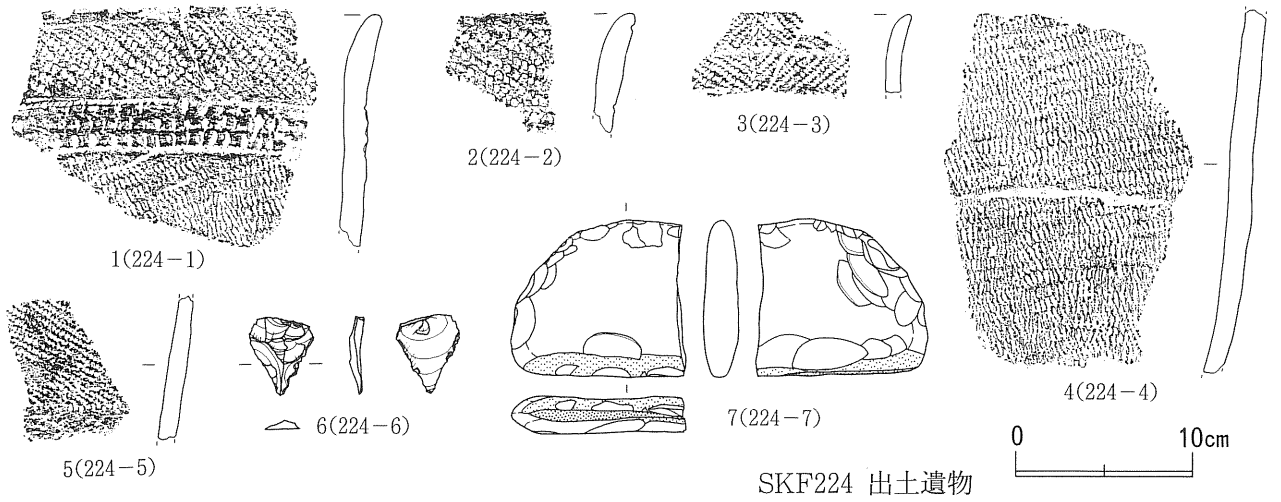
《位　　置》　ＭＫ78グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

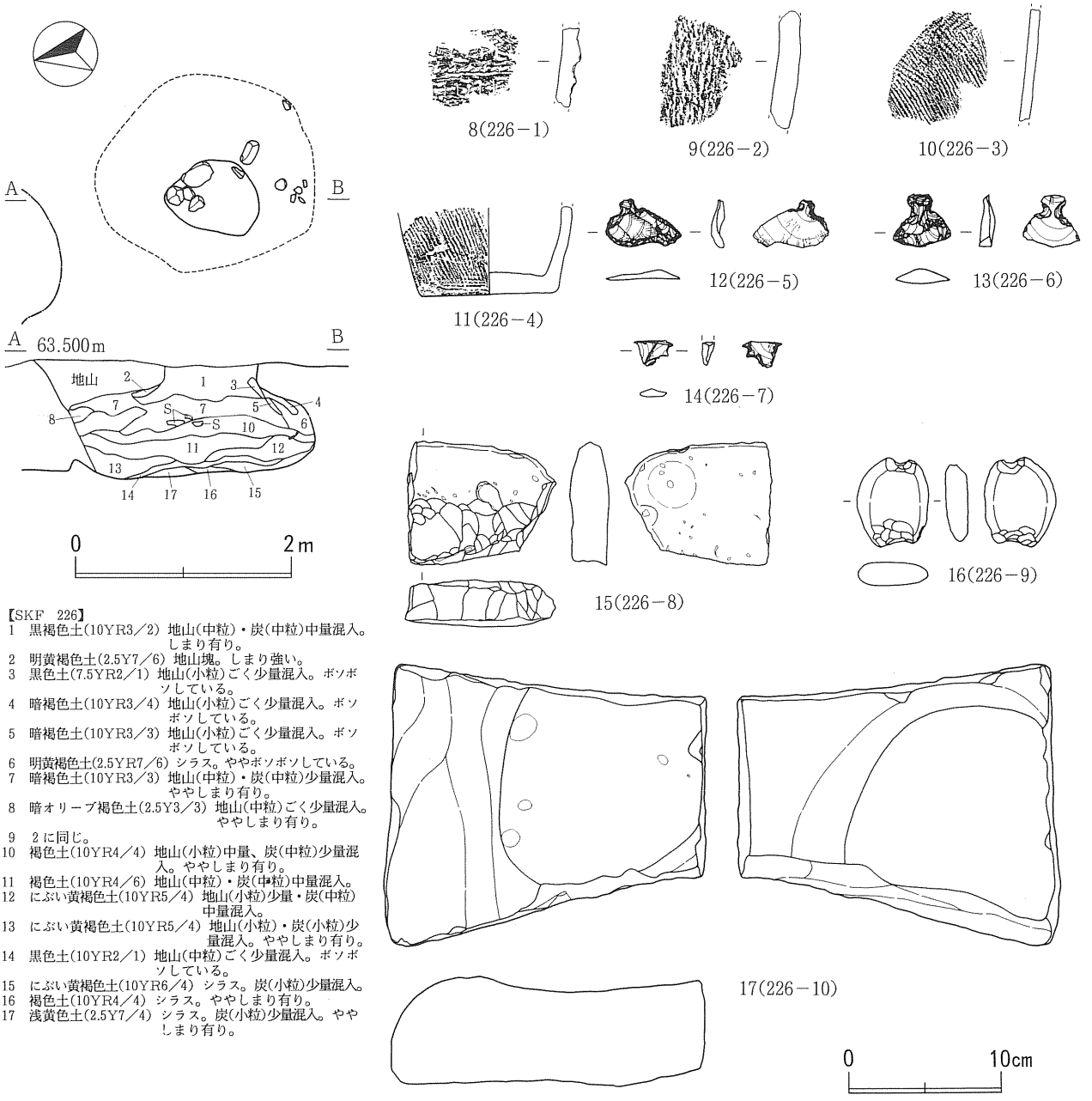
《規　　模》　開口部長径1.09ｍ×短径0.92ｍ、坑底部長径1.47ｍ×短径1.11ｍ、深さ0.99ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。



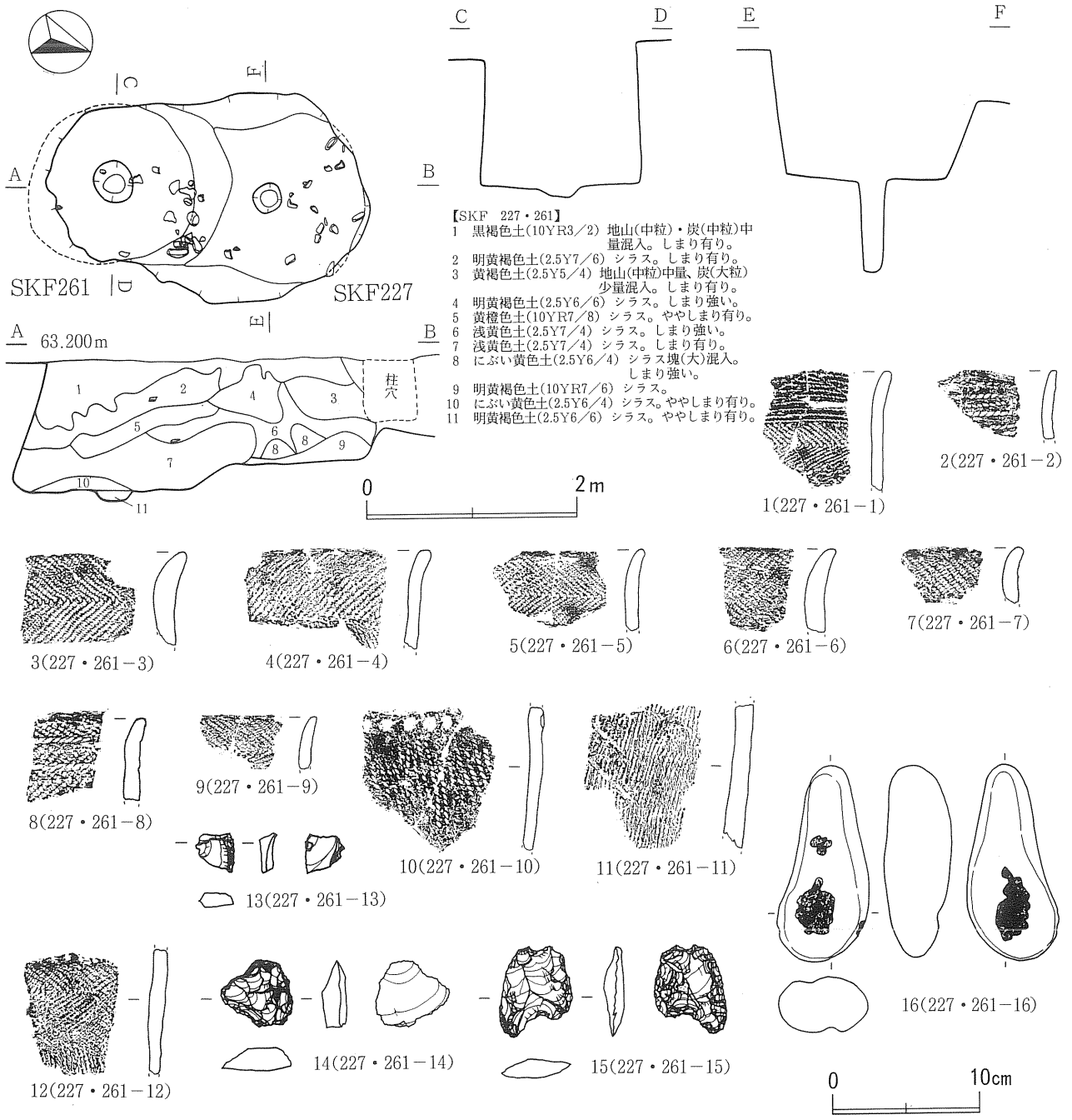
SKF224 出土遺物

SKF226

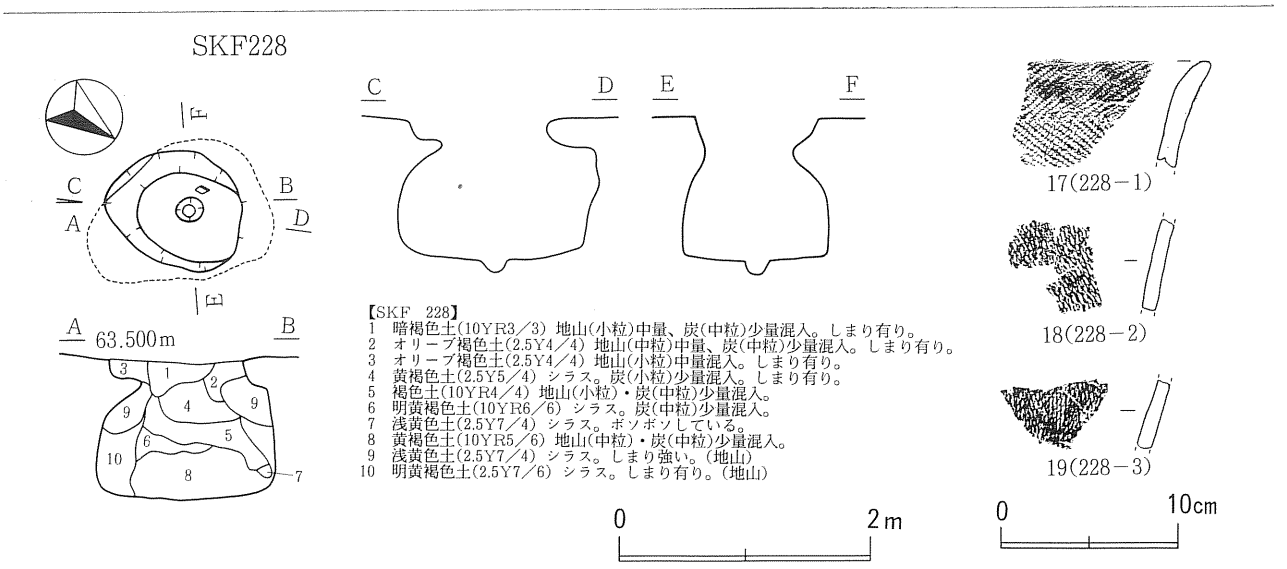


【SKF 226】
1　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　明黄褐色土(2.5Y7／6)　地山塊。しまり強い。
3　黒色土(7.5YR2／1)　地山(小粒)ごく少量混入。ボソボソしている。
4　暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)ごく少量混入。ボソボソしている。
5　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)ごく少量混入。ボソボソしている。
6　明黄褐色土(2.5YR7／6)　シラス。ややボソボソしている。
7　暗褐色土(10YR3／3)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
8　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
9　2に同じ。
10　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
11　褐色土(10YR4／6)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。
12　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)少量・炭(中粒)中量混入。
13　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
14　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)ごく少量混入。ボソボソしている。
15　にぶい黄褐色土(10YR6／4)　シラス。炭(小粒)少量混入。
16　褐色土(10YR4／4)　シラス。ややしまり有り。
17　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。

第187図　SKF 224・SKF 226 フラスコ状土坑とその出土遺物



【SKF　227・261】
1　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　明黄褐色土(2.5Y7／6)　シラス。しまり有り。
3　黄褐色土(2.5Y5／4)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
4　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。しまり強い。
5　黄橙色土(10YR7／8)　シラス。ややしまり有り。
6　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり強い。
7　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり有り。
8　にぶい黄色土(2.5Y6／4)　シラス塊(大)混入。しまり強い。
9　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。
10　にぶい黄色土(2.5Y6／4)　シラス。ややしまり有り。
11　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。ややしまり有り。



【SKF　228】
1　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)中量混入。しまり有り。
4　黄褐色土(2.5Y5／4)　シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。
6　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。炭(中粒)少量混入。
7　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。ボソボソしている。
8　黄褐色土(10YR5／6)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。
9　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり強い。(地山)
10　明黄褐色土(2.5Y7／6)　シラス。しまり有り。(地山)

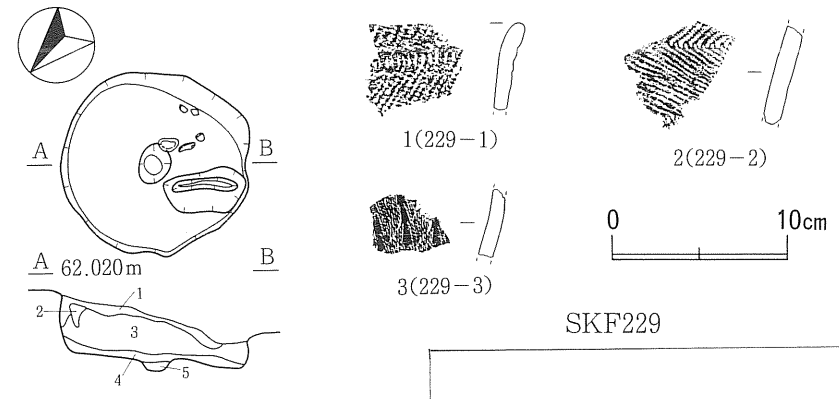
第188図　SKF 227・SKF 228・SKF 261 フラスコ状土坑とその出土遺物

《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ９㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から土器片が３点出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　229 フラスコ状土坑（第189図）
《位　　置》　ＭＪ79グリッドに位置する。
《確　　認》　台地斜面上端に円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.49ｍ×短径1.46ｍ、坑底部長径1.42ｍ×短径1.23ｍ、深さ0.40ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　南西側に傾斜している底面の中央に深さ９㎝の柱穴様ピットが１カ所あり、その西側に溝状のくぼみがある。
《遺　　物》　埋土中から土器片３点と礫が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　230 フラスコ状土坑（第189図）
《位　　置》　ＭＫ79グリッドに位置する。
《確　　認》　台地斜面上端に円形の暗オリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.85ｍ×短径1.75ｍ、坑底部長径2.06ｍ×短径1.77ｍ、深さ0.45ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《 断面形 》　袋状である。
《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から石槍１点（１）、石匙１点（２）、擦り石１点（３）が出土した。
《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

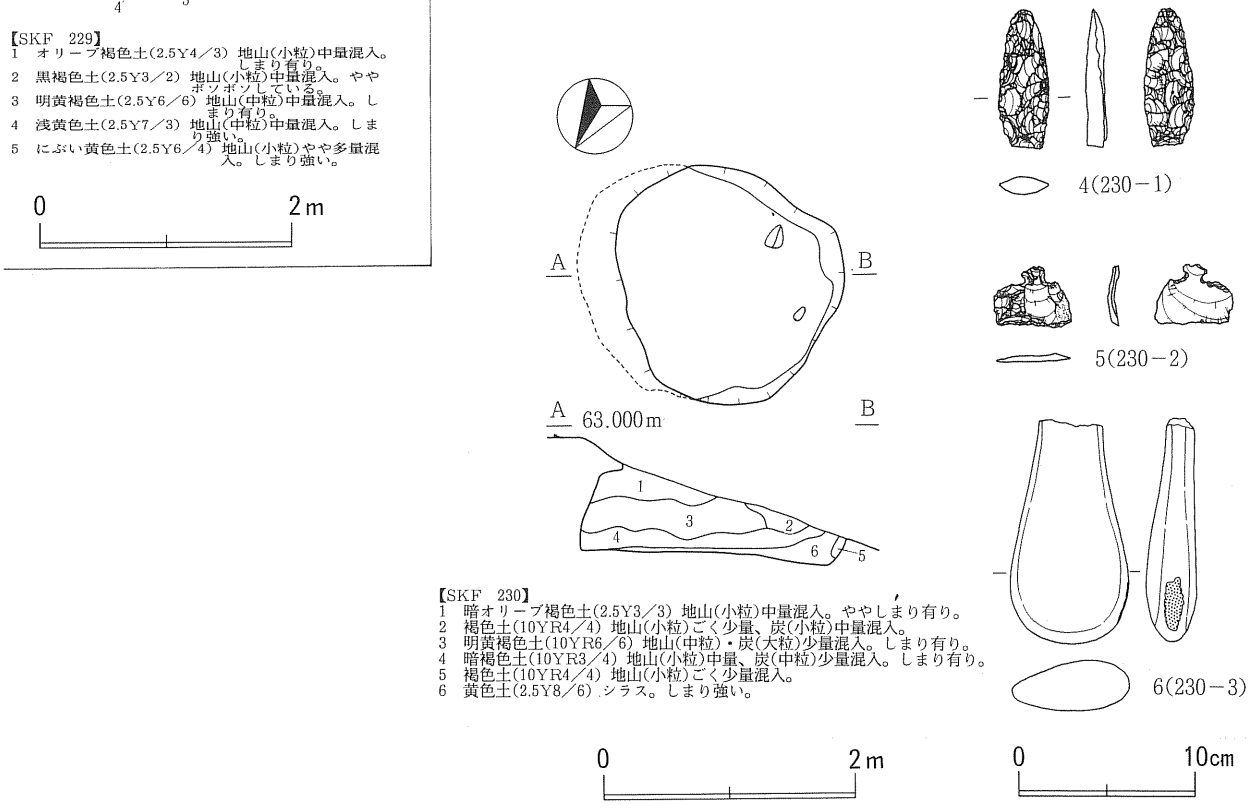
ＳＫＦ　231 フラスコ状土坑（第189図）
《位　　置》　ＭＱ71グリッドに位置する。
《確　　認》　竪穴住居跡の壁面に楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　平安時代のＳＩ121竪穴住居跡と重複していた。
《規　　模》　開口部長径1.40ｍ×短径1.00ｍ、坑底部長径1.36ｍ×短径1.33ｍ、深さ0.38ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。



【SKF　229】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)中量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(小粒)中量混入。ややボソボソしている。
3　明黄褐色土(2.5Y6／6)　地山(中粒)中量混入。しまり有り。
4　浅黄色土(2.5Y7／3)　地山(中粒)中量混入。しまり強い。
5　にぶい黄色土(2.5Y6／4)　地山(小粒)やや多量混入。しまり強い。

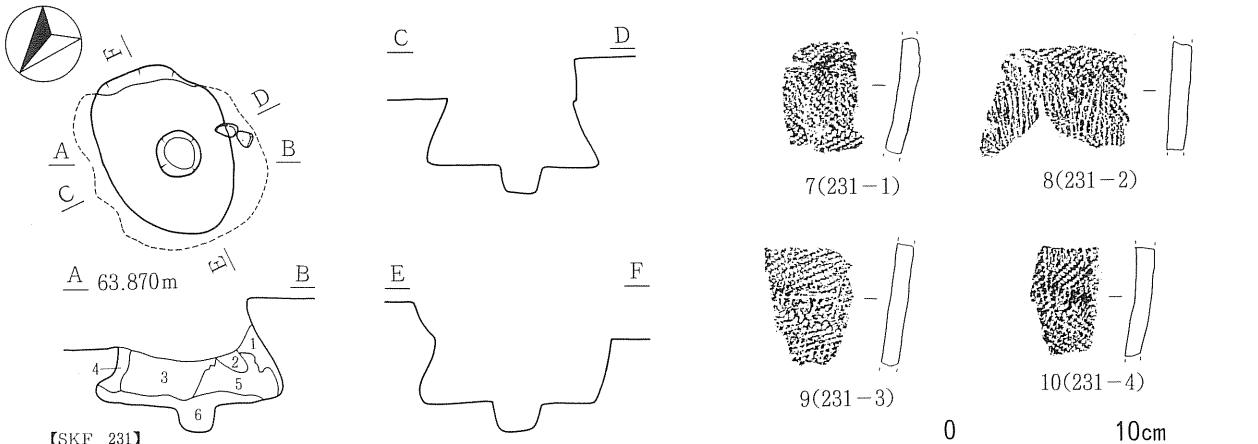
0　2m

SKF229



【SKF　230】
1　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
2　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)中量混入。
3　明黄褐色土(10YR6／6)　地山(中粒)・炭(大粒)少量混入。しまり有り。
4　暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)ごく少量混入。
6　黄色土(2.5Y8／6)　シラス。しまり強い。

SKF230



【SKF　231】
1　黄褐色土(2.5Y5／6)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2　1に同じ。
3　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(大粒)中量、炭(中粒)多量混入。ややしまり有り。
4　明黄褐色土(2.5Y6／6)　地山(大粒)ごく多量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
6　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。

0　2m

SKF231

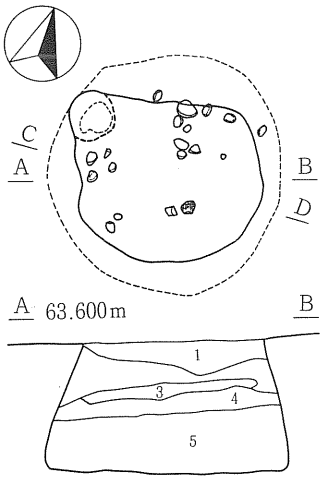
第189図　SKF 229・SKF 230・SKF 231 フラスコ状土坑とその出土遺物

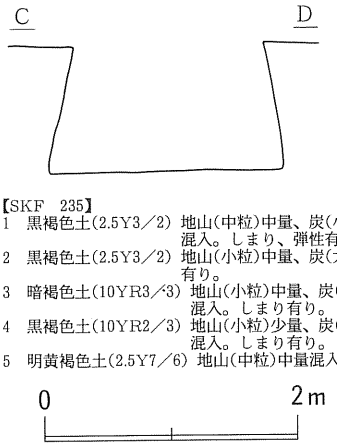
《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物が混入する。
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ22㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から土器片が４点出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　235 フラスコ状土坑（第190図）
《位　　置》　ＭＬ78グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.42ｍ×短径1.28ｍ、坑底部長径1.91ｍ×短径1.84ｍ、深さ1.08ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋め戻したと思われる埋土の第５層から深鉢土器胴部上半１個体分（１）と土器片８点、掻器１点（10)、削器２点（11･12)、擦り･くぼみ石１点（13)、擦り石１点（14）と礫などが出土した。深鉢土器（１）は、ＳＫＦ237フラスコ状土坑出土の土器片と接合した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

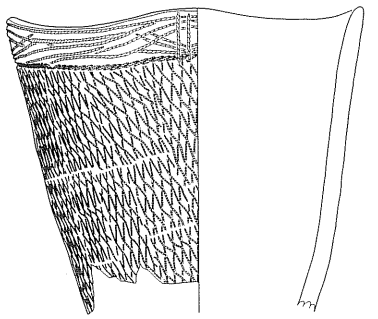
ＳＫＦ　236 フラスコ状土坑（第190図）
《位　　置》　ＭＱ69･70グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.80ｍ×短径0.74ｍ、坑底部長径1.48ｍ×短径1.36ｍ、深さ0.99ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土の第３層から土器片５点、石鏃破片１点（6)、掻器１点（7)、両面調整石器１点（８）などが出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　237 フラスコ状土坑（第191図、図版141）
《位　　置》　ＭＲ72、ＭＳ72グリッドに位置する。
《確　　認》　台地縁辺に楕円形の褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫＦ240フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が古い。
《規　　模》　開口部長径2.32ｍ×短径1.79ｍ、坑底部長径2.07ｍ×短径1.98ｍ、深さ1.42ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。

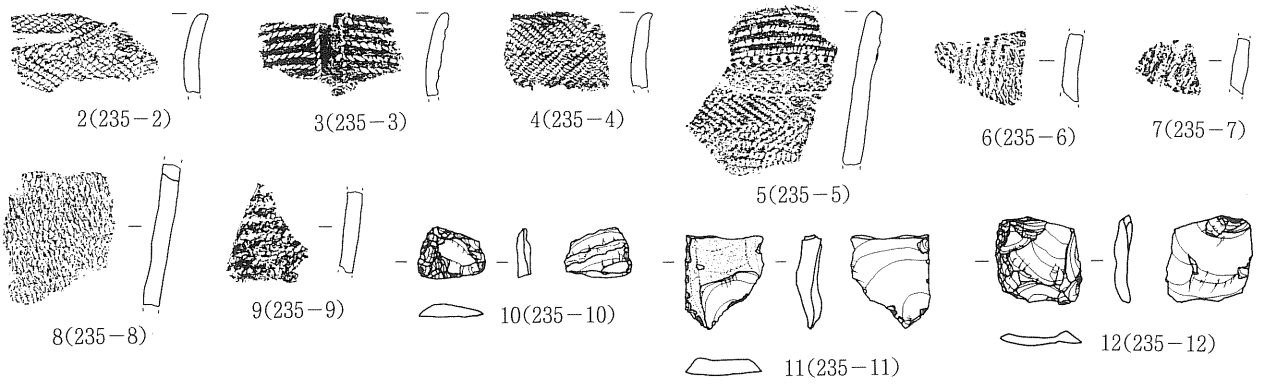




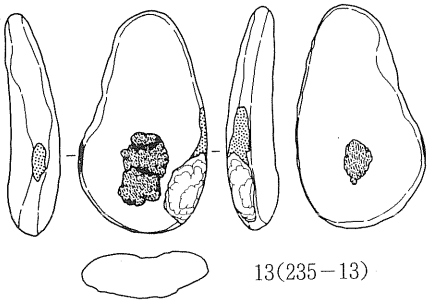
【SKF　235】
1　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量、地山(大粒)混入。しまり、弾性有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(小粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)中量、炭(小粒)少量、地山塊(少)混入。しまり有り。
4　黒褐色土(10YR2／3)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量、地山塊(少)混入。しまり有り。
5　明黄褐色土(2.5Y7／6)　地山(中粒)中量混入。しまり有り。



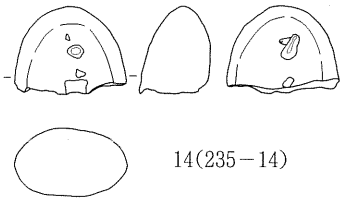
1(235－1)



2(235－2)　3(235－3)　4(235－4)　5(235－5)　6(235－6)　7(235－7)　8(235－8)　9(235－9)　10(235－10)　11(235－11)　12(235－12)



13(235－13)

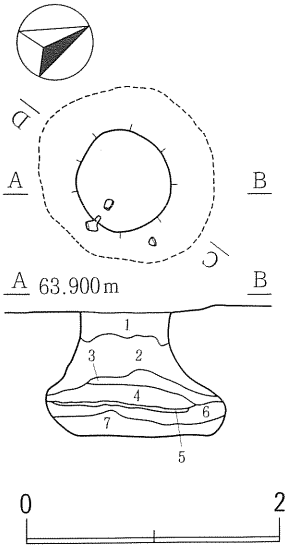


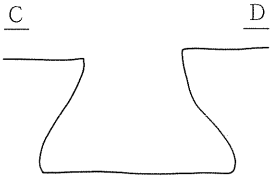
14(235－14)

0　10cm

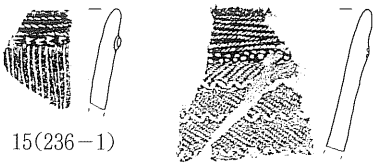
SKF235

SKF236

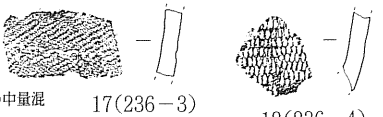




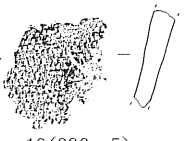
【SKF　236】
1　黒褐色土(10YR2／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(小粒)やや多量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
3　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり強い。
4　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
6　黄褐色土(2.5Y5／6)　シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
7　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。しまり有り。
8　浅黄色土(2.5Y7／4)　地山。しまり強い。



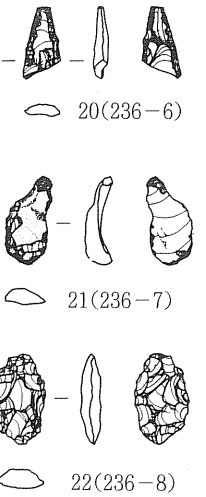
15(236－1)　16(236－2)



17(236－3)　18(236－4)



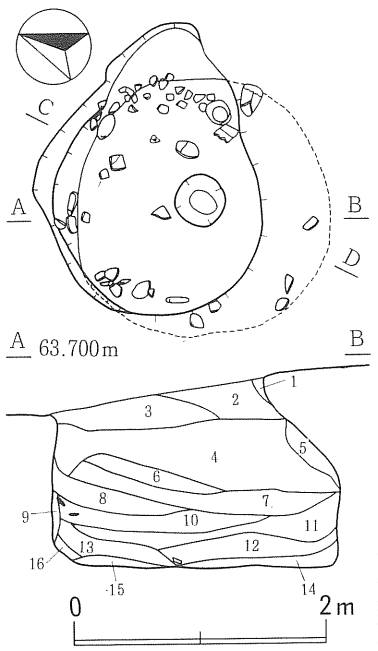
19(236－5)

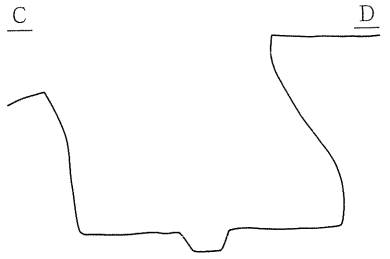


20(236－6)　21(236－7)　22(236－8)

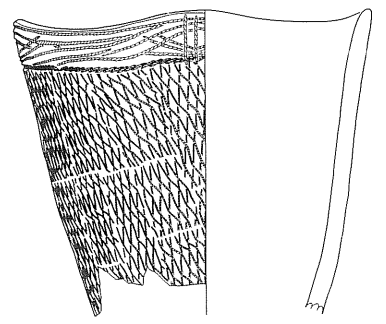
0　10cm

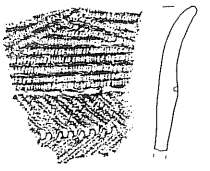
第190図　SKF 235・SKF 236 フラスコ状土坑とその出土遺物





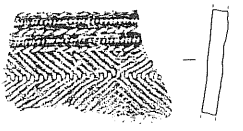
【SKF　237】
1　黒褐色土(10YR2／3)　地山(小粒)ごく少量混入。
2　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)やや多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
4　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)やや多量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
5　黄褐色土(2.5Y5／4)　地山塊(中)中量混入。しまり有り。
6　褐色土(10YR4／4)　地山(大粒)少量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
7　黒褐色土(10YR2／3)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。ややしまり有り。
8　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。ややしまり有り。
10　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
11　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
12　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
13　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
14　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり有り。
15　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
16　10に同じ。

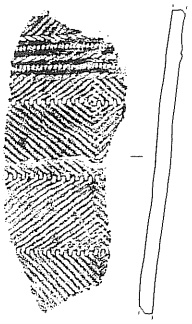

1(237－1)


2(237－2)

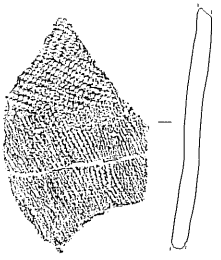
3(237－3)

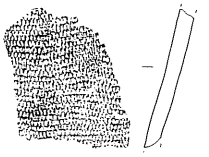
4(237－4)


5(237－5)

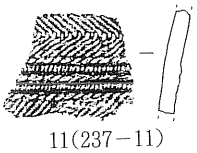

6(237－6)

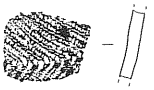
7(237－7)

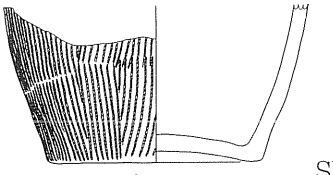

8(237－8)


9(237－9)

10(237－10)


11(237－11)

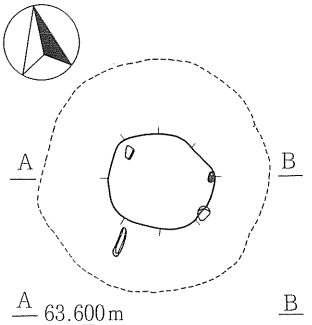

12(237－12)

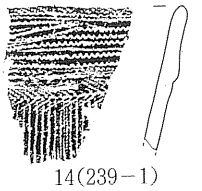

13(237－13)

SKF237

0　10cm

SKF239




14(239－1)

0　10cm

【SKF　239】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス。しまり強い。
3　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり強い。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
5　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(小粒)・炭(中粒)多量混入。しまり有り。
6　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)少量、炭(小粒)多量混入。しまり有り。
7　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山(小粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
9　黄褐色土(10YR5／6)　シラス。ややしまり有り。

第191図　SKF 237・SKF 239 フラスコ状土坑とその出土遺物

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　16層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ15㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器胴部上半１個体分（１）と土器片11点、土器底部破片１点（13）と多数の礫などが出土した。深鉢土器（１）は、ＳＫＦ235フラスコ状土坑出土の土器片と接合した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　239 フラスコ状土坑（第191図）

《位　　置》　ＭＭ74グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.84ｍ×短径0.74ｍ、坑底部長径1.86ｍ×短径1.82ｍ、深さ1.26ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片１点と礫３点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　240 フラスコ状土坑（第192図、図版141）

《位　　置》　ＭＳ72グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ237フラスコ状土坑と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.02ｍ×短径0.96ｍ、坑底部長径0.92ｍ×短径0.90ｍ、深さ0.46ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土最下位の７ａ層から深鉢土器胴部下半の破片１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期中～後葉と思われる。

ＳＫＦ　242 フラスコ状土坑（第192図）

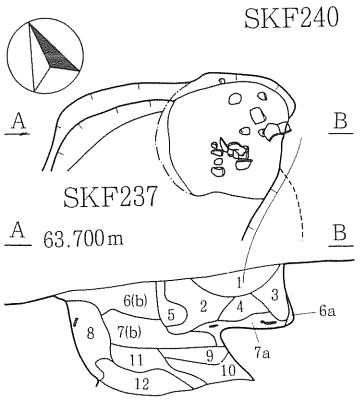
《位　　置》　ＭＭ74、75グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ234竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が古い。

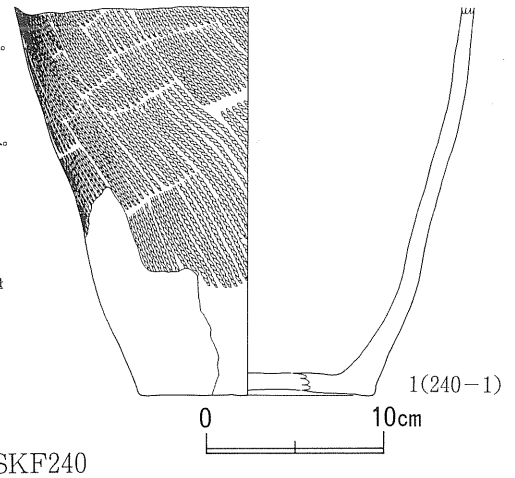
《規　　模》　開口部長径1.64ｍ×短径1.51ｍ、坑底部長径1.91ｍ×短径1.65ｍ、深さ0.58ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。



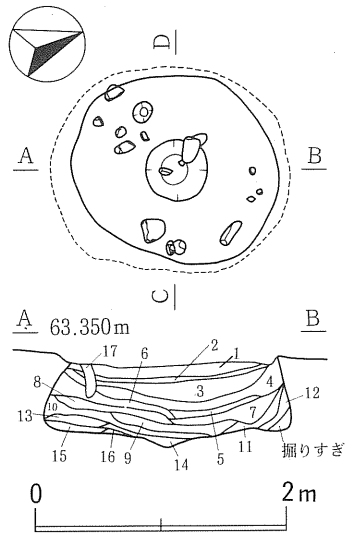
【SKF 240】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2　黒色土(10YR2／1)　地山(大粒)少量、炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。弾性有り。
3　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(大粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
4　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(大粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6a 暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
6b オリーブ色土(2.5Y4／6)　地山(大粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
7a 黒色土(7.5YR2／1)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
7b オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)多量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
9　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。
10　明黄褐色土(2.5Y6／6)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。弾性有り。
11　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
12　黄褐色土(2.5Y5／6)　地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。

0　2m

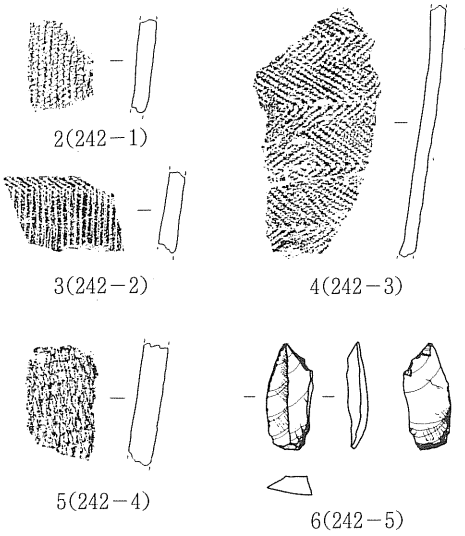


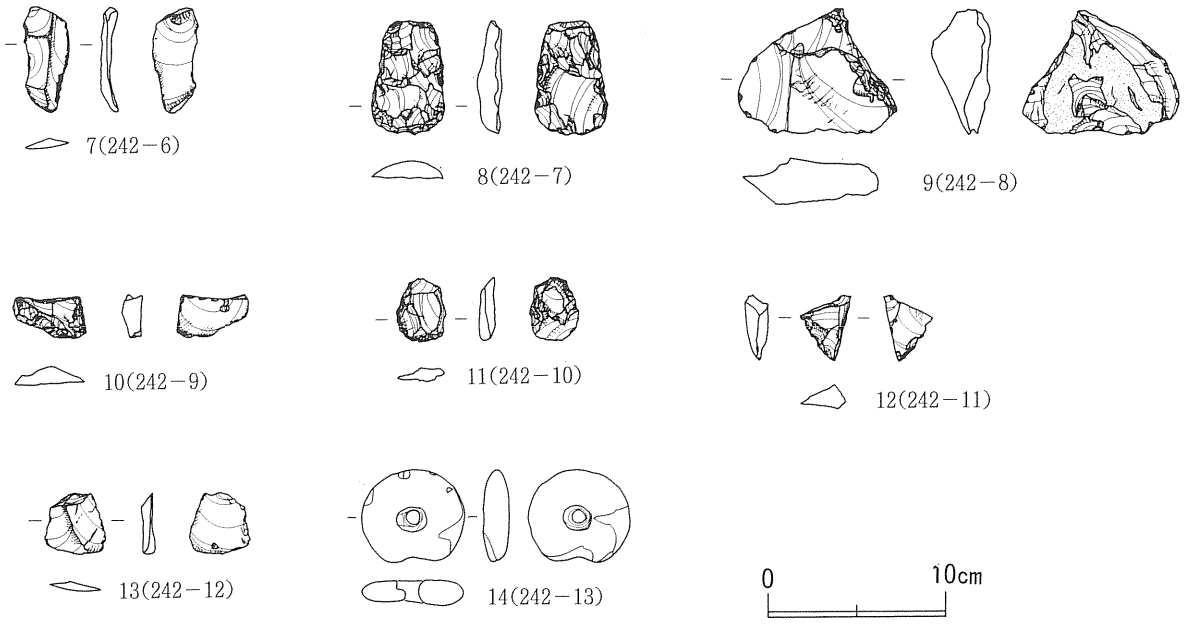
SKF240

SKF242



【SKF 242】
1　褐色土(10YR4／4)　地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
2　黒色土(10YR2／1)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
4　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
7　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
8　黒色土(2.5Y2／1)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり、弾性、粘性有り。
9　黒色(10YR2／1)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
10　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
11　暗褐色土(10YR3／3)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
12　暗褐色土(10YR3／4)　地山(小粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
13　黒色土(2.5Y2／1)　地山(小粒)少量、炭(小粒)中量混入。しまり、粘性有り。
14　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり、粘性有り。
15　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山(中粒)少量、炭(小粒)中量混入。しまり、粘性有り。
16　灰白色土(10YR7／1)　地山(小粒)ごく少量。ややしまり有り。白色粘土。
17　黒褐色土(10YR3／2)　地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り、粘性有り。





第192図　SKF 240・SKF 242 フラスコ状土坑とその出土遺物

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　17層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ11㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　底面から土器片４点と篦状石器１点（７）、掻器１点（10）、微小剥離痕のある石器剥片６点（５・６・８・９・11・12）、貫通孔のある円盤状石製品１点（13）のほか多数の礫が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　243 フラスコ状土坑（第193図・第194図、図版142）

《位　　置》　ＭＬ75グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.86ｍ×短径0.80ｍ、坑底部長径1.66ｍ×短径1.56ｍ、深さ1.28ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　第８層から横倒して深鉢土器１個体（１）が出土したほか、埋土の第７～９層中からの出土が多い。土器片４点（２～５）と底部破片１点（６）、半円状偏平打製石器２点（９・11）、半円状偏平打製石器破片１点（10）、くぼみ石１点（14）、円盤状石製品破片１点（13）、石器剥片３点（７・８・12）、石皿破片（15）のほか、礫などが出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　245 フラスコ状土坑（第194図）

《位　　置》　ＭＰ71・72グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　平安時代のＳＩ122竪穴住居跡と重複していた。

《規　　模》　開口部長径0.64ｍ×短径0.63ｍ、坑底部長径0.63ｍ×短径0.61ｍ、深さ0.19ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《 断面形 》　袋状である。

《埋　　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸がある。

《遺　　物》　埋土中から土器片が２点出土した。

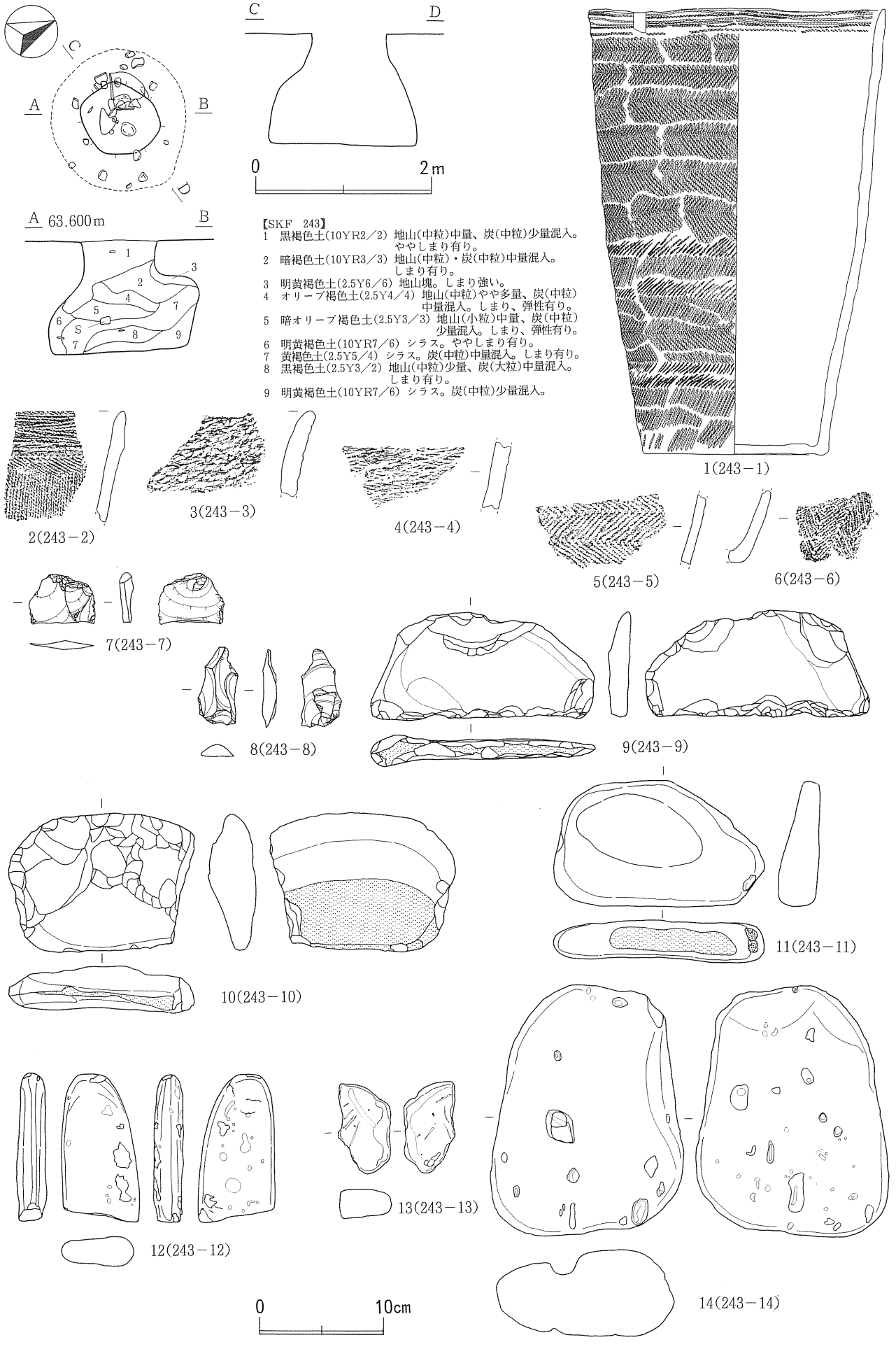
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　247 フラスコ状土坑（第194図）

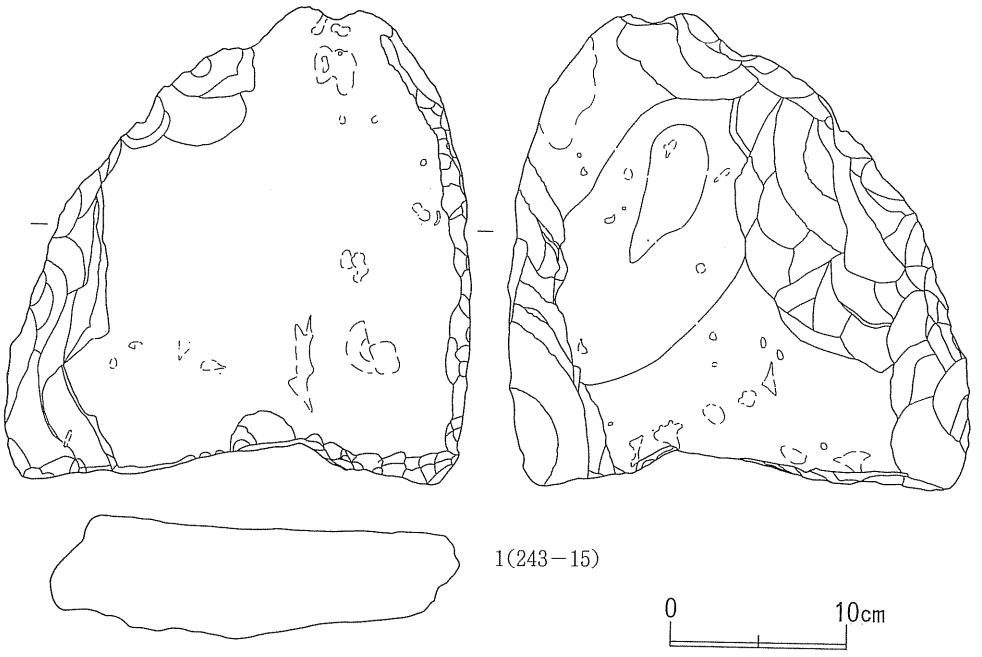
《位　　置》　ＮＡ65グリッドに位置する。

《確　　認》　円形のオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代中期のＳＩ154竪穴住居跡と重複している。本土坑が古い。

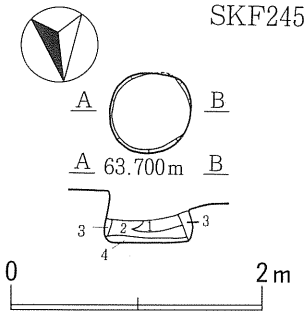


第193図　SKF 243 フラスコ状土坑とその出土遺物

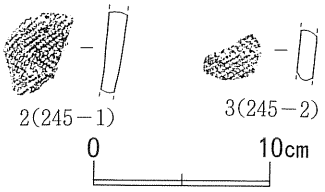


SKF243 出土遺物

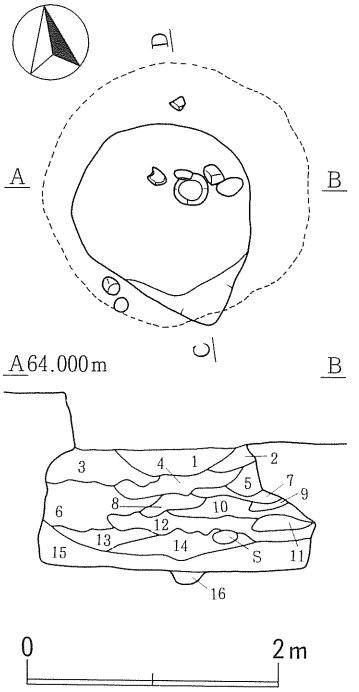
SKF245

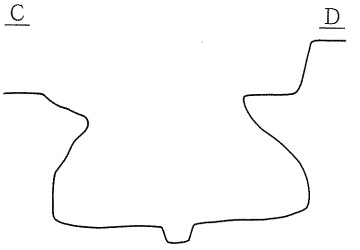


【SKF 245】
1　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　明黄褐色地山粒、炭化物粒混入。
2　褐色土(10YR4／4)　炭化物粒・塊、明黄褐色地山粒・塊混入。
3　黒褐色土(10YR2／3)
4　明黄褐色土(10YR7／6)　地山再堆積土。

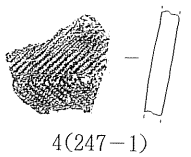


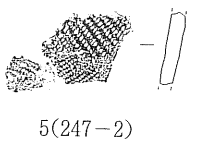
SKF247

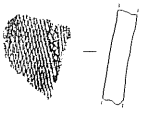


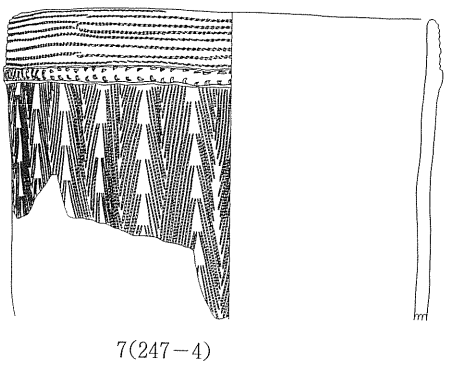


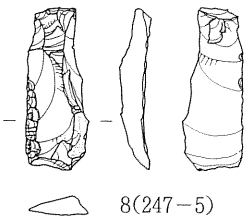
【SKF 247】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり強い。
2　明黄褐色土(2.5Y6／6)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
5　浅黄色土(2.5Y7／4)　地山塊。炭(小粒)中量混入。しまり強い。
6　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり強い。
7　黄褐色土(2.5Y5／4)　地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
8　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(小粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
10　オリーブ褐色土(2.5Y4／4)　地山(小粒)・炭(中粒)少量混入。ややしまり有り。
11　浅黄色土(2.5Y7／4)　地山塊。しまり強い。
12　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(小粒)・炭(大粒)少量混入。ややしまり有り。
13　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
14　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
15　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。ややしまり有り。
16　にぶい黄色土(2.5Y6／4)　シラス。ややしまり有り。

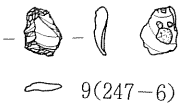


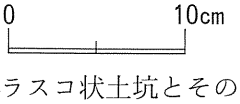












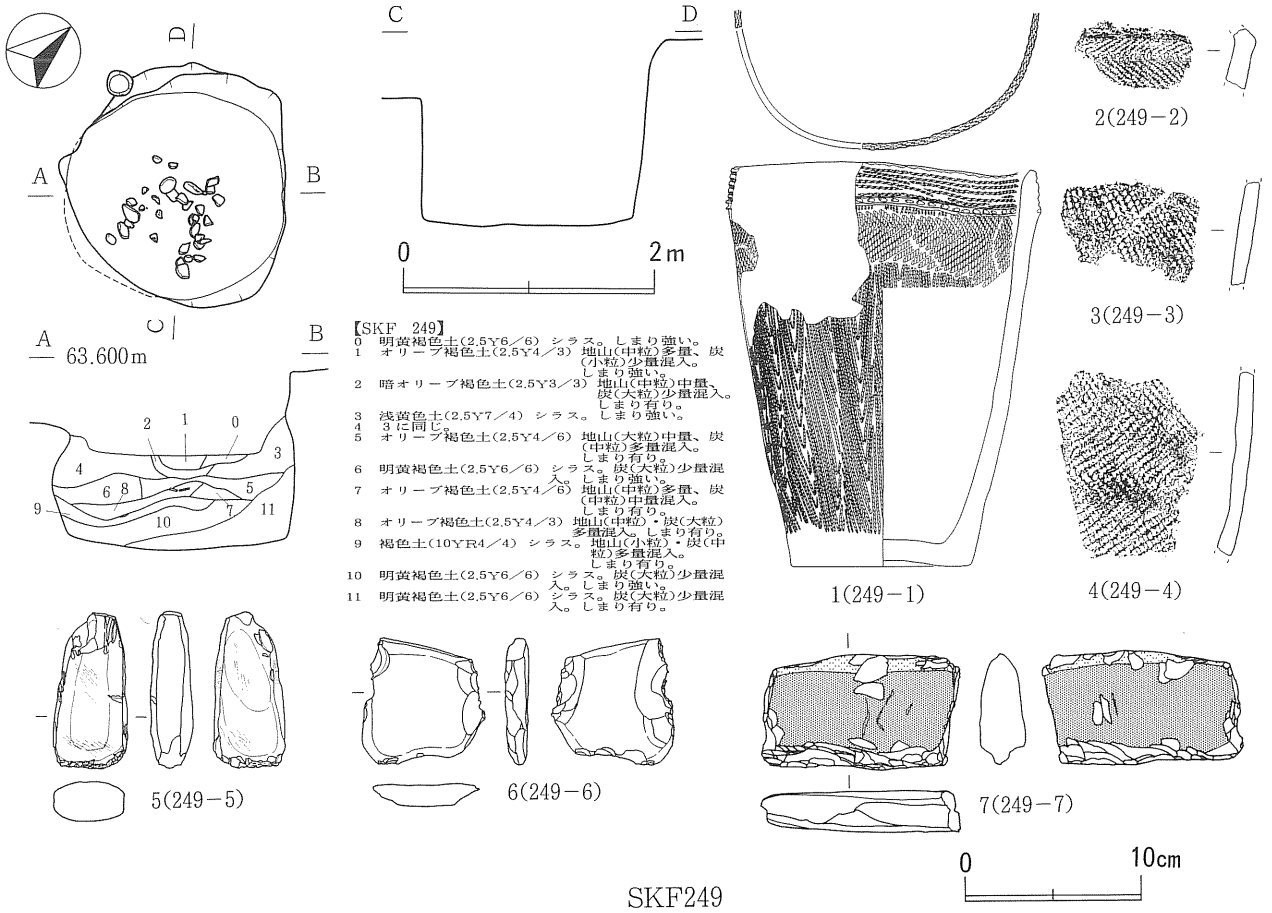
第194図　SKF 243・SKF 245・SKF 247 フラスコ状土坑とその出土遺物

《規　　模》　開口部長径1.72ｍ×短径1.42ｍ、坑底部長径2.10ｍ×短径2.05ｍ、深さ0.96ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　16層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ11㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器胴部上半破片１個体分（４）と土器片３点、削石１点（５）、掻器１点（６）のほか、礫７点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

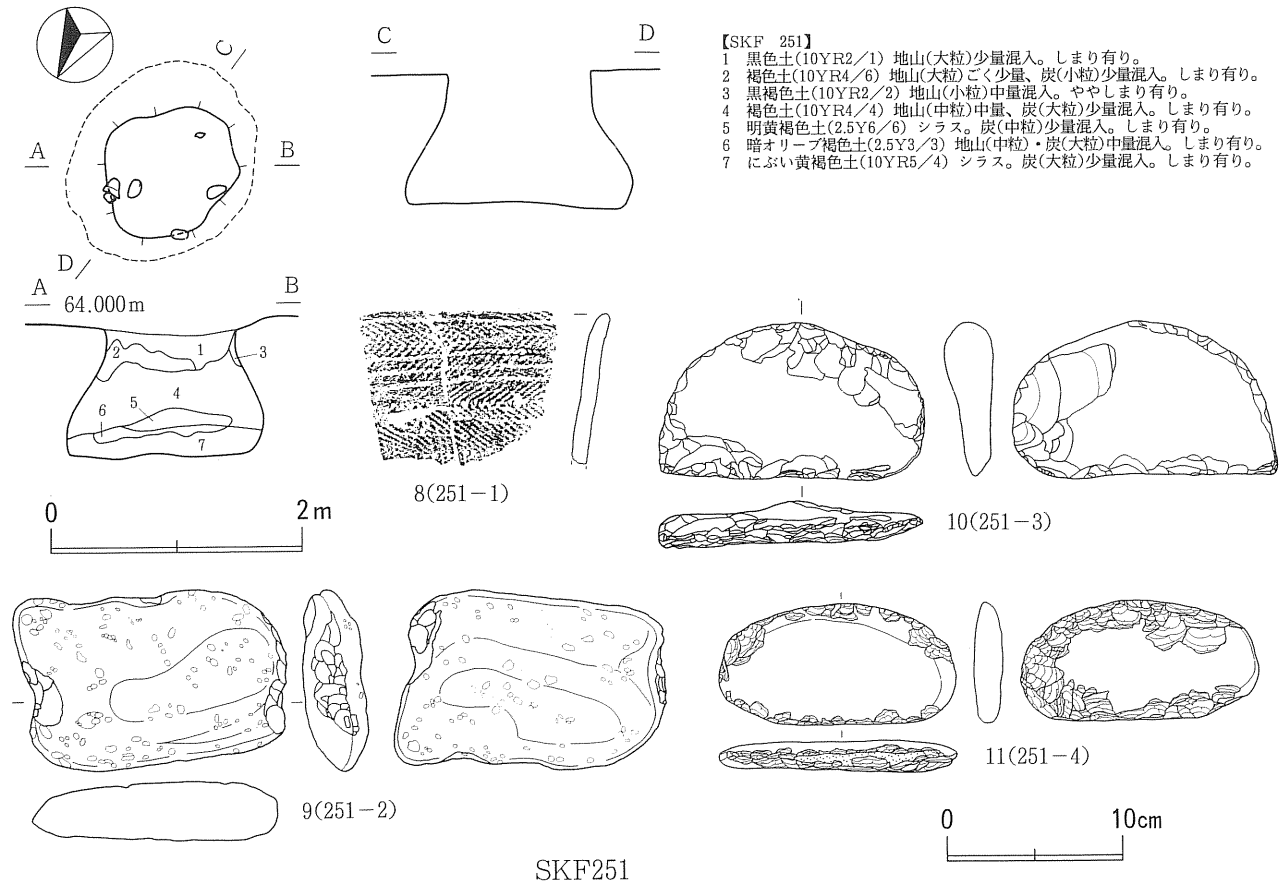
ＳＫＦ　249 フラスコ状土坑（第195図）
《位　　置》　ＭＬ74･75グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の明黄褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　平安時代のＳＩ126竪穴住居跡と重複していた。本土坑が古い。
《規　　模》　開口部長径1.89ｍ×短径1.88ｍ、坑底部長径1.79ｍ×短径1.68ｍ、深さ0.73ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器１個体（１）と土器片３点、刃部を潰した磨製石斧１点（５）、石錘１点（６）、半円状偏平打製石器破片１点（７）のほか、多数の礫が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　251 フラスコ状土坑（第195図）
《位　　置》　ＭＳ66、ＭＴ66グリッドに位置する。
《確　　認》　不整な楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.06ｍ×短径0.99ｍ、坑底部長径1.57ｍ×短径1.48ｍ、深さ1.02ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片１点と、石錘１点（２）、半円状偏平打製石器２点（３・４）、礫などが出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　253 フラスコ状土坑（第196図、図版143）
《位　　置》　ＭＳ69グリッドに位置する。
《確　　認》　竪穴住居跡の床面に不整な黒褐色土の落ち込みとして確認した。



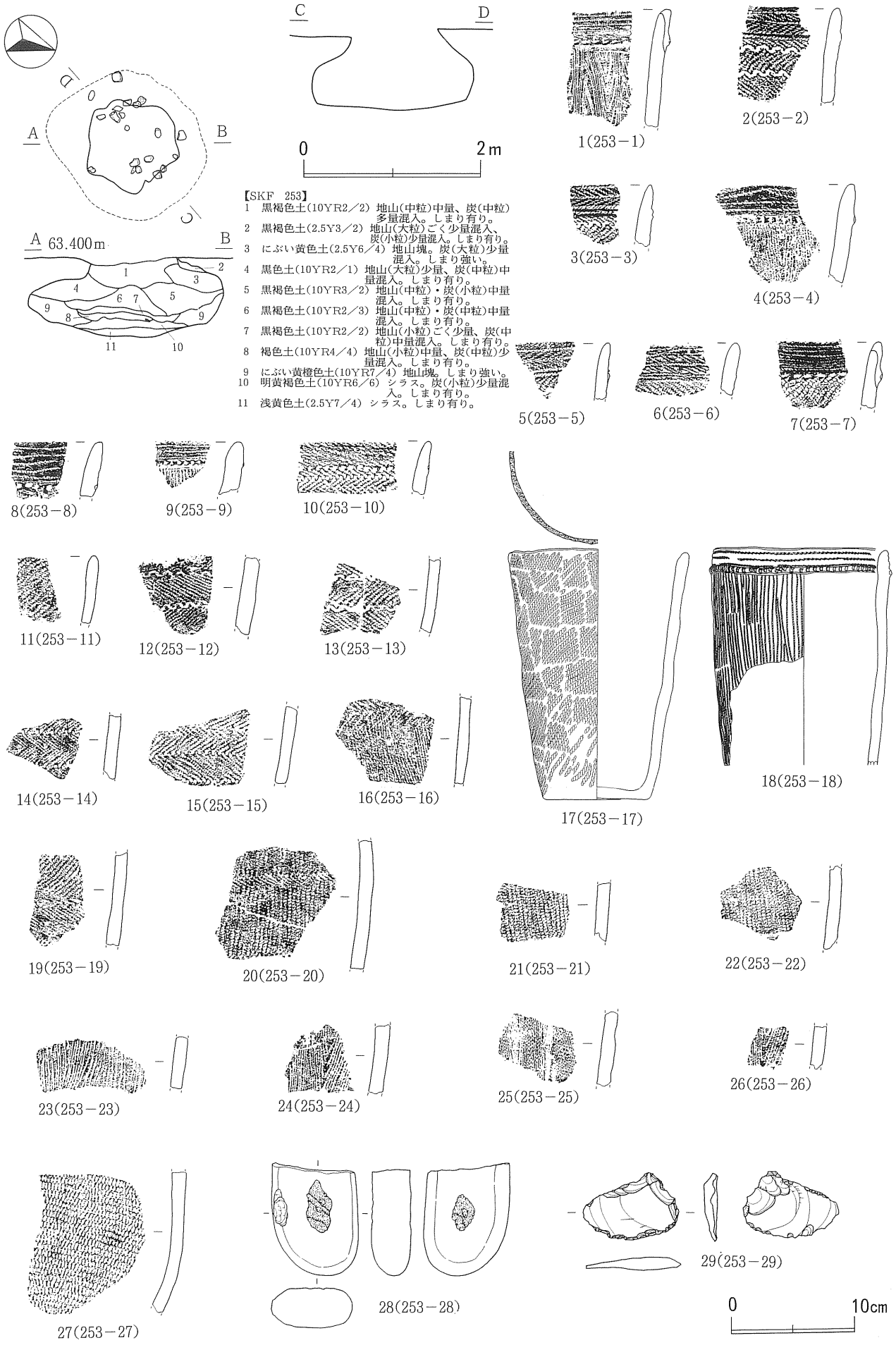
【SKF　249】
0　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。しまり強い。
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(中粒)多量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
3　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり強い。
4　３に同じ。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(大粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
6　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり強い。
7　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　地山(中粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8　オリーブ褐色土(2.5Y4／3)　地山(中粒)・炭(大粒)多量混入。しまり有り。
9　褐色土(10YR4／4)　シラス。地山(小粒)・炭(中粒)多量混入。しまり有り。
10　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり強い。
11　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり有り。



【SKF　251】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(大粒)少量混入。しまり有り。
2　褐色土(10YR4／6)　地山(大粒)ごく少量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)中量混入。ややしまり有り。
4　褐色土(10YR4／4)　地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
5　明黄褐色土(2.5Y6／6)　シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
6　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3)　地山(中粒)・炭(大粒)中量混入。しまり有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス。炭(大粒)少量混入。しまり有り。

第195図　SKF 249・SKF 251 フラスコ状土坑とその出土遺物

【SKF 253】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山(中粒)中量、炭(中粒)多量混入。しまり有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2)　地山(大粒)ごく少量混入、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3　にぶい黄色土(2.5Y6／4)　地山塊。炭(大粒)少量混入。しまり強い。
4　黒色土(10YR2／1)　地山(大粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
5　黒褐色土(10YR3／2)　地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6　黒褐色土(10YR2／3)　地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　黒褐色土(10YR2／2)　地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
8　褐色土(10YR4／4)　地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　地山塊。しまり強い。
10　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。炭(小粒)少量混入。しまり有り。
11　浅黄色土(2.5Y7／4)　シラス。しまり有り。



第196図　SKF 253 フラスコ状土坑とその出土遺物

《重　　複》　平安時代のＳＩ120竪穴住居跡と重複している。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.11ｍ×短径0.96ｍ、坑底部長径1.69ｍ×短径1.52ｍ、深さ0.85ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器２個体分（17•18）と土器片25点、くぼみ石１点（28)、石匙１点（29）が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　254 フラスコ状土坑（第197図）

《位　　置》　ＭＴ65、ＮＡ65グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の暗オリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.64ｍ×短径1.27ｍ、坑底部長径2.22ｍ×短径2.13ｍ、深さ1.20ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　11層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片３点、半円状偏平打製石器２点（４・５)、擦り•くぼみ石１点（６）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　257 フラスコ状土坑（第161図•第162図、図版143）

《位　　置》　ＭＴ69グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ149フラスコ状土坑と重複していた。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径0.94ｍ×短径0.88ｍ、坑底部長径1.52ｍ×短径1.34ｍ、深さ0.98ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

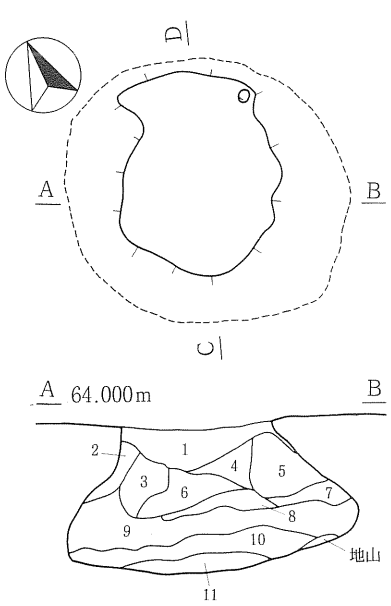
《断 面 形》　三角フラスコ形である。

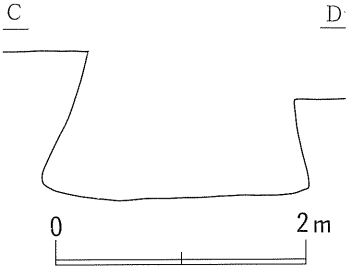
《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

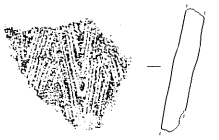
《遺　　物》　埋土中と底面から深鉢土器２個体分（１・２）と土器片５点（３～７)、土器底部破片２点（８・９)、両面調整石器１点（10)、片面調整剥離の石器破片２点（11•12)、石器剥片６点（13～18)、擦り石１点（19)、偏平礫２点（20•21）が、埋土上位から砥石１点（22）が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。



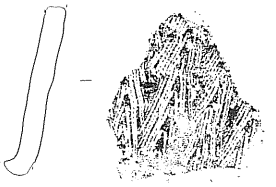


【SKF 254】
1 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(大粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
3 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)中量混入。しまり有り。
4 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)やや多量混入。しまり有り。
5 オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山塊(大)中量混入。しまり有り。
6 黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(中粒)多量混入。しまり有り。
7 オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
8 黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。ややしまり有り。
9 にぶい黄色土(2.5Y4／6) シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
10 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。
11 褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(大粒)少量混入。しまり有り。

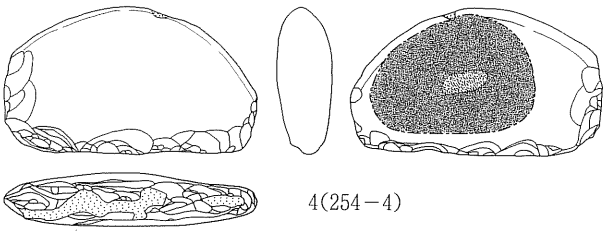


1(254－1)

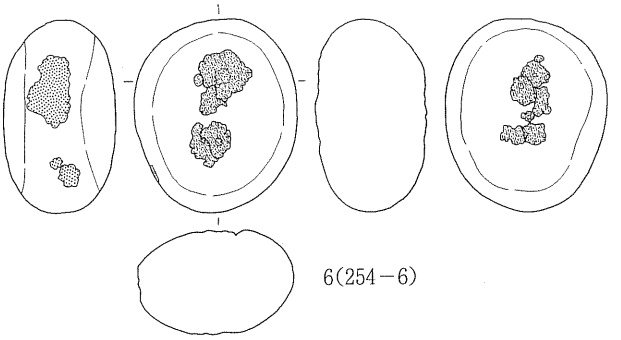
2(254－2)



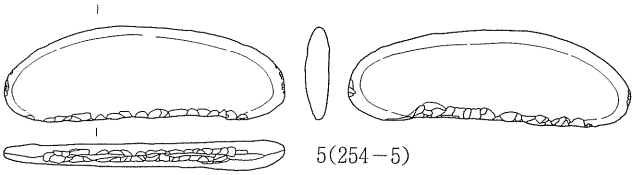
3(254－3)



4(254－4)



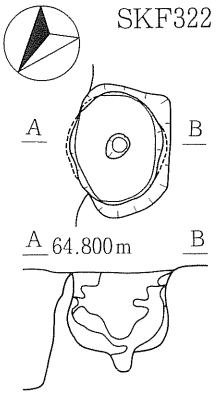
6(254－6)

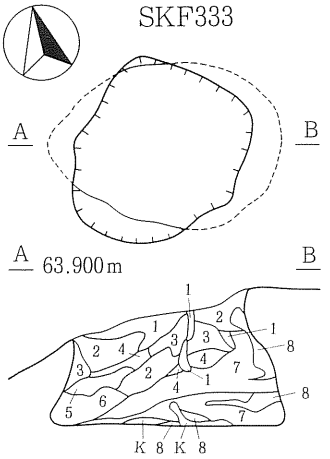


5(254－5)

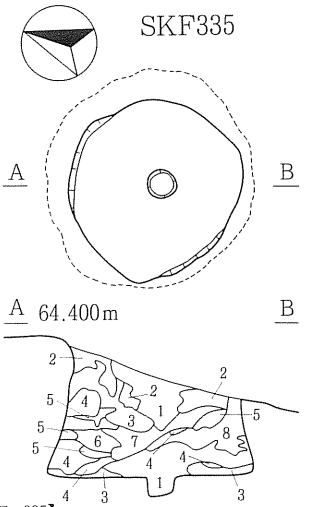
SKF254

0　10cm





【SKF 333】
1 黒褐色土(10YR2／3) シルト～地山粒混入。極少量の地山小ブロックを含む。しまり弱い。
2 褐色土(10YR4／4) シルト、地山粒混り。地山ブロックさらに大きくなり、量も多い。しまりやや弱い。
3 黒褐色土(10YR3／2) シルト、地山粒多量に含む。地山小ブロック全体に混入する。しまり有り。
4 暗褐色土(10YR3／4) シルト、地山粒混入。しまり弱い。
5 黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山小ブロックが集まって、黒色土と混じり合う。しまり弱い。
6 にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山層・多量の黒褐色土を含む。ややしまり有り。
7 明黄褐色土(10YR7／6) 地山二次堆積層。しまり弱い。
8 にぶい黄橙色土(10YR3／4) 地山二次堆積。しまり強い。
K 木根による攪乱



【SKF 335】
1 黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒を極少量含む。しまりやや有り。
2 黒褐色土(10YR3／2) シルト。地山粒を少量含む。しまりやや有り。(１層より弱い)。
3 にぶい黄褐色土(10YR4／3) シルト、地山粒多く含む。地山小ブロック混入。しまり有り。
4 明黄褐色土(10YR6／8) 地山二次堆積土。しまり有り。
5 褐色土(10YR4／4) シルト、地山粒を多く含む。しまり有り。
6 黄褐色土(10YR5／6) 地山二次堆積層と黒褐色土(10YR3／2)が細かい層をなす。しまりやや有り。
7 黒褐色土(10YR2／3) 地山ブロックがさらに大きくなる。地山粒多量に混入。しまり有り。
8 にぶい黄褐色土(10YR5／3) 極小さい地山ブロックと地山粒を多く含む。

0　2m

第197図　SKF 254・SKF 322・SKF 333・SKF335 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　259 フラスコ状土坑（第198図）

《位　　置》　ＭＮ77グリッドに位置する。

《確　　認》　竪穴住居跡の壁面に暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ１４１竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径2.53ｍ×短径1.91ｍ、坑底部長径2.12ｍ×短径2.04ｍ、深さ1.19ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ18㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片１点と、擦り石１点（２）、擦り・くぼみ石２点（３・４）、石錘１点（５）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫＦ　261 フラスコ状土坑（第188図）

《位　　置》　ＭＫ78グリッドに位置する。

《確　　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ227フラスコ状土坑と重複していた。本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.74ｍ×短径1.46ｍ、坑底部長径1.56ｍ×短径1.51ｍ、深さ1.25ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ10㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中からの出土が多かったが、不用意にＳＫＦ227フラスコ状土坑の出土遺物と一括してしまったため、分別できなかった。

《構築時期》　一括して出土した土器片からは縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　322 フラスコ状土坑（第197図）

《位　　置》　ＮＬ９グリッドに位置する。

《重　　複》　ＳＫＴ321Ｔ－ｐｉｔと重複していたが、新旧関係は不明である。

《規　　模》　開口部長径1.05ｍ×短径0.81ｍ、坑底部長径0.86ｍ×短径0.64ｍ、深さ0.66ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

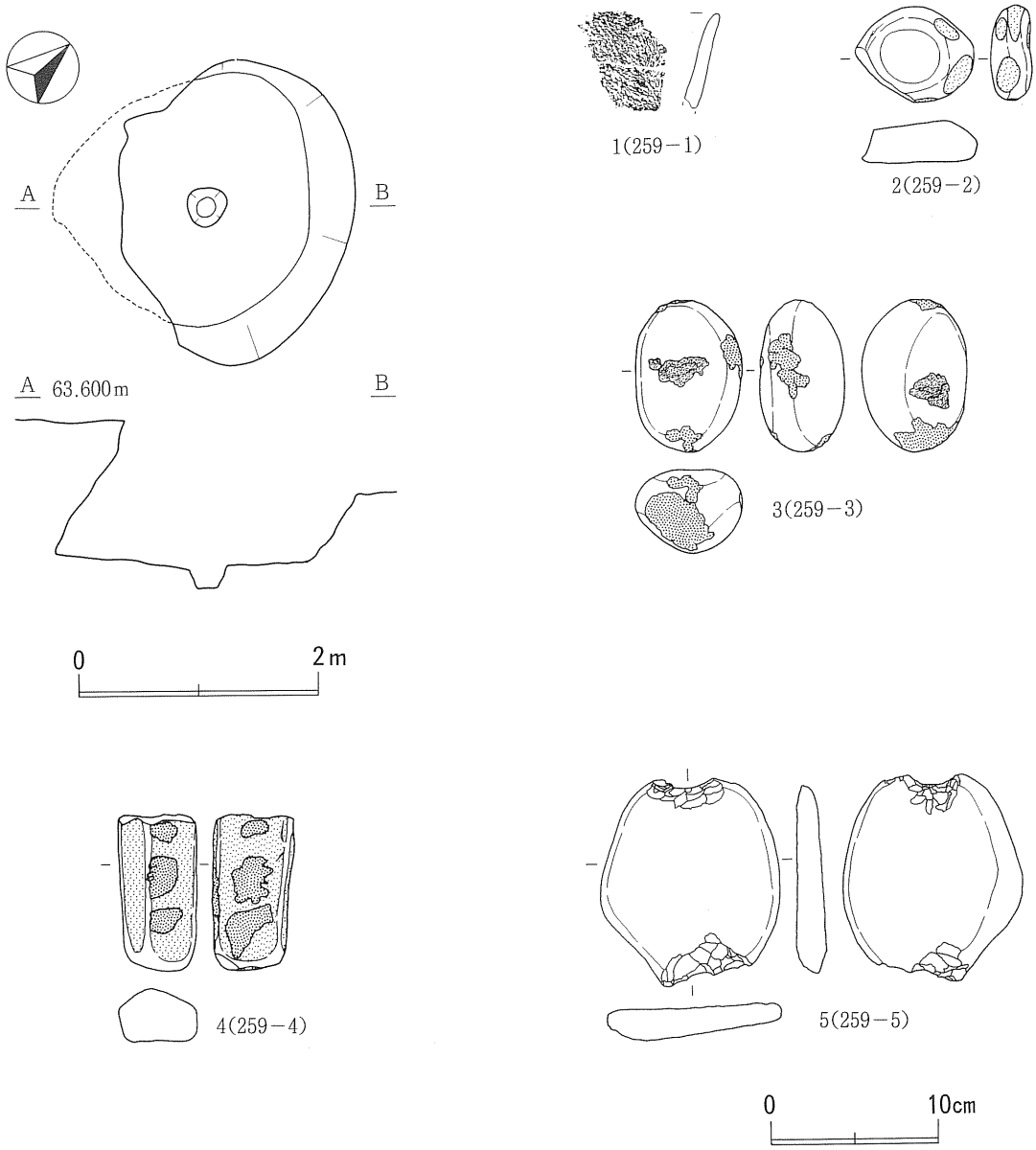
《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層したが、註記前に土層観察用ベルトを撤去するというミスのため、土色・土性は不明である。

《底　　面》　中華鍋底状の底面の中央に深さ16㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。



第198図　SKF 259 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　333 フラスコ状土坑（第197図）

《位　　置》　ＮＦ18グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に長方形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.52ｍ×短径1.31ｍ、坑底部長径1.56ｍ×短径1.41ｍ、深さ1.10ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　335 フラスコ状土坑（第197図、図版144）

《位　　置》　ＮＦ13•14、ＮＧ13•14グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.47ｍ×短径1.34ｍ、坑底部長径1.78ｍ×短径1.69ｍ、深さ1.07ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ15㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　337 フラスコ状土坑（第199図、図版144）

《位　　置》　ＮＧ17グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺にオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.80ｍ×短径0.47ｍ、坑底部長径2.00ｍ×短径2.00ｍ、深さ1.03ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断面形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　356 フラスコ状土坑（第199図）

《位　　置》　ＮＧ29グリッドに位置する。

《確　　認》　台地縁辺に円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫ355土坑と重複しているが、本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径0.98ｍ×短径0.91ｍ、坑底部長径1.25ｍ×短径1.14ｍ、深さ0.39ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。

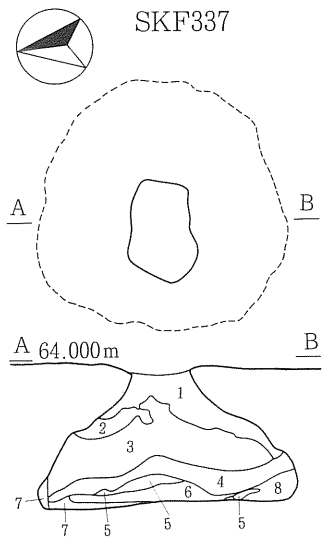
《底　　面》　平坦な底面の南側に深さ５～８㎝の柱穴様ピットが２カ所ある。

《遺　　物》　なし。

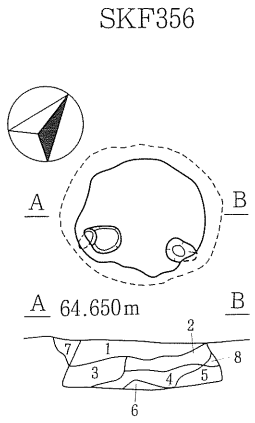
《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　363 フラスコ状土坑（第199図）

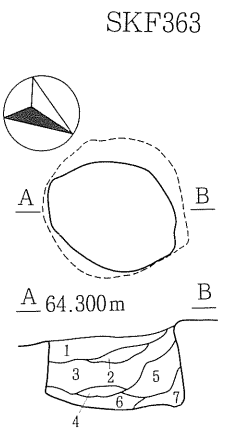
《位　　置》　ＭＲ28グリッドに位置する。



【SKF　337】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／6)　シルト。地山粒を多く含み、同極小ブロックやや多い。しまり弱い。
2　黄褐色土(2.5Y5／4)　シルト。１層より、地山粒多く、同ブロックやや大きい。
3　明黄褐色土(2.5Y6／8)　シルト。地山漸移層。しまり弱い。
4　黄褐色土(2.5Y5／6)　シルト。地山漸移層。下部に小ブロックあり。しまりあり。
5　黒褐色土(10YR3／2)　シルト。地山小ブロックが全体に混入。しまりやや弱い。
6　黒色土(10YR2／1)　シルト、地山粒を多く含み、同小ブロック少量混入。しまりやや弱い。
7　浅黄橙色土(10YR8／4)　地山層。しまりなし。

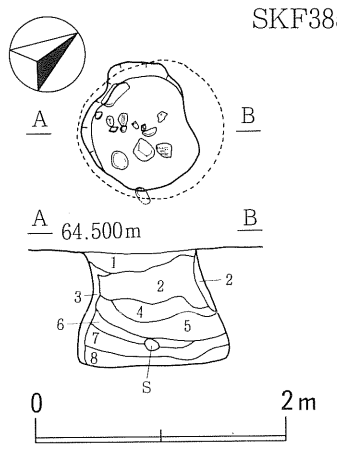


【SKF　356】
1　黒褐色土(10YR3／1)　地山粒混入。
2　黒褐色土(10YR3／1)　１より地山粒多い。
3　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒・塊多量混入。
4　黒褐色土(10YR3／1)　地山粒少量混入。
5　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒多量混入。
6　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒多量混入。
7　黒褐色土(10YR3／1)　地山塊混入。
8　黄橙色土(10YR7／8)　地山塊。

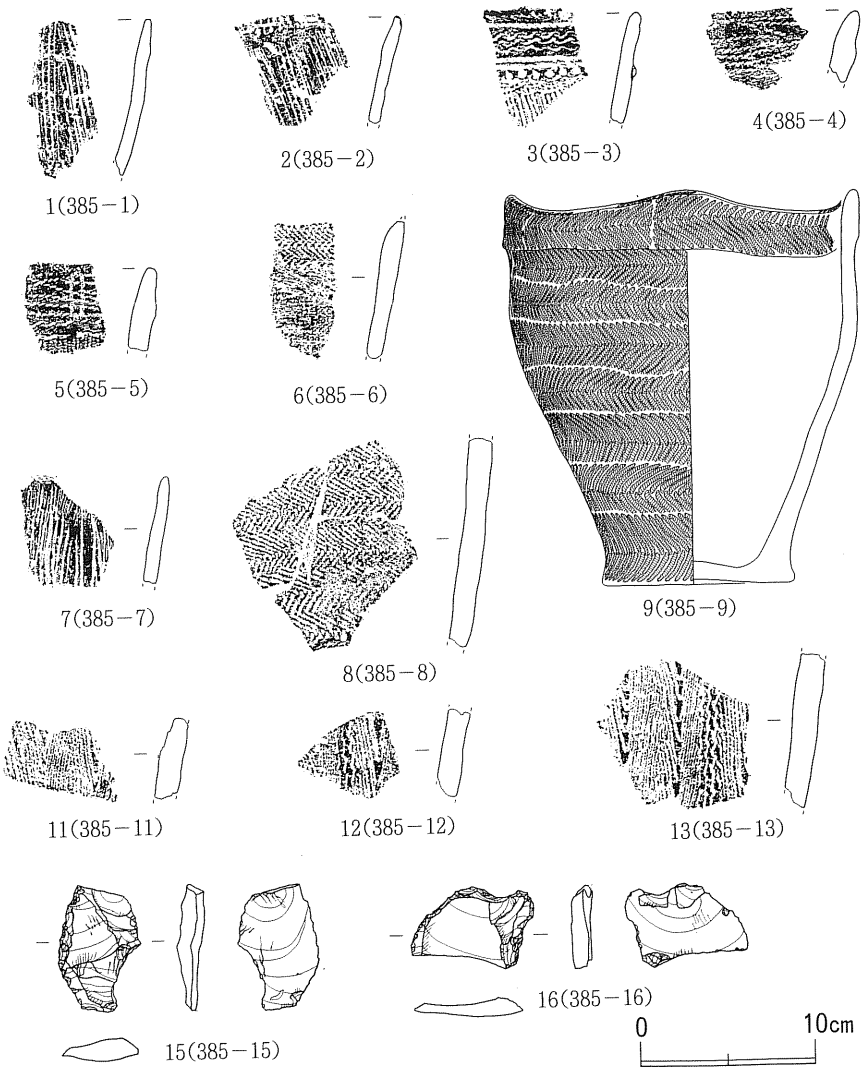


【SKF　363】
1　黒色土(10YR1.7／1)　地山粒わずかに混入。
2　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒・塊(極小)若干混入。
3　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒・塊(小～中)少量混入。
4　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒少量混入。
5　黒褐色土(10YR2／2)　地山塊(小～中)多量混入。
6　黒褐色土(10YR2／2)　地山塊(小～中)を少量混入。
7　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒・塊(小)を少量混入。

0　2m



【SKF　385】
1　黒色土(10YR1.7／1)　地山粒若干混入。強粘性。
2　黒褐色土(10YR2／3)　サラサラ。
3　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊多量混入。炭化物若干混入。
4　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊、炭化物混入。
5　暗褐色土(10YR3／5)　地山粒・塊多量混入。
6　黒褐色土(10YR2／2)
7　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒若干混入。
8　灰黄褐色土(10YR4／2)　強粘性。



第199図　SKF 337・SKF 356・SKF 363・SKF 385 フラスコ状土坑とその出土遺物

《確　　認》　台地縁辺に楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.00ｍ×短径0.87ｍ、坑底部長径1.11ｍ×短径1.10ｍ、深さ0.65ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　385 フラスコ状土坑（第199図）

《位　　置》　ＭＴ56グリッドに位置する。

《確　　認》　黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.03ｍ×短径0.85ｍ、坑底部長径1.08ｍ×短径1.18ｍ、深さ0.93ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《 断面形 》　袋状である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器１個体（９）と土器片12点、片面剥離調整石器剥片２点（14•15）、石匙破片１点（16）のほか多数の礫が出土した。深鉢土器（９）はＳＫＦ417フラスコ状土坑出土の土器片と接合した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　390 フラスコ状土坑（第200図）

《位　　置》　ＮＢ60、ＮＣ60グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.94ｍ×短径1.93ｍ、坑底部長径2.39ｍ×短径1.76ｍ、深さ1.44ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

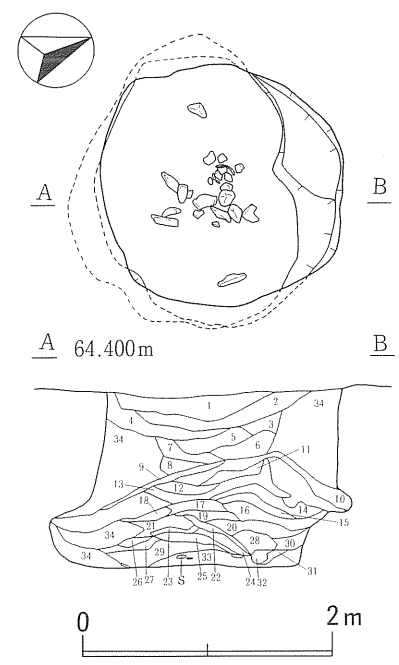
《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　34層に分層した。自然堆積と思われるが、地山シラスの堆積が多い。

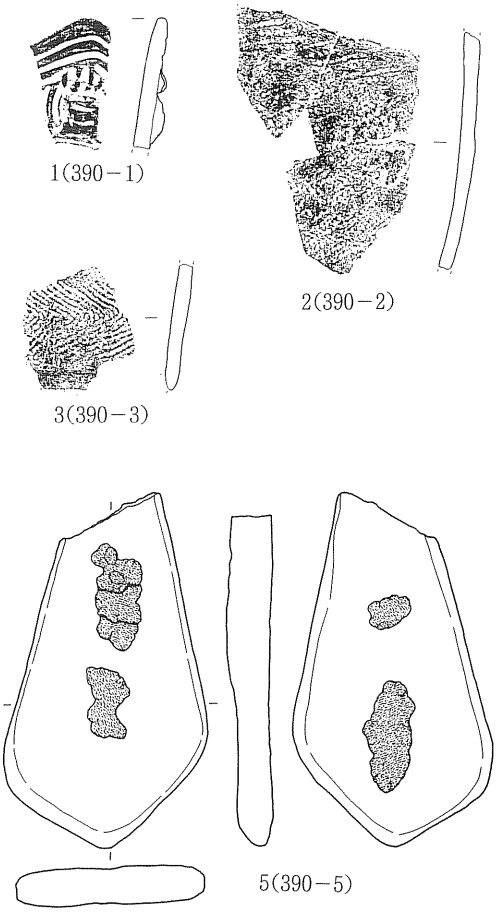
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

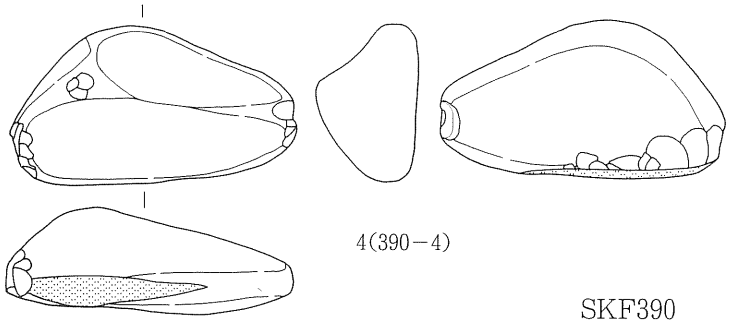
《遺　　物》　底面から土器片３点、半円状偏平打製石器１点（４）、くぼみ石１点（５）のほか、多数の礫が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。



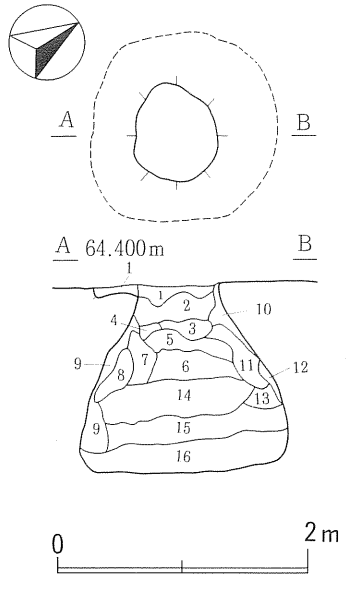
【SKF　390】
1　黒褐色土(10YR3／1)　地山粒・塊粗に混入。
2　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊多量混入。
3　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒多量混入。
4　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊多量混入。
5　黒褐色土(10YR3／1)　地山塊多量混入。
6　黄橙色土(7.5YR7／8)　地山粒・塊多量混入。
7　黒褐色土(10YR2／2)　地山塊多量混入。
8　黄橙色土(7.5YR7／8)　地山崩壊土。
9　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山塊多量混入。
10　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山塊多量混入。
11　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス地山再堆積。
12　９に同じ。
13　明黄褐色土(10YR6／6)
14　明黄褐色土(10YR7／6)
15　にぶい黄橙色土(10YR7／4)
16　にぶい黄橙色土(10YR7／4)
17　黒褐色土(10YR3／1)
18　明黄褐色土(10YR6／8)
19　明黄褐色土(10YR6／8)
20　にぶい黄橙色土(10YR6／4)
21　明黄褐色土(10YR6／8)
22　23に同じ。
23　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シラス再堆積。
24　黄橙色土(10YR7／8)　シラス地山層の再堆積。
25　橙色土(5YR6／6)　シラス地山層の再堆積。
26　明褐色土(7.5YR5／8)　シラス地山層の再堆積。
27　黄橙色土(10YR6／8)　地山塊多量堆積。
28　24に同じ。
29　橙色土(7.5YR6／8)　シラス再堆積。
30　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　軟らかい。
　　シラス再堆積。
31　黄褐色土(10YR5／6)　黒褐色土粒少量混入。
32　黒褐色土(10YR2／2)　地山塊少量混入。
33　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス再堆積。
34　明黄褐色土(10YR7／6)　地山崩落土。



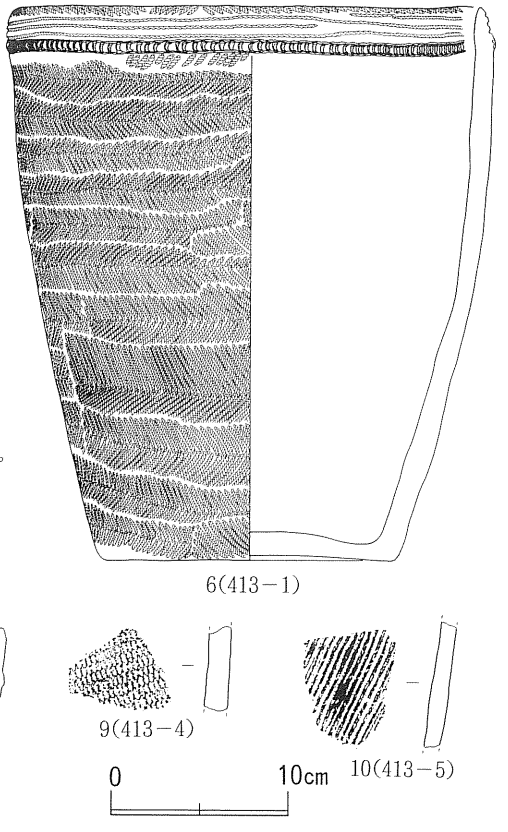


SKF390

SKF413



【SKF　413】
1　黒褐色土(10YR3／1)　地山粒混入。
2　黒褐色土(10YR3／1)　地山塊(大)粗に混入。
3　灰黄褐色土(10YR4／2)　地山塊少量混入。
4　灰黄褐色土(10YR4／2)　パサパサ。
5　明黄褐色土(10YR6／6)　炭化粒微量混入。
6　黄橙色土(10YR8／6)　炭化物少量混入。
7　褐色土(10YR4／4)　地山塊多量混入。
8　黄褐色土(10YR5／6)　炭化物少量混入。
9　黒色土(10YR2／1)　パサパサ。
10　黒褐色土(10YR3／2)　パサパサ。
11　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　シラス。
12　浅黄橙色土(10YR8／3)　シラス。
13　にぶい黄橙色土(10YR6／4)　シラス。
14　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　シラス。
　　炭化粒微量混入。
15　浅黄橙色土(10YR8／4)　シラス。
16　にぶい黄橙色土(10YR7／3)　シラス。



第200図　SKF 390・SKF 413 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　413 フラスコ状土坑（第200図）

《位　　置》　ＮＢ62•63グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.77ｍ×短径0.65ｍ、坑底部長径1.48ｍ×短径1.48ｍ、深さ1.52ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　16層に分層した。自然堆積と思われるが、地山シラスの堆積が多い。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器１個体と土器片４点が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　417 フラスコ状土坑（第201図）

《位　　置》　ＮＡ63グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.09ｍ×短径0.94ｍ、坑底部長径1.78ｍ×短径1.72ｍ、深さ1.28ｍ。

《平 面 形》　円形である。開口部の回りに柱穴と溝が３／４周していた。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　28層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ20㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器１個体（１）と土器底部破片１個体（15)、土器片13点、石槍破片１点（16)、片面調整の石器剥片１点（17)、敲石１点（18)、くぼみ•擦り石１点（19）などが出土した。深鉢土器（１）はＳＫＦ385フラスコ状土坑出土の土器と接合した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　508 フラスコ状土坑（第202図、図版145）

《位　　置》　ＮＩ38、ＮＪ38グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.61ｍ×短径1.27ｍ、坑底部長径1.56ｍ×短径1.25ｍ、深さ0.27ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

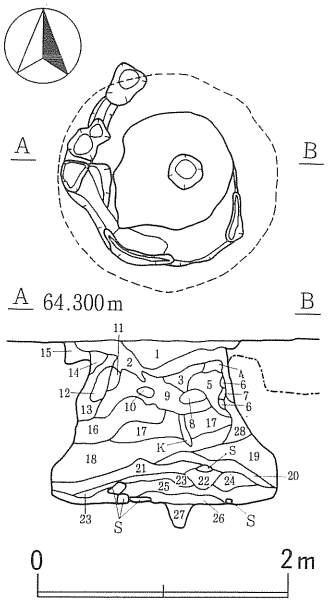
《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　３層に分層した。

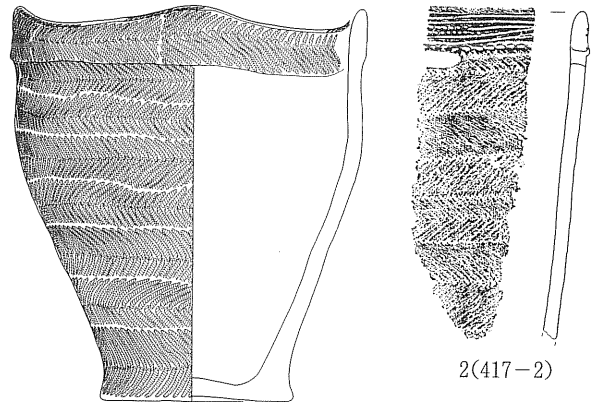
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

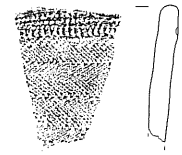


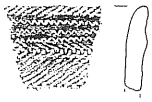
【SKF　417】
1　黒褐色土(10YR3／1)
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山塊多量混入。
3　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・塊混入。
4　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒多量混入。
5　明黄褐色土(10YR6／6) 炭化粒微量混入。
6　黄色シラス(2.5Y8／8) 地山ブロック。
7　にぶい黄褐色シラス(10YR5／4) 地山ブロック。
8　黄橙色シラス(10YR8／6)
9　明黄褐色シラス(10YR7／6) 炭化粒微量混入。
10　黄橙色シラス(10YR8／6)地山ブロック。
11～15　地山掘りすぎ
16　黄橙色シラス(10YR8／6)硬い。
17　にぶい黄橙色シラス(10YR6／3)炭化粒微量混入。
18　にぶい黄橙色シラス(10YR6／4)炭化粒微量混入。
19　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4)
20　にぶい黄褐色シラス(10YR5／4)炭化物多量混入。
21　褐色シラス(10YR4／4) 炭化物少量混入。
22　褐色シラス(10YR4／4) 砂粒混入。
23　黒褐色土(10YR3／1) フカフカ。
24　20に同じ。
25　にぶい黄褐色土(10YR5／4)
26　黒褐色土(10YR3／2) 地山塊多量(小)混入。
27　明黄褐色シラス(10YR6／8)
28　明黄褐色シラス(10YR6／6) フカフカ。
K　攪乱


1(417－1)

2(417－2)

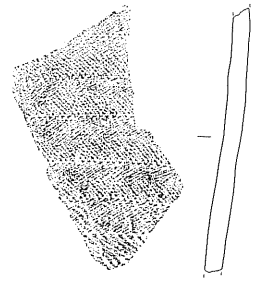
3(417－3)

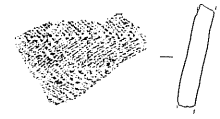

4(417－4)


5(417－5)

6(417－6)

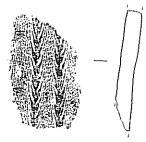
7(417－7)


8(417－8)

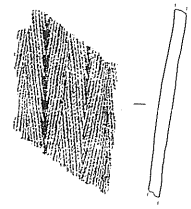

9(417－9)

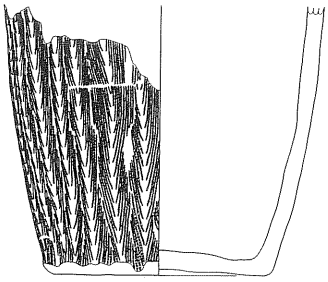
10(417－10)

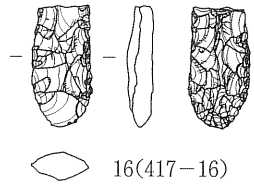
11(417－11)

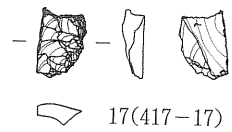

12(417－12)

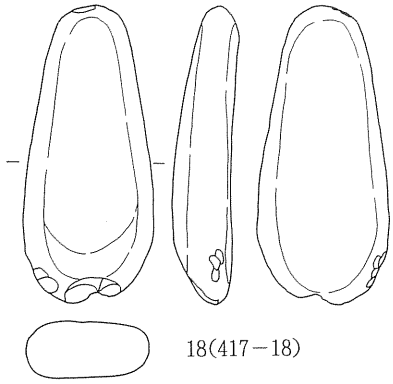
13(417－13)

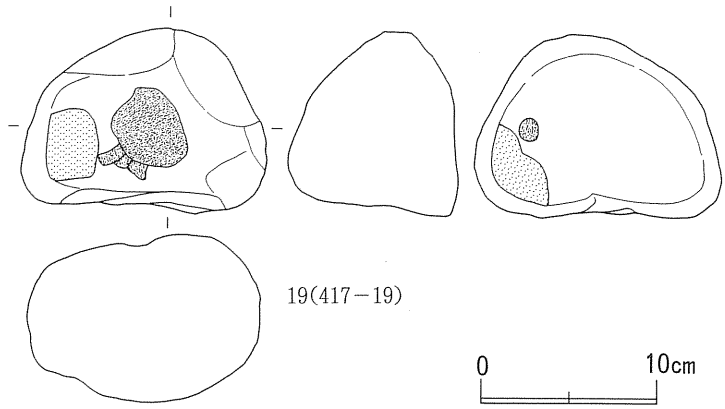

14(417－14)


15(417－15)


16(417－16)


17(417－17)


18(417－18)


19(417－19)

0　10cm

第201図　SKF 417 フラスコ状土坑とその出土遺物

ＳＫＦ　510 フラスコ状土坑（第202図、図版145～図版147）

《位　　置》　ＮＬ34グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.78ｍ×短径1.54ｍ、坑底部長径1.93ｍ×短径1.80ｍ、深さ1.65ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　25層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器胴部下半破片１点と、くぼみ石１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　514 フラスコ状土坑（第202図、図版147）

《位　　置》　ＭＭ32･33グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.96ｍ×短径0.85ｍ、坑底部長径1.38ｍ×短径1.40ｍ、深さ0.68ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　626 フラスコ状土坑（第202図、図版148）

《位　　置》　ＭＫ53、ＭＬ53グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ613竪穴住居跡と重複している。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.09ｍ×短径0.98ｍ、坑底部長径1.20ｍ×短径1.15ｍ、深さ0.42ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　２層に分層した。

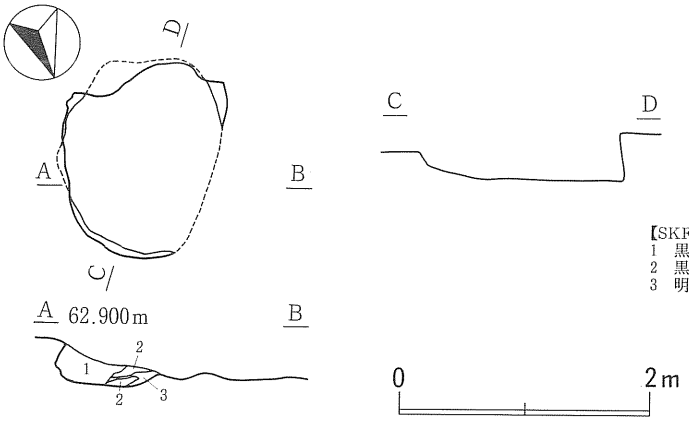
《底　　面》　平坦な底面の中央部を除いて放射状の溝を検出した。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

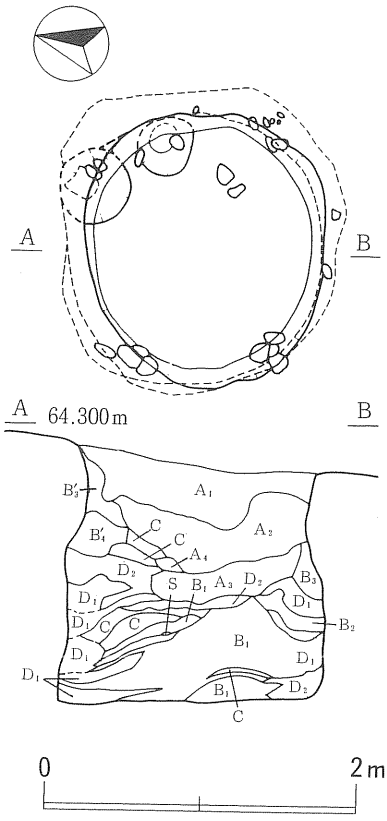
ＳＫＦ　644 フラスコ状土坑（第203図、図版148）

《位　　置》　ＭＰ57グリッドに位置する。

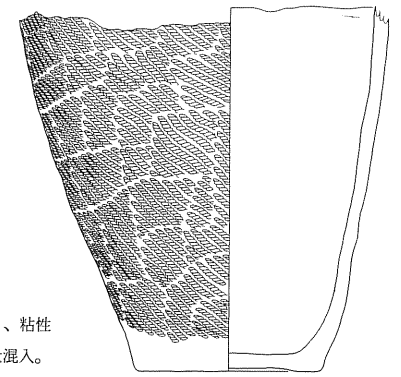


【SKF 508】
1 黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山粒・地山塊混入。しまり、粘性有り。
2 黒褐色土(10YR3／1) シルト。地山粒少量混入。しまり有り。粘性若干有り。
3 明黄褐色土(10YR7／6) 粘土。しまりややあり。粘性あまりなし。

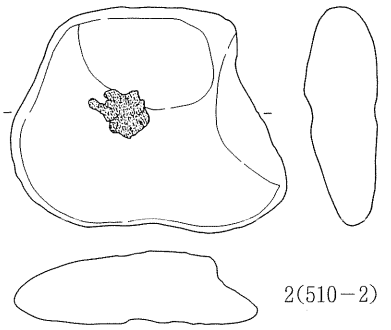
SKF508



【SKF 510】
A 黒褐色土(10YR1.7／1)
A1 シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性共有り。
A2 シルト。地山粒・地山塊(小)多量混入。しまり、粘性有り。
A3 シルト。地山粒・地山塊(小)の混入A2より多い。しまり、粘性有り。
A4 シルト。地山粒・白色粘土粒混入。しまり、粘性有り。
B 黒褐色土(10YR2／2)
B1 シルト～粘土。地山粒・地山塊(小)多量混入。しまり、粘性有り。
B2 シルト～粘土。地山粒多量混入。しまり、粘性有り。
B' 黒褐色土(10YR3／2)
B'3 シルト。地山粒・地山塊(小)混入。しまり有り。粘性なし。
B'4 シルト。地山塊(大)混入。しまり、粘性共有り。
C 黄橙色土(10YR7／8) 粘土。しまり有り。粘性なし。
D 黄橙色土(10YR8／6)
D1 粘土。硬質。粘性なし。
D2 粘土。ややしまり弱く、粘性有り。



1(510－1)

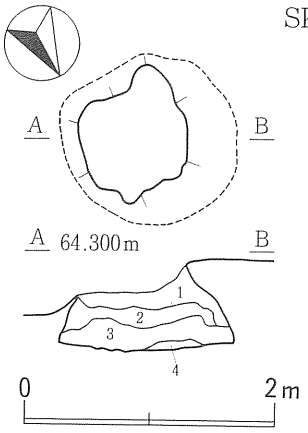


2(510－2)

0　10cm

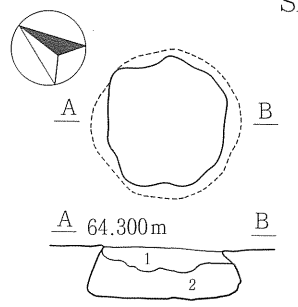
SKF510

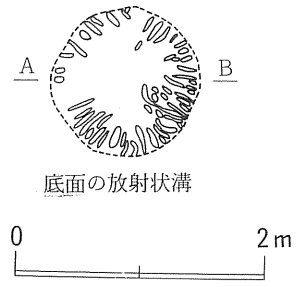
SKF514



【SKF 514】
1 黒褐色土(10YR2／3) シルト。地山粒少量混入。しまり弱く、粘性なし。
2 黒褐色土(10YR3／2) シルト。地山粒・地山塊やや多く混入。しまり弱く、粘性なし。
3 黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山粒・地山塊(小)混入。しまり強く、粘性有り。
4 黒褐色土(10YR3／2) シルト。地山粒少量混入。しまり強く、粘性なし。

SKF624





【SKF 626】
1 黒色土(10YR2／1) シルト。地山粒・地山塊(小)・炭・焼土粒、各少量混入。しまり、粘性有り。
2 黒色土(10YR2／1) シルト。1より地山塊(小)の混入やや多く、しまり粘性共1よりやや弱い。

第202図　SKF 508・SKF 510・SKF 514・SKF 626 フラスコ状土坑とその出土遺物

《確　　認》　円形のにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.44ｍ×短径1.38ｍ、坑底部長径1.57ｍ×短径1.48ｍ、深さ0.30ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　中華鍋底状を呈する。

《遺　　物》　埋土中から土器片４点と土器底部破片１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　645 フラスコ状土坑（第203図、図版148）

《位　　置》　ＭＰ57グリッドに位置する。

《確　　認》　円形のにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.16ｍ×短径1.11ｍ、坑底部長径1.31ｍ×短径1.29ｍ、深さ0.26ｍ。

《平 面 形》　円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片４点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　647 フラスコ状土坑（第203図、図版149）

《位　　置》　ＭＱ54グリッドに位置する。

《確　　認》　黄橙色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ628竪穴住居跡と重複している。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.67ｍ×短径1.59ｍ、坑底部長径1.69ｍ×短径1.50ｍ、深さ0.52ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

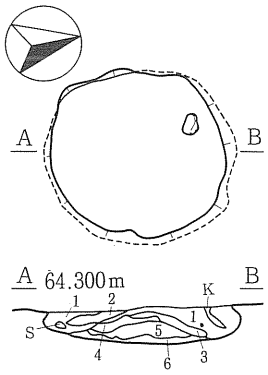
《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　650 フラスコ状土坑（第203図、図版149）

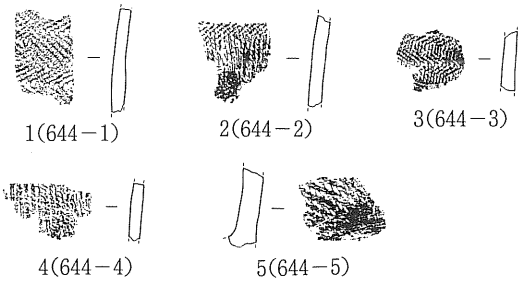
《位　　置》　ＭＪ59、ＭＫ59グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

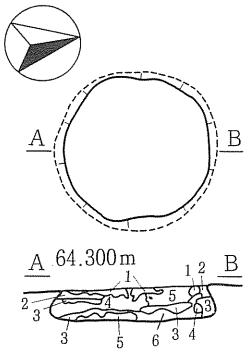
《重　　複》　なし。



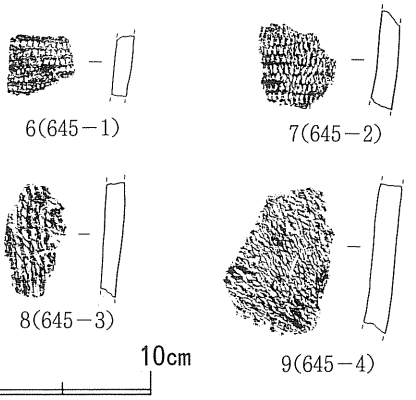
【SKF　644】
1　にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山粒・地山塊(極小)多量、地山塊(小)・炭・焼土微量混入。しまり強く、粘性なし。
2　灰黄褐色土(10YR4/2) 地山粒１より少なく、地山塊(小)多量、炭・焼土微量混入。しまりやや強い。
3　暗褐色土(10YR3/4) 地山粒・地山塊多量、炭・焼土２より少なく混入。しまりやや強く、弾力・粘性有り。
4　黒褐色土(10YR2/3) 地山塊(小)微量、炭多量混入。しまりやや有り、粘性若干有り。
5　暗褐色土(10YR3/3) ３の土がブロック状となって含まれる。焼土・炭微量混入。しまりやや有り。
6　黒褐色土(10YR2/2) 地山塊(極小)少量混入。しまり弱く、粘性有り。



0　2m　SKF644　0　10cm

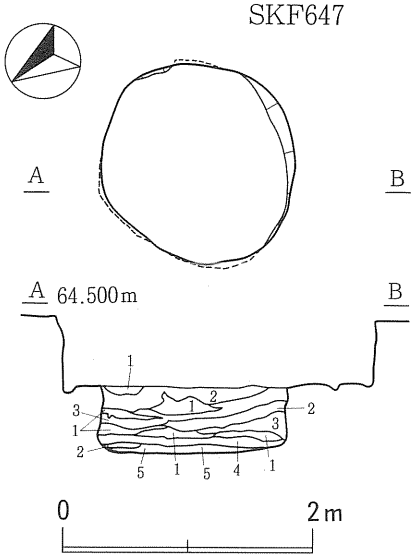


【SKF　645】
1　にぶい黄褐色土(10YR5/4) 地山粒・地山塊(極小)多量、地山塊(小)・炭・焼土微量混入。しまり強く、粘性なし。
2　灰黄褐色土(10YR4/2) 地山粒１より少なく、地山塊(小)多量、炭・焼土微量混入。しまりやや強い。
3　暗褐色土(10YR3/4) 地山粒・地山塊多量、炭・焼土２より少なく混入。しまりやや強く、弾力・粘性有り。
4　黒褐色土(10YR2/3) 地山塊(小)微量、炭多量混入。しまりやや有り。粘性若干有り。
5　暗褐色土(10YR3/3) ３の土がブロック状となって含まれる。焼土・炭微量混入。しまりやや有り。
6　黒褐色土(10YR2/2) 地山塊(極小)少量混入。しまり弱く、粘性有り。



SKF645　0　2m　0　10cm

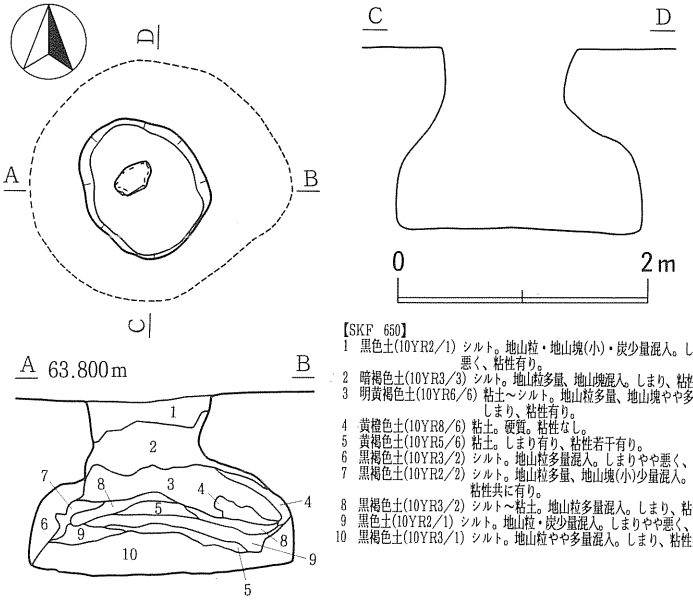
SKF647



0　2m

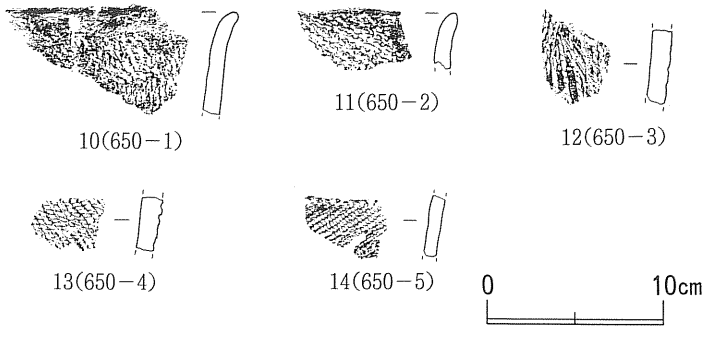
【SKF　647】
1　褐灰色土(10YR4/1) シルト～粘土。地山粒・地山塊多量含む。しまりやや悪い。粘性あり。
2　黄橙色土(10YR7/8) 粘土。硬質。粘性なし。
3　明黄褐色土(10YR6/6) 粘土。２層より地山塊(大)。しまりあり。粘性なし。
4　にぶい黄橙色土(10YR7/3) 粘土。しまりやや悪い。粘性少しあり。
5　にぶい黄橙色土(10YR7/3) 粘土。４層より黒色土の混入やや多い。しまり４層より悪い。粘性なし。

SKF650



0　2m

【SKF　650】
1　黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒・地山塊(小)・炭少量混入。しまりやや悪く、粘性有り。
2　暗褐色土(10YR3/3) シルト。地山粒多量、地山塊混入。しまり、粘性共に有り。
3　明黄褐色土(10YR6/6) 粘土～シルト。地山粒多量、地山塊やや多量混入。しまり、粘性有り。
4　黄橙色土(10YR8/6) 粘土。硬質。粘性なし。
5　黄褐色土(10YR5/6) 粘土。しまり有り、粘性若干有り。
6　黒褐色土(10YR3/2) シルト。地山粒多量混入。しまりやや悪く、粘性有り。
7　黒褐色土(10YR2/2) シルト。地山粒多量、地山塊(小)少量混入。しまり・粘性共に有り。
8　黒褐色土(10YR3/2) シルト～粘土。地山粒多量混入。しまり、粘性共有り。
9　黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒・炭少量混入。しまりやや悪く、粘性有り。
10　黒褐色土(10YR3/1) シルト。地山粒やや多量混入。しまり、粘性共に有り。



0　10cm

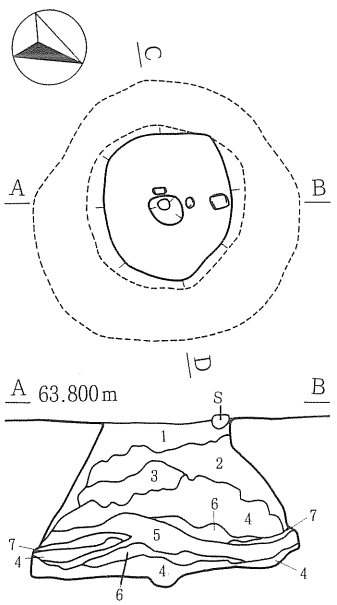
第203図　SKF 644・SKF 645・SKF 647・SKF 650 フラスコ状土坑とその出土遺物

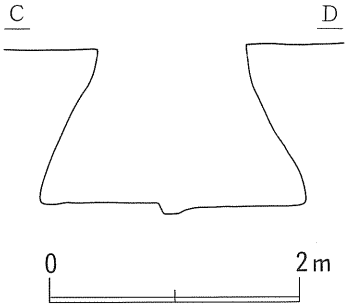
《規　　模》　開口部長径1.12ｍ×短径0.96ｍ、坑底部長径1.97ｍ×短径1.83ｍ、深さ1.42ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片５点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　655 フラスコ状土坑（第204図、図版150）
《位　　置》　ＭＪ58･59グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.19ｍ×短径0.99ｍ、坑底部長径2.15ｍ×短径2.11ｍ、深さ1.25ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ９㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土上面から甕形土師器１個体（７）が、埋土中から抉り入り半円状偏平磨製石器破片２点（２･４）、擦り石１点（３）、くぼみ石１点（５）、敲石１点（６）が、底面から磨製石斧１点（１）が出土した。
《構築時期》　出土した石器類から縄文時代前期と思われる。

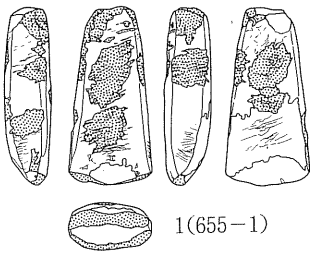
ＳＫＦ　656 フラスコ状土坑（第204図、図版150）
《位　　置》　ＭＩ58、ＭＪ58グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.89ｍ×短径0.75ｍ、坑底部長径1.50ｍ×短径1.45ｍ、深さ0.94ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ13㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　なし。
《構築時期》　縄文時代と思われる。

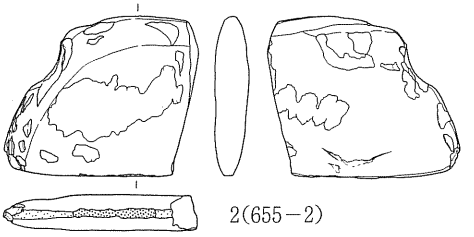
ＳＫＦ　662 フラスコ状土坑（第205図･第206図、図版151）
《位　　置》　ＭＣ66、ＭＤ66グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。

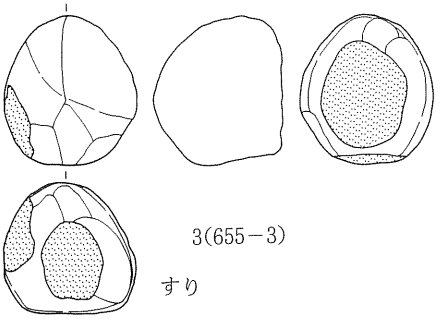


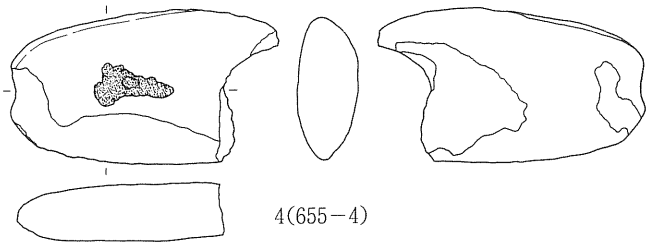


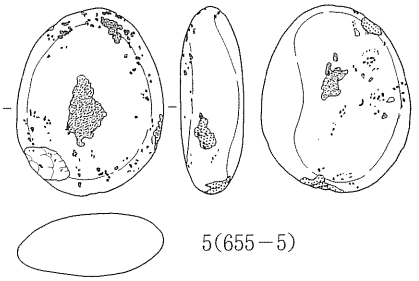
【SKF 655】
1 黒色土(10YR2／1) シルト。地山塊(小)やや多量混入。しまり、粘性有り。
2 黒褐色土(10YR2／3) シルト。地山粒・地山塊(小)多量、炭・焼土粒混入。しまり、粘性共有り。
3 黒色土(10YR2／1) シルト。2より各粒子の混入少ない。しまり、粘性共有り。
4 黄橙色土(10YR8／6) 粘土。しまり有り、粘性やや有り。
5 黒色土(10YR2／1) シルト。地山塊(小)・炭・焼土粒少量混入。しまり、粘性有り。
6 褐色土(10YR4／4) シルト。地山粒多量混入。しまり、粘性共有り。
7 黄橙色土(10YR7／8) 粘土。しまり、粘性有り。

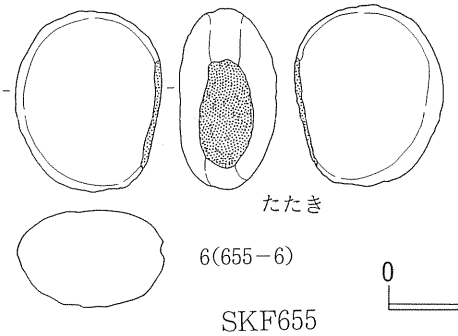


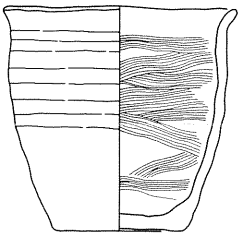


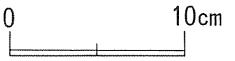






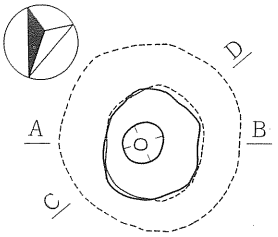


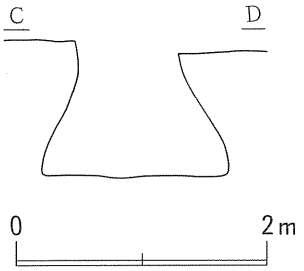


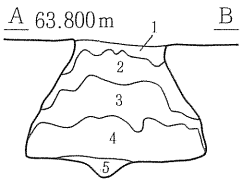


SKF655

SKF656







【SKF 656】
1 黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山塊(小)少量混入。しまり、粘性有り。
2 黒褐色土(10YR2／3) シルト。地山粒・地山塊(小)・炭・焼土少量混入。しまり、粘性共有り。
3 黒褐色土(10YR2／3) シルト。2よりも各粒子の混入多い。しまり、粘性共有り。
4 黄褐色土(10YR5／8) 粘土。しまり、粘性共有り。
5 褐色土(10YR4／4) 粘土。しまり、粘性共有り。

第204図　SKF 655・SKF 656 フラスコ状土坑とその出土遺物

《規　　模》　開口部長径2.55ｍ×短径2.10ｍ、坑底部長径2.45ｍ×短径2.10ｍ、深さ1.47ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土の第１～３層に集中して深鉢土器１個体（１）と土器片19点、土器底部破片３点（21～23)、片面調整の石器破片３点（25･26･27)、石器剥片１点（24)、掻器１点（28)、石錘１点（29)、擦り石１点（30)、くぼみ石１点（31）が出土した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫＦ　668 フラスコ状土坑（第206図）

《位　　置》　ＭＣ69、ＭＤ69グリッドに位置する。

《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ667竪穴住居跡と重複している。本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.05ｍ×短径1.04ｍ、坑底部長径1.26ｍ×短径1.15ｍ、深さ1.16ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から深鉢土器底部破片１点と、微小剥離痕のある石器剥片１点（２)、擦り石１点（３)、くぼみ石１点（４）が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　671 フラスコ状土坑（第206図･第207図、図版152）

《位　　置》　ＭＣ65グリッドに位置する。

《確　　認》　谷の斜面上縁に円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.40ｍ×短径1.38ｍ、坑底部長径1.88ｍ×短径1.81ｍ、深さ1.32ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

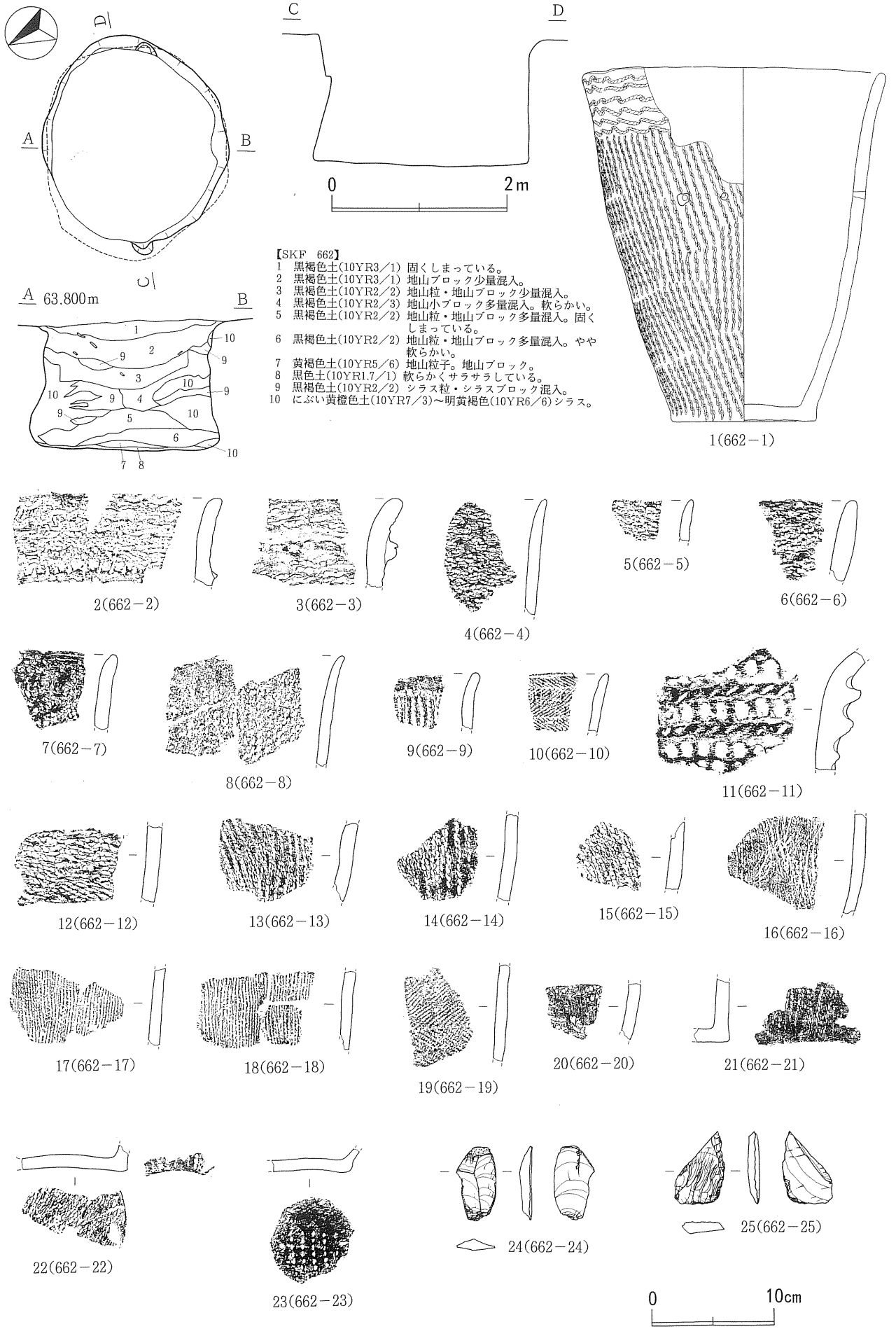
《遺　　物》　埋土中から土器片６点と、抉り入り半円状偏平打製石器２点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

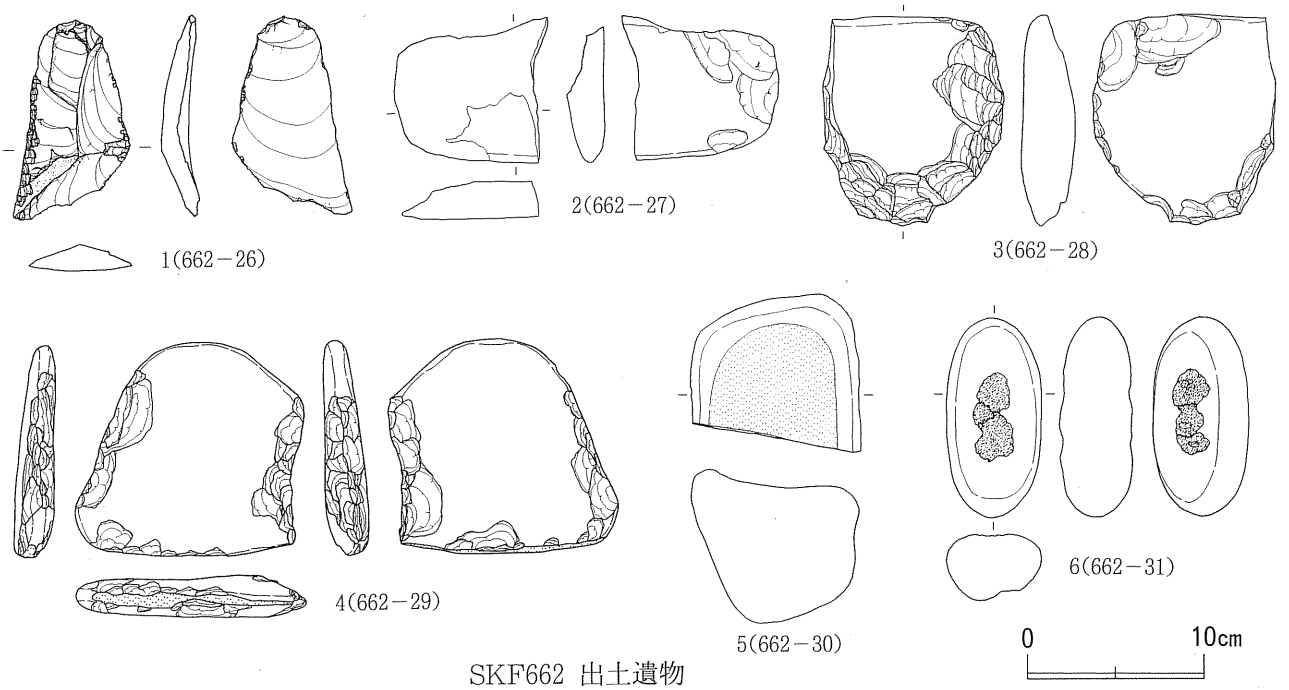
ＳＫＦ　676 フラスコ状土坑（第207図、図版152･図版153）

《位　　置》　ＭＥ66･67グリッドに位置する。

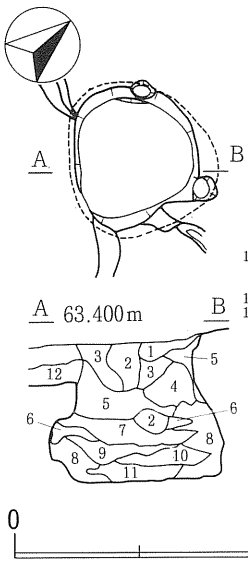
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。



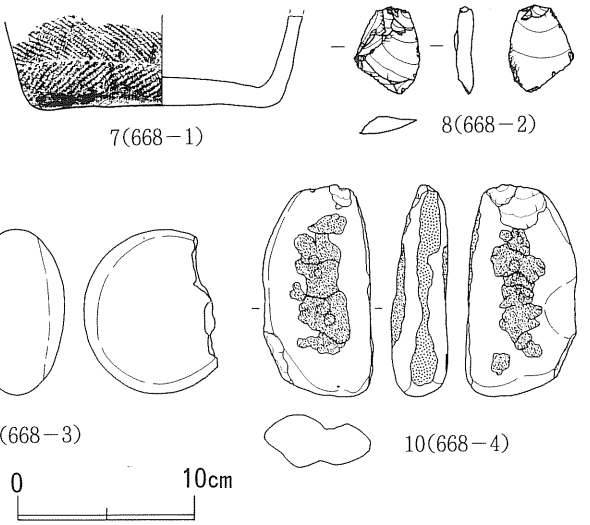
第205図　SKF 662 フラスコ状土坑とその出土遺物



SKF662 出土遺物

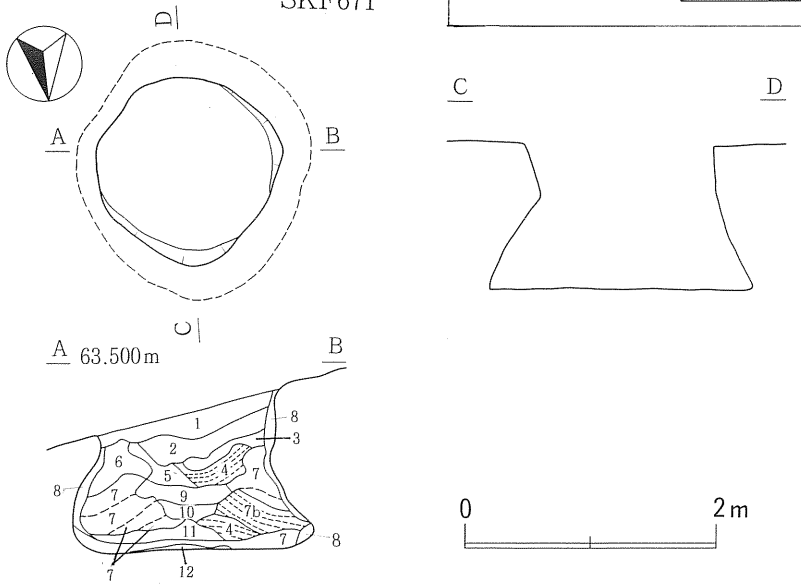


【SKF　668】
1　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・地山ブロック多量混入。
2　明黄褐色土(10YR6／6) 地山ブロック。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・地山ブロック多量混入。
4　にぶい黄褐色土(10YR5／4) シラス。固くしまっている。
5　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シラス。非常に軟らかく、パサパサしている。
6　にぶい黄橙色土(10YR6／4) シラス。ブロック状でパサパサしてもろい。
7　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シラス。シラスブロックが多くパサパサしている。
8　にぶい黄橙色土(10YR7／3) シラス。非常に固くしまっている。
9　暗褐色土(10YR3／3) シラス。炭化物粒若干混入。やや軟らかい。
10　にぶい黄橙色土(10YR6／4) シラス。シラスブロックを多量に混入し、パサパサしている。
11　にぶい黄褐色土(10YR5／4) シラス。やや軟らかい。
12　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 炭化物粒若干混入。軟らかい。



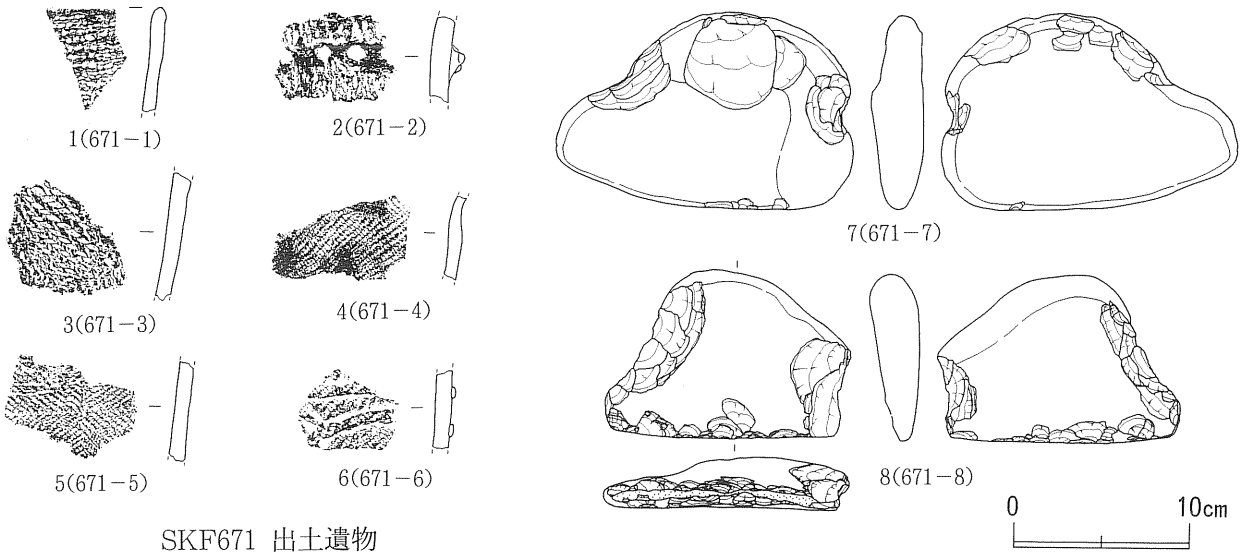
SKF668

SKF671

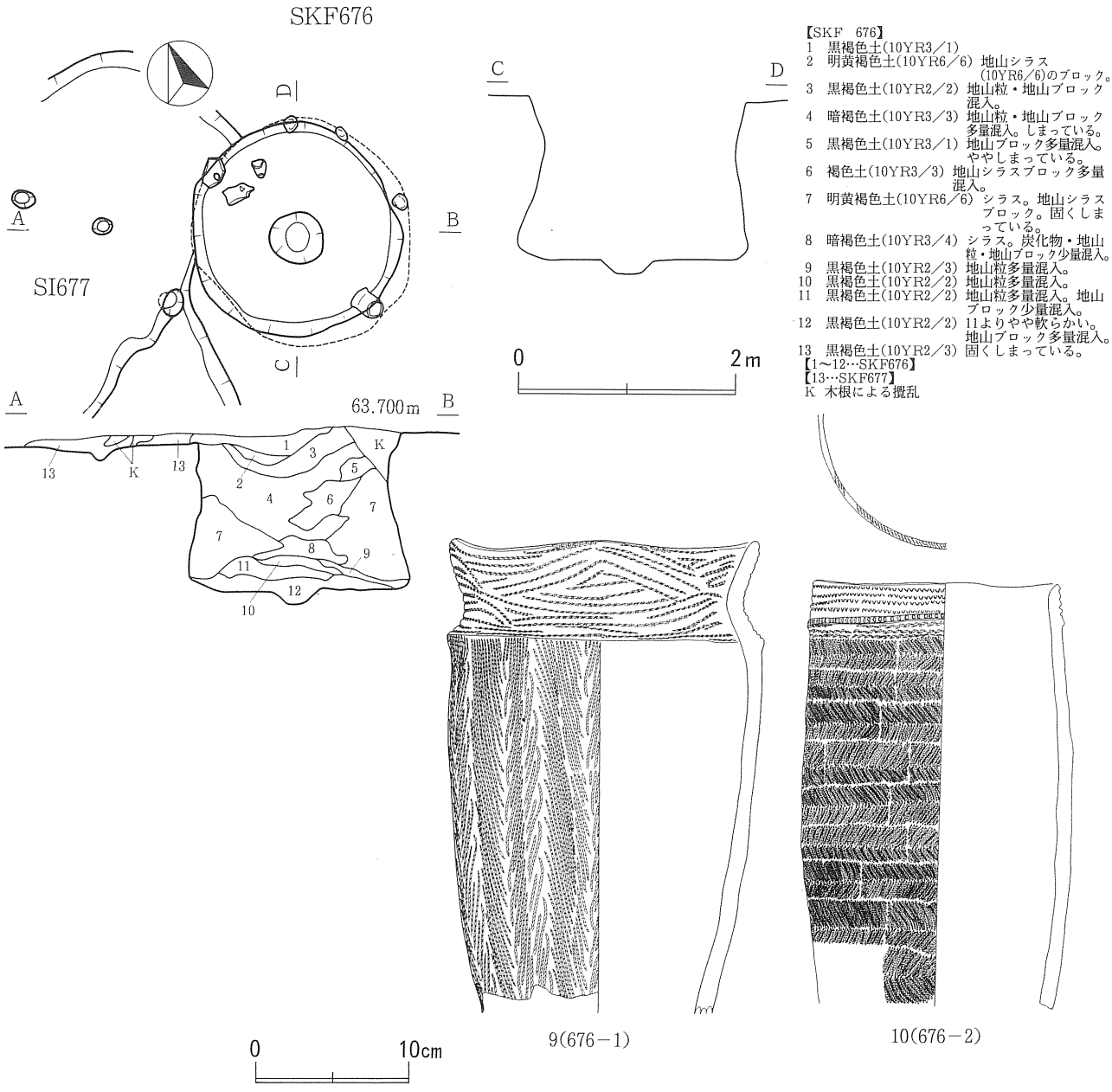


【SKF　671】
1　黒褐色土(10YR2／2) やや軟らかい。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・地山ブロック少量混入。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒少量混入。軟らかい。
4　黒褐色土(10YR3／1) と明黄褐色土(10YR6／6)の細かい互層。
5　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒をわずかに混入。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒・巨塊を混入。サラサラしている。
7　にぶい黄橙色土(10YR6／4) シラス。
7b　4に同じ。
8　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シラス。軟らかくサラサラしている。
9　黒褐色土(10YR3／1) 地山ブロック多量混入。しまりあり。
10　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒を多量混入。しまりあり。
11　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒多量混入。やや軟らかい。
12　黒色土(10YR1.7／1) 軟らかくサラサラしている。

第206図　SKF 662・SKF 668・SKF 671 フラスコ状土坑とその出土遺物



SKF671 出土遺物



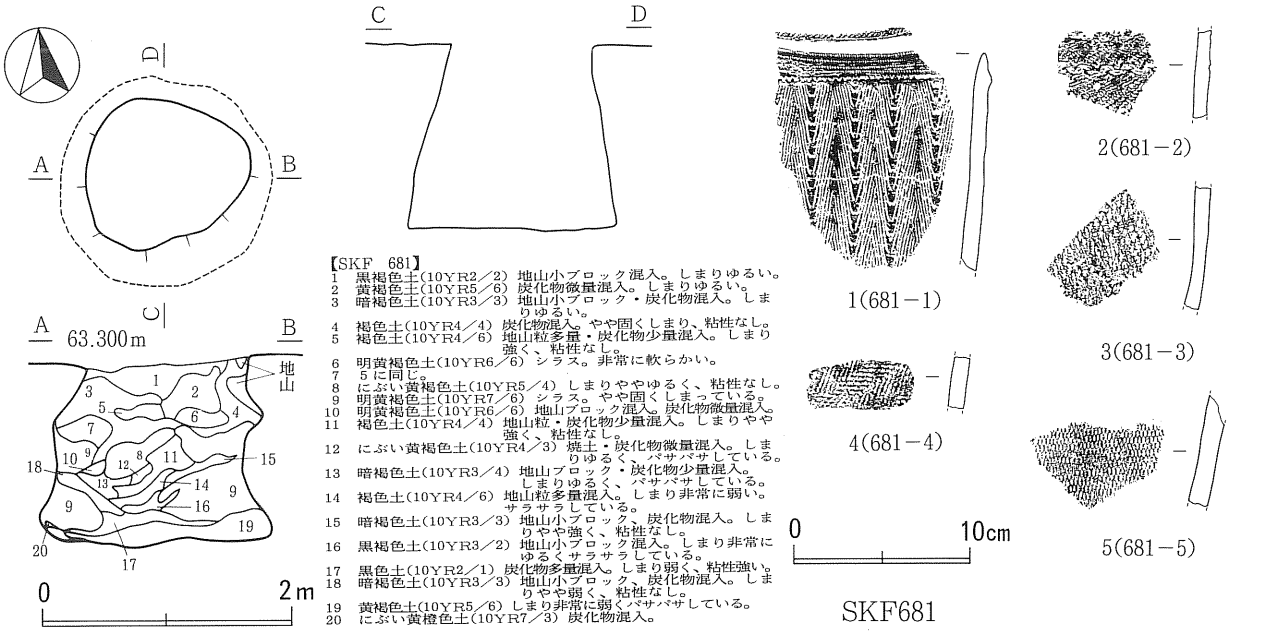
第207図　SKF 671・SKF 676 フラスコ状土坑とその出土遺物

《重　　複》　ＳＩ677竪穴住居跡と重複していた。本土坑が新しい。
《規　　模》　開口部長径2.00ｍ×短径1.94ｍ、坑底部長径2.14ｍ×短径2.02ｍ、深さ1.48ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ13㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　壁際の底面に深鉢土器が２個体分と礫３点が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

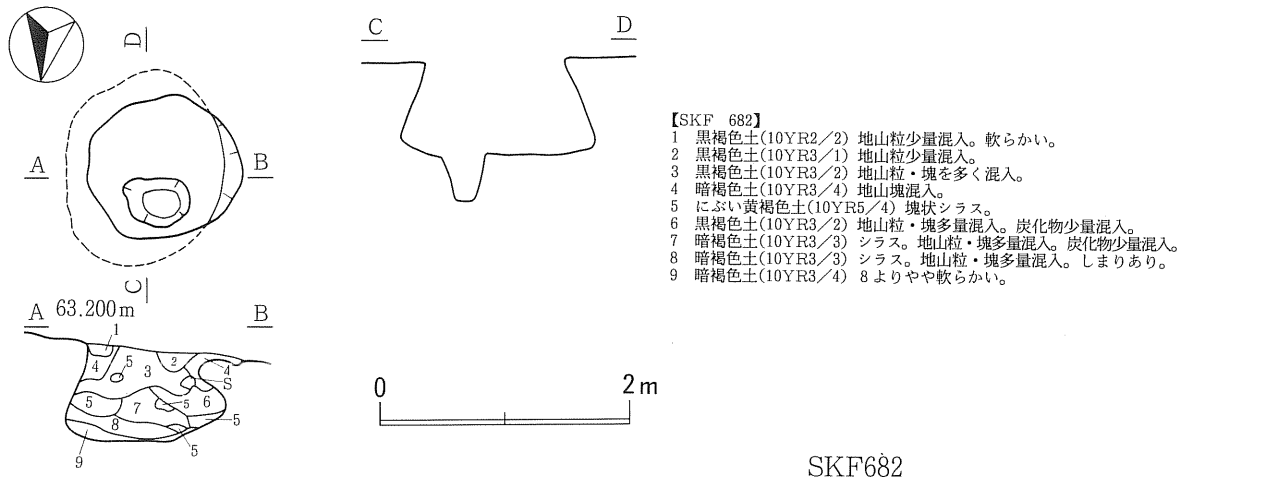
ＳＫＦ　681 フラスコ状土坑（第208図）
《位　　置》　ＭＥ69、ＭＦ69グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.32ｍ×短径1.12ｍ、坑底部長径1.68ｍ×短径1.68ｍ、深さ1.44ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　20層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片５点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　682 フラスコ状土坑（第208図）
《位　　置》　ＭＥ69･70グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.26ｍ×短径1.12ｍ、坑底部長径1.28ｍ×短径1.56ｍ、深さ0.74ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ36㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　なし。
《構築時期》　縄文時代と思われる。

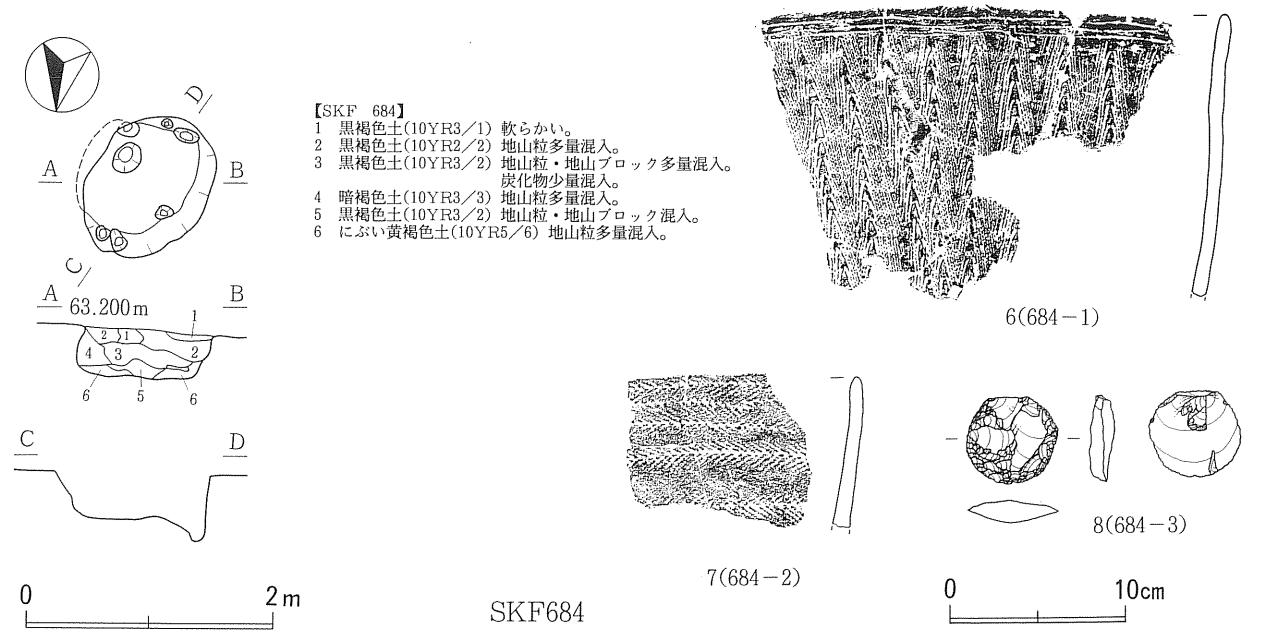
ＳＫＦ　684 フラスコ状土坑（第208図）
《位　　置》　ＭＦ69グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.26ｍ×短径0.94ｍ、坑底部長径0.96ｍ×短径0.90ｍ、深さ0.40ｍ。



【SKF　681】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山小ブロック混入。しまりゆるい。
2　黄褐色土(10YR5／6)　炭化物微量混入。しまりゆるい。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山小ブロック・炭化物混入。しまりゆるい。
4　褐色土(10YR4／4)　炭化物混入。やや固くしまり、粘性なし。
5　褐色土(10YR4／6)　地山粒多量・炭化物少量混入。しまり強く、粘性なし。
6　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。非常に軟らかい。
7　5に同じ。
8　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　しまりややゆるく、粘性なし。
9　明黄褐色土(10YR7／6)　シラス。やや固くしまっている。
10　明黄褐色土(10YR6／6)　地山ブロック混入。炭化物微量混入。
11　褐色土(10YR4／4)　地山粒・炭化物少量混入。しまりやや強く、粘性なし。
12　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　焼土・炭化物微量混入。しまりゆるく、パサパサしている。
13　暗褐色土(10YR3／4)　地山ブロック・炭化物少量混入。しまりゆるく、パサパサしている。
14　褐色土(10YR4／6)　地山粒多量混入。しまり非常に弱い。サラサラしている。
15　暗褐色土(10YR3／3)　地山小ブロック、炭化物混入。しまりやや強く、粘性なし。
16　黒褐色土(10YR3／2)　地山小ブロック混入。しまり非常にゆるくサラサラしている。
17　黒色土(10YR2／1)　炭化物多量混入。しまり弱く、粘性強い。
18　暗褐色土(10YR3／3)　地山小ブロック、炭化物混入。しまりやや弱く、粘性なし。
19　黄褐色土(10YR5／6)　しまり非常に弱くパサパサしている。
20　にぶい黄橙色土(10YR7／3)　炭化物混入。



【SKF　682】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒少量混入。軟らかい。
2　黒褐色土(10YR3／1)　地山粒少量混入。
3　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊を多く混入。
4　暗褐色土(10YR3／4)　地山塊混入。
5　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　塊状シラス。
6　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊多量混入。炭化物少量混入。
7　暗褐色土(10YR3／3)　シラス。地山粒・塊多量混入。炭化物少量混入。
8　暗褐色土(10YR3／3)　シラス。地山粒・塊多量混入。しまりあり。
9　暗褐色土(10YR3／4)　8よりやや軟らかい。



【SKF　684】
1　黒褐色土(10YR3／1)　軟らかい。
2　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒多量混入。
3　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・地山ブロック多量混入。炭化物少量混入。
4　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒多量混入。
5　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・地山ブロック混入。
6　にぶい黄褐色土(10YR5／6)　地山粒多量混入。

第208図　SKF 681・SKF 682・SKF 684 フラスコ状土坑とその出土遺物

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　平坦な底面の壁際に深さ６～13cmの柱穴様ピットが７カ所ある。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と掻器１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　694 フラスコ状土坑（第209図）

《位　　置》　ＭＦ73、ＭＧ73グリッドに位置する。

《確　　認》　長方形の褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.11ｍ×短径0.69ｍ、坑底部長径1.64ｍ×短径1.62ｍ、深さ1.00ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　15層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　695 フラスコ状土坑（第209図）

《位　　置》　ＭＦ73グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.50ｍ×短径1.16ｍ、坑底部長径1.52ｍ×短径1.44ｍ、深さ0.52ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　平坦な底面に小さなピットや溝状のくぼみがある。

《遺　　物》　埋土中から石匙１点が出土した。

《構築時期》　出土した石器から縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　705 フラスコ状土坑（第209図、図版154）

《位　　置》　ＭＰ68･69グリッドに位置する。

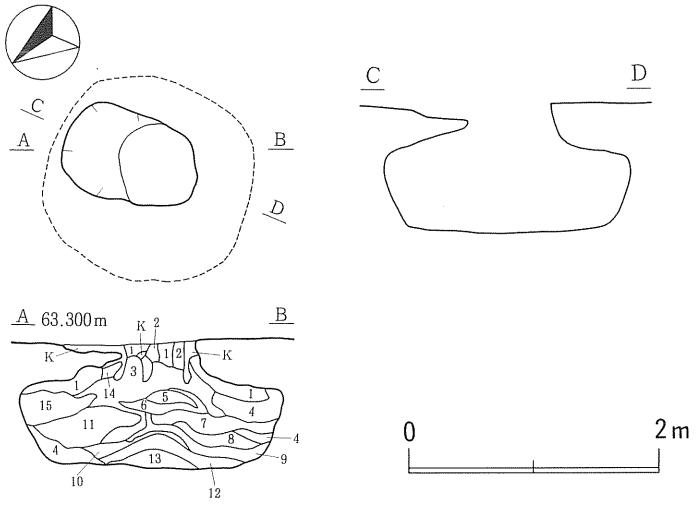
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.70ｍ×短径0.66ｍ、坑底部長径1.40ｍ×短径1.34ｍ、深さ0.86ｍ。

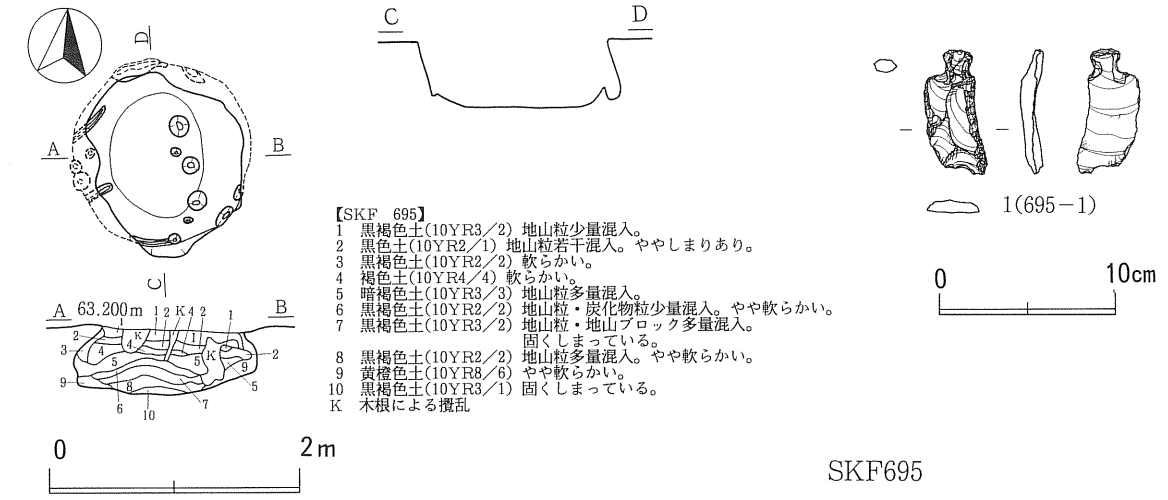
《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。



【SKF　694】
1　褐色土(10YR4／4) 地山粒多量混入。やや軟らかい。
2　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山粒・地山ブロック多量混入。炭化物少量混入。
3　にぶい黄橙色土(10YR6／4) 地山粒多量混入。しまりなし。
4　淡黄色土(2.5Y8／3) シラス。非常に固い塊である。
5　明黄褐色土(10YR6／6) 地山粒・地山ブロック多量混入。
6　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 炭化物少量混入。軟らかい。
7　5に同じ。
8　にぶい黄橙色土(10YR7／3) シラス。やや固くしまっている。
9　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シラス。やわらかい。
10　8に同じ。
11　9に同じ。
12　11に同じ。9よりややしまってる。
13　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。軟らかいシラスブロック。
14　黄色土(2.5Y8／6) シラスブロック。
15　黄橙色土(10YR8／6) 崩壊堆積したシラスブロック。
K　木根による攪乱

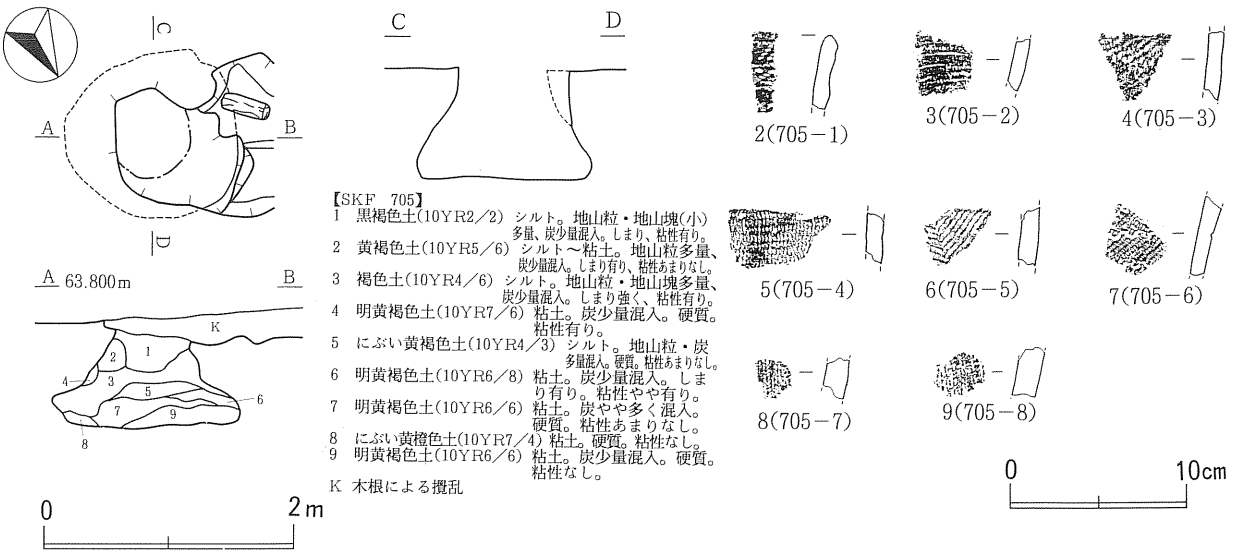
SKF694



【SKF　695】
1　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒少量混入。
2　黒色土(10YR2／1) 地山粒若干混入。ややしまりあり。
3　黒褐色土(10YR2／2) 軟らかい。
4　褐色土(10YR4／4) 軟らかい。
5　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒多量混入。
6　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・炭化物粒少量混入。やや軟らかい。
7　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・地山ブロック多量混入。固くしまっている。
8　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒多量混入。やや軟らかい。
9　黄橙色土(10YR8／6) やや軟らかい。
10　黒褐色土(10YR3／1) 固くしまっている。
K　木根による攪乱

SKF695

SKF705



【SKF　705】
1　黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山粒・地山塊(小)多量、炭少量混入。しまり、粘性有り。
2　黄褐色土(10YR5／6) シルト～粘土。地山粒多量、炭少量混入。しまり有り、粘性あまりなし。
3　褐色土(10YR4／6) シルト。地山粒・地山塊多量、炭少量混入。しまり強く、粘性有り。
4　明黄褐色土(10YR7／6) 粘土。炭少量混入。硬質。粘性有り。
5　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シルト。地山粒・炭多量混入。硬質。粘性あまりなし。
6　明黄褐色土(10YR6／8) 粘土。炭少量混入。しまり有り。粘性やや有り。
7　明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。炭やや多く混入。硬質。粘性あまりなし。
8　にぶい黄橙色土(10YR7／4) 粘土。硬質。粘性なし。
9　明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。炭少量混入。硬質。粘性なし。
K　木根による攪乱

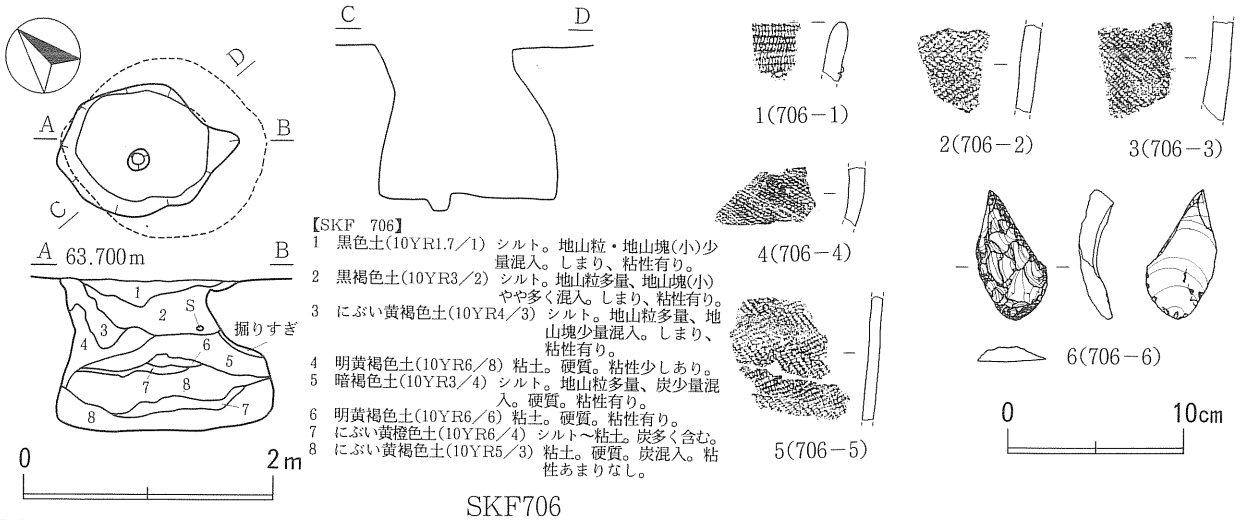
第209図　SKF 694・SKF 695・SKF 705 フラスコ状土坑とその出土遺物

《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から土器片８点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　706 フラスコ状土坑（第210図、図版155）
《位　　置》　ＭＰ68、ＭＱ68グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.42ｍ×短径1.02ｍ、坑底部長径1.66ｍ×短径1.44ｍ、深さ1.20ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ12㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から土器片５点と掻器１点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

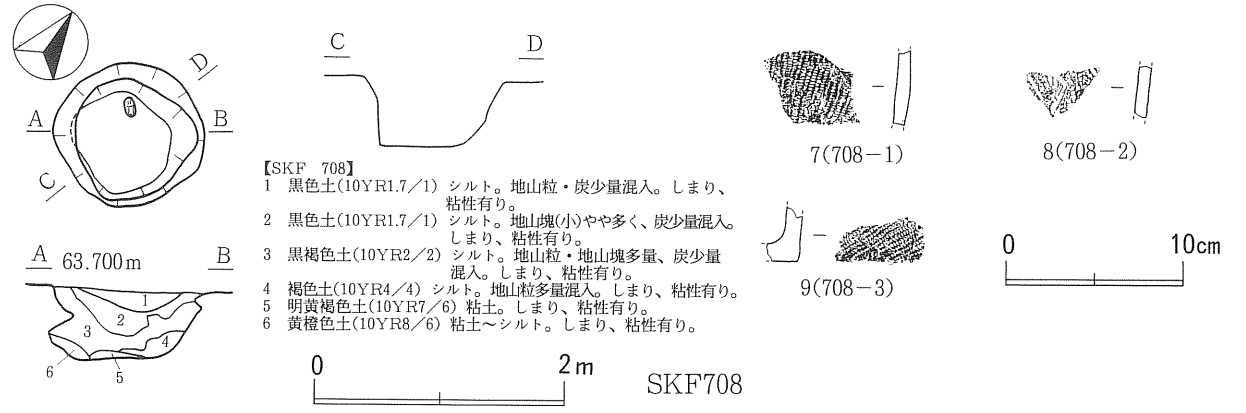
ＳＫＦ　708 フラスコ状土坑（第210図、図版155）
《位　　置》　ＭＯ67、ＭＰ67グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.20ｍ×短径1.16ｍ、坑底部長径0.84ｍ×短径0.80ｍ、深さ0.54ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状を呈する。
《遺　　物》　埋土中から土器片２点と土器底部破片１点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　711 フラスコ状土坑（第210図、図版156）
《位　　置》　ＭＰ66･67、ＭＱ66･67グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.40ｍ×短径1.28ｍ、坑底部長径2.00ｍ×短径1.72ｍ、深さ1.28ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　７層に分層した。
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状を呈する。
《遺　　物》　なし。



【SKF 706】
1　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒・地山塊(小)少量混入。しまり、粘性有り。
2　黒褐色土(10YR3／2)　シルト。地山粒多量、地山塊(小)やや多く混入。しまり、粘性有り。
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　シルト。地山粒多量、地山塊少量混入。しまり、粘性有り。
4　明黄褐色土(10YR6／8)　粘土。硬質。粘性少しあり。
5　暗褐色土(10YR3／4)　シルト。地山粒多量、炭少量混入。硬質。粘性有り。
6　明黄褐色土(10YR6／6)　粘土。硬質。粘性有り。
7　にぶい黄橙色土(10YR6／4)　シルト～粘土。炭多く含む。
8　にぶい黄褐色土(10YR5／3)　粘土。硬質。炭混入。粘性あまりなし。

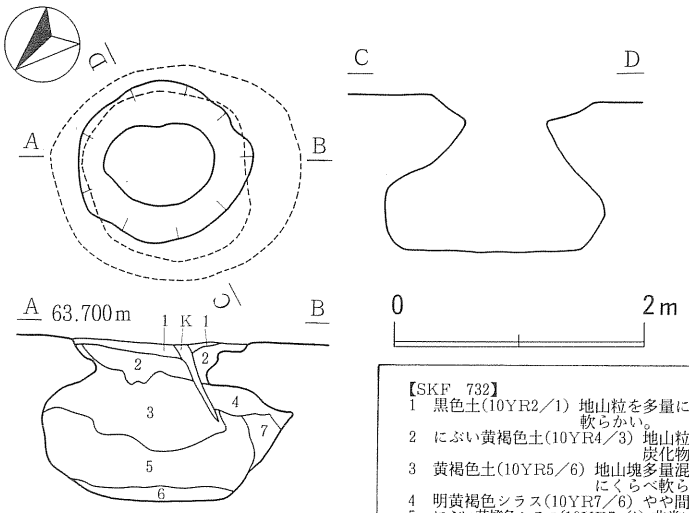
SKF706



【SKF 708】
1　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒・炭少量混入。しまり、粘性有り。
2　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山塊(小)やや多く、炭少量混入。しまり、粘性有り。
3　黒褐色土(10YR2／2)　シルト。地山粒・地山塊多量、炭少量混入。しまり、粘性有り。
4　褐色土(10YR4／4)　シルト。地山粒多量混入。しまり、粘性有り。
5　明黄褐色土(10YR7／6)　粘土。しまり、粘性有り。
6　黄橙色土(10YR8／6)　粘土～シルト。しまり、粘性有り。

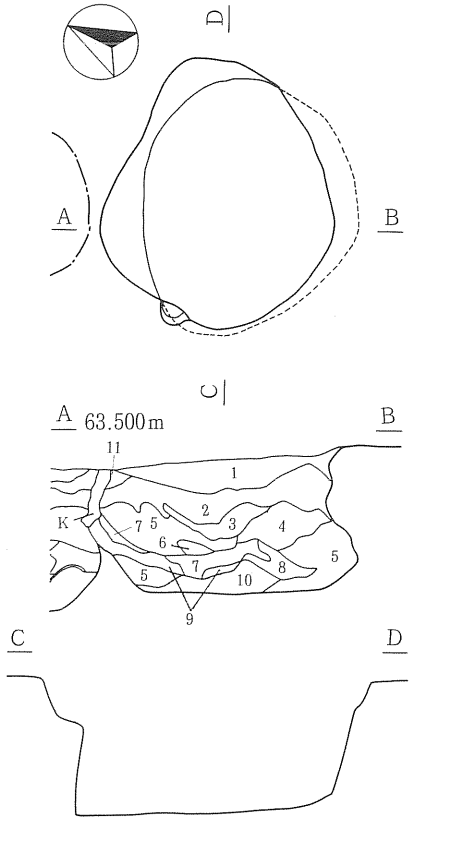
SKF708

SKF711



【SKF 711】
1　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性共有り。
2　黒褐色土(10YR2／2)　シルト。地山粒多量混入。硬質。粘性有り。
3　明黄褐色土(10YR6／6)　粘土。炭少量。硬質。
4　黄橙色土(10YR7／8)　粘土。炭少量混入。硬質。粘性あまりなし。
5　にぶい黄橙色土(10YR7／3)　粘土。炭少量混入。硬質。粘性あまりなし。
6　黄橙色土(10YR8／8)　粘土。硬質。粘性あまりなし。
7　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　粘土。炭少量混入。硬質。粘性あまりなし。
K　攪乱

SKF732



【SKF 732】
1　黒色土(10YR2／1)　地山粒を多量に混入。やや軟らかい。
2　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　地山粒・塊多量。炭化物粒少量混入。
3　黄褐色土(10YR5／6)　地山塊多量混入。4・5にくらべ軟らかい。
4　明黄褐色シラス(10YR7／6)　やや間隙あり。
5　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4)　非常にかたくしまっている。
6　4に同じ。
7　灰黄褐色土(10YR4／2)　地山粒多量・炭化物若干混入。軟らかい。
8　9に同じ。
9　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4)　5よりやや軟らかい。
10　浅黄橙色シラス(10YR8／4)　やや間隙あり。
11　にぶい黄褐色土(10YR4／3)　2より地山塊の混入が少ない。
K　木根による攪乱。

第210図　SKF 706・SKF 708・SKF 711・SKF 732 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　732 フラスコ状土坑（第210図、図版156）

《位　　置》　ＭＤ68･69、ＭＥ68･69グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ674竪穴住居跡･ＳＫＦ733フラスコ状土坑と重複していた。新旧関係は（古）ＳＫＦ733→本土坑→ＳＩ674（新）である。

《規　　模》　開口部長径2.16ｍ×短径1.82ｍ、坑底部長径2.06ｍ×短径1.70ｍ、深さ1.08ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　11層に分層した。

《底　　面》　緩やかな中華鍋底状を呈する。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫＦ　733 フラスコ状土坑（第211図･第212図、図版157～図版161）

《位　　置》　ＭＥ69グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ674竪穴住居跡･ＳＫＦ732フラスコ状土坑と重複していた。新旧関係は（古）本土坑→ＳＫＦ732→ＳＩ674（新）である。

《規　　模》　開口部長径1.44ｍ×短径1.21ｍ、坑底部長径1.37ｍ×短径1.08ｍ、深さ1.10ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　13層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　鍋底状を呈する。

《遺　　物》　埋土の第９･10層中から深鉢土器10個体分と土器片４点が出土した。円筒下層式土器様式と大木式土器様式が共伴した。

《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　736 フラスコ状土坑（第212図）

《位　　置》　ＭＢ64グリッドに位置する。

《確　　認》　谷の斜面に円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.14ｍ×短径1.10ｍ、坑底部長径1.46ｍ×短径1.44ｍ、深さ0.74ｍ。

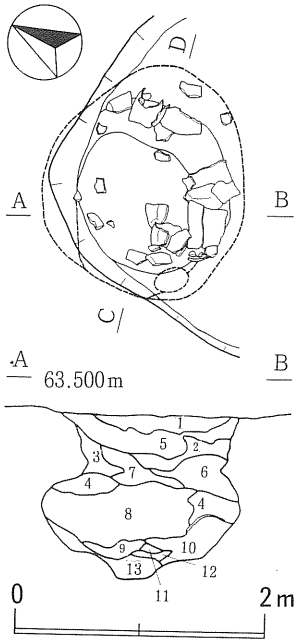
《平 面 形》　楕円形である。

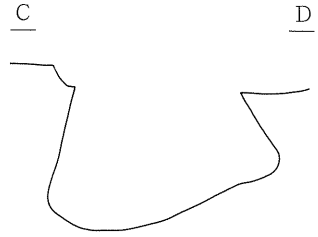
《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われる。

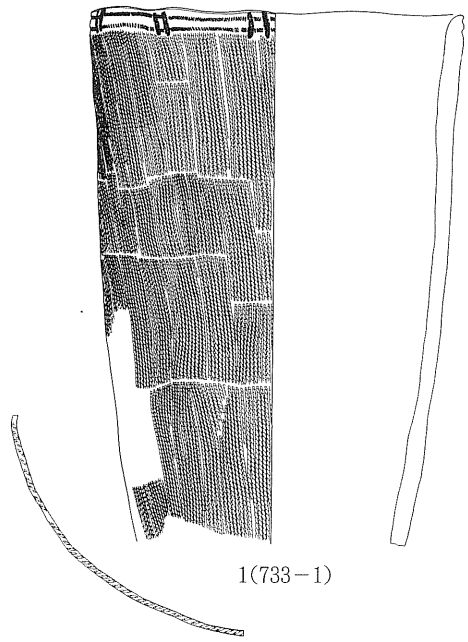
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

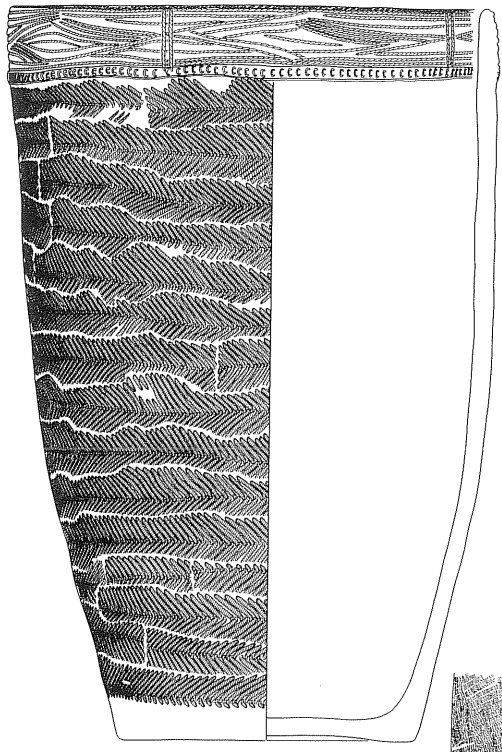
《遺　　物》　埋土中から土器片４点、土器底部破片１点が出土した。

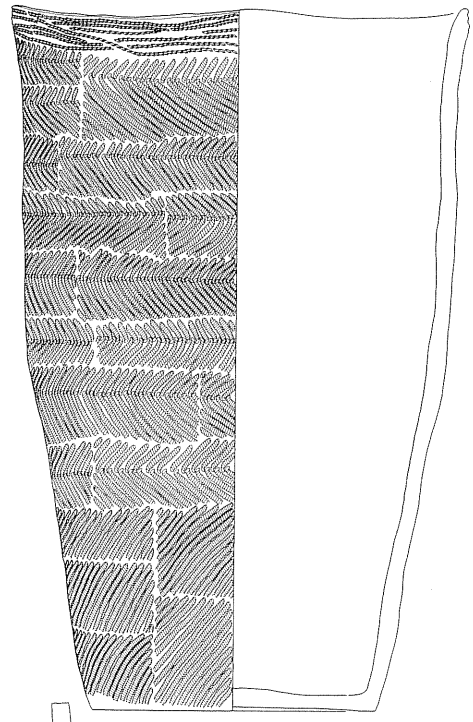


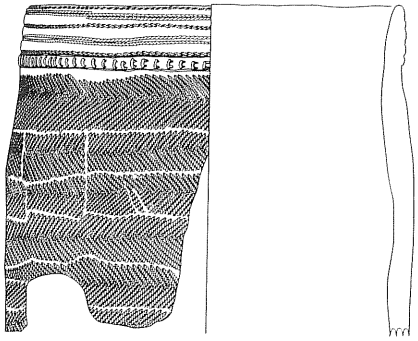


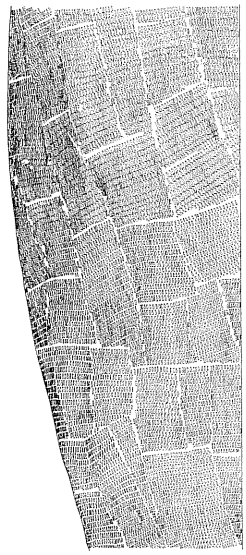
【SKF　733】
1　黒色土(10YR2／1) 地山粒を多量に混入。やや軟らかい。
2　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山粒・塊多量、炭化物少量混入。
3　明黄褐色シラス(10YR7／6) やや間隙あり。
4　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4) 非常にかたくしまっている。
5　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 2より地山塊の混入が少ない。
6　黄橙色シラス(7.5YR7／8) やや間隙あり。
7　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 14に比べてややしまっいる。
8　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 炭化物粒若干混入。
9　黒褐色土(10YR3／1) 炭化物を多く混入。やや軟らかい。
10　褐色土(10YR4／4) 地山粒多量混入。やや軟らかい。
11　淡黄色シラス(2.5Y8／3) 間隙多い。
12　黒褐色土(10YR3／1) 炭化物を多く混入。地山シラス少量混入。軟らかい。
13　にぶい黄橙色シラス(10YR7／4) やや軟らかい。

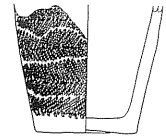

1(733－1)


2(733－2)


3(733－3)

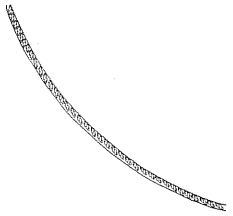

4(733－4)

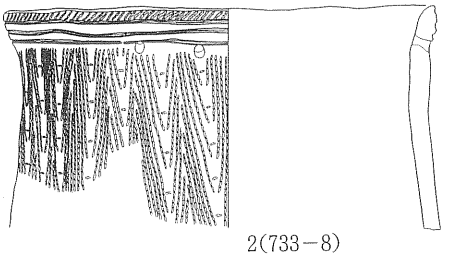

5(733－5)


6(733－6)

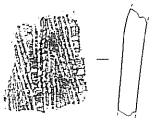
0　10cm

第211図　SKF 733 フラスコ状土坑とその出土遺物

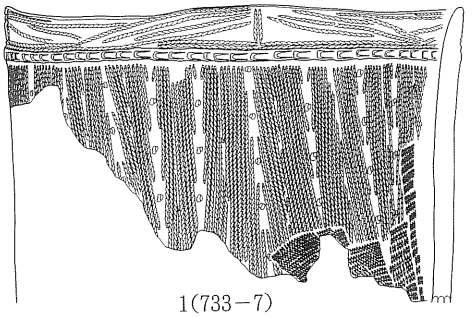




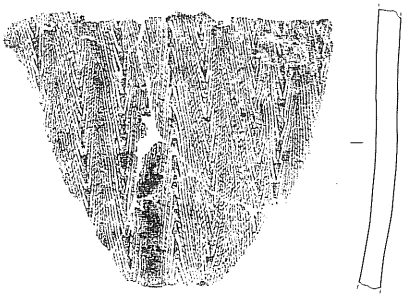
2(733－8)



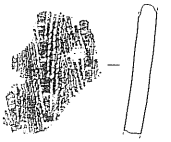
3(733－9)



1(733－7)

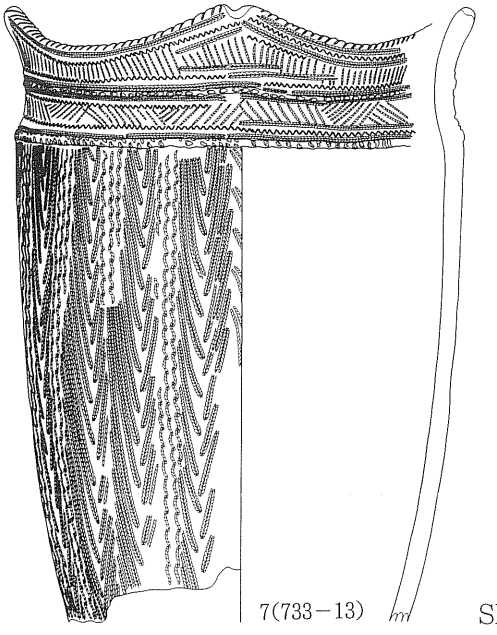


4(733－10)

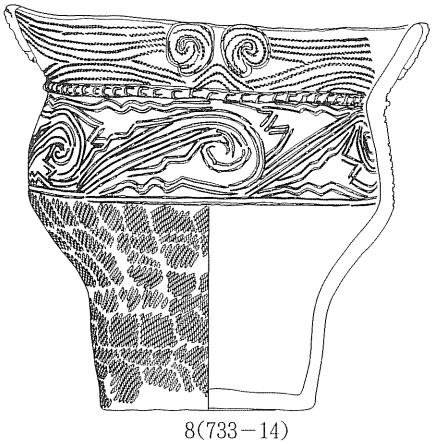


5(733－11)

6(733－12)



7(733－13)

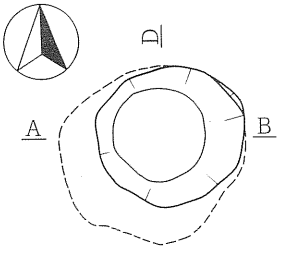


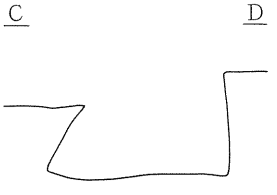
8(733－14)

0　10cm

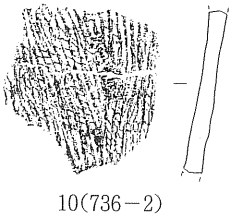
SKF733 出土遺物

SKF736

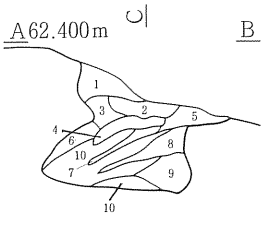




9(736－1)

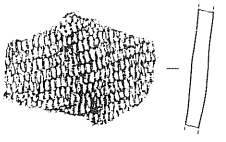


10(736－2)

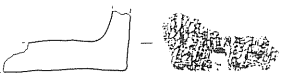


【SKF　736】

1　暗褐色土(10YR3／4)　地山粒多量混入。しまり弱く、粘性なし。
2　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒・地山ブロック混入。やや固くしまり、粘性なし。
3　褐色土(10YR4／6)　地山粒多く混入。黒色土少量混入。しまり弱く、パサパサしている。
4　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒多く混入。やや固くしまり、粘性やや強い。
5　明黄褐色土(10YR6／6)　シラス。しまりやや強い。
6　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒混入。しまりゆるく、粘性やや強い。
7　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒・地山ブロック混入。炭化物微量混入。しまりやや強く、粘性なし。
8　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒混入。しまり強く、粘性なし。
9　暗褐色土(10YR3／4)　地山粒・地山ブロック混入。しまりゆるく、粘性なし。
10　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒多く混入。しまりやや強く、粘性なし。



11(736－3)



12(736－4)

13(736－5)

0　10cm

第212図　SKF 733・SKF 736 フラスコ状土坑とその出土遺物

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　738 フラスコ状土坑（第213図）

《位　　置》　ＭＦ68•69グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.73ｍ×短径0.54ｍ、坑底部長径0.83ｍ×短径0.73ｍ、深さ0.50ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　804 フラスコ状土坑（第213図、図版161）

《位　　置》　ＭＫ59グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な楕円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ807フラスコ状土坑と重複していた。本土坑が新しい。

《規　　模》　開口部長径1.20ｍ×短径1.14ｍ、坑底部長径1.90ｍ×短径1.78ｍ、深さ0.88ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ21㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　805 フラスコ状土坑（第213図）

《位　　置》　ＭＤ58•59、ＭＥ58•59グリッドに位置する。

《確　　認》　谷の斜面上縁に楕円形の明黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.86ｍ×短径1.67ｍ、坑底部長径2.04ｍ×短径1.89ｍ、深さ0.63ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　５層に分層した。

《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ16㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　806 フラスコ状土坑（第213図）

《位　　置》　ＭＤ58グリッドに位置する。

《確　　認》　谷の斜面上縁に楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.37ｍ×短径1.29ｍ、坑底部長径1.52ｍ×短径1.49ｍ、深さ0.73ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　６層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ13㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　807 フラスコ状土坑（第213図、図版162）

《位　　置》　ＭＫ59グリッドに位置する。

《確　　認》　不整な楕円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　ＳＫＦ804フラスコ状土坑と重複していた。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径0.91ｍ×短径0.90ｍ、坑底部長径2.14ｍ×短径1.60ｍ、深さ0.88ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　５層に分層した。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　なし。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　808 フラスコ状土坑（第213図）

《位　　置》　ＭＦ59グリッドに位置する。

《確　　認》　谷の斜面上縁に楕円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径1.56ｍ×短径1.32ｍ、坑底部長径1.82ｍ×短径1.62ｍ、深さ0.75ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　９層に分層した。

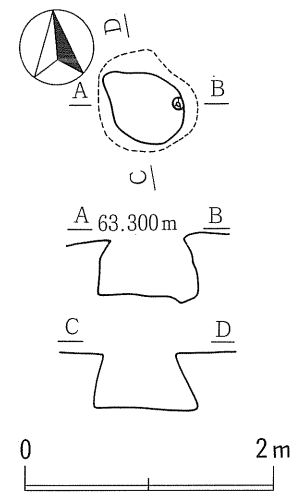
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ11㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

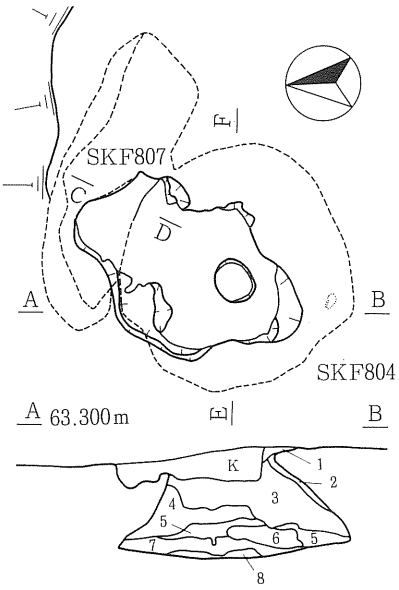
《構築時期》　縄文時代と思われる。

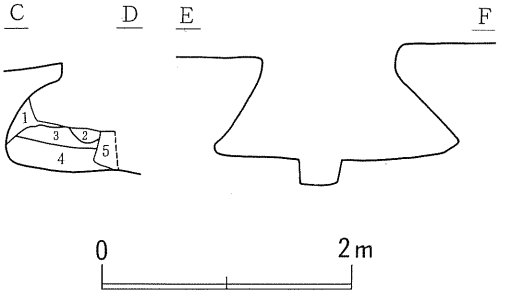
ＳＫＦ　810 フラスコ状土坑（第214図）

《位　　置》　ＭＣ58･59グリッドに位置する。



SKF738

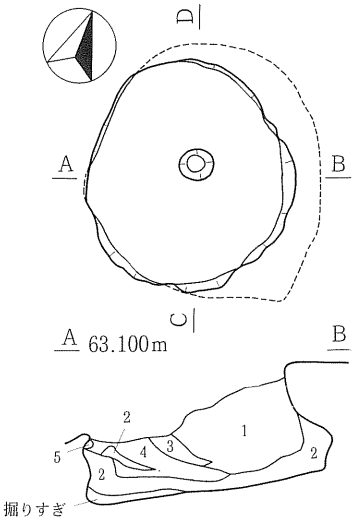


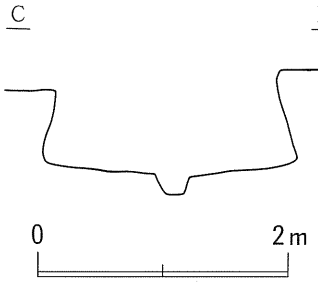


【SKF　804】
1　黒褐色土(10YR2／3)　地山塊混入。ボソボソしている。
2　黒褐色土(10YR3／2)　軟らかい。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒・炭化物粒30%混入。しまり有り。
4　暗褐色土(10YR3／4)　地山粒・炭化物粒15%混入。
5　黄褐色土(10YR5／6)　シルト。暗褐色土少量混入。硬くしまる。
6　黄褐色土(10YR5／8)　地山塊(大)混入。硬くよくしまる。
7　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・焼土粒・炭化物粒混入。ややしまり有り。
8　6に同じ。
K　攪乱。

【SKF　807】
1　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒30%混入。
2　明黄褐色土(10YR6／6)　シルト。しまりなく、ボソボソしている。
3　明黄褐色土(10YR6／6)　シルト。暗褐色土微量混入。
4　明黄褐色土(10YR6／6)　シルト。3よりしまり硬い。
5　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒30%混入。

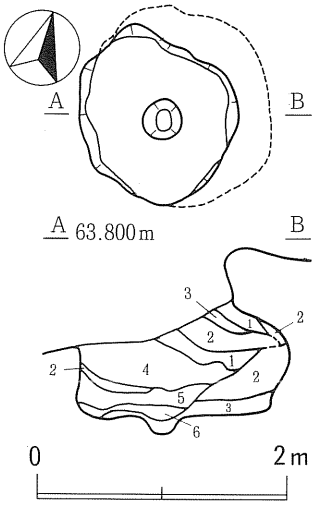
SKF804・SKF807





【SKF　805】
1　明黄褐色土(10YR6／6)　粘土。しまり、粘性有り。
2　にぶい黄橙色土(10YR7／4)　粘土。1よりしまり弱く、粘性あまりなし。
3　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒・焼土粒少量混入。しまり、粘性有り。
4　暗褐色土(10YR3／4)　シルト。地山粒多量、焼土粒少量混入。しまり、粘性有り。
5　黒褐色土(10YR3／2)　シルト。

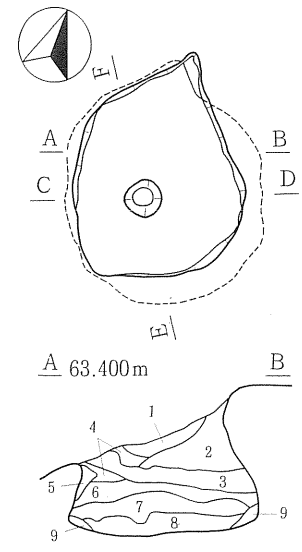
SKF805

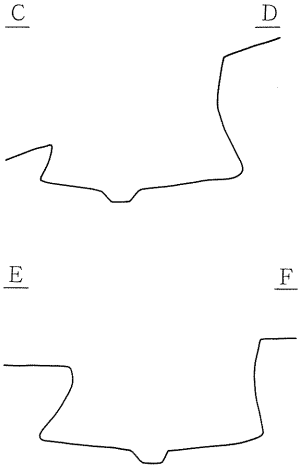


【SKF　806】
1　暗褐色土(10YR3／4)　シルト。地山粒多量、地山塊少量混入。しまりやや弱く、粘性有り。
2　明黄褐色土(10YR7／6)　粘土。しまり強く。粘性なくサラサラしている。
3　黄橙色土(10YR7／8)　粘土。硬質。粘性なし。
4　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒少量、地山塊(小)やや多量混入。しまり、粘性有り。
5　明黄褐色土(10YR7／6)　粘土。2より黒色土の混入多い。
6　褐色土(10YR4／6)　シルト。地山粒多量混入。しまりやや弱く、粘性有り。

SKF806

SKF808





【SKF　808】
1　黒褐色土(10YR2／2)　シルト。地山塊(小)多量混入。しまり、粘性有り。
2　明黄褐色土(10YR6／8)　粘土。しまり有り、粘性なし。
3　明黄褐色土(10YR6／6)　シルト～粘土。地山粒多量混入。しまり、粘性有り。
4　明黄褐色土(10YR6／8)　シルト～粘土。しまり、粘性有り。
5　褐色土(10YR4／6)　シルト。地山粒多量混入。しまりやや弱く、粘性有り。
6　明黄褐色土(10YR6／8)　シルト～粘土。4より地山粒の混入少ない。しまり、粘性有り。
7　黒褐色土(10YR2／3)　シルト。地山粒塊状に混入。しまり、粘性有り。
8　黒色土(10YR2／1)　シルト。地山粒少量混入。しまりやや弱く、粘性有り。
9　明黄褐色土(10YR7／6)　粘土。しまりやや弱く、粘性あまりなし。

0　2m

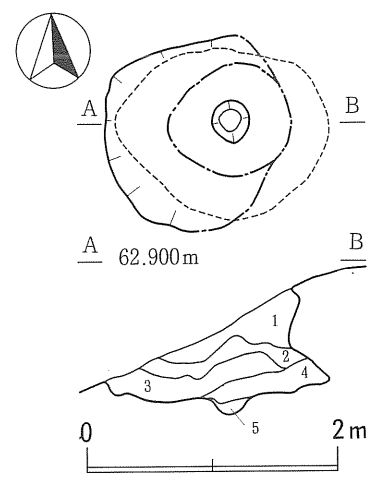
第213図　SKF 738・SKF 804・SKF 805・SKF 806・SKF 807・SKF 808 フラスコ状土坑

《確　　認》　谷の斜面上縁に楕円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.54ｍ×短径1.48ｍ、坑底部長径1.70ｍ×短径1.38ｍ、深さ0.66ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　緩やかな中華鍋底状の底面の中央に深さ14㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　なし。
《構築時期》　縄文時代と思われる。

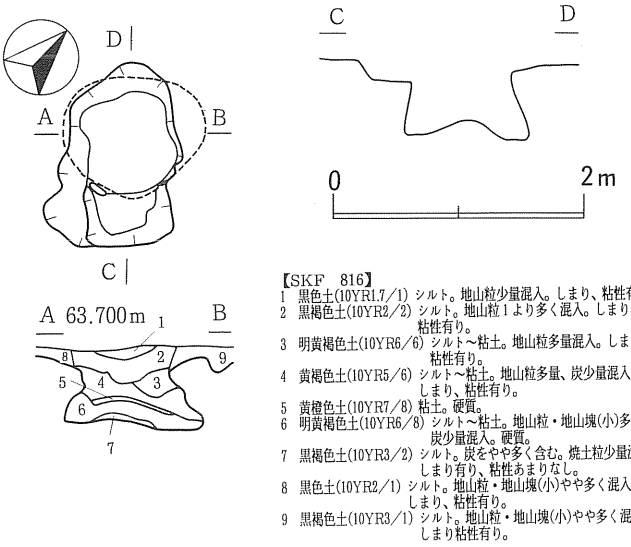
ＳＫＦ　816 フラスコ状土坑（第214図、図版162）
《位　　置》　ＭＯ68･69グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.74×短径0.66ｍ、坑底部長径1.12ｍ×短径0.98ｍ、深さ0.58ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　なし。
《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　818 フラスコ状土坑（第214図、図版163）
《位　　置》　ＭＴ64グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径1.14ｍ×短径1.08ｍ、坑底部長径2.16ｍ×短径2.06ｍ、深さ1.24ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　９層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　　面》　中華鍋底状の底面の中央に深さ15㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から土器片２点と石鏃３点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

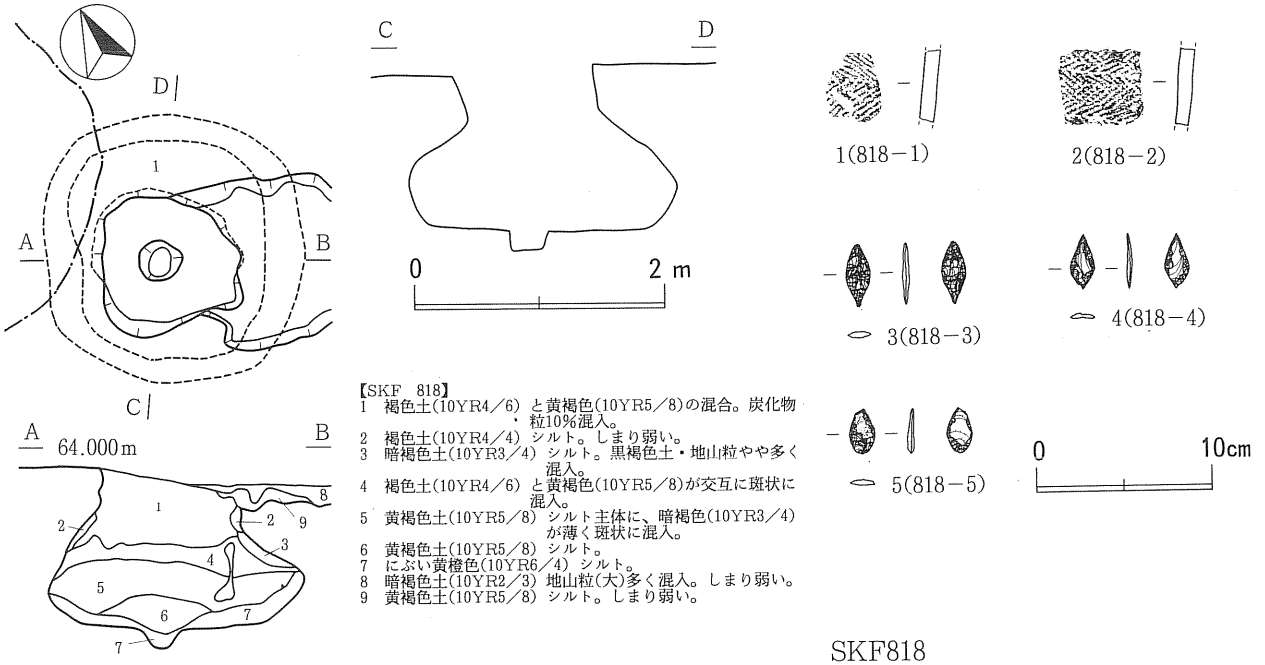
ＳＫＦ　820 フラスコ状土坑（第214図･第215図、図版163･図版164）
《位　　置》　ＭＴ63、ＮＡ63グリッドに位置する。
《確　　認》　楕円形の黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　ＳＫＴ721Ｔ－Ｐｉｔと重複していた。本土坑が古い。



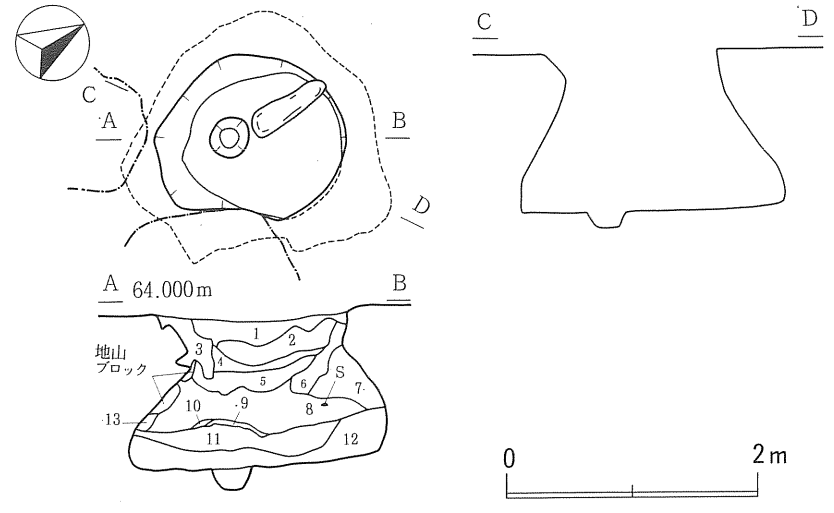
【SKF 810】
1 暗褐色土(10YR3／3) シルト。地山粒・地山塊(小)多量混入。しまり、粘性有り。
2 にぶい黄褐色土(10YR5／4) シルト～粘土。地山粒・地山塊(小)1より多く混入。しまり、粘性有り。
3 明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。しまり、粘性有り。
4 明黄褐色土(10YR7／6) 粘土。しまりやや弱く、粘性有り。
5 明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。しまりやや弱く、粘性有り。



【SKF 816】
1 黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性有り。
2 黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山粒１より多く混入。しまり、粘性有り。
3 明黄褐色土(10YR6／6) シルト～粘土。地山粒多量混入。しまり、粘性有り。
4 黄褐色土(10YR5／6) シルト～粘土。地山粒多量、炭少量混入。しまり、粘性有り。
5 黄橙色土(10YR7／8) 粘土。硬質。
6 明黄褐色土(10YR6／8) シルト～粘土。地山粒・地山塊(小)多量、炭少量混入。硬質。
7 黒褐色土(10YR3／2) シルト。炭をやや多く含む。焼土粒少量混入。しまり有り、粘性あまりなし。
8 黒色土(10YR2／1) シルト。地山粒・地山塊(小)やや多く混入。しまり、粘性有り。
9 黒褐色土(10YR3／1) シルト。地山粒・地山塊(小)やや多く混入。しまり粘性有り。

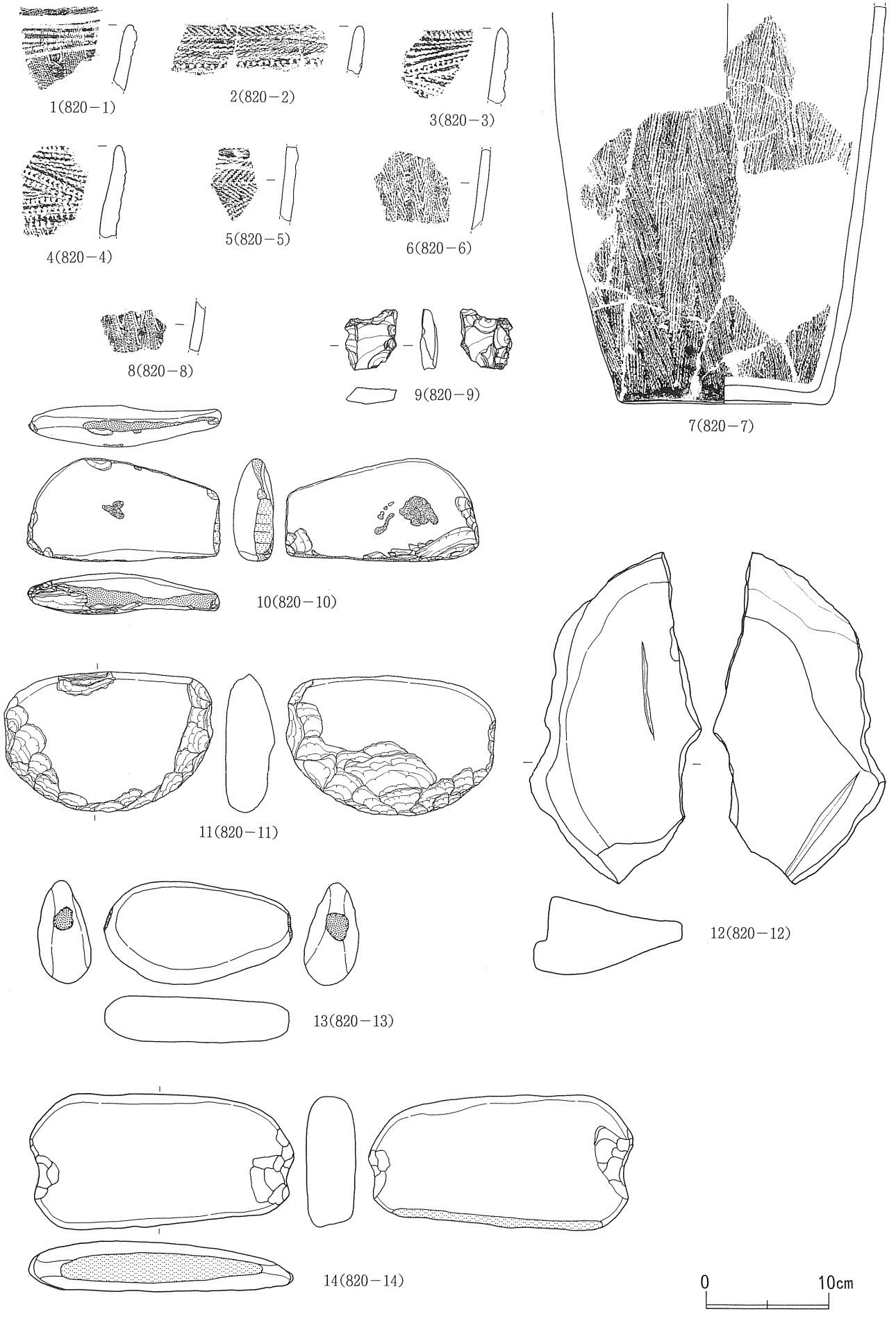


【SKF 818】
1 褐色土(10YR4／6) と黄褐色(10YR5／8)の混合。炭化物・粒10%混入。
2 褐色土(10YR4／4) シルト。しまり弱い。
3 暗褐色土(10YR3／4) シルト。黒褐色土・地山粒やや多く混入。
4 褐色土(10YR4／6) と黄褐色(10YR5／8)が交互に斑状に混入。
5 黄褐色土(10YR5／8) シルト主体に、暗褐色(10YR3／4)が薄く斑状に混入。
6 黄褐色土(10YR5／8) シルト。
7 にぶい黄橙色(10YR6／4) シルト。
8 暗褐色土(10YR2／3) 地山粒(大)多く混入。しまり弱い。
9 黄褐色土(10YR5／8) シルト。しまり弱い。



【SKF 820】
1 黒色土(10YR2／1) しまり弱く、ふかふかしている。
2 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒30%混入。しまり強い。
3 暗褐色土(10YR3／3) 木根による攪乱。
4 暗褐色土(10YR3／4) 地山粒30%混入。しまり強い。
5 褐色土(10YR4／6) シルト。地山粒20%、暗褐色粒５%混入。しまり強い。
6 褐色土(10YR4／6) 暗褐色土粒・炭化物粒５%混入。しまり強い。
7 明黄褐色土(10YR6／6) シルト。炭化物粒微量混入。しまり強い。
8 褐色土(10YR4／6) シルト。地山粒少量、炭化物粒微量混入。しまり強い。
9 黒褐色土(10YR2／2) シルト。しまり普通。
10 ６に同じ。
11 ６に同じ。
12 黄褐色土(10YR5／6) シルト。しまり強い。
13 ６に同じ。

第214図　SKF 810・SKF816・SKF 818・SKF 820 フラスコ状土坑とその出土遺物



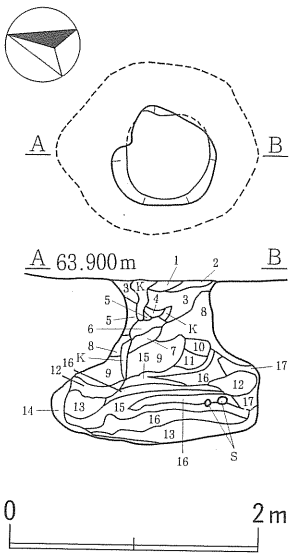
第215図　SKF 820 フラスコ状土坑出土遺物

《規　　模》　開口部長径1.38ｍ×短径1.28ｍ、坑底部長径2.08ｍ×短径2.08ｍ、深さ1.16ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　13層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　平坦な底面の中央に深さ17㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　　物》　埋土中から土器片７点と深鉢土器胴部下半破片１個体分（７）、石器剥片１点（９）、半円状偏平打製石器１点（10）、抉り入り半円状偏平打製石器１点（11）、抉り入り半円状偏平磨製石器２点（13•14）、石皿破片１点（12）が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

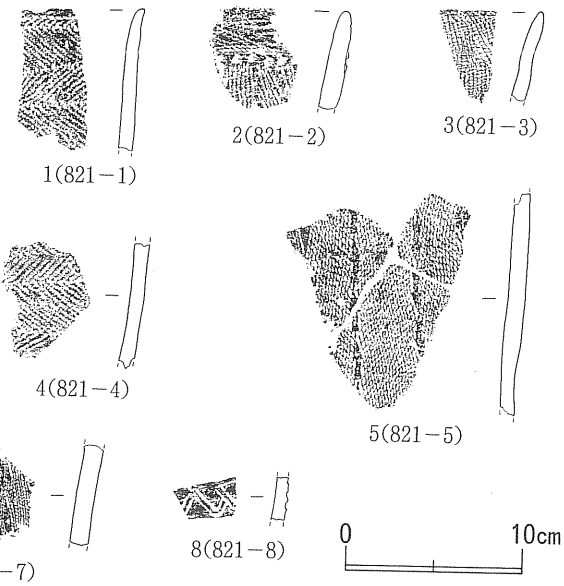
ＳＫＦ　821 フラスコ状土坑（第216図、図版164•図版165）
《位　　置》　ＭＳ65•ＭＴ65グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　なし。
《規　　模》　開口部長径0.83ｍ×短径0.80ｍ、坑底部長径1.62ｍ×短径1.30ｍ、深さ1.32ｍ。
《平 面 形》　楕円形である。
《断 面 形》　三角フラスコ形である。
《埋　　土》　16層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。
《底　　面》　中華鍋底状を呈する。
《遺　　物》　埋土中から土器片８点が出土した。
《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　823 フラスコ状土坑（第216図•第217図、図版165）
《位　　置》　ＮＡ64グリッドに位置する。
《確　　認》　円形の黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　　複》　平安時代のＳＩ720竪穴住居跡と重複していた。
《規　　模》　開口部長径1.39ｍ×短径1.28ｍ、坑底部長径1.85ｍ×短径1.85ｍ、深さ1.36ｍ。
《平 面 形》　円形である。
《断 面 形》　袋状である。
《埋　　土》　10層に分層した。自然堆積と思われるが、第５層中に炭化したクルミが混入していた。
《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　　物》　埋土中から深鉢土器２個体分（１•14）と土器片１２点、掻器１点（15）、くぼみ石１点（16）、抉り入り半円状偏平磨製石器１点（17）、半円状偏平磨製石器２点（18•19）、半円状偏平打製石器３点（20～22）が出土した。
《構築時期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　830 フラスコ状土坑（第218図、図版166）
《位　　置》　ＭＳ64、ＭＴ64グリッドに位置する。

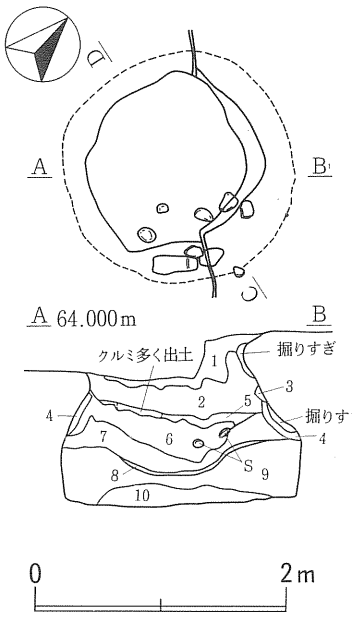


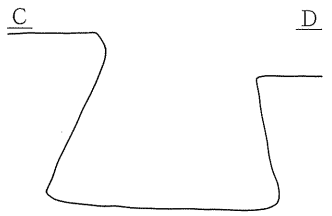
【SKF　821】
1　黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山粒・炭少量混入。しまり有り。粘性少し有り。
2　暗褐色土(10YR3／3) シルト。地山粒・炭少量混入。しまり有り。粘性少し有り。
3　黒褐色土(10YR3／2) シルト。地山粒・地山塊小・炭少量混入。しまり、粘性少有り。
4　黄褐色土(10YR5／6) 砂。やや脆く、粘性なし。
5　褐色土(10YR4／4) シルト。地山粒・地山塊小・炭少量混入。しまり、粘性少有り。
6　黒色土(10YR2／1) シルト。地山塊小やや多く混入。硬質、粘性有り。
7　にぶい黄褐色土(10YR6／4) シルト～砂。炭少量混入。やや脆く、粘性なし。
8　褐色土(10YR4／4) シルト。5より地山粒が混入多い。しまり有り。粘性あまりなし。
9　にぶい黄褐色土(10YR5／4) シルト～粘土。炭少量混入。硬質、粘性有り。
10　褐色土(10YR4／4) シルト～粘土。炭少量混入。しまり、粘性少有り。
11　明黄褐色土(10YR6／6) シルト～粘土。炭少量混入。硬質、粘性なし。
12　明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。炭微量混入。しまり強く、粘性有り。
13　にぶい黄褐色土(10YR7／4) 粘土。硬質、粘性少し有り。
14　明黄褐色土(10YR7／6) 粘土。しまり強く、粘性なし。
15　黒褐色土(10YR3／2) シルト。炭多量混入。地山粒少量混入。しまりやや弱く、粘性少し有り。
16　にぶい黄褐色土(10YR5／4) シルト～粘土。地山粒多量、炭少量混入。しまり強く、粘性なし。
17　褐色土(10YR4／4) シルト。
K　木根による攪乱



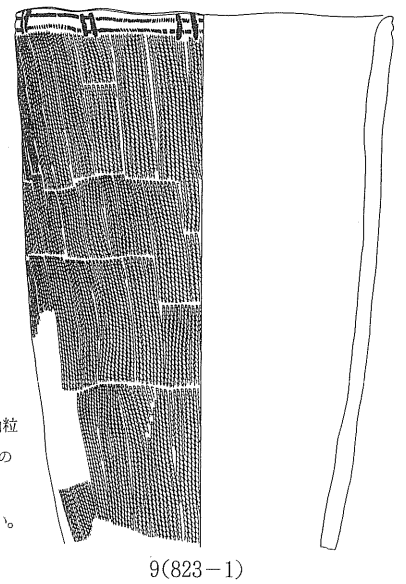
SKF821

SKF823

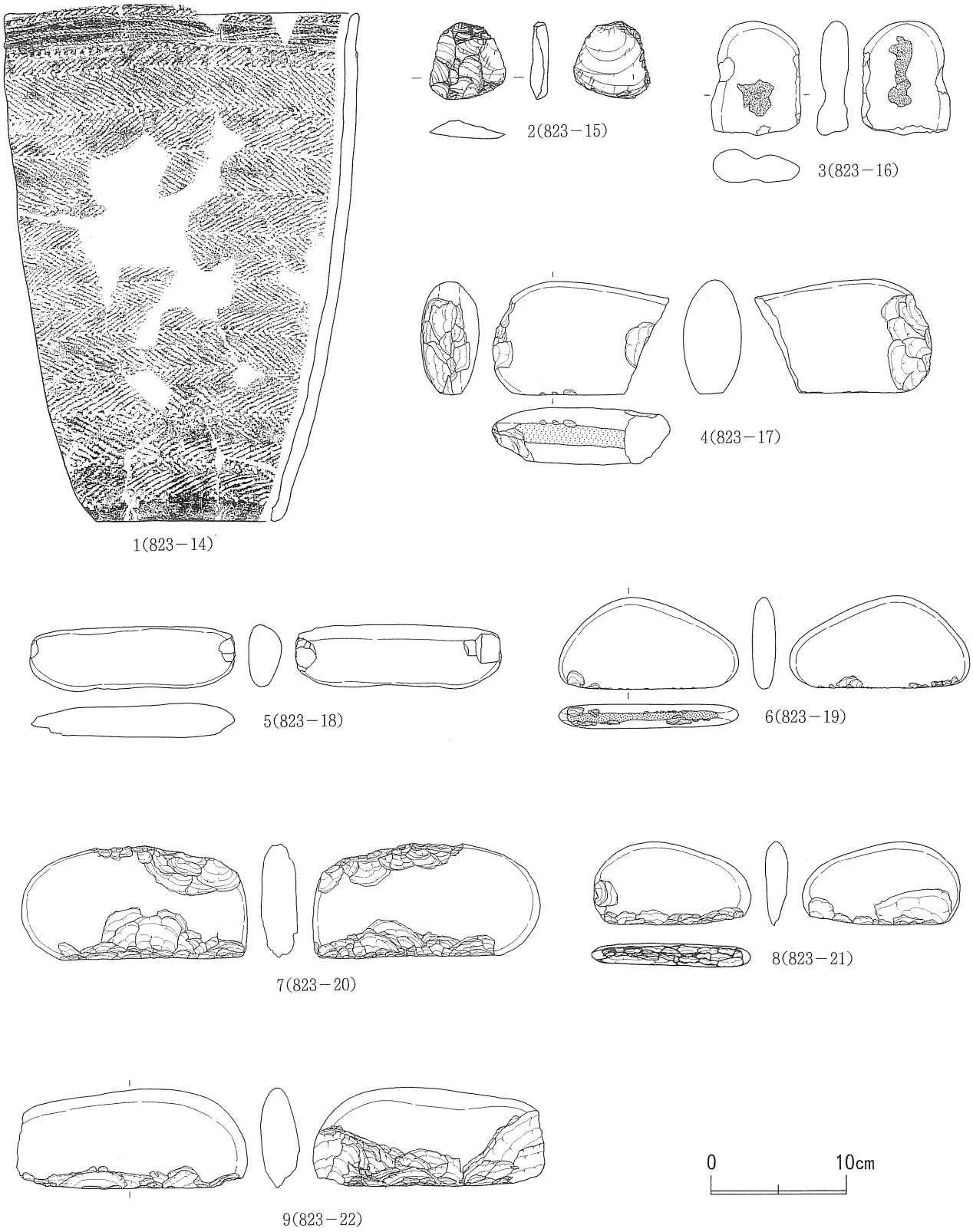




【SKF　823】
1　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒微量混入。しまり強い。
2　黒褐色土(10YR2／2) と地山土の混合。しまり強い。
3　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒微量混入。しまり弱い。
4　褐色土(10YR4／6) シルト。しまり弱い。
5　褐色土(10YR4／4) シルト。炭(炭化したクルミ)30%、地山粒10%混入。しまり普通。
6　褐色土(10YR4／4) シルト。黒褐色土(10YR2／2)と地山土の混合。しまり普通。
7　黄褐色土(10YR5／6・地山) に炭10%混入。しまり強い。
8　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒40%混入。しまり弱い。
9　黄橙色土(10YR8／6) シルト(地山)、炭微量混入。しまり弱い。
10　黄褐色土(10YR5／6) シルト。炭微量混入。しまり弱い。



第216図　SKF 821・SKF 823 フラスコ状土坑とその出土遺物



第217図　SKF 823 フラスコ状土坑出土遺物

《確　　認》　不整な明黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＫＳ718土壙墓と重複していた。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径1.25ｍ×短径1.15ｍ、坑底部長径1.53ｍ×短径1.40ｍ、深さ1.19ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　三角フラスコ形である。

《埋　　土》　12層に分層した。自然堆積と思われるが、炭化物の混入する層が多い。

《底　　面》　緩やかな中華鍋底状を呈する。

《遺　　物》　埋土中から板状の石器破片１点が出土した。

《構築時期》　縄文時代と思われる。

ＳＫＦ　835 フラスコ状土坑（第218図、図版167）

《位　　置》　ＭＭ71グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　なし。

《規　　模》　開口部長径0.83ｍ×短径0.77ｍ、坑底部長径0.87ｍ×短径0.70ｍ、深さ0.48ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　３層に分層した。

《底　　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　　物》　埋土中から土器片２点と石鏃破片１点が出土した。

《構築時期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫＦ　1014 フラスコ状土坑（第218図、図版168）

《位　　置》　ＭＴ64グリッドに位置する。

《確　　認》　楕円形の明黄褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　　複》　縄文時代前期のＳＩ719竪穴住居跡と重複していた。本土坑が古い。

《規　　模》　開口部長径2.00ｍ×短径1.61ｍ、坑底部長径2.48ｍ×短径2.12ｍ、深さ0.68ｍ。

《平 面 形》　楕円形である。

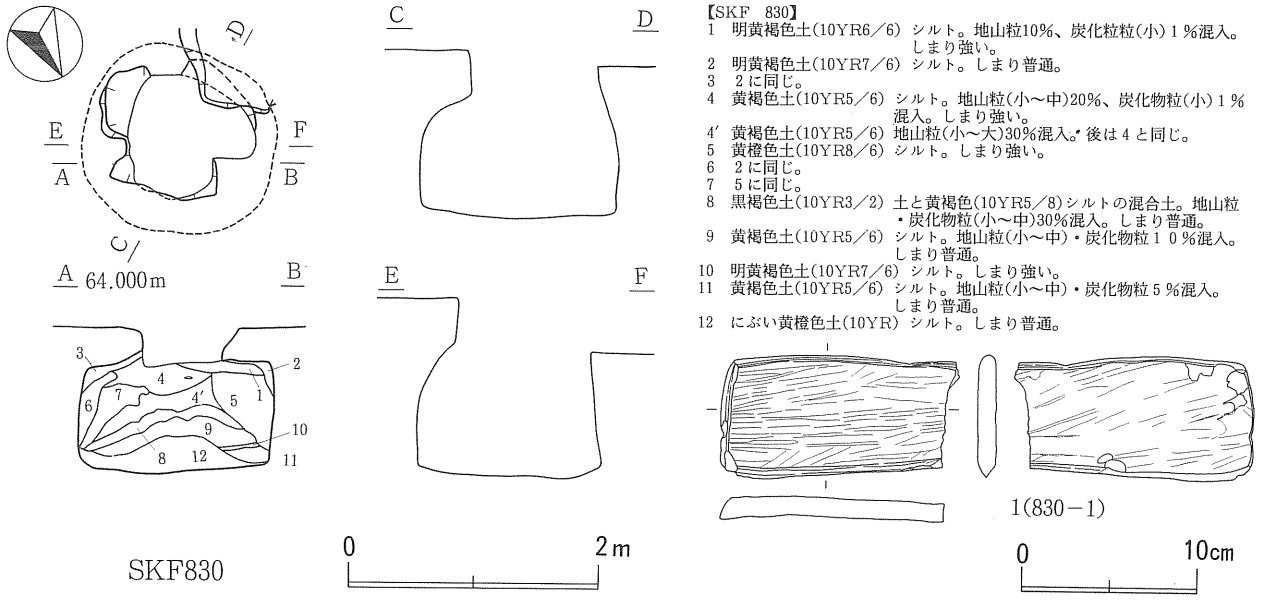
《断 面 形》　袋状である。

《埋　　土》　８層に分層した。自然堆積と思われる。

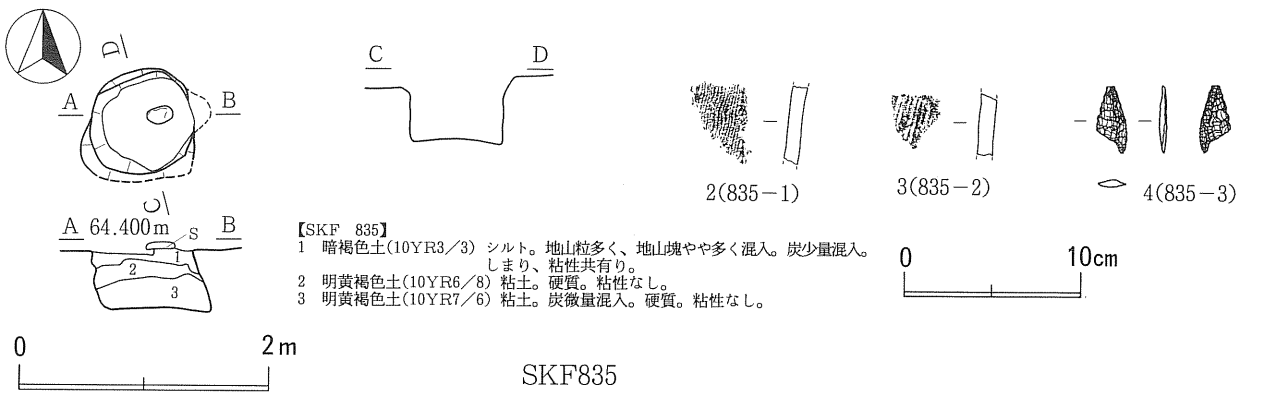
《底　　面》　ほぼ平坦な底面の中央に深さ９㎝の柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　　物》　なし。

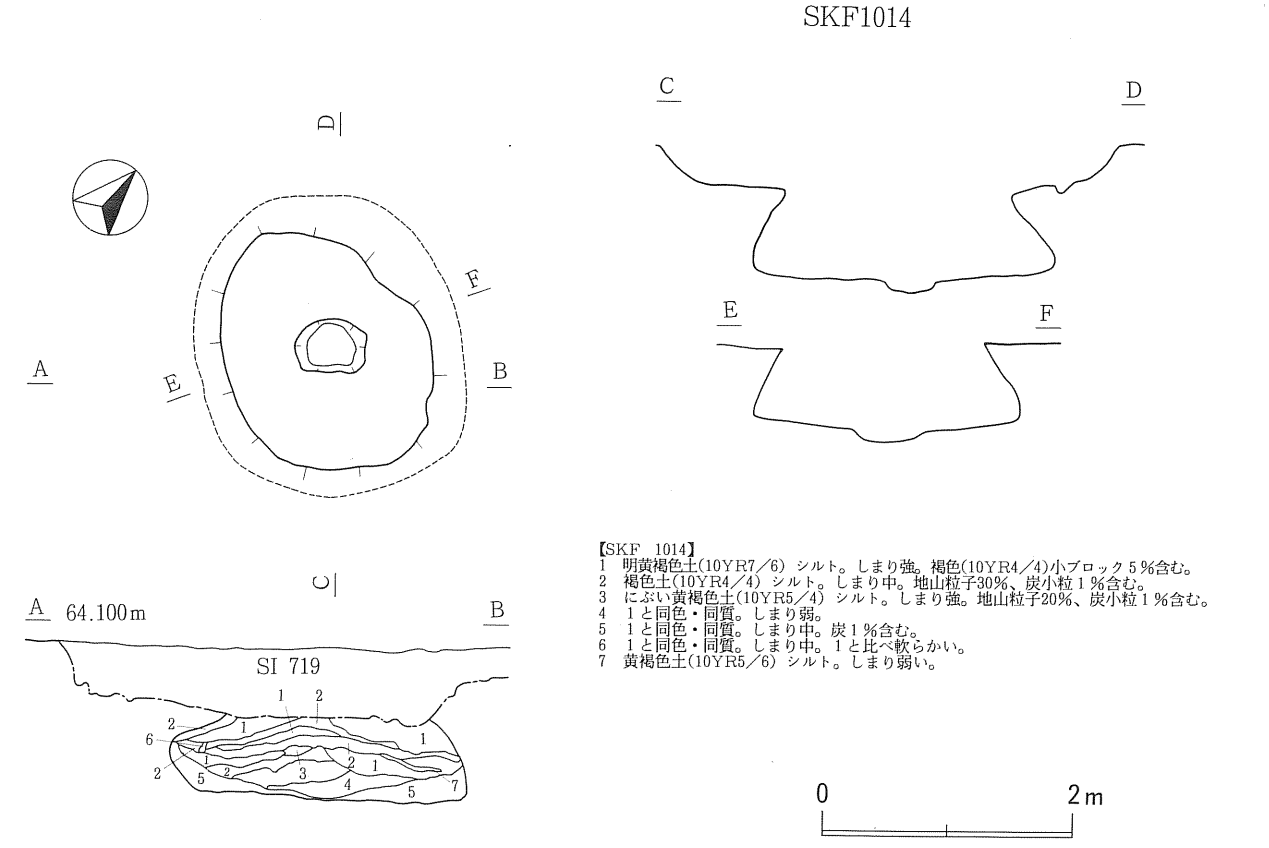
《構築時期》　縄文時代前期と思われる。



【SKF 830】
1　明黄褐色土(10YR6／6)　シルト。地山粒10%、炭化粒粒(小)１%混入。しまり強い。
2　明黄褐色土(10YR7／6)　シルト。しまり普通。
3　２に同じ。
4　黄褐色土(10YR5／6)　シルト。地山粒(小～中)20%、炭化物粒(小)１%混入。しまり強い。
4′　黄褐色土(10YR5／6)　地山粒(小～大)30%混入。後は４と同じ。
5　黄橙色土(10YR8／6)　シルト。しまり強い。
6　２に同じ。
7　５に同じ。
8　黒褐色土(10YR3／2)　土と黄褐色(10YR5／8)シルトの混合土。地山粒・炭化物粒(小～中)30%混入。しまり普通。
9　黄褐色土(10YR5／6)　シルト。地山粒(小～中)・炭化物粒１０%混入。しまり普通。
10　明黄褐色土(10YR7／6)　シルト。しまり強い。
11　黄褐色土(10YR5／6)　シルト。地山粒(小～中)・炭化物粒５%混入。しまり普通。
12　にぶい黄橙色土(10YR)　シルト。しまり普通。



【SKF 835】
1　暗褐色土(10YR3／3)　シルト。地山粒多く、地山塊やや多く混入。炭少量混入。しまり、粘性共有り。
2　明黄褐色土(10YR6／8)　粘土。硬質。粘性なし。
3　明黄褐色土(10YR7／6)　粘土。炭微量混入。硬質。粘性なし。



【SKF 1014】
1　明黄褐色土(10YR7／6)　シルト。しまり強。褐色(10YR4／4)小ブロック５%含む。
2　褐色土(10YR4／4)　シルト。しまり中。地山粒子30%、炭小粒１%含む。
3　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　シルト。しまり強。地山粒子20%、炭小粒１%含む。
4　１と同色・同質。しまり弱。
5　１と同色・同質。しまり中。炭１%含む。
6　１と同色・同質。しまり中。１と比べ軟らかい。
7　黄褐色土(10YR5／6)　シルト。しまり弱い。

第218図　SKF 830・SKF 835・SKF 1014 フラスコ状土坑とその出土遺物

土　坑

フラスコ状土坑以外の縄文時代の土坑は178基検出した。土坑は台地全体に分布していたが、南西側に多く分布する傾向がある。平面形状は、楕円形、円形、方形、長方形、長円形を呈する。断面形状は、U字形、中華鍋底形、ビーカー形などが多い。

底面の中央に小さなピットのある土坑もあり、この土坑は所謂逆茂木を立てた陥し穴と思われるが、使用目的の不明なものが多い。また、遺物の出土した土坑が少ないため、時期を特定できた土坑は少ない。このため、プラン確認の層位と、埋土の土性、埋土中の大湯浮石層混入の有無から土坑の時期を推定した。

ＳＫ 14 土坑（第219図、図版169）

《位　置》　ＮＤ62、ＮＥ62グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.08ｍ、短径0.90ｍ、深さ44㎝、底面長径0.82ｍ、短径0.77ｍ。

《平面形》　長円形である。

《断面形》　土圧のためかオーバーハングしていた。

《埋　土》　９層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　中央部に不整楕円形のピットが１ヵ所ある。

《遺　物》　埋土中からの土器片が出土した。

《時　期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　56 土坑（第219図）

《位　置》　ＮＬ58グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径2.02ｍ、短径1.47ｍ、深さ18.1㎝、底面長径1.59ｍ、短径1.07ｍ。

《平面形》　隅丸長方形である。

《断面形》　緩やかに外傾して立ち上がっていた。

《埋　土》　５層に分層した。炭化物が混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　底面から土器片と、擦り石が出土した。

《時　期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　57 土坑（第220図）

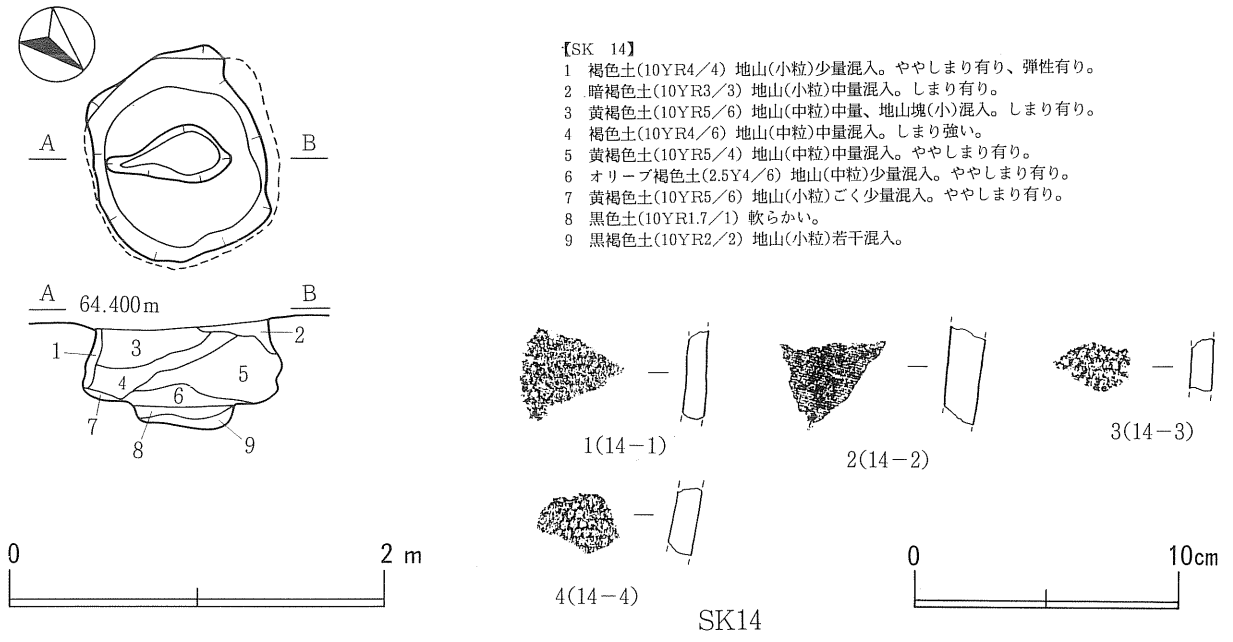
《位　置》　ＮＬ58グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

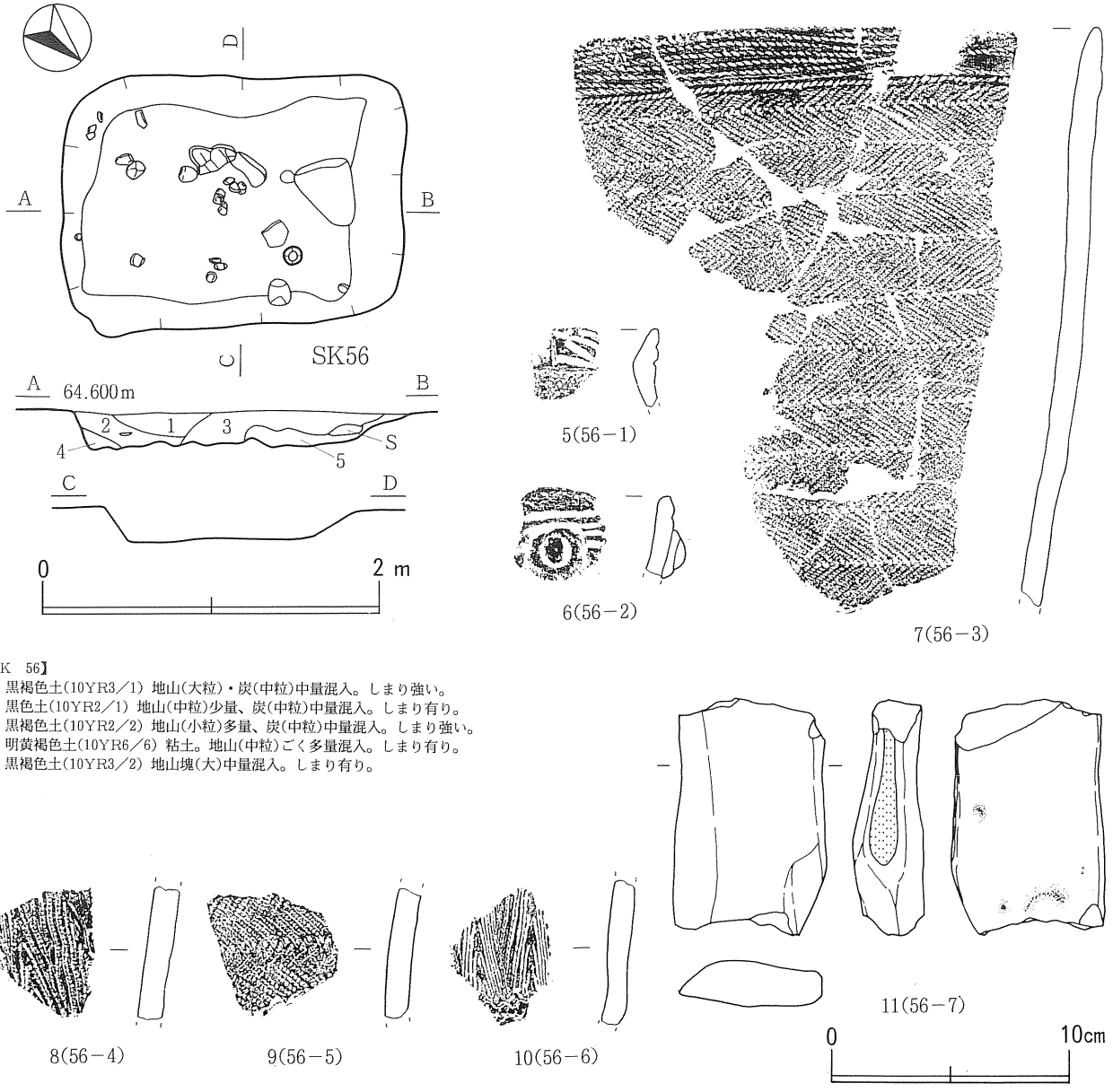
《規　模》　開口部長径2.62ｍ、短径1.01ｍ、深さ22㎝、底面長径2.26ｍ、短径0.72ｍ。

《平面形》　不整な長楕円形である。



【SK 14】
1　褐色土(10YR4／4) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り、弾性有り。
2　暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
3　黄褐色土(10YR5／6) 地山(中粒)中量、地山塊(小)混入。しまり有り。
4　褐色土(10YR4／6) 地山(中粒)中量混入。しまり強い。
5　黄褐色土(10YR5／4) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
6　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
7　黄褐色土(10YR5／6) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
8　黒色土(10YR1.7／1) 軟らかい。
9　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)若干混入。

SK56



【SK 56】
1　黒褐色土(10YR3／1) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり強い。
2　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)少量、炭(中粒)中量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)多量、炭(中粒)中量混入。しまり強い。
4　明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。地山(中粒)ごく多量混入。しまり有り。
5　黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(大)中量混入。しまり有り。

第219図　SK 14・SK 56 土坑とその出土遺物

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。炭化物が混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　底面から土器片（５・６）と、石匙破片２点（１・２）、半円状偏平打製石器破片２点（４・５）が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　58 土坑（第220図）

《位　置》　ＮＬ58、ＮＭ58グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径2.06ｍ、短径1.95ｍ、深さ15㎝、底面長径1.80ｍ、短径1.59ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。炭化物が混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　ほぼ平坦である。柱穴様ピットを２カ所検出した。

《遺　物》　底面から土器片と小礫が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　59 土坑（第221図）

《位　置》　ＮＭ57グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径2.97ｍ、短径2.19ｍ、深さ40㎝、底面長径2.56ｍ、短径1.96ｍ。

《平面形》　隅丸長方形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　14層に分層した。炭化物を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。柱穴様ピットを４カ所検出した。

《遺　物》　底面から土器片３点（１～３）と、掻器１点（４）、くぼみ石３点（５～７）のほか礫20点が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　66 土坑（第221図）

《位　置》　ＮＭ55グリッドに位置する。

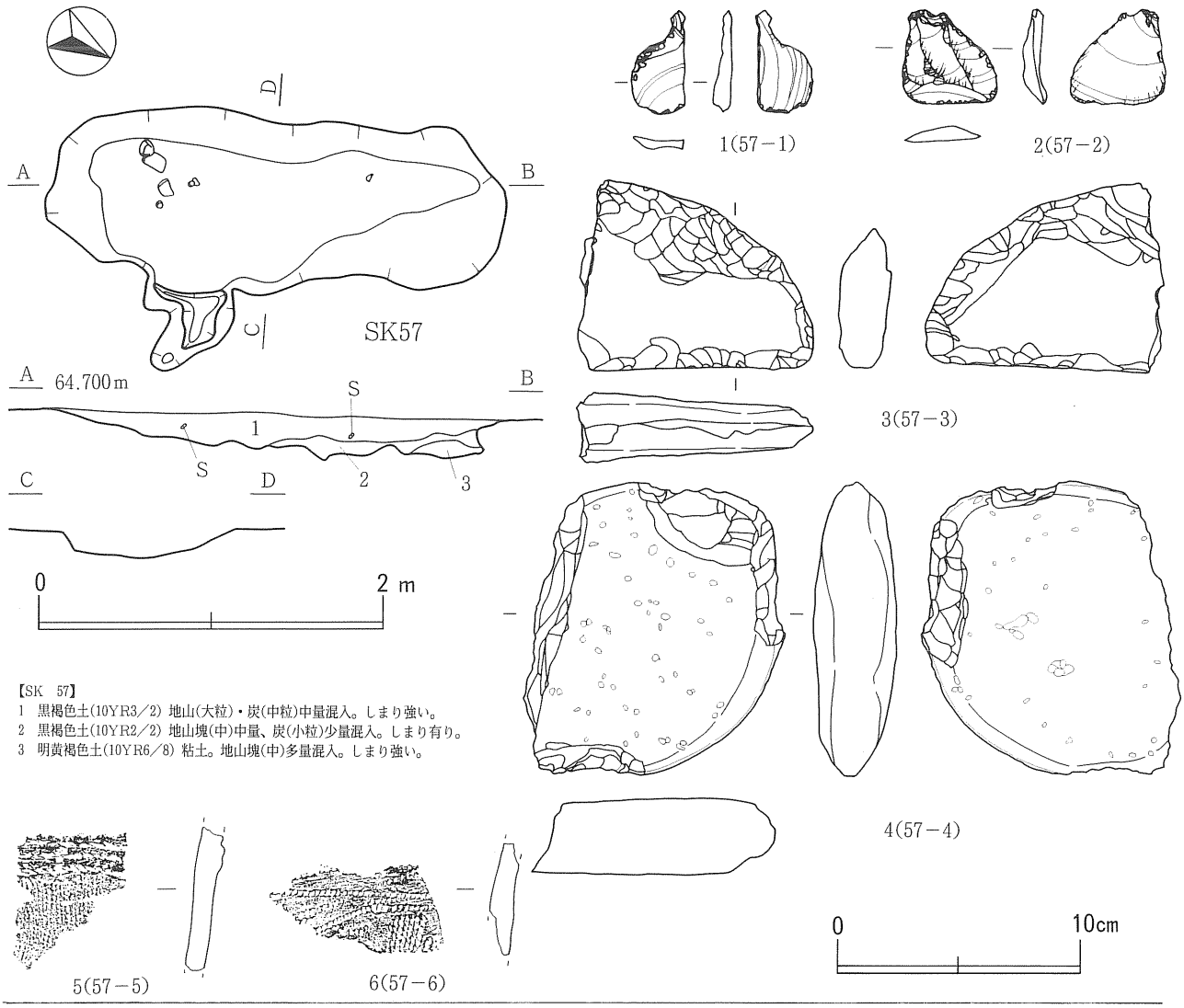
《確　認》　黒色土の不整な落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

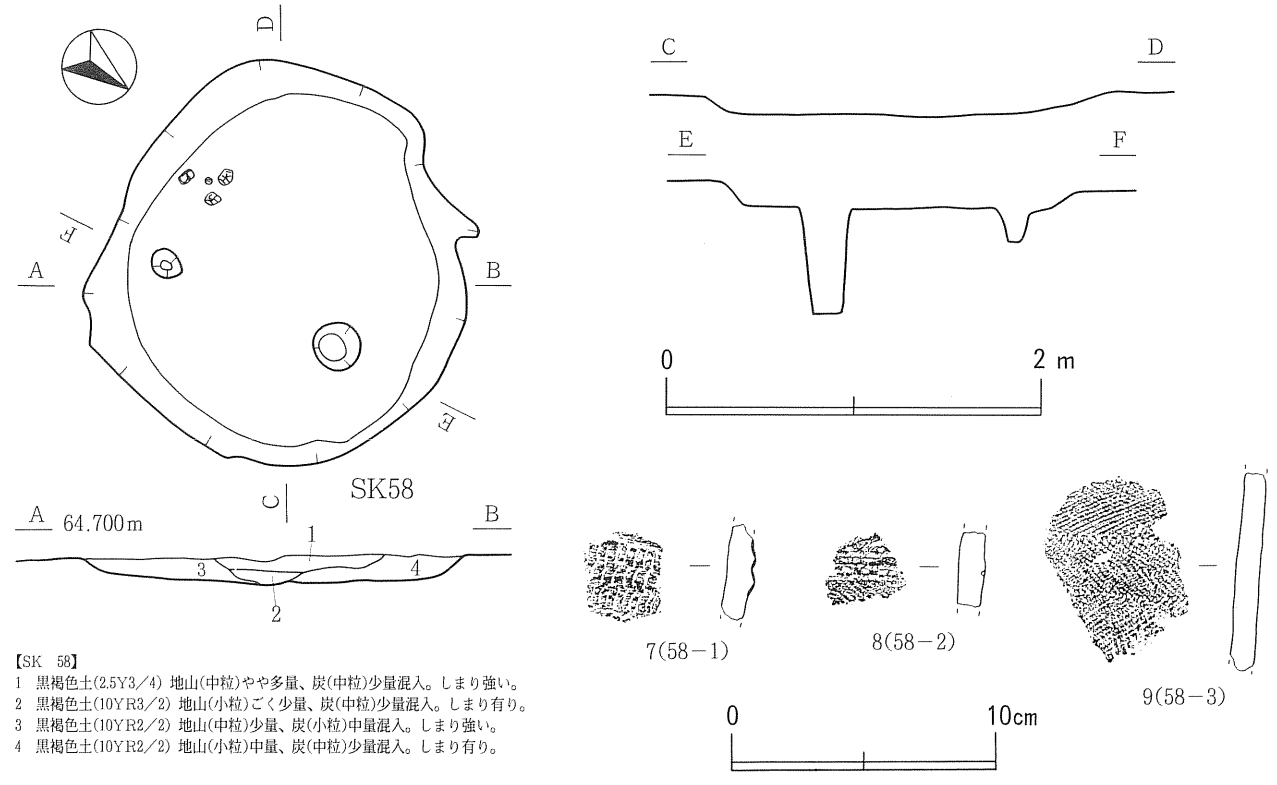
《規　模》　開口部長径1.43ｍ、短径1.20ｍ、深さ21㎝、底面長径1.23ｍ、短径0.68ｍ。

《平面形》　不整な三角形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。



【SK　57】
1　黒褐色土(10YR3／2) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり強い。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山塊(中)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3　明黄褐色土(10YR6／8) 粘土。地山塊(中)多量混入。しまり強い。



【SK　58】
1　黒褐色土(2.5Y3／4) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
2　黒褐色土(10YR3／2) 地山(小粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)少量、炭(小粒)中量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(10YR2／2) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。

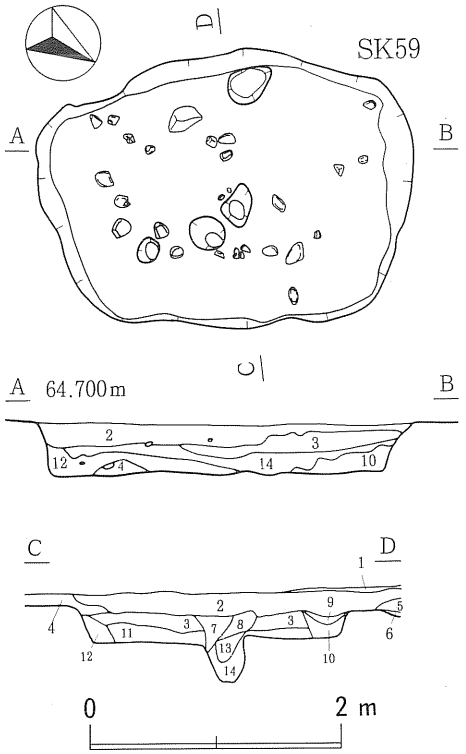
第220図　SK 57・SK 58 土坑とその出土遺物

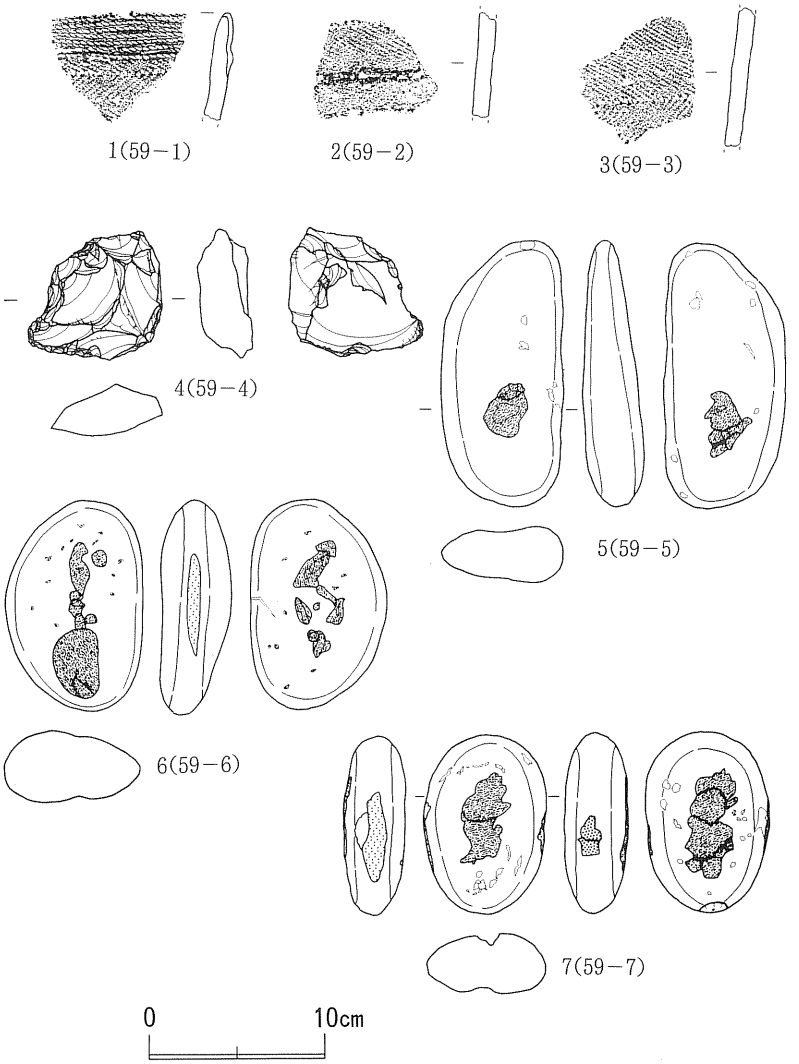
《埋　土》　４層に分層した。炭化物を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸がある。小ピットを３カ所検出した。
《遺　物》　底面から土器片３点と、石器剥片１点、石皿破片１点が出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　72 土坑（第222図、図版169）
《位　置》　ＮＤ62グリッドに位置する。
《確　認》　土壙墓と重複する暗褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＫＳ 71 土壙墓と重複している。新旧関係は土壙墓よりも新しい。
《規　模》　開口部長径0.63ｍ、短径0.45ｍ、深さ21㎝、底面長径0.41ｍ、短径0.37ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　１層のみ。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　埋土中から土器片２点が出土。
《時　期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

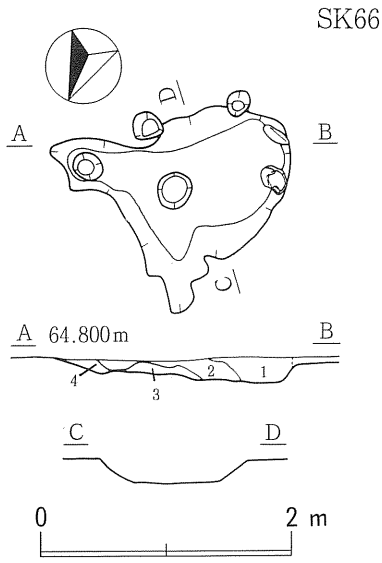
ＳＫ　74・ＳＫ　75 土坑（第222図）
《位　置》　ＮＤ61、ＮＥ61グリッドに位置する。
《確　認》　黄橙色土の落ち込みとして確認した。埋土上部（１～４）は現代の撹乱である。
《重　複》　互いに重複しているが、その新旧関係は不明である。
《規　模》　開口部長径1.37ｍ、短径1.28ｍ、深さ92㎝、底面長径1.18ｍ、短径1.13ｍ。
《平面形》　長方形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　５層に分層したが第１～４層は撹乱。第５層には炭化物が混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　ＳＫ 75の底面から深鉢土器が出土した。
《時　期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

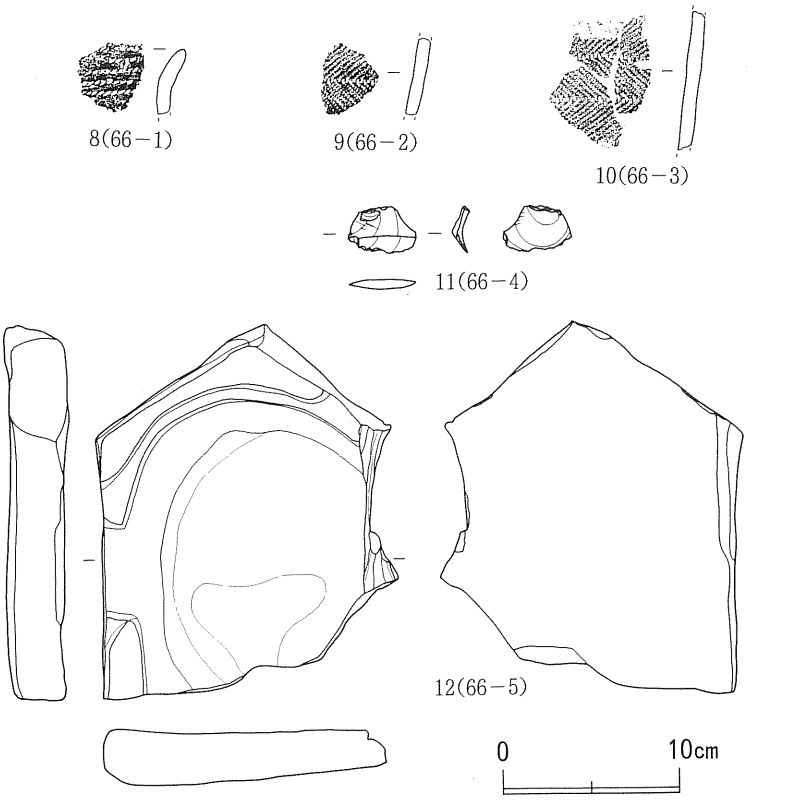
ＳＫ　95 土坑（第222図、図版170）
《位　置》　ＮＧ64・65、ＮＨ64グリッドに位置する。
《確　認》　竪穴住居跡床面に楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＩ 25 竪穴住居跡と重複している。新旧関係は竪穴住居跡が新しい。
《規　模》　開口部長径1.85ｍ、短径1.65ｍ、深さ43㎝、底面長径1.64ｍ、短径1.24ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　住居跡の壁側はオーバーハングしていたが、ビーカー形を呈する。
《埋　土》　２層に分層したが第１層は住居の貼床である。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。





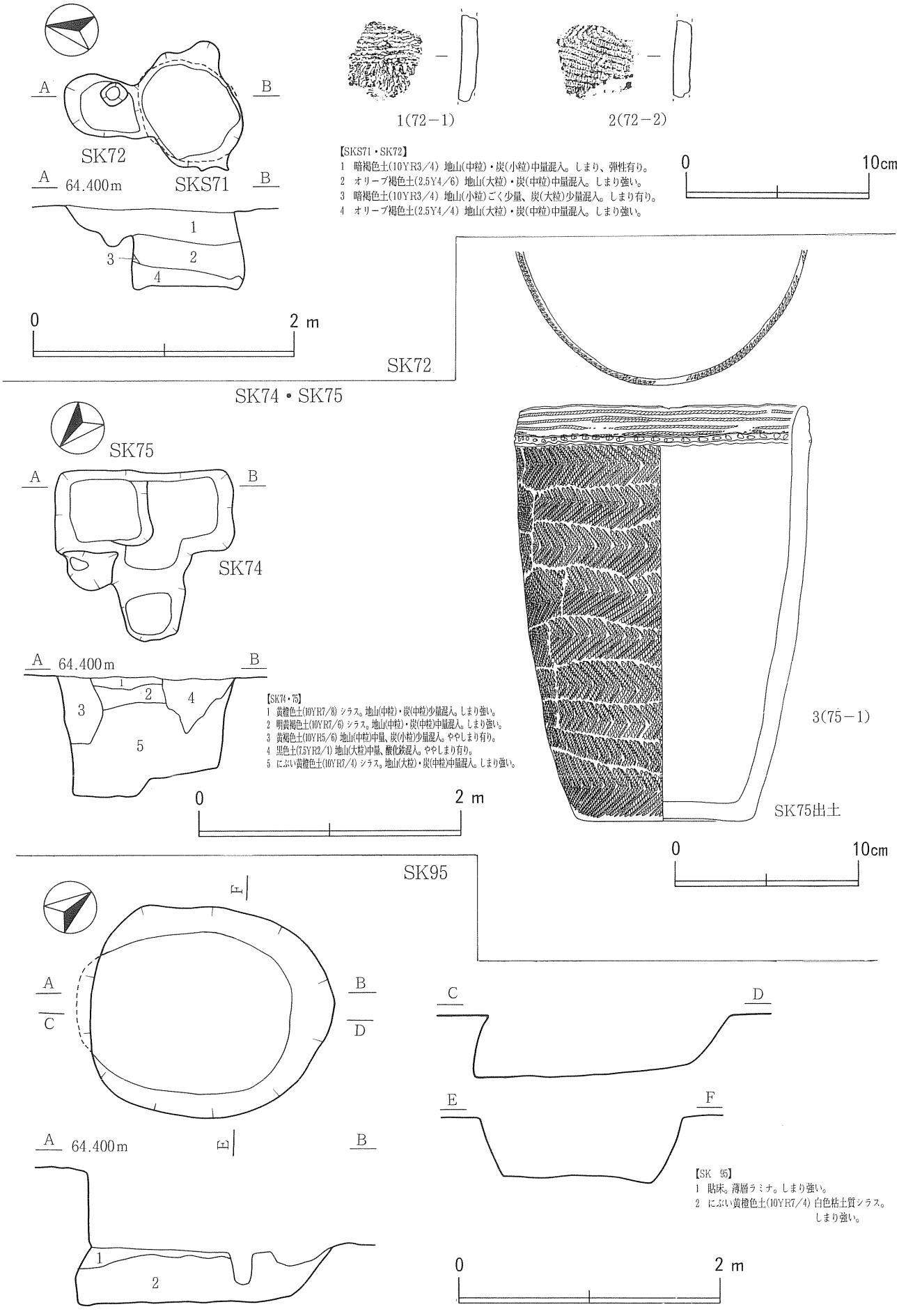
【SK 59】
1　黒色土(7.5YR1.7/1) 地山(中粒)・炭(中粒)少量混入。しまり強い。
2　黒色土(10YR2/1) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。
3　黒色土(10YR1.7/1) 地山(小粒)少量混入。しまり有り。
4　黒色土(10YR2/1) 地山(大粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
5　黒色土(7.5YR2/1) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
6　黄橙色土(10YR7/8) 地山(大粒)ごく少量混入。しまり強い。
7　黒褐色土(10YR3/2) 地山(中粒)やや多量、炭(小粒)少量混入。しまり、弾性有り。
8　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)中量、炭(大粒)少量混入。しまり、弾性有り。
9　明黄褐色土(10YR6/6) 地山塊。しまり強い。
10　黒褐色土(10RY3/2) 地山(中粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
11　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(中粒)多量、炭(大粒)少量混入。しまり、弾性有り。
12　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(大粒)多量、炭(小粒)中量混入。しまり有り。
13　暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 地山(中粒)多量、炭(大粒)少量混入。しまり有り。
14　黒色土(2.5Y2/1) 地山(中粒)・炭(小粒)中量混入。ややしまり有り。





【SK 66】
1　黒色土(10YR2/1) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり強い。
2　黒褐色土(10YR2/2) 地山(大粒)・炭(小粒)中量混入。しまり有り。
3　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山塊(小)多量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(2.5Y3/2) 地山(小粒)ごく少量混入。しまり強い。

第221図　SK 59・SK 66 土坑とその出土遺物



第222図　SK 72・SK 74・SK 75・SK 95 土坑とその出土遺物

《時　期》　竪穴住居跡より古いので、縄文時代前期と思われる。

ＳＫ　113 土坑（第223図）

《位　置》　ＮＴ45グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.98ｍ、短径0.93ｍ、深さ15㎝、底面長径0.84ｍ、短径0.65ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　北側から南側に傾斜していた。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　117 土坑（第223図）

《位　置》　ＮＰ53、ＮＱ53グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.05ｍ、短径0.83ｍ、深さ27㎝、底面長径0.92ｍ、短径0.63ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があり、中央部が窪んでいた。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　118 土坑（第223図）

《位　置》　ＮＯ53グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.92ｍ、短径0.72ｍ、深さ15㎝、底面長径0.83ｍ、短径0.63ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　４層に分層したが自然堆積か人為的な堆積か不明。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

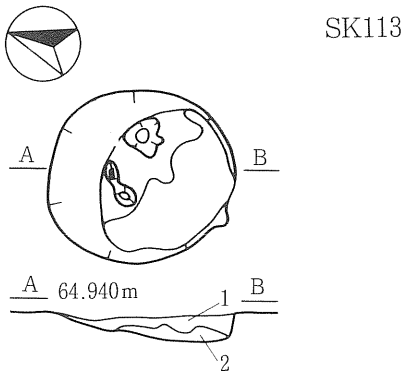
ＳＫ　169 土坑（第223図）

《位　置》　ＮＢ66グリッドに位置する。
《確　認》　斜面縁辺に明黄褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.77ｍ、短径0.84ｍ、深さ16㎝、底面長径1.64ｍ、短径0.84ｍ。
《平面形》　西側部分が崩落•消失しているが円形と思われる。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　１層のみ。
《底　面》　やや凹凸がある。中央部に柱穴様ピット１ヵ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

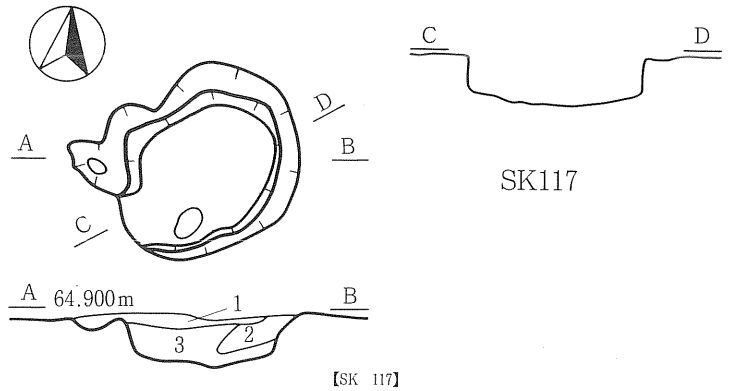
ＳＫ　190 土坑（第223図）
《位　置》　ＭＳ68、ＭＴ68グリッドに位置する。
《確　認》　暗オリーブ褐色土の不整な円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.84ｍ、短径0.82ｍ、深さ6㎝、底面長径0.79ｍ、短径0.71ｍ。
《平面形》　不整な隅丸方形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。
《底　面》　やや凹凸がある。柱穴様ピットがある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　191 土坑（第223図）
《位　置》　ＭＳ68グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　複》　柱穴様ピットと重複する。ピットが新しい。
《規　模》　開口部長径0.72ｍ、短径0.71ｍ、深さ22㎝、底面長径0.69ｍ、短径0.60ｍ。
《平面形》　不整な円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　５層に分層したが第２•５層はピットの埋土。
《底　面》　西側から東側に傾斜していた。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

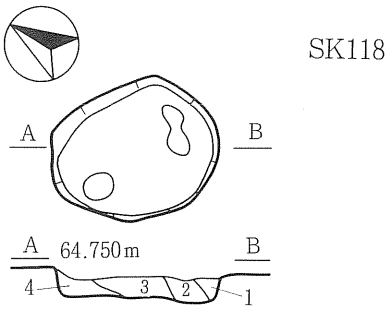
ＳＫ　192 土坑（第224図）
《位　置》　ＭＳ68グリッドに位置する。
《確　認》　暗オリーブ褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　柱穴様ピットと重複する。ピットが新しい。



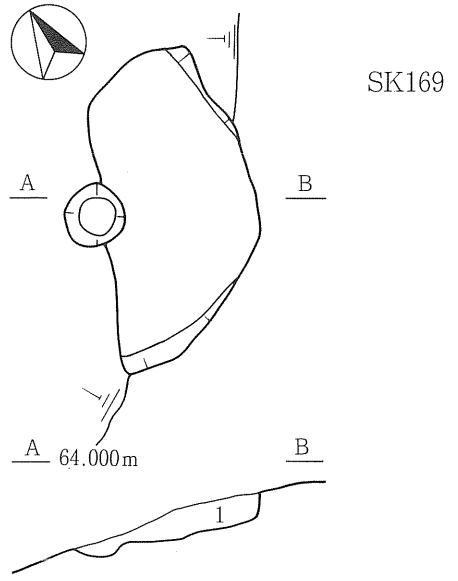
【SK 113】
1 黒色土(10YR1.7／1) 地山(小粒)ごく少量混入。しまり強い。
2 オリーブ褐色土(2.5YR4／3) 地山(中粒)中量混入。しまり強く、粘性有り。



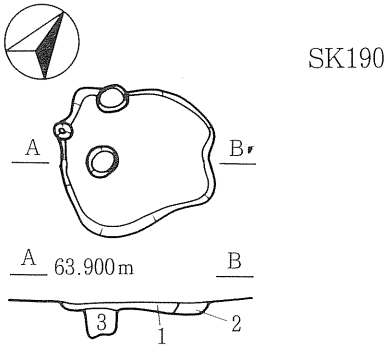
【SK 117】
1 黒褐色土(10YR2／2) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
2 黒色土(10YR2／1) 地山(大粒)少量混入。しまり有り。
3 黒褐色土(10YR2／2) 地山(大粒)中量混入。しまり有り。



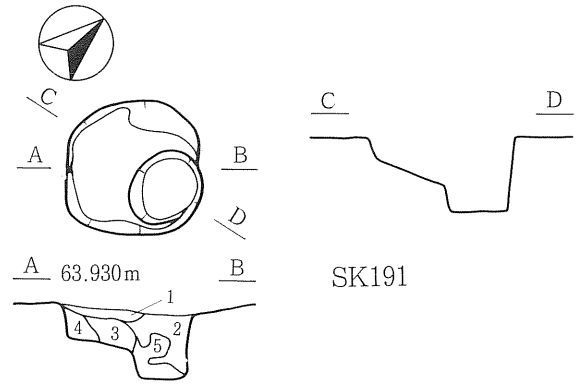
【SK 118】
1 黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)少量混入。ややしまり有り。
2 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(大粒)多量混入。ややしまり有り。
3 黒褐色土(10YR2／2) 地山(大粒)中量混入。ややしまり有り。
4 黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)ごく少量混入。しまり有り。



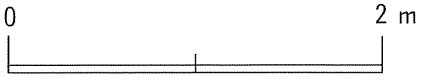
【SK 169】
1 明黄褐色土(10YR6／6) 地山(大粒)中量混入。しまり有り。



【SK 190】
1 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
2 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(小粒)・炭(小粒)少量混入。しまり有り。
3 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。



【SK 191】
1 黄橙色土(10YR7／8) 地山塊。しまり強い。
2 黒褐色土(10YR3／2) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
3 黄色土(2.5Y7／8) しまり強い。
4 明黄褐色土(2.5Y7／8) しまり強い。
5 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。



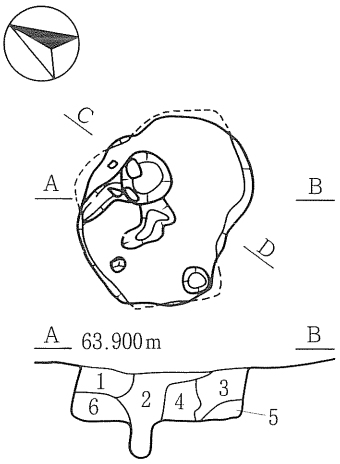
第223図　SK 113・SK 117・SK 118・SK 169・SK 190・SK 191 土坑

《規　模》　開口部長径1.04ｍ、短径0.79ｍ、深さ29㎝、底面長径0.97ｍ、短径0.74ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　壁面は土圧のためかオーバーハングしていた。
《埋　土》　６層に分層したが、第２層はピットの埋土である。
《底　面》　ほぼ平坦である。小さなピットを検出した。
《遺　物》　埋土中からの同一個体と思われる土器片が出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

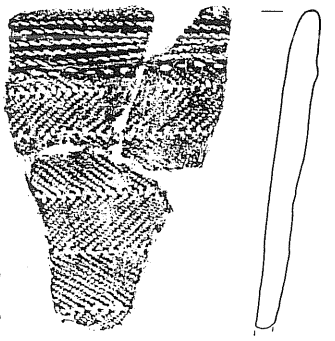
ＳＫ　195 土坑（第224図）
《位　置》　ＭＲ68グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　柱穴様ピットと重複する。新旧関係は不明。
《規　模》　開口部長径1.00ｍ、短径0.80ｍ、深さ18㎝、底面長径0.81ｍ、短径0.67ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸がある。小さなピットを３カ所検出した。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　198 土坑（第224図）
《位　置》　ＭＱ69･70グリッドに位置する。
《確　認》　褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.89ｍ、短径0.71ｍ、深さ36㎝、底面長径0.66ｍ、短径0.43ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

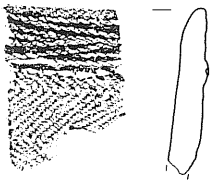
ＳＫ 205 土坑（第225図）
《位　置》　ＭＲ71、ＭＳ71グリッドに位置する。
《確　認》　オリーブ褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.75ｍ、短径1.57ｍ、深さ36㎝、底面長径1.64ｍ、短径1.47ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。



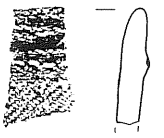
【SK 192】
1 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(小粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
2 黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(中粒) 中量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。
3 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり有り。
4 黄橙色土(10YR8／8) しまり強い。
5 明黄褐色土(10YR7／6) しまり強い。
6 明黄褐色土(10YR6／8) しまり強い。



1(192－1)



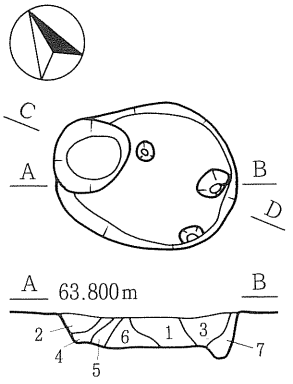
2(192－2)



3(192－3)

0　2 m　0　10cm

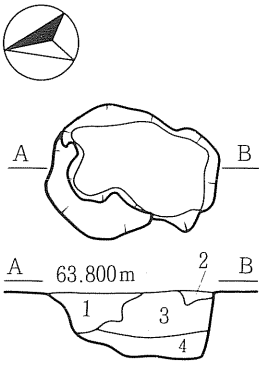
SK192



【SK 195】
1 黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
2 黒褐色土(10YR3／1) 地山(小粒)少量混入。しまり有り。
3 黒色土(10YR2／1) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
4 黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)中量混入。しまり有り。
5 黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(小粒)少量混入。しまり有り。
6 黒色土(2.5Y2／1) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
7 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)少量混入。しまり有り。

0　2 m

SK195



【SK 198】
1 オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。ややしまり有り。
2 黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(小粒)ごく少量混入。ややしまり有り。
3 明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。ややしまり有り。
4 オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(中粒)ごく少量、炭(中粒)少量混入。しまり有り。

0　2 m

SK198

第224図　SK 192・SK 195・SK 198 土坑とその出土遺物

《埋　土》　８層に分層した。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦で、中央部に柱穴様ピットを１カ所、南側の壁際には小ピットを１カ所検出した。

《遺　物》　埋土中から土器片１点と、半円状偏平打製石器破片１点が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫ　207 土坑（第225図）

《位　置》　ＭＮ72･73グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.69ｍ、短径1.47ｍ、深さ14.3㎝、底面長径1.58ｍ、短径1.54ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　９層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　埋土中から土器片１点と微小剥離痕のある石器剥片２点、磨製石斧破片１点が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　246 土坑（第226図）

《位　置》　ＭＲ71･72グリッドに位置する。

《確　認》　平安時代のＳＩ121 竪穴住居跡の貼床面に円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　平安時代のＳＩ121 竪穴住居跡と重複していた。本土坑が古い。

《規　模》　開口部長径1.29ｍ、短径1.24ｍ、深さ24㎝、底面長径1.13ｍ、短径0.99ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　５層に分層したが第１層は住居跡の貼床である。地山の塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピットを１カ所、南東壁際に小ピットを１カ所検出した。

《遺　物》　埋土中から土器片１点と石器剥片２点が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　255 土坑（第226図）

《位　置》　ＭＯ75･76グリッドに位置する。

《確　認》　縄文時代前期のＳＩ 141 竪穴住居跡の床面で確認した。

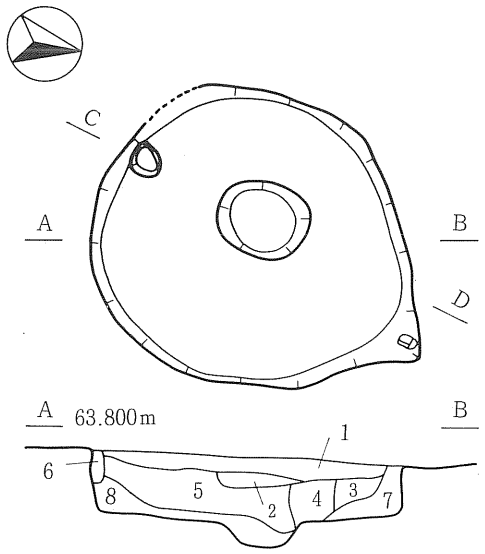
《重　複》　ＳＩ 141 竪穴住居跡と重複していた。新旧関係は不明である。

《規　模》　開口部長径1.36ｍ、短径1.21ｍ、深さ11㎝、底面長径1.25ｍ、短径1.05ｍ。

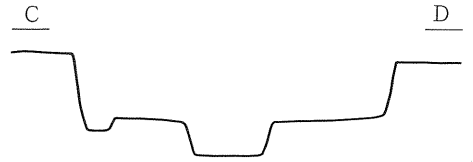
《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

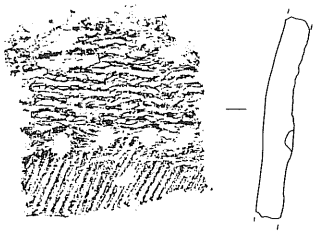
《埋　土》　掘り過ぎたため確認できなかった。



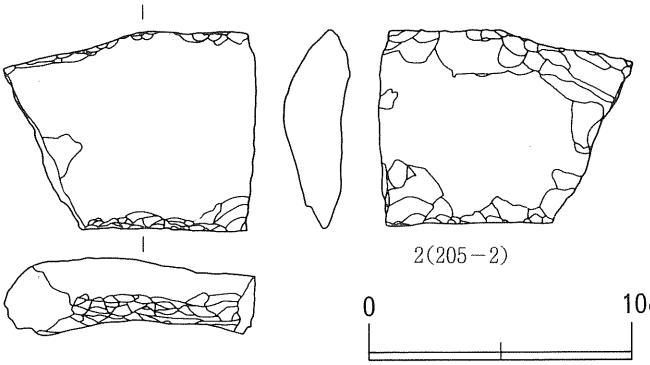
【SK　205】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(中粒)中量混入。しまり強い。
2　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)やや多量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
3　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)中量、地山塊(小)混入。しまり強い。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山(大粒)中量混入。しまり強い。
5　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(大粒)多量混入。しまり強い。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
7　暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 地山(中粒)中量、炭(小粒)少量混入。しまり強い。
8　褐色土(10YR4／4) 地山(中粒)・炭(大粒)少量混入。しまり強い。



S K205



1(205－1)

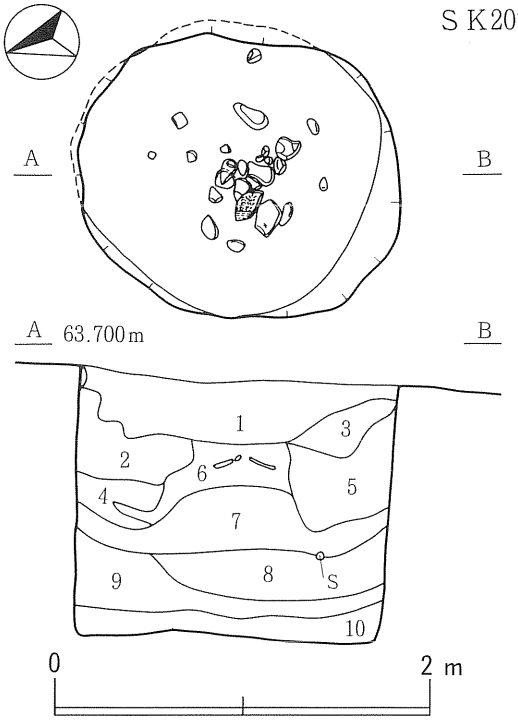


2(205－2)

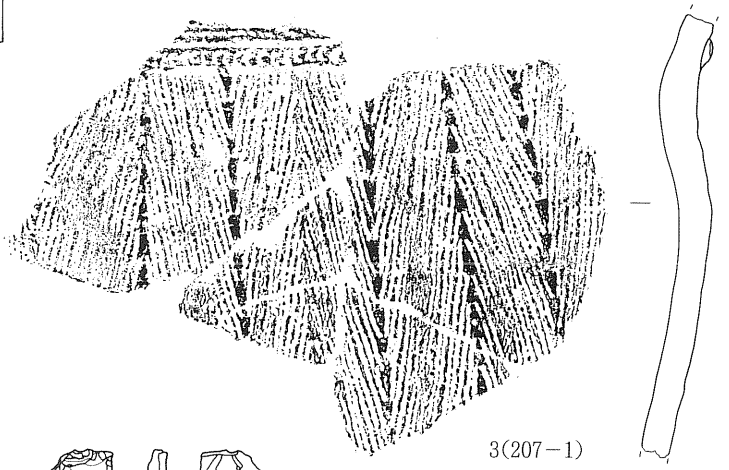
0　10cm

0　2 m

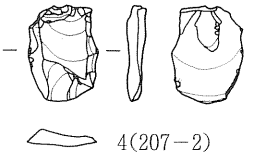
S K207



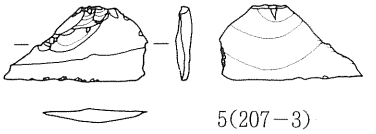
【SK　207】
1　暗褐色土(10YR3／3) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
2　明黄褐色土(10YR6／6) シラス。しまり有り。
3　2に同じ。
4　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。炭(中粒)少量混入。しまり強い。
5　4に同じ。
6　黒褐色土(10YR2／2) 地山(大粒)・炭(中粒)中量混入。しまり有り。
7　黄褐色土(2.5Y5／5) 地山(中粒)やや多量、炭(大粒)中量混入。しまり有り。
8　にぶい黄色土(2.5Y6／4) シラス。炭(中粒)少量混入。しまり有り。
9　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。しまり強い。
10　地山。



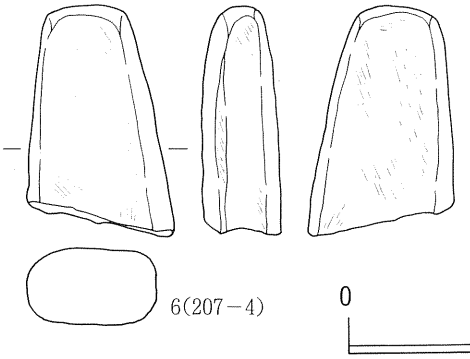
3(207－1)



4(207－2)



5(207－3)



6(207－4)

0　10cm

第225図　SK 205・SK 207 土坑とその出土遺物

《底　面》　わずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　埋土中から土器片１点、礫１点が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　256 土坑（第227図）

《位　置》　ＭＯ76•77グリッドに位置する。

《確　認》　縄文時代前期のＳＩ 141 竪穴住居跡の床面で確認した。

《重　複》　ＳＩ 141 竪穴住居跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

《規　模》　開口部長径1.64ｍ、短径1.52ｍ、深さ11㎝、底面長径1.44ｍ、短径1.34ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　掘り過ぎたため確認できなかった。

《底　面》　やや凹凸がある。中央部に柱穴様ピットが１ヵ所ある。

《遺　物》　埋土中から土器片１点出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　258 土坑（第227図）

《位　置》　ＭＮ76•77、ＭＯ76•77グリッドに位置する。

《確　認》　縄文時代前期のＳＩ141 竪穴住居跡の床面でオリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。

《重　複》　ＳＩ 141 竪穴住居跡と重複していた。新旧関係は本土坑が古い。

《規　模》　開口部長径2.44ｍ、短径2.37ｍ、深さ41㎝、底面長径2.02ｍ、短径1.86ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　９層に分層した。地山粒を多く混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピット１ヵ所ある。

《遺　物》　底面から深鉢土器底部破片１点と同一個体と思われる土器片１点、半円状偏平打製石器破片１点が出土した。

《時　期》　出土した土器底部破片等から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　282 土坑（第228図）

《位　置》　ＮＰ47•48グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の不整な落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径3.37ｍ、短径2.32ｍ、深さ15㎝、底面長径2.57ｍ、短径1.91ｍ。

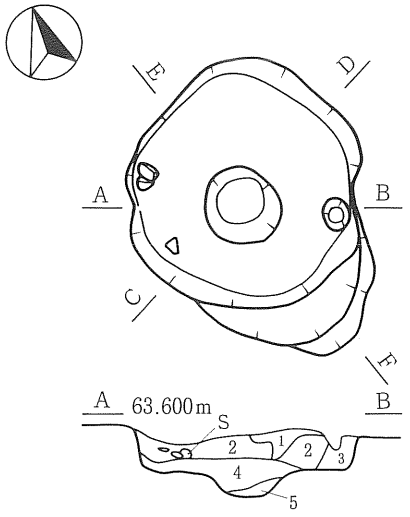
《平面形》　不整形である。

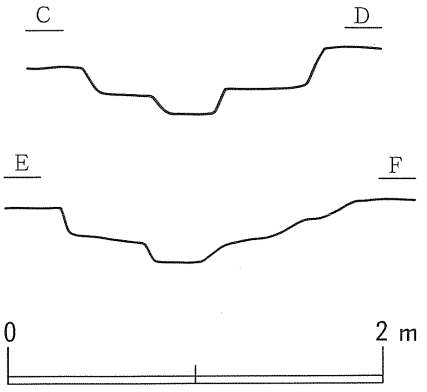
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

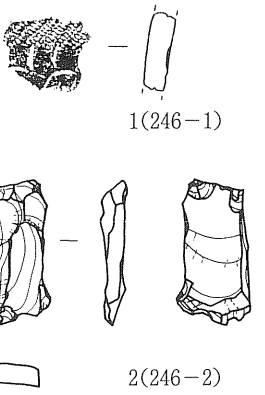
《埋　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　凹凸がある。

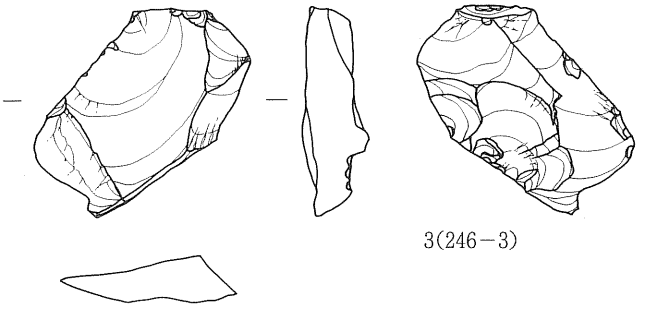
《遺　物》　埋土中から土器片が出土した。

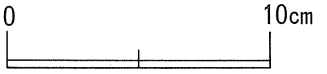






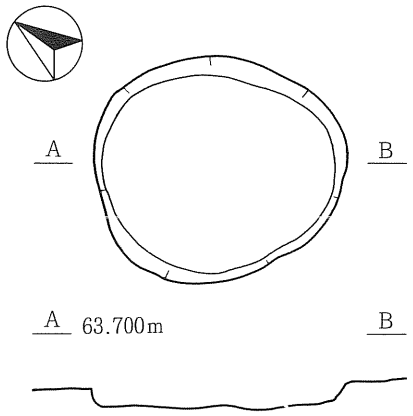
【SK　246】
1　浅黄橙色土(7.5YR8／3)　地山ローム塊(貼床)。
2　明黄褐色土(10YR3／3)　地山ローム塊。
3　浅黄橙色土(7.5YR8／4)　地山ローム塊。
4　明黄褐色土(10YR3／2)　地山塊、黒褐色土混入。
5　灰黄褐色土(10YR4／2)　明黄褐色地山粒混入。

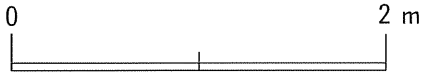


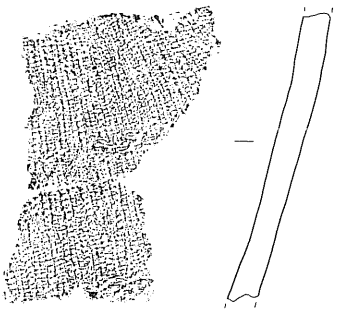


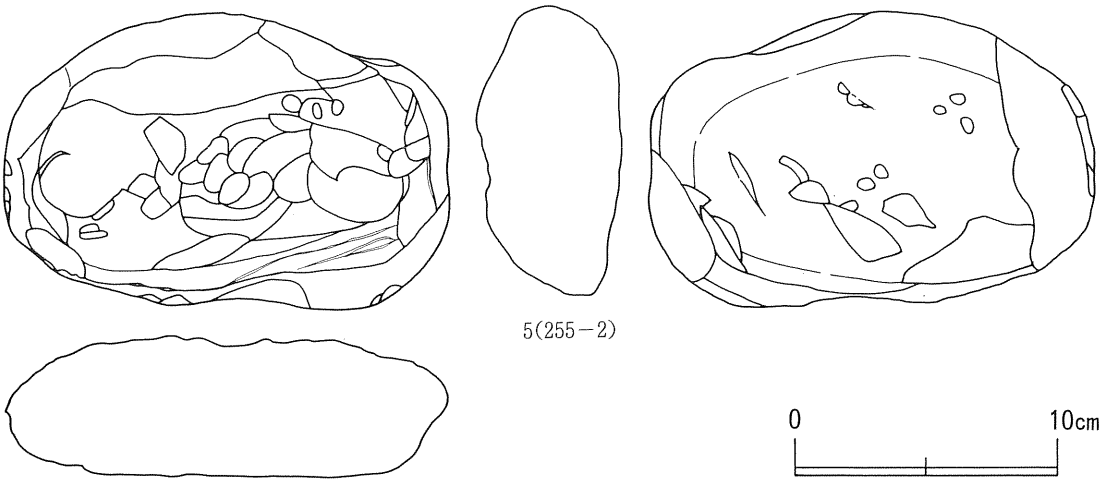
SK246

SK255



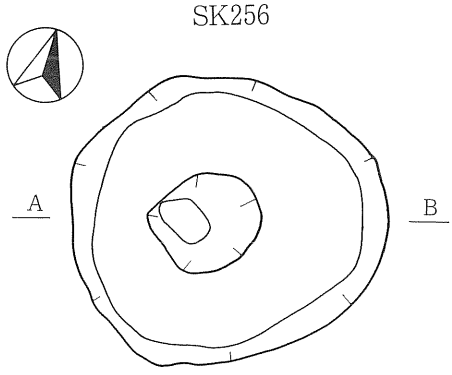


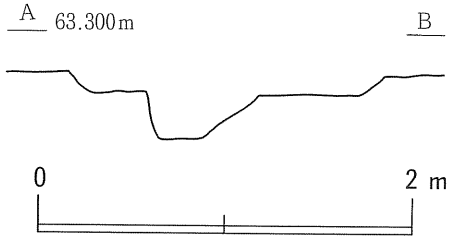


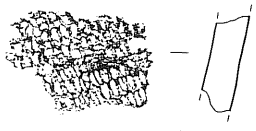


第226図　SK 246・SK 255 土坑とその出土遺物

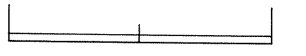
SK256

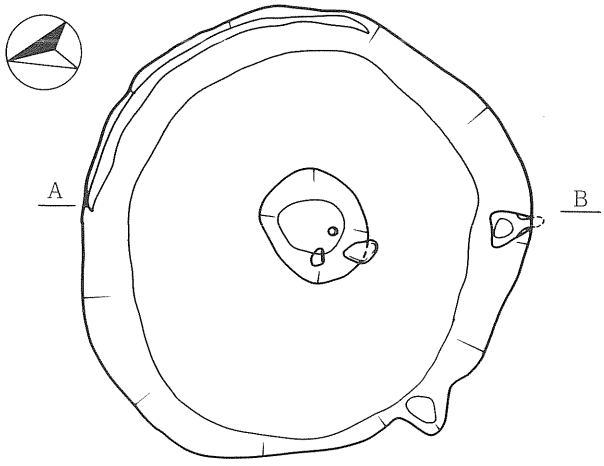


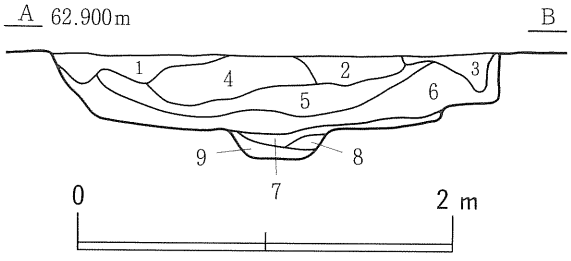




1(256－1)



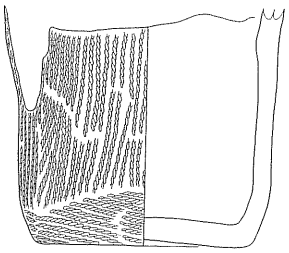




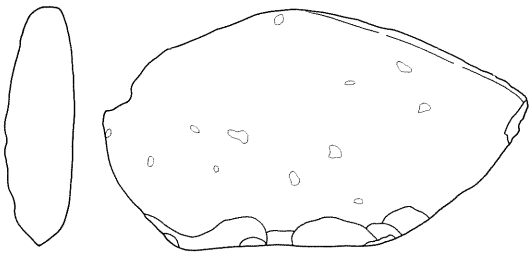
【SK　258】
1　オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 地山(中粒)中量混入。しまり強く、粘性有り。
2　黄褐色土(2.5Y5／4) 地山(中粒)少量混入。しまり強い。
3　オリーブ褐色土(2.5Y4／6) 地山(小粒)中量混入。しまり強い。
4　明黄褐色土(2.5Y6／6) シラス。しまり強い。
5　黄褐色土(2.5Y5／4) 地山(中粒)中量、炭(中粒)少量混入。しまり強い。
6　明黄褐色土(10YR7／6) シラス。しまり強い。
7　明黄褐色土(2.5Y6／6) 地山(小粒)少量混入。しまり有り。
8　明黄褐色土(2.5Y7／6) シラス。しまり強い。
9　黄褐色土(2.5Y5／4) 地山(小粒)ごく少量混入。しまり強い。

SK258

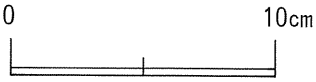
2(258－1)



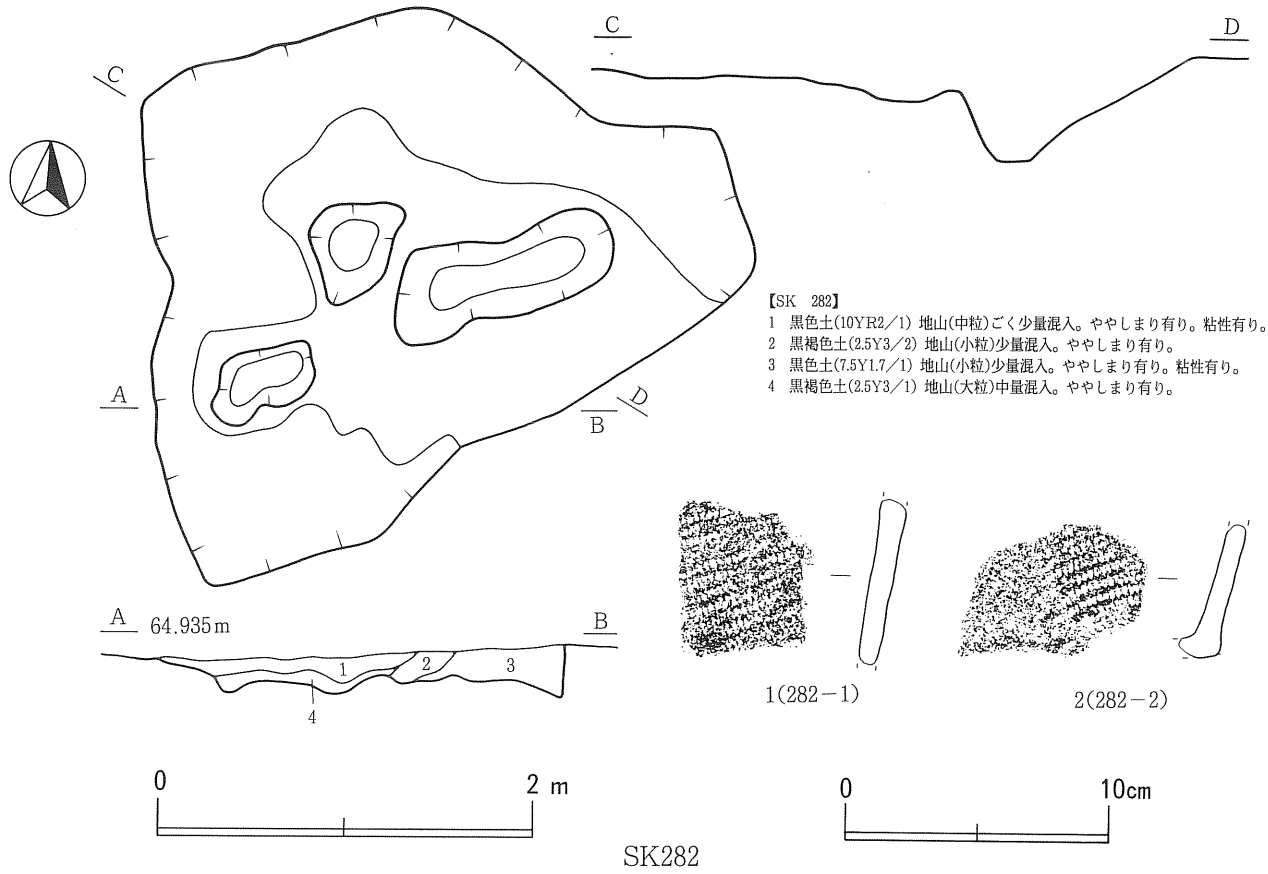
3(258－2)



4(258－3)



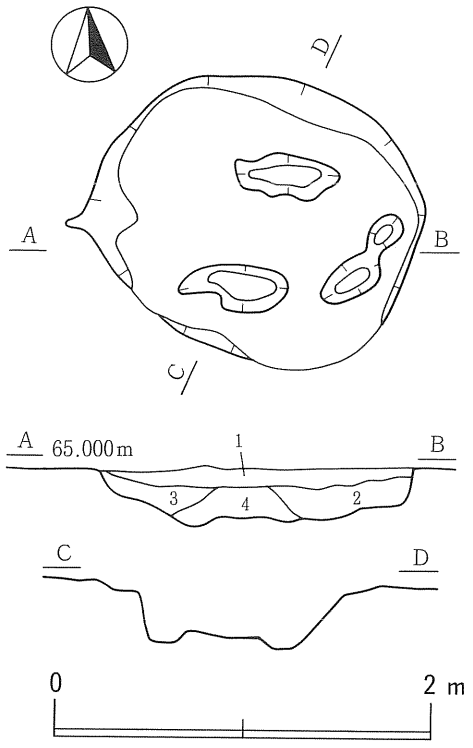
第227図　SK 256・SK 258 土坑とその出土遺物



【SK　282】
1　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)ごく少量混入。ややしまり有り。粘性有り。
2　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。
3　黒色土(7.5Y1.7／1) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り。粘性有り。
4　黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(大粒)中量混入。ややしまり有り。

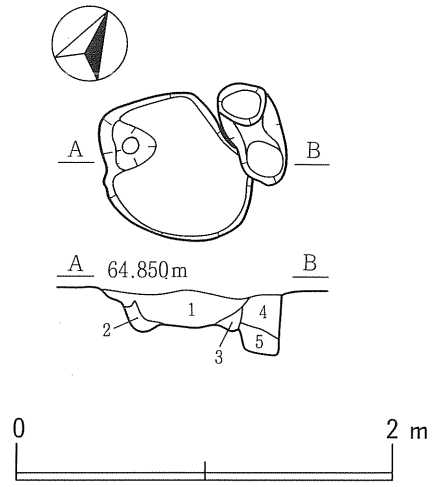
SK282

SK283



【SK　283】
1　黒褐色土(2.5Y3／1) 地山(大粒)ごく多量混入。ややしまり有り。
2　黒色土(10YR2／1) 地山(大粒)少量混入。
3　黒色土(2.5Y2／1) 地山塊(小)中量混入。しまり有り。
4　オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 地山塊(小)多量混入。ややしまり有り。

SK285



【SK　285】
1　黒色土(10YR2／1) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山(大粒)多量混入。ややしまり有り。
3　黒褐色土(2.5Y3／2) 地山(小粒)多量混入。ややしまり有り。
4　黒色土(7.5YR2／1) 地山(小粒)少量混入。ややしまり有り、粘性有り。
5　黒色土(10YR2／1) 地山(大粒)ごく少量混入。しまり有り。

第228図　SK 282・SK 283・SK 285 土坑とその出土遺物

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　283 土坑（第228図）

《位　置》　ＯＡ47グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.73ｍ、短径1.48ｍ、深さ27㎝、底面長径1.61ｍ、短径1.22ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。地山粒を多く混入する。

《底　面》　凹凸がある。３カ所の細長い窪みがある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　285 土坑（第228図）

《位　置》　ＮＯ53･54グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　柱穴様ピットと重複する。本土坑が古い。

《規　模》　開口部長径0.83ｍ、短径0.70ｍ、深さ19㎝、底面長径0.77ｍ、短径0.64ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　５層に分層したが、第４・５層は柱穴ピットの埋土である。地山粒を多く混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。西側壁際に小ピットが１カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　303 土坑（第229図）

《位　置》　ＮＱ28グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.35ｍ、短径0.84ｍ、深さ12㎝、底面長径1.22ｍ、短径0.50ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

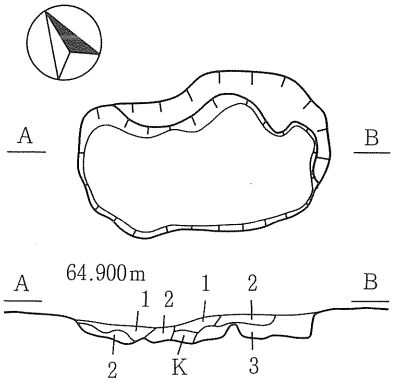
《埋　土》　３層に分層した。地山粒を多く混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　凹凸が激しい。

《遺　物》　なし。

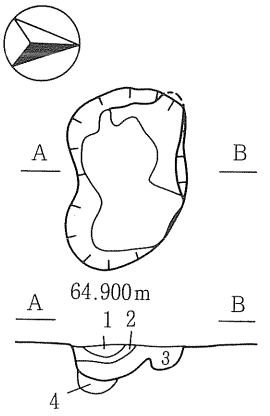
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　305 土坑（第229図）



【SK 303】
1　黒褐色土(10YR3／3) シルト。地山粒を多量に含む。しまりあり。
2　暗褐色土(10YR3／3) シルト。地山粒、同小ブロックを多く含む。しまりあり。
3　暗黄褐色土(10YR6／8) シルト。地山ブロックを多量に含む。しまりあり。
K　攪乱

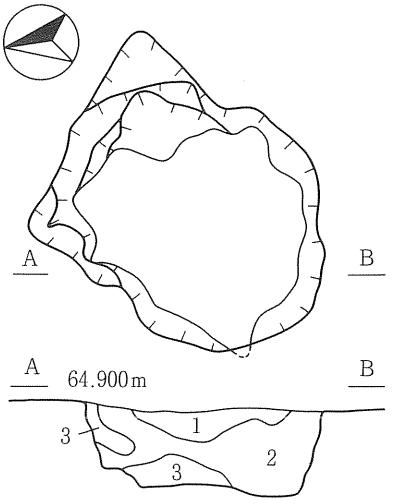
SK303



【SK 305】
1　黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒少量混入。しまりあり。
2　黒褐色土(10YR3／1) シルト。地山粒少量混入。しまりあり。
3　黒褐色土(10YR3／1) シルト。地山粒、同ブロック混入。しまり、粘性あり。
4　明黄褐色土(10YR6／6) 粘土。掘りすぎ部分。地山。

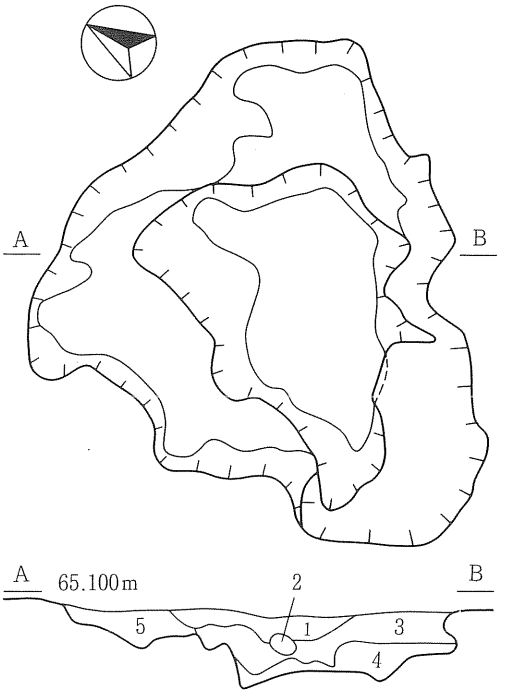
SK305

SK311



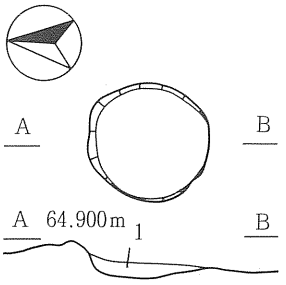
【SK 311】
1　黒色土(10YR2／1) シルト。大小の地山ブロックを多量に含む。ややしまりなし。
2　明黄褐色土(10YR6／8) シルト。地山粒と地山ブロックのみの層。しまり無し。ブロックは硬く、地山粒部分は脆い。
3　黄褐色土(10YR5／6) シルト。地山ブロック層で黒色土を多く含む。ややしまりあり。

SK316

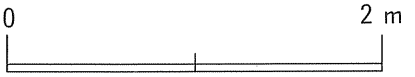


【SK 316】
1　黒色土(10YR2／1) シルト。地山粒多い。下部に同小ブロック少量混入。しまり強い。
2　明黄褐色土(10YR6／8) シルト。地山二次堆積層。極めて硬質。
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シルト。地山ブロックが全体に含まれる。しまり弱い。
4　にぶい黄褐色土(10YR4／3) シルト～粘土。地山粒多量、地山塊混入。しまり弱く、粘性なし。
5　暗褐色土(10YR3／3) シルト。地山粒・地山塊(多量)混入。しまり弱く、粘性なし。

SK313



【SK 313】
1　黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒少量、同小ブロックを含む。粘性、しまり無し。



第229図　SK 303・SK 305・SK 311・SK 313・SK 316 土坑

《位　置》　ＮＰ28グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.97ｍ、短径0.60ｍ、深さ18㎝、底面長径0.67ｍ、短径0.41ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。地山粒を多く混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　311 土坑（第229図）
《位　置》　ＮＰ31グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.62ｍ、短径1.26ｍ、深さ42㎝、底面長径1.21ｍ、短径0.97ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒を多く混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　313 土坑（第229図、図版170）
《位　置》　ＮＰ23･24グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.68ｍ、短径0.62ｍ、深さ10㎝、底面長径0.61ｍ、短径0.58ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　１層のみ。地山粒を混入する。
《底　面》　ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

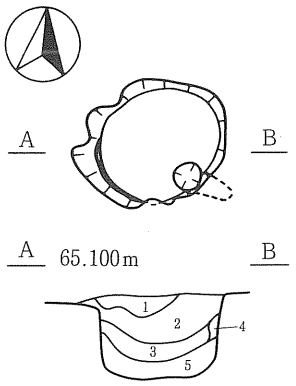
ＳＫ　316 土坑（第229図）
《位　置》　ＮＮ1･2、ＮＯ1グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径2.60ｍ、短径1.91ｍ、深さ32㎝、底面長径1.39ｍ、短径0.72ｍ。
《平面形》　不整形である。
《断面形》　不整な掘り込みである。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒･塊を多く混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　凹凸が激しい。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　317 土坑（第230図）
《位　置》　ＮＮ1･2グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.82ｍ、短径0.76ｍ、深さ45㎝、底面長径0.66ｍ、短径0.58ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　330 土坑（第230図）
《位　置》　ＮＧ11･12グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.39ｍ、短径1.27ｍ、深さ64㎝、底面長径1.17ｍ、短径1.15ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　袋状を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

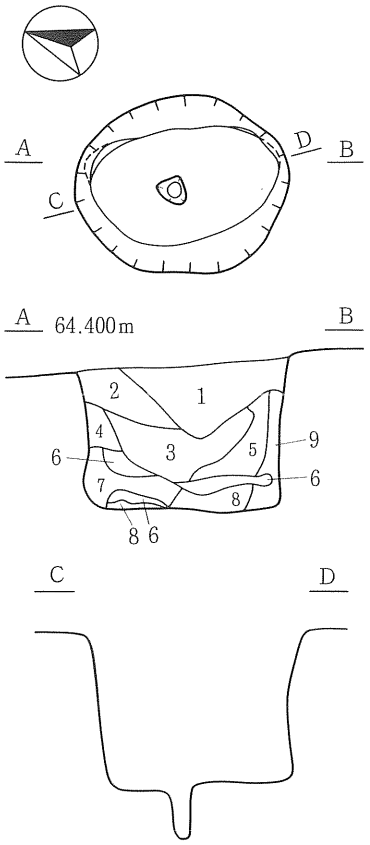
ＳＫ　332 土坑（第230図）
《位　置》　ＮＨ15･16グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.14ｍ、短径0.96ｍ、深さ78㎝、底面長径0.99ｍ、短径0.59ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。



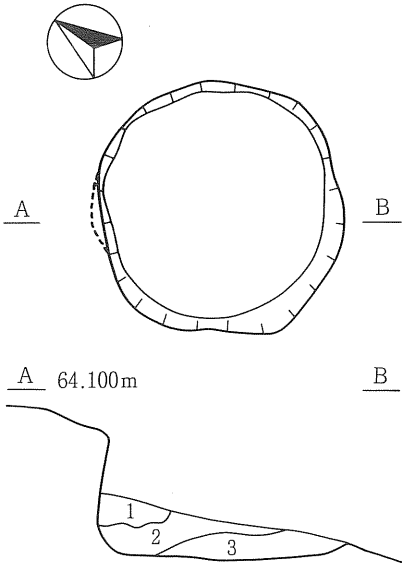
【SK 317】
1 黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒をほとんど含まない。
2 黒褐色土(10YR2/2) シルト。地山粒、同ブロックを少量含む。しまりあり。
3 黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒少ない。しまり良い。粘性あり。
4 黒褐色土(10YR2/3) シルト。地山粒やや多い。しまりやや悪い。
5 黒色土(10YR1.7/1) シルト。地山粒少し含む。硬質。粘性あり。

SK317

SK332



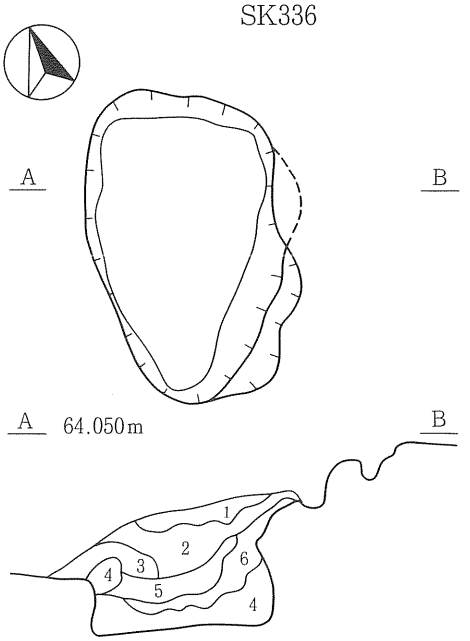
【SK 332】
基本的に人為的堆積と考えられる。
1 黒褐色土(10YR2/3) 下位ほど地山粒子やや多くなる。
2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 地山粒子を主とする層。
3 褐色土(10YR4/4) 地山粒子を主とする層。
4 暗褐色土(10YR3/3)。
5 明黄褐色土(10YR7/6) 地山二次堆積を主とする土。
6 黄橙色土(10YR7/8) 地山二次堆積土。しまり強い。
7 明黄褐色土(10YR6/6) 5層と同質。
8 黒褐色土(10YR2/2) 地山粒子、少量のみ含む。
9 にぶい黄褐色土(10YR5/4)。
(6層以外は全体にしまり弱い)



【SK 330】
1 明黄褐色土(10YR6/6) 地山二次堆積土。根が入り込んでいる。しまり全体に弱い。
2 黒褐色土(10YR2/3) 1、3層の混合土。根が入り込んでいる。しまり全体に弱い。
3 暗褐色土(10YR3/3) 地山粒やや多く含む。

SK330

SK336



【SK 336】
1 黒褐色土(10YR2/3) シルト。粘性なく、サラサラしている。
2 暗褐色土(10YR3/3) シルト。地山粒、同ブロック混入。しまりあり、粘性なし。
3 にぶい黄褐色土(10YR5/4) シルト～粘土。しまりやや悪く、サラサラしている。
4 にぶい黄橙色土(10YR6/4) 粘土。しまりあり。粘性あまりなし。
5 黒褐色土(10YR3/1) シルト。地山大ブロック多量。しまり、粘性あり。
6 にぶい黄橙色土(10YR5/4) シルト～粘土。地山粒・同ブロック混入。しまりなくサラサラしている。

0　2 m

第230図　SK 317・SK 330・SK 332・SK 336 土坑

《埋　土》　９層に分層した。地山粒を混入する。
《底　面》　ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ 336 土坑（第230図、図版171）
《位　置》　ＮＧ17•18グリッドに位置する。
《確　認》　台地縁辺に黒褐色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.63ｍ、短径1.00ｍ、深さ71㎝、底面長径1.45ｍ、短径0.87ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　土圧のためかオーバーハングしていた。原形はビーカー形と思われる。
《埋　土》　６層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　344 土坑（第231図）
《位　置》　ＮＭ14グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.61ｍ、短径0.55ｍ、深さ17㎝、底面長径0.55ｍ、短径0.45ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　345 土坑（第231図）
《位　置》　ＮＮ12グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　柱穴様ピットと重複する。ピットが新しい。
《規　模》　開口部長径1.11ｍ、短径0.85ｍ、深さ9㎝、底面長径0.86ｍ、短径0.72ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　346 土坑（第231図）

《位　置》　ＮＮ9･10グリッドに位置する。

《確　認》　灰白色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　柱穴様ピットと重複する。ピットが新しい。

《規　模》　開口部長径1.87ｍ、短径1.22ｍ、深さ28㎝、底面長径1.69ｍ、短径1.04ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈し、東側は中華鍋底状にさらに窪む。

《埋　土》　５層に分層した。水成の自然堆積と思われる。

《底　面》　平坦であるが中華鍋底状に東側が窪んでいた。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　348 土坑（第263図）

《位　置》　ＮＨ5･6グリットに位置する。

《確　認》　溝状遺構の精査中に確認した。

《重　複》　現代のＳＤ 318 溝状遺構と重複している。

《規　模》　開口部長径1.43ｍ、短径1.12ｍ、深さ50㎝、底面長径1.16ｍ、短径1.07ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　349 土坑（第231図）

《位　置》　ＮＪ12グリッドに位置する。

《確　認》　高圧鉄塔の基部に黒色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.23ｍ、短径0.72ｍ、深さ17㎝、底面長径1.08ｍ、短径0.53ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。地山粒を混入する。一部撹乱を受けているが自然堆積と思われる。

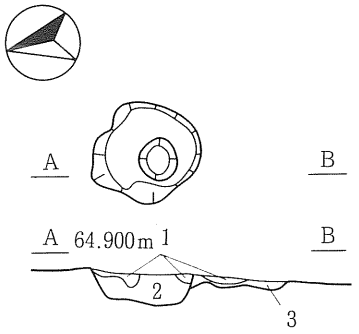
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっていた。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

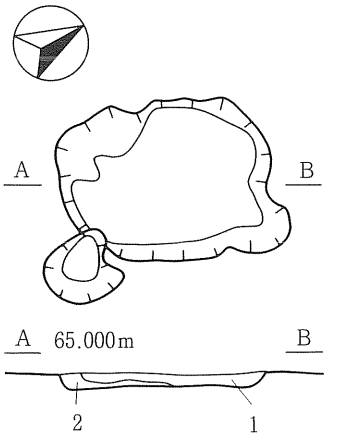
ＳＫ　350 土坑（第232図）

《位　置》　ＮＧ31グリッドに位置する。



【SK 344】
1 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒少し混入。粘性少しあり。ややしまりあり。
2 暗褐色土(10YR3／3) シルト。地山粒多く混入。同ブロックやや多く混入。しまりあり。
3 にぶい黄褐色土(10YR4／3) シルト。地山粒さらに多く混入。しまりあり。粘性ややあり。

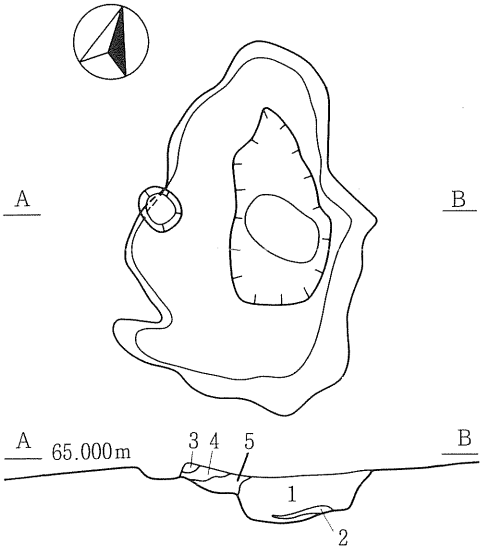
SK344



【SK 345】
1 黒褐色土(10YR3／1) 粘土。しまりややあり。
2 にぶい黄褐色土(10YR5／3) 粘土。ややしまりあり。

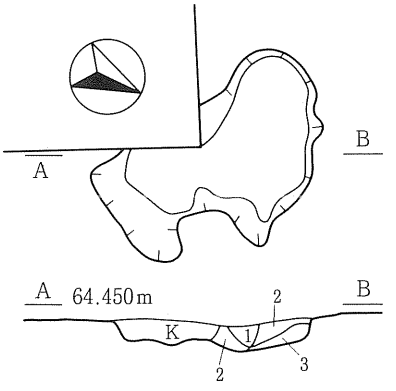
SK345

SK346

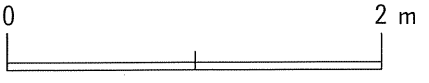


【SK 346】
1 灰白色土(5YR8／1) 粘土。しまりあり。硬質。
2 灰白色土(2.5Y7／1) 粘土。しまりあり。硬質。
3 にぶい黄橙色土(10YR6／3) シルト。しまりあり。粘性あり。
4 黒色土(10YR1.7／1) シルト。しまりあり。粘性あり。
5 にぶい黄橙色土(10YR7／3) シルト～粘土。しまり、粘性あり。
いずれの層も自然の水成堆積の可能性あり。

SK349



【SK 349】
1 黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒少し混入。しまりあり。硬質。
2 黒褐色土(10YR3／1) シルト。地山粒多く混入。しまりあり。
3 褐色土(10YR4／4) シルト。地山粒さらに多く混入。しまりなし。
K 鉄塔の跡



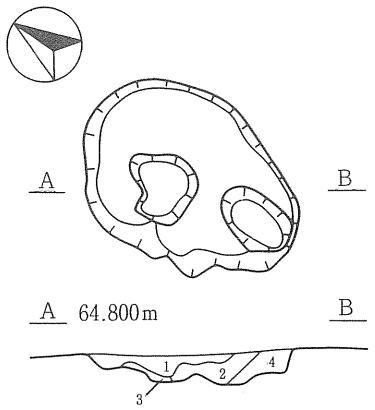
第K231図　SK 344・SK 345・SK 346・SK 349 土坑

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.27ｍ、短径0.98ｍ、深さ16㎝、底面長径1.17ｍ、短径0.80ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。柱穴様ピットが２ヵ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　351 土坑（第232図）
《位　置》　ＮＧ31、ＮＨ31グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.26ｍ、短径0.95ｍ、深さ16㎝、底面長径1.03ｍ、短径0.66ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒を多く混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。柱穴様ピット４ヵ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

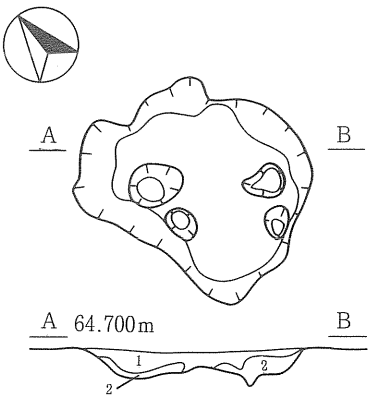
ＳＫ　352 土坑（第232図）
《位　置》　ＮＢ30、ＮＣ30グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.48ｍ、短径1.35ｍ、深さ17㎝、底面長径1.38ｍ、短径1.06ｍ。
《平面形》　不整形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊を多く混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸がある。中央部分には南北方向に溝状の窪みがある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　354 土坑（第232図）
《位　置》　ＮＢ29グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ2.27ｍ、幅1.81ｍ、深さ29㎝、底面長さ1.69ｍ、幅0.89ｍ。



【SK 350】
1 黒色土(10YR2/1) シルト。極少量混入。ややしまりあり。粘りなし。
2 暗褐色土(10YR3/4) シルト～粘土。地山粒多く、同大ブロック、粘土ブロック多く混入。
3 明褐色土(7.5YR5/8) シルト。地山二次堆積層。しまり強く硬質。
4 明黄褐色土(10YR6/8) シルト。地山漸移層。しまり強く硬質。

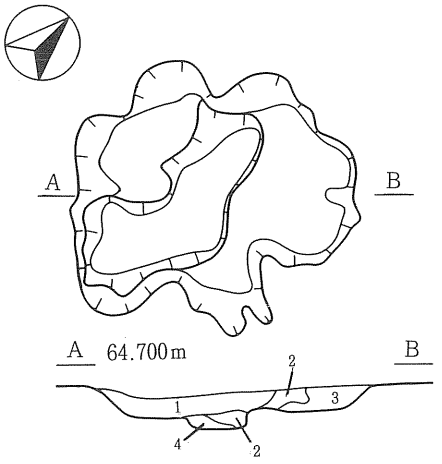
SK350



【SK 351】
1 黒褐色土(10YR2/1) シルト。地山粒多く、同ブロック少し混入。わずかにしまりあり。粘性なし。
2 黄褐色土(10YR5/8) シルト。地山二次堆積。ややしまりあり。粘性なし。

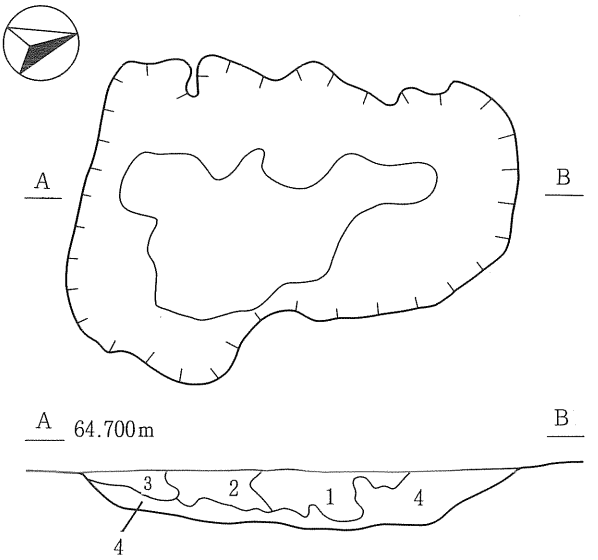
SK351

SK352



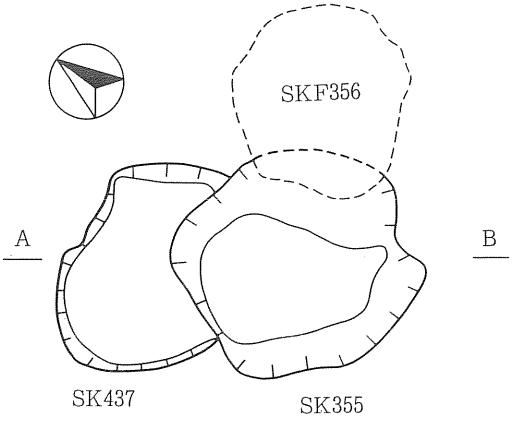
【SK 352】
1 黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒、同ブロック多い。しまり強い。粘りあり。
2 黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒少し混入。しまり強い。粘りあり。
3 褐色土(10YR4/6) シルト。地山粒多量混入。同極小ブロック多い。しまりややあり。粘りなし。
4 黄褐色土(10YR5/8) シルト。地山二次堆積層。しまり強い。粘りややあり。

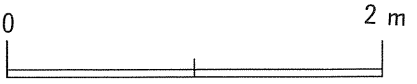
SK354



【SK 354】
1 黒色土(10YR2/1) シルト。地山粒少し混入。しまり強い。やや粘性あり。
2 黒褐色土(10YR2/3) シルト。地山粒少し混入（1層よりわずかに多い)。しまりあり（根による攪乱部分、しまりの弱い部分あり)。やや粘りあり。
3 黒褐色土(10YR3/1) シルト。地山粒と同小ブロックが部分的に集中。ややしまり、粘りあり。
4 黄褐色土(10YR5/8) 地山二次堆積層。しまりあり、強い粘りあり。

SK355・SK437





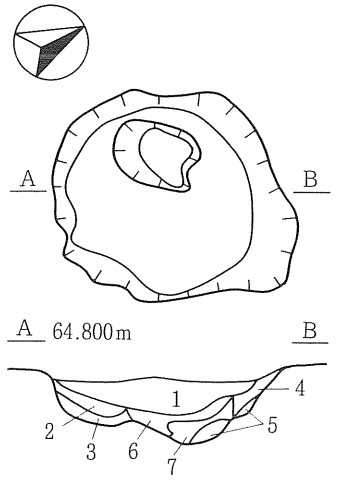
第232図　SK 350・SK 351・SK 352・SK 354・SK 355・SK 437 土坑

《平面形》　不整長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　355 土坑（第232図）
《位　置》　ＮＧ29グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＫ 437 土坑、ＳＫＦ 356フラスコ状土坑と重複しているが新旧関係は不明である。
《規　模》　開口部長径1.13ｍ、短径(推定)0.88ｍ、深さ35㎝、底面長径0.99ｍ、短径(推定) 0.74ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

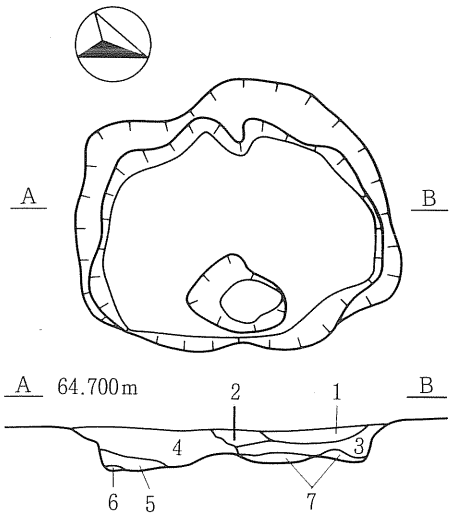
ＳＫ　357 土坑（第233図）
《位　置》　ＮＥ29グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.42ｍ、短径1.19ｍ、深さ36㎝、底面長径1.04ｍ、短径0.88ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　７層に分層した。地山粒•塊を多く混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。西側壁際に楕円形の窪みが１ヵ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　358 土坑（第233図）
《位　置》　ＮＤ29グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.73ｍ、短径1.44ｍ、深さ23㎝、底面長径1.47ｍ、短径1.07ｍ。
《平面形》　不整な長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　中央部が盛り上がっていた。東側壁下に不整な長方形の窪みがある。



【SK　357】
1　黒褐色土(10YR2／2)　地山塊。
2　黄褐色土(10YR5／8)　地山塊再堆積。
3　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒・塊混入。
4　明黄褐色土(10YR7／6)　地山再堆積。ボロボロ。
5　黄褐色土(10YR5／6)　地山塊。
6　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒を粗に混入。
7　黄褐色土(10YR5／6)　黒褐色土塊(10YR2／2)混入。

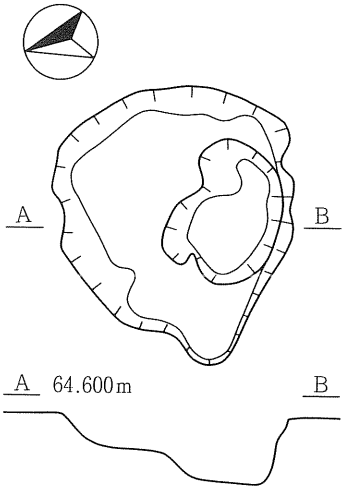
SK357



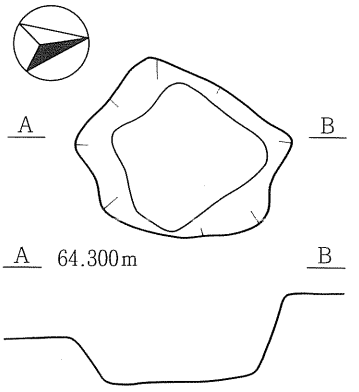
【SK　358】
1　黒褐色土(10YR3／1)　地山塊・粒若干混入。
2　黒褐色土(10YR3／2)　地山塊混入。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒・塊混入。
4　黒褐色土(10YR3／1)　地山塊多量に混入。
5　黄橙色土(10YR7／8)　地山再堆積。
6　黒褐色土(10YR3／2)
7　掘りすぎ。

SK358

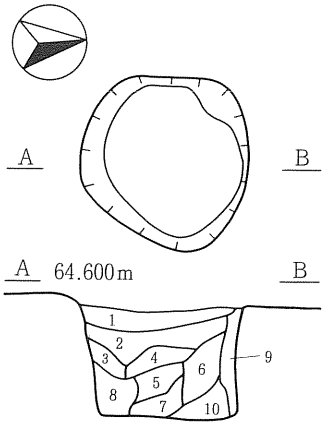
SK362



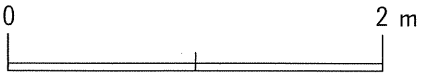
SK364



SK365



【SK　365】
1　黒褐色土(10YR2／2)　炭化物少量混入。
2　黒褐色土(10YR3／2)　粘土粒・塊多量混入。
3　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒多量混入。
4　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒・塊(中)多量混入。
5　黒褐色土(10YR3／2)　地山塊(小)少量混入。
6　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒・塊(小～中)多量混入。
7　黒褐色土(10YR2／2)　地山粒・塊(小)多量混入。
8　黄褐色土(10YR5／6)　地山塊(中～大)多量混入。
9　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒(小～中)少量混入。
10　褐色土(10YR4／4)　地山塊(小～中)多量混入。



第233図　SK 357・SK 358・SK 362・SK 364・SK 365 土坑

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　362 土坑（第233図）

《位　置》　ＮＢ28、ＮＣ28グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.35ｍ、短径1.33ｍ、深さ19㎝、底面長径1.15ｍ、短径1.11ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈するが、南東側壁下に窪みがある。

《埋　土》　不用意に掘り過ぎてしまい確認できなかった。

《底　面》　やや凹凸があるが、南東側壁下に不整な長方形の窪みがある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　364 土坑（第233図）

《位　置》　ＭＲ27グリッドに位置する。

《確　認》　台地縁辺に暗褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.05ｍ、短径0.87ｍ、深さ36㎝、底面長径0.74ｍ、短径0.71ｍ。

《平面形》　胴張りのある隅丸長方形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　不用意に掘り過ぎてしまい確認できなかった。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　365 土坑（第233図、図版171）

《位　置》　ＭＰ31、ＭＱ31グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.97ｍ、短径0.91ｍ、深さ61㎝、底面長径0.77ｍ、短径0.64ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　10層に分層した。地山粒・塊を多く混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　366 土坑（第234図）

《位　置》　ＭＮ30グリッドに位置する。

《確　認》　台地斜面の中腹に暗褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.26ｍ、短径1.05ｍ、深さ51㎝、底面長径0.97ｍ、短径0.69ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　不用意に掘り過ぎてしまい確認できなかった。

《底　面》　やや凹凸がある。南側壁際に溝状の窪みがある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　367 土坑（第234図）

《位　置》　ＭＯ29グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の不整な落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.44ｍ、短径1.43ｍ、深さ44㎝、底面長径1.06ｍ、短径1.04ｍ。

《平面形》　不整形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　12層に分層した。地山粒・塊を多く混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　368 土坑（第234図）

《位　置》　ＭＰ29グリッドに位置する。

《確　認》　台地斜面の中腹に黄褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.34ｍ、短径1.26ｍ、深さ100㎝、底面長径0.99ｍ、短径0.97ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　不用意に掘り過ぎてしまい確認できなかった。

《底　面》　ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　369 土坑（第234図）

《位　置》　ＮＣ29グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸1.31ｍ、短軸0.72ｍ、深さ14㎝、底面長軸1.07ｍ、短軸0.54ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　370 土坑（第234図）

《位　置》　ＭＲ29グリッドに位置する。

《確　認》　灰黄褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸0.82ｍ、短軸0.73ｍ、深さ13㎝、底面長軸0.73ｍ、短軸0.65ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。

《底　面》　凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　371 土坑（第234図）

《位　置》　ＮＢ29•30グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.02ｍ、短径0.65ｍ、深さ46㎝、底面長径0.64ｍ、短径0.33ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊を混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

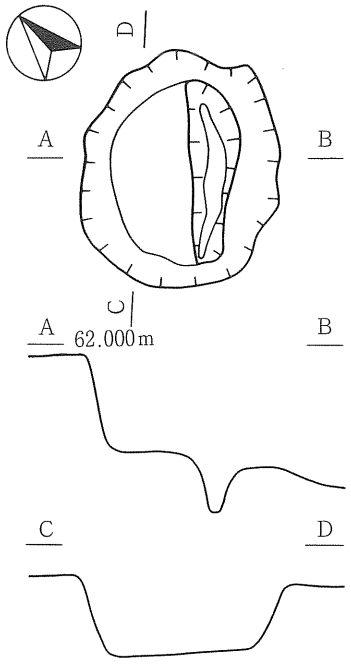
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　380 土坑（第235図）

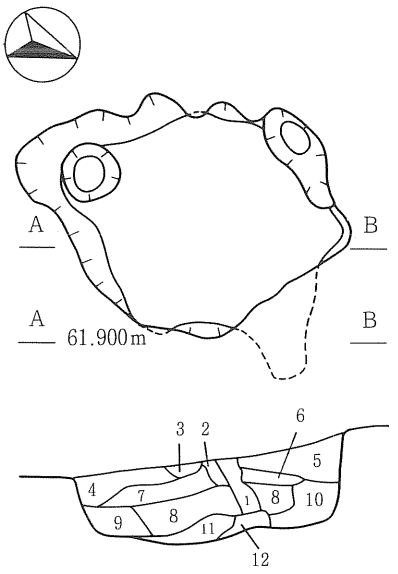
《位　置》　ＭＲ59•60グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。



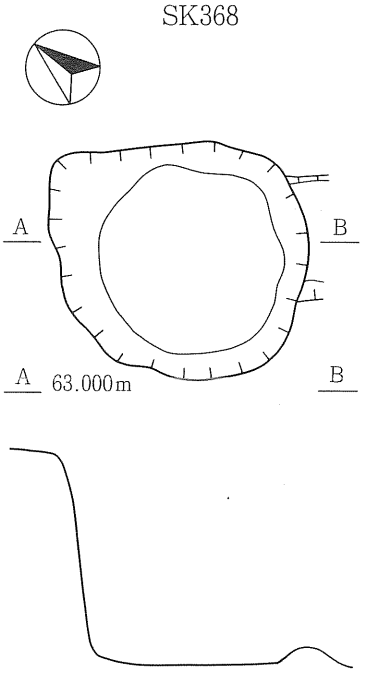
SK366



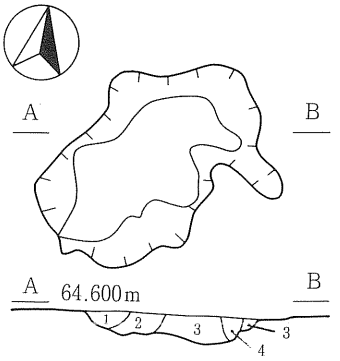
【SK　367】
1　黒褐色土(10YR3／1) 木根攪乱。
2　黄橙色土(10YR8／8) 地山塊。
3　黒褐色土(10YR3／2)
4　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒多量混入。
5　にぶい黄橙色土(10YR6／4) 地山(シラス)粒多量混入。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山(シラス)粒少量混入。
7　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・塊(小)少量混入。硬い。
8　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・塊(小～中)多量混入。
9　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒・塊(小)多量混入。
10　褐色土(7.5YR4／4) 地山(シラス)粒多量混入。
11　明黄褐色土(7.5YR5／6) 地山(シラス)粒多量混入。
12　明黄褐色土(7.5YR5／8) 地山(シラス)粒多量混入。

SK367

SK368

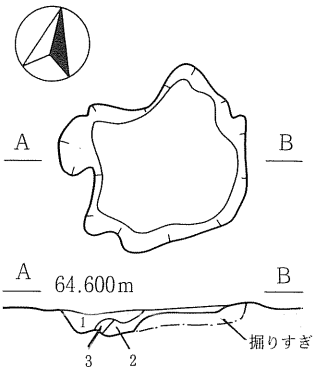


SK369



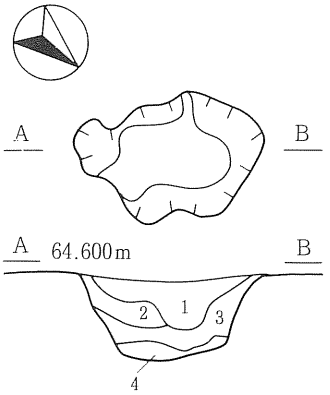
【SK　369】
1　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒若干混入。
2　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・塊(小～中)混入。
3　黒褐色土(10YR2／3) 地山塊(極大)多量混入。
4　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・塊(小)少量混入。

SK370

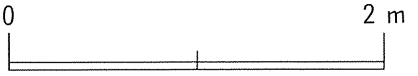


【SK　370】
1　灰黄褐色粘質土(10YR6／2)
2　明黄褐色土(10YR6／6) 地山粒。
3　灰黄褐色粘質土(10YR4／2)

SK371



【SK　371】
1　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒・塊(中)混入。
2　黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(中～大)多量混入。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山塊(大～極大)多量混入。
4　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山塊(小)多量混入。ボロボロ。



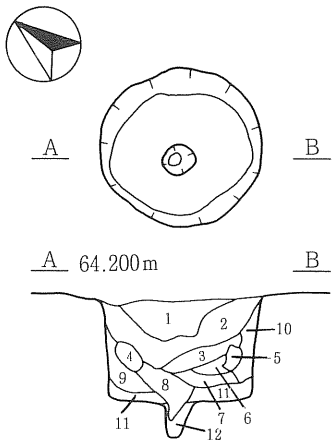
第234図　SK 366・SK 367・SK 368・SK 369・SK 370・SK 371 土坑

《規　模》　開口部長径0.86ｍ、短径0.84ｍ、深さ55㎝、底面長径0.77ｍ、短径0.65ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　12層に分層した。地山粒•塊を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピット１ヵ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　382 土坑（第235図）
《位　置》　ＮＤ50グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.05ｍ、短径1.66ｍ、深さ31㎝、底面長径1.55ｍ、短径1.54ｍ。
《平面形》　不整形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　８層に分層した。地山粒•塊を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　底面から土器片が３点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　383 土坑（第235図）
《位　置》　ＮＣ53グリッドに位置する。
《確　認》　黒～暗褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.82ｍ、短径0.75ｍ、深さ33㎝、底面長径0.46ｍ、短径0.44ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒•塊を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　埋土中から土器片１点と微小な石器剥片（石質：緑色凝灰岩）が多量に出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

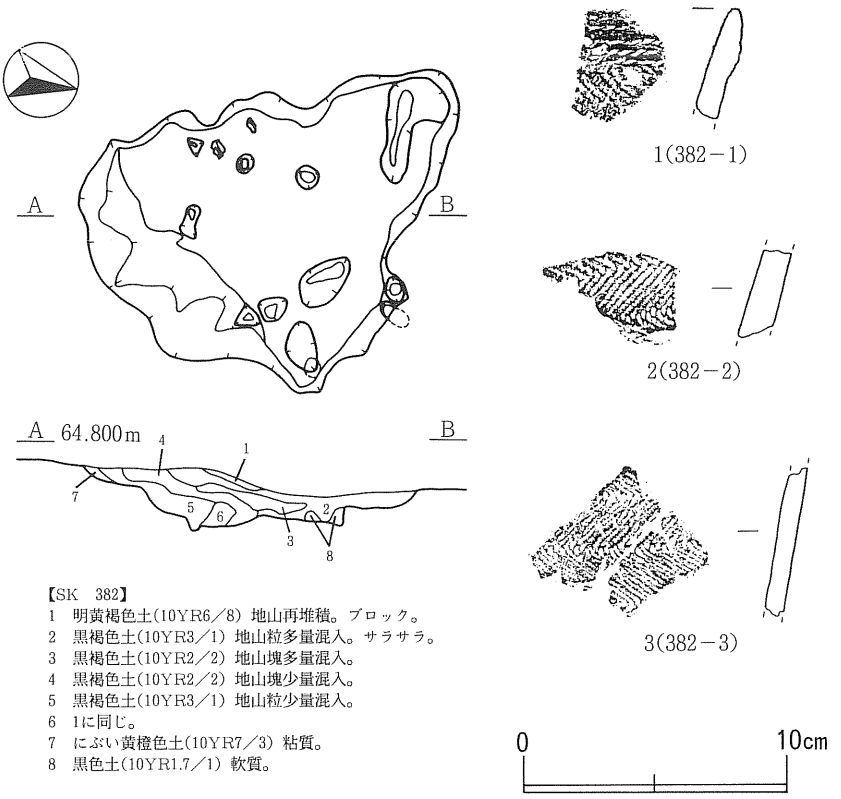
ＳＫ　388 土坑（第235図）
《位　置》　ＮＡ61グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ1.66ｍ、幅1.14ｍ、深さ27㎝、底面長さ1.39ｍ、幅0.98ｍ。
《平面形》　隅丸長方形である。



【SK 380】
1 黒褐色土(10YR3／1) 地山粒少量混入。
2 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒多量混入。
3 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・塊少量混入。
4 5に同じ。
5 黄橙色土(10YR7／8) 地山ブロック。
6 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒・塊多量混入。
7 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒少量混入。硬い。
8 黒褐色土(10YR3／1) 地山ブロック(中粒)混入。
9 黒褐色土(10YR2／2) 地山ブロック少量混入。
10 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒少量混入。軟らかい。
11 黒褐色土(10YR2／3) 地山塊少量混入。
12 明黄褐色土(10YR7／6)

0　2 m

SK380

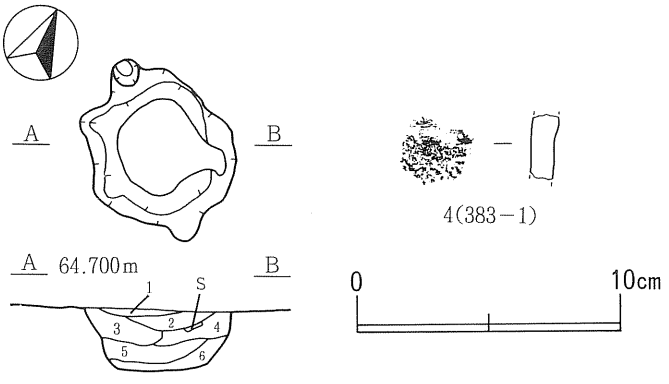


【SK 382】
1 明黄褐色土(10YR6／8) 地山再堆積。ブロック。
2 黒褐色土(10YR3／1) 地山粒多量混入。サラサラ。
3 黒褐色土(10YR2／2) 地山塊多量混入。
4 黒褐色土(10YR2／2) 地山塊少量混入。
5 黒褐色土(10YR3／1) 地山粒少量混入。
6 1に同じ。
7 にぶい黄橙色土(10YR7／3) 粘質。
8 黒色土(10YR1.7／1) 軟質。

0　2 m

SK382

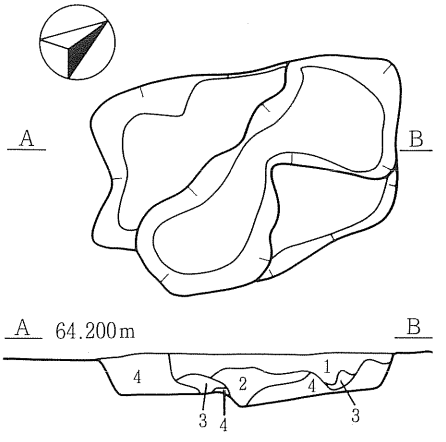
SK383



【SK 383】
1 黒色土(10YR2／1) 地山粒(極小～中)5%混入。大変しまりあり。
2 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒(小)10%、炭化物小粒5%混入。
3 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒(小～中)15%、炭化物小粒5%混入。ややしまりあり。
4 黒褐色土(10YR2／3) 地山粒(極小)1%混入。ややしまりあり。
5 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒(小～中)20%、炭化物小粒1%未満混入。ややしまりあり。
6 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒(小～中)1%混入。しまりあり。

0　2 m

SK388



【SK 388】
1 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・塊多量混入。
2 にぶい黄褐色土(10YR5／3) 軟質。
3 明黄褐色土(10YR7／6) ブロック。
4 黒褐色土(10YR3／1) 浅黄色粘土塊混入。

0　2 m

第235図　SK 380・SK 382・SK 383・SK 388 土坑とその出土遺物

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊を混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　南北方向に溝状の窪みがある。ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　393 土坑（第236図）

《位　置》　ＮＤ59グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.52ｍ、短径0.51ｍ、深さ15㎝、底面長径0.51ｍ、短径0.47ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。地山粒を混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　397 土坑（第236図）

《位　置》　ＮＤ56グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.28ｍ、短径0.85ｍ、深さ29㎝、底面長径1.03ｍ、短径0.76ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　８層に分層した。地山粒•塊を混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸がある。西側に半円形の窪みがある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　398 土坑（第236図）

《位　置》　ＮＧ51グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.80ｍ、短径0.67ｍ、深さ10㎝、底面長径0.71ｍ、短径0.56ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《底　面》　ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピット１ヵ所ある。

《遺　物》　埋土中から微小な石器剥片（石質：頁岩）が多量に出土した。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　410 土坑（第236図）
《位　置》　ＮＤ60グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.69ｍ、短径0.72ｍ、深さ19㎝、底面長径1.48ｍ、短径0.55ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《底　面》　やや凹凸があり、小さなピットと窪みを多数検出した。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　422 土坑（第236図）
《位　置》　ＮＡ54•55グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.56ｍ、短径0.56ｍ、深さ53㎝、底面長径0.23ｍ、短径0.23ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《底　面》　西側に傾斜していた。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　425 土坑（第236図）
《位　置》　ＭＴ55、ＮＡ54•55グリッドに位置する。
《確　認》　平安時代の竪穴住居跡の床面に明黄褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　平安時代のＳＩ 372 竪穴住居跡と重複するが、本土坑が古い。
《規　模》　開口部長径0.91ｍ、短径0.88ｍ、深さ17㎝、底面長径0.64ｍ、短径0.52ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層したが第１層は住居跡の貼床である。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　426 土坑（第236図）

《位　置》　ＮＡ55グリッドに位置する。

《確　認》　平安時代の竪穴住居跡の床面に明黄褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　平安時代のＳＩ 372 竪穴住居跡と重複しているが、本土坑が古い。

《規　模》　開口部長径1.04ｍ、短径0.87ｍ、深さ13㎝、底面長径0.71ｍ、短径0.39ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《底　面》　凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　428 土坑（第237図）

《位　置》　ＮＣ61グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.80ｍ、短径0.54ｍ、深さ25㎝、底面長径0.42ｍ、短径0.21ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《底　面》　南側に傾斜していた。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　436 土坑（第237図）

《位　置》　ＮＪ11グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.90ｍ、短径0.68ｍ、深さ11㎝、底面長径0.65ｍ、短径0.48ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。地山粒を混入する。

《底　面》　ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

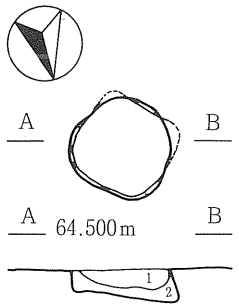
ＳＫ　437 土坑（第232図）

《位　置》　ＮＧ29グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

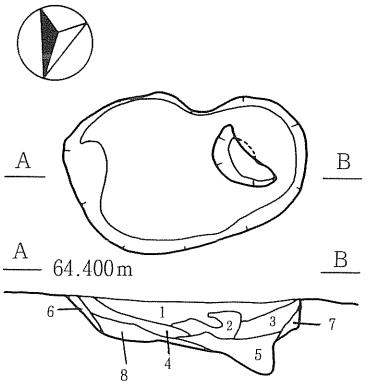
《重　複》　ＳＫ 355 土坑と重複している。新旧関係は不明。

《規　模》　開口部長径1.21ｍ、短径1.19ｍ、深さ53㎝、底面長径0.96ｍ、短径0.70ｍ。



【SK 393】
1　黒色土(10YR2／1) やや粘性あり。地山粒(小)5%混入。
2　黄橙色土(10YR7／8) 地山に、暗褐色土(10YR3／3)10%混入。しまりあり。

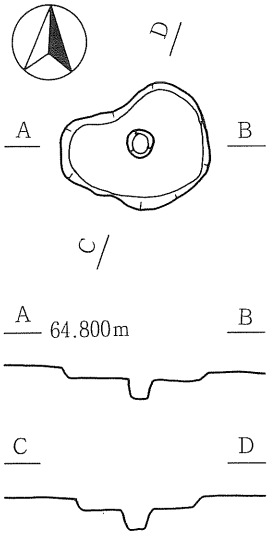
SK393



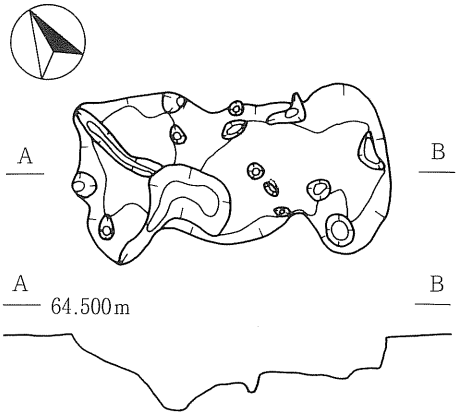
【SK 397】
1　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒(極小～極大)30%混入。
2　黒色土(10YR2／1) 地山粒(極小)5%混入。
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山が小ブロックもしくは斑状に40%混入。ややボソボソしている。
4　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒(小～中)15%混入。
5　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒(小～中)30%混入。黒色土塊(20㎜)10%混入。軟らかい。
6　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒(極小～大)20%混入。
7　地山＝黄橙ローム(10YR7／8) に暗褐色(10YR3／4)15%混入。
8　黒色土(10YR2／1) 地山粒(小～中)10%混入。ややしまりあり。

SK397

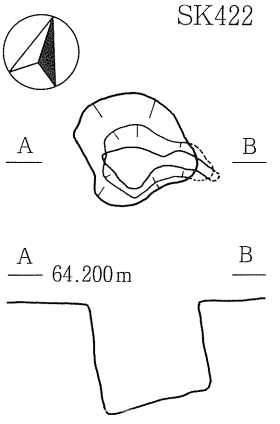
SK398



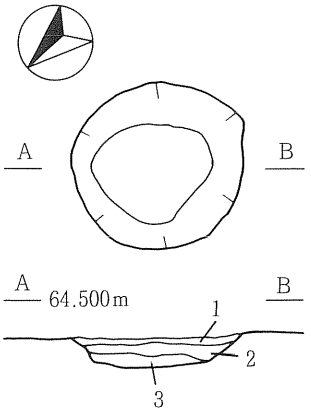
SK410



SK422

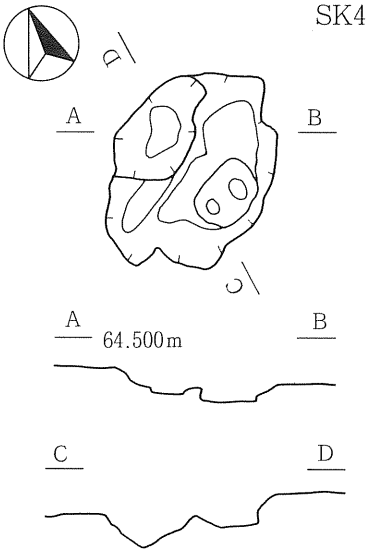


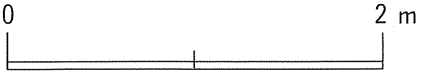
SK425



【SK 425】
1　明黄褐色土(10YR6／6) 貼床(SI372)。
2　明黄褐色土(10YR6／6) 地山塊混入。
3　明黄褐色土(10YR7／6) 砂質。

SK426





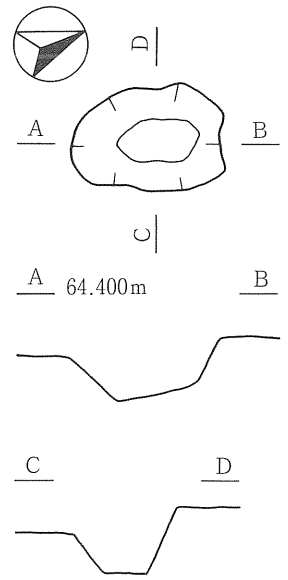
第236図　SK 393・SK 397・SK 398・SK 410・SK 422・SK 425・SK 426 土坑

《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

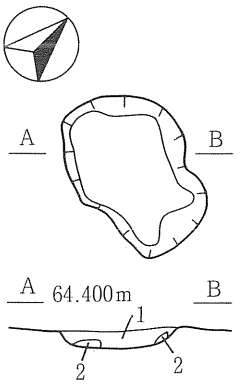
ＳＫ　501 土坑（第263図）
《位　置》　ＮＳ30グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.13ｍ、短径0.94ｍ、深さ101㎝、底面長径0.75ｍ、短径0.66ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　509 土坑（第237図、図版172）
《位　置》　ＭＪ36グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.32ｍ、短径0.99ｍ、深さ38㎝、底面長径0.98ｍ、短径0.69ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・塊を混入する。自然堆積と思われる。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　511 土坑（第237図、図版173）
《位　置》　ＭＭ35グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.54ｍ、短径1.28ｍ、深さ39㎝、底面長径1.27ｍ、短径1.27ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　１層のみ。

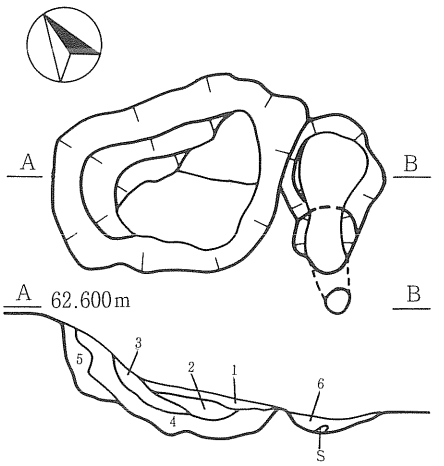


SK428



【SK 436】
1 黒色土(10YR1.7/1) シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性あり。
2 黄橙色土(10YR8/8) 粘土。黒色土混入。根の攪乱の可能性あり。

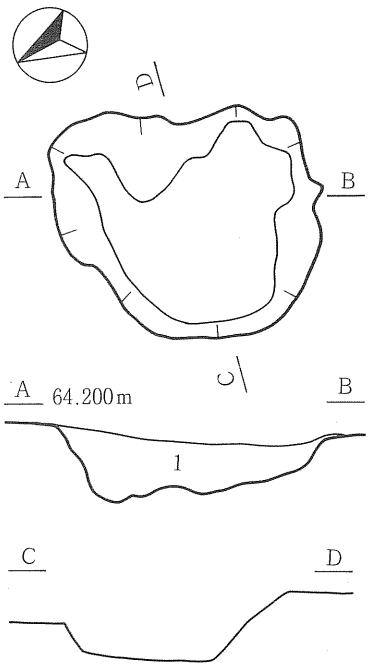
SK436



【SK 509】
1 黒褐色土(10YR2/2) シルト。地山粒・地山塊混入。しまり有り。粘性若干有り。
2 明黄褐色土(10YR7/6) 粘土～シルト。地山粒・地山塊多量混入。しまり、粘性有り。
3 黒褐色土(10YR2/3) シルト。地山粒やや混入。しまり、粘性有り。
4 暗褐色土(10YR3/3) シルト。地山粒・地山塊多量混入。しまり有り。粘性若干有り。
5 黄褐色土(10YR5/6) 粘土。しまりやや悪い。壁の崩落土。
6 黒褐色土(10YR2/2) シルト。地山粒・地山塊の混入1より少ない。(ピット埋土)

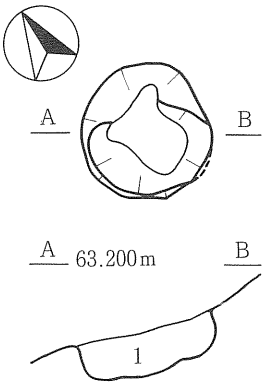
SK509

SK511



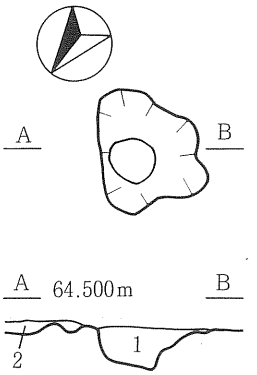
【SK 511】
1 暗褐色土(10YR3/4) シルト。地山粒・地山塊混入。しまり、粘性なし。

SK527



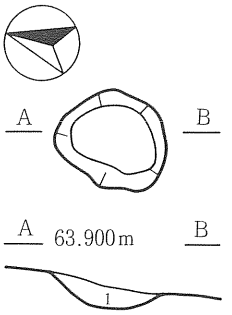
【SK 527】
1 にぶい黄橙色土(10YR7/4) 粘土。しまり有り、粘性なし。

SK531

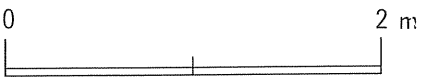


【SK 531】
1 黒褐色土(10YR2/2) シルト。地山粒・地山塊(小)混入。しまりやや有り。粘性なし。
2 暗褐色土(10YR3/3) シルト。地山粒・地山塊(小)混入。しまりやや弱く、粘性なし。

SK532



【SK 532】
1 黒褐色土(10YR3/2) シルト。地山粒混入。しまりやや弱く、粘性若干あり。



第237図　SK 428・SK 436・SK 509・SK 511・SK 527・SK 531・SK 532 土坑

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　527 土坑（第237図、図版173）

《位　置》　ＭＬ37グリッドに位置する。

《確　認》　にぶい黄橙色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.71ｍ、短径0.69ｍ、深さ22㎝、底面長径0.54ｍ、短径0.52ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　１層のみ。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　531 土坑（第237図）

《位　置》　ＭＰ33グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.67ｍ、短径0.51ｍ、深さ22㎝、底面長径0.24ｍ、短径0.24ｍ。

《平面形》　不整な楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　１層のみ。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　532 土坑（第237図）

《位　置》　ＭＫ35グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.60ｍ、短径0.51ｍ、深さ14㎝、底面長径0.47ｍ、短径0.32ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　１層のみ。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　621 土坑（第238図、図版174）

《位　置》　ＭＧ54グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.27ｍ、短径1.19ｍ、深さ122㎝、底面長径0.57ｍ、短径0.50ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　６層に分層した。地山粒を混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　ほぼ平坦である。中央部に小さな浅いピットが１カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　623 土坑（第263図）

《位　置》　ＭＧ51･52グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.45ｍ、短径1.33ｍ、深さ140㎝、底面長径0.79ｍ、短径0.78ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　キャリパー形を呈する。

《埋　土》　９層に分層した。地山粒･塊･炭化物を混入する。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　625 土坑（第238図、図版175）

《位　置》　ＭＦ52グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.08ｍ、短径1.05ｍ、深さ17㎝、底面長径0.80ｍ、短径0.67ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　１層のみ。地山粒･塊･炭化物･焼土粒を混入する。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　629 土坑（第238図、図版175•176）

《位　置》　ＭＦ52グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.87ｍ、短径0.69ｍ、深さ32㎝、底面長径0.40ｍ、短径0.24ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　埋土中から土器片が２点出土した。

《時　期》　出土した土器から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　643 土坑（第238図、図版176）

《位　置》　ＭＦ54グリッドに位置する。

《確　認》　竪穴住居跡の床面に黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　縄文時代のＳＩ 605 竪穴住居跡と重複している。本土坑の上部に貼床されていたので本土坑が古い。

《規　模》　開口部長径0.84ｍ、短径0.79ｍ、深さ94㎝、底面長径0.60ｍ、短径0.51ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　ビーカー形を呈する。

《埋　土》　９層に分層した。地山粒•塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピットが１カ所ある。

《遺　物》　埋土中から石槍の破片が１点出土した。

《時　期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫ　649 土坑（第239図、図版177）

《位　置》　ＭＳ55•56グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.79ｍ、短径0.75ｍ、深さ19㎝、底面長径0.60ｍ、短径0.50ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

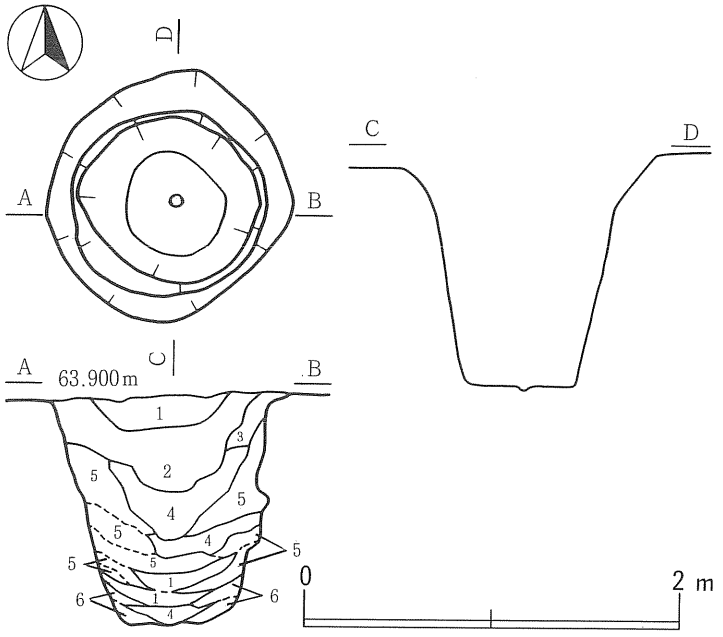
《埋　土》　３層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《埋　土》　なし。

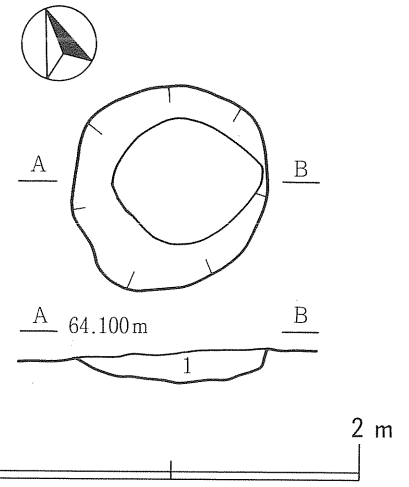
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　659 土坑（第239図）



【SK　621】
1　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性有り。
2　黒色土(10YR2／1)　シルト。地山粒1より多く、地山塊(小)少量、炭混入。しまり、粘性あり。
3　黒色土(10YR2／1)　シルト。地山粒2より多く混入。しまり有り、粘性やや有り。
4　黒褐色土(10YR2／2)　シルト。地山粒・地山塊(小)2より多く混入。炭混入。しまり、粘性有り。
5　黄橙色土(10YR7／8)　粘土。硬質。
6　明黄褐色土(10YR7／6)　粘土。硬質。

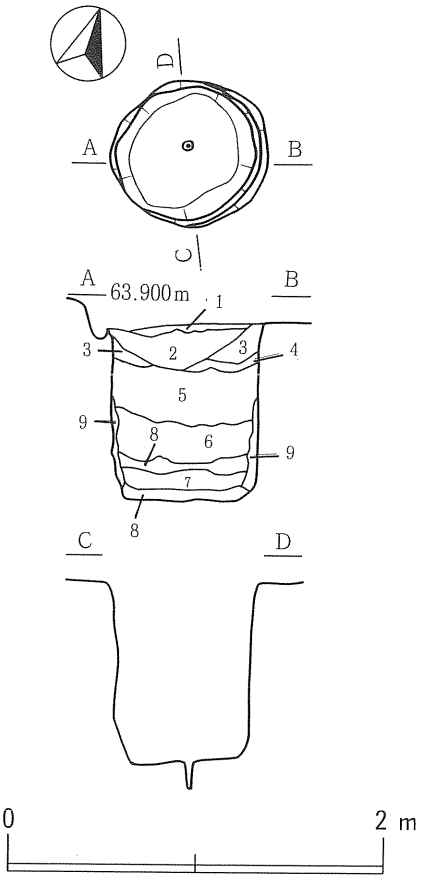
SK621



【SK　625】
1　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒やや多く、地山塊(少)・焼土粒・炭少量混入。しまり、粘性有り。

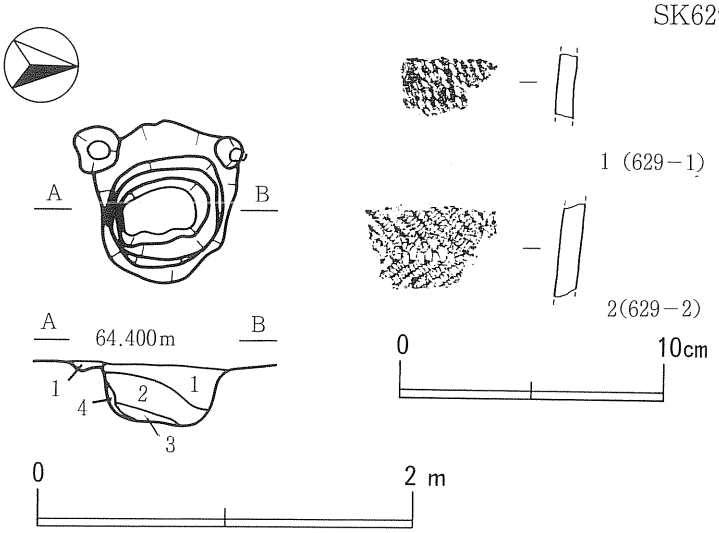
SK625

SK643

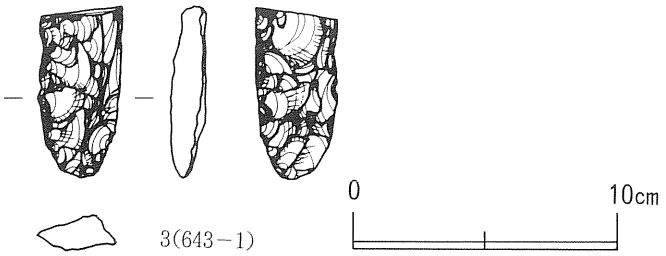


【SK　643】
1　黒褐色土(10YR2／2)　シルト。地山粒・炭少量混入。硬質。(S1605の貼り床)
2　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒・地山塊・焼土粒少量混入。しまりやや悪く、粘性有り。
3　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性有り。
4　黒褐色土(10YR3／2)　シルト。地山塊やや多く混入。しまり、粘性共有り。
5　黄橙色土(10YR7／8)　粘土。しまり有り。粘性やや弱い。
6　黒褐色土(10YR2／3)　シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性有り。
7　暗褐色土(10YR3／4)　シルト～粘土。地山粒・地山塊多量混入。硬質。粘性なし。
8　黒褐色土(10YR2／3)　シルト。地山粒・地山塊(小)少量混入。硬質。粘性有り。
9　浅黄橙色土(10YR8／4)　粘土。崩落土。

SK629



【SK　629】
1　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山塊(小)少量混入。しまり、粘性有り。
2　黒色土(10YR2／1)　シルト。地山塊(小)多量、炭少量混入。しまり、粘性有り。
3　黒色土(10YR2／1)　シルト。地山粒多量、地山塊(小)少量混入。しまり、粘性有り。
4　黒色土(10YR1.7／1)　シルト。地山粒少量混入。しまりやや弱く、粘性有り。



第238図　SK 621・SK 625・SK 629・SK 643 土坑とその出土遺物

《位　置》　ＭＮ57･58グリッドに位置する。

《確　認》　黄橙色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　ＳＩ 658 竪穴住居跡と重複していたが、本土坑が新しい。

《規　模》　開口部長径2.10ｍ、短径1.83ｍ、深さ50㎝、底面長径1.02ｍ、短径0.97ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。

《底　面》　やや凹凸がある。南西側に傾斜していた。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　672 土坑（第239図）

《位　置》　ＭＤ65･66グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　縄文時代のＳＩ 673 竪穴住居跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

《規　模》　開口部長径1.05ｍ、短径0.94ｍ、深さ9㎝、底面長径0.80ｍ、短径0.74ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。

《底　面》　ほぼ平坦である。木根による撹乱穴（溝）がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代前期と思われる。

ＳＫ　678 土坑（第239図）

《位　置》　ＭＥ66グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.90ｍ、短径0.81ｍ、深さ18㎝、底面長径0.66ｍ、短径0.65ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。地山粒･塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸がある。西側に傾斜していた。

《遺　物》　なし。

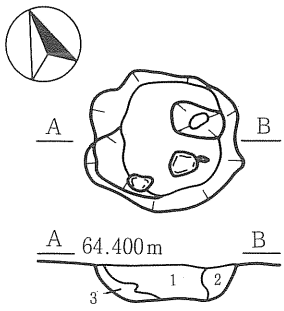
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　685 土坑（第240図）

《位　置》　ＭＩ69、ＭＪ69グリッドに位置する。

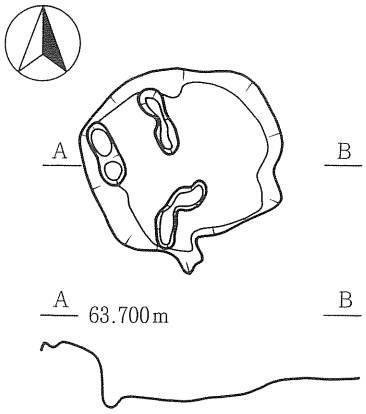
《確　認》　黒褐色土の長円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

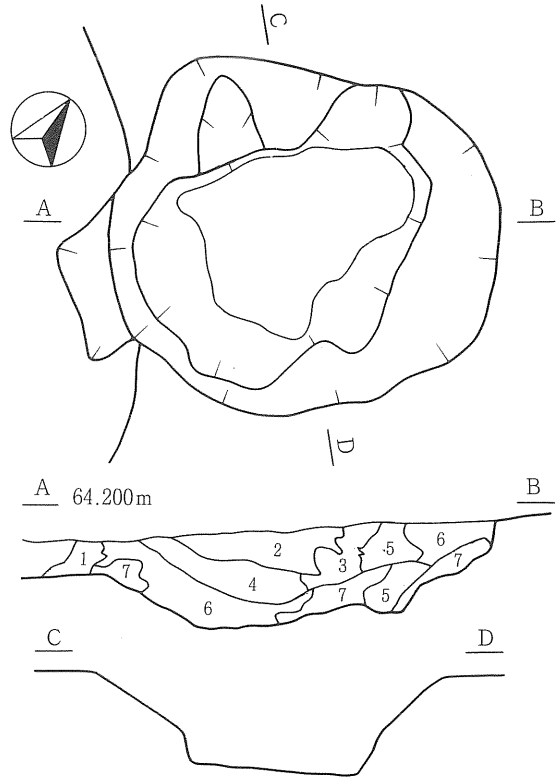


【SK 649】
1 黒色土(10YR2／1) 地山粒・地山塊(極小)多く混入。焼土・炭少量混入。
しまり非常に硬く、粘性少し有り。
2 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・焼土粒・炭微量混入。しまり強く、粘性少し有り。
3 黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(極小)・焼土粒・炭微量混入。しまり強く、粘性弱い。

SK649



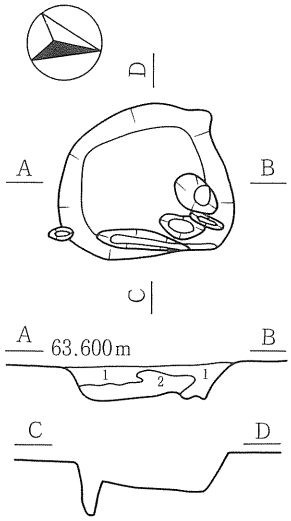
SK672



【SK 659】
1 黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山小塊多量。しまりやや悪い。粘性あり。
2 黄橙色土(10YR8／8) 粘土。
3 にぶい黄橙色土(10YR6／3) シルト～粘土。
4 黄橙色土(10YR8／8) 粘土。黒色土を含む。
5 灰黄褐色土(10YR4／2) シルト。
6 黒色土(10YR1.7／1) シルト。
7 黄橙色土(10YR8／8) 粘土。

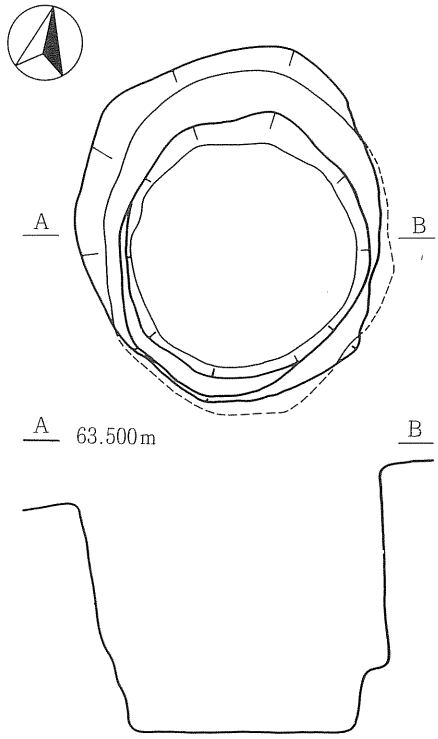
SK659

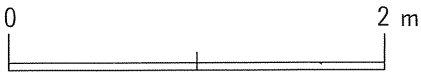
SK678



【SK 678】
1 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒少量混入。
2 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒・地山塊多量混入。

SK682





第239図　SK 649・SK 659・SK 672・SK 678・SK 682 土坑

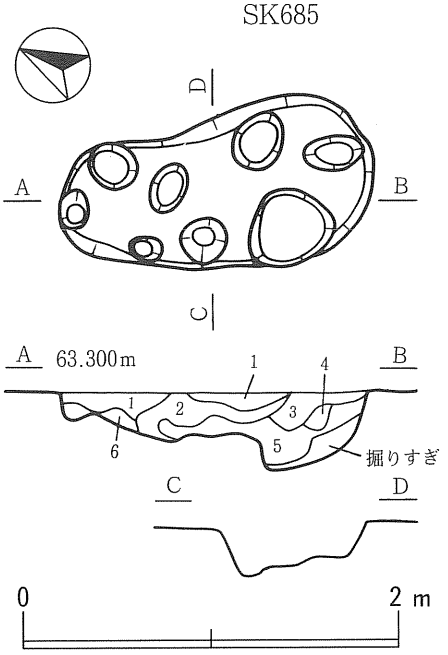
《規　模》　開口部長径1.70ｍ、短径0.90ｍ、深さ26㎝、底面長径1.60ｍ、短径0.80ｍ。
《平面形》　長円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　687 土坑（第240図）
《位　置》　ＭＪ66•67、ＭＫ66•67グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.98ｍ、短径0.88ｍ、深さ18㎝、底面長径0.86ｍ、短径0.80ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。深さ7㎝～2㎝の小さなピットが多数ある。
《遺　物》　底面から土器片が１点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　688 土坑（第240図）
《位　置》　ＭＫ67グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.02ｍ、短径0.87ｍ、深さ24㎝、底面長径0.71ｍ、短径0.69ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　１層のみ。地山粒•炭化物を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

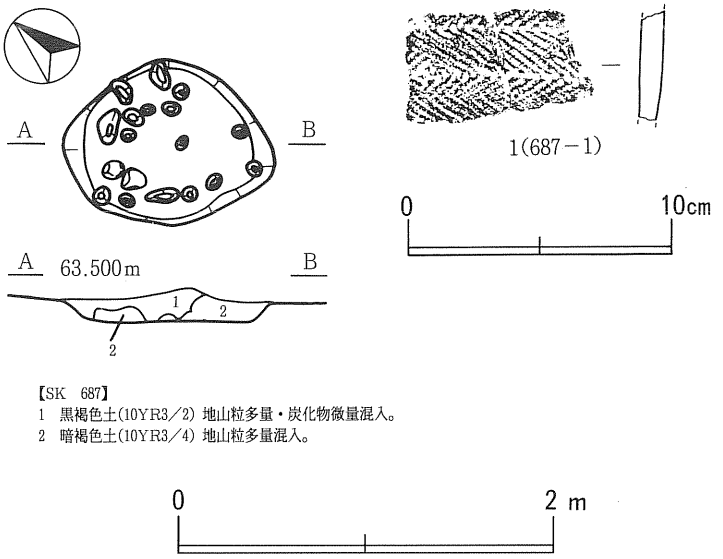
ＳＫ　689 土坑（第240図）
《位　置》　ＭＪ66グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.94ｍ、短径0.79ｍ、深さ16㎝、底面長径0.72ｍ、短径0.69ｍ。
《平面形》　楕円形である。

SK685



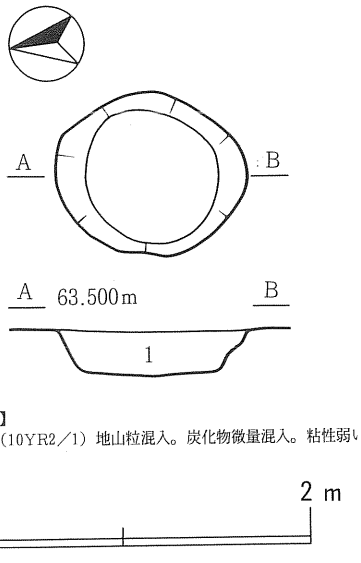
【SK 685】
1 黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・地山ブロック混入。よくしまっている。
2 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山粒多量混入。やや軟らかい。
3 黒褐色土(10YR2／3) 地山粒多量混入。しまっている。
4 地山ブロック。
5 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・地山ブロック多量混入。よくしまっている。
6 にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山ブロック多量混入。軟らかい。

SK687



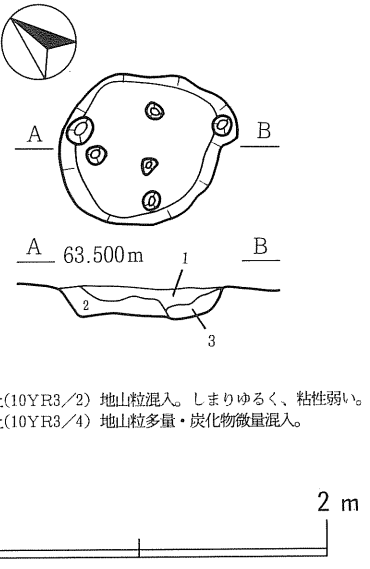
【SK 687】
1 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒多量・炭化物微量混入。
2 暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量混入。

SK688



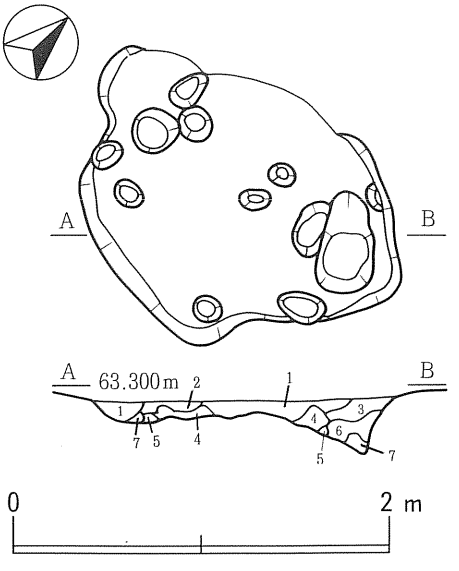
【SK 688】
1 黒色土(10YR2／1) 地山粒混入。炭化物微量混入。粘性弱い。

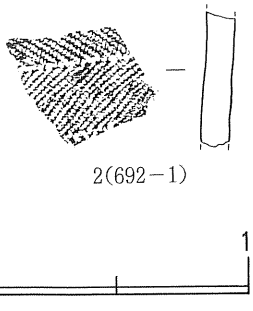
SK689



【SK 689】
1 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒混入。しまりゆるく、粘性弱い。
2 暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量・炭化物微量混入。
3 地山。

SK692





【SK 692】
1 黒褐色土(10YR3／1) 地山粒少量混入。
2 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒多量混入。やや軟らかい。
3 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・地山ブロック少量混入。
4 暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量混入。
5 暗褐色土(10YR3／3) 軟らかく、パサパサしている。
6 黄褐色土(10YR5／8) 地山粒多量混入。
7 黒褐色土(10YR2／2) 地山粒多量混入。やや軟らかい。

第240図　SK 685・SK 687・SK 688・SK 689・SK 692 土坑とその出土遺物

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。

《底　面》　やや凹凸がある。小さなピットが多数ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　692 土坑（第240図）

《位　置》　ＭＨ73•74グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.96ｍ、短径1.37ｍ、深さ12㎝、底面長径1.83ｍ、短径1.29ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。

《底　面》　やや凹凸がある。深さ19㎝～10㎝の小さなピットが多数ある。

《遺　物》　埋土中から土器片が１点出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　693 土坑（第241図）

《位　置》　ＭＧ73グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の長方形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.76ｍ、短径1.08ｍ、深さ34㎝、底面長径1.78ｍ、短径0.76ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈するがオーバーハングしている部分もある。

《埋　土》　５層に分層した。地山粒•塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。深さ21㎝～12㎝の窪みが３カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　696 土坑（第241図）

《位　置》　ＭＦ73•74グリッドに位置する。

《確　認》　褐色土の不整な方形の落ち込みとして確認された。

《重　複》　なし。

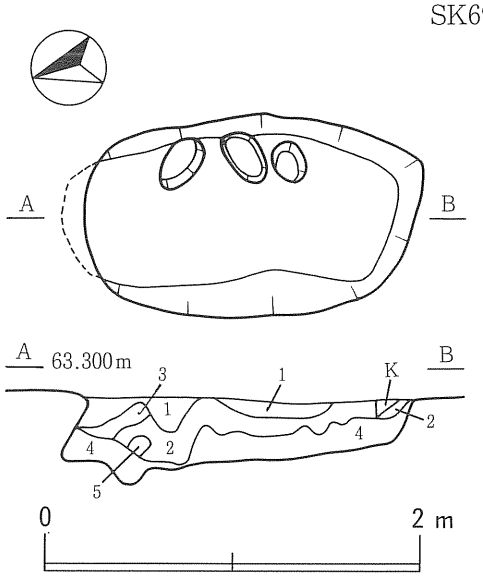
《規　模》　開口部長さ0.86ｍ、幅0.66ｍ、深さ14㎝、底面長さ0.80ｍ、幅0.57ｍ。

《平面形》　不整な方形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

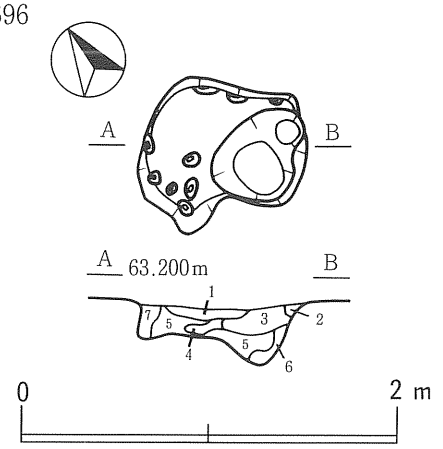
《埋　土》　７層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。

SK693



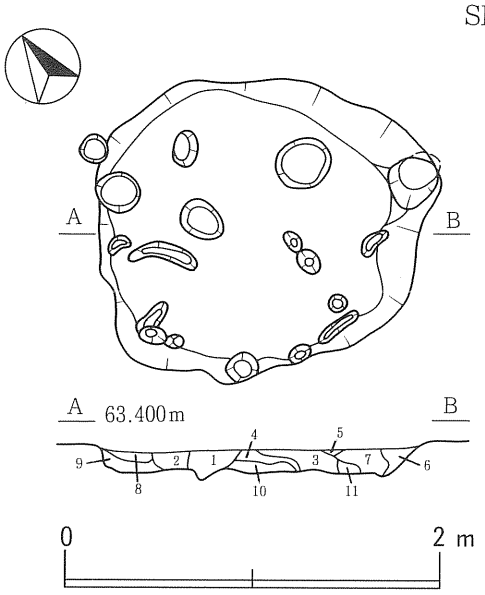
【SK　693】
1　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・地山ブロック少量混入。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒混入。しまりあり。
3　黒褐色土(10YR3／1) 地山ブロック多量混入。
4　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・地山ブロック多量混入。やや軟らかい。
5　黄褐色土(10YR5／6) 地山ブロック。

SK696



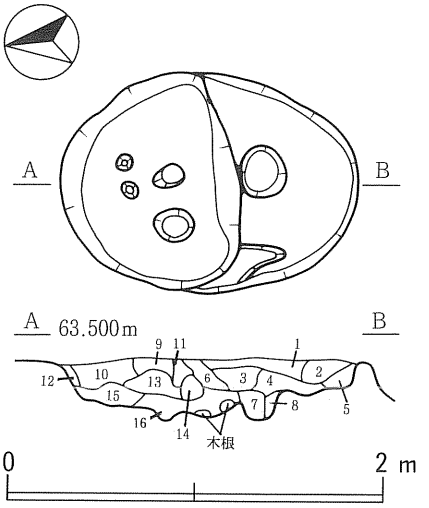
【SK　696】
1　褐色土(10YR4／6) 地山粒多量混入。しまりゆるくパサパサしている。
2　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒多量混入。軟らかく、粘性なし。
3　黄褐色土(10YR5／6) 細礫混入。しまり強く。粘性なし。
4　褐色土(10YR4／4) 地山粒多量、炭化物微量混入。粘性なし。
5　黄褐色土(10YR5／8) 炭化物少量混入。しまり固く、粘性なし。
6　にぶい黄褐色土(10YE5／4) 炭化物混入。しまりやや弱く、粘性なし。
7　6に同じ。

SK697

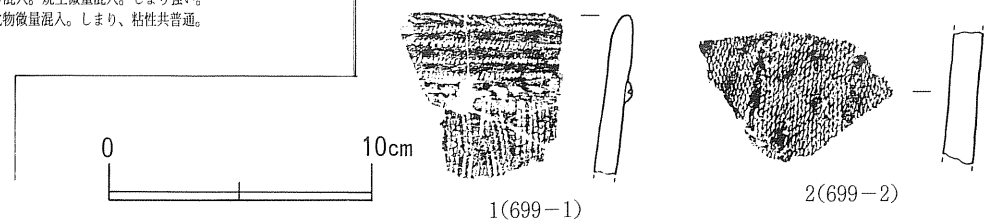


【SK　697】
1　黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(小)混入。炭化物粒微量混入。しまり、粘性共やや強い。
2　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・炭化物粒・焼土微量混入。しまりやや強い。
3　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒少量、炭化物・焼土微量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒混入。しまりゆるく、パサパサしている。
5　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量混入。しまり弱く、粘性なし。
6　黒褐色土(10YR2／3) 地山塊(小)混入。しまりゆるく、パサパサしている。
7　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒少量・炭化物微量混入。しまり強く、やや粘性有り。
8　黒色土(10YR2／1) しまりゆるく、パサパサしている。
9　黒色土(10YR2／1) 地山粒少量、焼土微量混入。
10　黒褐色土(10YR3／2) 地山塊(小)混入。焼土微量混入。しまり強い。
11　褐色土(10YR4／4) 地山粒・炭化物微量混入。しまり、粘性共普通。

SK699



【SK　699】
1　黒色土(10YR2／1) 地山粒混入。粘性強い。
2　黒色土(10YR1.7／1) 地山粒少量混入。しまり、粘性共やや強い。
3　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒多量混入。しまりややゆるく、粘性強い。
4　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・炭化物微量混入。しまり弱く、パサパサしている。
5　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量混入。炭化物混入。強くしまっている。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒・炭化物混入。しまり強く、粘性やや強い。
7　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒多量・炭化物少量混入。しまり弱く、粘性なし。
8　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒・炭化物混入。しまりやや強い。
9　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒・焼土少量混入。しまり、粘性共に強い。
10　黒色土(10YR2／1) 地山粒少量・炭化物混入。しまり弱く、パサパサしている。
11　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・炭・焼土少量混入。しまりやや強く粘性あり。
12　黒色土(10YR2／1) 地山ブロック・炭化物混入。しまり、粘性共やや強い。
13　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒・地山ブロック多量混入。固くしまっている。
14　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山粒・炭化物混入。しまりやや強い。
15　褐色土(10YR4／4) 地山ブロック・炭化物混入。しまり弱い。
16　黄褐色土(10YR5／6) 炭化物混入。しまり弱く、粘性なし。



第241図　SK 693・SK 696・SK 697・SK 699 土坑とその出土遺物

《底　面》　やや凹凸がある。深さ15㎝～2㎝の小さなピットが多数ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　697 土坑（第241図）
《位　置》　ＭＩ73･74グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.88ｍ、短径1.54ｍ、深さ14㎝、底面長径1.55ｍ、短径1.46ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　11層に分層した。地山粒･塊･炭化物･焼土粒を混入する。
《底　面》　やや凹凸がある。柱穴様ピットと小さなピットが多数ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　699 土坑（第241図）
《位　置》　ＭＬ71グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.58ｍ、短径1.16ｍ、深さ30㎝、底面長径1.44ｍ、短径1.12ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　16層に分層した。地山粒･塊･炭化物･焼土粒を混入する。
《底　面》　凹凸がある。深さ21㎝～7㎝の柱穴様ピットと小さなピットがある。
《遺　物》　埋土中から土器片が出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　700 土坑（第242図）
《位　置》　ＭＭ71グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ1.06ｍ、幅0.90ｍ、深さ26㎝、底面長さ1.05ｍ、幅0.73ｍ。
《平面形》　隅丸長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　10層に分層した。地山粒･塊を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　埋土中から土器片が出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　701 土坑（第242図）

《位　置》　ＭＬ73グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長さ1.40ｍ、幅1.28ｍ、深さ19㎝、底面長さ1.05ｍ、幅0.65ｍ。

《平面形》　不整な隅丸長方形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　12層に分層した。地山粒・塊・炭化物を混入する。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　710 土坑（第242図、図版177）

《位　置》　ＭＰ66グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.02ｍ、短径0.90ｍ、深さ44㎝、底面長径0.92ｍ、短径0.80ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　Ｕ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。地山粒・塊を混入する。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　715 土坑（第242図、図版178）

《位　置》　ＭＱ66グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.82ｍ、短径0.69ｍ、深さ25㎝、底面長径0.75ｍ、短径0.53ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。地山粒・塊・炭化物を混入する。

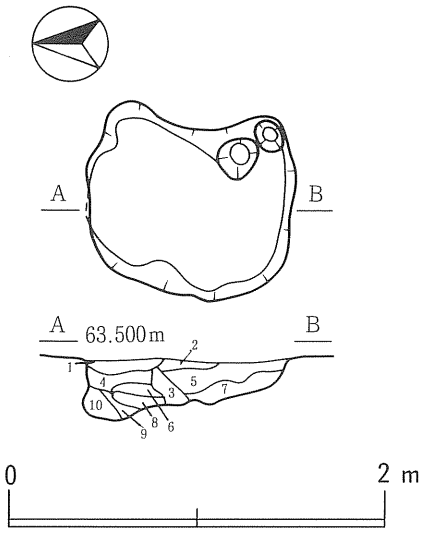
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

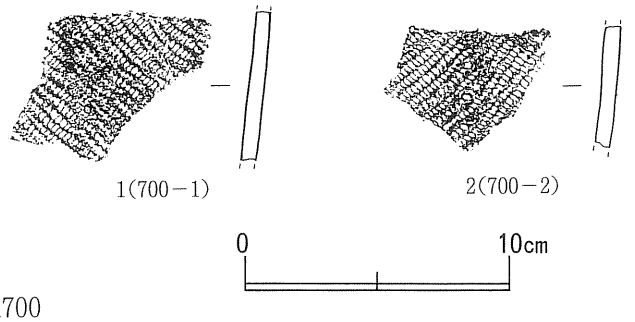
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　716 土坑（第243図、図版179）

《位　置》　ＭＳ65・66グリッドに位置する。

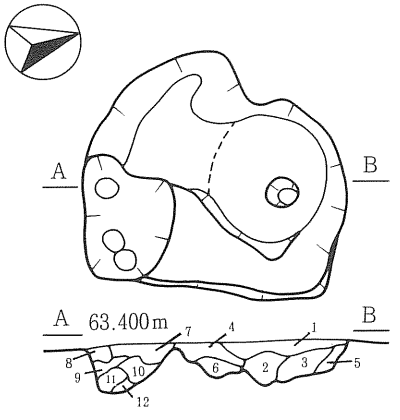


【SK　700】
1　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒多量混入。しまりゆるく、粘性なし。
2　黒色土(10YR2／1) しまり、粘性共やや強い。
3　黒褐色土(10YR3／2) 地山小ブロック多量混入。しまりゆるく、粘性やや強い。
4　黒褐色土(10YR2／2) 地山ブロック混入。やや強くしまり、粘性強い。
5　黒褐色土(10YR2／3) 地山小ブロック多量混入。しまりゆるく、粘性強い。
6　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒多量混入。しまり、粘性共やや強い。
7　暗褐色土(10YR3／4) 地山小ブロック多量混入。炭化物微量混入。しまり、粘性共強い。
8　黄褐色土(10YR5／6) 強くしまっている。
9　暗褐色土(10YR3／4) 強くしまっている。
10　暗褐色土(10YR3／3) 9よりはしまり弱く、やや粘性あり。



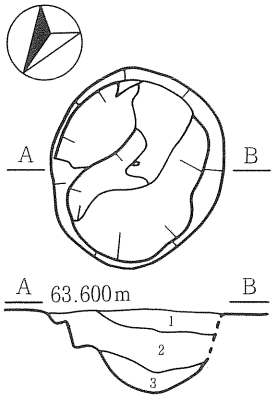
SK700

SK701



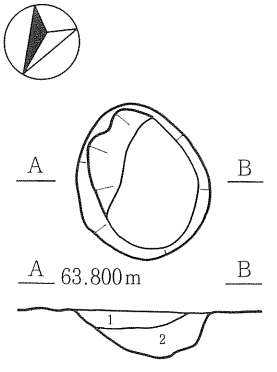
【SK　701】
1　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒多く混入。炭化物微量混入。しまり、粘性普通。
2　暗褐色土(10YR3／3) 地山ブロック多量混入。しまり弱く、やや粘性有り。
3　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒・地山小ブロック炭化物混入。しまり弱く、粘性強い。
4　黒色土(10YR2／1) 地山粒少量混入。しまり普通。粘性やや強い。
5　黒褐色土(10YR3／1) 地山ブロック混入。しまり、粘性共普通。
6　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒多く混入。炭化物混入。しまりやや強く、粘性有り。
7　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多く混入。しまり弱く、粘性なし。
8　黒褐色土(10YR3／1) 地山ブロック混入。しまりやや強く、粘性強い。
9　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒混入。しまり、粘性共普通。
10　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山ブロック・炭化物混入。粘性やや強い。
11　暗褐色土(10YR3／3) 地山小ブロック混入。しまりゆるく、粘性有り。
12　褐色土(10YR4／6) しまりゆるく、粘性弱い。

SK710



【SK　710】
1　黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山塊(小)少量混入。しまり、粘性有り。
2　黒褐色土(10YR2／2) シルト。地山粒・地山塊(小)やや多く混入。しまり、粘性有り。
3　黒褐色土(10YR2／3) シルト。2より地山粒・地山塊(小)の混入多い。

SK715



【SK　715】
1　黒色土(10YR1.7／1) 地山粒少量混入。しまりやや悪く、粘性有り。
2　黒色土(10YR2／1) シルト。地山粒・地山塊(小)やや多量、炭少量混入。しまり、粘性共有り。

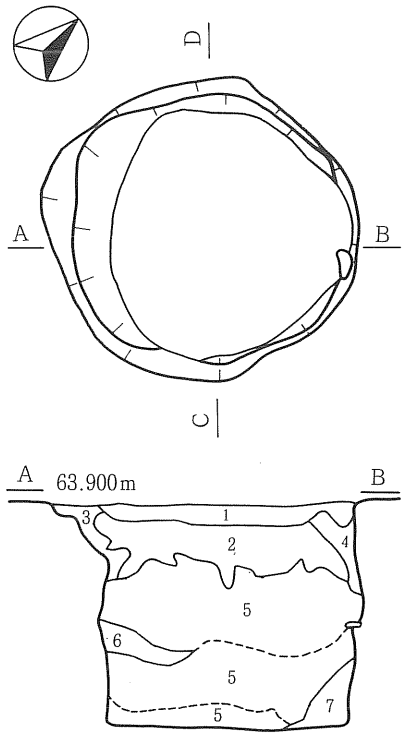
第242図　SK 700・SK 701・SK 710・SK 715 土坑とその出土遺物

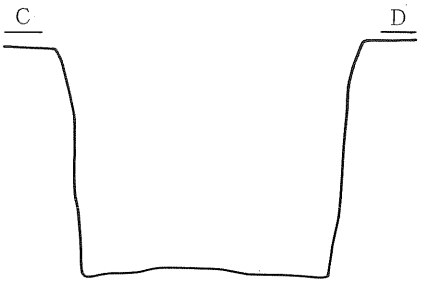
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.63ｍ、短径1.59ｍ、深さ119㎝、底面長径1.29ｍ、短径1.28ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　７層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　埋土中から土器片が２点、半円状偏平打製石器が１点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　725 土坑（第244図）
《位　置》　ＭＯ64•65グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.76ｍ、短径0.54ｍ、深さ11㎝、底面長径0.59ｍ、短径0.35ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　１層のみ。地山粒を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　埋土中から土器片が２点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代中期と思われる。

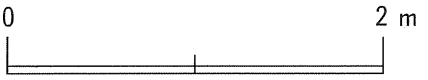
ＳＫ　726 土坑（第244図、図版178）
《位　置》　ＭＯ65グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.87ｍ、短径0.86ｍ、深さ14㎝、底面長径1.62ｍ、短径0.73ｍ。
《平面形》　不整な長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　埋土中から土器片が１点出土した。
《時　期》　ＳＫ 725 出土の土器片と同一個体と考えられ、時期は縄文時代中期と思われる。

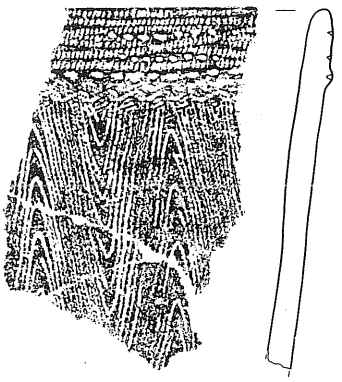
ＳＫ　734 土坑（第244図）
《位　置》　ＭＤ69グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.98ｍ、短径0.70ｍ、深さ27㎝、底面長径O.64ｍ、短径0.58ｍ。



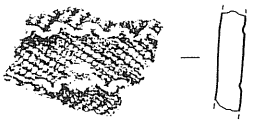


【SK 716】
1　黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性共に有り。
2　黒色土(10YR2／1) シルト。地山粒・地山塊やや多く混入。しまり、粘性共に有り。
3　にぶい黄橙土(10YR5／4) シルト。地山粒多く混入。しまり、粘性共に有り。
4　黄橙色土(10YR7／8) 粘土。硬質。
5　黄褐色土(10YR5／8) 粘土。炭混入。硬質。粘性有り。
6　明黄褐色土(10YR7／6) 粘土。硬質。
7　浅黄橙色土(10YR8／4) 粘土。硬質。

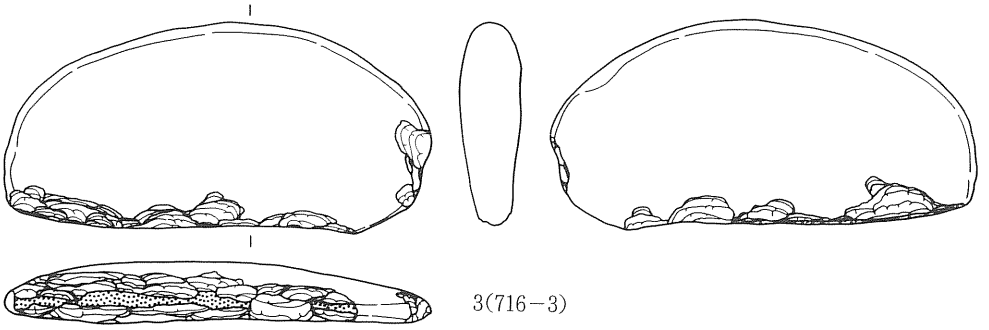




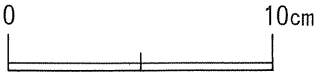
1(716－1)



2(716－2)



3(716－3)



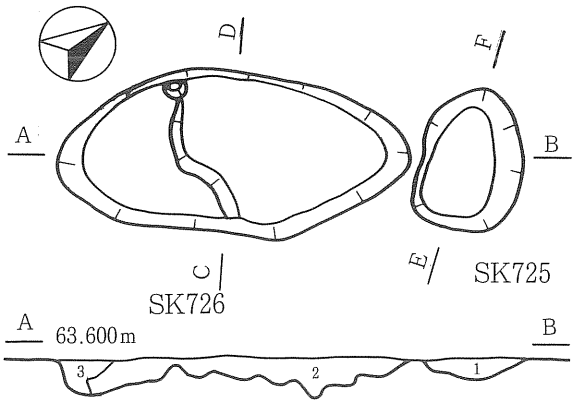
第243図　SK 716 土坑とその出土遺物

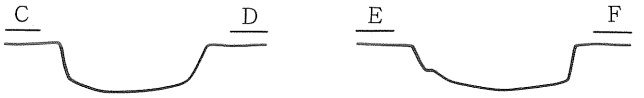
《平面形》　不整な楕円形である。
《断面形》　緩やかなＶ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　737 土坑（第245図）
《位　置》　ＭＣ66グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.56ｍ、短径1.45ｍ、深さ65㎝、底面長径1.93ｍ、短径1.38ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒•塊•炭化物を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　埋土中から土器片が４点、削器１点、石錘２点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

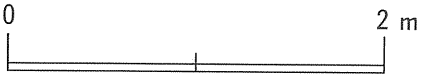
ＳＫ　739 土坑（第244図）
《位　置》　ＭＨ68グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.91ｍ、短径0.90ｍ、深さ21㎝、底面長径0.92ｍ、短径0.67ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　８層に分層した。地山粒•炭化物を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

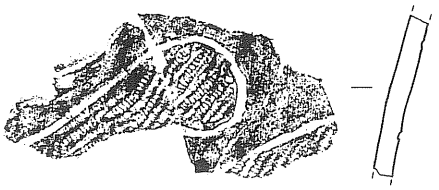
ＳＫ　740 土坑（第244図）
《位　置》　ＭＤ68グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＩ 680 竪穴住居跡と重複している。新旧関係は不明である。
《規　模》　開口部長さ1.36ｍ、幅0.96ｍ、深さ19㎝、底面長さ1.19ｍ、幅0.79ｍ。
《平面形》　１面が張り出す隅丸長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。



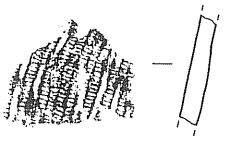


【SK725／SK726】
1　黒色土(10YR1.7／1) シルト。地山粒やや多く混入。しまり、粘性共有り。
2　黒褐色土(10YR3／2) シルト。地山粒多量、地山塊少量混入。しまり、粘性共有り。
3　黄橙色土(10YR7／8) 粘土。硬質。粘性有り。

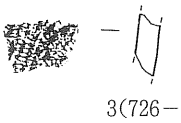




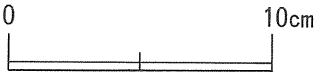
1(725－1)



2(725－2)

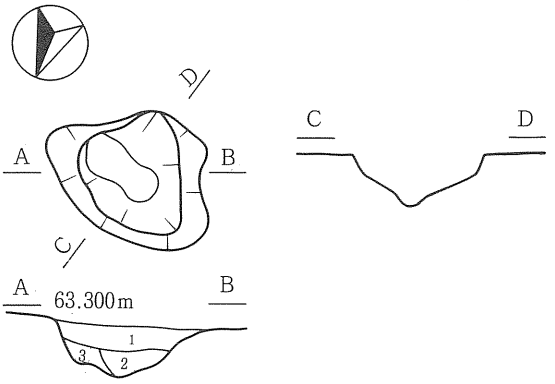


3(726－1)

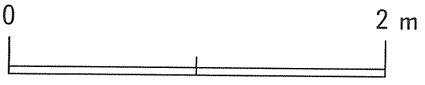


SK725　SK726

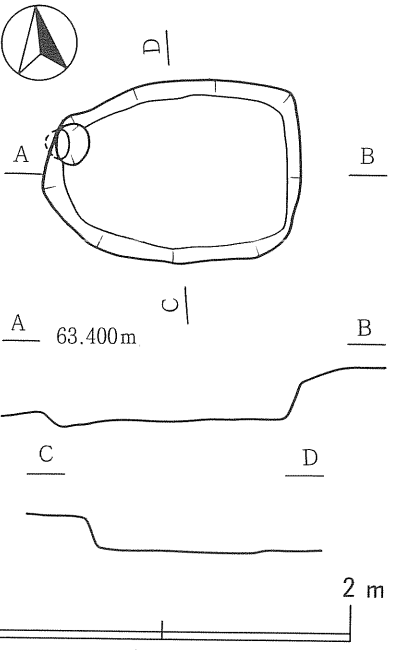
SK734



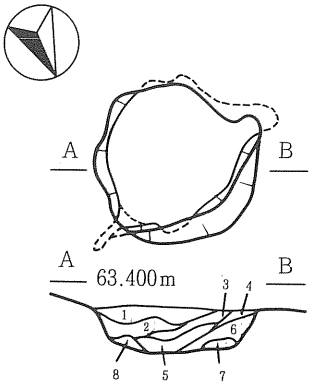
【SK　734】
1　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒・地山塊少量混入。硬くしまっている。
2　橙色土(7.5YR7／6) シラス塊多量混入。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒少量混入。サラサラしている。



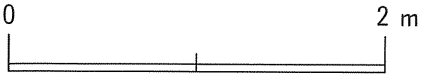
SK740



SK739

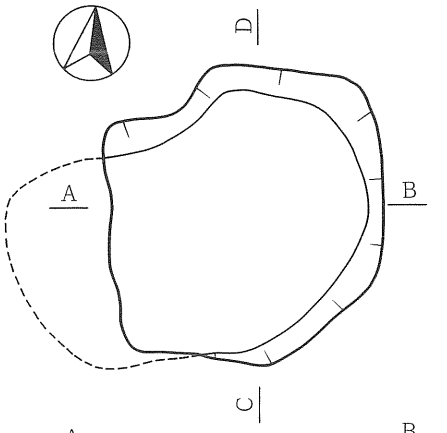


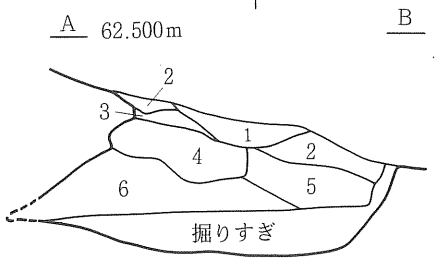
【SK　739】
1　黒色土(10YR2／1) 地山粒少量混入。しまりやや弱く、粘性なし。
2　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量混入。しまりやや弱い。
3　黒色土(10YR2／2) 地山粒混入。粘性やや強い。
4　にぶい黄褐色土(10YR5／6) 地山粒・黒色土少量混入。攪乱されている。
5　黒色土(10YR1.7／1) 地山粒微量混入。しまり弱く、粘性やや強い。
6　褐色土(10YR4／4) 地山粒多量・炭化物微量混入。しまりやや強く、粘性なし。
7　暗褐色土(10YR3／4) 炭化物微量混入。しまり・粘性共に弱い。
8　6と同じ。

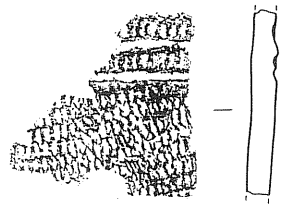


第244図　SK 725・SK 726・SK 734・SK 739・SK 740 土坑とその出土遺物

【SK　737】
1　黒色土(10YR2／1) 地山粒・地山ブロック混入。しまりゆるく、粘性やや有り。
2　褐色土(10YR4／6) 地山ブロック混入。炭化物微量混入。しまりゆるく、粘性なし。
3　にぶい黄褐色土(10YR4／3) 地山ブロック混入。炭化物微量混入。しまり強く、粘性なし。
4　黄褐色土(10YR5／6) 細礫混入。炭化物微量混入。しまり強く、粘性なし。
5　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒・地山ブロック多量混入。しまり強く、粘性なし。
6　にぶい黄褐色土(10YR5／4) 地山粒・地山ブロック・礫多量混入。しまりゆるく、粘性なし。

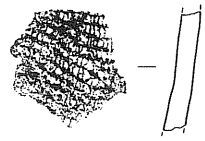




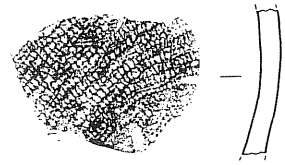


1(737－1)

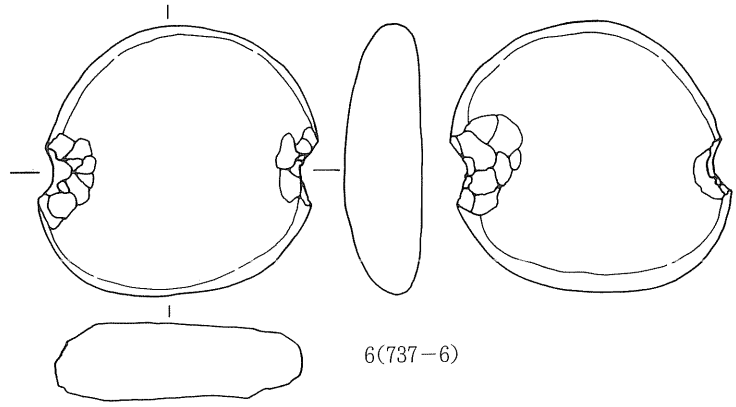
2(737－2)



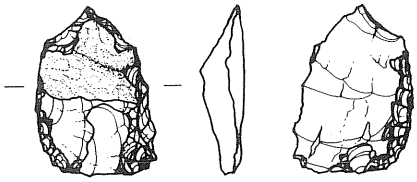
3(737－3)



4(737－4)

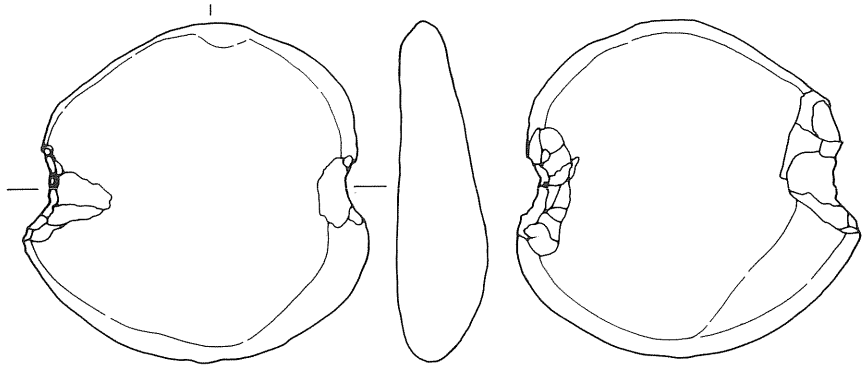


6(737－6)

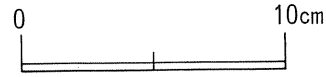


5(737－5)

SK737



7(737－7)



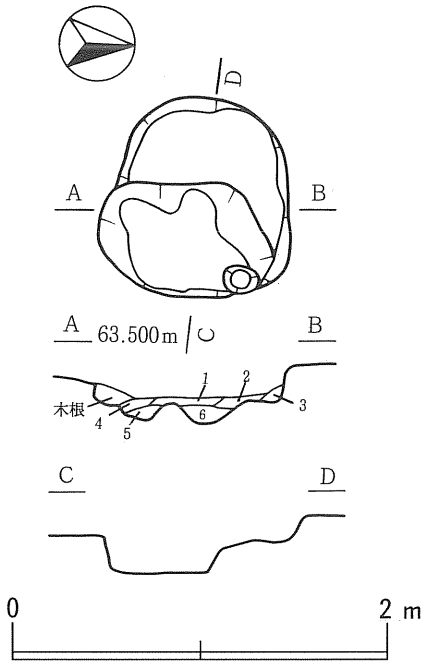
第245図　SK 737 土坑とその出土遺物

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

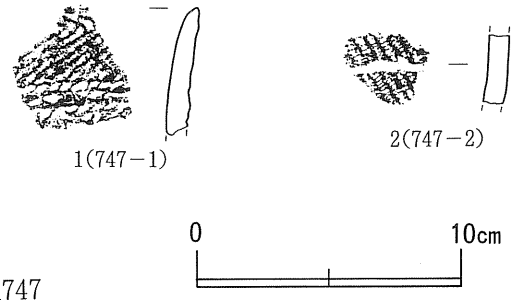
ＳＫ　747 土坑（第246図）
《位　置》　ＭＦ68グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の隅丸方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ1.05ｍ、幅1.01ｍ、深さ22㎝、底面長さ0.94ｍ、幅0.86ｍ。
《平面形》　隅丸方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・炭化物・細礫を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　埋土中から土器片が２点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　748 土坑（第246図）
《位　置》　ＭＬ71グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.76ｍ、短径0.62ｍ、深さ23㎝、底面長径0.66ｍ、短径0.51ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　11層に分層した。地山粒・炭化物を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　751 土坑（第246図）
《位　置》　ＭＩ64・65グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.08ｍ、短径1.07ｍ、深さ22㎝、底面長径0.93ｍ、短径0.92ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒・塊・炭化物・焼土を混入する。
《底　面》　やや凹凸がある。小さなピットが２カ所ある。
《遺　物》　埋土中から土器片が４点、底面からは礫が５点出土した。
《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

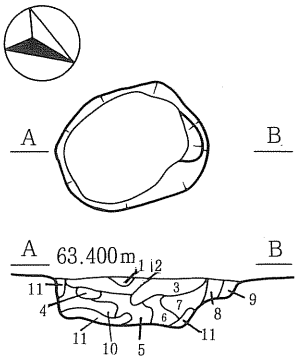


【SK 747】
1 黒褐色土(10YR3／2) 炭化物微量混入。
2 黒褐色土(10YR2／3) 地山粒多量・炭化物少量混入。しまりゆるく、やや粘性あり。
3 暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量・炭化物微量混入。しまりゆるく、粘性なし。
4 黄褐色土(10YR5／6) 炭化物微量混入。しまり固く、粘性なし。
5 褐色土(10YR4／6) しまりやや弱くパサパサしている。
6 黄褐色土(10YR5／6) 細礫少量混入。しまりゆるくパサパサしている。



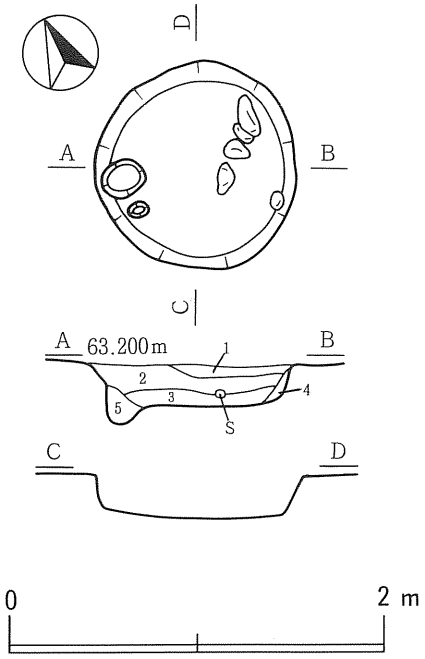
SK747

SK748

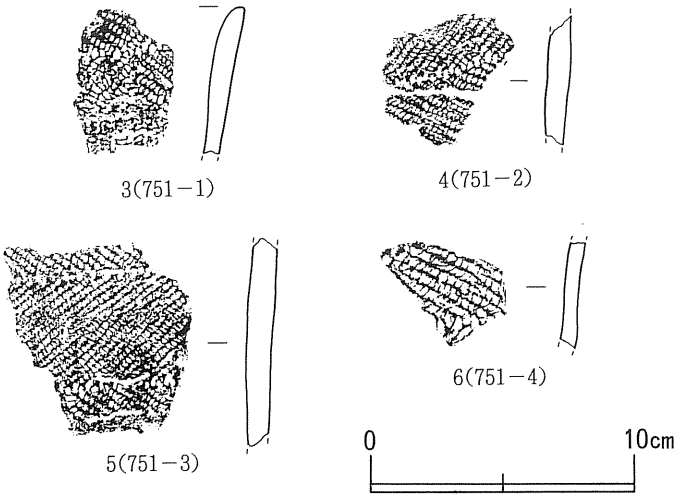


【SK 748】
1 黒褐色土(10YR2／2) 粘性なし。しまりややゆるい。
2 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒少量混入。しまりやや強い。
3 黒褐色土(10YR2／3) 地山(小)ブロック少量混入。炭化物微量混入。しまりやや強い。
4 黒褐色土(10YR2／2) しまりゆるい。(木痕)
5 黒褐色土(10YR3／2) 地山(小)ブロック多量混入。しまりやや強い。
6 褐色土(10YR4／4) 地山粒多量混入。しまりやや弱い。
7 黒褐色土(10YR3／2) 地山(小)ブロック多量混入。しまりやや強い。
8 褐色土(10YR4／4) 地山粒多量混入。しまり弱い。
9 黒色土(10YR2／1) 地山粒少量混入。しまり弱く、やや粘性あり。
10 暗褐色土(10YR3／4) 地山(小)ブロック・炭化物混入。しまりやや強い。
11 褐色土(10YR4／6) 地山(小)ブロック多量混入。しまりやや強い。

SK751



【SK 751】
1 暗褐色土(10YR3／3) 焼土微量混入。しまりやや強い。
2 暗褐色土(10YR3／4) 地山小ブロック・炭化物少量混入。
3 黒褐色土(10YR2／3) 地山粒・細礫混入。しまり強く、粘性もやや強い。
4 黒褐色土(10YR3／2) 地山粒少量混入。しまり弱い。
5 暗褐色土(10YR3／3) 地山粒少量混入。しまり弱い。



第246図　SK 747・SK 748・SK 751 土坑とその出土遺物

ＳＫ　752 土坑（第247図）

《位　置》　ＭＩ65グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.02ｍ、短径0.94ｍ、深さ40㎝、底面長径0.98ｍ、短径0.91ｍ。

《平面形》　円形である。

《断面形》　土圧のためかオーバーハングも見られるが、ビーカー状を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。地山粒･塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　832 土坑（第247図）

《位　置》　ＭＯ62グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.66ｍ、短径0.58ｍ、深さ11㎝、底面長径0.50ｍ、短径0.42ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。地山粒･塊･炭化物を混入する。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　834 土坑（第247図）

《位　置》　ＭＧ76、ＭＨ76グリッドに位置する。

《確　認》　台地縁辺に黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.00ｍ、短径0.82ｍ、深さ42㎝、底面長径0.89ｍ、短径0.65ｍ。

《平面形》　西側部分は崩落しているが、底面形から隅丸長方形と判断した。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　１層のみ。地山粒･塊を混入する。

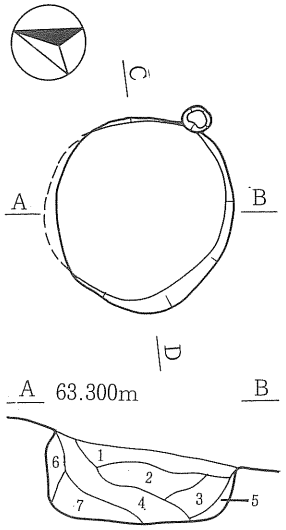
《底　面》　やや凹凸がある。北側壁際に柱穴様ピットが1カ所ある。

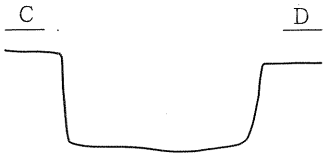
《遺　物》　埋土中から石錐基部破片が１点出土した。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　901 土坑（第247図）

《位　置》　ＮＨ47、ＮＩ47グリッドに位置する。



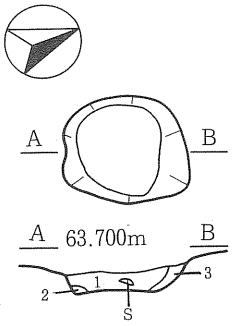


【SK 752】
1　黒褐色土(10Y R2／2) 地山粒少量混入。しまりやや弱い。
2　黒色土(10Y R2／1) 地山小ブロック混入。
3　黒褐色土(10Y R2／3) 地山小ブロック混入。焼土微量混入。
　　しまり非常に弱い。
4　黒褐色土(10Y R3／2) 地山ブロック多量混入。しまりやや弱い。
5　黒褐色土(10Y R3／2) 4よりはやや強くしまり、粘性も強い。
6　黒褐色土(10Y R3／1) 地山粒少量混入。しまり弱い。
7　黒色土(10Y R2／1) 地山小ブロック少量混入。しまり、粘性共やや強い。

0　2 m

S K752

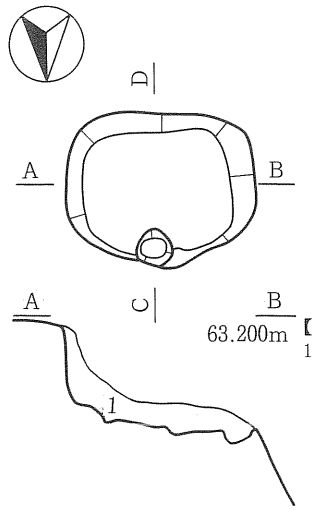
S K832

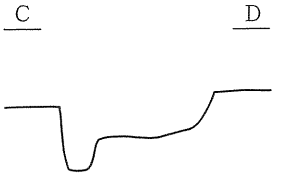


【SK 832】
1　黒褐色土(10Y R3／2) シルト。地山粒多量、炭少量混入。
　　しまり、粘性共なし。
2　褐色土(10Y R4／6) シルト～粘土。地山粒多量混入。
　　しまり、粘性共有り。
3　黒褐色土(10Y R3／1) シルト。地山粒・炭少量混入。
　　しまり、粘性共有り。

0　2 m

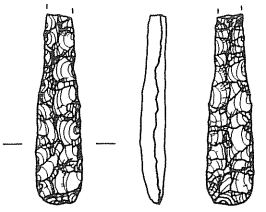
S K834





【SK 834】
1　黒褐色土(10Y R2／3) シルト。地山粒多量、
　　地山塊(小) やや多く混入。
　　しまり有り、粘性あまりなし。

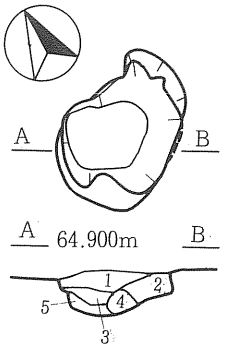
0　2 m



1(834－1)

0　10cm

S K901



【SK 901】
1　黒褐色土(10Y R2／2) 地山粒少量、炭化物微量混入。しまり強く、粘性やや有り。
2　灰黄褐色土(10Y R4／2) 地山粒多量、炭化物微量混入。しまり非常に弱く、
　　粘性なし。
3　灰黄褐色土(10Y R5／2) 粘質土。地山粒少量混入。しまり弱く、粘性強い。
4　にぶい黄橙土(10Y R6／3) 地山塊。
5　黄褐色土(10Y R5／6) 地山粒多量含む。しまり弱く、パサパサ。

0　2 m

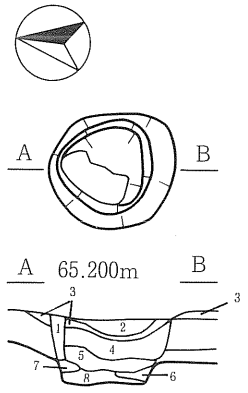
第247図　SK 752・SK 832・SK 834・SK 901 土坑とその出土遺物

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.83ｍ、短径0.60ｍ、深さ24㎝、底面長径0.43ｍ、短径0.33ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒・炭化物を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　902 土坑（第248図）
《位　置》　ＮＩ47グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.67ｍ、短径0.61ｍ、深さ38㎝、底面長径0.43ｍ、短径0.41ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　８層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物・焼土粒を混入する。埋土の上部を古代の火山灰（大湯浮石層）が覆っていた。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　平安時代の可能性が強い。

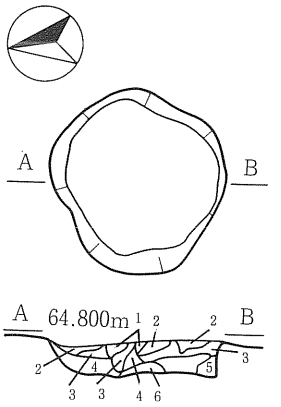
ＳＫ　905 土坑（第248図）
《位　置》　ＮＩ50グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.00ｍ、短径0.90ｍ、深さ19㎝、底面長径0.83ｍ、短径0.76ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物・粘土粒を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　906 土坑（第248図）
《位　置》　ＮＩ50グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。



【SK 902】
1 黒褐色土(10Y R3／1) 浮石粒微量混入。しまりやや弱く、粘性なし。
2 明黄褐色土(10Y R7／6) 大湯浮石層(Ⅲa)
3 黒褐色土(10Y R3／2) 浮石粒多量混入。硬くしまり、粘性なし。
4 黒褐色土(10Y R2／3) 地山粒・焼土粒微量混入。しまり、粘性共普通。
5 黒褐色土(10Y R2／2) 炭化物少量混入。しまりやや弱く、粘性あり。
6 にぶい黄褐色土(10Y R5／4) 地山塊多く混入。しまりやや弱く、粘性なし。
7 灰黄褐色土(10Y R5／2) 炭化物微量混入。しまり弱く、粘性強い。
8 暗褐色土(10Y R3／3) 地山粒多く混入。しまり弱く、粘性強い。

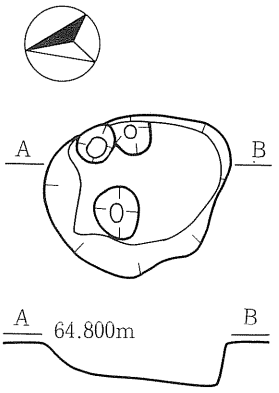
S K902



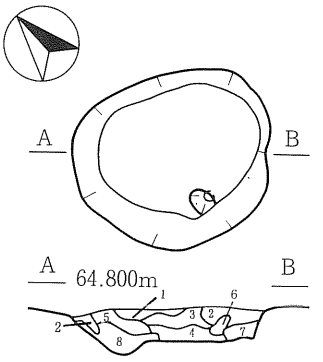
【SK 905】
1 黒褐色土(10Y R2／3) 地山粒少量混入。しまり・粘性共普通。
2 黒褐色土(10Y R3／2) 地山粒多量混入。しまりやや弱く、粘性なし。
3 灰黄褐色土(10Y R5／2) 地山(小)塊・粘土粒少量混入。しまり強く、粘性普通。
4 明黄褐色土(10Y R6／8) 地山(小)塊多く混入。粘土粒少量混入。しまり強く、粘性なし。
5 褐灰色土(10Y R6／1) シラス。炭化物微量混入。しまり強く、粘性なし。
6 3に同じ。

S K905

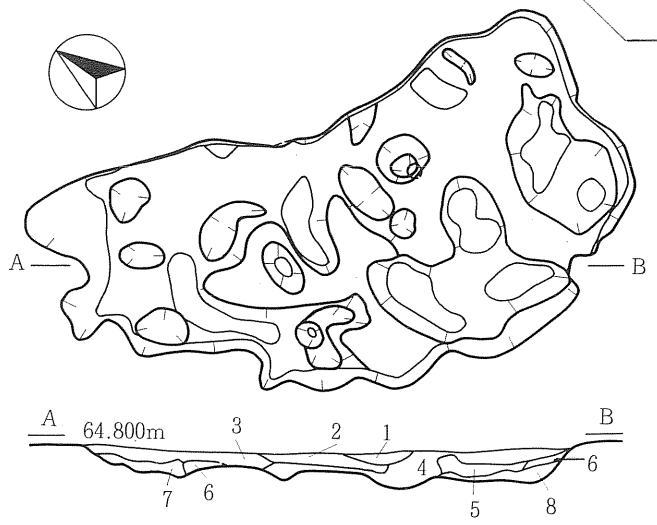
S K906



S K907

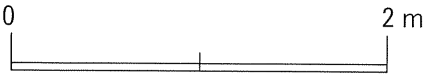


【SK 907】
1 黒褐色土(10Y R3／2) 地山粒多く混入。しまり弱く、粘性やや有り。
2 黒褐色土(10Y R3／1) 地山(小)塊少量、地山粒多く混入。しまり普通、粘性やや有り。
3 にぶい黄橙土(10Y R6／3) 地山粒・粘土粒多く混入。しまり、粘性共に強い。
4 明黄褐色土(10Y R6／6) 炭化物微量混入。しまり強く、粘性なし。
5 黒褐色土(10Y R3／2) 地山(小) 塊少量、炭化物微量混入。しまりやや弱く、粘性なし。
6 にぶい黄橙土(10Y R7／4) 粘土塊。
7 黄褐色土(10Y R5／6) しまり弱く、粘性やや有り。
8 暗褐色土(10Y R3／4) 地山粒多量、炭化物微量混入。しまり弱く、粘性なし。



S K909

【SK 909】
1 黒褐色土(10Y R3／2) 地山粒混入。しまりやや強く、粘性あり。
2 黒褐色土(10Y R2／3) 地山粒少量混入。しまりやや弱く、粘性あり。
3 黒褐色土(10Y R3／2) 地山粒・地山(小)塊少量混入。しまり、粘性共普通。
4 暗褐色土(10Y R3／3) 地山(小)塊多量混入。しまりやや弱く、粘性なし。
5 暗褐色土(10Y R3／4) 地山(大)塊少量、地山粒・地山(小)塊多く混入。しまり弱く、粘性なし。
6 5に同じ。
7 にぶい黄褐色土(10Y R5／3) 地山塊多量混入。粘土粒少量混入。しまりやや弱い。
8 褐灰色土(10Y R6／1) 地山塊、粘土塊(多く)混入。やや硬く、粘性あり。



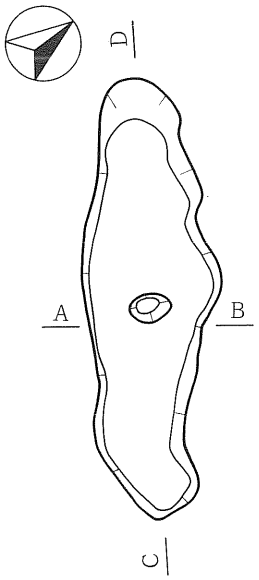
第248図　SK 902・SK 905・SK 906・SK 907・SK 909 土坑

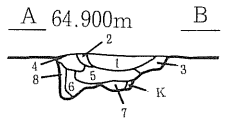
《規　模》　開口部長径1.05ｍ、短径0.81ｍ、深さ24㎝、底面長径0.87ｍ、短径0.66ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　907 土坑（第248図）
《位　置》　ＮＫ51グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.08ｍ、短径0.91ｍ、深さ17㎝、底面長径0.88ｍ、短径0.68ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　８層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物・粘土粒を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　909 土坑（第248図）
《位　置》　ＮＫ47・48グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.92ｍ、短径1.42ｍ、深さ12㎝、底面長径2.75ｍ、短径1.32ｍ。
《平面形》　不整形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　８層に分層した。地山粒・地山塊・粘土塊を混入する。
《底　面》　凹凸が激しい。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　910 土坑（第249図）
《位　置》　ＮＫ47・48グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.34ｍ、短径0.74ｍ、深さ24㎝、底面長径2.06ｍ、短径0.65ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

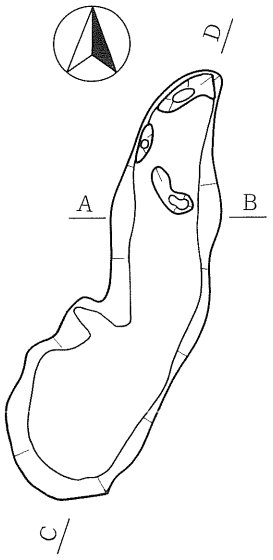


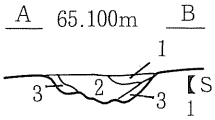


【SK　910】
1　黒色土(10Ｙ Ｒ2／1) 焼土粒少量混入。しまり普通、粘性強い。
2　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／2) 地山粒多く混入。しまり強く、粘性やや有り。
3　褐灰色土(10Ｙ Ｒ4／1) 地山(小)塊混入。しまり硬く、粘性有り。
4　にぶい黄褐色土(10Ｙ Ｒ4／3) 地山粒多く混入。しまり、粘性共普通。
5　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／1) 炭化物微量混入。しまりやや弱く、粘性あり。
6　3に同じ。
7　にぶい黄褐色土(10Ｙ Ｒ5／3) 地山塊・粘土塊多く混入。しまりやや弱い。
8　黄褐色土(10Ｙ Ｒ5／6) 地山塊混入。しまりやや弱く、粘性なし。

ＳＫ910

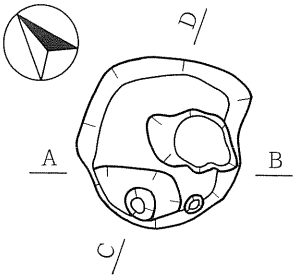
ＳＫ911

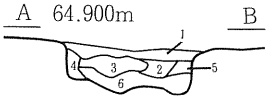




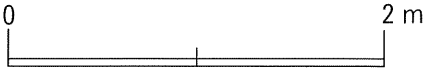
【SK　911】
1　灰黄褐色土(10Ｙ Ｒ4／2) 地山粒多量混入。黒色土粒状で少量混入。
　　しまり、粘性共普通。
2　黒褐色土(10Ｙ Ｒ2／2) 地山粒少量混入。しまり普通。粘性やや有り。
3　暗褐色土(10Ｙ Ｒ3／3) 地山粒・炭化物粒少量混入。
　　しまり弱く、粘性なし。

ＳＫ912





【SK　912】
1　黒色土(10Ｙ Ｒ2／1) 地山粒少量、焼土粒微量混入。しまり強く、粘性なし。
2　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／2) 地山粒多量混入。しまりやや弱く、粘性なし。
3　黄褐色土(10Ｙ Ｒ5／4) 地山塊多量混入。しまり弱く、粘性なし。
4　褐色土(10Ｙ Ｒ4／4) 地山粒多量、粘土粒少量混入。
　　しまり強く、粘性やや有り。
5　暗褐色土(10Ｙ Ｒ3／3) 地山粒多量、地山小塊少量混入。焼土粒微量混入。
　　しまり弱く、パサパサ。
6　褐灰色土(10Ｙ Ｒ4／1) 粘土塊・地山塊混入。しまり強い。



第249図　ＳＫ 910・ＳＫ 911・ＳＫ 912 土坑

《埋　土》　８層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物・粘土塊・焼土粒を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央部に柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　911 土坑（第249図）
《位　置》　ＮＬ48グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の長円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.40ｍ、短径0.76ｍ、深さ16㎝、底面長径2.26ｍ、短径0.65ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒・炭化物を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　912 土坑（第249図）
《位　置》　ＮＬ48グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.90ｍ、短径0.87ｍ、深さ19㎝、底面長径0.78ｍ、短径0.65ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物・粘土塊・焼土粒を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　913 土坑（第250図）
《位　置》　ＮＬ48グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.91ｍ、短径0.88ｍ、深さ15㎝、底面長径0.82ｍ、短径0.76ｍ。
《平面形》　胴張りのある隅丸方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物・粘土塊を混入する。
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。小さな窪みが２カ所ある。
《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　914 土坑（第250図）

《位　置》　ＮＭ49、ＮＮ49グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.62ｍ、短径1.50ｍ、深さ13㎝、底面長径1.32ｍ、短径1.23ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　埋土中から土器片が出土した。

《時　期》　出土した土器片から縄文時代前期後葉と思われる。

ＳＫ　915 土坑（第250図）

《位　置》　ＮＭ48、ＮＮ48グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の長円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径2.26ｍ、短径0.92ｍ、深さ17㎝、底面長径1.97ｍ、短径0.72ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。地山粒•地山塊•粘土塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸があり、柱穴様小ピットが10カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　916 土坑（第251図）

《位　置》　ＮＮ48•49グリッドに位置する。

《確　認》　灰黄褐色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.74ｍ、短径1.49ｍ、深さ20㎝、底面長径1.48ｍ、短径1.00ｍ。

《平面形》　隅丸長方形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

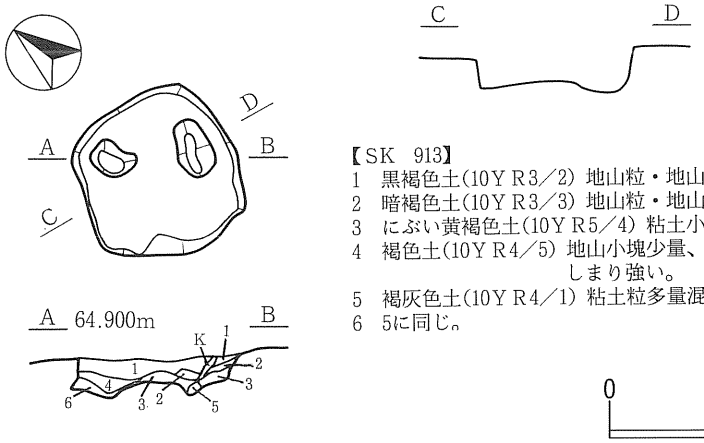
《埋　土》　10層に分層した。地山粒•地山塊•粘土塊を混入する。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。小さな窪みが４カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

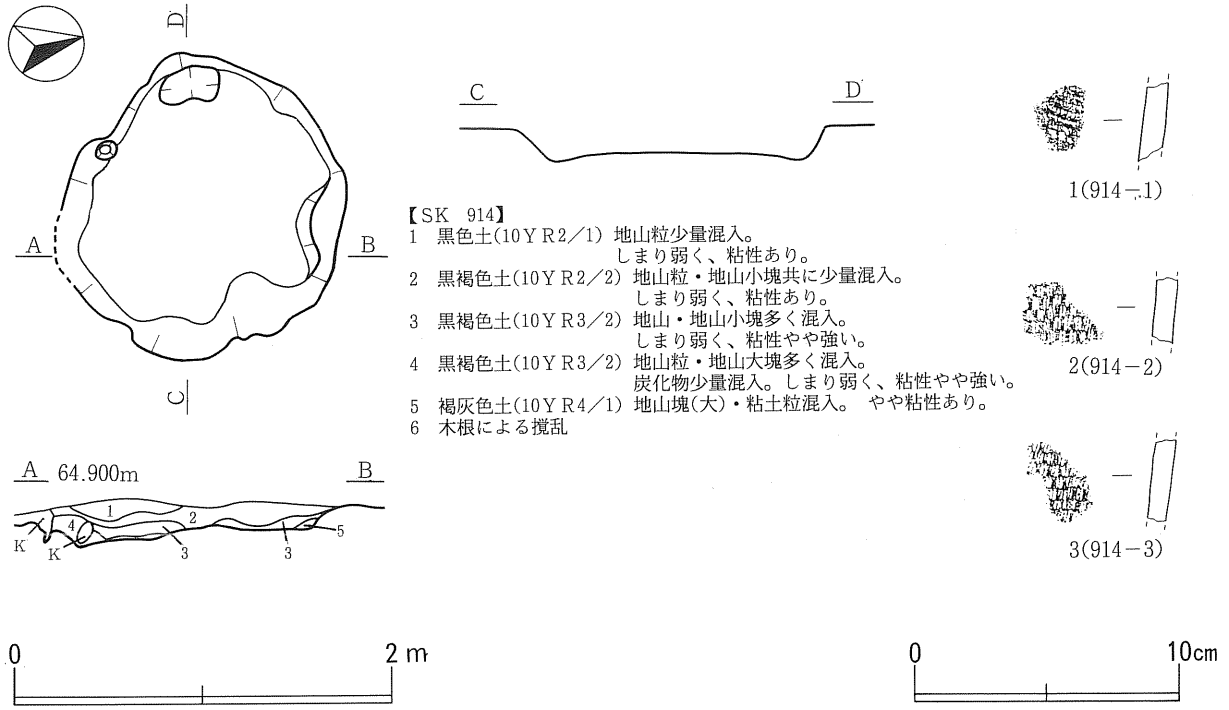
ＳＫ　917 土坑（第251図）



【SK　913】
1　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／2) 地山粒・地山塊混入。しまり、粘性共普通。
2　暗褐色土(10Ｙ Ｒ3／3) 地山粒・地山小塊混入。しまり強く、粘性なし。
3　にぶい黄褐色土(10Ｙ Ｒ5／4) 粘土小塊混入。しまり強く、粘性なし。
4　褐色土(10Ｙ Ｒ4／5) 地山小塊少量、粘土小塊多量混入。炭化物微量混入。
　　しまり強い。
5　褐灰色土(10Ｙ Ｒ4／1) 粘土粒多量混入。しまり、粘性共にやや強い。
6　5に同じ。

0　2 m

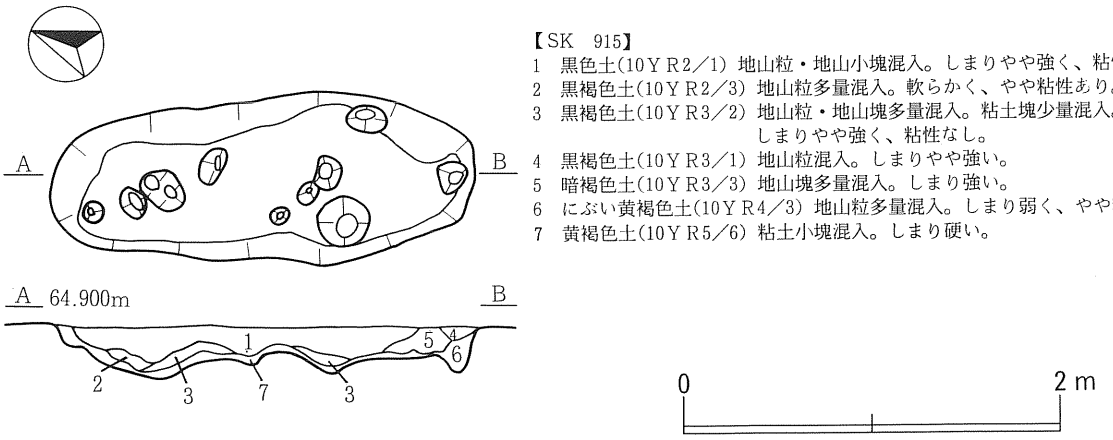
S K913



【SK　914】
1　黒色土(10Ｙ Ｒ2／1) 地山粒少量混入。
　　しまり弱く、粘性あり。
2　黒褐色土(10Ｙ Ｒ2／2) 地山粒・地山小塊共に少量混入。
　　しまり弱く、粘性あり。
3　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／2) 地山・地山小塊多く混入。
　　しまり弱く、粘性やや強い。
4　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／2) 地山粒・地山大塊多く混入。
　　炭化物少量混入。しまり弱く、粘性やや強い。
5　褐灰色土(10Ｙ Ｒ4／1) 地山塊(大)・粘土粒混入。　やや粘性あり。
6　木根による撹乱

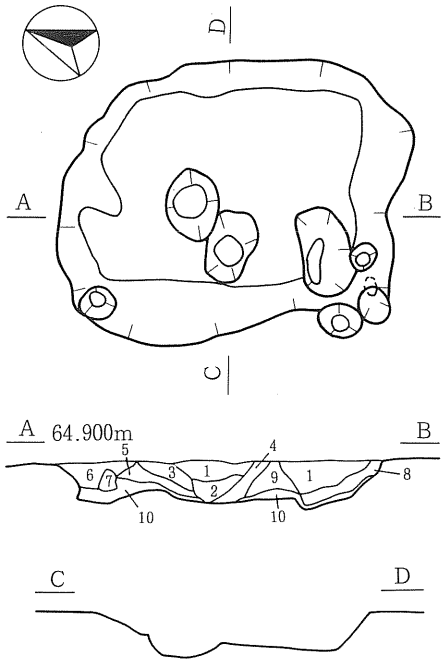
S K914

S K915



【SK　915】
1　黒色土(10Ｙ Ｒ2／1) 地山粒・地山小塊混入。しまりやや強く、粘性強い。
2　黒褐色土(10Ｙ Ｒ2／3) 地山粒多量混入。軟らかく、やや粘性あり。
3　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／2) 地山粒・地山塊多量混入。粘土塊少量混入。
　　しまりやや強く、粘性なし。
4　黒褐色土(10Ｙ Ｒ3／1) 地山粒混入。しまりやや強い。
5　暗褐色土(10Ｙ Ｒ3／3) 地山塊多量混入。しまり強い。
6　にぶい黄褐色土(10Ｙ Ｒ4／3) 地山粒多量混入。しまり弱く、やや粘性あり。
7　黄褐色土(10Ｙ Ｒ5／6) 粘土小塊混入。しまり硬い。

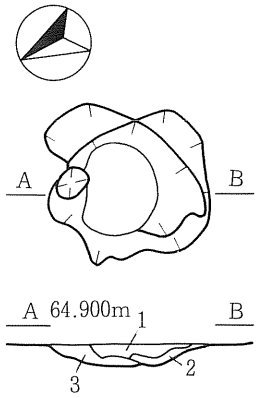
第250図　SK 913・SK 914・SK 915 土坑とその出土遺物



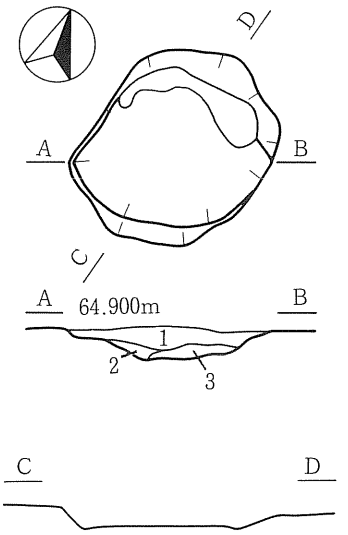
【SK　916】
1　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2) 地山粒多量混入。しまり弱く、パサパサ。
2　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／3) 地山粒・地山(小)塊・粘土粒混入。しまり硬く、やや粘性あり。
3　灰黄褐色土(10ＹＲ6／2) 地山粒・粘土粒混入。硬くしまり、粘性強い。
4　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／4) 地山粒・地山(小)塊多く混入。細礫混入。硬くしまり、粘性なし。
5　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2) 地山粒・地山(小) 塊多量混入。やや軟らかく、粘性あり。
6　黒褐色土(10ＹＲ2／2) 地山粒・粘土粒混入。やや硬くしまり、粘性強い。
7　にぶい黄橙土(10ＹＲ7／2) 粘土。
8　にぶい黄褐色土(10ＹＲ4／3) 地山粒・地山(小)塊多量混入。しまり強く、粘性なし。
9　暗褐色土(10ＹＲ3／3) 地山(小)塊多量混入。軟らかく、やや粘性あり。
10　黄褐色土(10ＹＲ5／6) 黒色土粒状で混じり合う。

S K916

S K918



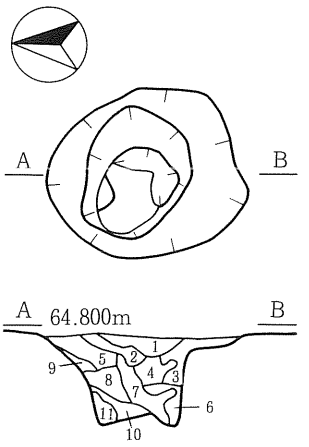
【SK　918】
1　黒褐色土(10ＹＲ2／3) 地山粒少量混入。しまり強く、粘性なし。
2　にぶい黄褐色土(10ＹＲ4／3) 地山粒多量混入。しまり強く、粘性やや有り。
3　暗褐色土(10ＹＲ3／4) 地山粒(やや大粒)・焼土粒少量混入。しまり強く、粘性なし。



【SK　917】
1　黒褐色土(10ＹＲ2／2) 地山粒少量混入。しまり弱く、粘性やや強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ3／2) 地山粒多く混入。しまり弱く、粘性やや強い。
3　明黄褐色土(10ＹＲ6／6) 地山粒・地山塊多く混入。パサパサしている。

S K917

S K919



【SK　919】
1　黒褐色土(10ＹＲ3／2) 地山粒多く混入。しまりやや強く、粘性なし。
2　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2) 地山粒・焼土粒・炭化物混入。しまり弱く、粘性強い。
3　2に同じ。
4　灰黄褐色土(10ＹＲ5／2) 地山粒・粘土塊多く混入。粘性強い。
5　にぶい黄褐色土(10ＹＲ4／3) 地山粒多量混入。粘土(小)塊混入。しまり強く、粘性やや有り。
6　黄褐色土(10ＹＲ5／6) 地山(小)塊・粘土粒混入。硬くしまり、粘性なし。
7　褐灰色土(10ＹＲ5／1) 粘土・地山(小)塊混入。粘性有り。
8　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／4) 地山粒多量、地山(小)塊少量混入。しまり硬く、粘性なし。
9　明黄褐色土(10ＹＲ6／8) しまりやや弱く、粘性なし。
10　6に同じ。
11　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／4) 細礫少量混入。しまり強く、粘性なし。

0　2 m

第251図　SK 916・SK 917・SK 918・SK 919 土坑

《位　置》　ＮＯ47･48グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.14ｍ、短径0.91ｍ、深さ18㎝、底面長径0.87ｍ、短径0.84ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒･地山塊を混入する。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　918 土坑（第251図）
《位　置》　ＮＫ47グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.86ｍ、短径0.74ｍ、深さ12㎝、底面長径0.49ｍ、短径0.38ｍ。
《平面形》　不整形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒･地山塊･焼土粒を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　919 土坑（第251図）
《位　置》　ＮＫ46グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.04ｍ、短径0.90ｍ、深さ49㎝、底面長径0.49ｍ、短径0.34ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　中央部が盛り上がったビーカー形を呈する。
《埋　土》　11層に分層した。地山粒･地山塊･焼土粒･炭化物･細礫を混入する。
《底　面》　中央部が上げ底状に盛り上がっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　920 土坑（第252図）
《位　置》　ＮＬ46グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.28ｍ、短径0.98ｍ、深さ11㎝、底面長径1.22ｍ、短径0.91ｍ。
《平面形》　隅丸長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　921 土坑（第252図）
《位　置》　ＮＬ46グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.88ｍ、短径0.77ｍ、深さ7㎝、底面長径0.80ｍ、短径0.72ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒•地山塊•焼土を混入する。
《底　面》　凹凸がある。窪みが２カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　923 土坑（第252図）
《位　置》　ＮＭ46グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＫ 953 土坑と重複している。本土坑が新しい。
《規　模》　開口部長径0.74ｍ、短径0.58ｍ、深さ18㎝、底面長径0.44ｍ、短径0.36ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

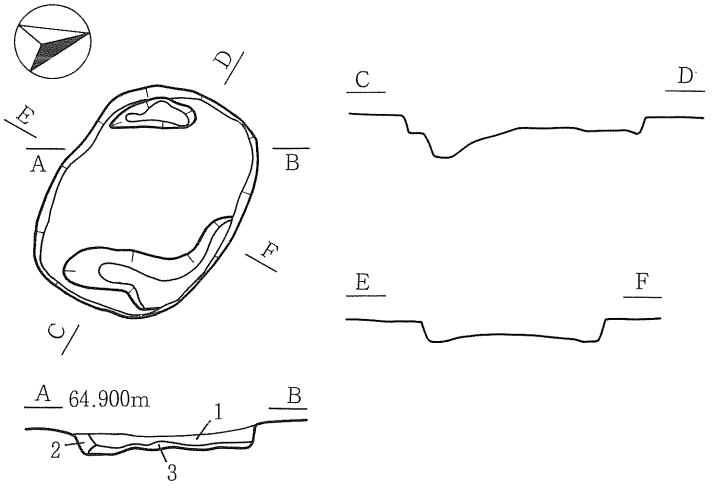
ＳＫ　925 土坑（第252図）
《位　置》　ＮＮ45•46グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.30ｍ、短径1.28ｍ、深さ16㎝、底面長径0.96ｍ、短径0.94ｍ。
《平面形》　不整円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。地山粒・地山塊・焼土・炭化物を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　926 土坑（第252図）
《位　置》　ＮＭ45、ＮＮ45グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.19ｍ、短径0.86ｍ、深さ22㎝、底面長径0.84ｍ、短径0.66ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・地山塊・粘土塊を混入する。
《底　面》　上げ底状に中央部が盛り上がっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

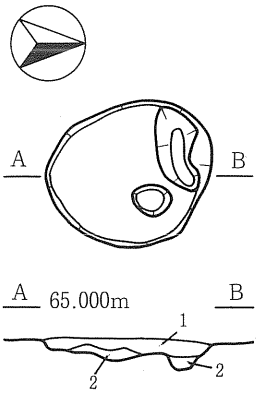
ＳＫ　928 土坑（第253図）
《位　置》　ＮＬ44グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.16ｍ、短径1.02ｍ、深さ16㎝、底面長径1.01ｍ、短径0.94ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒・地山塊・粘土粒・焼土・炭化物を混入する。
《底　面》　やや凹凸がある。小さなピットが２カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　930 土坑（第253図）
《位　置》　ＮＮ44グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の長円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.28ｍ、短径0.68ｍ、深さ19㎝、底面長径1.21ｍ、短径0.58ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒・地山塊・粘土粒を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。



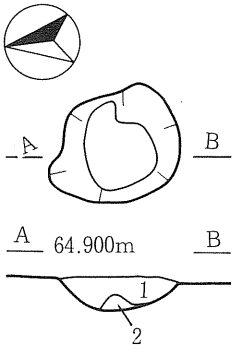
【SK 920】
1　黒褐色土(10Y R3／1) 地山粒少量混入。しまり、粘性共普通。
2　暗褐色土(10Y R3／3) 地山(小)塊混入。しまりやや弱く、粘性なし。
3　暗褐色土(10Y R3／3) 地山(小)塊多量混入。しまり、粘性共普通。

S K920



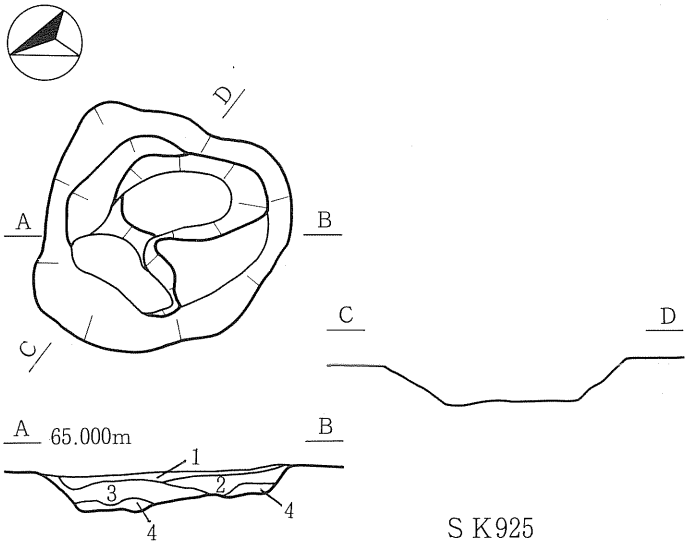
【SK 921】
1　黒褐色土(10Y R2／3) 地山粒・地山(小)塊混入。しまり弱く、パサパサ。
2　暗褐色土(10Y R3／3) 地山粒・地山(小)塊混入。焼土混入。しまり弱く、粘性普通。
3　2に同じ。

S K921



【SK 923】
1　黒色土(10Y R2／1) 地山粒多量、地山塊少量混入。しまり弱く、粘性普通。
2　にぶい黄褐色土(10Y R5／4) 地山塊多量混入。パサパサ。

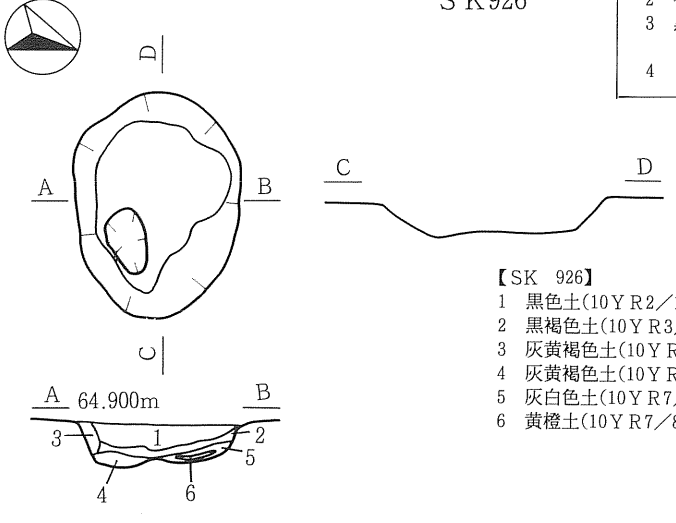
S K923



S K925

【SK 925】
1　黒褐色土(10Y R3／1) 炭化物・焼土微量混入。粘性やや強い。
2　褐灰色土(10Y R4／1) 焼土多量混入。粘性強い。
3　黒褐色土(10Y R3／2) 地山粒・地山(小)塊混入。炭化物微量混入。やや硬くしまり、粘性有り。
4　にぶい黄橙土(10Y R6／4) 地山粒多量混入。硬くしまり、粘性なし。

S K926



【SK 926】
1　黒色土(10Y R2／1) 地山粒少量混入。やや硬く、粘性強い。
2　黒褐色土(10Y R3／1) 地山粒・地山(小)塊混入。硬く、やや粘性あり。
3　灰黄褐色土(10Y R4／2) 地山粒多量混入。軟らかく、粘性あり。
4　灰黄褐色土(10Y R5／2) 粘土(小)塊混入。粘性強い。
5　灰白色土(10Y R7／1) 粘土。
6　黄橙土(10Y R7／8) 粘土。

0　2 m

第252図　SK 920・SK 921・SK 923・SK 925・SK 926 土坑

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　931 土坑（第253図）

《位　置》　ＮＮ39•40グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.46ｍ、短径1.41ｍ、深さ52㎝、底面長径0.91ｍ、短径0.76ｍ。

《平面形》　隅丸長方形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　10層に分層した。地山粒•地山塊•粘土粒•細礫を混入する。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　932 土坑（第253図）

《位　置》　ＮＮ38グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.70ｍ、短径0.66ｍ、深さ28㎝、底面長径0.56ｍ、短径0.41ｍ。

《平面形》　不整円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　６層に分層した。地山粒•地山塊•粘土粒•炭化物を混入する。

《底　面》　ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　933 土坑（第254図）

《位　置》　ＮＯ38グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.76ｍ、短径0.64ｍ、深さ12㎝、底面長径0.70ｍ、短径0.58ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

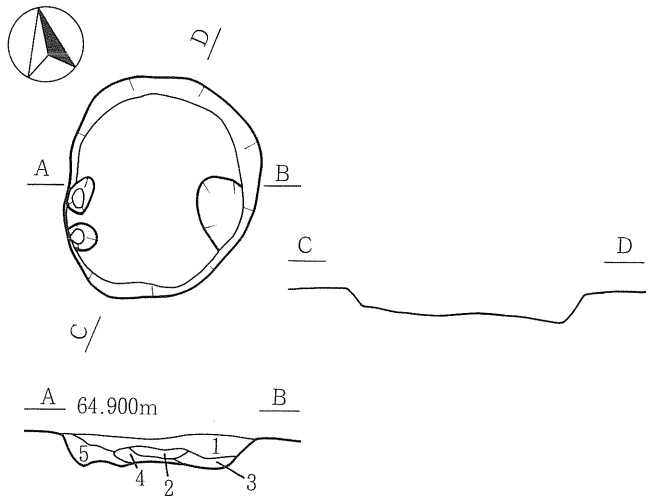
《埋　土》　３層に分層した。地山粒•細礫を混入する。

《底　面》　ほぼ平坦である。

《遺　物》　なし。

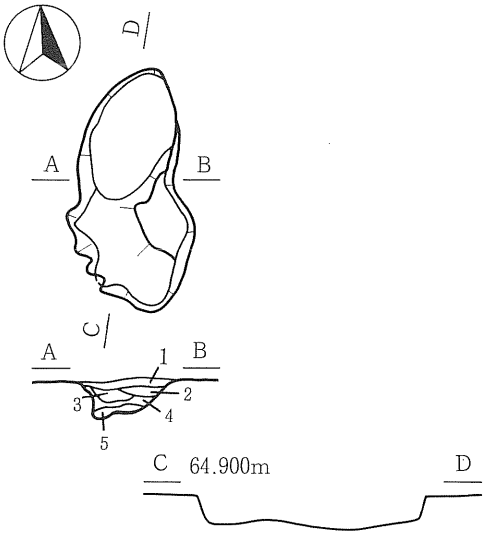
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　934 土坑（第254図）



【SK　928】
1　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒少量、炭化物微量混入。
　　軟らかく、粘性強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ3／2)　地山粒多量、焼土微量混入。
　　しまり強く、粘性弱い。
3　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　地山粒少量混入。しまり強く、粘性ややあり。
4　褐色土(10ＹＲ4／4)　地山粒多量、粘土粒少量混入。しまり強い。
5　暗褐色土(10ＹＲ3／4)　地山粒多量、地山(小)塊少量混入。
　　しまりやや弱い。

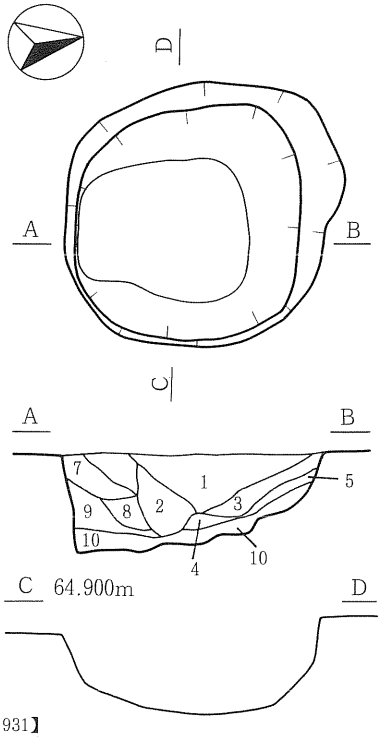
ＳＫ928



【SK　930】
1　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　地山粒多く混入。やや硬く、粘性なし。
2　褐色土(10ＹＲ4／4)　地山粒・地山(小)塊混入。やや軟らかく、
　　パサパサ。
3　黒褐色土(10ＹＲ3／2)　地山粒少量混入。やや粘性あり。
4　褐色土(10ＹＲ4／6)　地山塊・地山粒混入。軟らかい。
5　明黄褐色土(10ＹＲ6／8)　地山粒・粘土粒多く混入。軟らかく、
　　粘性あり。

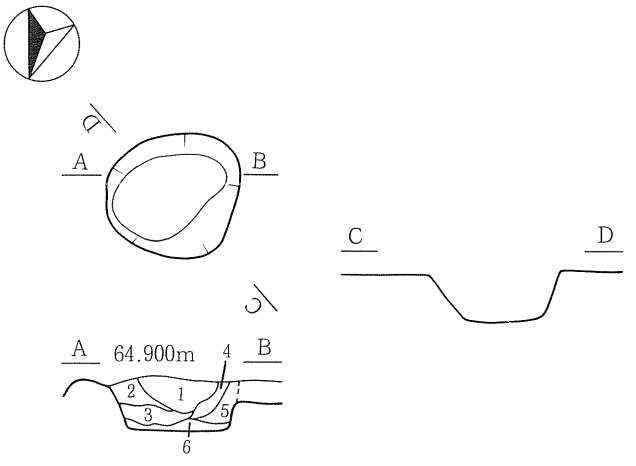
ＳＫ930

ＳＫ931

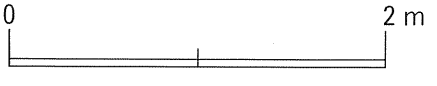


【SK　931】
1　黒褐色土(10ＹＲ2／1)　地山粒少量混入。やや軟らかく、粘性強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ3／1)　地山粒少量、粘土粒多量混入。軟らかく、
　　粘性強い。
3　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　地山粒多く混入。軟らかく、粘性あり。
4　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2)　粘土粒・粘土(小)塊混入。粘性強い。
5　黒褐色土(10ＹＲ3／2)　地山粒多く混入。軟らかく、粘性あり。
6　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2)　地山粒・粘土粒多量混入。粘性強い。
7　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／3)　地山粒・粘土粒多量混入。
　　6よりは硬く、粘性強い。
8　にぶい黄褐色土(10ＹＲ4／3)　地山粒・粘土粒混入。やや硬く、
　　粘性あり。
9　褐色土(10ＹＲ4／4)　地山塊多量混入。粘土粒・地山粒混入。
　　粘性非常に強い。
10　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／4)　地山粒・細礫混入。やや硬くしまり、
　　粘性強い。

ＳＫ932



【SK　932】
1　黒色土(10ＹＲ2／1)　地山粒少量混入。軟らかく、粘性普通。
2　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2)　地山粒多量・炭化物微量混入。
　　やや硬く、粘性あり。
3　にぶい黄褐色土(10ＹＲ4／3)　地山粒・粘土粒多量混入。
　　やや硬く、粘性強い。
4　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　地山粒多量、粘土(小)塊少量混入。
　　硬く、粘性あり。
5　灰黄褐色土(10ＹＲ4／2)　地山(小)塊多量混入。やや硬く、
　　粘性強い。
6　褐色土(10ＹＲ4／4)　地山塊・粘土塊多量混入。非常に硬く、
　　粘性強い。



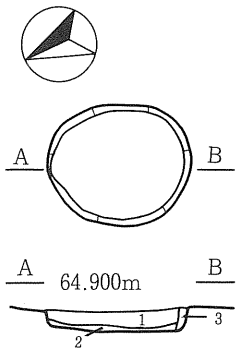
第253図　SK 928・SK 930・SK 931・SK 932 土坑

《位　置》　ＮＮ39グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＫ 951 土坑と重複していた。土層堆積から本土坑が古い。
《規　模》　開口部長径0.46ｍ、 短径0.43ｍ、深さ18㎝、底面長径0.40ｍ、短径0.36ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒･焼土粒を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

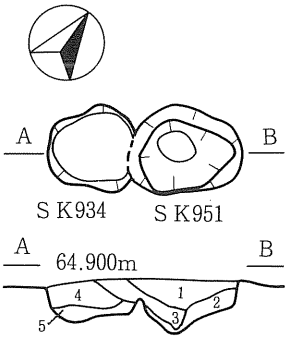
ＳＫ　941 土坑（第254図）
《位　置》　ＮＩ46･47、ＮＪ46グリッドに位置する。
《確　認》　褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.73ｍ、短径1.69ｍ、深さ9㎝、底面長径1.67ｍ、短径1.34ｍ。
《平面形》　不整円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒･焼土粒･炭化物を混入する。
《底　面》　小さな凹凸があるがほぼ平坦である。小さな柱穴様ピットが４カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　943 土坑（第254図）
《位　置》　ＮＯ42グリッドに位置する。
《確　認》　褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.58ｍ、短径1.52ｍ、深さ13㎝、底面長径1.43ｍ、短径1.28ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。
《底　面》　凹凸が激しい。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　945 土坑（第254図）
《位　置》　ＮＪ47、ＮＫ47グリッドに位置する。
《確　認》　褐灰色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。

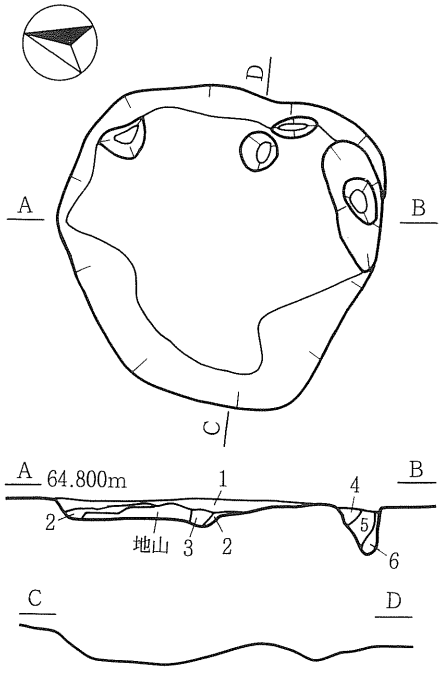


【SK 933】
1　黒色土(10Y R2／1) 地山粒少量混入。軟らかく、粘性なし。
2　黄褐色土(10Y R5／6) 地山粒多量混入。細礫混入。
　　軟らかく、パサパサ。
3　暗褐色土(10Y R3／4) 地山粒多量混入。軟らかく、粘性なし。

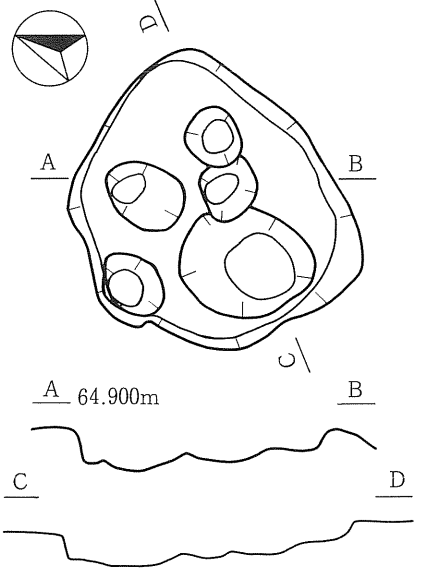


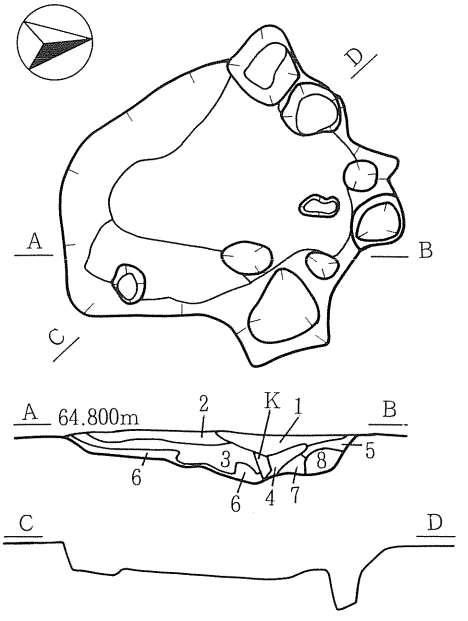
【SK 934・SK 951】
1　黒色土(10Y R2／1) 地山粒少量混入。やや軟らかく、粘性あり。
2　黄褐色土(10Y R5／6) 地山粒多量混入。硬く、粘性なし。
3　黒褐色土(10Y R3／1) 地山粒・地山(小)塊少量混入。
　　やや軟らかく、粘性もやや弱い。
4　1に同じ。
5　黒色土(10Y R1.7／1) 地山粒・焼土粒少量混入。軟らかく、
　　粘性強い。

S K934・951



【SK 941】
1　褐色土(10Y R4／4) 地山粒多量混入。炭化物微量混入。
　　しまり普通。パサパサ。
2　黒褐色土(10Y R3／2) 炭化物・焼土粒微量混入。しまり弱い。
3　褐灰色土(10Y R4／1) 粘土塊。
4　黒褐色土(10Y R2／2) 地山塊混入。しまり弱く、パサパサ。
5　黒色土(10Y2／1) 地山粒混入。しまり弱く、粘性あり。
6　黒褐色土(10Y R3／1) 地山粒多量混入。しまり弱い。





【SK 945】
1　褐灰色土(10Y R4／1) 粘土粒(小)少量混入。しまり普通。粘性強い。
2　褐灰色土(10Y R4／1) 粘土粒多量混入。しまり、粘性共に強い。
3　灰黄褐色土(10Y R6／2) 粘土。地山粒(小)少量混入。しまり、
　　粘性共に強い。
4　にぶい黄褐色土(10Y R5／3) 地山粒多量、地山(小)塊少量混入。
　　しまり弱く、粘性なし。
5　黄褐色土(10Y R4／4) 地山粒多量混入。しまり強く、粘性なし。
6　5に同じ。
7　黄褐色土(10Y R5／8) 地山塊。
8　灰黄褐色土(10Y R5／2) 粘土。地山(小)塊少量混入。しまりやや強く
　　粘性強い。

0　2 m

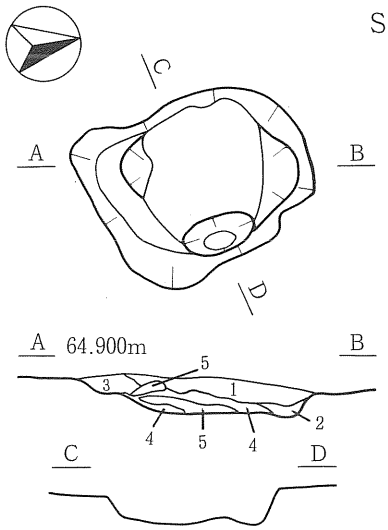
第254図　SK 933・SK 934・SK 941・SK 943・SK 945・SK 951 土坑

《規　模》　開口部長径1.83ｍ、短径1.79ｍ、深さ19㎝、底面長径1.52ｍ、短径1.10ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　８層に分層した。地山粒・塊を混入する。
《底　面》　ほぼ平坦である。壁際に柱穴様ピットが６カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

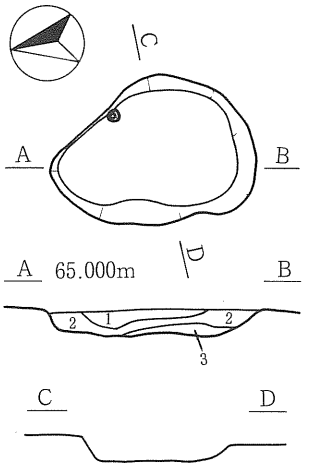
ＳＫ　947 土坑（第255図）
《位　置》　ＮＭ49グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.15ｍ、短径0.90ｍ、深さ20㎝、底面長径0.76ｍ、短径0.74ｍ。
《平面形》　隅丸長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。地山粒・地山塊・焼土粒・粘土粒を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　948 土坑（第255図）
《位　置》　ＮＮ45グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.13ｍ、短径0.78ｍ、深さ15㎝、底面長径0.99ｍ、短径0.62ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒・地山塊・細礫・粘土粒を混入する。
《底　面》　ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

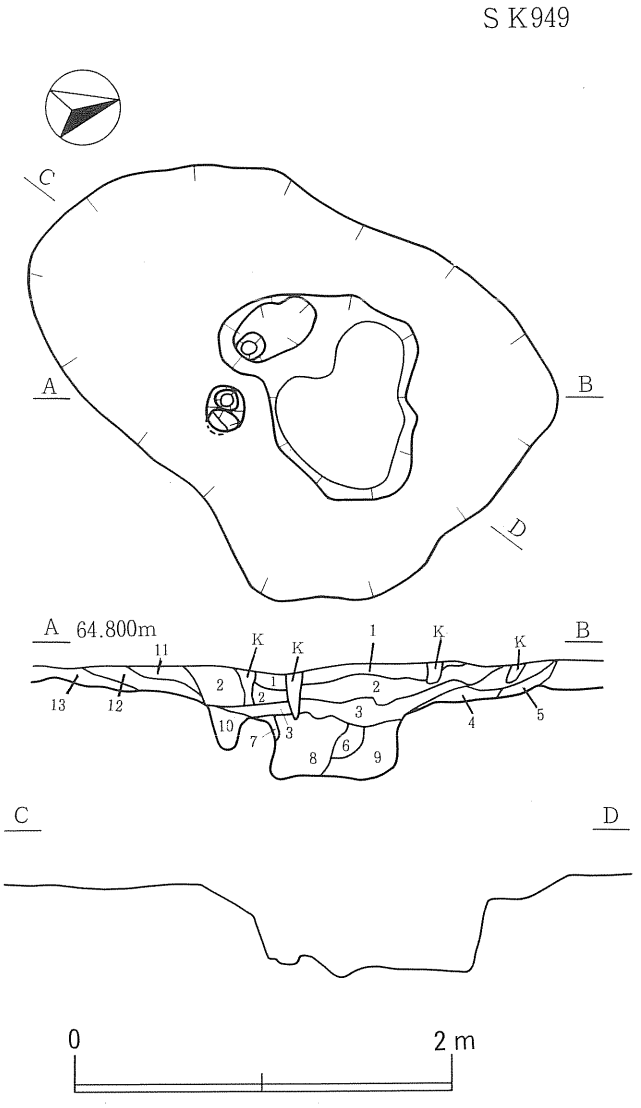
ＳＫ　949 土坑（第255図）
《位　置》　ＮＪ45グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.63ｍ、短径1.89ｍ、深さ62㎝、底面長径0.81ｍ、短径0.74ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　中華鍋底状であるが中央部が大きく窪んでいる。



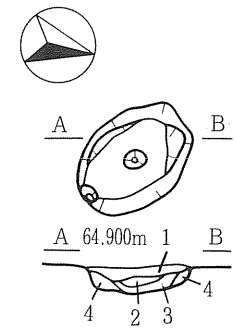
【SK 947】
1　黒色土(10YR2／1) 地山粒少量混入、しまり弱く、粘性あり。
2　黒褐色土(10YR3／2) 地山粒・地山塊混入。しまり弱く、やや粘性あり。
3　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒・地山(小)塊少量混入。しまり弱く、粘性あり。
4　灰黄褐色土(10YR4／2) 地山粒多量、焼土粒、粘土粒混入。
5　明黄褐色土(10YR7／6) 地山塊。



【SK 948】
1　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒・地山(小)塊混入。やや硬くしまり、粘性あり。
2　褐灰色土(10YR4／1) 地山塊多量混入。硬くしまり、粘性なし。
3　褐灰色土(10YR5／1) 細礫・粘土粒混入。硬くしまり、やや粘性あり。



【SK 949】
1　黒色土(10YR2／1) 地山粒少量混入。粘性強い。
2　暗褐色土(10YR3／3) 地山粒多量、粘土粒少量混入。粘性強い。
3　褐灰色土(10YR5／1) 粘土。地山粒少量混入。やや硬くしまり、粘性強い。
4　褐灰色土(10YR4／1) 地山粒多量混入。細礫混入。硬くしまり、粘性やや弱い。
5　黄褐色土(10YR5／6) 黄粘土。地山粒多量混入。細礫混入。硬くしまり、粘性強い。
6　灰黄褐色土(10YR6／2) 粘土。地山粒・地山塊多く混入。
7　6に同じ。
8　明黄褐色土(10YR6／8) シラス。細礫多く混入。やや軟らかく、粘性なし。
9　にぶい黄橙色土(10YR6／4) 地山粒・粘土粒多量混入。粘性ややあり。
10　黄褐色土(10YR5／6) 地山(小)塊・粘土粒混入。硬くしまり、粘性弱い。
11　黒褐色土(10YR2／2) 地山粒やや多く混入。やや硬くしまり、粘性あり。
12　暗褐色土(10YR3／4) 地山粒多量、地山(大)塊混入。軟らかく、粘性弱い。
13　黒褐色土(10YR2／3) 地山粒多く混入。軟らかく、ややパサパサ。



【SK 950】
1　黒褐色土(10YR3／1) 地山粒多量混入。硬くしまり、パサパサ。
2　灰黄褐色土(10YR5／2) 粘土粒多く混入。やや硬くしまり、粘性あり。
3　明黄褐色土(10YR6／6) 地山粒・粘土粒多く混入。やや硬くしまり、粘性あり。
4　褐色土(10YR4／4) 地山粒・地山(小)塊混入。硬くしまり、粘性なし。

第255図　SK 947・SK 948・SK 949・SK 950 土坑

《埋　土》　13層に分層した。地山粒・地山塊・細礫・粘土粒を混入する。
《底　面》　凹凸が激しい。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　950 土坑（第255図）
《位　置》　ＮＮ48グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.68ｍ、短径0.50ｍ、深さ14㎝、底面長径0.63ｍ、短径0.36ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。地山粒・地山塊・粘土粒を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなる。中央に小さなピットがある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　951 土坑（第254図）
《位　置》　ＮＮ39グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　ＳＫ 934 土坑と重複していた。新旧関係は土層堆積から本土坑が新しい。
《規　模》　開口部長径0.61ｍ、短径0.48ｍ、深さ19㎝、底面長径0.19ｍ、短径0.16ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒・塊を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　952 土坑（第256図）
《位　置》　ＮＮ39グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.12ｍ、短径0.88ｍ、深さ15㎝、底面長径1.06ｍ、短径0.82ｍ。
《平面形》　楕円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。地山粒・地山塊・粘土塊・焼土粒を混入する。
《底　面》　ほぼ平坦である。北側の壁際に柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　953 土坑（第256図）

《位　置》　ＮＰ46グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の半截した楕円形状の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.35ｍ、短径1.14ｍ、深さ24㎝、底面長径1.21ｍ、短径0.89ｍ。

《平面形》　本来は楕円形と思われる。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。

《底　面》　凹凸がある。柱穴様ピットが２カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　956 土坑（第256図）

《位　置》　ＮＭ46、ＮＮ46グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　ＳＫ 923 土坑と重複している。本土坑が古い。

《規　模》　開口部長径1.38ｍ、短径1.26ｍ、深さ21㎝、底面長径1.03ｍ、短径0.83ｍ。

《平面形》　不整円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　９層に分層した。地山粒・地山塊・炭化物を混入する。

《底　面》　凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　957 土坑（第256図）

《位　置》　ＮＪ46グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.17ｍ、短径1.04ｍ、深さ19㎝、底面長径0.96ｍ、短径0.84ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。地山粒・地山塊・粘土粒を混入する。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

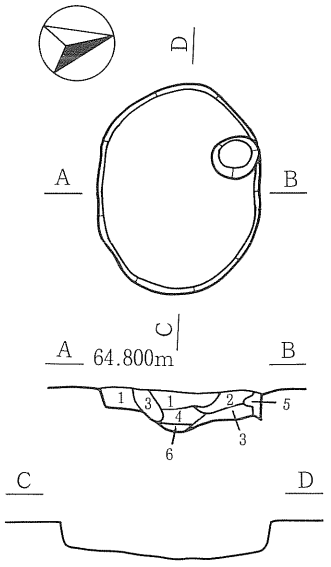
ＳＫ　964 土坑（第257図）

《位　置》　ＮＡ46グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.82ｍ、短径0.75ｍ、深さ10㎝、底面長径0.68ｍ、短径0.67ｍ。
《平面形》　不整円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

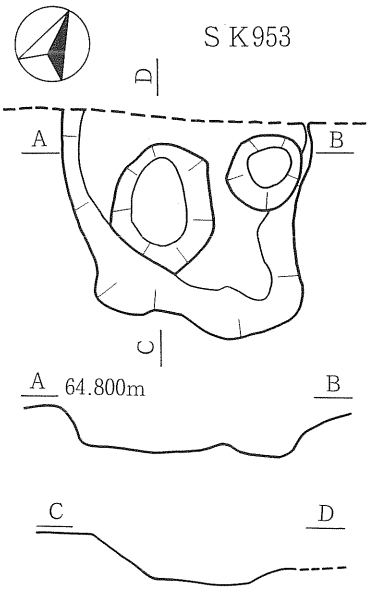
ＳＫ　965 土坑（第257図）
《位　置》　ＮＡ46グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.06ｍ、短径1.76ｍ、深さ9㎝、底面長径1.84ｍ、短径1.52ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。
《底　面》　ほぼ平坦である。柱穴様ピットが２カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

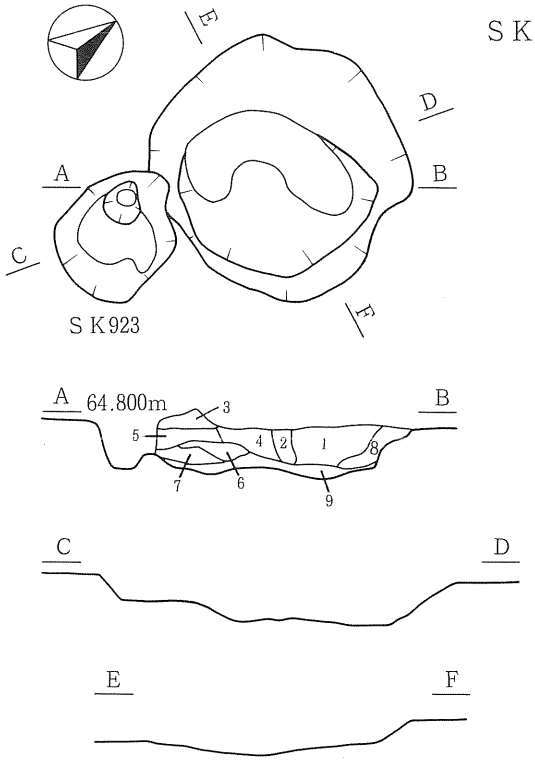
ＳＫ　968 土坑（第257図）
《位　置》　ＮＣ35グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.91ｍ、短径0.90ｍ、深さ94㎝、底面長径0.73ｍ、短径0.72ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　969 土坑（第257図）
《位　置》　ＮＤ35グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。

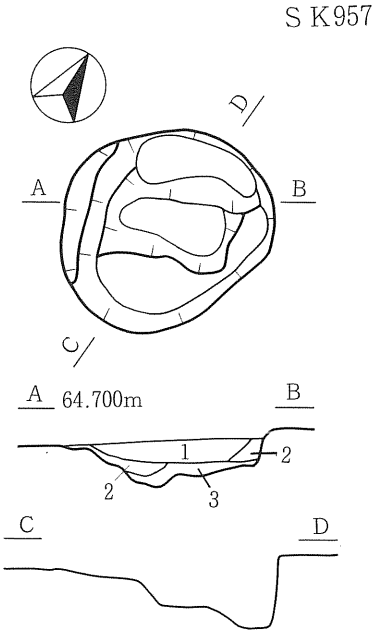


【SK　952】
1　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒多量混入。
　　軟らかく、やや粘性あり。
2　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒少量混入。
　　軟らかく、やや粘性強い。
3　褐色土(10YR4／4)　地山粒・粘土塊多量混入。
　　やや硬く、粘性強い。
4　暗褐色土(10YR3／4)　地山塊多量、地山粒少量混入。
　　軟らかく、粘性やや弱い。
5　褐色土(10YR4／4)　地山粒多量混入。
　　軟らかく、粘性やや強い。
6　にぶい黄褐色土(10YR5／3)　粘土塊・地山塊多く混入。
　　焼土粒微量混入。軟らかく、
　　粘性強い。





【SK　956】
1　黒色土(10YR2／1)　地山(小)塊少量、地山粒混入。
　　軟らかい、粘性強い。
2　黒褐色土(10YR3／2)　地山粒多く混入。やや硬く、粘性強い。
3　暗褐色土(10YR3／3)　地山粒多く混入。
　　硬く、パサパサしている。
4　にぶい黄褐色土(10YR5／3)　粘土・地山粒・地山(小)
　　塊混入。やや硬く、パサパサ。
5　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山粒・地山塊(小豆大)
　　多量混入。硬く、やや粘性有り。
6　にぶい黄褐色土(10YR5／4)　地山粒多量混入。炭化物微量混入。
　　硬くしまり、粘性普通。
7　黄褐色土(10YR5／6)　地山粒・地山塊多く混入。
　　しまり、粘性共普通。
8　黒褐色土(10YR2／3)　地山粒少量、地山塊多く混入。
　　やや硬くしまり、粘性やや強い。
9　褐灰色土(10YR5／1)　地山粒・粘土粒多量混入。
　　地山(小)塊少量混入。非常に硬く、
　　粘性やや強い。



【SK　957】
1　暗褐色土(10YR3／4)　地山粒・地山(小)塊・粘土粒混入。
　　すかすかしており、粘性やや有り。
2　褐灰色土(10YR5／1)　粘土、地山粒混入。やや硬く、
　　粘性強い。
3　灰黄褐色土(10YR5／2)　粘土、地山粒多量混入。硬く、
　　粘性強い。

0　2 m

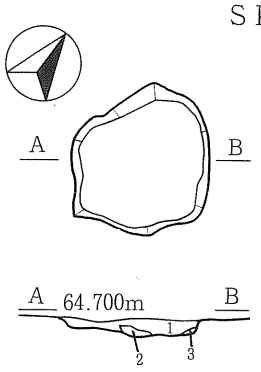
第256図　SK 952・SK 953・SK 956・SK 957 土坑

《規　模》　開口部長径0.81ｍ、短径0.75ｍ、深さ48㎝、底面長径0.46ｍ、短径0.45ｍ。
《平面形》　円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

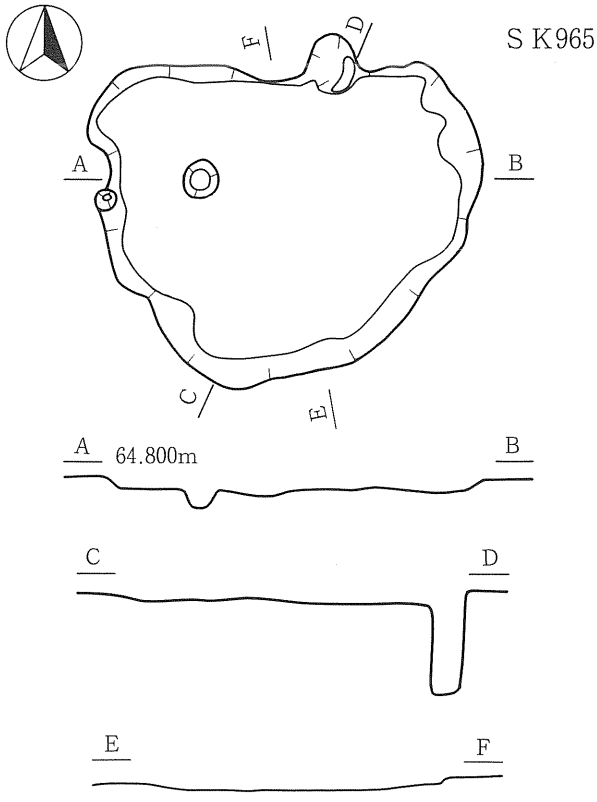
ＳＫ　971 土坑（第258図）
《位　置》　ＮＡ47･48グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.23ｍ、短径1.20ｍ、深さ11㎝、底面長径1.98ｍ、短径1.00ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　７層に分層した。地山粒･塊を混入する。
《底　面》　凹凸がある。柱穴様ピットが３カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

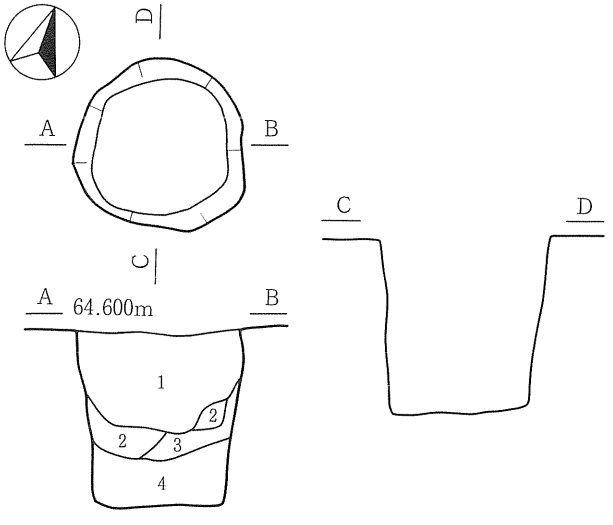
ＳＫ　972 土坑（第258図）
《位　置》　ＮＦ39、ＮＧ39グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.50ｍ、短径1.21ｍ、深さ38㎝、底面長径1.11ｍ、短径0.71ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　973 土坑（第258図）
《位　置》　ＮＭ36グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.16ｍ、短径0.32ｍ、深さ22㎝、底面長径1.10ｍ、短径0.13ｍ。
《平面形》　長円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

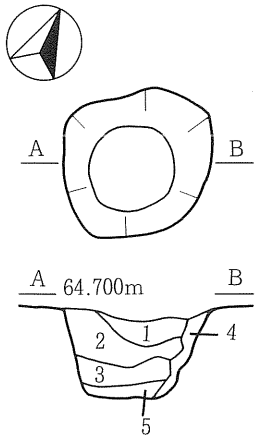


【SK　964】
1　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒少量混入。軟質。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒混入。
3　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒・地山塊混入。
　　硬くしまっている。





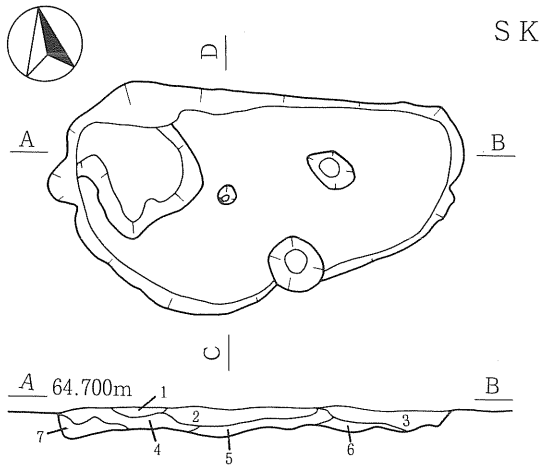
【SK　968】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1)　しまり、粘性共にやや弱い。
2　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　しまりやや弱い。粘性弱い。
3　褐色土(10ＹＲ4／4)　地山土を基本に黒褐色土が斑状に混入。
4　黒褐色土(103／2)　黒色土と地山土が混合したもの。
　　しまり、粘性共にやや強い。



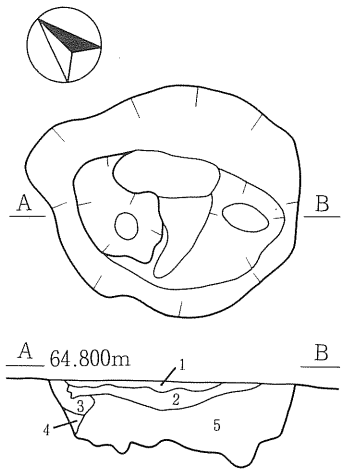
【SK　969】
1　暗褐色土(10ＹＲ3／4)　地山層を基本に黒褐色土が混入。
　　しまり、粘性共になし。
2　褐色土(10ＹＲ4／4)　地山層を基本に黒褐色土が混入。
　　しまり、粘性共になし。
3　褐色土(10ＹＲ4／6)　しまり、粘性なし。
4　明黄褐色土(10ＹＲ6／8)　地山土。微量の黒色土混入。
5　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　黒色土と地山土の混合。
　　しまり、粘性共になし。

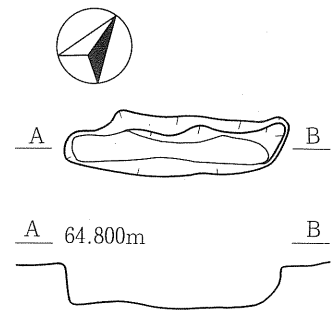
0　2 m

第257図　SK 964・SK 965・SK 968・SK 969 土坑

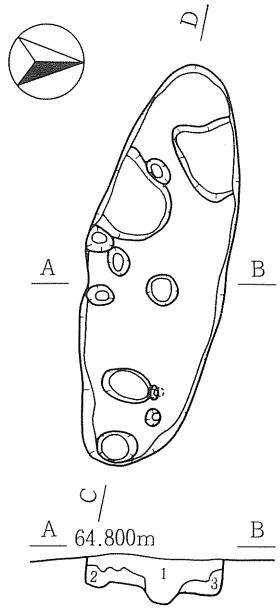


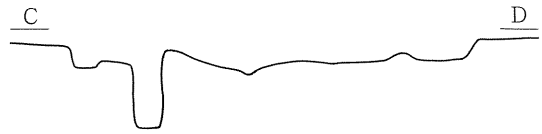
【SK　971】
1　黒褐色土(10ＹＲ3／1) 地山粒少量混入。しまり強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／2) 地山粒少量混入。しまり強い。
3　黒褐色土(10ＹＲ2／3) 地山粒・地山塊少量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(10ＹＲ3／1) 地山粒・地山塊多量混入。しまり強い。
5　黒褐色土(10ＹＲ2／2) 地山粒土塊・地山粒多量混入。しまり強い。
6　黒褐色土(10ＹＲ2／2) 地山粒・地山塊混入。サラサラ。
7　浅黄色土(5Ｙ7／3) 粘土。(地山再堆積)



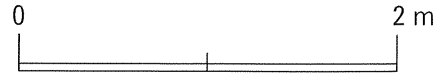


【SK　972】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1) しまり、粘性共にやや弱い。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／2) しまり強く、粘性やや強い。
3　黒褐色土(7.5ＹＲ2／2) 地山粒(小豆大) 少量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(7.5ＹＲ2／2) 3より多くの地山粒混入。
5　黒褐色土(10ＹＲ3／3) 地山粒微量混入。しまり、粘性共にやや強い。





【SK　974】
1　赤黒色土(2.5ＹＲ1.7／1) 地山粒(1cm大)微量混入。しまり強く、粘性やや強い。
2　黒褐色土(2.5ＹＲ5／2) 粒土の粗い粘土質土。
3　黒色土(10ＹＲ1.7／1) 地山塊(4～5cm大) 混入。しまり、粘性共やや強い。



第258図　SK 971・SK 972・SK 973・SK 974 土坑

《埋　土》　不用意に掘り下げられてしまい確認できなかった。
《底　面》　ほぼ平坦である。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　974 土坑（第258図）
《位　置》　ＮＬ37、ＮＭ37グリッドに位置する。
《確　認》　赤黒色土の長円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径2.17ｍ、短径0.73ｍ、深さ20㎝、底面長径2.10ｍ、短径0.69ｍ。
《平面形》　長円形である。
《断面形》　ビーカー形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。地山粒・地山塊・粘土粒を混入する。
《底　面》　凹凸がある。柱穴様ピットと窪みが多数ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　977 土坑（第259図）
《位　置》　ＮＫ39グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.64ｍ、短径1.07ｍ、深さ15㎝、底面長径1.41ｍ、短径0.88ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　凹凸がある。柱穴様ピットが７カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　978 土坑（第259図）
《位　置》　ＮＫ39グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.84ｍ、短径0.84ｍ、深さ64㎝、底面長径0.67ｍ、短径0.45ｍ。
《平面形》　不整楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　６層に分層した。断面観察で柱穴かとも思われた。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　979 土坑（第259図）

《位　置》　ＮＪ39•40グリッドに位置する。

《確　認》　黒褐色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.80ｍ、短径1.01ｍ、深さ12㎝、底面長径1.73ｍ、短径1.01ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　凹凸がある。長軸線上に窪みが７カ所ある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　980 土坑（第259図）

《位　置》　ＮＩ40グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.76ｍ、短径0.63ｍ、深さ10㎝、底面長径0.40ｍ、短径0.33ｍ。

《平面形》　不整楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ 986土坑（第260図）

《位　置》　ＮＢ42、ＮＣ42グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の長楕円形落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径1.12ｍ、短径0.63ｍ、深さ22㎝、底面長径0.97ｍ、短径0.50ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

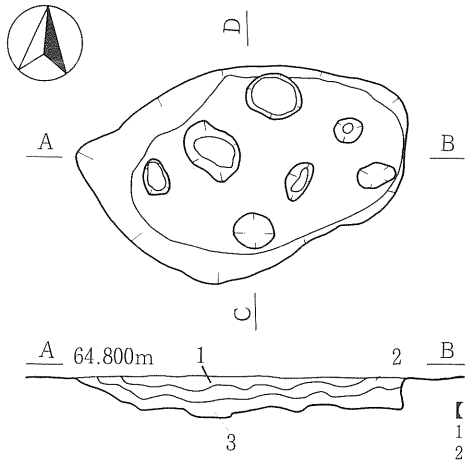
《埋　土》　３層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

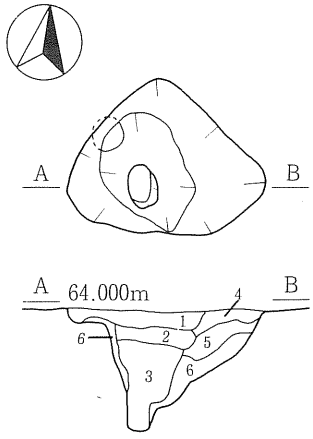
ＳＫ　987土坑（第260図）



S K977

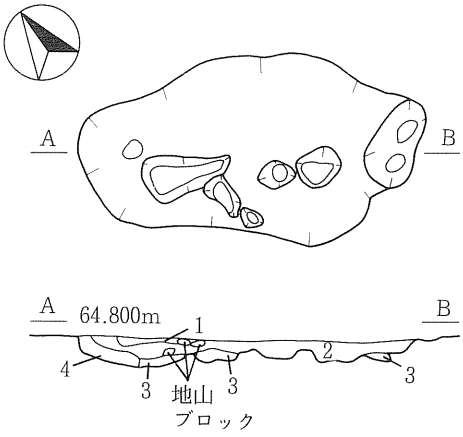
【SK　977】
1　黒褐色土(10Y R3／1)　しまり、粘性共に強い。
2　暗褐色土(10Y R3／3)　しまり強く、粘性やや強い。
3　明黄褐色土(10Y R6／8)　地山層(掘りすぎ)
4　黒褐色土(7.5Y R3／1)　地山塊(小石大)少量含む。しまりやや強く、粘性やや弱い。

S K978



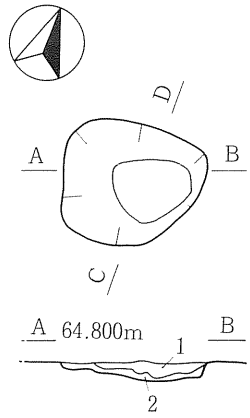
【SK　978】
1　黒色土(10Y R1.7／1)　しまりやや弱く、粘性弱い。
2　黒褐色土(10Y R2／3)　しまりやや弱く、粘性弱い。
3　黒色土(5Y R1.7／1)　粒子の粗い黒色土に微量の砂を含む。しまりやや弱く、粘性やや強い。
4　暗褐色土(10Y R3／3)　黒色土と地山粒の混合。しまり、粘性共やや強い。
5　黄褐色土(10Y R5／6)　地山土に微量の黒褐色土混入。
6　明黄褐色土(10Y R6／8)　地山土。

S K979

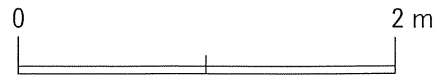


【SK　979】
1　黒色土(10Y R2／1)　しまり強く、粘性やや強い。
2　黒褐色土(7.5Y R2／2)　しまり、粘性共やや強い。
3　暗褐色土(10Y R3／4)　黒色土と地山土の混合。しまり、粘性共にやや弱い。
4　黒褐色土(2.5Y R3／1)　しまり、粘性共やや強い。

S K980



【SK　980】
1　黒色土(2.5Y R2／1)　地山粒微量混入。しまりやや弱く、粘性弱い。
2　明黄褐色土(10Y R6／8)　地山土に微量の褐色土混入。しまりやや強く、粘性やや弱い。



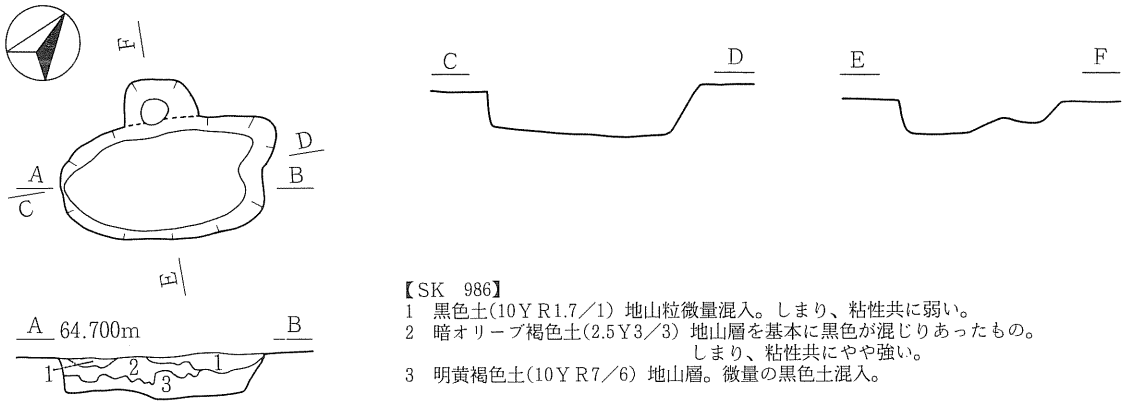
第259図　SK 977・SK 978・SK 979・SK 980 土坑

《位　置》　ＮＥ44･45グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の瓢箪形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.61ｍ、短径0.42ｍ、深さ13㎝、底面長径0.53ｍ、短径0.21ｍ。
《平面形》　瓢箪形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　991土坑（第260図）
《位　置》　ＮＥ40グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ0.71ｍ、幅0.62ｍ、深さ13㎝、底面長さ0.66ｍ、幅0.52ｍ。
《平面形》　隅丸長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。
《底　面》　ほぼ平坦である。南側壁際に小さな柱穴様ピットが１カ所ある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　993土坑（第260図）
《位　置》　ＭＲ46･47グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.48ｍ、短径0.78ｍ、深さ19㎝、底面長径1.21ｍ、短径0.49ｍ。
《平面形》　双円形である。
《断面形》　Ｕ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。地山粒を混入する。
《底　面》　凹凸が激しい。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

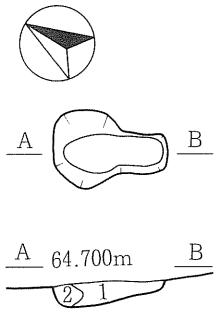
ＳＫ　999土坑（第261図）
《位　置》　ＮＧ35･36グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　柱穴様ピットと重複する。新旧は不明。



【SK　986】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1)　地山粒微量混入。しまり、粘性共に弱い。
2　暗オリーブ褐色土(2.5Ｙ3／3)　地山層を基本に黒色が混じりあったもの。
　　しまり、粘性共にやや強い。
3　明黄褐色土(10ＹＲ7／6)　地山層。微量の黒色土混入。

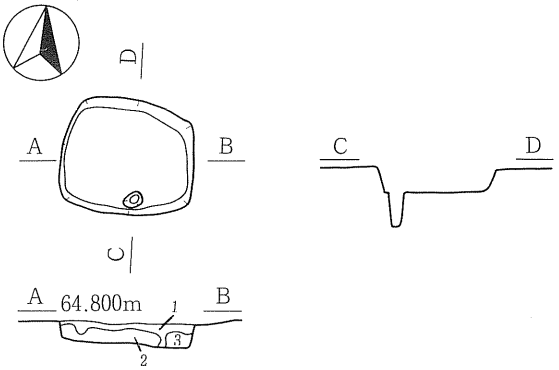
ＳＫ986

ＳＫ987



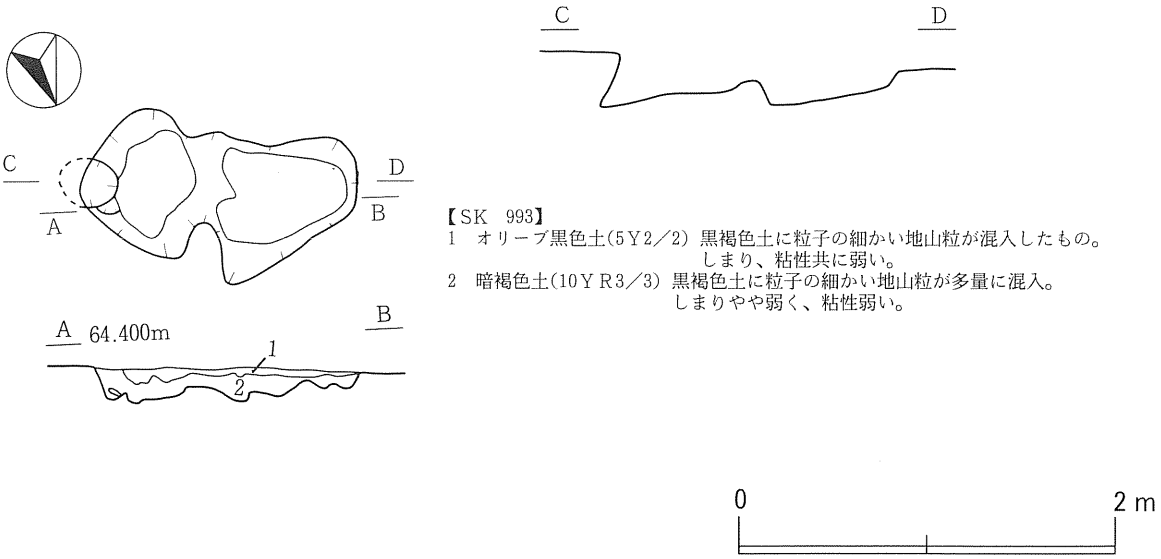
【SK　987】
1　黒色土(10ＹＲ2／1)　しまり、粘性共に弱い。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／3)　黒色土に地山粒が混入。
　　地山粒(小豆大)　微量含む。
　　しまり、粘性共に弱い。

ＳＫ991



【SK　991】
1　黒褐色土(10ＹＲ3／1)　しまりやや強く、粘性やや弱い。
2　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　しまり、粘性共にやや強い。
3　明黄褐色土(10ＹＲ6／8)　地山層に少量の黒褐色土混入。

ＳＫ993



【SK　993】
1　オリーブ黒色土(5Ｙ2／2)　黒褐色土に粒子の細かい地山粒が混入したもの。
　　しまり、粘性共に弱い。
2　暗褐色土(10ＹＲ3／3)　黒褐色土に粒子の細かい地山粒が多量に混入。
　　しまりやや弱く、粘性弱い。

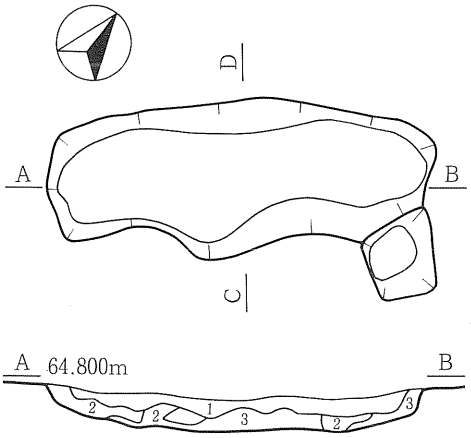
第260図　SK 986・SK 987・SK 991・SK 993 土坑

《規　模》　開口部長径2.20ｍ、短径0.81ｍ、深さ24㎝、底面長径1.92ｍ、短径0.58ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層した。自然堆積と思われる。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　1000土坑（第261図）
《位　置》　ＮＧ44、ＮＨ44グリッドに位置する。
《確　認》　暗褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　柱穴様ピットと重複する。ピットが新しい。
《規　模》　開口部長径1.09ｍ、短径0.97ｍ、深さ19㎝、底面長径1.00ｍ、短径0.73ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　３層に分層したが、第１層はピットの埋土である。
《底　面》　やや凹凸がある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　1001土坑（第261図）
《位　置》　ＮＡ46•47グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の長楕円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.93ｍ、短径0.47ｍ、深さ21㎝、底面長径0.46ｍ、短径0.21ｍ。
《平面形》　長楕円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

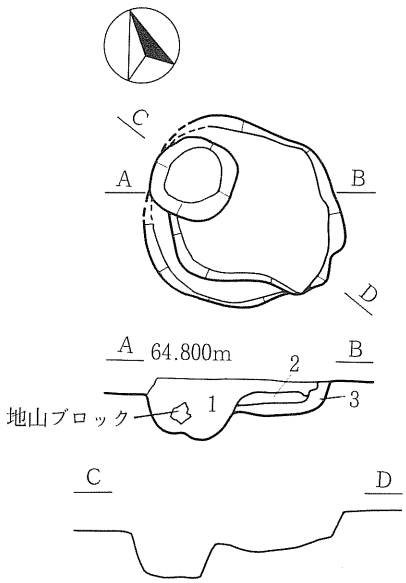
ＳＫ　1006土坑（第261図）
《位　置》　ＮＣ36、ＮＤ36グリッドに位置する。
《確　認》　黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径0.96ｍ、短径0.94ｍ、深さ34㎝、底面長径0.53ｍ、短径0.38ｍ。
《平面形》　不整円形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。



【SK　999】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1)　しまり、粘性共にやや強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　黒色土に地山粒が混入。しまり、粘性共にやや強い。
3　黄橙色土(10ＹＲ7／8)　地山土に微量の黒色土混入。しまりやや強く、粘性なし。

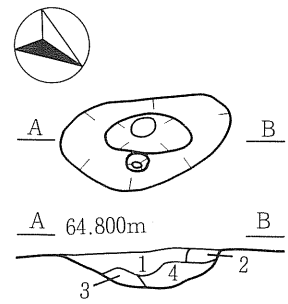
ＳＫ999

ＳＫ1000



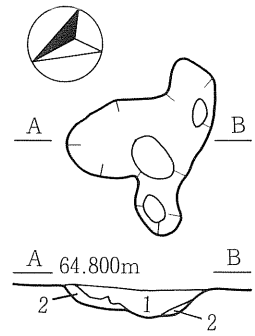
【SK　1000】
1　黒褐色土(7.5ＹＲ3／1)　粒度の粗い黒色土に地山粒(1～2㎝大)微量混入。
2　橙色土(7.5ＹＲ6／6)　粒度の粗い地山土。しまり、粘性共になし。
3　黄褐色土(2.5Ｙ5／4)　シルト質層に微量の黒褐色土が斑状に混入。

ＳＫ1001



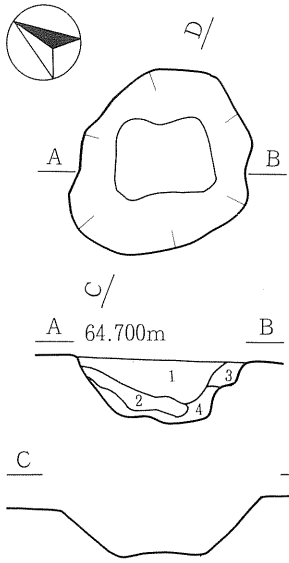
【SK　1001】
1　黒褐色土(10ＹＲ3／2)　粘性強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒多量に混入。粘性弱い。
3　黒褐色土(10ＹＲ3／1)　粘性強い。
4　暗褐色土(10ＹＲ3／4)　黄灰色粘土(小)塊・地山粒多量混入。

ＳＫ1007

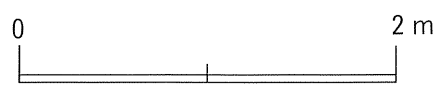


【SK　1007】
1　黒色土(10ＹＲ2／1)　地山粒微量混入。しまり、粘性共に弱い。
2　明黄褐色土(10ＹＲ7／6)　地山土を基本に微量の黒色土を混入。硬くしまり、粘性弱い。

ＳＫ1006



【SK　1006】
1　黒褐色土(7.5ＹＲ1.7／1)　しまり、粘性共に弱い。
2　黒褐色土(7.5ＹＲ3／1)　地山粒微量混入。しまりやや弱く、粘性弱い。
3　暗褐色土(10ＹＲ3／4)　黒褐色土に地山粒多量混入。しまり、粘性共に弱い。
4　黄褐色土(10ＹＲ5／6)　しまりやや弱く、粘性弱い。



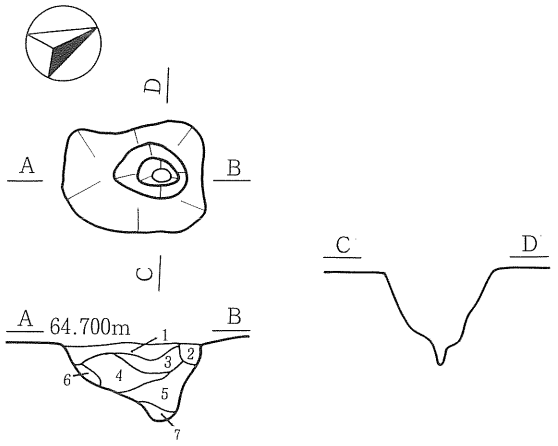
第261図　ＳＫ 999・ＳＫ 1000・ＳＫ 1001・ＳＫ 1006・ＳＫ 1007 土坑

《埋　土》　４層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　1007土坑（第261図）
《位　置》　ＮＦ35グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ0.91ｍ、幅0.67ｍ、深さ14㎝、底面長さ0.26ｍ、幅0.17ｍ。
《平面形》　不整形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。
《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

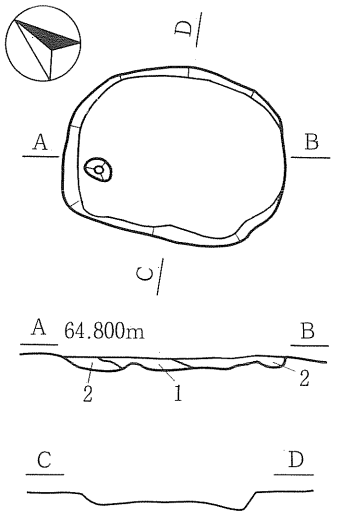
ＳＫ　1009土坑（第262図）
《位　置》　ＮＡ49、ＮＢ49グリッドに位置する。
《確　認》　黒色土の不整な方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長さ0.75ｍ、幅0.59ｍ、深さ34㎝、底面長さ0.22ｍ、幅0.14ｍ。
《平面形》　不整方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　７層に分層した。地山粒•塊を混入する。
《底　面》　北側に傾斜し、中央部に小さなピットがある。
《遺　物》　なし。
《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　1010土坑（第262図）
《位　置》　ＮＦ37・38グリッドに位置する。
《確　認》　にぶい黄褐色土の隅丸長方形の落ち込みとして確認した。
《重　複》　なし。
《規　模》　開口部長径1.19ｍ、短径0.96ｍ、深さ9㎝、底面長径1.11ｍ、短径0.82ｍ。
《平面形》　隅丸長方形である。
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。
《埋　土》　２層に分層した。
《底　面》　凹凸がある。北西側壁際に小さなピットがある。
《遺　物》　なし。



【SK　1009】
1　黒褐色土(10ＹＲ1.7／1)　地山粒少量混入。しまり強い。
2　明褐色土(7.5ＹＲ5／8)　粘土質地山塊。
3　黒褐色土(10ＹＲ3／1)　地山粒・地山(小)塊少量混入。しまり強い。
4　黒褐色土(10ＹＲ3／1)　地山粒多量混入。しまり強い。
5　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒少量、地山塊多量混入。しまり強い。
6　にぶい黄褐色土(10ＹＲ3／4)　灰褐色粘土(小)塊混入。しまりなし。
7　黒褐色土(10ＹＲ3／1)　明黄褐色土塊混入。ボソボソ。

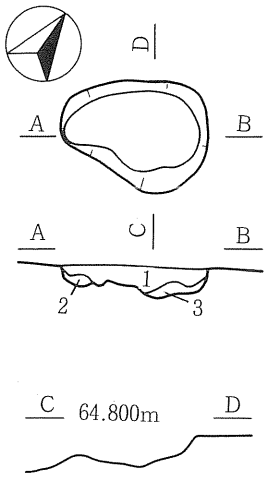
ＳＫ1009



【SK　1010】
1　黒褐色土(10ＹＲ2／1)　地山粒微量混入。しまり、粘性共にやや強い。
2　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／4)　黒褐色土混入。しまりやや弱く、粘性弱い。

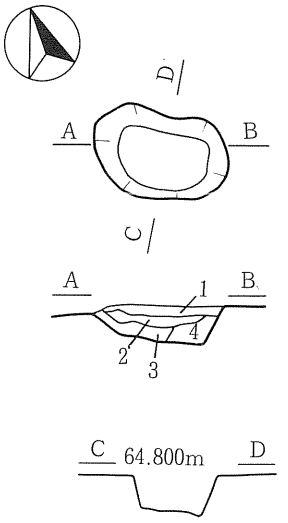
ＳＫ1010

ＳＫ1012

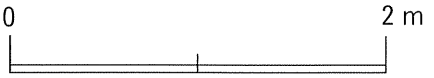


【SK　1012】
1　黒褐色土(5ＹＲ1.7／1)　地山粒微量混入。しまりやや強く、粘性弱い。
2　にぶい黄褐色土(10ＹＲ5／4)　粘土質。しまり、粘性共に強い。
3　明黄褐色土(10ＹＲ6／8)　しまりやや弱く、粘性弱い。

ＳＫ1013



【SK　1013】
1　黒色土(2.5Y2／1)　しまり、粘性共にやや強い。
2　オリーブ黒色土(5Y3／1)　地山粒少量混入。しまりやや強く、粘性やや弱い。
3　黒褐色土(2.5Y3／1)　地山粒少量混入。しまり、粘性共にやや強い。
4　明黄褐色土(2.5Y6／8)　灰白色粘土塊混入。



第262図　SK 1009・SK 1010・SK 1012・SK 1013 土坑

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　1012土坑（第262図）

《位　置》　ＮＣ44グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の不整な楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.78ｍ、短径0.60ｍ、深さ17㎝、底面長径0.72ｍ、短径0.42ｍ。

《平面形》　楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。

《底　面》　凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。

ＳＫ　1013土坑（第262図）

《位　置》　ＮＪ41グリッドに位置する。

《確　認》　黒色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長径0.74ｍ、短径0.47ｍ、深さ21㎝、底面長径0.49ｍ、短径0.29ｍ。

《平面形》　楕円形である。

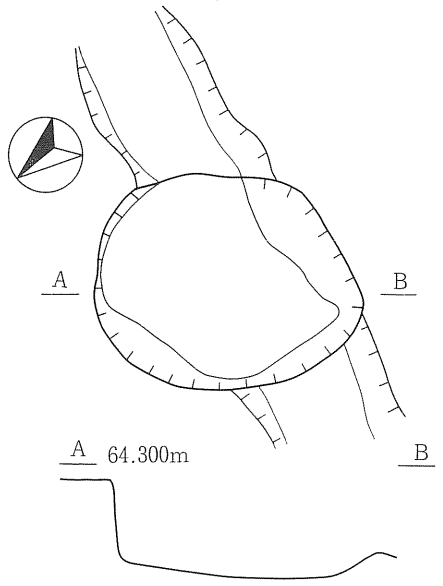
《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　４層に分層した。自然堆積と思われる。

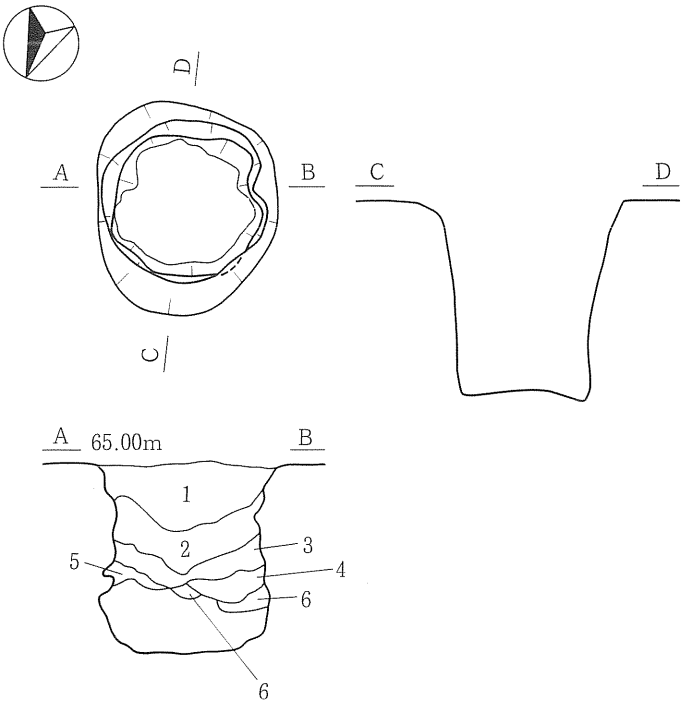
《底　面》　凹凸がある。

《遺　物》　なし。

《時　期》　縄文時代と思われる。



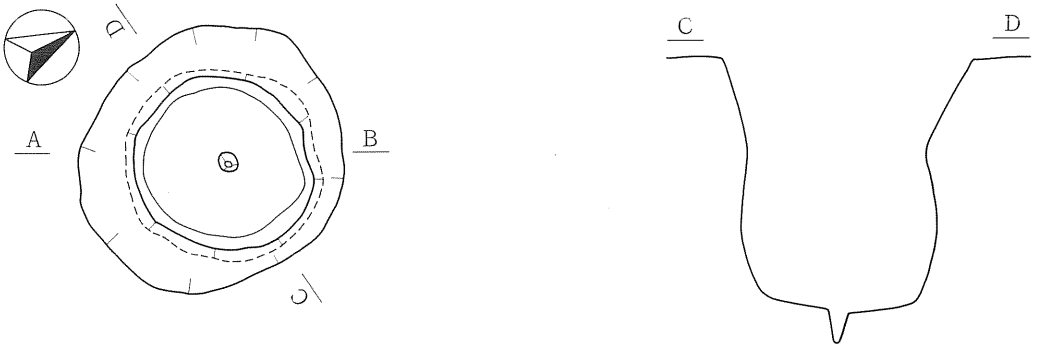
S K348

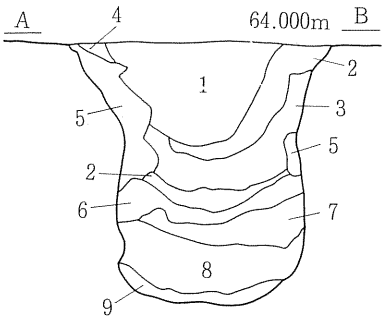


【SK　501】
1　黒色土(10Y R2／1)　シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性共有り。
2　黒褐色土(10Y R2／1)　シルト。地山少量混入。しまりやや弱く、粘性有り。
3　黒褐色土(10Y R2／2)　シルト。地山粒やや多く混入。しまり、粘性共有り。
4　黒褐色土(10Y R2／2)　地山粒やや多く混入。しまりやや弱く、粘性有り。
5　黒褐色土(10Y R2／3)　シルト～粘土。地山粒多く混入。しまり、粘性共有り。
6　黒褐色土(10Y R2／2)　シルト。地山粒多く混入。白色粘土混入。しまりやや弱い。

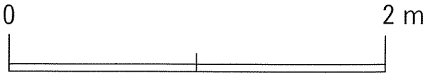
S K501

S K623





【SK　623】
1　黒色土(10Y R2／1)　シルト。地山粒・炭少量混入。しまり、粘性有り。
2　黒褐色土(10Y R3／1)　シルト。地山粒・地山塊(小)・炭少量混入。しまり、粘性有り。
3　黒褐色土(10Y R2／2)　地山粒・地山塊(小)多量、炭混入。しまり、粘性有り。
4　黒色土(10Y R2／1)　シルト。地山粒やや多く混入。しまり、粘性有り。
5　褐色土(10Y R4／4)　シルト。地山粒多量混入。しまり弱く、粘性有り。
6　黄橙色土(10Y R7／8)　粘土。硬質。粘性有り。
7　黒色土(10Y R1.7／1)　シルト。地山粒・地山塊(小)やや多く混入。しまり、粘性有り。
8　黒褐色土(10Y R3／1)・褐灰色土(10Y R4／1)　シルト。地山粒・地山塊(小)混入。しまり、粘性有り。
9　黒褐色土(10Y R3／1)・褐灰色土(10Y R4／1)　シルト。8より砂っぽい。しまり、粘性有り。



第263図　SK 348・SK 501・SK 623 土坑

掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は、63棟の図化ができた。

発掘調査時点では、柱穴様ピットとして個々にピット番号を付し、埋土の観察と注記、掘り下げが完了した時点で平面実測と確認面でのレベル（標高）と底面のレベル（標高）を記録したものの、他の遺構の調査に追われたことと、柱穴の数が膨大であったこと、数次にわたる調査であったこと、過去の畑造成あるいは耕作土採取による削平による撹乱、等々から数棟の掘立柱建物跡プランを確認したにとどまり、すべての掘立柱建物跡プランを縄張りするまでには至らなかった。

このため、整理作業中に平面実測図と数値記録、埋土注記から机上での検出作業を行った。

図化した掘立柱建物跡プランを、現地でチェックしていないことから、縄文時代前期の掘立柱建物跡とすることに異議もあった。

しかし、埋土の色調と土性が古代～現代の遺構と明らかに異なっており、これらの柱穴が古代～現代の掘立柱建物跡の柱穴ではないという結論に至った。

ＳＢ　1017　掘立柱建物跡（第264図）

《位置》　ＭＱ58･59、ＭＲ58･59グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.60ｍ（南から1.98＋1.62）、南東側が3.78ｍ（南から2.15＋1.63）である。梁行の長さは南西側が2.59ｍ、北東側が3.06ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1018　掘立柱建物跡（第264図）

《位置》　ＭＲ58･ＭＳ57～59グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が4.22ｍ（北から1.64＋1.08＋1.50）、南西側が3.98ｍ（北から1.14＋1.65＋1.14）である。梁行の長さは北西側が2.49ｍ、南東側が2.49ｍである。

《遺物》　柱穴Ｐ4009から縄文土器片２点（第381図４・５）が出土した。

ＳＢ　1019　掘立柱建物跡（第264図）

《位置》　ＭＳ56･57、ＭＴ56･57グリッドに位置する。

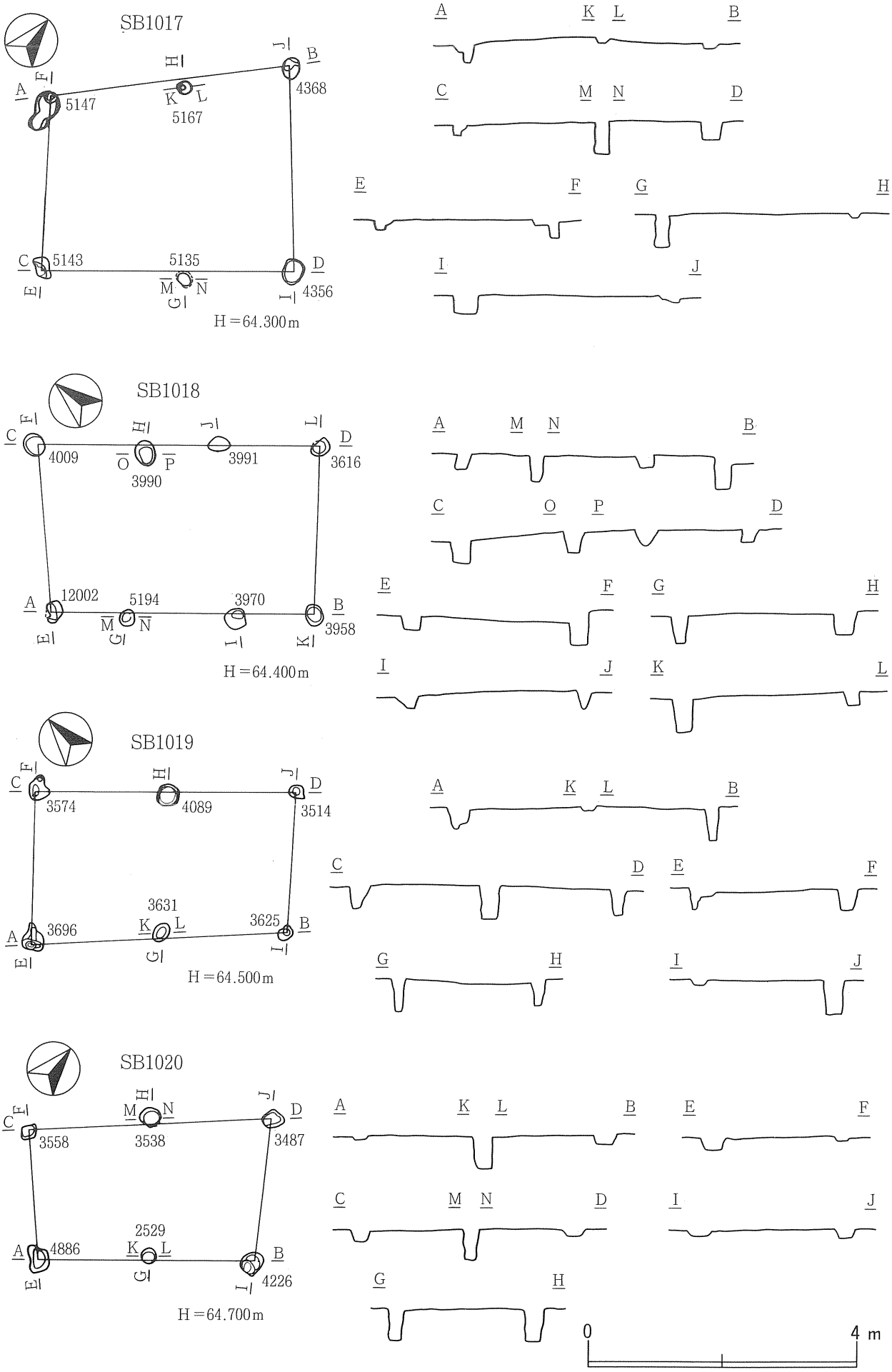
《規模》　南東－北西棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が3.90ｍ（北から1.98＋1.92）、南西側が3.83ｍ（北から1.93＋1.90）である。梁行の長さは北西側が2.28ｍ、南東側が2.09ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1020　掘立柱建物跡（第264図）

《位置》　ＭＴ55･56、ＮＡ56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.63ｍ（南から1.85＋1.78）、南東側が3.24ｍ（南から1.65＋1.59）である。梁行の長さは南西側が1.93ｍ、北東側が



第264図　SB 1017 ～ SB 1020 掘立柱建物跡

2.12ｍである。

《遺物》　柱穴Ｐ3538から削器が１点（第379図20）出土した。

ＳＢ　1021　掘立柱建物跡（第265図）

《位置》　ＭＴ56、ＮＡ55•56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.46ｍ（南から1.69＋1.77)、南東側が3.72ｍ（南から2.06＋1.66）である。梁行の長さは南西側が1.99ｍ、北東側が1.72ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1022　掘立柱建物跡（第265図）

《位置》　ＮＡ56•57、ＮＢ56•57グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が6.50ｍ（南から1.58＋1.65＋1.49＋1.78)、南東側が6.50ｍ（南から1.69＋1.60＋1.79＋1.42）である。梁行の長さは南西側が1.56ｍ、北東側が1.80ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1023　掘立柱建物跡（第265図）

《位置》　ＮＢ55•56グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟１間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が2.87ｍ、南西側が2.90ｍである。梁行の長さは北西側が1.22ｍ、南東側が1.34ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1024　掘立柱建物跡（第265図）

《位置》　ＮＣ57•58、ＮＤ57•58グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.18ｍ（南から2.49＋0.97＋0.72)、南東側が4.60ｍ（南から1.06＋1.36＋1.24＋0.94）である。梁行の長さは南西側が1.56ｍ、北東側が1.45ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1025　掘立柱建物跡（第266図）

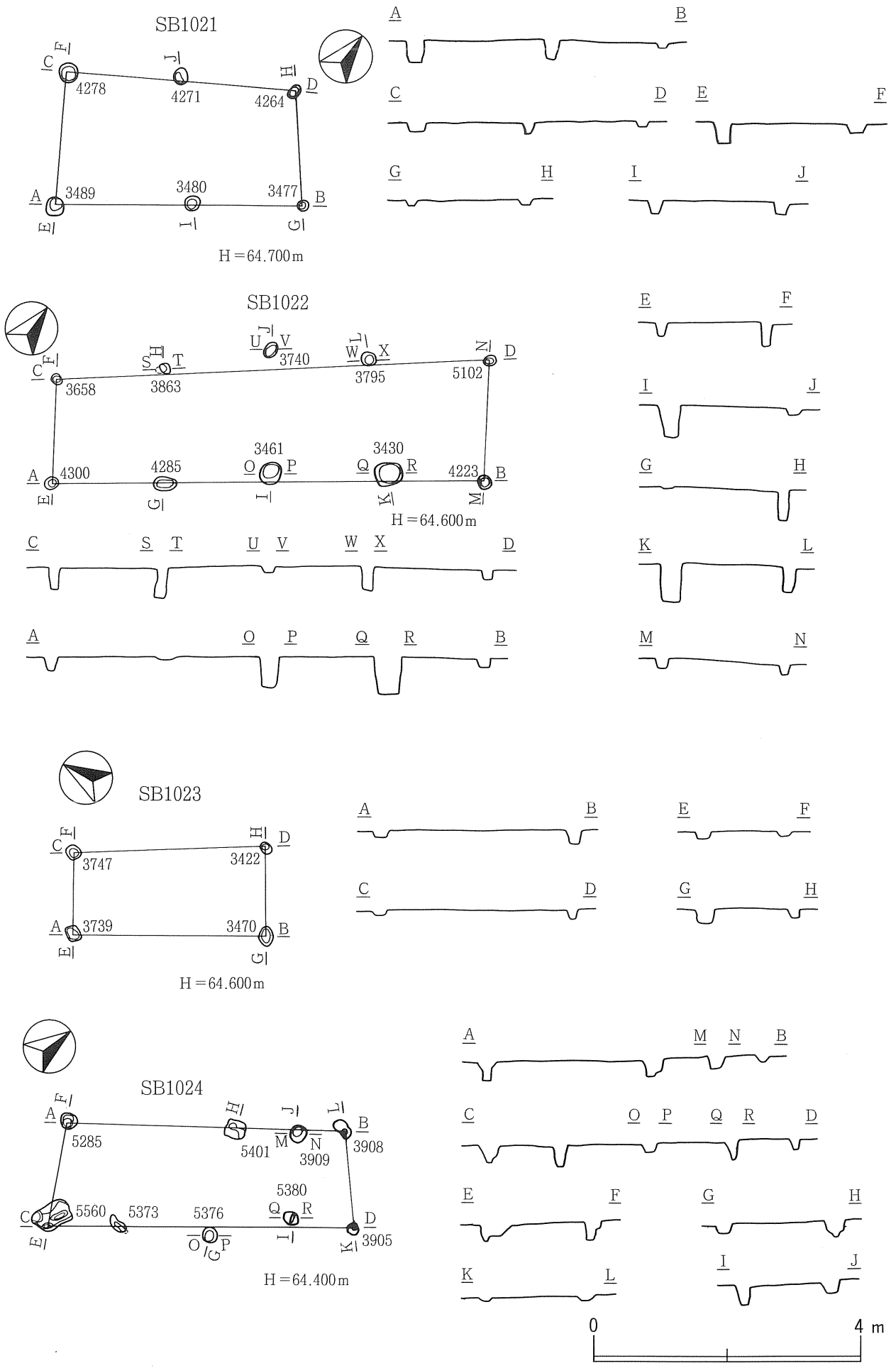
《位置》　ＮＢ56、ＮＣ55•56•57、ＮＤ55•56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が7.21ｍ（南から1.87＋1.36＋1.98＋2.00)、南東側が7.15ｍ（南から1.52＋1.68＋1.97＋1.98）である。梁行の長さは南西側が2.00ｍ、北東側が1.81ｍである。

《遺物》　柱穴Ｐ3456から縄文土器片が１点出土した。

ＳＢ　1026　掘立柱建物跡（第266図）

《位置》　ＮＣ56、ＮＤ56•57グリッドに位置する。



第265図　SB 1021 ～ SB 1024 掘立柱建物跡

《規模》　南東－北西棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が2.80ｍ（北から1.32＋1.48)、南西側が2.78ｍ（北から1.34＋1.44）である。梁行の長さは北西側が1.68ｍ、南東側が1.65ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1027　掘立柱建物跡（第266図）

《位置》　ＮＥ56、ＮＦ55･56、ＮＧ56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.75ｍ（南から1.88＋1.87)、南東側が3.40ｍ（南から1.65＋1.75）である。梁行の長さは南西側が2.16ｍ、北東側が1.93ｍである。

《遺物》　柱穴Ｐ4937から削器が１点(第382図20)出土した。

ＳＢ　1028　掘立柱建物跡（第266図）

《位置》　ＮＤ55･56、ＮＥ55･56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が5.54ｍ（南から2.00＋1.92＋1.62)、南東側が5.44ｍ（南から2.03＋1.70＋1.71）である。梁行の長さは南西側が1.82ｍ、北東側が1.62ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1029　掘立柱建物跡（第267図）

《位置》　ＮＥ55･56･57、ＮＦ56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.38ｍ（南から2.46＋1.92)、南東側が4.43ｍ（南から2.34＋2.09）である。梁行の長さは南西側が1.86ｍ、北東側が1.87ｍである。

《遺物》　柱穴Ｐ5342から縄文土器片が１点(第384図16)出土した。

ＳＢ　1030　掘立柱建物跡（第267図）

《位置》　ＮＥ54、ＮＦ54･55グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が2.98ｍ（北から1.47＋1.51)、南西側が2.88ｍ（北から1.52＋1.36）である。梁行の長さは北西側が1.55ｍ、南東側が1.66ｍである。

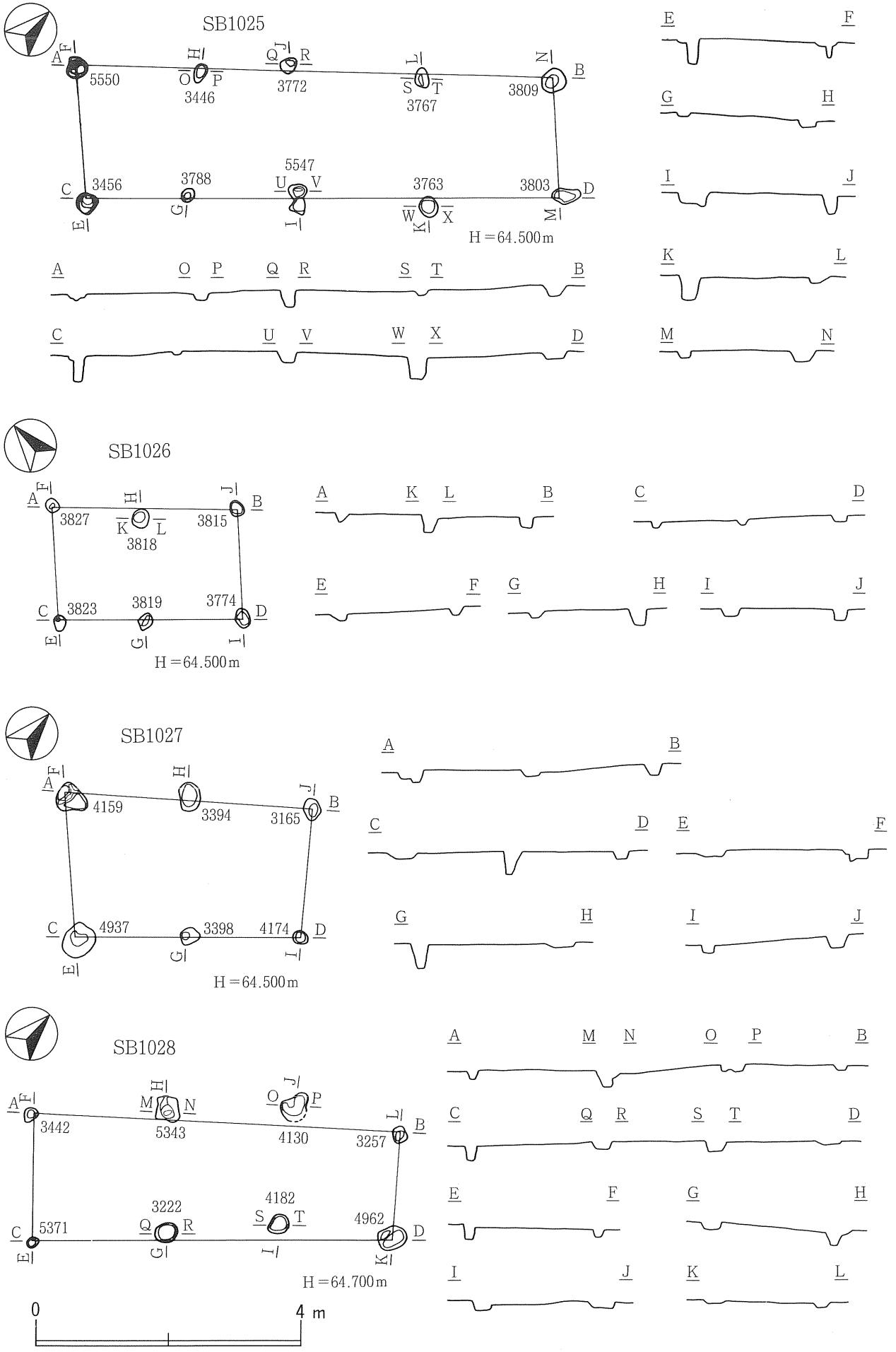
《遺物》　なし。

ＳＢ　1031　掘立柱建物跡（第267図）

《位置》　ＮＥ57、ＮＦ56･57グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.74ｍ（南から1.81＋1.93)、南東側が3.78ｍ（南から2.09＋1.69）である。梁行の長さは南西側が1.74ｍ、北東側が1.96ｍである。

《遺物》　なし。



第266図　SB 1025 ～ SB 1028 掘立柱建物跡

ＳＢ　1032　掘立柱建物跡（第267図）

《位置》　ＮＦ53･54、ＮＧ53･54グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が6.51ｍ（北から1.92＋2.21＋2.38)、南西側が6.56ｍ（北から1.82＋2.21＋2.53）である。梁行の長さは北西側が2.35ｍ、南東側が2.43ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1033　掘立柱建物跡（第268図）

《位置》　ＮＧ53･54、ＮＨ53･54グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.41ｍ（南から1.66＋1.75)、南東側が3.81ｍ（南から1.86＋1.95）である。梁行の長さは南西側が1.91ｍ、北東側が1.62ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1034　掘立柱建物跡（第268図）

《位置》　ＮＧ55･56、ＮＨ56･57グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が5.88ｍ（北から1.68＋1.25＋1.66＋1.29)、南西側が5.81ｍ（北から1.55＋1.29＋1.73＋1.24）である。梁行の長さは北西側が2.29ｍ、南東側が2.57ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1035　掘立柱建物跡（第268図）

《位置》　ＮＨ54･55、ＮＩ54グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟４間×２間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.41ｍ（南から0.97＋2.12＋1.32)、南東側が4.64ｍ（南から1.11＋1.13＋1.14＋1.26）である。梁行の長さは南西側が2.59ｍ（西から1.62＋0.97)、北東側が2.78ｍ（南から1.39＋1.39）である。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1036　掘立柱建物跡（第269図）

《位置》　ＮＨ55、ＮＩ54･55グリッドに位置する。

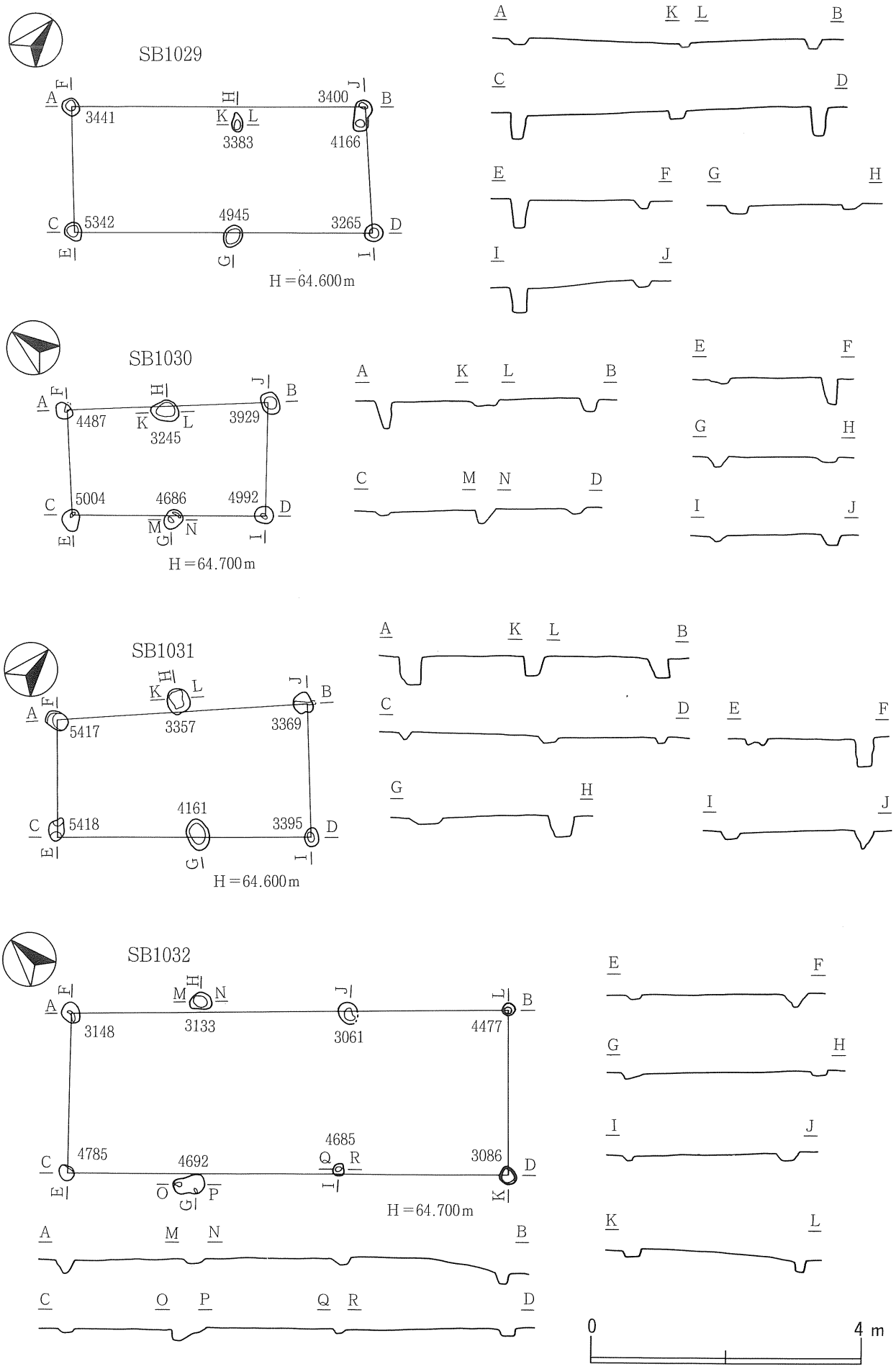
《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.77ｍ（南から2.40＋2.37)、南東側が4.81ｍ（南から2.46＋2.35）である。梁行の長さは南西側が1.80ｍ、北東側が1.74ｍである。

《遺物》　なし。

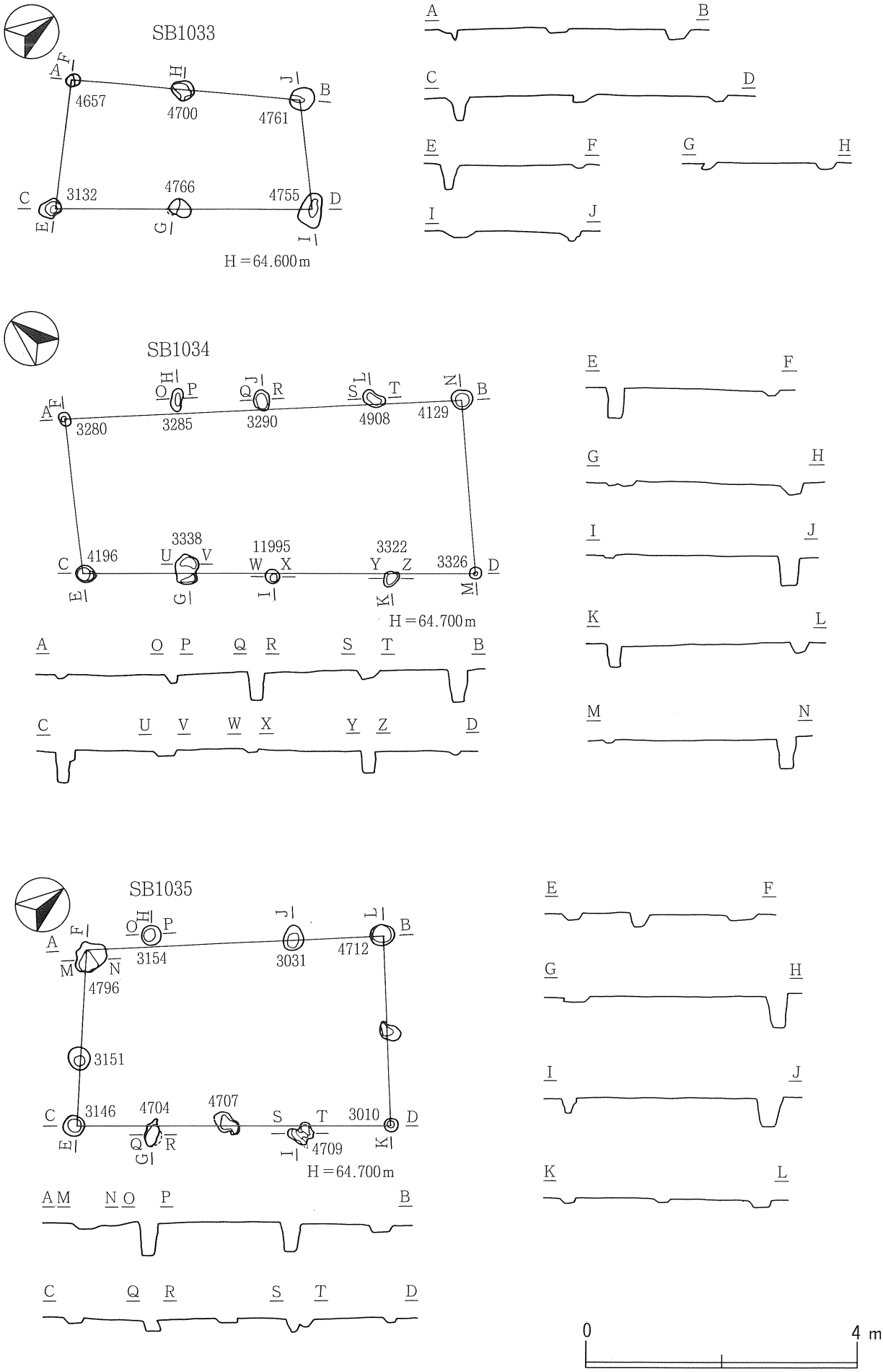
ＳＢ　1037　掘立柱建物跡（第269図）

《位置》　ＭＤ68･69グリッドに位置する。

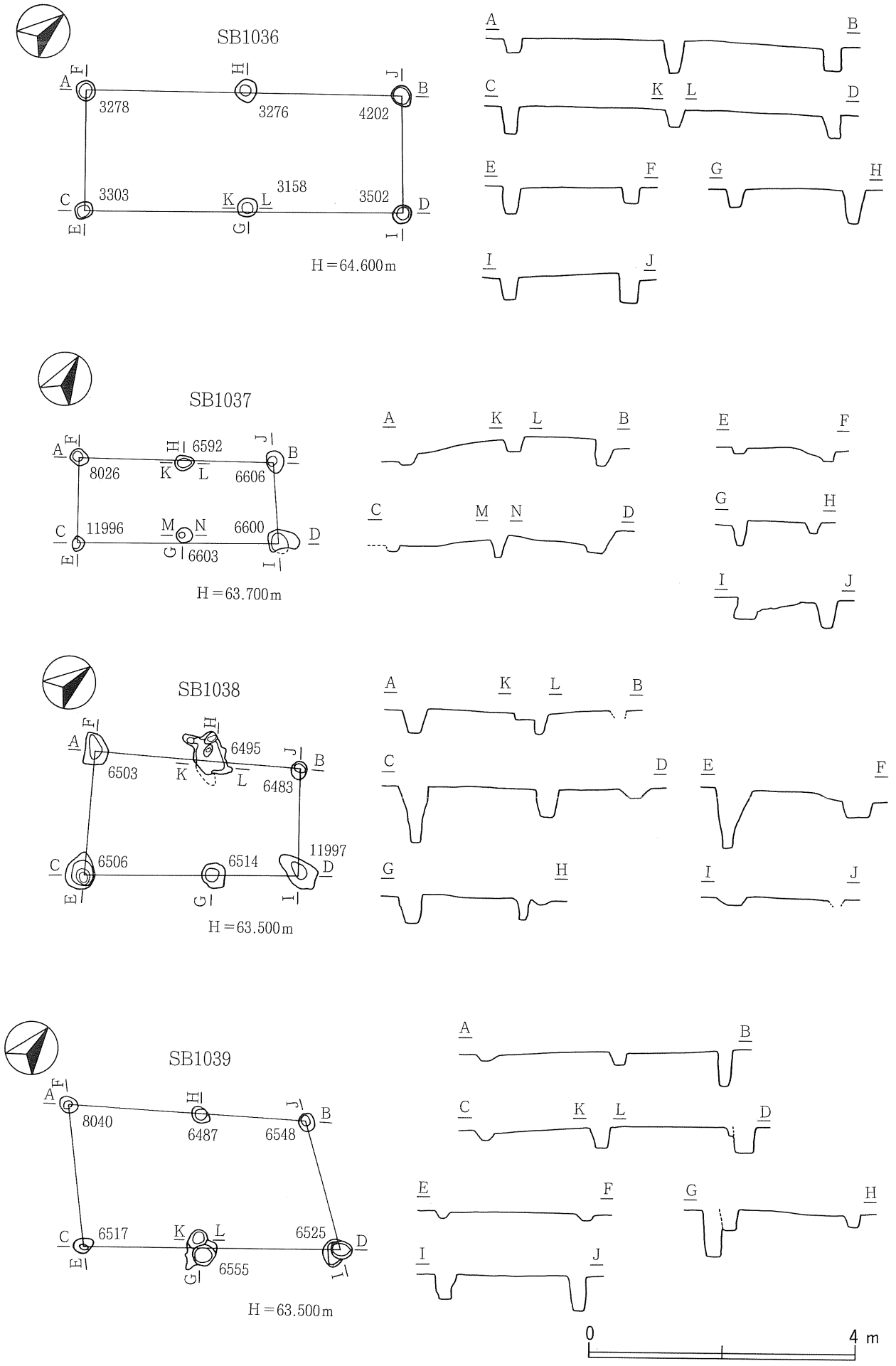
《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.94ｍ（南から1.59＋



第267図　SB 1029 ～ SB 1032 掘立柱建物跡



第268図　SB 1033 ～ SB 1035 掘立柱建物跡



第269図　SB 1036 ～ SB 1039 掘立柱建物跡

1.35)、南東側が3.03ｍ（南から1.57＋1.46）である。梁行の長さは南西側が1.26ｍ、北東側が1.21ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1038　掘立柱建物跡（第269図）

《位置》　ＭＦ68･69、ＭＧ68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.11ｍ（南から1.74＋1.37)、南東側が3.23ｍ（南から1.94＋1.29）である。梁行の長さは南西側が1.86ｍ、北東側が1.61ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1039　掘立柱建物跡（第269図）

《位置》　ＭＦ67･68、ＭＧ67･68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.58ｍ（南から2.00＋1.58)、南東側が3.87ｍ（南から1.79＋2.08）である。梁行の長さは南西側が2.14ｍ、北東側が1.99ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1040　掘立柱建物跡（第270図）

《位置》　ＭＧ68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の掘立柱建物跡と思われるが、南西側が明確でない。現状では２間×１間である。桁行の長さは北西側が2.82ｍ（南から1.50＋1.32)、南東側が1.52ｍである。梁行の長さは北東側が1.43ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1041　掘立柱建物跡（第270図）

《位置》　ＭＦ67、ＭＧ66･67グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.35ｍ（南から1.78＋1.57)、南東側が3.22ｍ（南から1.88＋1.34）である。梁行の長さは南西側が1.25ｍ、北東側が1.48ｍである。

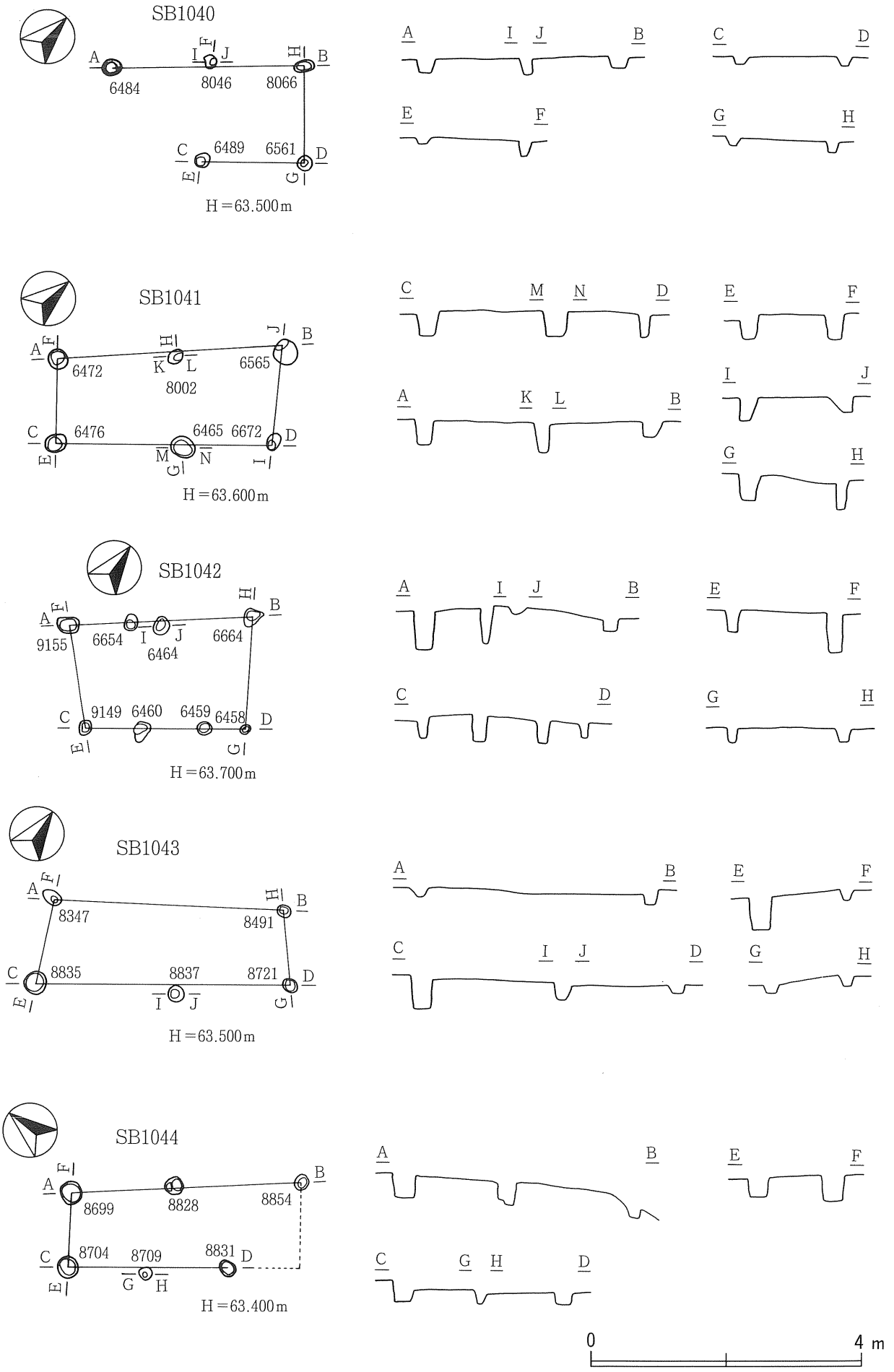
《遺物》　なし。

ＳＢ　1042　掘立柱建物跡（第270図）

《位置》　ＭＥ66、ＭＦ66･67グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.73ｍ（南から0.90＋0.45＋1.38)、南東側が2.38ｍ（南から0.81＋0.96＋0.61）である。梁行の長さは南西側が1.53ｍ、北東側が1.66ｍである。

《遺物》　なし。



第270図　SB 1040 ～ SB 1044 掘立柱建物跡

ＳＢ　1043　掘立柱建物跡（第270図）

《位置》　ＭＩ65･66、ＭＪ65グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは南東側が3.78ｍ（南から2.07＋1.71)、北西側が3.42ｍである。梁行の長さは南西側が1.26ｍ、北東側が1.10ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1044　掘立柱建物跡（第270図）

《位置》　ＭＩ63･64グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が3.40ｍ（北から1.52＋1.88)、南西側が2.38ｍ（北から1.14＋1.24）である。梁行の長さは北西側が1.09ｍである。南東側は南隅の柱穴が不明確のため計測不能。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1045　掘立柱建物跡（第271図）

《位置》　ＭＩ65･66、ＭＪ65･66、ＭＫ64･65グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟５間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が8.60ｍ（南から3.59＋1.51＋0.99＋1.05＋1.46)、南東側が8.60ｍ（南から1.54＋2.46＋1.09＋1.94＋1.57）である。梁行の長さは南西側が2.16ｍ、北東側が1.79ｍである。

《遺物》　柱穴Ｐ8728から掻器が１点(第Ｐ12図10)出土した。

ＳＢ　1046　掘立柱建物跡（第271図）

《位置》　ＭＪ65･66、ＭＫ65･66グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が3.82ｍ（北から1.93＋1.89)、南西側が3.94ｍ（北から1.94＋2.00）である。梁行の長さは北西側が1.86ｍ、南東側が1.81ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1047　掘立柱建物跡（第271図）

《位置》　ＭＩ66･67、ＭＪ66･67グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟１間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.74ｍ、南東側が2.53ｍである。梁行の長さは南西側が1.84ｍ、北東側が1.72ｍである。

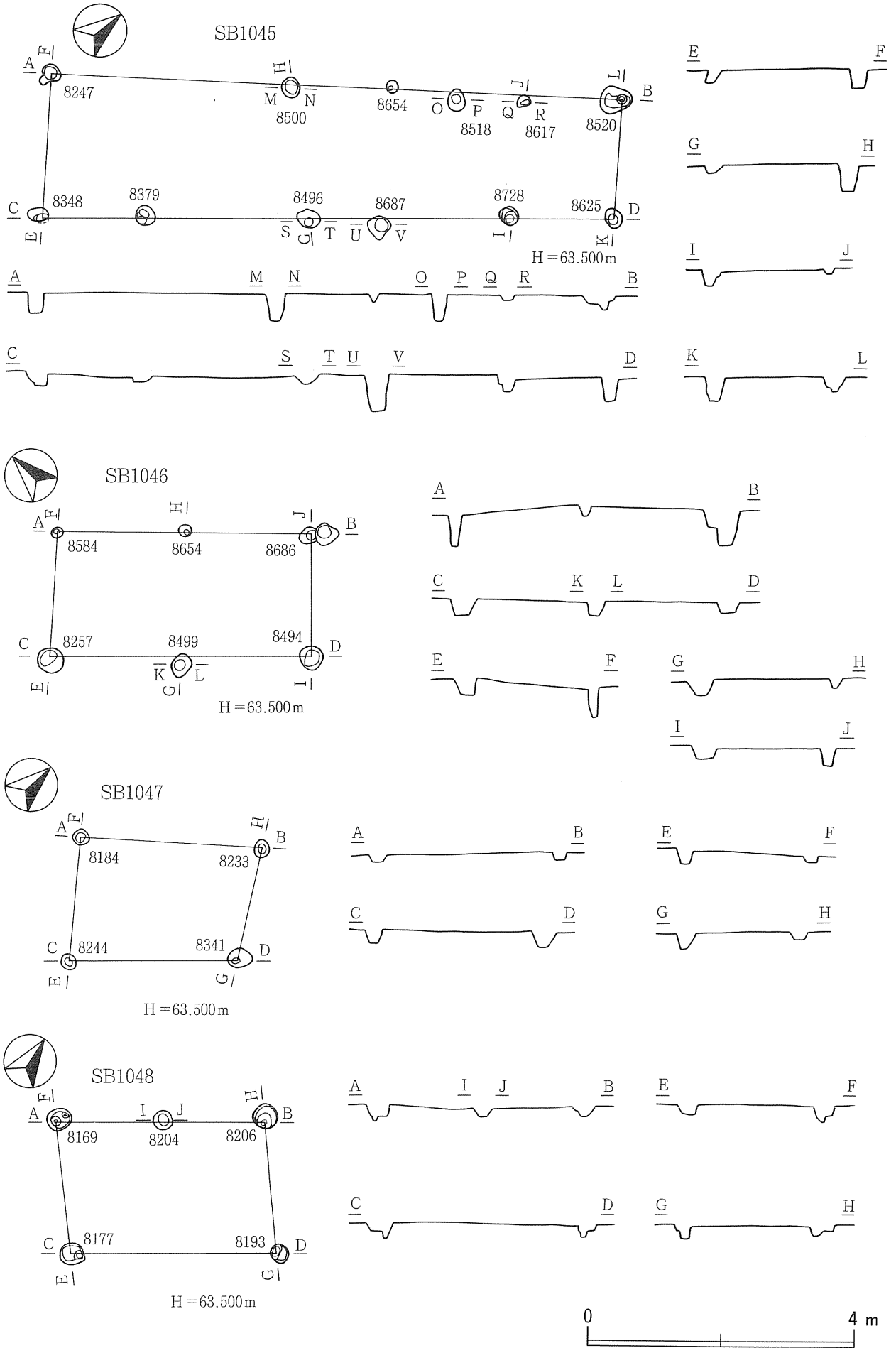
《遺物》　なし。

ＳＢ　1048　掘立柱建物跡（第271図）

《位置》　ＭＩ67･68、ＭＪ67･68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.13ｍ（南から1.60＋1.53)、南東側が3.08ｍである。梁行の長さは南西側が1.97ｍ、北東側が1.96ｍである。

《遺物》　なし。



第271図　SB 1045 ～ SB 1048 掘立柱建物跡

ＳＢ　1049　掘立柱建物跡（第272図）

《位置》　ＭＩ67•68•69、ＭＪ66•67•68、ＭＫ67グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が8.46ｍ（南から4.14＋4.32）、南東側が8.26ｍ（南から6.11＋2.15）である。梁行の長さは南西側が3.20ｍ、北東側が3.57ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1050　掘立柱建物跡（第272図）

《位置》　ＭＨ67•68、ＭＩ67•68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.44ｍ（南から0.89＋1.99＋1.56）、南東側が4.58ｍ（南から2.22＋2.36）である。梁行の長さは南西側が2.77ｍ、北東側が2.70ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1051　掘立柱建物跡（第272図）

《位置》　ＭＩ68•69、ＭＪ68•69、ＭＫ68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.02ｍ（南から2.09＋1.93）、南東側が3.82ｍである。梁行の長さは南西側が2.48ｍ、北東側が2.27ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1052　掘立柱建物跡（第273図）

《位置》　ＭＪ69、ＭＫ68•69グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の１間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.04ｍ、南東側が2.66ｍである。梁行の長さは南西側が1.66ｍ、北東側が2.04ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1053　掘立柱建物跡（第273図）

《位置》　ＭＫ68、ＭＬ67•68•69、ＭＭ67•68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が7.64ｍ（南から1.62＋1.97＋1.84＋2.21）、南東側が7.95ｍ（南から1.19＋3.32＋0.94＋2.50）である。梁行の長さは南西側が2.09ｍ、北東側が1.78ｍである。

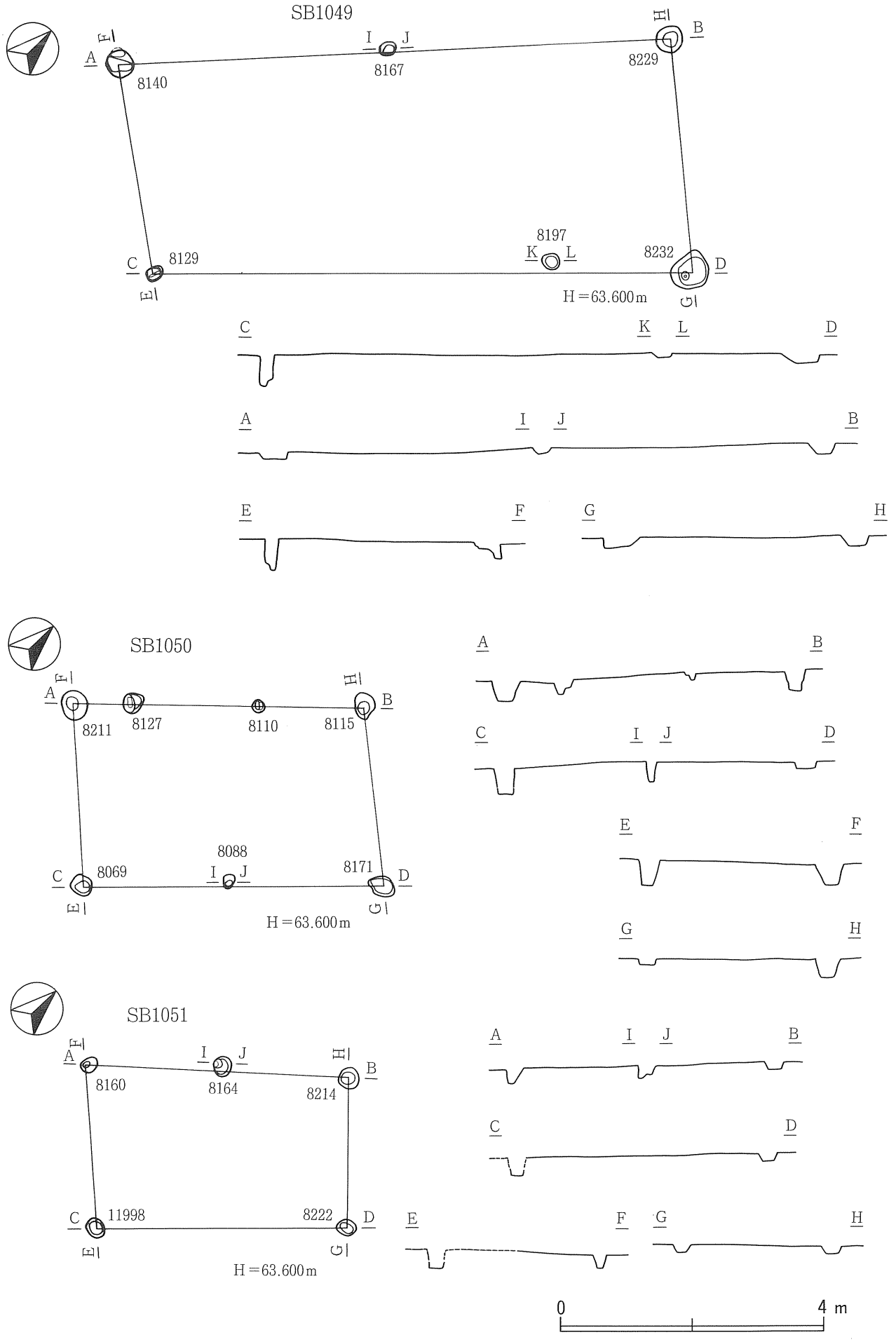
《遺物》　なし。

ＳＢ　1054　掘立柱建物跡（第273図）

《位置》　ＭＭ66•67グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が3.18ｍ（北から1.09＋1.04＋1.05）、南西側が3.40ｍ（北から0.96＋2.44）である。梁行の長さは北西側で1.34ｍ、南東側で1.72ｍである。

《遺物》　なし。



第272図　SB 1049 ～ SB 1051 掘立柱建物跡

ＳＢ　1055　掘立柱建物跡（第273図）

《位置》　ＭＬ65•66、ＭＭ65グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×２間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.54ｍ、南東側が3.25ｍ（南から0.96＋2.29）である。梁行の長さは南西側が1.83ｍ（西から0.83＋0.98）、北東側が1.83ｍ（西から1.06＋0.34＋0.43）である。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1056　掘立柱建物跡（第274図）

《位置》　ＭＮ66•67、ＭＯ66グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.44ｍ（南から1.77＋１.67)、南東側が3.56ｍ（南から1.73＋１.83)である。梁行の長さは南西側が1.95ｍ、北東側が1.83ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1057　掘立柱建物跡（第274図）

《位置》　ＭＫ67•68、ＭＬ67•68グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の１間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.86ｍ、南東側が2.90ｍである。梁行の長さは南西側が1.65ｍ、北東側が1.83ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1058　掘立柱建物跡（第274図）

《位置》　ＭＬ70•71、ＭＭ69•70•71グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の４間×２間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.52ｍ（南から1.08＋1.12＋1.48＋0.84)、南東側が4.53ｍ（南から2.72＋1.81）である。梁行の長さは南西側が3.14ｍ（西から1.25＋1.89)、北東側が2.83ｍ（西から1.17＋1.66）である。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1059　掘立柱建物跡（第274図）

《位置》　ＭＫ71、ＭＬ71グリッドに位置する。

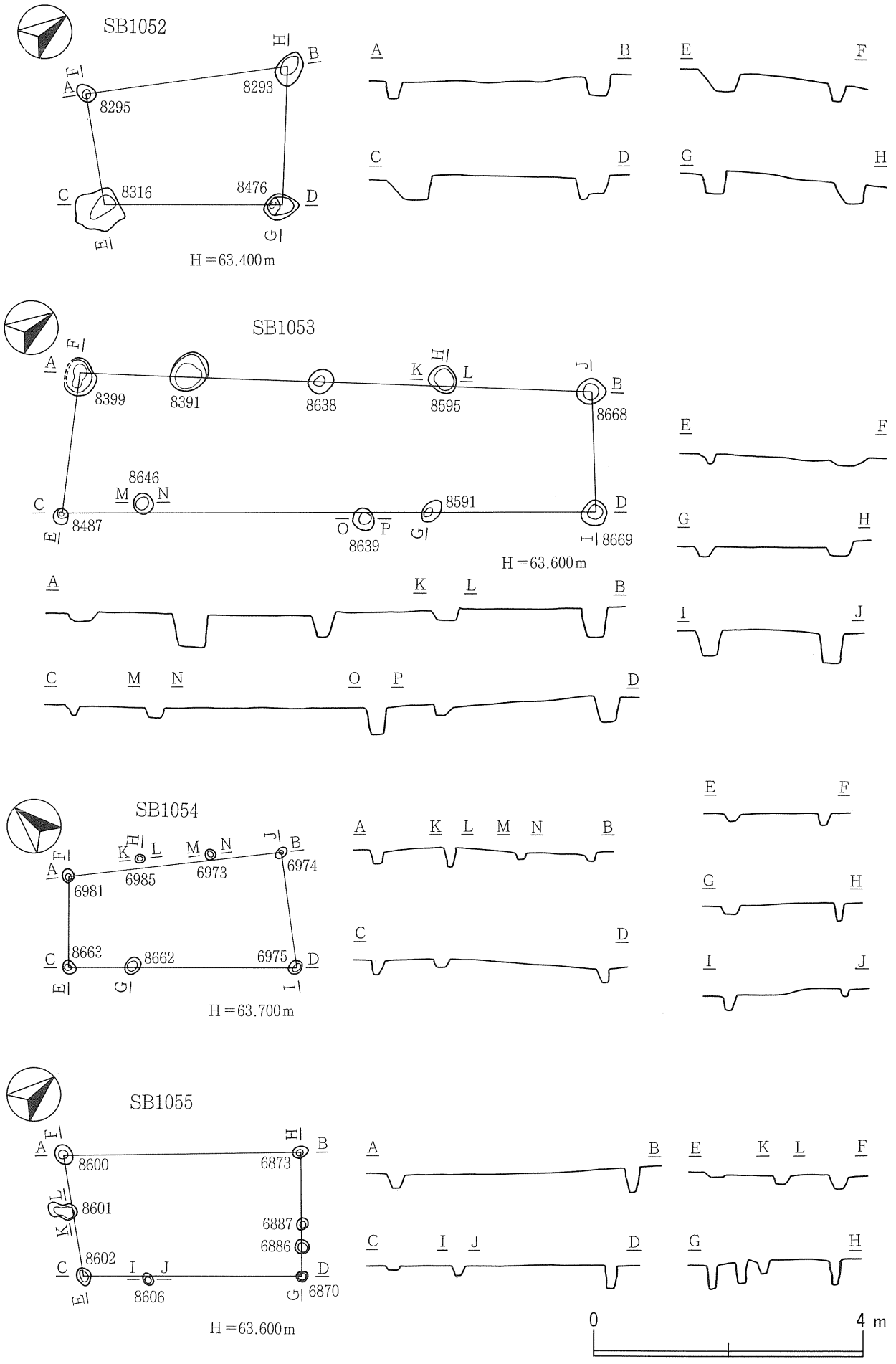
《規模》　南東－北西棟の３間×１間の掘立柱建物跡と思われる。桁行の長さは北東側で3.30ｍ（北から1.08＋1.21＋1.01)、南西側が0.90ｍである。梁行の長さは南東側で1.70ｍである。

《遺物》　なし。

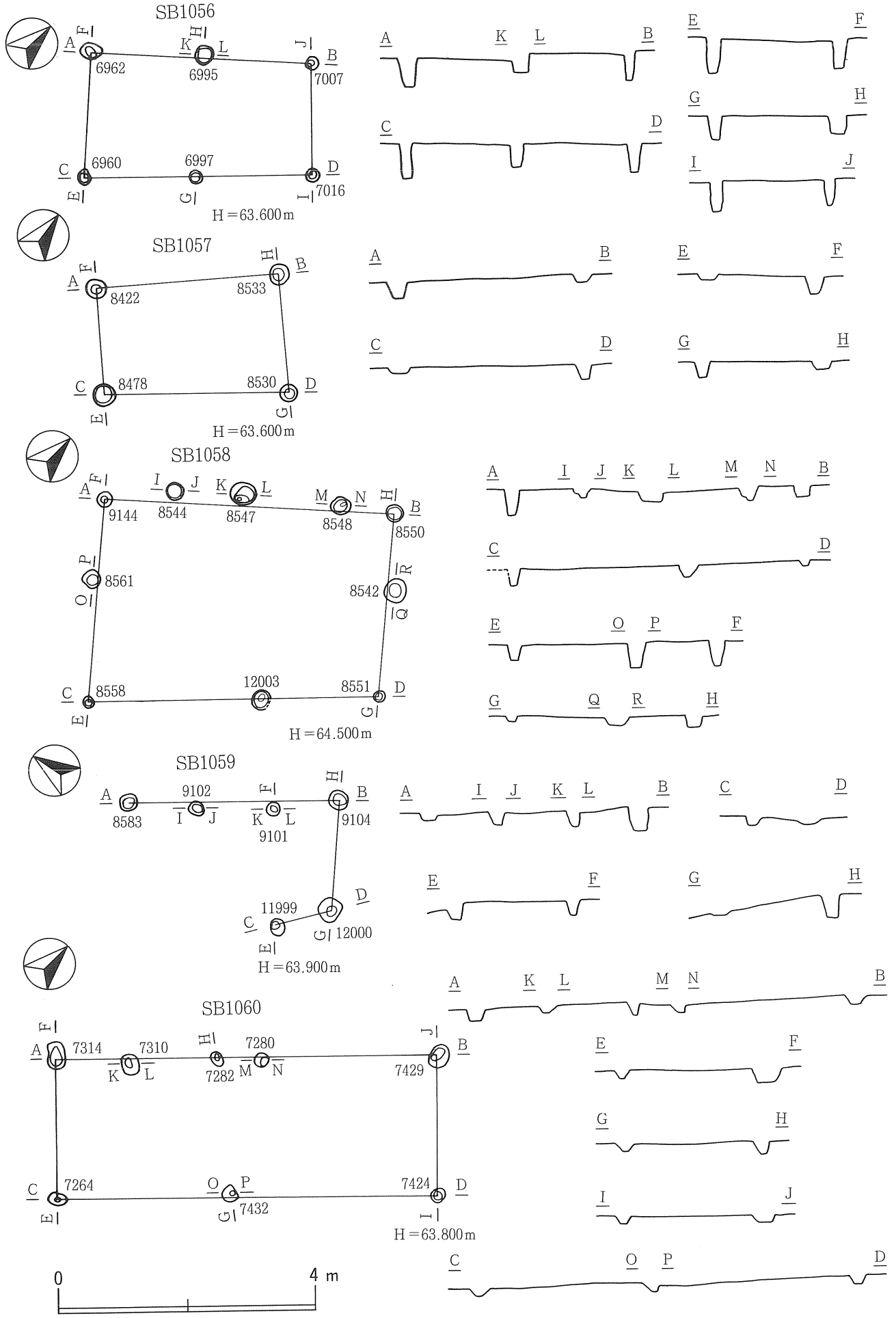
ＳＢ　1060　掘立柱建物跡（第274図）

《位置》　ＭＯ63•64、ＭＰ63•64グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が5.96ｍ（南から1.13＋1.39＋0.70＋2.74)、南東側が5.93ｍ（南から2.74＋3.19）である。梁行の長さは南西側が2.16ｍ、北東側が2.18ｍである。



第273図　SB 1052 ～ SB 1055 掘立柱柱建物跡



第274図　SB 1056 ～ SB 1060 掘立柱建物跡

《遺物》　なし。

ＳＢ　1061　掘立柱建物跡（第275図）

《位置》　ＭＮ63、ＭＯ63•64、ＭＰ63グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が4.13ｍ（南から0.73＋1.50＋1.04＋0.86）、南東側が4.06ｍ（南から2.08＋0.57＋1.41）である。梁行の長さは南西側が1.92ｍ、北東側が1.87ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1062　掘立柱建物跡（第275図）

《位置》　ＭＱ63、ＭＲ63グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.80ｍ（南から2.15＋0.65）、南東側が2.58ｍ（南から1.26＋0.63＋0.69）である。梁行の長さは南西側が1.64ｍ、北東側が1.84ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1063　掘立柱建物跡（第275図）

《位置》　ＭＳ63•64•65、ＭＴ63•64グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡と思われる。桁行の長さは南西側が3.96ｍ（南から1.73＋2.23）、北東側が1.87ｍである。梁行の長さは南西側が2.46ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1064　掘立柱建物跡（第275図）

《位置》　ＭＮ62、ＭＯ61•62•63、ＭＰ61•62グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは南西側が6.06ｍ（南から1.82＋1.11＋3.13）、北東側が5.86ｍ（南から2.84＋3.02）である。梁行の長さは南西側が2.24ｍ、北東側が2.30ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1065　掘立柱建物跡（第276図）

《位置》　ＭＯ61、ＭＰ60•61グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が5.36ｍ（南から2.27＋1.87＋1.22）、南東側が5.48ｍ（南から2.28＋1.83＋1.37）である。梁行の長さは南西側が1.92ｍ、北東側が2.44ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1066　掘立柱建物跡（第276図）

《位置》　ＭＰ58•59、ＭＱ58•59グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が3.52ｍ（北から1.80

＋1.72)、南西側が3.48ｍ（北から1.52＋1.96）である。梁行の長さは北西側が2.23ｍ、南東側が1.18ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1067　掘立柱建物跡（第276図）

《位置》　ＭＭ60•61、ＭＮ60•61、ＭＯ60グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が6.56ｍ（南から2.17＋2.26＋2.13)、南東側が6.32ｍ（南から2.20＋2.05＋2.07）である。梁行の長さは南西側が2.38ｍ、北東側が2.32ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1068　掘立柱建物跡（第276図）

《位置》　ＭＯ59•60、ＭＰ59グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.10ｍ（南から0.79＋1.31)、南東側が2.37ｍ（南から1.06＋1.31）である。梁行の長さは南西側が1.68ｍ、北東側が1.46ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1069　掘立柱建物跡（第277図）

《位置》　ＭＱ57•58、ＭＲ57•58グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が5.24ｍ（西から1.66＋2.03＋0.95＋0.60)、南東側が5.48ｍ（西から1.84＋2.05＋1.59）である。梁行の長さは南西側が1.89ｍ、北東側が2.27ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1070　掘立柱建物跡（第278図）

《位置》　ＭＱ55、ＭＲ55•56、ＭＳ55•56グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟の４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が4.68ｍ（北から2.35＋1.07＋1.26)、南西側が4.70ｍ（北から1.06＋1.13＋1.45＋1.06）である。梁行の長さは北西側・南東側とも1.60ｍである。

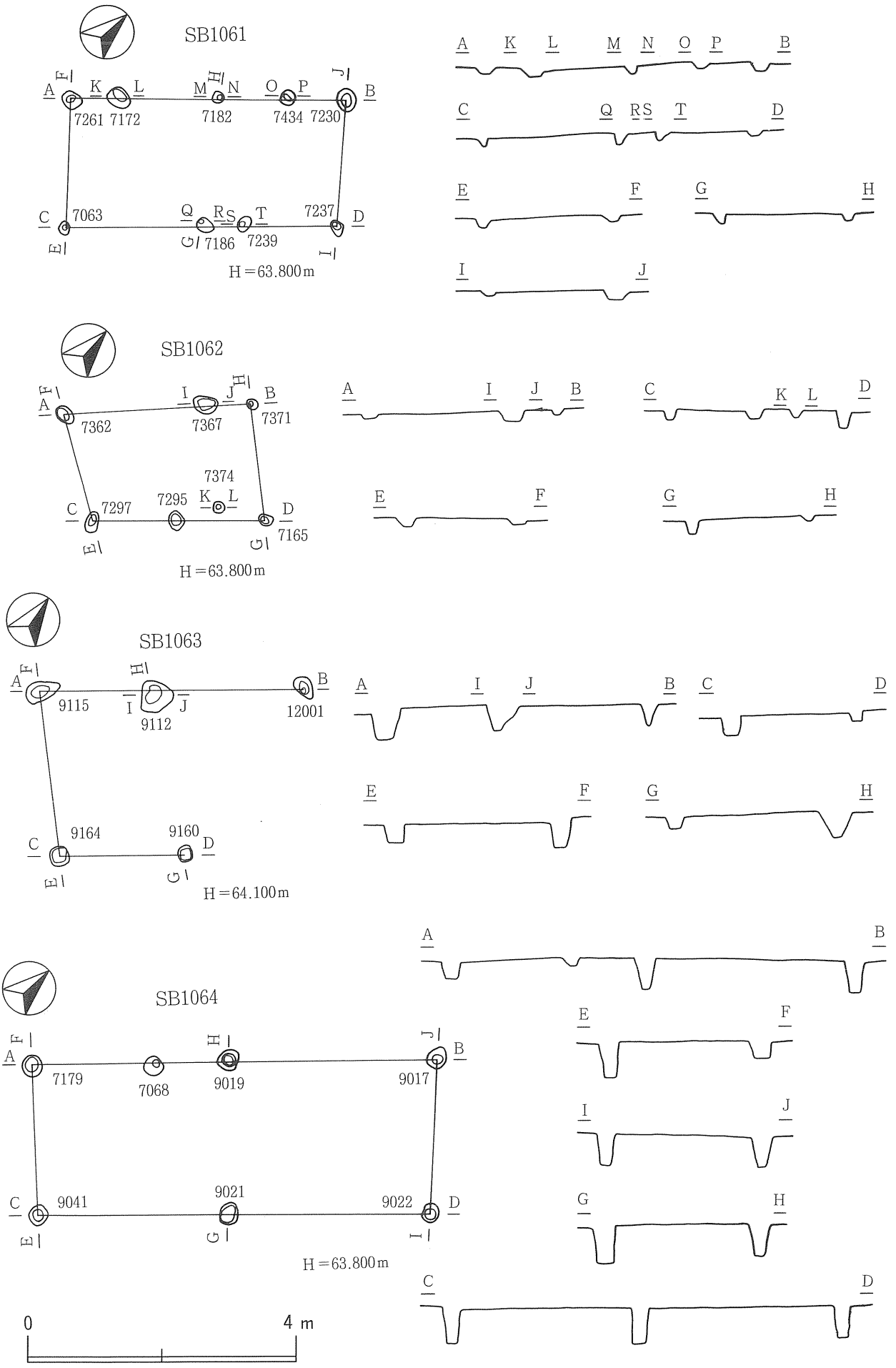
《遺物》　なし。

ＳＢ　1071　掘立柱建物跡（第278図）

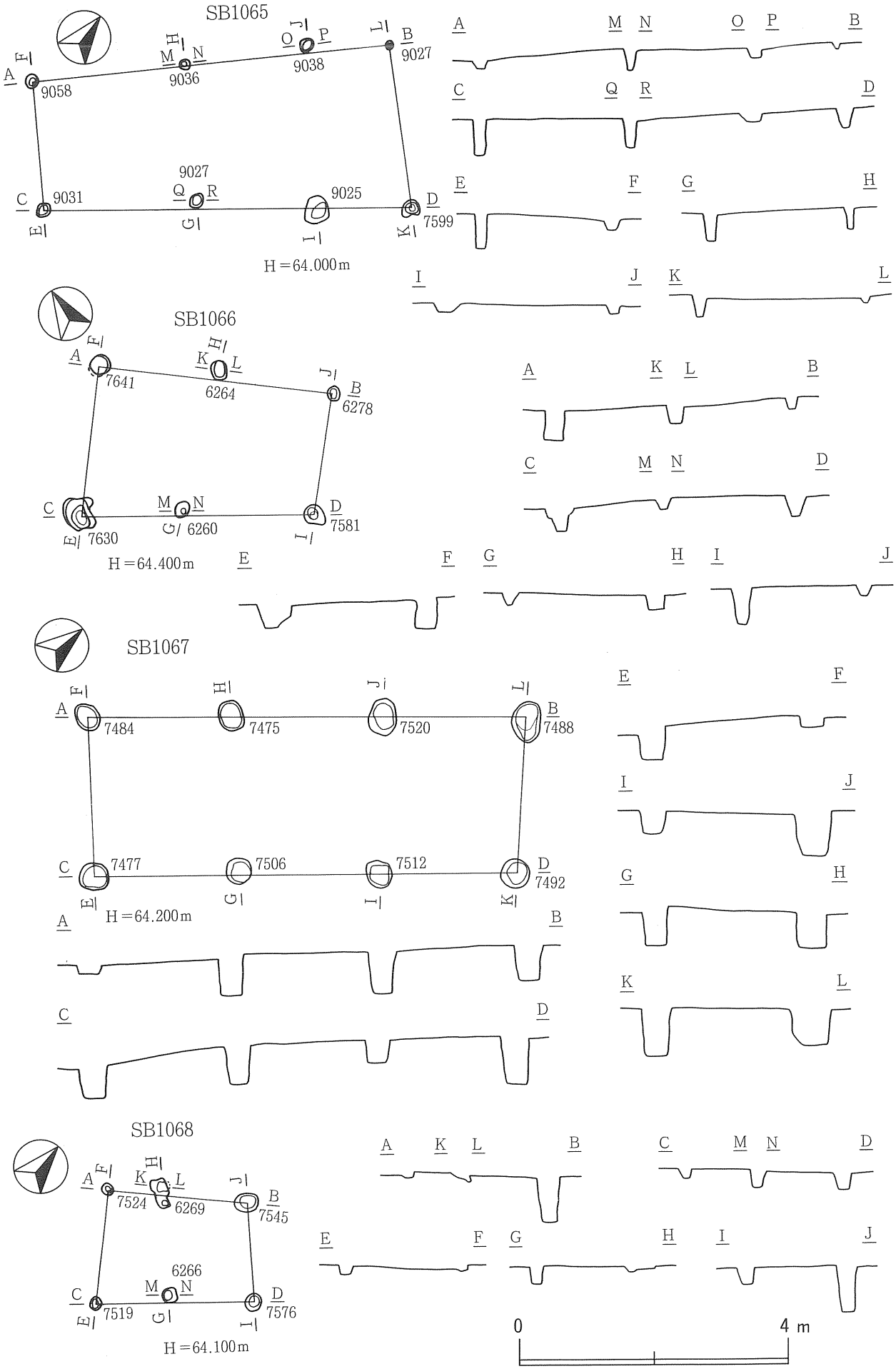
《位置》　ＭＱ54•55、ＭＲ55グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟の４間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が3.81ｍ（北から2.31＋1.50)、南西側が3.92ｍ（北から0.81＋0.94＋1.01＋1.16）である。梁行の長さは北西側が2.46ｍ、南東側が2.54ｍである。

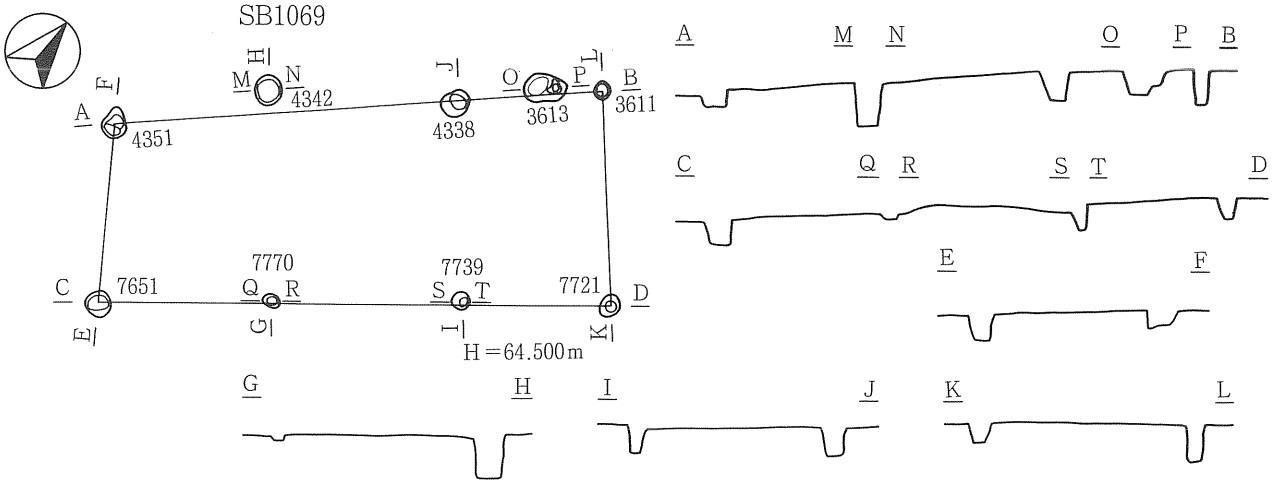
《遺物》　なし。

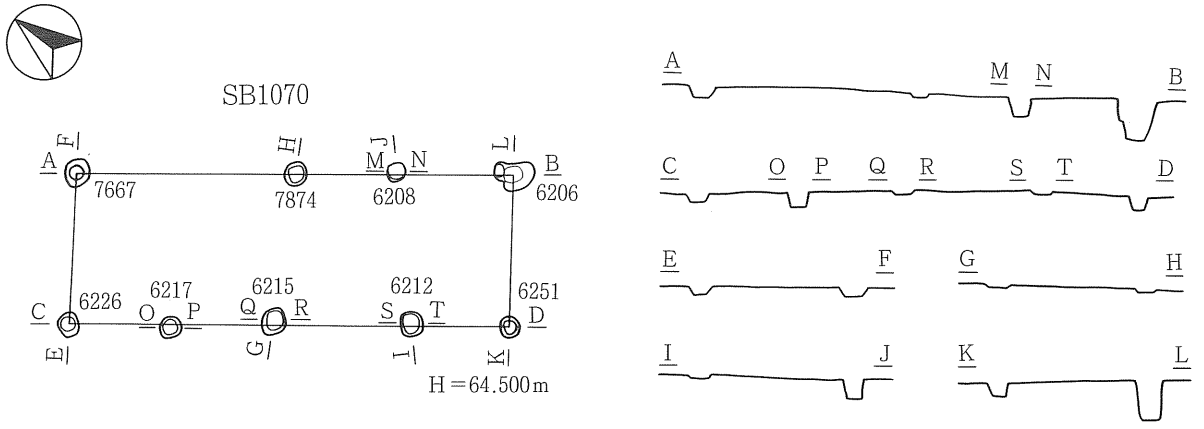


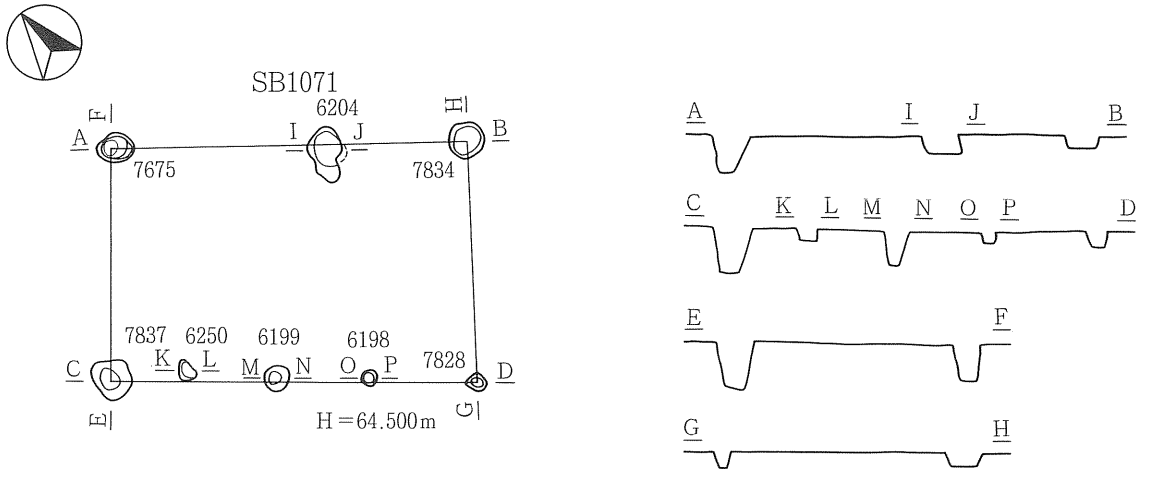
第275図　SB 1061 ～ SB 1064 掘立柱建物跡

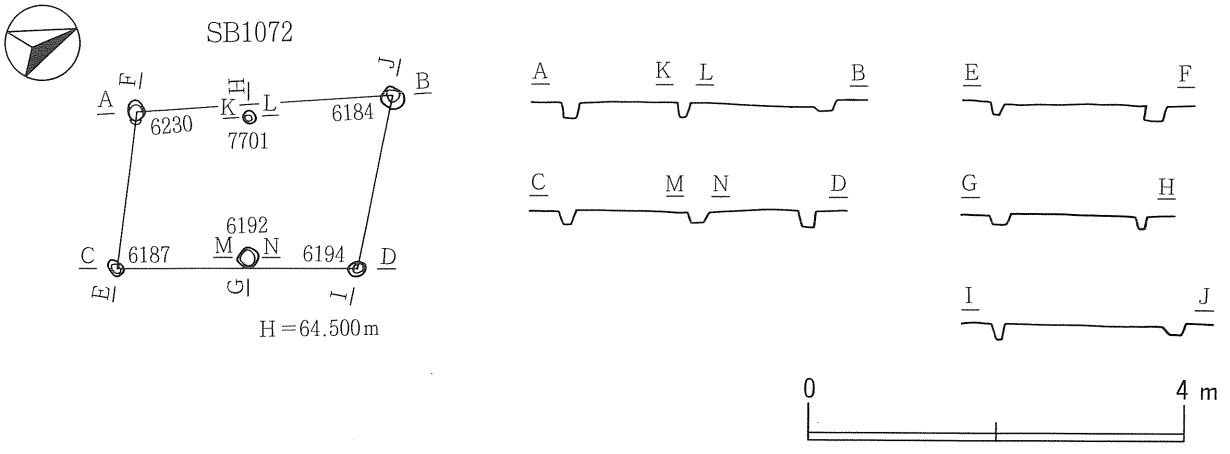


第276図　SB 1065 ～ SB 1068 掘立柱建物跡









第277図　SB 1069 ～ SB 1072 掘立柱建物跡

ＳＢ　1072　掘立柱建物跡（第278図）

《位置》　ＭＰ55･56、ＭＱ55･56グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が2.74ｍ（南から1.18＋1.56）、南東側が2.56ｍ（南から1.39＋1.17）である。梁行の長さは南西側が1.67ｍ、北東側が1.88ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1073　掘立柱建物跡（第278図）

《位置》　ＭＯ56･57、ＭＰ56･57グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が4.28ｍ（北から2.10＋2.18）、南西側が4.46ｍ（北から2.08＋2.38）である。梁行の長さは北西側が2.44ｍ、南東側が1.95ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1074　掘立柱建物跡（第278図）

《位置》　ＭＮ56、ＭＯ55･56･57グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の１間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.41ｍ、南東側が3.34ｍである。梁行の長さは南西側が3.11ｍ、北東側が3.50ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1075　掘立柱建物跡（第278図）

《位置》　ＭＫ56･57、ＭＬ56･57グリッドに位置する。

《規模》　南西－北東棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が3.41ｍ（南から1.68＋1.73）、南東側が3.43ｍ（南から1.42＋0.84＋1.17）である。梁行の長さは南西側が2.18ｍ、北東側が2.42ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1076　掘立柱建物跡（第278図）

《位置》　ＭＭ52･53グリッドに位置する。

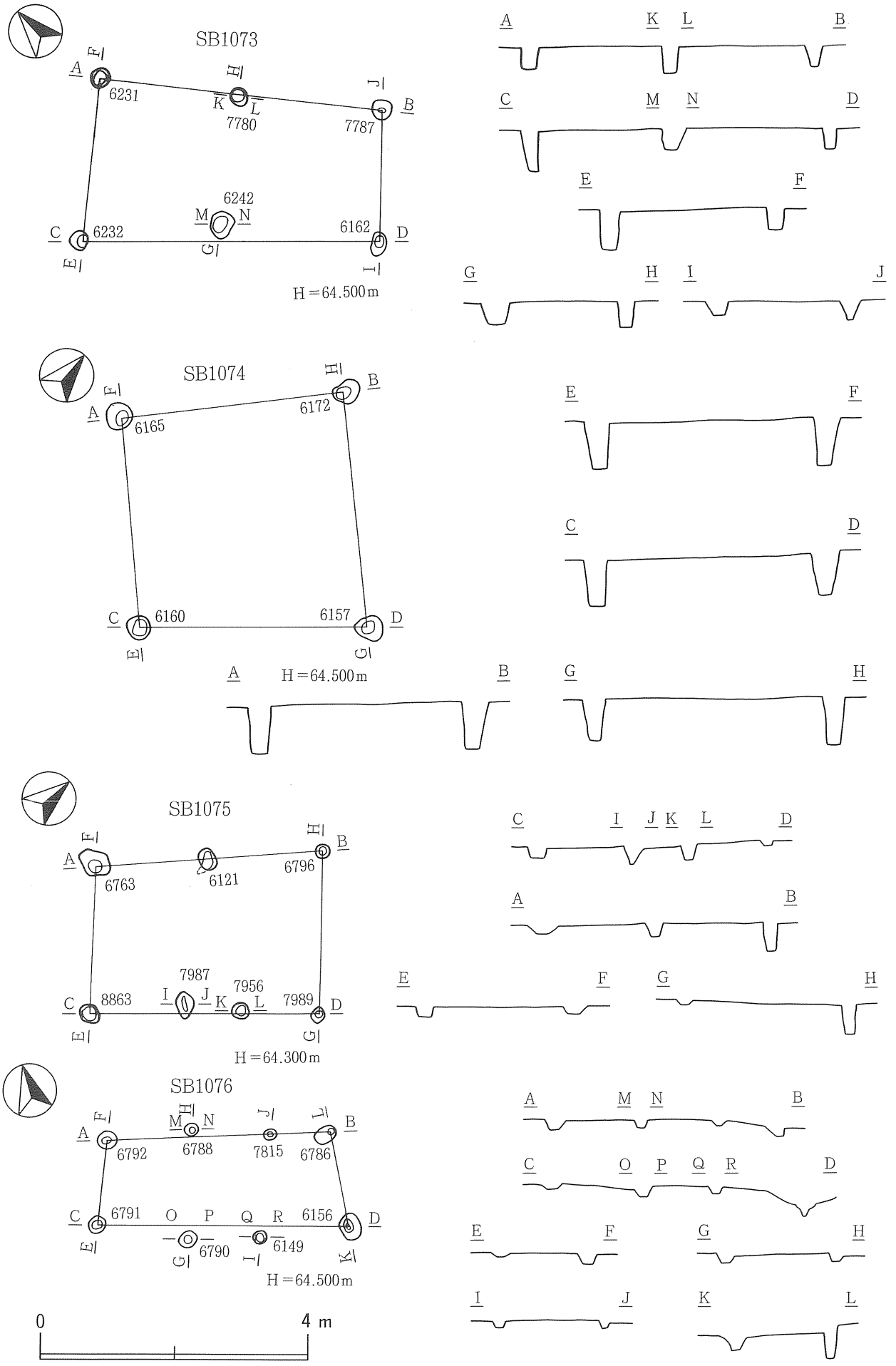
《規模》　東－西棟の３間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北側が3.36ｍ（北から1.30＋1.17＋0.89）、南側が3.76ｍ（北から1.36＋1.08＋1.32）である。梁行の長さは西側が1.26ｍ、南側が1.43ｍである。

《遺物》　なし。

ＳＢ　1077　掘立柱建物跡（第279図）

《位置》　ＭＧ57･58、ＭＨ57･58グリッドに位置する。

《規模》　南東－北西棟の２間×２間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東が5.46ｍ（西から3.02＋2.44）、南西側が5.72ｍ（西から2.92＋2.80）である。梁行の長さは北西側が3.40ｍ（北から1.60＋1.80）、南東側が2.28ｍ（北から1.26＋1.60）である。



第278図　SB 1073 ～ SB 1076 掘立柱建物跡

《遺物》　　なし。

ＳＢ　1078　掘立柱建物跡（第279図）

《位置》　　ＮＨ55、ＮＩ55グリッドに位置する。

《規模》　　南東－北西棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北東側が1.81ｍ（西から1.06＋0.75）、南西側が2.00ｍ（西から1.05＋0.95）である。梁行の長さは北西側が0.71ｍ、南東側が0.76ｍである。

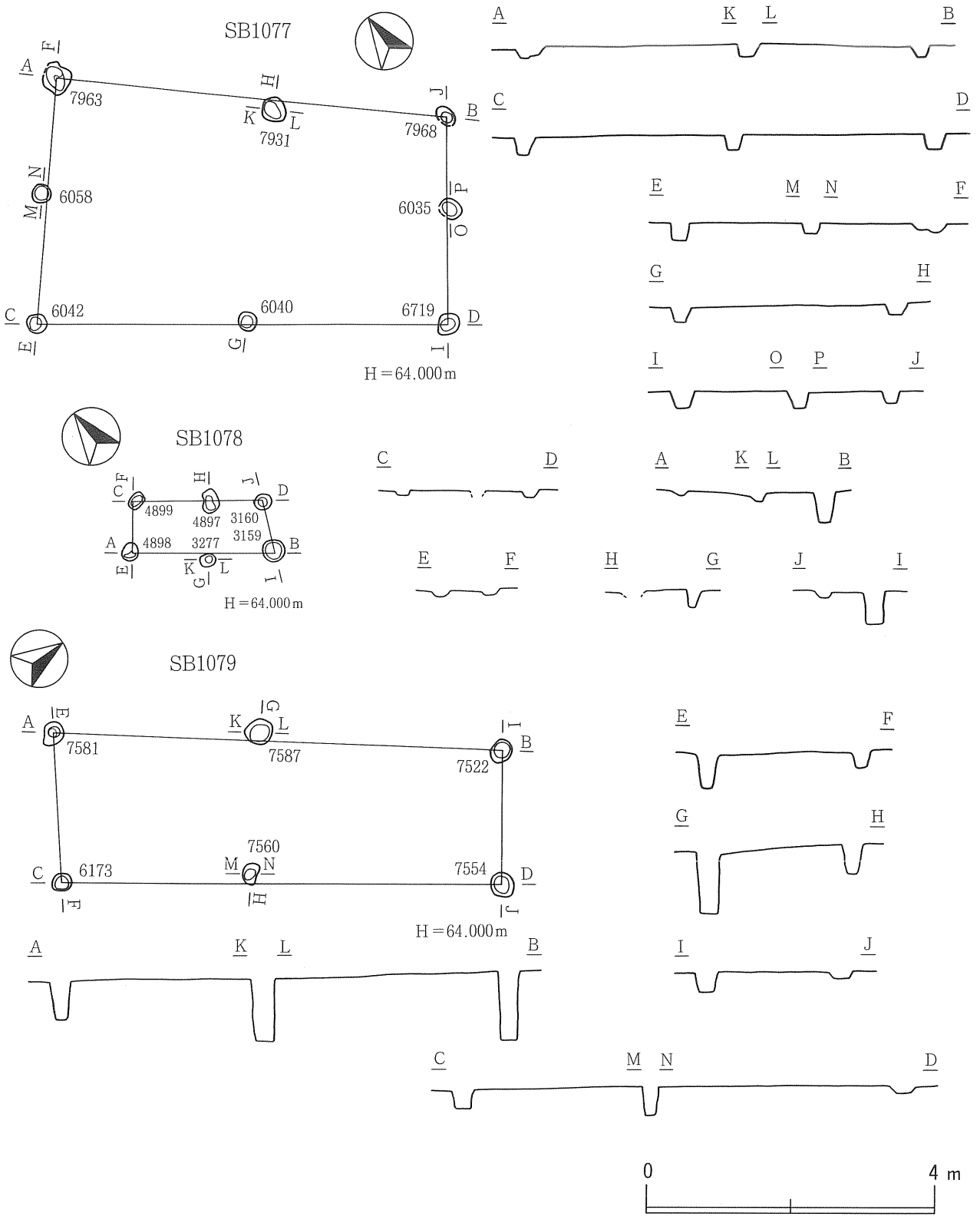
《遺物》　　なし。

ＳＢ　1079　掘立柱建物跡（第279図）

《位置》　　ＭＰ57•58、ＭＱ57•58グリッドに位置する。

《規模》　　南西－北東棟の２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行の長さは北西側が6.25ｍ（南から2.87＋3.38)、南東側が6.11ｍ（南から2.61＋3.49）である。梁行の長さは南西側が2.08ｍ、北東側が1.85ｍである。

《遺物》　　柱穴Ｐ7587から篦状石器が１点（第385図８）出土した。



第279図　SB 1077 ～ SB 1079 掘立柱建物跡

Ｔ－ｐｉｔ

池内遺跡におけるＴ－ｐｉｔの総数は、22基を数える。時期毎に分類すると、縄文時代前期中葉（２基）・前期としたもの（２基）で、大部分は遺物の出土がなく、時期が不明なものである。

大半は平面形が長楕円・葉巻形で横断面がＵ・Ｙ型を示す形態であるが、床面に逆茂木を突き刺して使用したと考えられるものも１基確認した。

これらの大半は調査区東部の、遺構が希薄な区域に偏って分布していた。

ＳＫＴ　109　Ｔ－ｐｉｔ（第280図）

《位　置》　ＯＤ33グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.94ｍ、幅1.20ｍ、深さ96㎝、底面長軸3.22ｍ、幅0.36ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＹ字形を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　140　Ｔ－ｐｉｔ（第 280図）

《位　置》　ＭＮ74･75グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　柱穴様ピットと重複している。新旧関係は本Ｔ－ｐｉｔが古い。

《規　模》　開口部長軸3.54ｍ、幅1.07ｍ、深さ86㎝、底面長軸3.64ｍ、幅0.40ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　緩やかなＹ字形を呈する。

《埋　土》　３層に分層した。人為的堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　304　Ｔ－ｐｉｔ（第280図）

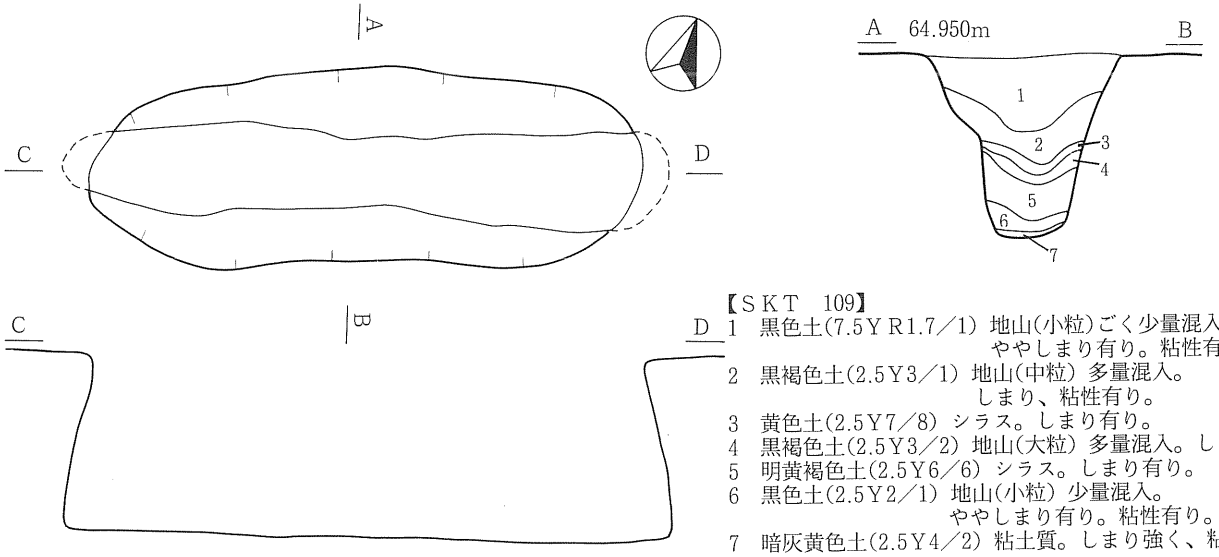
《位　置》　ＮＰ29･30グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.98ｍ、幅0.66ｍ、深さ94㎝、底面長軸3.52ｍ、幅0.22ｍ。

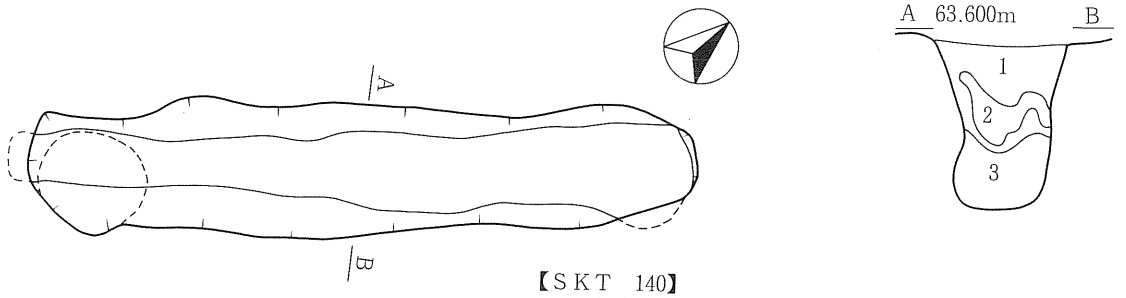
《平面形》　葉巻形を呈する。



【ＳＫＴ　109】
1　黒色土(7.5ＹＲ1.7／1) 地山(小粒)ごく少量混入。
　　ややしまり有り。粘性有り。
2　黒褐色土(2.5Ｙ3／1) 地山(中粒) 多量混入。
　　しまり、粘性有り。
3　黄色土(2.5Ｙ7／8) シラス。しまり有り。
4　黒褐色土(2.5Ｙ3／2) 地山(大粒) 多量混入。しまり有り。
5　明黄褐色土(2.5Ｙ6／6) シラス。しまり有り。
6　黒色土(2.5Ｙ2／1) 地山(小粒) 少量混入。
　　ややしまり有り。粘性有り。
7　暗灰黄色土(2.5Ｙ4／2) 粘土質。しまり強く、粘性有り。

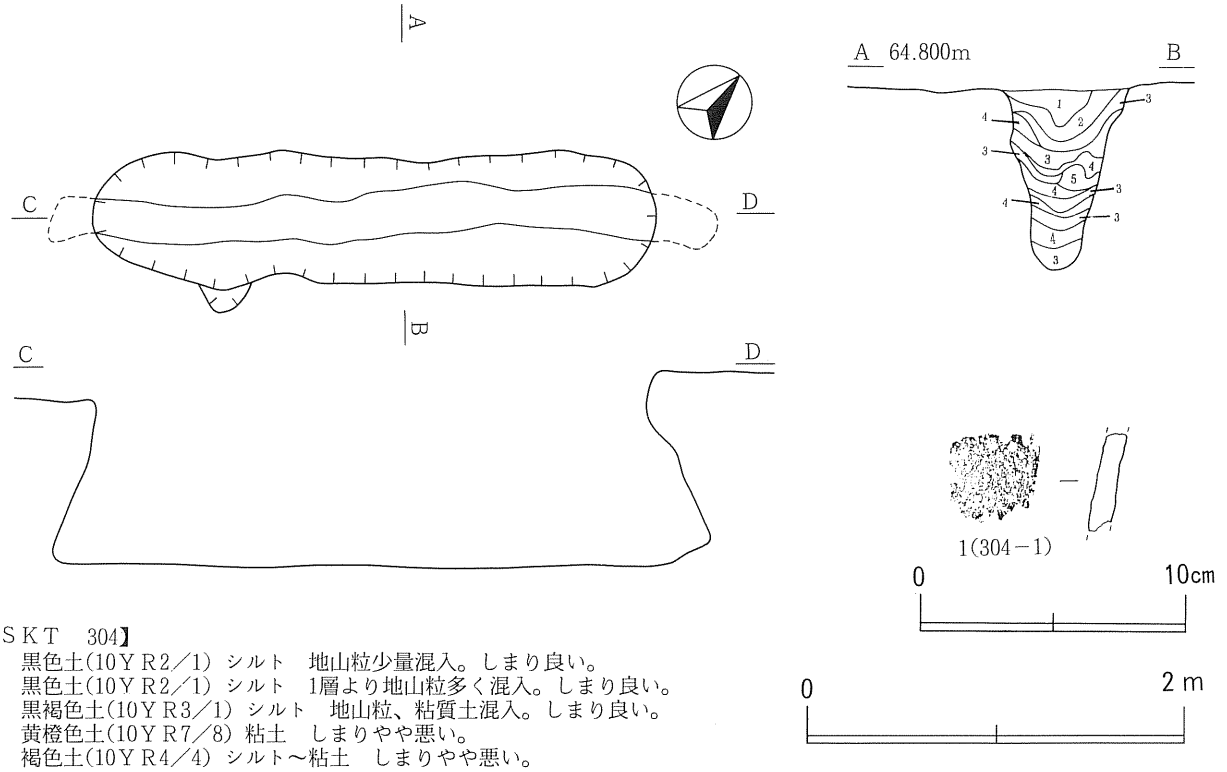
ＳＫＴ109

ＳＫＴ140



【ＳＫＴ　140】
1　黒色土(7.5Ｙ1.7／1) 地山(中粒)中量混入。ややしまり有り。
2　明黄褐色土(2.5Ｙ7／6) 地山(大粒)中量混入。しまり強い。
3　淡黄色土(2.5Ｙ8／4) しまり強い。

ＳＫＴ304



【ＳＫＴ　304】
1　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト　地山粒少量混入。しまり良い。
2　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト　1層より地山粒多く混入。しまり良い。
3　黒褐色土(10ＹＲ3／1) シルト　地山粒、粘質土混入。しまり良い。
4　黄橙色土(10ＹＲ7／8) 粘土　しまりやや悪い。
5　褐色土(10ＹＲ4／4) シルト～粘土　しまりやや悪い。

第280図　SKT 109・SKT 140・SKT 304 土坑とその出土遺物

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　埋土中から縄文前期の土器（１）が出土した。

《時　期》　出土した土器から縄文時代前期と思われる。

ＳＫＴ　306　Ｔ－ｐｉｔ（第281図）

《位　置》　ＮＮ28･29グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸3.40ｍ、幅1.00ｍ、深さ126㎝、底面長軸3.60ｍ、幅0.22ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　緩やかなＹ字形を呈する。

《埋　土》　５層に分層した。人為的堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　310　Ｔ－ｐｉｔ（第281図）

《位　置》　ＮＴ26グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.50ｍ、幅0.64ｍ、深さ90㎝、底面長軸2.44ｍ、幅0.22ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　５層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　318　Ｔ－ｐｉｔ（第281図）

《位　置》　ＮＮ２グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

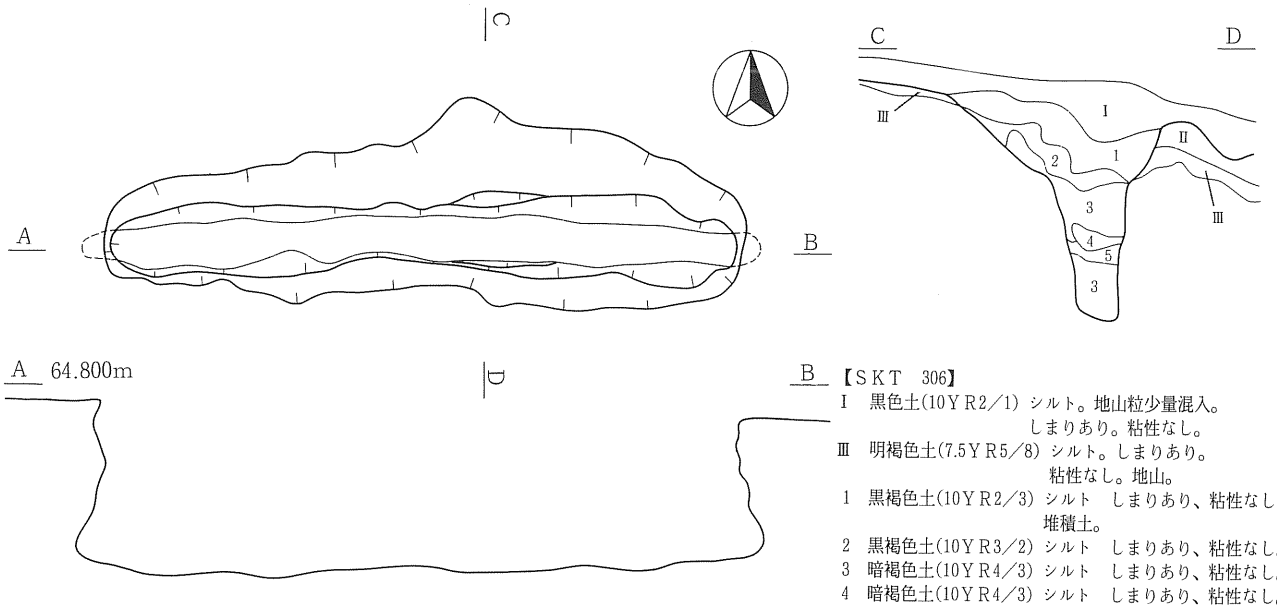
《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.56ｍ、幅0.86ｍ、深さ110㎝、底面長軸2.76ｍ、幅0.28ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

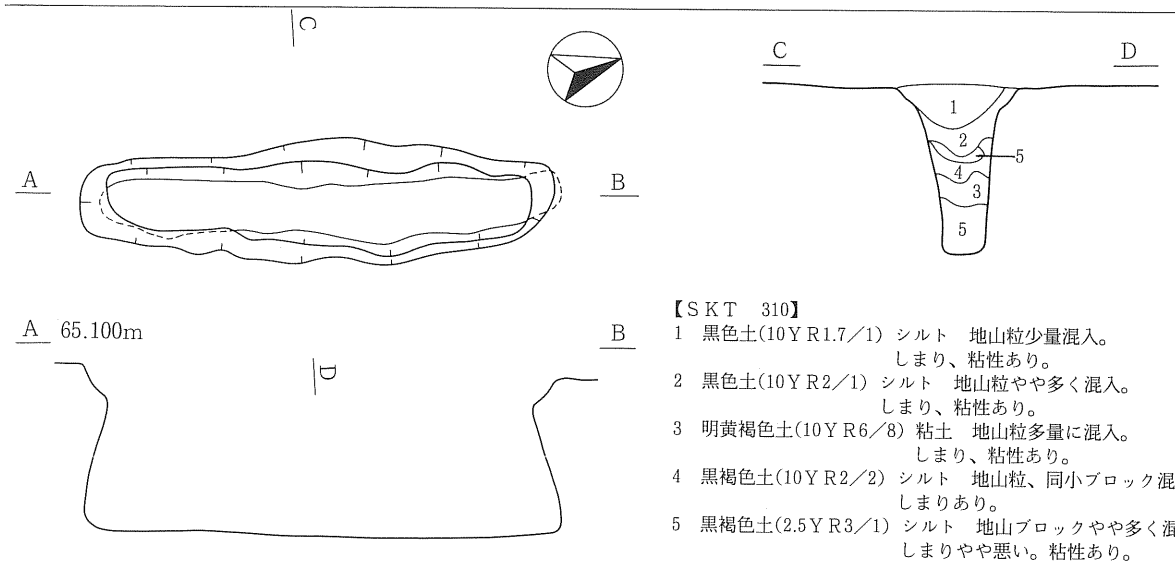
《断面形》　緩やかなＹ字形を呈する。

《埋　土》　６層に分層した。自然堆積と思われる。



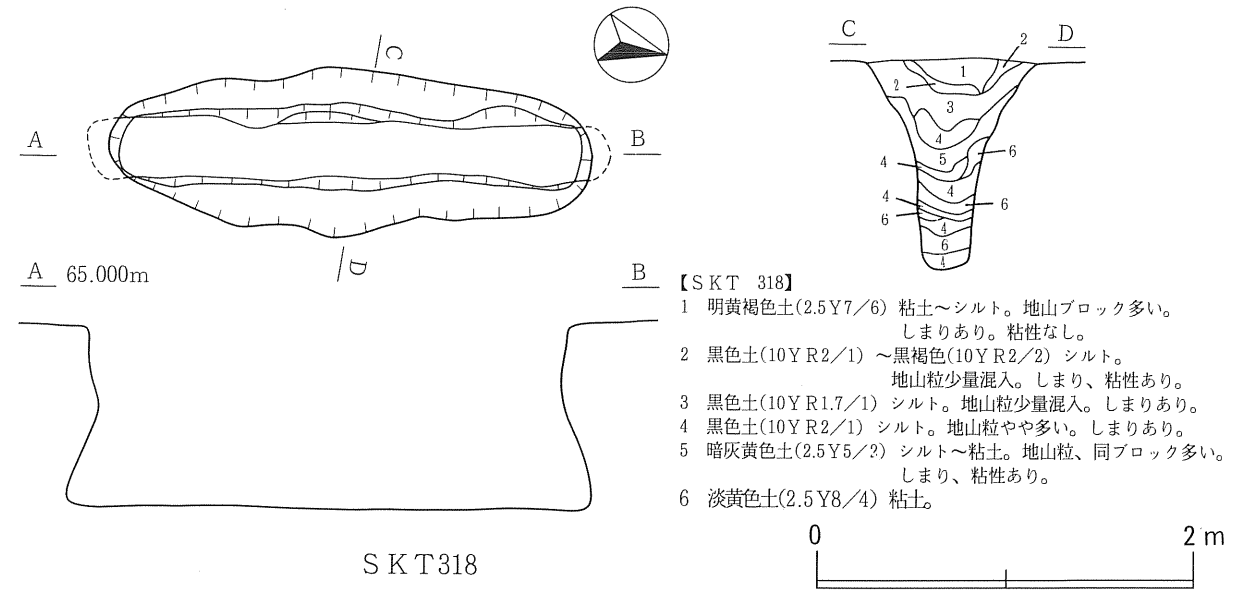
【ＳＫＴ　306】
Ⅰ　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト。地山粒少量混入。しまりあり。粘性なし。
Ⅲ　明褐色土(7.5ＹＲ5／8) シルト。しまりあり。粘性なし。地山。
1　黒褐色土(10ＹＲ2／3) シルト　しまりあり、粘性なし。堆積土。
2　黒褐色土(10ＹＲ3／2) シルト　しまりあり、粘性なし。
3　暗褐色土(10ＹＲ4／3) シルト　しまりあり、粘性なし。
4　暗褐色土(10ＹＲ4／3) シルト　しまりあり、粘性なし。地山塊を含む。
5　黄褐色土(10ＹＲ5／6) シルト　しまりあり。粘性なし。地山崩落土。

ＳＫＴ306



【ＳＫＴ　310】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1) シルト　地山粒少量混入。しまり、粘性あり。
2　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト　地山粒やや多く混入。しまり、粘性あり。
3　明黄褐色土(10ＹＲ6／8) 粘土　地山粒多量に混入。しまり、粘性あり。
4　黒褐色土(10ＹＲ2／2) シルト　地山粒、同小ブロック混入。しまりあり。
5　黒褐色土(2.5ＹＲ3／1) シルト　地山ブロックやや多く混入。しまりやや悪い。粘性あり。

ＳＫＴ310



【ＳＫＴ　318】
1　明黄褐色土(2.5Ｙ7／6) 粘土～シルト。地山ブロック多い。しまりあり。粘性なし。
2　黒色土(10ＹＲ2／1) ～黒褐色(10ＹＲ2／2) シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性あり。
3　黒色土(10ＹＲ1.7／1) シルト。地山粒少量混入。しまりあり。
4　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト。地山粒やや多い。しまりあり。
5　暗灰黄色土(2.5Ｙ5／2) シルト～粘土。地山粒、同ブロック多い。しまり、粘性あり。
6　淡黄色土(2.5Ｙ8／4) 粘土。

ＳＫＴ318

0　2 m

第281図　SKT 306・SKT 310・SKT 318 土坑

《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　320　Ｔ－Ｐｉｔ（第282図）

《位　置》　ＮＮ８グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.50ｍ、幅0.32ｍ、深さ66㎝、底面長軸2.10ｍ、幅0.10ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　２層に分層した。自然堆積か人為的堆積か不明。

《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　321　Ｔ－Ｐｉｔ（第282図）

《位　置》　ＮＬ８・９、ＮＭ９グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　ＳＫＦ322フラスコ状土坑と重複している。新旧関係は不明である。

《規　模》　開口部長軸3.00ｍ、幅0.98ｍ、深さ96㎝、底面長軸2.90ｍ、幅0.20ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＹ字形を呈する。

《埋　土》　６層に分層した。土層断面の註記を実施できなかったため、自然堆積か人為的堆積か不明。

《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかっので不明。

ＳＫＴ　324　Ｔ－Ｐｉｔ（第282図）

《位　置》　ＮＪ11•12グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

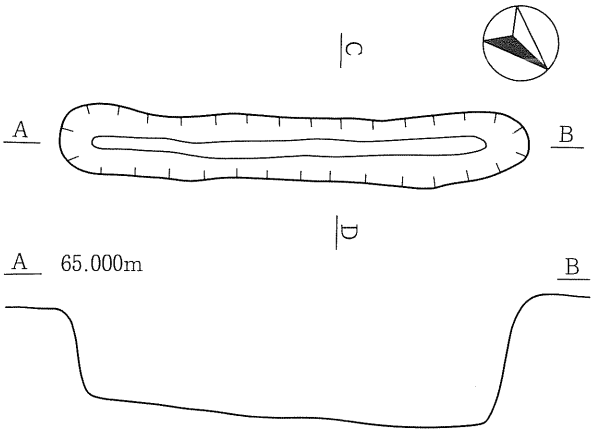
《規　模》　確認長で開口部長軸0.78ｍ、幅0.54ｍ、深さ80㎝、底面長軸0.60ｍ、幅0.16ｍ。

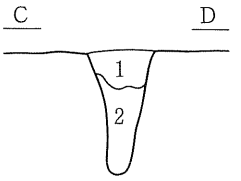
《平面形》　大半が高圧線鉄塔の脚部によって削平されており、詳細は不明であるが、葉巻形を呈すると思われる。

《断面形》　詳細は不明である。

《埋　土》　10層に分層した。自然堆積と思われる。

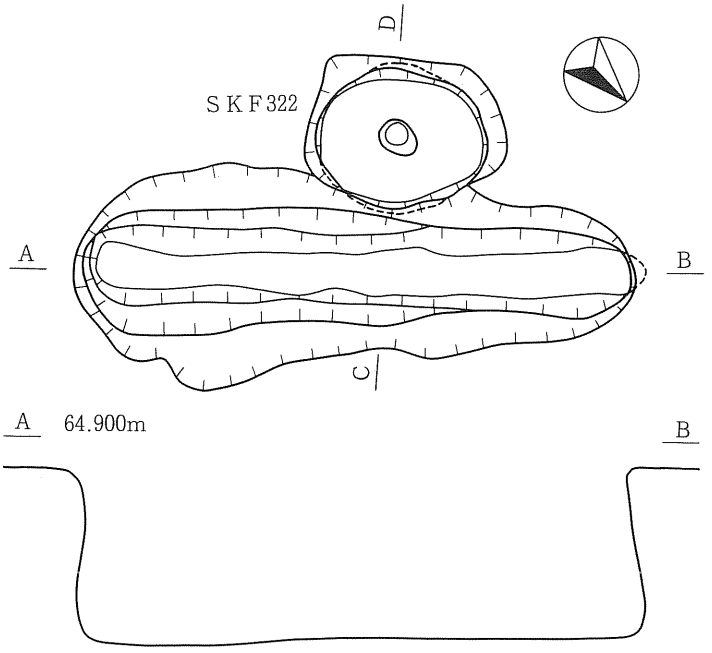
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。

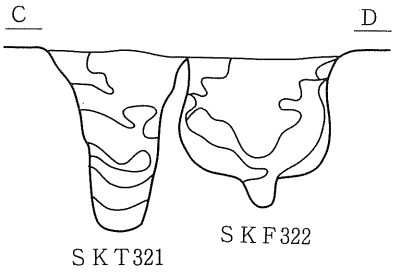




【ＳＫＴ　320】
1　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト。地山粒少量含む。
　　極めてしまりあり。粘性強い。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／2) シルト。地山粒1層より多い。
　　極めてしまりあり。粘性弱い。

ＳＫＴ320

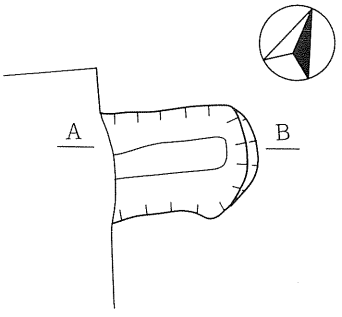


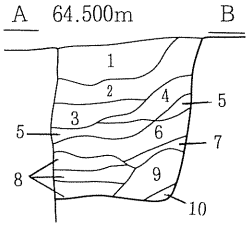


土壌断面の註記を行わずに撤去してしまったため、註記はない。

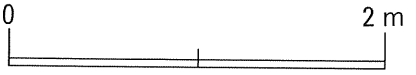
ＳＫＴ321

ＳＫＴ324





【ＳＫＴ　324】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1) シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性あり。
2　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト。地山粒混入。しまりあり。やや粘性あり。
3　黒褐色土(10ＹＲ3／1) シルト。地山粒。小ブロック混入。しまり、粘性あり。
4　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト。地山粒多い。しまりあり。やや粘性あり。
5　黄橙色土(10ＹＲ7／8) 粘土。しまりあり。やや粘性あり。
6　黒褐色土(10ＹＲ2／2) シルト。地山粒、地山ブロック混入。しまりあり。
　　粘性あまりない。
7　黒褐色土(10ＹＲ2／2) シルト～粘土。地山ブロック多い。しまり、粘性あり。
8　黄橙色土(10ＹＲ8／6) 粘土。しまり、粘性あり。
9　明黄褐色土(10ＹＲ7／6) 粘土～シルト。地山粒多い。しまり、粘性あり。
10　黒色土(10ＹＲ2／1) シルト。地山粒少量混入。しまり、粘性あり。



第282図　SKT 320・SKT 321・SKT 324 土坑

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　374　Ｔ－ｐｉｔ（第283図）

《位　置》　ＮＤ51•52グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.52ｍ、幅0.48ｍ、深さ114㎝、底面長軸2.60ｍ、幅0.12ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　Ｙ字形を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。人為的堆積と思われる。

《底　面》　中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　埋土中から縄文時代前期中葉の土器（１）・前期の土器（２～４）が出土した。

《時　期》　出土した土器から縄文時代前期中葉と思われる。

ＳＫＴ　375　Ｔ－ｐｉｔ（第283図）

《位　置》　ＮＢ54•55グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸3.02ｍ、幅0.42ｍ、深さ96㎝、底面長軸3.18ｍ、幅0.10ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　Ｕ字形を呈する。

《埋　土》　10層に分層した。人為的堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　376　Ｔ－ｐｉｔ（第284図）

《位　置》　ＮＡ54•55、ＮＢ54•55グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸3.28ｍ、幅1.00ｍ、深さ118㎝、底面長軸3.66ｍ、幅0.12ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。中央上部が木根による攪乱を受けている。

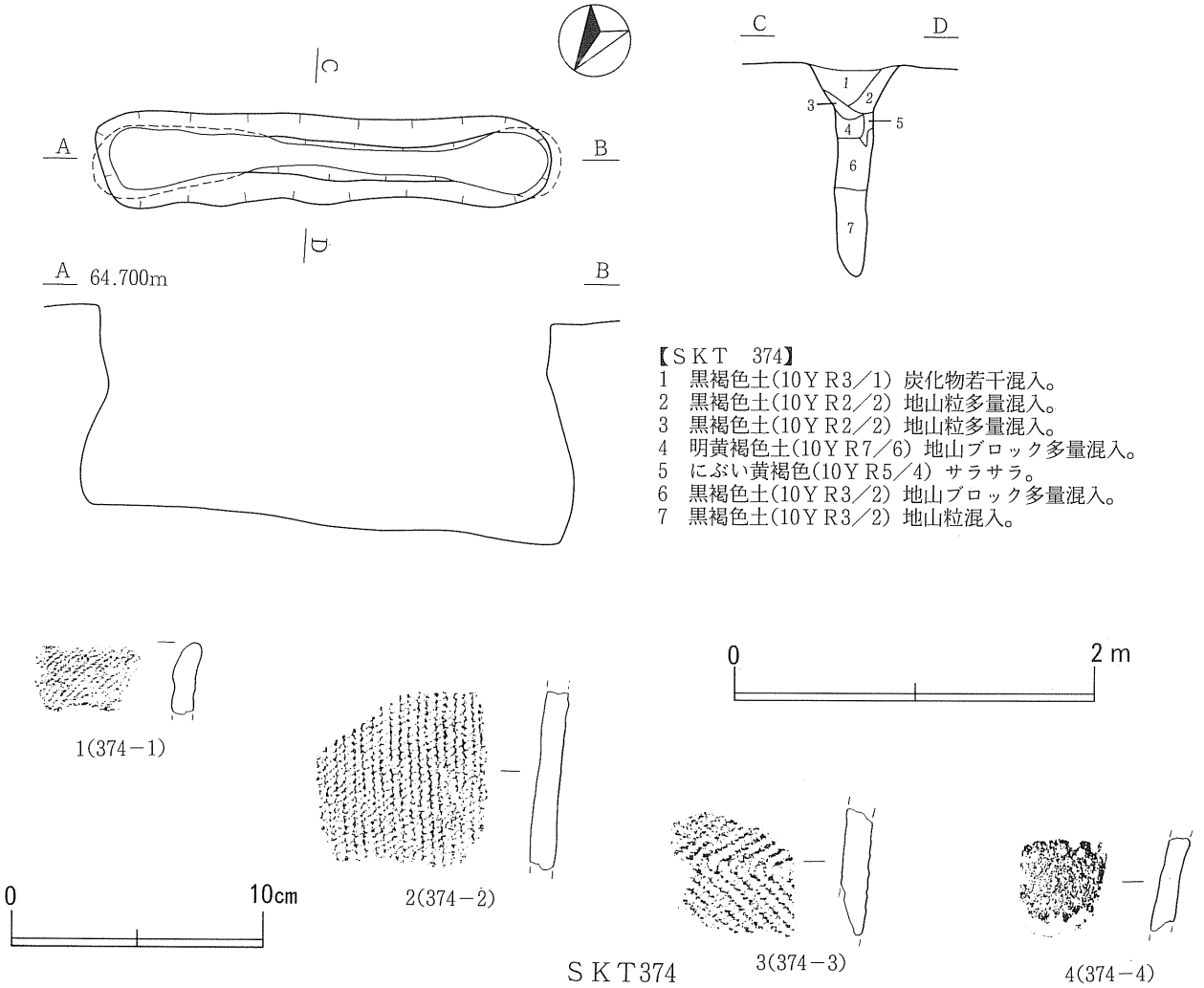
《断面形》　Ｕ字形を呈する。

《埋　土》　10層に分層した。人為的堆積と思われる。

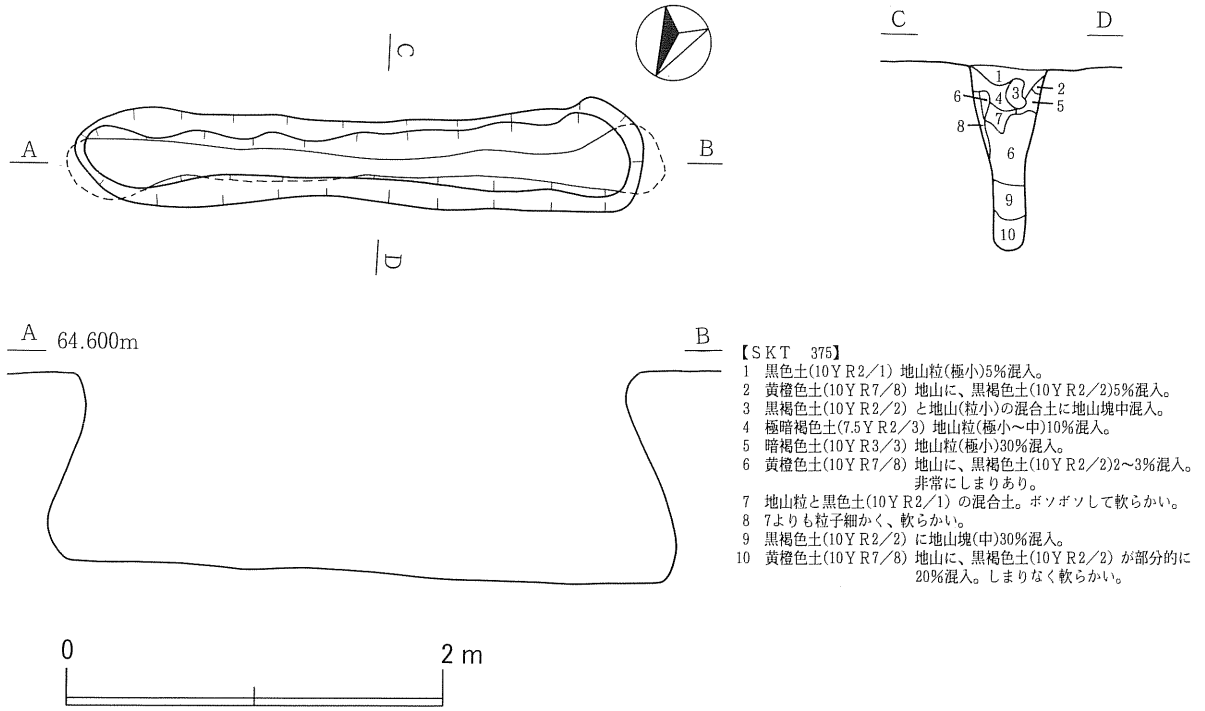
《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。



ＳＫＴ375



第283図　SKT 374・SKT 375 土坑とその出土遺物

ＳＫＴ　500　Ｔ－ｐｉｔ（第284図）

《位　置》　ＯＡ28グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸3.12ｍ、幅0.48ｍ、深さ58㎝、底面長軸3.62ｍ、幅0.18ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈する。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　６層に分層した。自然堆積か人為的堆積か不明。

《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　502　Ｔ－ｐｉｔ（第284図）

《位　置》　ＮＲ30･31、ＮＳ30･31グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸2.00ｍ、幅0.68ｍ、深さ100㎝、底面長軸1.78ｍ、幅0.22ｍ。

《平面形》　長楕円形である。

《断面形》　緩やかなＵ字形を呈する。

《埋　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。

《底　面》　やや凹凸があるが、中華鍋底状に中央部が深くなっている。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

ＳＫＴ　525　Ｔ－ｐｉｔ（第285図）

《位　置》　ＮＮ35、ＮＯ34･35グリッドに位置する。

《確　認》　暗褐色土の溝状落ち込みとして確認した。

《重　複》　なし。

《規　模》　開口部長軸5.08ｍ、幅0.46ｍ、深さ66㎝、底面長軸4.44ｍ、幅0.32ｍ。

《平面形》　葉巻形を呈するが、斜面に対して一部崩落している。

《断面形》　斜面への崩落のため不整形である。

《埋　土》　７層に分層した。自然堆積と思われる。

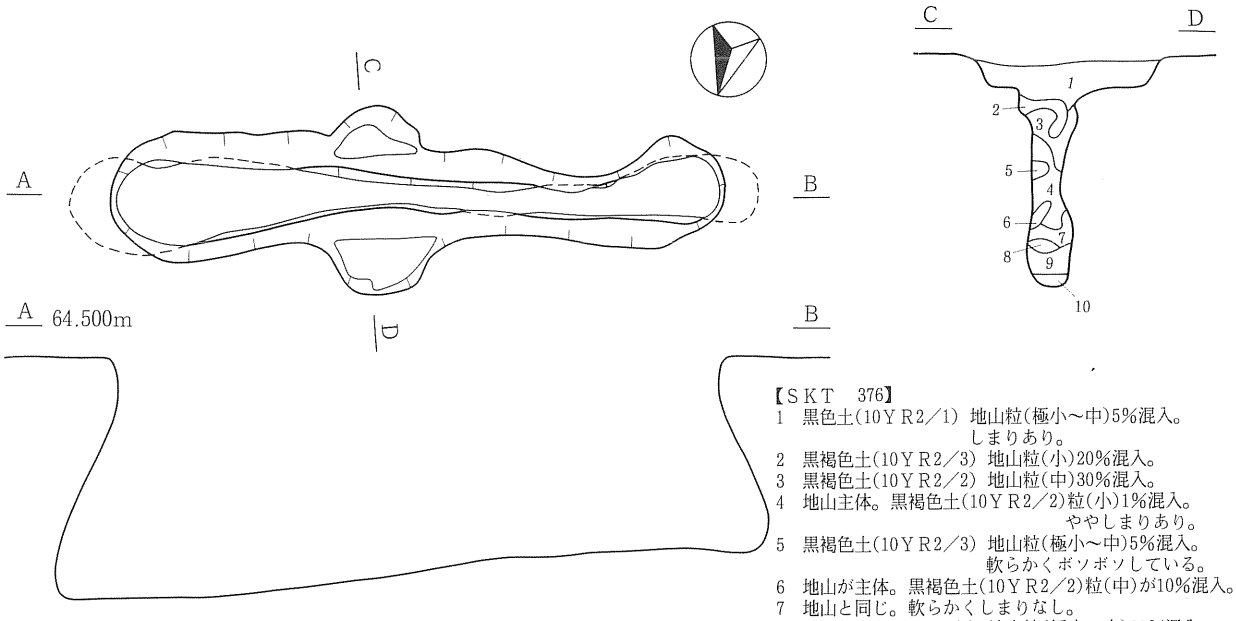
《底　面》　やや凹凸があるが、ほぼ平坦である。中央および南西端にピット状の凹みを有する。

《遺　物》　遺物は出土しなかった。

《時　期》　時期を特定できる遺物は出土しなかったので不明。

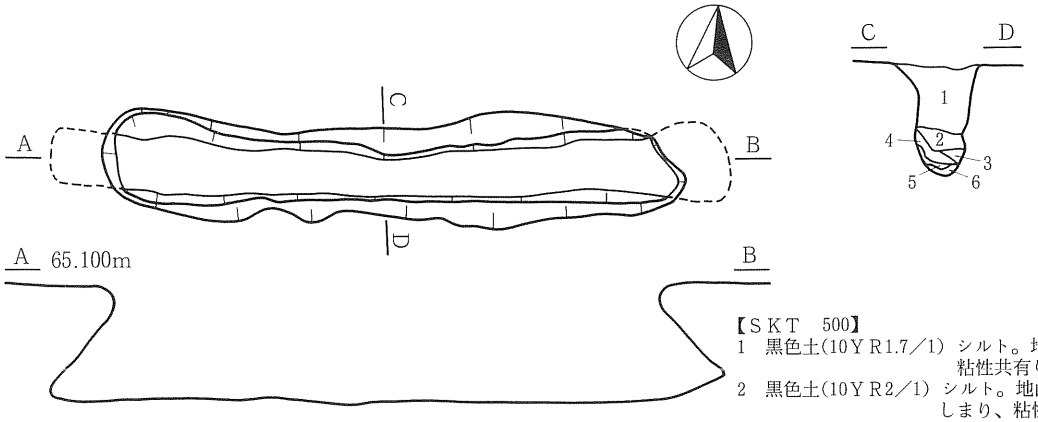
ＳＫＴ　636　Ｔ－ｐｉｔ（第285図）

《位　置》　ＭＦ50･51グリッドに位置する。



【ＳＫＴ　376】
1　黒色土(10ＹＲ2／1)　地山粒(極小～中)5%混入。
　　しまりあり。
2　黒褐色土(10ＹＲ2／3)　地山粒(小)20%混入。
3　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　地山粒(中)30%混入。
4　地山主体。黒褐色土(10ＹＲ2／2)粒(小)1%混入。
　　ややしまりあり。
5　黒褐色土(10ＹＲ2／3)　地山粒(極小～中)5%混入。
　　軟らかくボソボソしている。
6　地山が主体。黒褐色土(10ＹＲ2／2)粒(中)が10%混入。
7　地山と同じ。軟らかくしまりなし。
8　暗褐色土(10ＹＲ3／4)　地山粒(極小～中)30%混入。
　　しまりなし。
9　地山主体。暗褐色土(10ＹＲ3／4)　が部分的に縞状に5%混入。
10　地山＋黒褐色土(10ＹＲ2／2)　軟らかい。

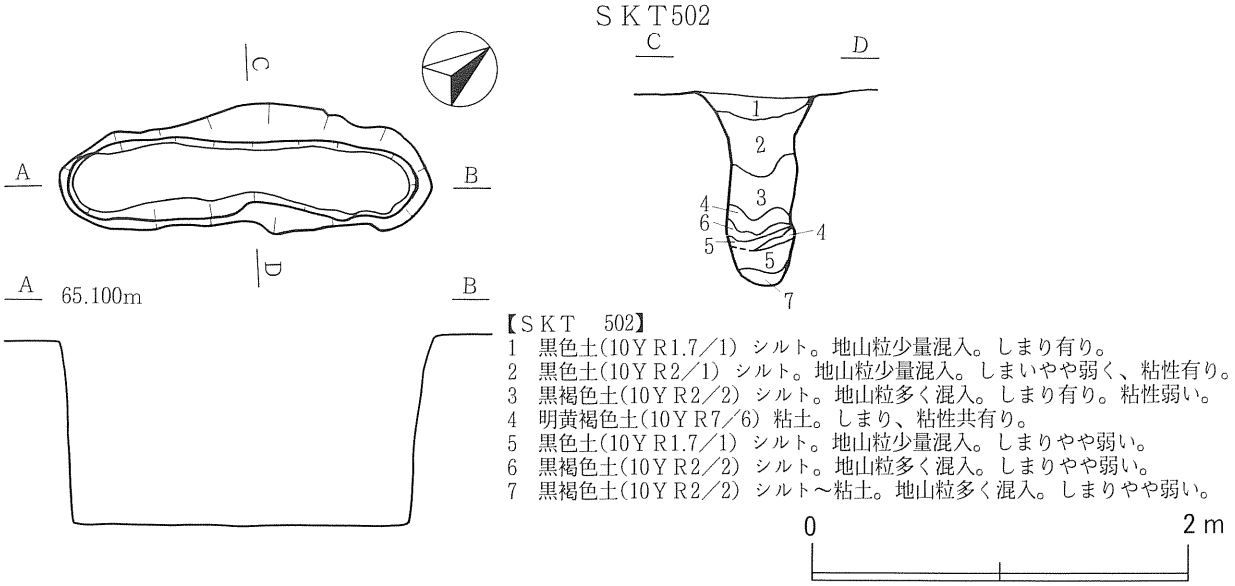
ＳＫＴ376



【ＳＫＴ　500】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1)　シルト。地山粒微量混入。しまり、
　　粘性共有り。
2　黒色土(10ＹＲ2／1)　シルト。地山粒の混入1より多い。
　　しまり、粘性共に有り。
3　明黄褐色土(10ＹＲ6／8)　粘土。しまり弱い。
4　黒色土(10ＹＲ2／1)　シルト。地山粒・地山塊混入。
　　しまり有り。
5　黄褐色土(10ＹＲ5／8)　粘土。しまり有り。粘性なし。
6　暗赤褐色土(2.5ＹＲ3／2)　粘土～シルト。
　　しまり、粘性共に有り。

ＳＫＴ500

ＳＫＴ502



【ＳＫＴ　502】
1　黒色土(10ＹＲ1.7／1)　シルト。地山粒少量混入。しまり有り。
2　黒色土(10ＹＲ2／1)　シルト。地山粒少量混入。しまいやや弱く、粘性有り。
3　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　シルト。地山粒多く混入。しまり有り。粘性弱い。
4　明黄褐色土(10ＹＲ7／6)　粘土。しまり、粘性共有り。
5　黒色土(10ＹＲ1.7／1)　シルト。地山粒少量混入。しまりやや弱い。
6　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　シルト。地山粒多く混入。しまりやや弱い。
7　黒褐色土(10ＹＲ2／2)　シルト～粘土。地山粒多く混入。しまりやや弱い。

0　2 m

第284図　SKT 376・SKT 500・SKT 502 土坑